

千歳市

# 梅川4遺跡(3)

—道央圏連絡道路工事埋蔵文化財発掘調査報告書—

第二分冊

平成25年度

公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター

千歳市

梅川4遺跡(3)

第二分冊

(公財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第306集 平成25年度

千歳市

# 梅川4遺跡(3)

—道央圏連絡道路工事埋蔵文化財発掘調査報告書—

第二分冊

平成25年度

公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター

## 【第二分冊】 目 次

### V B・C地区の遺構とその遺物

#### 1 遺構

(1) 住居跡	1
(2) 杭穴	22
(3) 焼土	41
(4) 灰集中	96
(5) 骨集中	96
(6) 貝集中	91
(7) 道跡	105
(8) 礫集中	110
(9) 剥片集中	112

#### 2 遺物

(1) 土器	131
(2) 金属製品・ガラス製品	181
(3) 石器等	188
(4) その他	197
(5) B・C地区の動物遺存体	199

### VI 自然科学的分析

1 梅川4遺跡における放射性炭素年代、AMS測定(株式会社 加速器分析研究所)	205
2 黒曜石原産地同定(株式会社 第四紀地質研究所)	223
3 石器及び玉類の岩石学的分析(株式会社 アースサイエンス)	237
4 梅川4遺跡の灰像分析(株式会社 バリノ・サーヴェイ)	247
5 千歳市梅川4遺跡出土の種実同定(株式会社 バリノ・サーヴェイ)	249
6 千歳市梅川4遺跡出土の動物遺存体同定(株式会社 バリノ・サーヴェイ)	273

### VII 成果と問題点

#### 1 遺構

(1) A地区の土抗・土抗墓について	277
(2) B・C地区の道跡について	278

#### 2 遺物

(1) V群c類の土器について	279
(2) VI群a・b類土器について	280

### 報告書抄録

## 【第二分冊】 表 目 次

### V B・C地区の遺構とその遺物

表V-1-1	住居規模一覧……………111	表V-2-6	拓本土器観察(1)……………170
表V-1-2	杭穴規模一覧……………113	表V-2-7	拓本土器観察(2)……………172
表V-1-3	焼土規模一覧……………120	表V-2-8	VI群掲載復元土器一覧……………173
表V-1-4	灰集中規模一覧……………123	表V-2-9	VI群掲載拓本土器一覧……………174
表V-1-5	骨集中規模一覧……………123	表V-2-10	補修孔一覧……………178
表V-1-6	貝集中規模一覧……………123	表V-2-11	石錐一覧……………178
表V-1-7	礫集中規模一覧……………123	表V-2-12	掲載金属製品等一覧……………187
表V-1-8	剥片集中規模一覧……………123	表V-2-13	石製遺物掲載一覧……………191
表V-1-9	遺構土壌フロテーション 成果一覧……………124	表V-2-14	掲載石製品一覧……………195
表V-1-10	遺構出土動物遺存体一覧……………128	表V-2-15	遺構別出土動物遺存体点数 (同定されたもの)……………198
表V-2-1	V群c類掲載土器一覧……………165	表V-2-16	包含層出土シカ点数分布……………198
表V-2-2	復元土器観察(1)……………165	表V-2-17	包含層出土シカ部位一覧……………199
表V-2-3	復元土器観察(2)……………165	表V-2-18	包含層出土シカ部位別 出土位置一覧……………199
表V-2-4	復元土器観察(3)……………166	表V-2-19	動物骨大型破片一覧……………200
表V-2-5	復元土器観察(4)……………168	表VII-2-1	下地文の変遷……………281

## 【第二分冊】 挿 図 目 次

### V B・C地区の遺構とその遺物

図V-1-1	遺構位置	2	図V-1-40	Ⅲ F-55～64平面図	50
図V-1-2	Ⅲ H-1	4	図V-1-41	Ⅲ F-65～69平面図	51
図V-1-3	Ⅲ H-2	5	図V-1-42	Ⅲ F-70・71・87～89平面図	52
図V-1-4	Ⅲ H-3	7	図V-1-43	Ⅲ F-72～79・199平面図	53
図V-1-5	Ⅲ H-5	9	図V-1-44	Ⅲ F-80～83・92～94・117・118 平面図	54
図V-1-6	Ⅲ H-6	10	図V-1-45	Ⅲ F-84・85・90平面図	55
図V-1-7	Ⅲ H-7	12	図V-1-46	Ⅲ F-86・111・140～142・167 169・170平面図	56
図V-1-8	Ⅲ H-8	13	図V-1-47	Ⅲ F-91・95・96平面図	57
図V-1-9	Ⅲ H-9	15	図V-1-48	Ⅲ F-97～104・133・134・150 203・204平面図	58
図V-1-10	Ⅲ H-10	16	図V-1-49	Ⅲ F-105～108平面図	59
図V-1-11	Ⅲ H-11	18	図V-1-50	Ⅲ F-109・110・126～132・ 158～162平面図	60
図V-1-12	Ⅲ H-12	20	図V-1-51	Ⅲ F-112・115・116・119～123・ 139・168・184平面図	61
図V-1-13	Ⅲ H-13	21	図V-1-52	Ⅲ F-113・114平面図	62
図V-1-14	Ⅲ S P位置(1)	23	図V-1-53	Ⅲ F-124・125・172～175 平面図	63
図V-1-15	Ⅲ S P位置(2)	24	図V-1-54	Ⅲ F-135～138・143～145・ 171・185平面図	64
図V-1-16	Ⅲ S P位置(3)	25	図V-1-55	Ⅲ F-146～149・151・152・ 186～191平面図	65
図V-1-17	Ⅲ S P位置(4)	26	図V-1-56	Ⅲ F-153～157・163～165 平面図	66
図V-1-18	Ⅲ S P位置(5)	27	図V-1-57	Ⅲ F-166・176・177・196～198 平面図	67
図V-1-19	Ⅲ S P位置(6)	28	図V-1-58	Ⅲ F-178～183・192～195 平面図	68
図V-1-20	Ⅲ S P位置(7)	29	図V-1-59	Ⅲ F-200～202・205～208 平面図	69
図V-1-21	Ⅲ S P位置(8)	30	図V-1-60	Ⅲ F-209・210平面図	70
図V-1-22	Ⅲ S P位置(9)	31	図V-1-61	Ⅲ F-211～213・221平面図	71
図V-1-23	Ⅲ S P-1～61・126・127 断面図	32	図V-1-62	Ⅲ F-214～220・222平面図	72
図V-1-24	Ⅲ S P-62～125・128～130 断面図	33	図V-1-63	Ⅲ F-5～29断面図	73
図V-1-25	Ⅲ S P-131～190断面図	34	図V-1-64	Ⅲ F-30～48断面図	74
図V-1-26	Ⅲ S P-191～250・416断面図	35	図V-1-65	Ⅲ F-49～68断面図	75
図V-1-27	Ⅲ S P-251～314断面図	36	図V-1-66	Ⅲ F-69～90断面図	76
図V-1-28	Ⅲ S P-315～374断面図	37	図V-1-67	Ⅲ F-91～111断面図	77
図V-1-29	Ⅲ S P-375～415・417～437 断面図	38	図V-1-68	Ⅲ F-112～136断面図	78
図V-1-30	Ⅲ S P-438～501断面図	39	図V-1-69	Ⅲ F-137～160断面図	79
図V-1-31	Ⅲ S P-502～560断面図	40	図V-1-70	Ⅲ F-161～180断面図	80
図V-1-32	Ⅲ F-5～11平面図	42	図V-1-71	Ⅲ F-181～200断面図	81
図V-1-33	Ⅲ F-12～19平面図	43	図V-1-72	Ⅲ F-201～217断面図	82
図V-1-34	Ⅲ F-20・21・23・37・54 平面図	44	図V-1-73	Ⅲ F-218～222断面図	83
図V-1-35	Ⅲ F-22・34～36・44・47 平面図	45			
図V-1-36	Ⅲ F-24・25・31・32・43・45・ 52・53平面図	46			
図V-1-37	Ⅲ F-26～29・39～41平面図	47			
図V-1-38	Ⅲ F-30・33・38・42平面図	48			
図V-1-39	Ⅲ F-46・48～51平面図	49			

図V-1-74	ⅢA-1~3	85
図V-1-75	ⅢA-4・5	86
図V-1-76	ⅢB-1・2	87
図V-1-77	ⅢB-3・4	88
図V-1-78	ⅢB-5	89
図V-1-79	ⅢK-1~3	90
図V-1-80	ⅢK-4・6・10	91
図V-1-81	ⅢK-5・8・9	92
図V-1-82	ⅢK-7・11	93
図V-1-83	ⅢK-12・13	94
図V-1-84	ⅢK-14・15	95
図V-1-85	ⅢK-16・17	96
図V-1-86	ⅢK-18~20	97
図V-1-87	ⅢK-21~23	98
図V-1-88	ⅢK-24・25	99
図V-1-89	ⅢK-26~29	100
図V-1-90	ⅢK-30・31	101
図V-1-91	ⅢK-32・33	102
図V-1-92	ⅢR-1 平面図	104
図V-1-93	ⅢR-1 断面図(1)	106
図V-1-94	ⅢR-1 断面図(2)	107
図V-1-95	ⅢR-1 断面図(3)	108
図V-1-96	ⅢS-1	109
図V-1-97	ⅢFC-1	110
図V-2-1	V群c類土器(1)	130
図V-2-2	V群c類土器(2)	131
図V-2-3	V群c類土器(3)	132
図V-2-4	VI群復元土器(1)	137
図V-2-5	VI群復元土器(2)	138
図V-2-6	VI群復元土器(3)	139
図V-2-7	VI群復元土器(4)	140
図V-2-8	VI群復元土器(5)	141
図V-2-9	VI群復元土器(6)	142
図V-2-10	VI群復元土器(7)	143
図V-2-11	VI群復元土器(8)	144
図V-2-12	VI群復元土器(9)	145
図V-2-13	VI群復元土器(10)	146
図V-2-14	VI群復元土器(11)	147
図V-2-15	VI群復元土器(12)	148
図V-2-16	VI群復元土器(13)	149

図V-2-17	VI群復元土器(14)	150
図V-2-18	VI・VII・IX群復元土器	151
図V-2-19	VI群拓本土器(1)	152
図V-2-20	VI群拓本土器(2)	153
図V-2-21	VI群拓本土器(3)	154
図V-2-22	VI群拓本土器(4)	155
図V-2-23	VI群拓本土器(5)	156
図V-2-24	VI群拓本土器(6)	157
図V-2-25	VI群拓本土器(7)	158
図V-2-26	VI群拓本土器(8)	159
図V-2-27	VI群拓本土器(9)	160
図V-2-28	VI群拓本土器(10)	161
図V-2-29	VI群復元土器出土位置(1)	162
図V-2-30	VI群復元土器出土位置(2)	163
図V-2-31	VI群復元土器出土位置(3)	164
図V-2-32	VI・VII・IX群分布	164
図V-2-33	穿孔分類要素	176
図V-2-34	金属製品(1)	179
図V-2-35	金属製品(2)	180
図V-2-36	金属製品(3)	181
図V-2-37	金属製品(4)	182
図V-2-38	金属製品(5)・ガラス製品	183
図V-2-39	キセル分類要素・計測箇所	184
図V-2-40	金属製品等出土位置	184
図V-2-41	包含層の石製遺物(1)	188
図V-2-42	包含層の石製遺物(2)	189
図V-2-43	包含層の石製遺物(3)	190
図V-2-44	石製遺物分布(1)	192
図V-2-45	石製遺物分布(2)	193
図V-2-46	石製遺物分布(3)	194
図V-2-47	石製品	195
図V-2-48	その他	196
図V-2-49	火打石・棒状礫分布	196
図V-2-50	遺構出土シカ部位別点数	198
図V-2-51	包含層出土シカ部位別点数	198
図VII-1-1	土坑堆積模式	277
図VII-1-2	道跡集成	278
図VII-2-1	V群c類深鉢の出土層位	279
図VII-2-2	RL横位斜走縄文が押捺された例	282

## V B・C地区の遺構とその遺物

### 1 遺構

#### (1) 住居跡

##### ⅢH-1 (図V-1-2/表V-1-1/図版22)

**確認・調査** 梅川へ降りる南東向きの沢地形内に立地する。Ⅲ層上位で焼土(HF-1)を検出した。周辺を精査したところ、Ⅳ層上面でHF-1を取り囲む12基の小ピット(HP-1~12)の配列を確認し、アイヌ文化期の平地式住居跡と認定した。

**形態** 屋内炉と考えられるHF-1の周囲を、柱穴12基が0.4~1.5mの間隔で方形に並ぶ。HF-1は柱穴列のほぼ中心に位置する。床面はHF-1の形成面と同面で、標高12.6~12.7mと推測される。4辺の柱穴列が外壁の位置だとすると、住居の規模は1辺が約3.4mである。それぞれの壁面に相当する柱穴列は直線ではなく、若干蛇行する。すなわち北西側(HP-1・11・12)とこれに對面する南東側(HP-4・5・6)はやや外側に膨らみ、南西側(HP-1・2・3・4)とこれに對面する北東側(HP-6・7・8・9・10・11)はやや内側にくぼんでいる。住居跡の長軸はHF-1と同じ西北西-東南東方向と考えられ、遺跡との位置関係から北西側に出入口が設けられていた可能性がある。前小屋部分に相当する柱穴は検出されなかった。

**付属遺構** HF-1：平面形は楕円形。形成面はⅢ層上位で、浅く掘りくぼめてから火床を設けている。強く焼けており、断面はレンズ状である。上部には微細な炭化材・骨片を多量に含む灰層が厚く堆積している。長軸上の南東端で剥片の小集積が検出された。0.25m×0.30mほどの範囲からチャート製の剥片10点が出土している。これらは炉との位置関係から火打石としての用途が推定される。

HP-1~12：平面形は円形または楕円形が多いが、方形(HP-1・5・7)、三角形(HP-8)のものもある。いずれもⅣ層上面で検出したため、先端~下部が確認された。構築面はHF-1と同面(床面)と考えられることから、検出面より0.2~0.3m上位である。断面は垂直、またはわずかに傾斜する。先端(坑底部)はⅣ層上位に止まるが、HP-12のようにⅤ層上面付近まで達するものもある。先端が尖ることから、打ち込みまたは挿し込みによるものと考えられる。

**遺物出土状況** HF-1の周辺および柱穴列の内側からは、チャート製剥片を除くと、ほとんど遺物が出土していない。柱穴列の外側ではシカ骨、カワシンジュガイの殻皮、棒状礫などが散在する。

**時期** 炉跡の検出層位、住居の形態から、1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。(芝田)

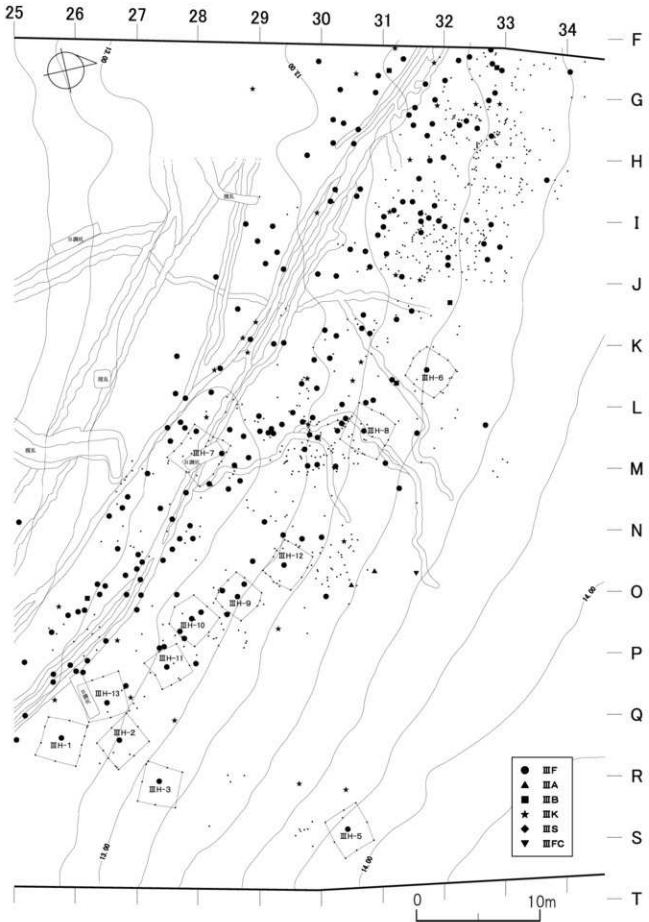
##### ⅢH-2 (図V-1-3/表V-1-1/図版22)

**確認・調査** 梅川へ降りる南東向きの沢地形内に立地する。Ⅲ層上位で焼土(HF-1)を検出した。周辺を精査したところ、Ⅳ層上面でHF-1を取り囲む14基の小ピット(HP-1~14)の配列を確認し、アイヌ文化期の平地式住居跡と認定した。

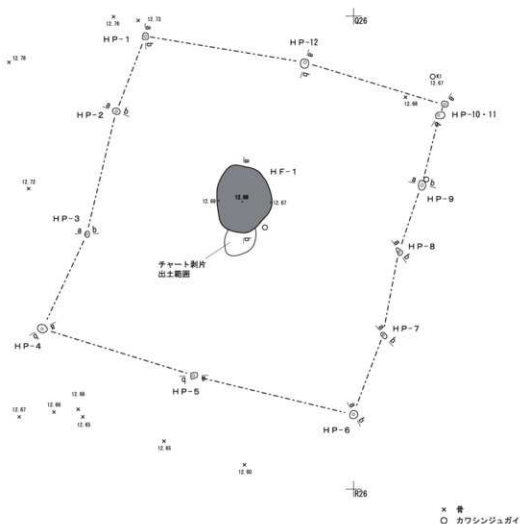
**形態** 屋内炉と考えられるHF-1の周囲を、柱穴11基(HP-1~6・8~12)が0.2~1.7mの間隔で長方形に並ぶ。HP-7・14は柱穴列の内部、HP-13は外部に位置するが、HF-1および柱穴列に近接することから付属遺構に含めた。HF-1は柱穴列の中心より少し東側に位置する。床面はHF-1の形成面と同面で、標高12.7~12.8mと推測される。4辺の柱穴列が外壁の位置だとすると、住居の規模は短辺が2.8~2.9m、長辺が3.4~3.5mである。それぞれの壁面に相当する柱穴列はほぼ直線であるが、南側(HP-1・8~12)はやや内側にくぼんでいる。住居跡の長軸は北北







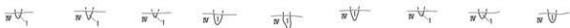
ⅢH-1



HF-1

- 1層: にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘りなし、粘りあり、汚れた灰、炭化材(φ~3mm)・白色骨片(φ~3mm)が多数に混入する。おとりしてやわらかい  
 2層: 灰白色土(10YR7/1) 粘りなし、粘りあり、灰、白色骨片(φ~3mm)きわめて多数に混じる。きめ細かくササテラしている  
 3層: 明褐色土(7.5Y5/6) 粘りなし、粘りなし、硬土、強く焼けている

HP-1    HP-2    HP-3    HP-4    HP-5    HP-6    HP-7    HP-8    HP-9  
 a b 12.60    a b 12.60    a b 12.60    a b 12.60    a b 12.60    a b 12.60    a b 12.60    a b 12.60    a b 12.60



HP-10・11    HP-12  
 a b 12.60    a b 12.60



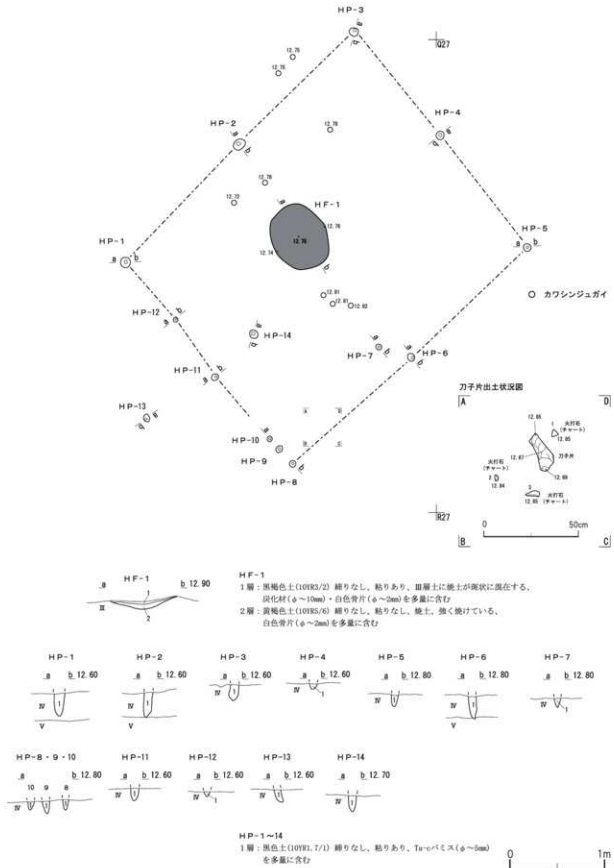
HP-1~12

- 1層: 黒色土(10YR1.7/1) 粘りなし、粘りあり、Tan-paste(φ~5mm)を多数に含む



図V-1-2 ⅢH-1

## ⅢH-2



図V-1-3 ⅢH-2

西-南南東方向と考えられ、HF-1の長軸(北東-南東方向)とは異なる。前小屋部分に相当する柱穴は検出されなかった。

**付属遺構** HF-1:平面形は楕円形。形成面はⅢ層上位。上部に灰層は確認されなかった。強く焼けており、断面はレンズ状である。微細な炭化材・骨片を多量に含んでいる。

HP-1~14:平面形は円形または楕円形を呈する。いずれもⅣ層上面で検出したため、先端~下半部が確認された。構築面はHF-1と同面(床面)と考えられることから、検出面より0.2~0.3m上位である。大半の断面は垂直である。柱穴列外に位置するHP-13は、住居の中心(HF-1)へ向かって傾斜している。先端(坑底部)はⅣ層上位に止まるものが多いが、HP-1・2・6のようにⅤ層上面付近まで達するものもある。先端が尖ることから、打ち込みまたは挿し込みによるものと考えられる。

**遺物出土状況** HF-1の周辺および柱穴列の内側では、カワシヅガイの殻皮が散在している。柱穴列の南東隅で小刀1点と火打石と考えられるチャート製剥片3点が出土した。

**時期** 炉跡の検出層位、住居の形態から、1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。(芝田)

### ⅢH-3 (図V-1-4/表V-1-1/図版22)

**確認・調査** 梅川へ降りる南東向きの沢地形内に立地する。Ⅲ層上位で焼土(HF-1)を検出した。周辺を精査したところ、Ⅳ層上面でHF-1を取り囲む8基の小ピット(HP-1~8)の配列を確認し、アイヌ文化期の平地式住居跡と認定した。

**形態** 屋内炉と考えられるHF-1の周囲を、柱穴8基が0.3~1.7mの間隔で台形に並ぶ。HF-1は柱穴列の中心より少し東側に位置する。床面はHF-1の形成面と同面、標高13.0~13.1mと推測される。北東側が風倒木によって壊されており、HP-4・5の間にも柱穴が存在した可能性がある。住居の規模は台形の下底部分(HP-1・2・7・8)が約3.4m、台形の上底部分(HP-4・5)が約3.1mである。ただし、北西端に突き出たHP-1を外側の柱穴と見なして柱穴列から外すと、4辺が3.0~3.1mとほぼ等しくなり、形状が方形に近くなる。この場合、北西側(HP-2・3・4)とこれに対面する南東側(HP-5・6・7)はやや外側に膨らみ、ⅢH-1に類似する。住居跡の長軸はHF-1より少し北よりの同じ西北西-東南東方向と考えられる。前小屋部分に相当する柱穴は検出されなかった。

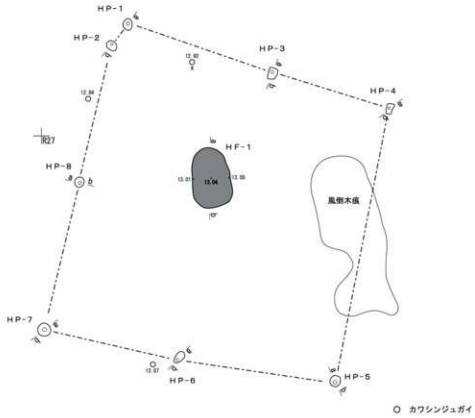
**付属遺構** HF-1:平面形は楕円形。形成面はⅢ層上位。上部および周縁部に微細な炭化材・骨片を多量に含む灰層が堆積している。強く焼けており、断面はレンズ状である。焼土の周縁部は削平されており、掻き出しによるものと推測される。また、木根による攪乱を受けている。

HP-1~8:平面形は円形(HP-5・7・8)、楕円形(HP-1・2・6)、方形(HP-3・4)がある。いずれもⅣ層上面で検出したため、先端~下半部が確認された。構築面はHF-1と同面(床面)と考えられることから、検出面より0.2~0.3m上位である。断面は大半が垂直であるが、湾曲するもの(HP-5・6)もある。先端(坑底部)はⅣ層上位に止まるものが多いが、HP-5・6のようにⅤ層上面付近まで達するものもある。先端が尖ることから、打ち込みまたは挿し込みによるものと考えられる。

**遺物出土状況** 柱穴列の内外で、カワシヅガイの殻皮が疎らに出土した。

**時期** 炉跡の検出層位、住居の形態から、1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。(芝田)

## ⅢH-3



## HF-1

- 1層: 暗褐色土(10YR4/3) 粘りなし、粘りあり、汚れた灰、炭化材( $\phi \sim 5\text{mm}$ )・骨片( $\phi \sim 2\text{mm}$ )が多数に混入する
- 2層: 灰白色土(10YR8/2) 粘りなし、粘りなし、灰、骨片( $\phi \sim 2\text{mm}$ )が多数に存在する、サラサラしている
- 3層: 黄褐色土(10YR5/4) 粘りなし、粘りなし、焼土、強く焼けている  
木根のため2層がブロック状に混入している



## HP-1~8

- 1層: 褐色土(10YR1.7/1) 粘りなし、粘りあり、Tan-ロビミス( $\phi \sim 5\text{mm}$ )を多数に含む



図V-1-1 ⅢH-3

## ⅢH-5 (図V-1-5/表V-1-1/図版23)

**確認・調査** 梅川へ降りる沢地形を臨む緩斜面上に立地する。Ⅲ層上位で焼土(HF-1)を検出した。周辺を精査したところ、Ⅳ層上面でHF-1を取り囲む9基の小ピット(HP-1~9)の配列を確認し、アイヌ文化期の平地式住居跡と認定した。

**形態** 屋内炉と考えられるHF-1の周囲を、柱穴8基(HP-1~4・6~9)が1.2~1.8mの間隔ではほぼ長方形に並ぶ。HP-5は柱穴列の内部に位置するが、HF-1および柱穴列に近接することから付属遺構に含めた。HF-1は柱穴列のほぼ中心に位置する。床面はHF-1の形成面と同面で、標高13.7~13.8mと推測される。4辺の柱穴列が外壁の位置だとすると、住居の規模は短辺が2.8~3.0m、長辺が3.4~3.5mである。それぞれの壁面に相当する柱穴列は東側を除いて、若干蛇行する。すなわち北側(HP-1・2・3)とこれに対面する南側(HP-6・7・8)はやや外側に膨らみ、東側(HP-3・8・9)はやや内側にくぼんでいる。住居跡の長軸は東北東-西南西方向と考えられ、HF-1の長軸(北東-南西方向)に近似する。前小屋部分に相当する柱穴は検出されなかった。

**付属遺構** HF-1：平面形は不整楕円形。形成面はⅢ層上位で、浅く掘りくぼめてから火床を設けている。強く焼けており、断面はレンズ状である。上部には微細な炭化材・骨片を多量に含む灰層が厚く堆積している。周縁部に弱い焼土が疎らに分布している。

HP-1~9：平面形は円形または楕円形。いずれもⅣ層上面で検出したため、先端~下部が確認された。構築面はHF-1と同面(床面)と考えられることから、検出面より0.2~0.3m上位である。断面は垂直のものが多く、HP-1は外側へ傾斜する。HP-6は断面に段が見られ、掘り方の一部と推測される。先端(杭底部)はⅣ層上位に止まるが、HP-1のようにⅤ層上面付近まで達するものもある。先端が尖るものが多いことから、打ち込みまたは挿し込みによると考えられる。

**遺物出土状況** HF-1の周辺および柱穴列の内側で床面に相当する部分からは出土していない。

**時期** 炉跡の検出層位、住居の形態から、1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。(芝田)

## ⅢH-6 (図V-1-6/表V-1-1/図版23)

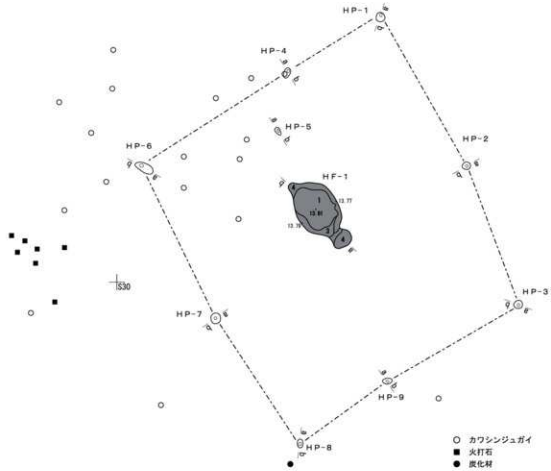
**確認・調査** B地区を北西-南東方向に走る沢状地形の北東側に立地する。Ⅲ層上位で焼土(HF-1)を検出した。周辺を精査したところ、Ⅲ層およびⅣ層上面で20基の小ピット(HP-1~20)を確認した。そのうちHP-1~14が焼土を方形に囲む配列であることから、アイヌ文化期の平地式住居跡と認定した。

**形態** 屋内炉(HF-1)を中心として、その周囲を住居柱穴と考えられるHP-1~14が方形に取り囲む。柱穴列が外壁の位置だとすると、住居の規模は一辺が2.9~3.0mである。平面形は、各辺がやや外側に膨らんでいるが、正方形である。一辺あたりの柱穴数は北西・南東側4基、北東・南西側5基である。柱穴の間隔は北西・南東側が0.7~0.8m、北東・南西側が0.9~1.1mである。床面はHF-1と同面で標高13.3mと推測する。屋内炉(HF-1)の位置が若干南西壁側に寄っていることから長軸方向は北東-南西方向と考えられる。前小屋部分に相当する柱穴は検出されなかった。

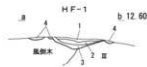
**付属遺構** HF-1：平面形は不整楕円形。形成面はⅢ層上位で強く焼けている。上面には微細な炭化材・骨片を含む灰層が堆積している。

HP-1~20：平面形は円形または楕円形。検出面はⅢ層下位~Ⅳ層上面である。構築面はHF-1と同面と考えられることから、検出面よりも0.1~0.2m上位である。HP-1~14は柱穴列として方形に配列している。HP-15~20は住居内や柱穴の近隣にあるため付属遺構として扱った。断面は内

ⅢH-5

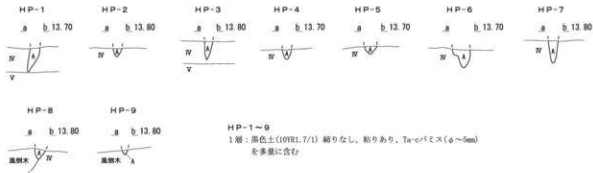


○ カワシujungai  
 ■ 火打石  
 ● 炭化材



HF-1

1層: 灰白色土(10YR7/1) 粘りなし、粘りあり、灰、炭化材(φ~40mm)・白色骨片(φ~10mm)を多量に含む、中央部に炭化材が多い  
 2層: 灰白色土(10YR8/2) 粘りなし、粘りあり、灰、白色骨片(φ~2mm)が多量に混じる、層厚明確  
 3層: 明赤褐色土(5YR5/6) 粘りなし、粘りなし、焼土、非常に強く焼けている  
 4層: 赤褐色土(5YR4/6) 粘りなし、粘りあり、固い焼土、ぼんやりしてはつきりしない



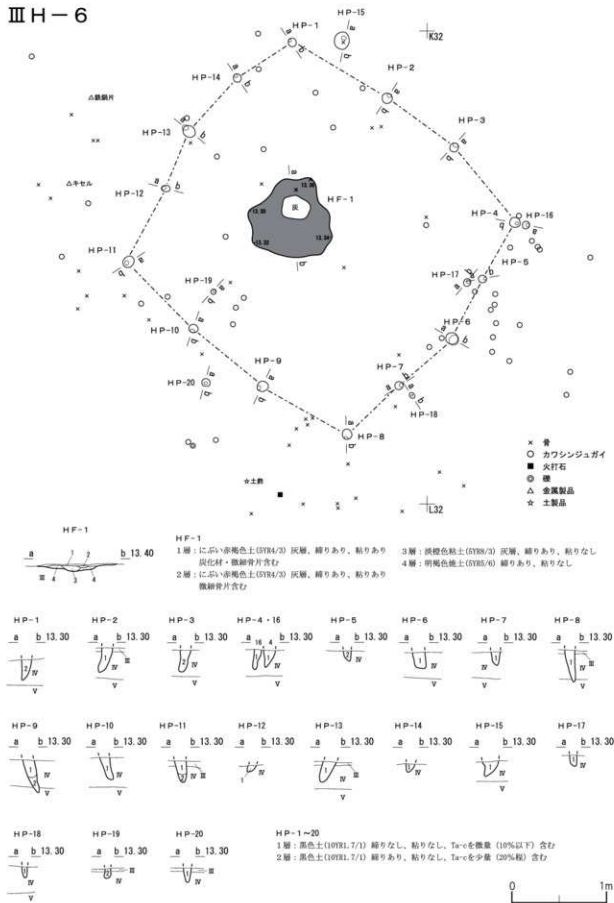
HP-1~9

1層: 黒色土(10YR1.7/1) 粘りなし、粘りあり、Tanコマス(φ~5mm)を多量に含む



図V-1-5 ⅢH-5

### ⅢH-6



図V-1-6 ⅢH-6



側に傾いていて先端（坑底部）が尖るものが多い。多くはⅣ層中で止まるが、HP-8・9はⅤ層に到達している。打ち込みもしくは押し込みによるものと考えられる。断面図の傾きから外踏ん張り建てられていたと考えられる。

**遺物出土状況** 遺物は出土していない。シカ骨、カワシラガイの殻皮が散在しているが、住居に伴うかどうかは不明である。

**時期** 炉跡の検出層位、住居の形態から1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。（酒井）

### ⅢH-7（図V-1-7/表V-1-1/図版24）

**確認・調査** B地区を北西-南東方向にはしる沢状地形の北東側に立地する。Ⅲ層上位で北西-南東方向の道跡を検出したことから周辺を精査したところ、Ⅲ層およびⅣ層上面で23基の小ピット（HP-1~23）を確認した。方形の配列を確認したことからアイヌ文化期の平地式住居跡と認定した。住居内にはB調査坑があり、削平されている。位置的に炉跡があった可能性がある。

**形態** 住居柱穴と考えられるHP-1~14が方形に配列される。柱穴列が外壁の位置とすると、住居の規模は一辺が3.4~3.5mで北東辺が4.1mである。平面形は、北東辺が長い台形である。一辺あたりの柱穴数は北西辺4基、北東辺6基、南東辺3基、南西辺5基である。柱穴の間隔は北西辺0.8~1.8m、北東辺0.3~1.5m、南東辺1.5~2.0m、南西辺0.7~1.0mである。床面は道跡の直下と推測されることから標高約12.7mと推測する。北東壁が長くなっていることから、長軸方向は北東-南西方向と考えられる。前小屋部分に相当する柱穴は検出されなかった。HP-15~23は住居に付随する柱穴と判断した。

**付属遺構** HP-1~23：平面形は円形または楕円形。検出面はⅢ層下位~Ⅳ層上面である。構築面は周囲の住居と同面と推測されることから、検出面よりも0.1~0.2m上位と考えられる。HP-1~14は柱穴列として方形に配列している。HP-15~23は住居内や柱穴の近隣にあるため付属遺構として扱った。断面は垂直で先端（坑底部）が尖るものも多く、深さはⅣ層中で止まる。打ち込みもしくは押し込みによるものと考えられる。断面図から柱は垂直に建てられていたと考えられる。

**遺物出土状況** 遺物は出土していない。シカ骨、カワシラガイの殻皮が散在しているが、住居に伴うかどうかは不明である。

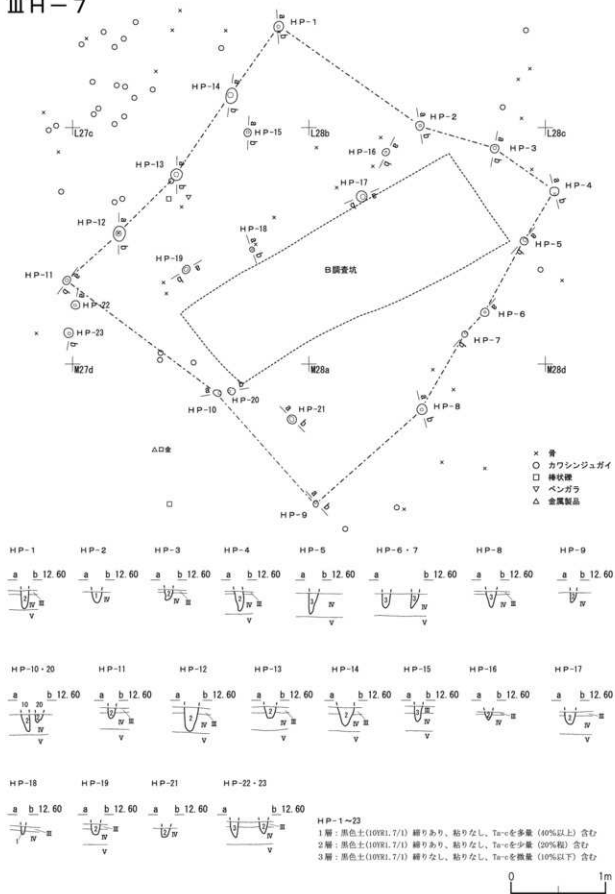
**時期** 住居の形態から1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。また、住居の検出面より上位で北西-南東方向の道跡を確認していることから、これよりも古い。（酒井）

### ⅢH-8（図V-1-8/表V-1-1/図版24）

**確認・調査** B地区を北西-南東方向にはしる沢状地形の北東側に立地する。北東方向へ伸びる道跡の直下から焼土（HF-1）を検出した。このことから周辺を精査したところ、Ⅲ層およびⅣ層上面で31基の小ピット（HP-1~31）を確認した。そのうちHP-1~15が焼土を方形に囲む配列であることを確認し、アイヌ文化期の平地式住居跡と認定した。

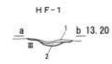
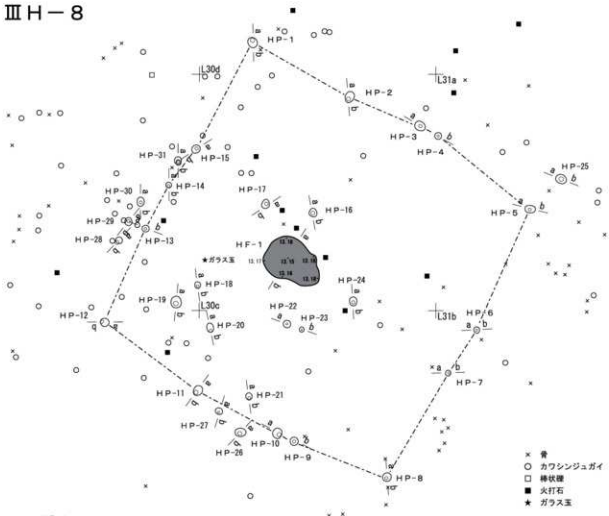
**形態** 屋内炉（HF-1）を中心として、その周辺を住居柱穴と考えられるHP-1~15が方形に取り囲む。柱穴列が外壁の位置とすると、住居の規模は一辺が3.2~3.4mである。平面形は、各辺がやや外側に膨らんでいるが、正方形である。一辺あたりの柱穴数は北西辺・南東辺・南西辺5基、北東辺4基である。柱穴の間隔は北西辺・南東辺が0.2~1.2m、北東辺が0.5~1.4m、南西辺0.5~1.3mである。床面はHF-1と同面で標高13.1mと推測する。屋内炉（HF-1）の位置が若干南西壁側に寄っていることから長軸方向は北東-南西方向と考えられる。前小屋部分に相当する柱穴は検出

### ⅢH-7

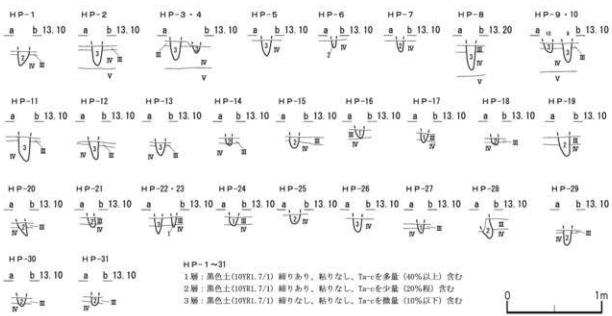


図V-1-7 ⅢH-7

ⅢH-8



HF-1  
 1層: 黒褐色土(SY92/2) 網りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片少量含む  
 2層: 明赤褐色粘土(SY95/6) 網りあり、粘りなし  
 ※ 現地



図V-1-8 ⅢH-8

されなかった。

**付属遺構 HF-1**：平面形は不整形円形。形成面はⅢ層上位で強く焼けている。上面には微細な炭化材・骨片を含む層が堆積している。

**HP-1～31**：平面形は円形または楕円形。検出面はⅢ層下位～Ⅳ層上面である。構築面はHF-1と同面と考えられることから、検出面よりも0.1～0.2m上位である。HP-1～15が柱穴列として方形に配列している。HP-16～31は住居内や柱穴の近隣にあるため付属遺構として扱った。断面は垂直もしくはわずかに傾き、先端（坑底部）は尖るものが多く、Ⅳ層中で止まる。打ち込みもしくは押し込みによるものと考えられる。

**遺物出土状況** 遺物は出土していない。礫、シカ骨、カワシンジウガイの殻皮が散在しているが、住居に伴うかどうかは不明である。

**時期** 炉跡の検出層位、住居の形態から1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。また、HF-1より上位で北東方向へ伸びる遺跡を確認していることから、これよりも古い。（酒井）

### ⅢH-9（図V-1-9/表V-1-1/図版24・25）

**確認・調査** B地区を北西-南東方向にはしる沢状地形の北東側に立地する。Ⅲ層上位で灰層のある焼土（HF-1）を検出した。このことから周辺を精査したところ、Ⅲ層およびⅣ層上面で18基の小ピット（HP-1～18）を確認した。そのうちHP-1～12が焼土を方形に囲む配列であることを確認し、アイヌ文化期の平地式住居跡と認定した。

**形態** 屋内炉（HF-1）を中心として、その周囲を住居柱穴と考えられるHP-1～12が方形に取り囲む。柱穴列が外壁の位置とすると、住居の規模は一辺が2.7～2.8mである。平面形は、各辺がやや外側に膨らんでいるが、正方形である。一辺あたりの柱穴数は北西辺3基、北東辺・南東辺4基、南西辺5基である。柱穴の間隔は北西辺0.8～1.9m、北東辺が0.5～1.8m、南東辺が0.8～1.1m、南西辺0.4～1.0mである。床面はHF-1と同面で標高12.9mと推測する。屋内炉（HF-1）の位置が若干南西壁側に寄っていることから長軸方向は北東-南西方向と考えられる。前小屋部分に相当する柱穴は検出されなかった。

**付属遺構 HF-1**：平面形は不整形円形。形成面はⅢ層上位で強く焼けている。上面には微細な炭化材・骨片を含む層や灰層が堆積している。

**HP-1～18**：平面形は円形または楕円形。検出面はⅢ層下位～Ⅳ層上面である。構築面はHF-1と同面と考えられることから、検出面よりも0.1～0.2m上位と推測される。HP-1～12が柱穴列として方形に配列している。HP-13～18は柱穴の近隣にあるため付属遺構として扱った。断面は垂直もしくはわずかに傾き、先端（坑底部）は尖るものが多く、HP-3を除きⅣ層中で止まる。HP-3はⅤ層に到達する。打ち込みもしくは押し込みによるものと考えられる。

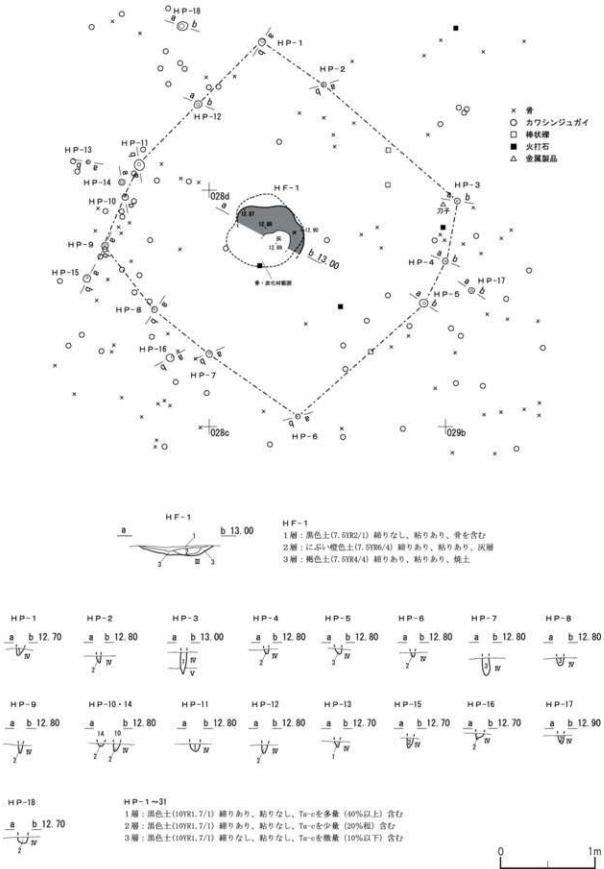
**遺物出土状況** ほとんど遺物は出土していない。礫、シカ骨、カワシンジウガイの殻皮が散在しているが、住居に伴うかどうかは不明である。

**時期** 炉跡の検出層位、住居の形態から1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。（酒井）

### ⅢH-10（図V-1-10/表V-1-1/図版24・25）

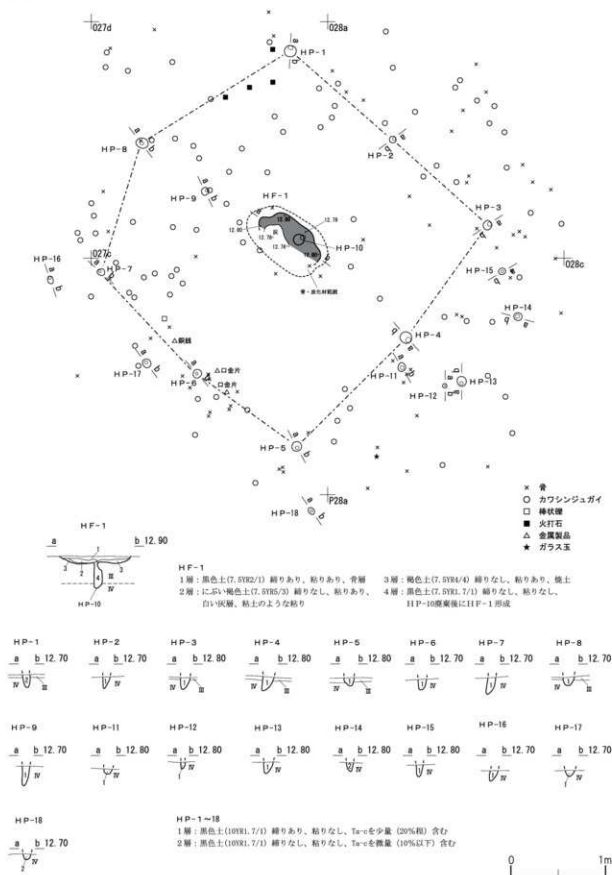
**確認・調査** B地区を北西-南東方向にはしる沢状地形の北東側に立地する。Ⅲ層上位で灰層のある焼土（HF-1）を検出した。このことから周辺を精査したところ、Ⅲ層およびⅣ層上面で18基の小ピット（HP-1～18）を確認した。そのうちHP-1～8が焼土を方形に囲む配列であることを確

## ⅢH-9



図V-1-9 ⅢH-9

ⅢH-10



図V-1-10 ⅢH-10

認め、アイヌ文化期の平地式住居跡と認定した。

**形態** 屋内炉（HF-1）を中心として、その周囲を住居柱穴と考えられるHP-1～12が方形に取り囲む。柱穴列が外壁の位置とすると、住居の規模は一辺が2.8～3.1mである。平面形は、南西辺が大きく張り出し他辺がやや外側に膨らんでいるが、正方形に近い。一辺あたりの柱穴数は3基である。柱穴の間隔は張り出している南西辺が1.4～1.9m、その他3辺は1.3～1.6mである。床面はHF-1と同面で標高12.8mと推測する。長軸方向は、屋内炉（HF-1）と同じく北東-南西方向と考えられる。前小屋部分に相当する柱穴は検出されなかった。

**付属遺構** HF-1：平面形は不整形円形。形成面はⅢ層上位で強く焼けている。上面には微細な炭化材・骨片を含む層や灰層が堆積している。直下にHP-10がある。

HP-1～18：平面形は円形である。検出面はⅢ層下位もしくはⅣ層上面である。構築面はHF-1と同面と考えられることから、検出面よりも0.1～0.2m上位と推測される。HP-1～8が柱穴列として方形に配列している。HP-9～18は住居内もしくは柱穴の近隣にあるため付属遺構として扱った。断面は垂直もしくはわずかに傾き、先端（坑底部）は尖るものが多く、Ⅳ層中で止まる。断面図の傾きから外踏ん張り建てられていたと考えられる。打ち込みもしくは挿し込みによるものと考えられる。HP-10はHF-1直下だが、各柱穴の対角交点に位置していることから住居との関連を想定してHPとした。

**遺物出土状況** ほとんど遺物は出土していない。礎、シカ骨、カワシンジュガイの殻皮が散在しているが、住居に伴うかどうかは不明である。

**時期** 跡の検出層位、住居の形態から1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。（酒井）

### ⅢH-11（図V-1-11／表V-1-1／図版24・25）

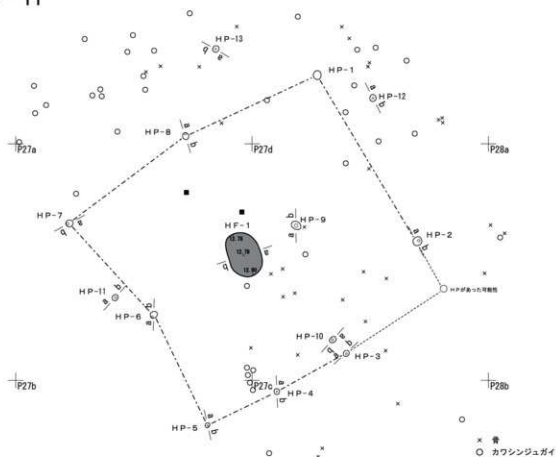
**確認・調査** B地区を北西-南東方向にはしる沢状地形の北東側に立地する。Ⅲ層上位で灰層のある焼土（HF-1）を検出した。このことから周辺を精査したところ、Ⅲ層およびⅣ層上面で13基の小ピット（HP-1～13）を確認した。そのうちHP-1～8が焼土を方形に囲む配列であることを確認し、アイヌ文化期の平地式住居跡と認定した。

**形態** 屋内炉（HF-1）を中心として、その周囲を住居柱穴と考えられるHP-1～8が方形に取り囲む。形状から北西辺と北東辺の交点に柱穴があった可能性が高い。柱穴列が外壁の位置とすると、住居の規模は一辺が2.6～3.0mである。平面形は、南東辺が内側に凹むが、正方形に近い。一辺あたりの柱穴数は、北西辺と北東辺の交点に柱穴があったとすると北東辺4基、その他3辺が3基である。柱穴の間隔は、南西辺1.5m、南東辺1.3m、北東辺0.8～(1.2)m、北西辺(0.6)～2.0mである。床面はHF-1と同面で標高12.8m付近と推測する。長軸方向は、屋内炉（HF-1）と同じく北東-南西方向と考えられる。前小屋部分に相当する柱穴は検出されなかった。

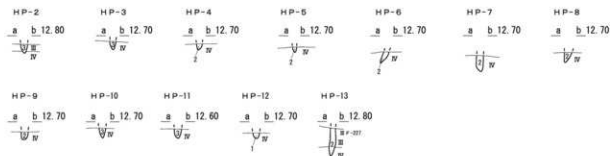
**付属遺構** HF-1：平面形は楕円形。形成面はⅢ層上位で強く焼けている。上面には微細な炭化材・骨片を含む層や灰層が堆積している。

HP-1～13：平面形は円形。検出面はⅢ層下位～Ⅳ層上面である。構築面はHF-1と同面と考えられることから、検出面よりも0.1～0.2m上位と推測される。HP-1～8が柱穴列と考えられるが、北西辺と北東辺の交点に柱穴があったとすると方形の配列となる。HP-9～13は住居内もしくは柱穴の近隣にあるため付属遺構として扱った。断面は垂直もしくはわずかに傾き、先端（坑底部）は尖るものが多く、Ⅳ層中で止まる。断面図の傾きから外踏ん張り建てられていたと考えられる。打ち込みもしくは挿し込みによるものと考えられる。

### ⅢH-11



HF-1  
 1層：黒褐色土(10YR2/2) 締りなし、粘りあり、汚れた灰、炭化材(φ~3mm)・白色骨片(φ~3mm)が多量に混じる  
 2層：黄褐色土(10YR5/8) 締りなし、粘りあり、焼土、強く攪拌している、骨片(φ~2mm)が少量混じる



HP-2~13  
 1層：黒色土(10YR1.7/1) 締りあり、粘りなし、Ta-cを多量(40%以上)含む  
 2層：黒色土(10YR1.7/1) 締りあり、粘りなし、Ta-cを少量(20%程)含む  
 3層：黒色土(10YR1.7/1) 締りなし、粘りなし、Ta-cを微量(10%以下)含む



図V-1-11 ⅢH-11



**遺物出土状況** ほとんど遺物は出土していない。礫、シカ骨、カワシンジュガイの殻皮が散在しているが、住居に伴うかどうかは不明である。また、シカ骨、カワシンジュガイの殻皮は、床面と考えられる標高よりわずかに高い位置から出土しているので、住居廃棄後のものの可能性がある。

**時期** 炉跡の検出層位、住居の形態から1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。(酒井)

### ⅢH-12 (図V-1-12/表V-1-1/図版25)

**確認・調査** 梅川へ降りる沢地形を臨む緩斜面上に立地する。Ⅲ層上位で焼土(HF-1)を検出した。周辺を精査したところ、Ⅳ層上面でHF-1を取り囲む22基の小ピット(HP-1~22)の配列を確認し、アイヌ文化期の平地式住居跡と認定した。

**形態** 屋内炉と考えられるHF-1の周囲を、柱穴14基(HP-1~4・7・9~11・13・16~19・21)が0.2~1.4mの間隔でほぼ長方形に並ぶ。HP-5・6・8・12・14・20は柱穴列の外部、HP-15・22は柱穴列の内部に位置するが、HF-1および柱穴列に近接することから付属遺構に含めた。HF-1は柱穴列の中心よりやや西側に位置する。床面はHF-1の形成面と同面で、標高13.0~13.1mと推測される。4辺の柱穴列が外壁の位置だとすると、住居の規模は短辺が2.7~2.8m、長辺が3.2~3.4mである。それぞれの壁面に相当する柱穴列は若干蛇行しており、いずれも外側に膨らんでいる。住居跡の長軸は北西-南東方向と考えられ、HF-1の長軸(北北東-南南西方向)とは異なっている。前小屋部分に相当する柱穴は検出されなかった。

**付属遺構** HF-1: 平面形は不整形円形。形成面はⅢ層上位で、浅く掘りくぼめてから火床を設けている。強く焼けており、断面はレンズ状である。上部に灰層は確認されなかった。

HP-1~22: 平面形は円形または楕円形。いずれもⅣ層上面~上位で検出したため、先端~下部が確認された。構築面はHF-1と同面(床面)と考えられることから、検出面より0.2~0.3m上位である。断面は垂直あるいはやや傾斜する。また、先端のみが確認されたため、形状が不明なものもある(HP-8・14~17・21)。北西側・北東側・南西側の各柱穴列のほぼ中央にあるHP-3・10・19は比較的規模が大きく、深い。先端(坑底部)が尖るものが多いことから、打ち込みまたは挿し込みによるものと考えられる。

HA-1: 床面の東隅より灰集中1か所が検出された。平面形は不定形で、層厚は0.01m以下と非常に薄く、柱穴列の外側まで疎らに分布する。灰の内部にシカ骨、カワシンジュガイの殻皮などを伴う。HF-1との位置関係から、これより廃棄されたものと推測される。

**遺物出土状況** HF-1の焼土中より釘、シカ骨(基節骨)、柱穴列の内側で床面に相当する部分から、火打金、シカ骨、カワシンジュガイの殻皮などが出土した。また、北東側の外部からも太鼓鉾・座金や、土玉、火打石剥片、棒状礫、シカ骨、カワシンジュガイの殻皮などが多数出土している。

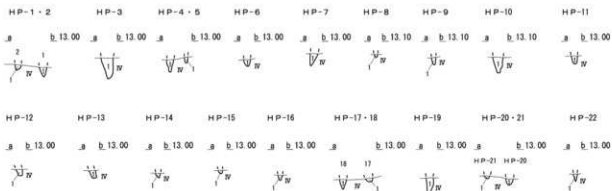
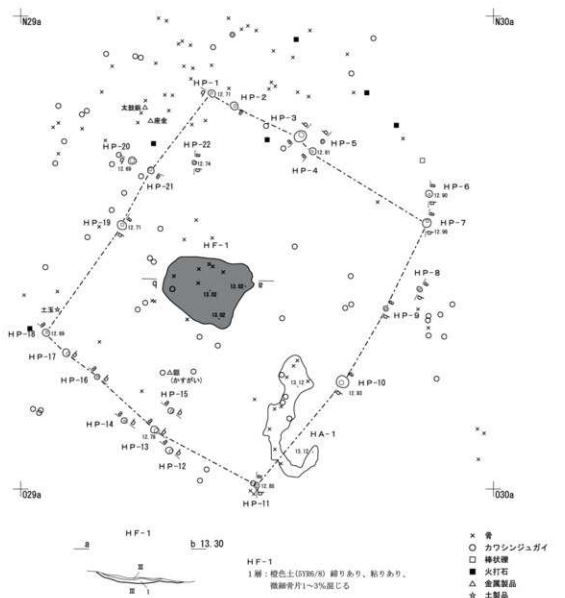
**時期** 炉跡の検出層位、住居の形態から、1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。(芝田)

### ⅢH-13 (図V-1-13/表V-1-1/図版23)

**確認・調査** 梅川へ降りる南東向きの沢地形内に立地する。Ⅲ層上位で焼土(HF-1)を検出した。周辺を精査したところ、Ⅳ層上面でHF-1を取り囲む9基の小ピット(HP-1~9)の配列を確認し、アイヌ文化期の平地式住居跡と認定した。

**形態** 屋内炉と考えられるHF-1の周囲を、柱穴8基が0.9~1.8mの間隔で長方形に並ぶ。南側がB調査試掘坑によって壊されており、HP-4・8の間にも柱穴が存在した可能性がある。HP-3・9は柱穴列の内部に位置するが、HF-1および柱穴列に近接することから付属遺構に含めた。

Ⅲ H-12

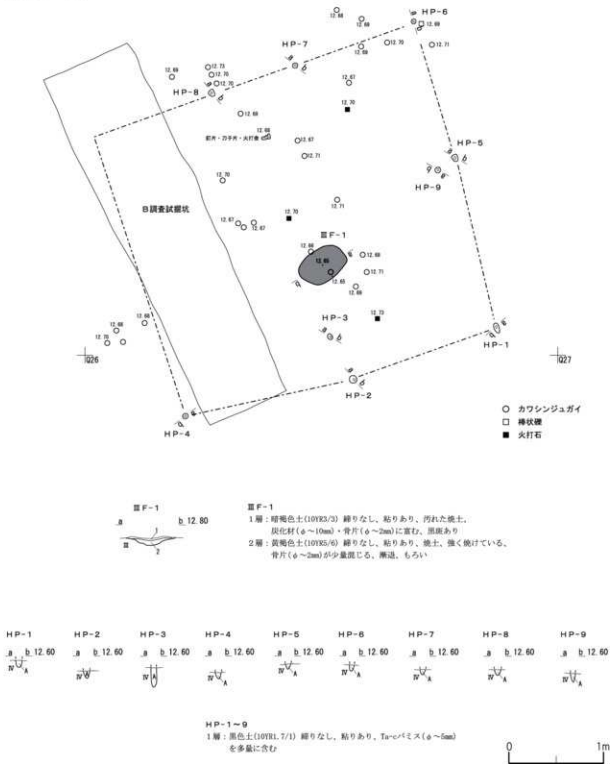


1層: 黒褐色土(10YR3/1) 締りなし、粘りなし。Tn-cを微量(10%以下)含む



図V-1-12 Ⅲ H-12

## ⅢH-13



図V-1-13 ⅢH-13

H F-1 は柱穴列の中心よりやや東側に位置する。床面はH F-1 の形成面と同面、標高12.6~12.7mと推測される。住居の規模は、短辺が3.1~3.3m、長辺が3.4~3.5mと推測される。それぞれの壁面に相当する柱穴列はほぼ直線であるが、北側(H P-1・5・6)と東側(H P-1・2・4)はやや外側に膨らんでいる。住居跡の長軸はH F-1 とほぼ同じで北-南方向と考えられる。前小屋部分に相当する柱穴は検出されなかった。カワシンジュガイ集中ⅢK-15と重複するが、検出層位からⅢH-13のほうが古い。

**付属遺構** H F-1 : 平面形は楕円形。形成面はⅢ層上位。上部に灰層は確認されなかった。強く焼けており、断面はレンズ状である。微細な炭化材・骨片を多量に含んでいる。

H P-1~9 : 平面形は円形または楕円形が多い(H P-5・8は方形)。いずれもⅣ層上面で検出したため、先端~下半部が確認された。構築面はH F-1 と同面(床面)と考えられることから、検出面より0.2~0.3m上位である。断面は垂直で、先端(坑底部)はⅣ層上~中位に止まる。先端が尖るものが多いことから(H P-1 のみ丸い)、打ち込みまたは押し込みによると考えられる。

**遺物出土状況** H F-1 の周辺および柱穴列の内側で床面に相当する部分からは、鉄製品、火打石と推測されるメノウ製剥片、カワシンジュガイの殻皮などが出土している。

**時期** 炉跡の検出層位、住居の形態から、1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。(芝田)

## (2) 杭穴

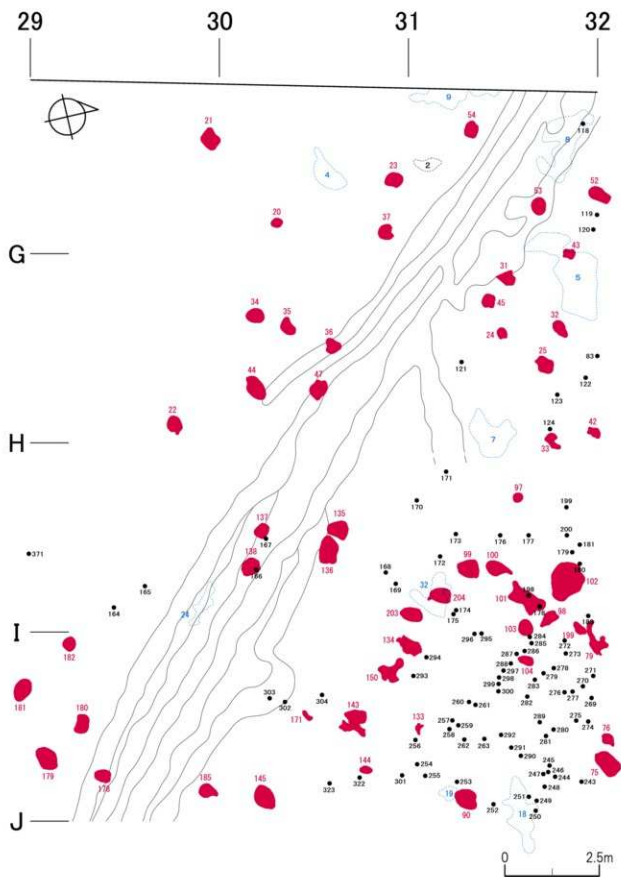
### ⅢS P-1~560 (図V-1-14~31/表V-1-2)

住居跡を構成しない単独の杭穴(ⅢS P)を560基検出した。住居跡や焼土周辺に広く分布しており、特に北側で密集する。一方、遺跡より西側、住居群より東側では非常に稀である。これらの多くは建物跡などの施設を構成する柱穴の可能性があるが、配列や周辺の遺構との位置関係、出土遺物などからは確定できなかった。個々の杭穴の規模・傾き・平面形・先端形状・覆土・特徴などは、一覧表にまとめて記した(表V-1-2)。

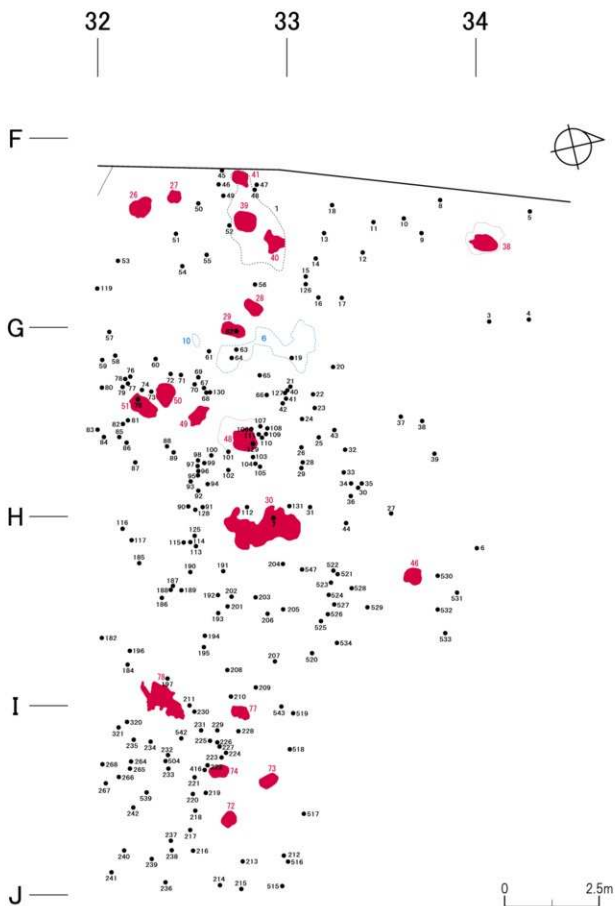
ⅢS P-485~489は同規模の杭穴が遺跡に沿って直線状に並んでおり、柵列としての機能が想定される。ⅢH-7のH P-1・11~14、H P-4~9、H P-2・10・16・17・20(B調査坑により不明瞭)も同様に遺跡に並行しており、住居跡の柱穴ではなく柵列だった可能性がある。また、北側の密集域では、杭穴が短い間隔で弧状(ⅢS P-284~300、ⅢS P-21・40~42・127、ⅢS P-95・96・97・98、ⅢS P-390~393など)あるいは袋状(ⅢS P-11~18・126、ⅢS P-45~55など)に並ぶ例が見られる。これらは周辺に焼土や灰集中・骨集中・貝集中を伴っており、金属製品や陶磁器、ガラス玉などの特殊な遺物も出土していることから、幣場としての機能が想定される。

Ⅲ層と同一の腐植土を覆土とするため、Ⅳ層上面もしくは上位で先端部が検出されたものが大半である。ⅢS P-144は覆土がT a-c降下軽石を主体としており、抜き取り痕と考えられる。先端がⅣ層中に留まる杭穴がほとんどだが、Ⅴ層に達するもの(6基)も少数ある。平面形は円形または楕円形が多いが、三角形(4基)や方形(7基)のものもある。大部分が確認面での直径0.1m以下と比較的細い。傾きは垂直もしくはほぼ垂直(0~20度)のものが多く、先端の断面形状は尖るものが426基と最も多く、丸底が121基でこれに次ぐ。角底は12基と非常に少ない。また、ⅢS P-282は先端が分岐しており、2基が重複する可能性がある。

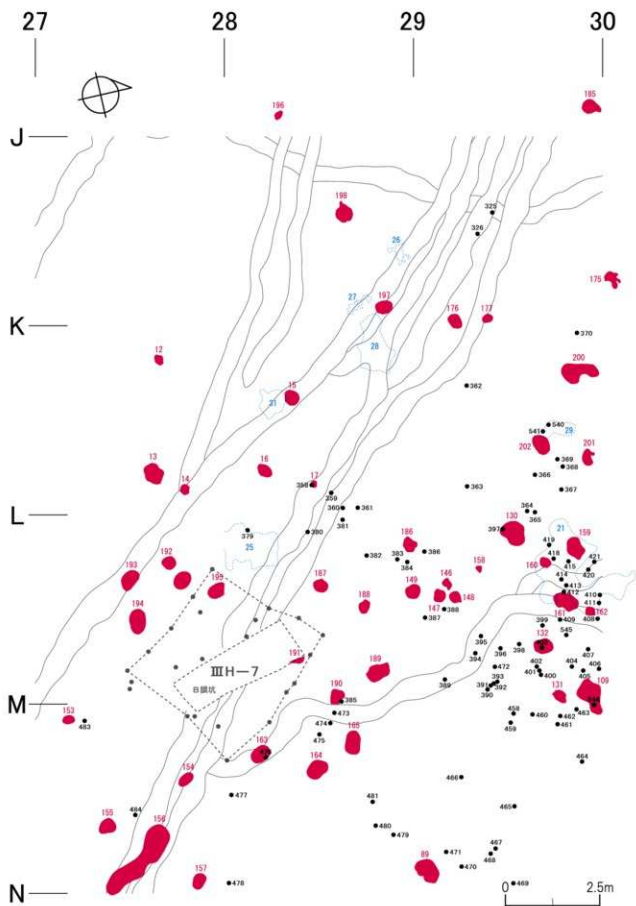
ⅢS P-368・456はシカ骨片、ⅢS P-140・240・368・550はカワシンジュガイ殻皮が覆土中より出土した。ⅢS P-547の覆土中より頁岩の剥片が出土しているが、Ⅲ層中の縄文時代前葉の遺物が流れ込んだものであろう。



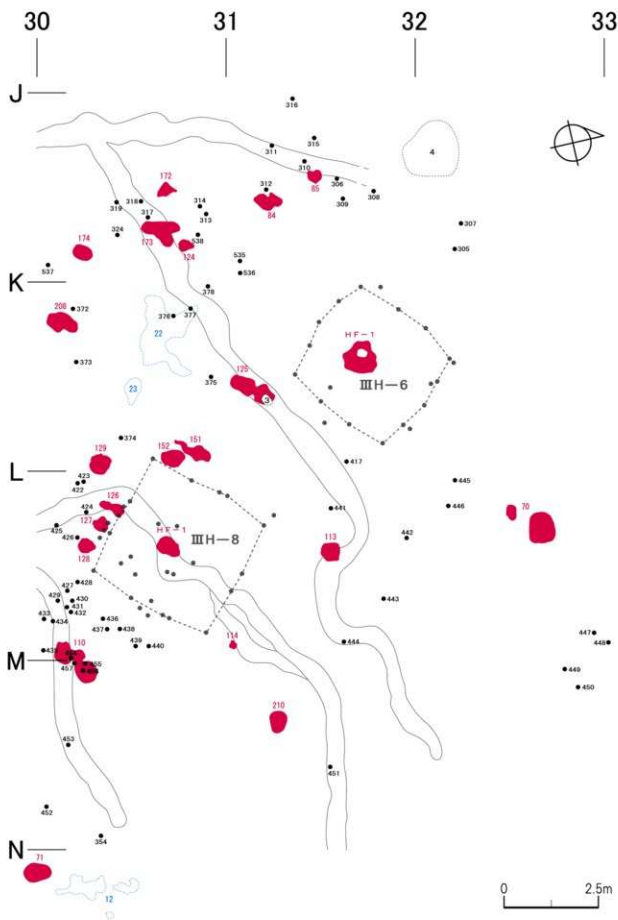
図V-1-14 Ⅲ SP位置(1)



図V-1-15 Ⅲ SP位置(2)

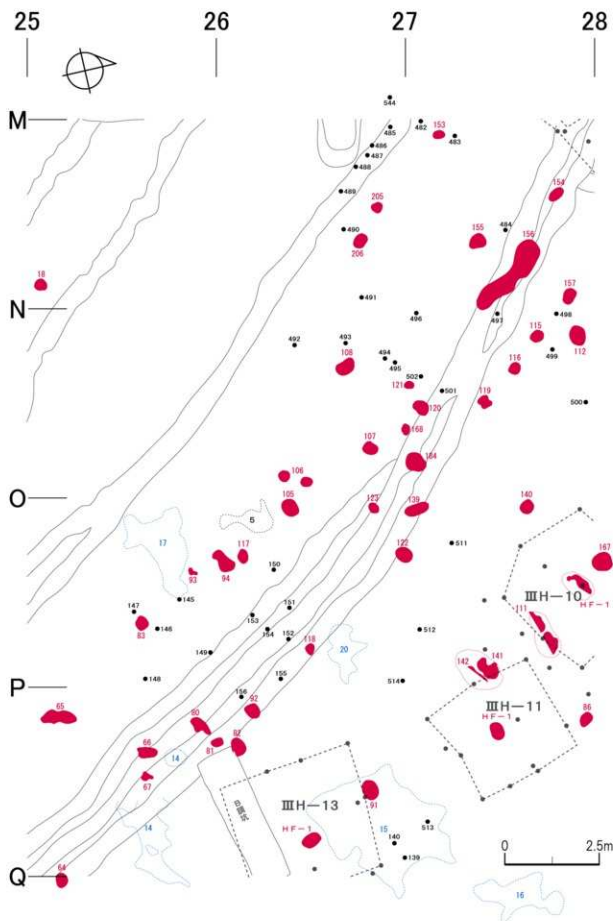


図V-1-16 III SP位置(3)

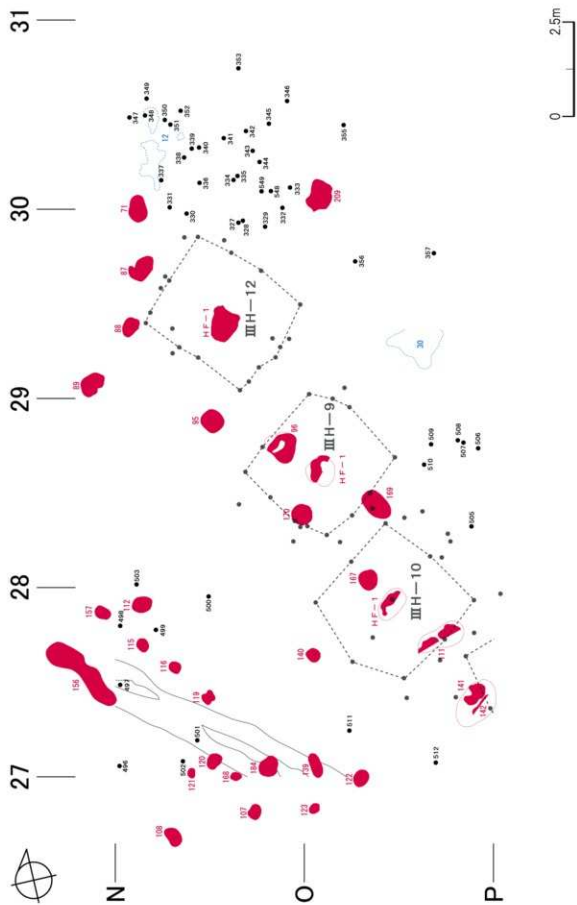


図V-1-17 ⅢSP位置(4)

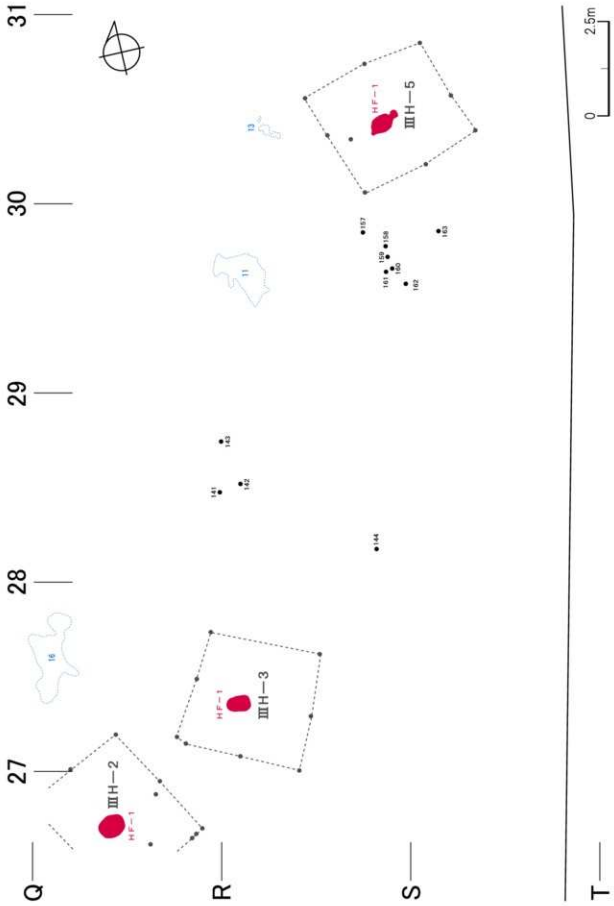




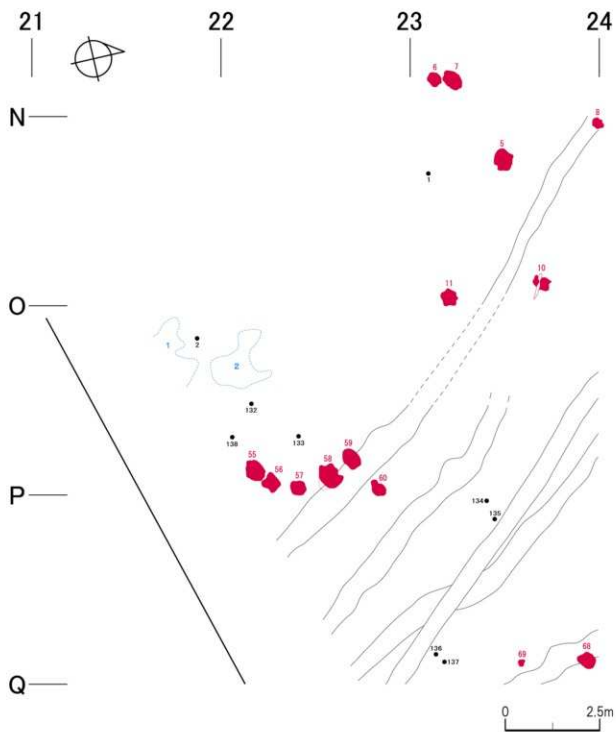
図V-1-18 III SP位置(5)



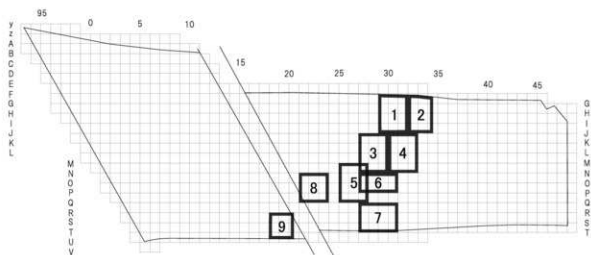
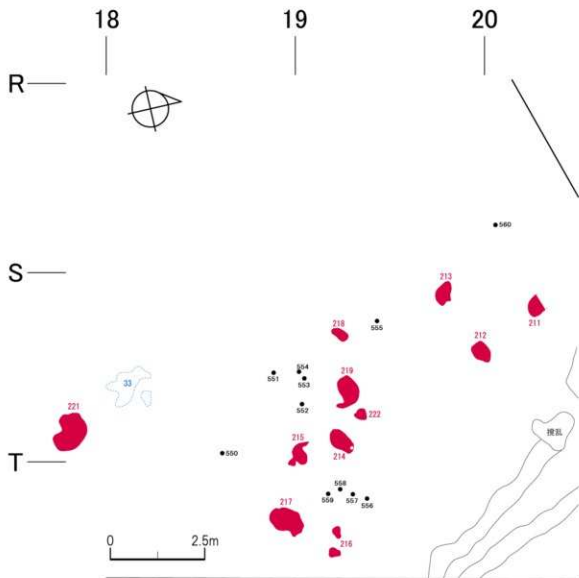
図V-1-19 III SP位置(6)



図V-1-20 III SP位置(7)

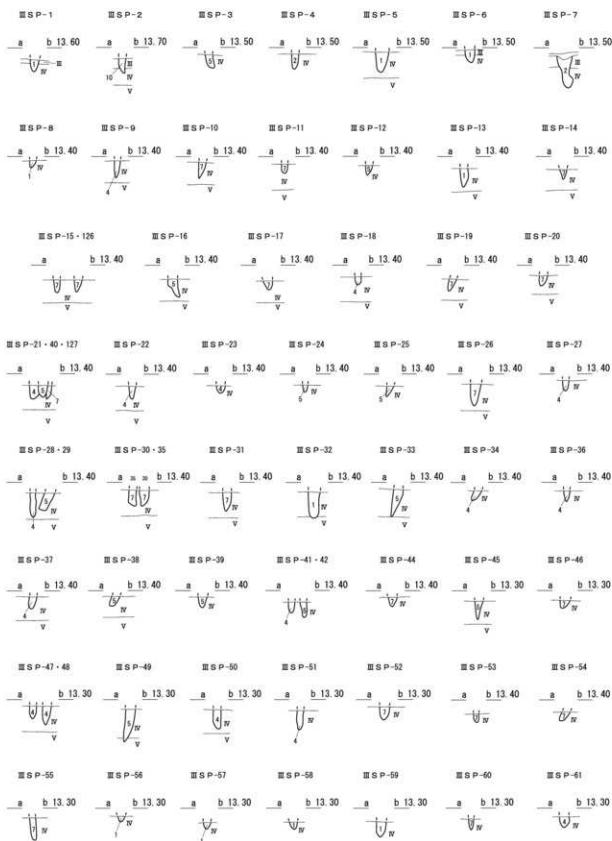


図V-1-21 Ⅲ SP位置(8)



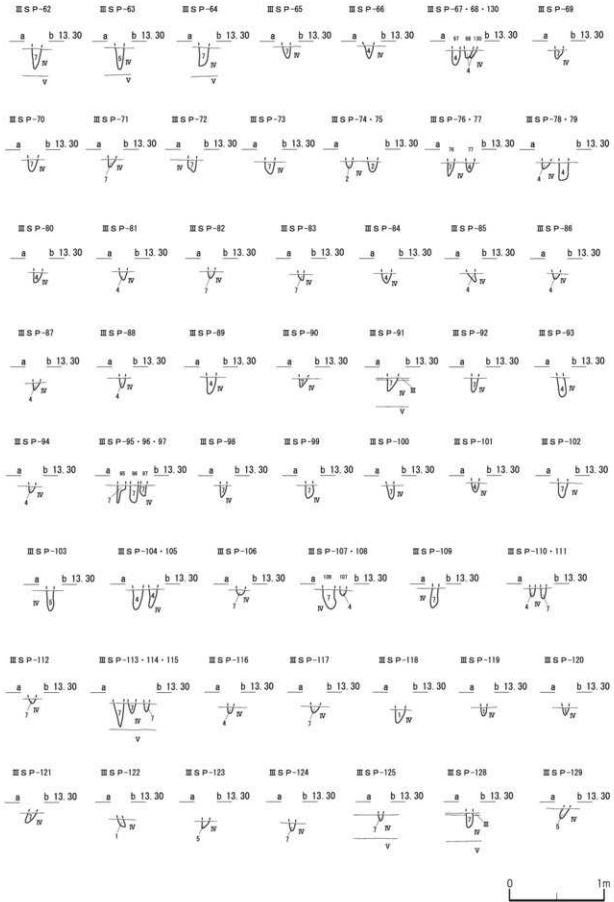
図V-1-22 ⅢSP位置(9)

梅川4 遺跡(3)



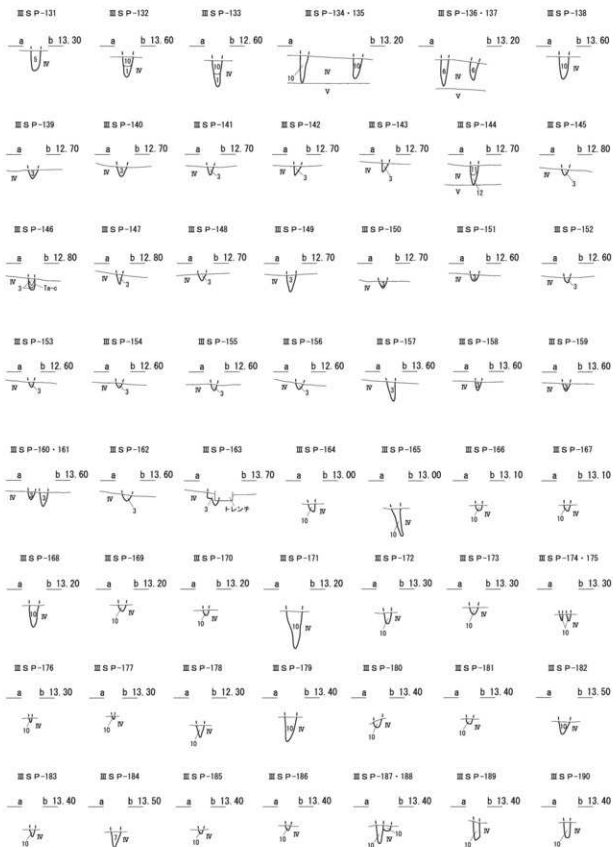
0 1m

図V-1-23 III SP-1~61・126・127断面図



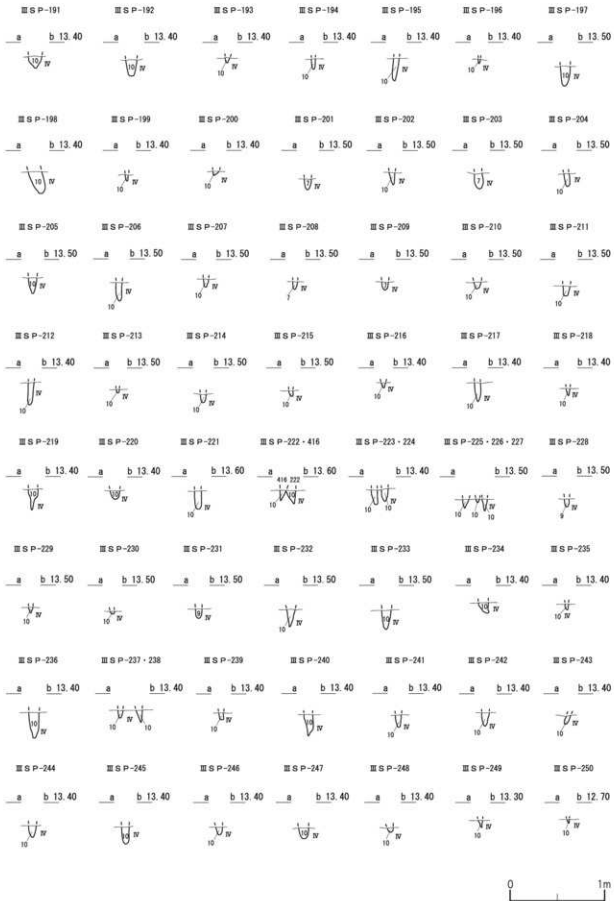
図V-1-24 III SP-62~125・128~130断面図

梅川4 遺跡(3)



図V-1-25 III SP-131~190断面図

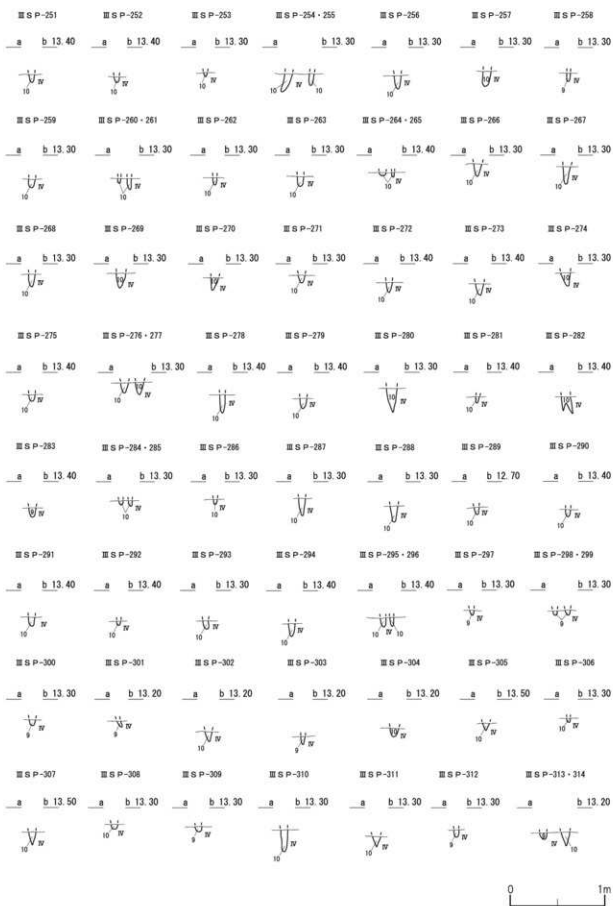




0 1m

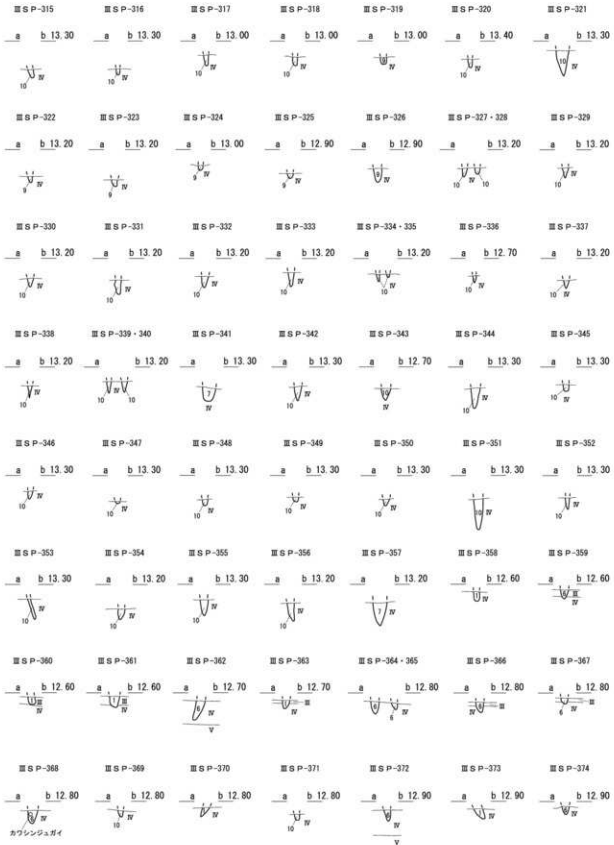
図V-1-26 ⅢSP-191~250・416断面図

梅川4 遺跡(3)



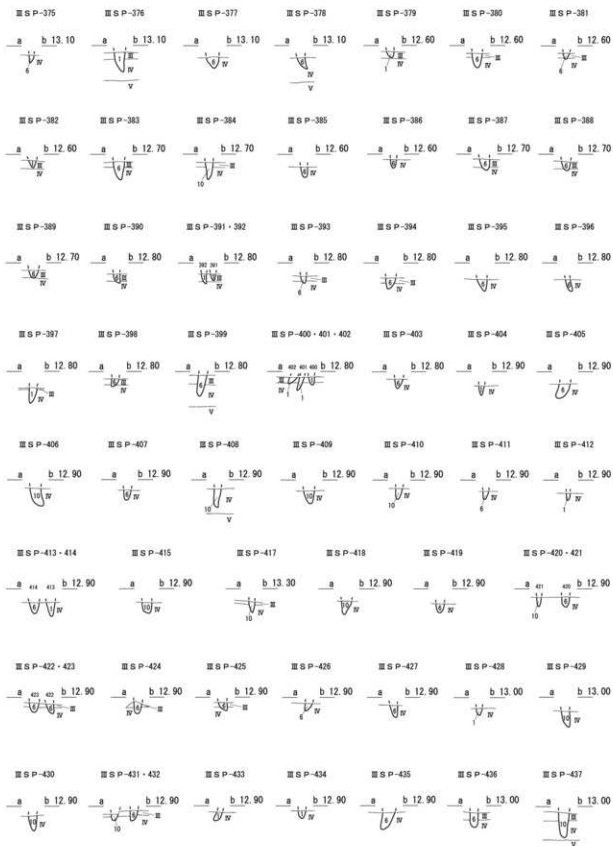
0 1m

図V-1-27 ⅢSP-251~314断面図



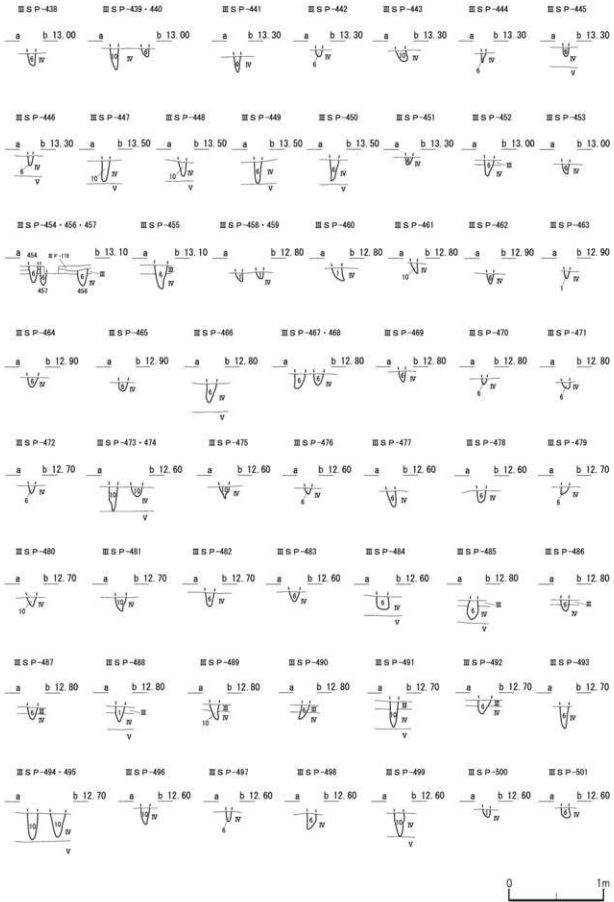
図V-1-28 ⅢSP-315~374断面図

梅川4 遺跡(3)



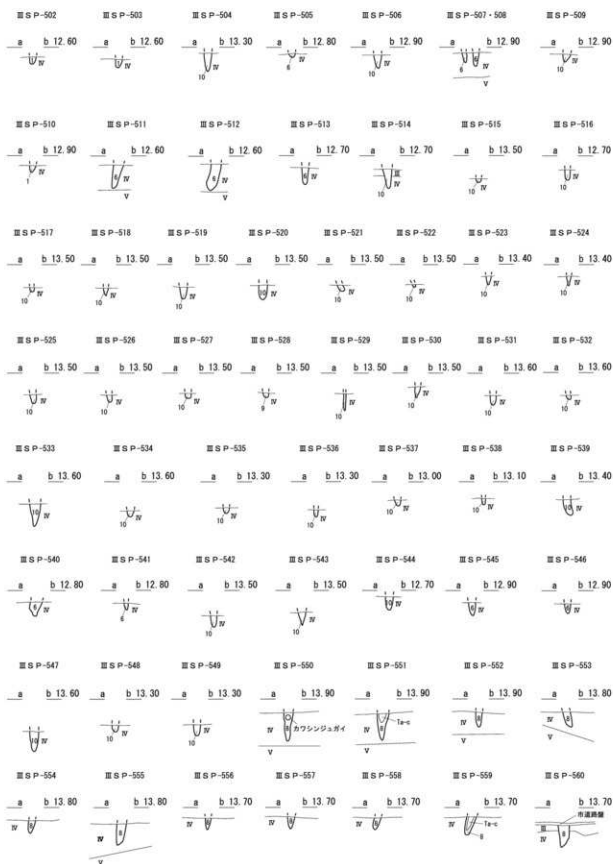
0 1m

図V-1-29 ⅢSP-375~415・417~437断面図



図V-1-30 III SP-438~501断面図

梅川4 遺跡(3)



0 1m

図V-1-31 III SP-502~560断面図

時期は周辺で検出された住居跡と同じく、1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。杭穴同士、あるいは道跡や焼土、貝集中など他の遺構と重複する例が見られることから、複数次にわたって構築された可能性がある。ただし、杭穴の覆土が住居跡の柱穴のものと類似することや、重複する焼土や貝集中の形成面がほぼ同一であることから、この集落が継続していた期間内で、数十年以上の時間幅はないと推測される。(芝田)

### (3) 焼土

#### ⅢF-1~222 (図V-1-32~73/表V-1-3/図版26~30)

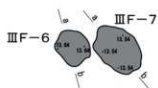
住居跡に伴わない焼土(ⅢF)を222か所検出した。住居跡や杭穴と同様に北西-南東方向に走る沢状地形の内部に広く分布する。いずれもⅢ層上位で検出された。これらの大半は断面でⅢ層土が被熱により漸变的に変化する様子が観察され、検出された現地で形成されている。まれに断面の層界が明瞭で、廃棄による二次堆積と考えられるものも見られる。個々の焼土の規模・形状・形成・特徴などは一覧表にまとめて記した(表V-1-3)。

検出面での平面形はやや歪んだ円形・楕円形が大部分で、隅丸方形や不整形を呈するものが少数ある。輪郭が入組んだ不整形のものは灰の掻き出しなどの攪乱により、本来の形状が失われている可能性がある。規模は長径0.4~0.6mのものが99か所と最も多く、以下0.6~0.8m(49か所)、0.2~0.4m(43か所)と続く。長径0.2m以下の小型のものは4か所と非常に少ない。長径0.8m以上の大型のもの(27か所)は長楕円形あるいは不整形を呈するものが目立つ。ⅢF-156は長径2.29mで最も規模が大きい。層厚は10cm以下のものが大半を占める。断面はレンズ状となるものが多いが、被熱層が3cm以下のごく薄いものは、全体的に層厚がそれほど変化しない。比較的規模が大きく層厚のあるものは、色調が明るい橙褐色で強く焼けている。しかし、小規模で層厚が薄いものは、色調が褐色~暗褐色で被熱が弱い。この差異は焼土が使用された期間の長短によると考えられる。上部に灰層が堆積する焼土は21か所ある。これらの規模や分布に特に偏りは見られないが、ⅢF-113・125・173は同じ道跡の直下より検出されている。他の焼土で明瞭な灰が確認されなかった原因としては、風水など自然作用による流失、人為的な掻き出しなどが推測される。

焼土中よりシカ骨(手根骨・踵骨・脛骨・距骨・橈骨・末節骨・上腕骨など)、魚骨(サケ椎骨)、カワシジユガイ殻皮などが出土した。また、灰または焼土層をサンプリングし、フローテーション法による水洗選別を行ったところ、金属製品、火打石剥片、シカ骨片、魚骨(サケ・コイ)、カワシジユガイ殻皮、マイマイ、雑穀、炭化材などの微細遺物・動物遺存体が得られた(表V-1-9、VI章第5・6節)。

複数の焼土が直線状(ⅢF-34~36、ⅢF-126~128、ⅢF-115・116・119・157、ⅢF-120・122・139・184など)、あるいは弧状(ⅢF-48~51、ⅢF-55~59、ⅢF-71・87~89、ⅢF-79・98~102・134・143・150・199・203・204など)に並ぶ例が確認された。これらは検出面がほぼ同一で、規模や層厚が近似するものが多いことから、同時期に形成されたと推測される。直線状の焼土列は、道跡の付近に多い。道跡と直交するもの(ⅢF-34~36、ⅢF-126~128)と並行するもの(ⅢF-115・116・119・157、ⅢF-120・122・139・184)がある。また、ⅢF-36・126・139のように道跡の直下より検出され、位置が重複するものも認められる。これは調査時に耕作などの攪乱により検出できなかった道跡が他にも存在しており、道跡同士に新旧があるためと考えられる。これらは道跡に関連する何らかの施設と推測されるが、性格は不明である。ⅢF-95・96・169およびⅢH-9・HF-1の4か所、ⅢF-111・141・142・167およびⅢH-10・HF-1の5か所は、それぞれ直線

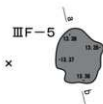
ⅢF-5~8



x

+023a

+023d



ⅢF-9

+025a



+025b

ⅢF-10・11



+P24a

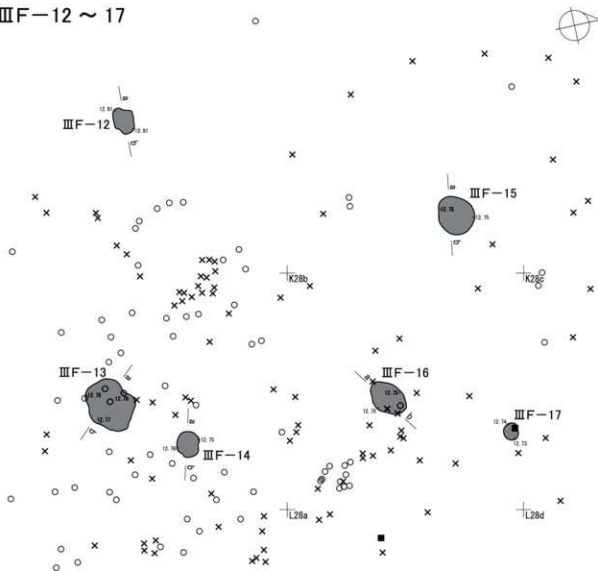
- カワシンジュガイ
- × 骨
- 礎

0 1m

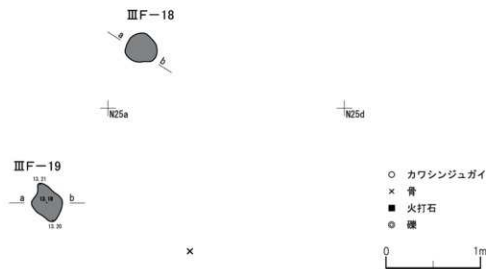
図 V-1-32 ⅢF-5~11平面図



## ⅢF-12 ~ 17

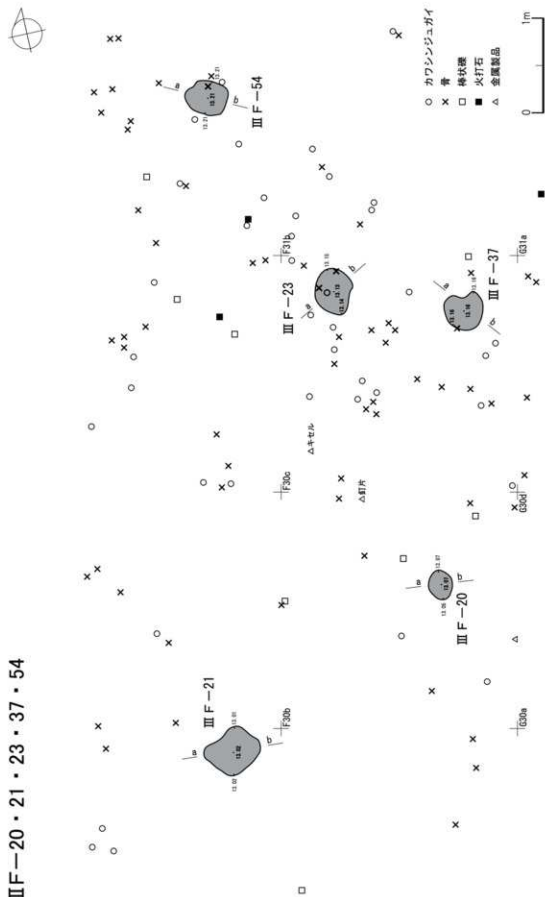


## ⅢF-18・19



図V-1-33 ⅢF-12~19平面図

ⅢF-20・21・23・37・54



図V-1-34 ⅢF-20・21・23・37・54平面図

## ⅢF-22・34～36・44・47

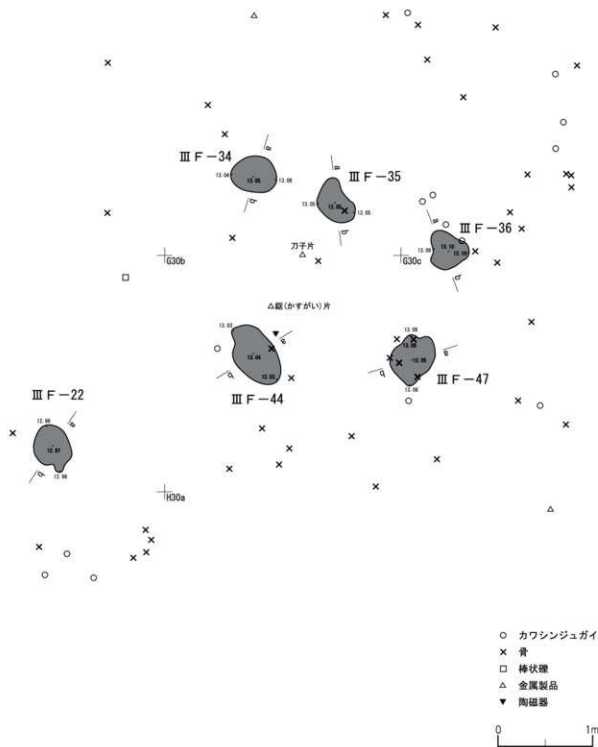
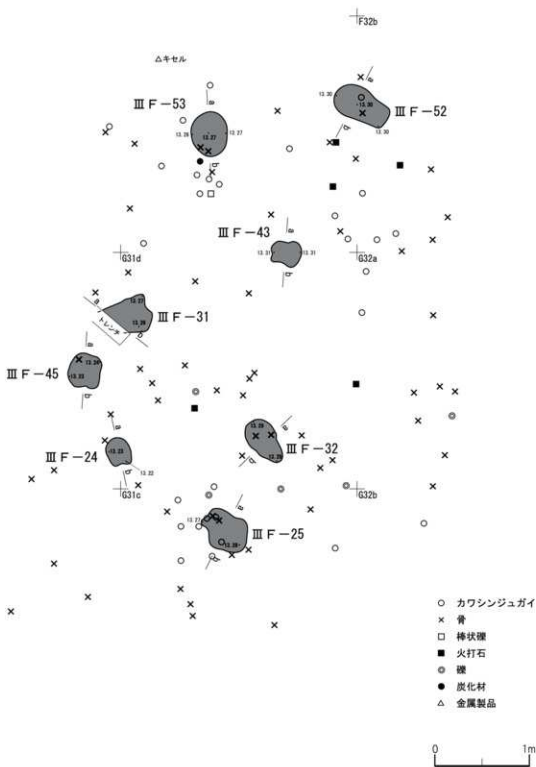


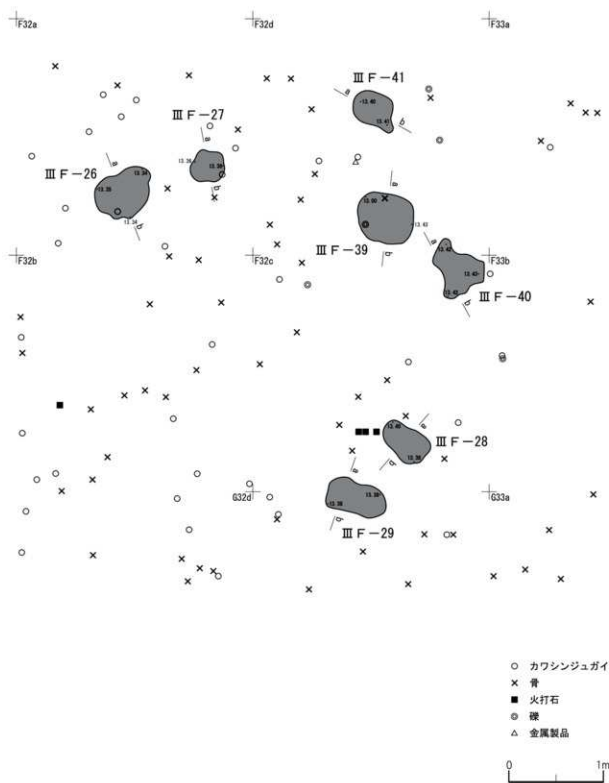
図 V-1-35 ⅢF-22・34～36・44・47平面図

ⅢF-24・25・31・32・43・45・52・53



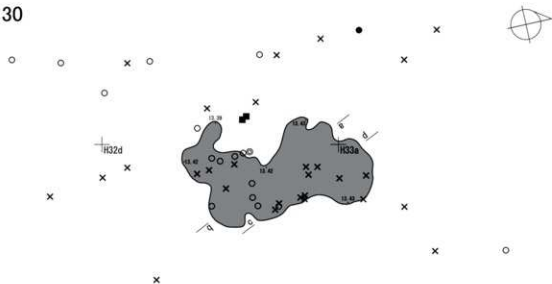
図V-1-36 ⅢF-24・25・31・32・43・45・52・53平面図

## ⅢF-26 ~ 29・39 ~ 41

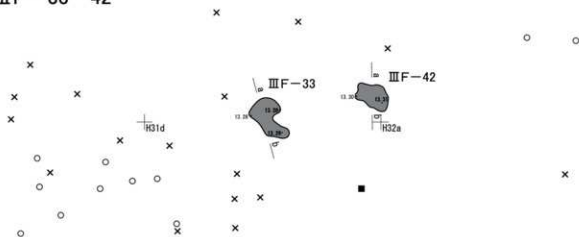


図V-1-37 ⅢF-26~29・39~41平面図

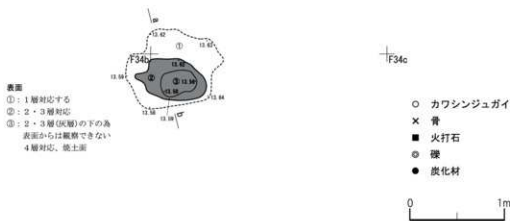
ⅢF-30



ⅢF-33・42

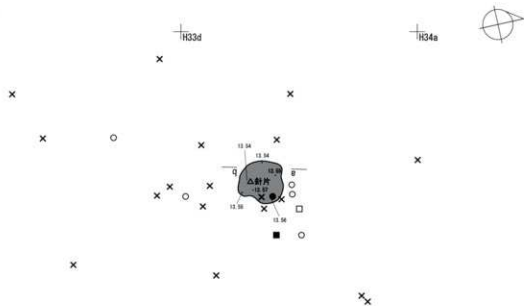


ⅢF-38

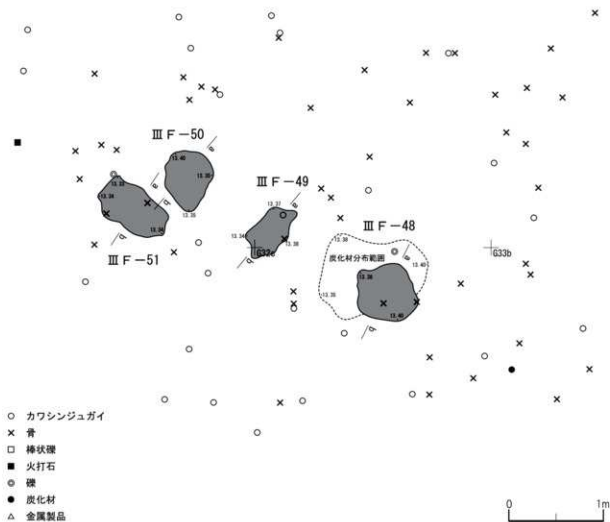


図V-1-38 ⅢF-30・33・38・42平面図

## ⅢF-46

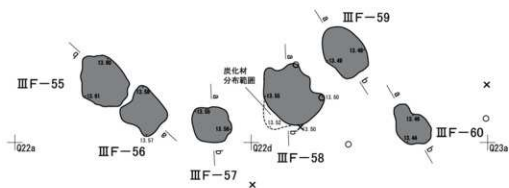


## ⅢF-48~51



図V-1-39 ⅢF-46・48~51平面図

ⅢF-55 ~ 60



ⅢF-61 ~ 64

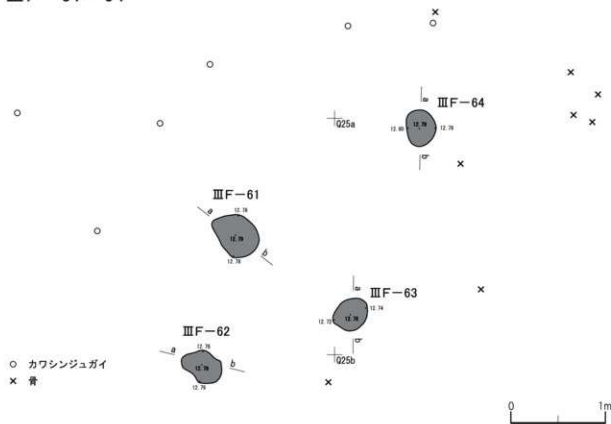
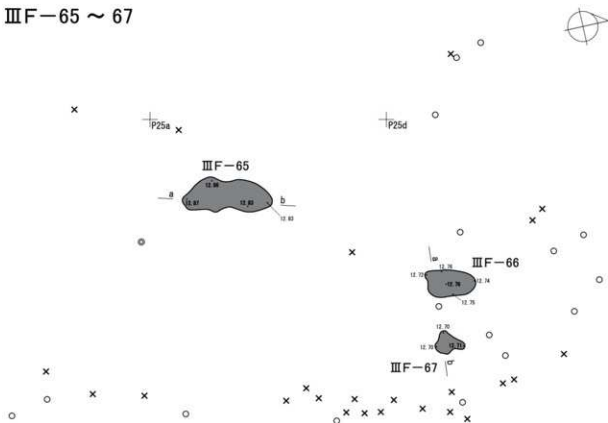


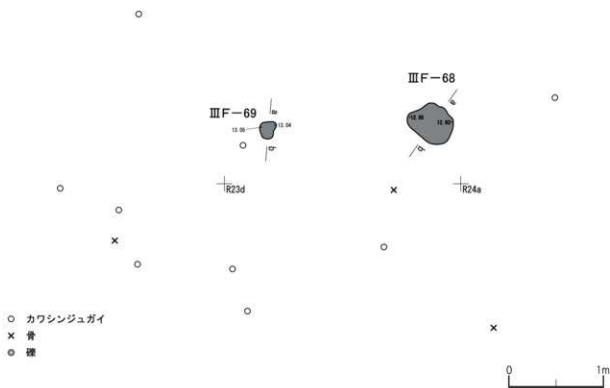
図 V-1-40 Ⅲ F-55~64平面図



## ⅢF-65 ~ 67

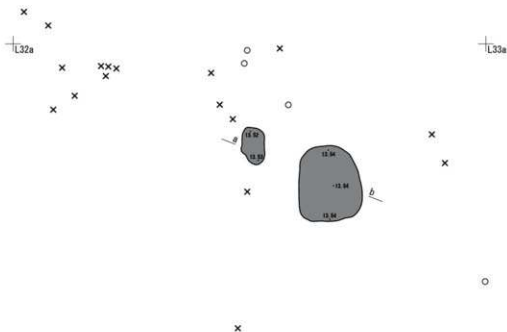


## ⅢF-68・69



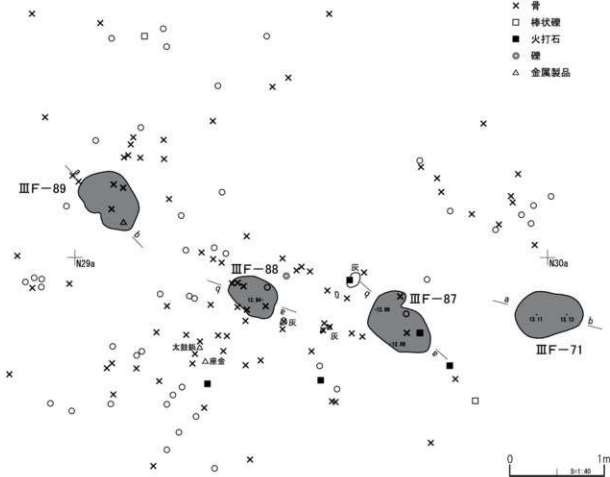
図V-1-41 ⅢF-65~69平面図

ⅢF-70



ⅢF-71・87～89

- カワシシユガイ
- × 骨
- 棒状礫
- 火打石
- ◎ 鏝
- △ 金属製品



図V-1-42 ⅢF-70・71・87～89平面図

## ⅢF-72 ~ 79・199



図V-1-43 ⅢF-72~79・199平面図

ⅢF-80 ~ 83・92 ~ 94・117・118

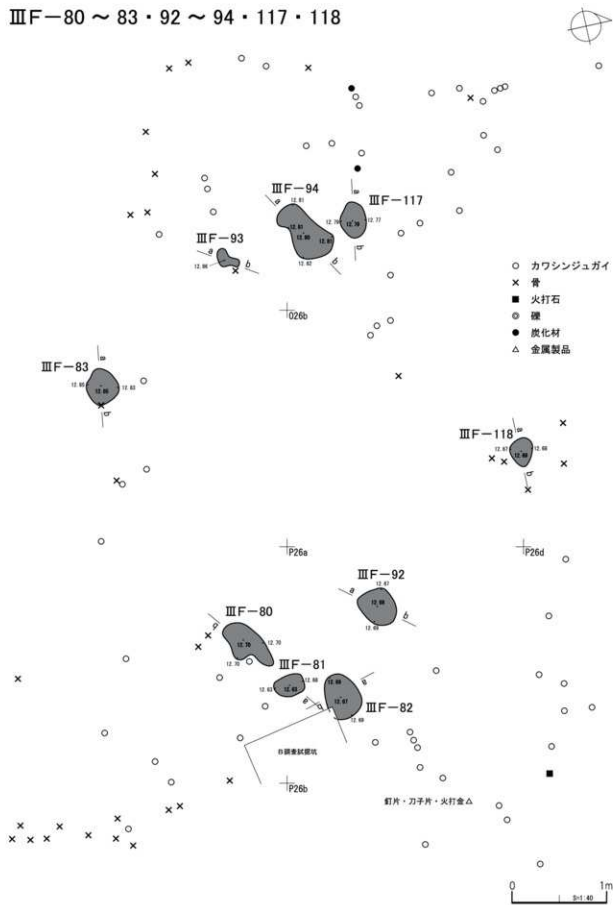
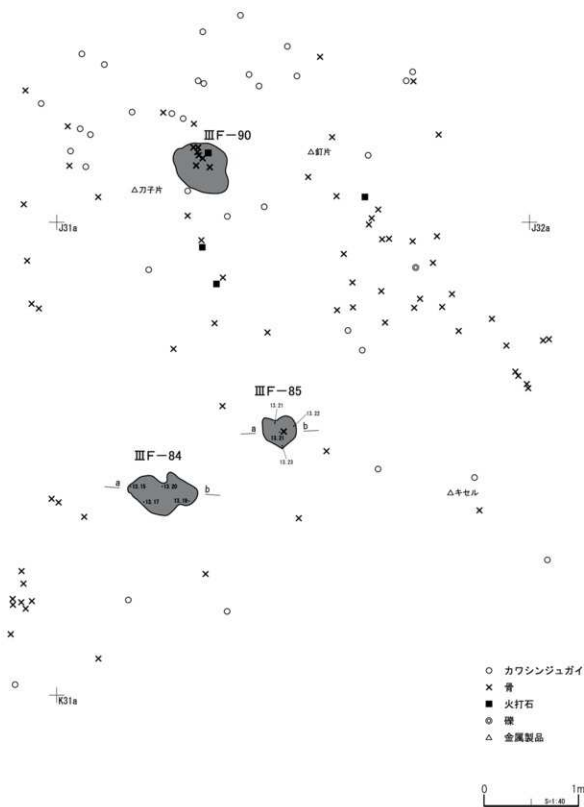


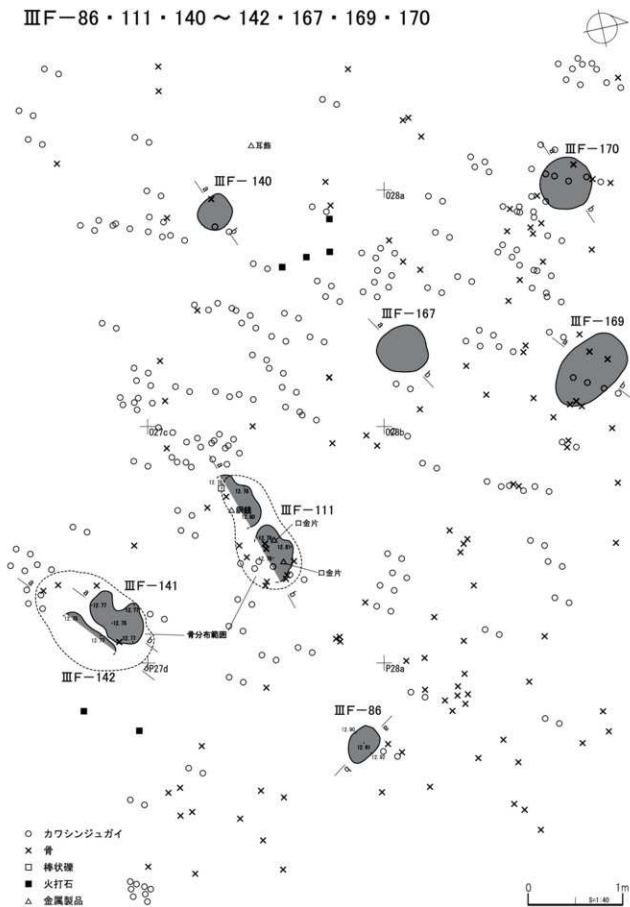
図 V-1-44 ⅢF-80~83・92~94・117・118平面図

## ⅢF-84・85・90



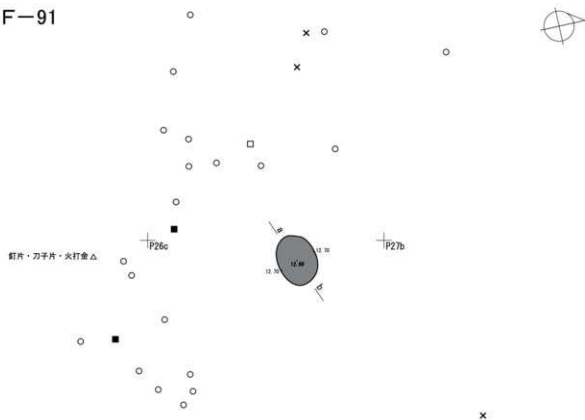
図V-1-45 ⅢF-84・85・90平面図

ⅢF-86・111・140～142・167・169・170

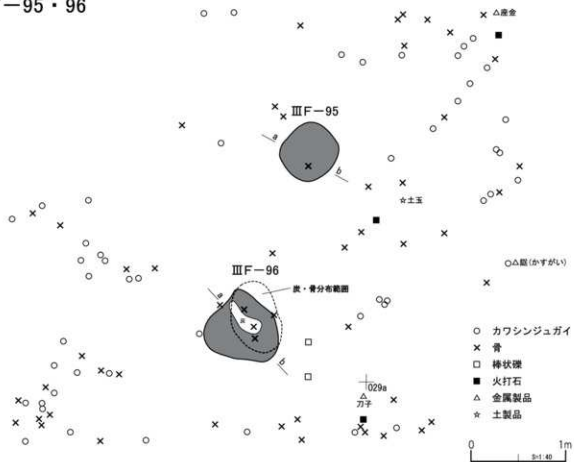


図V-1-46 ⅢF-86・111・140～142・167・169・170平面図

## ⅢF-91

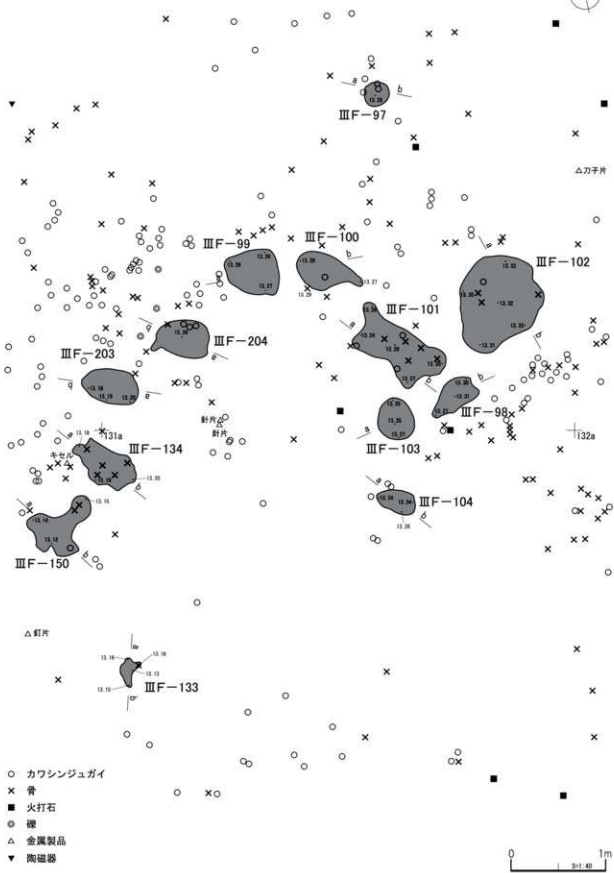


## ⅢF-95・96



図V-1-47 ⅢF-91・95・96平面図

ⅢF-97 ~ 104・133・134・150・203・204



図V-1-48 ⅢF-97~104・133・134・150・203・204平面図



## ⅢF-105～108

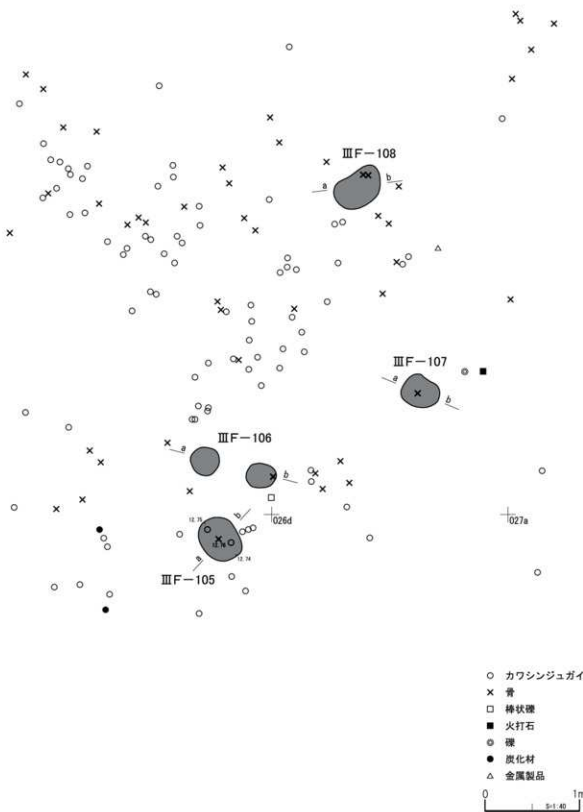
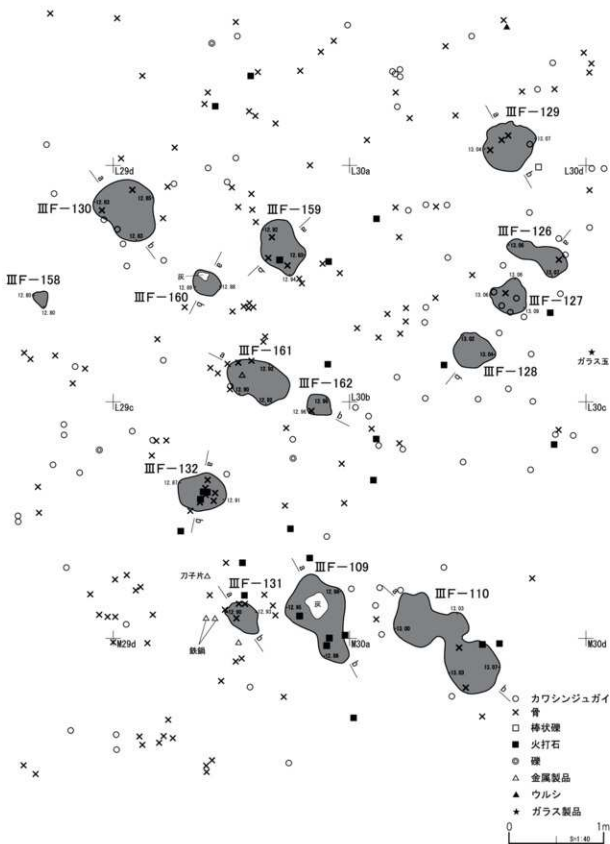


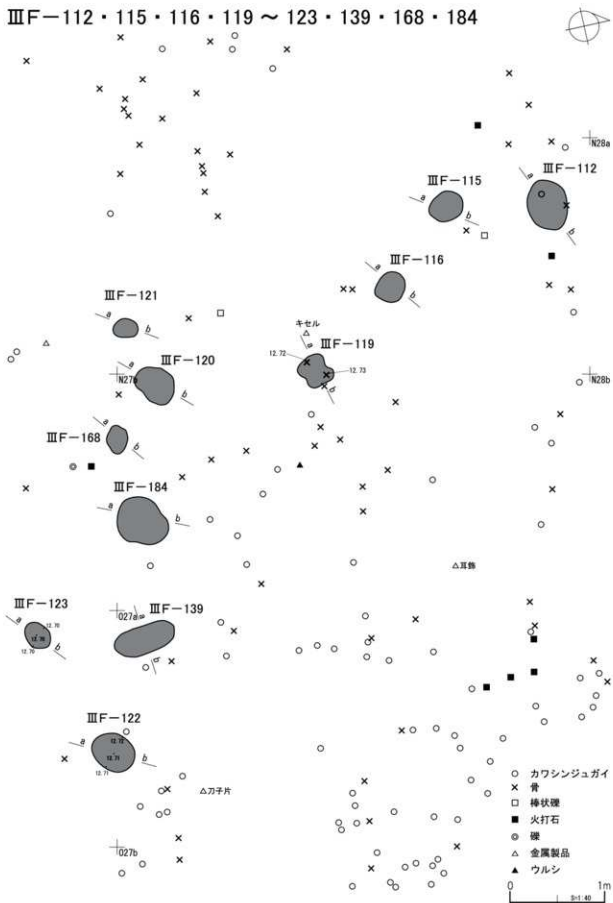
図 V-1-49 ⅢF-105～108平面図

ⅢF-109・110・126～132・158～162



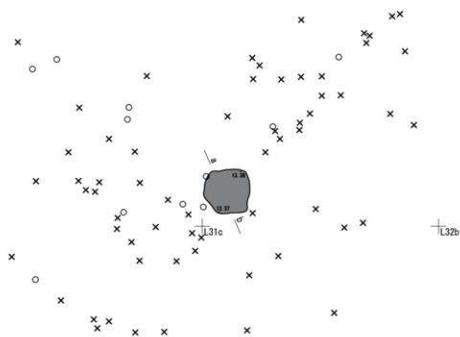
図V-1-50 ⅢF-109・110・126～132・158～162平面図

## ⅢF-112・115・116・119～123・139・168・184

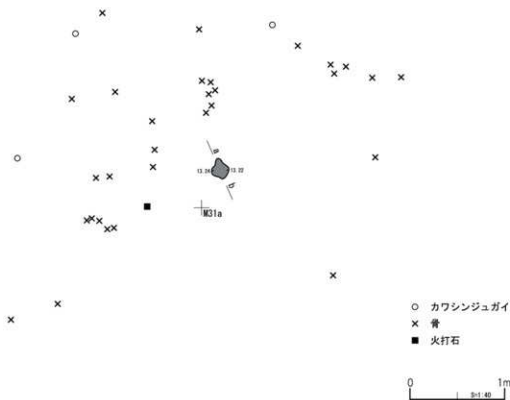


図V-1-51 ⅢF-112・115・116・119～123・139・168・184平面図

ⅢF-113

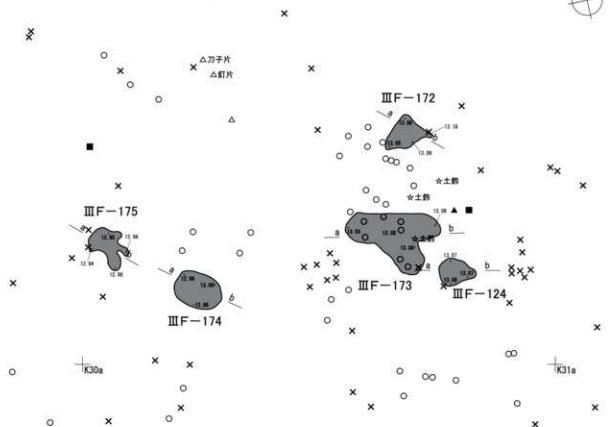


ⅢF-114

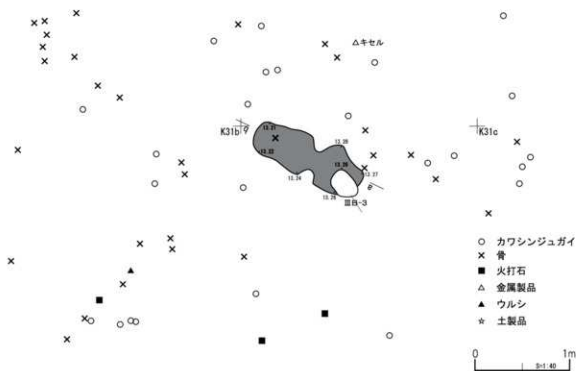


図V-1-52 ⅢF-113・114平面図

## ⅢF-124・172～175

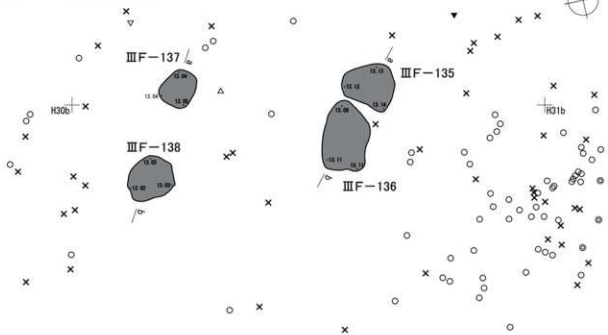


## ⅢF-125

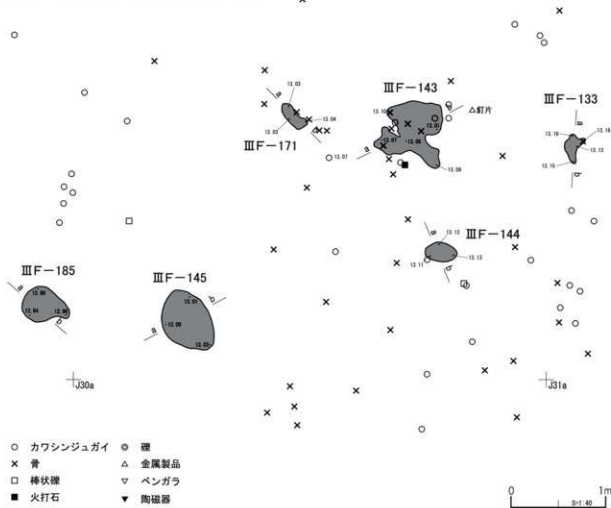


図V-1-53 ⅢF-124・125・172～175平面図

ⅢF-135 ~ 138

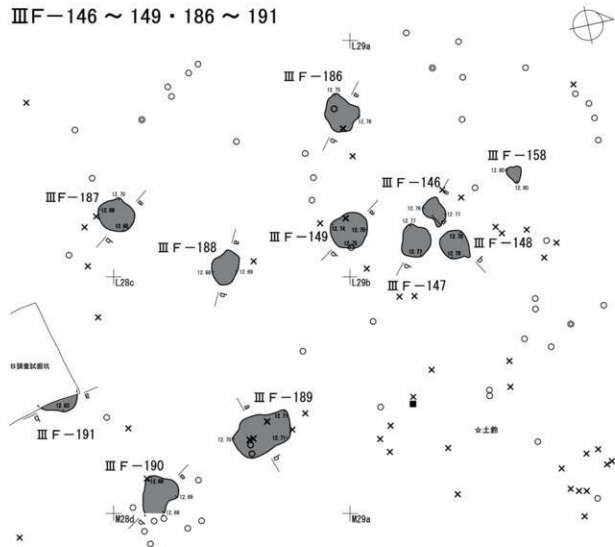


ⅢF-143 ~ 145・171・185

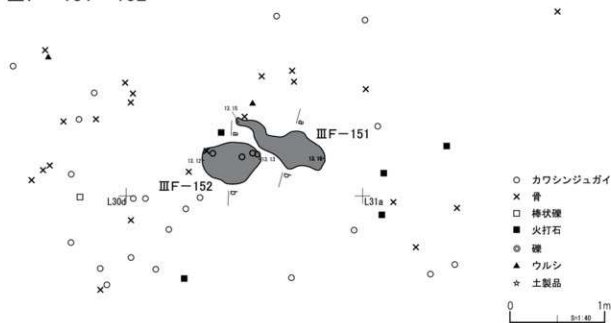


図V-1-54 ⅢF-135~138・143~145・171・185平面図

## ⅢF-146 ~ 149・186 ~ 191

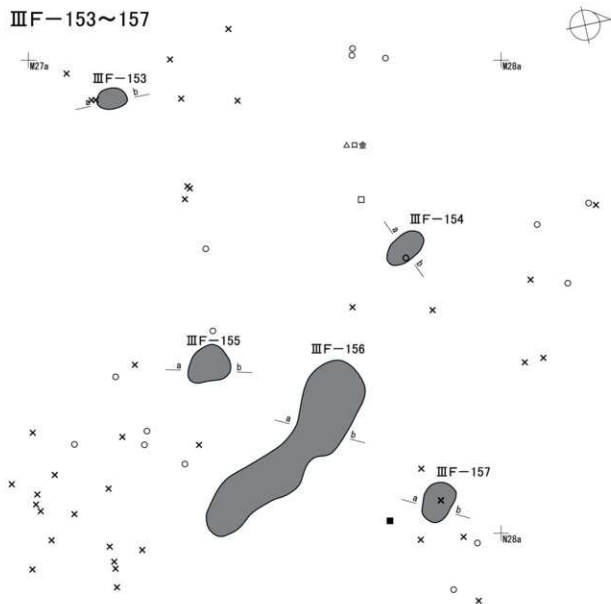


## ⅢF-151・152



図V-1-55 ⅢF-146~149・151・152・186~191平面図

ⅢF-153~157



ⅢF-163 ~ 165

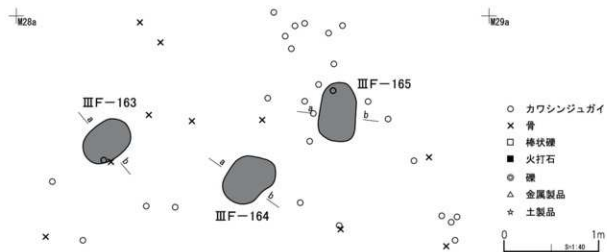


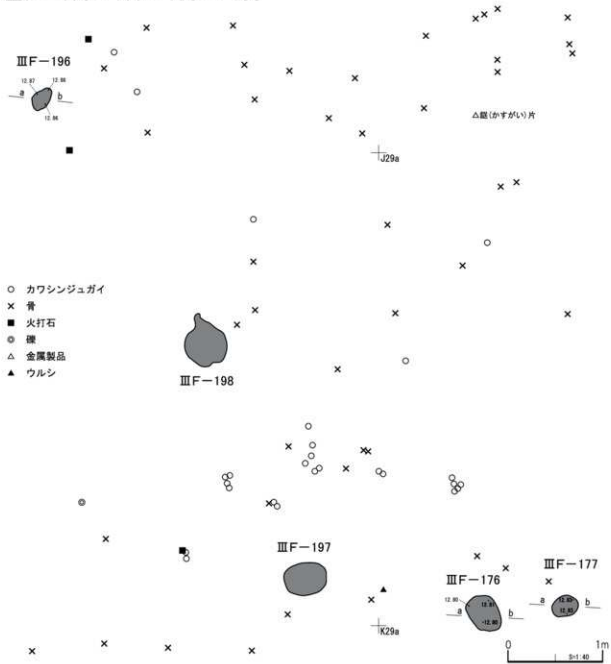
図 V-1-56 ⅢF-153~157・163~165平面図



## ⅢF-166

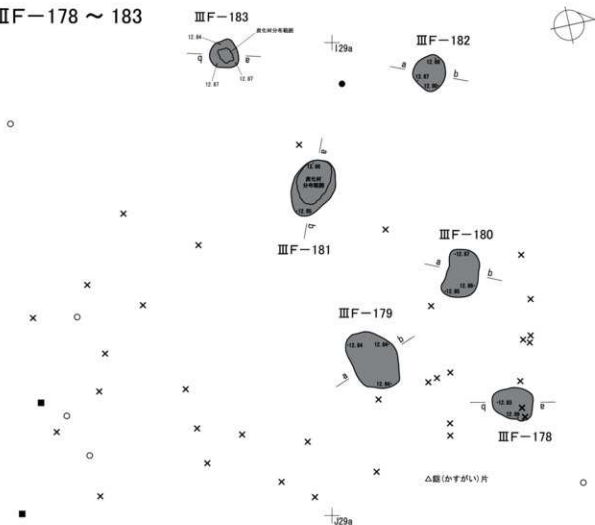


## ⅢF-176・177・196～198

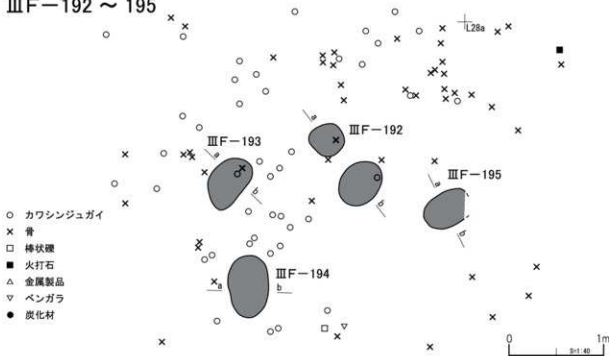


図V-1-57 ⅢF-166・176・177・196～198平面図

ⅢF-178 ~ 183



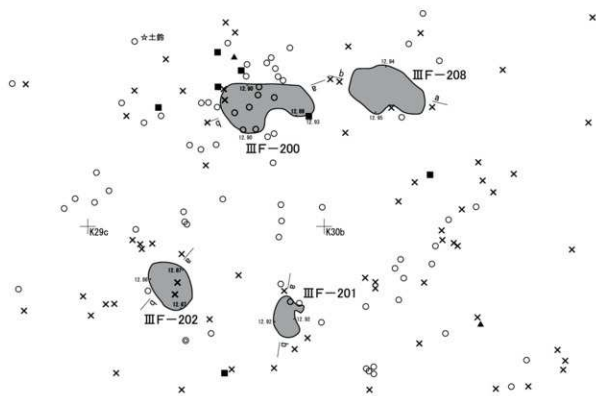
ⅢF-192 ~ 195



- カワシシジュガイ
- × 骨
- 棒状礫
- 火打石
- △ 金属製品
- ▽ ベンガラ
- 炭化材

図 V - 1 - 58 Ⅲ F - 178 ~ 183 · 192 ~ 195 平面図

## ⅢF-200 ~ 202・208



## ⅢF-205 ~ 207

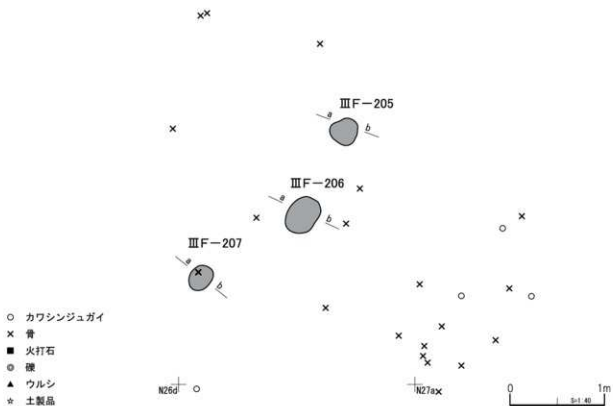
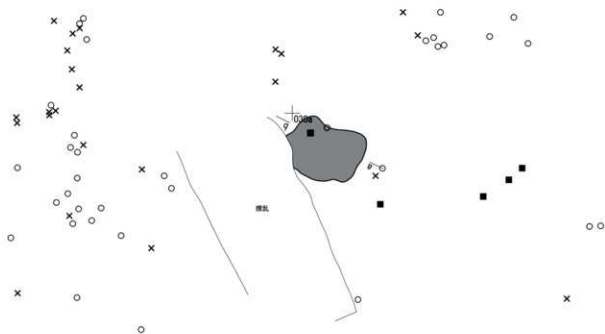
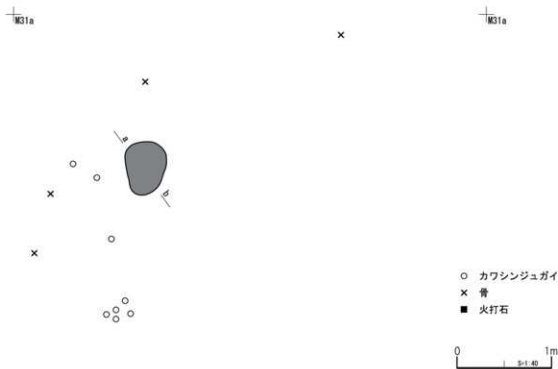


図 V - 1 - 59 ⅢF-200~202・205~208平面図

ⅢF-209

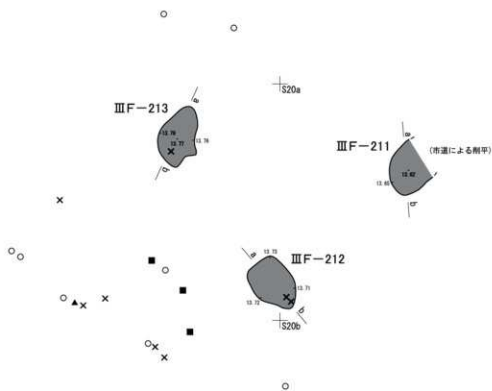


ⅢF-210

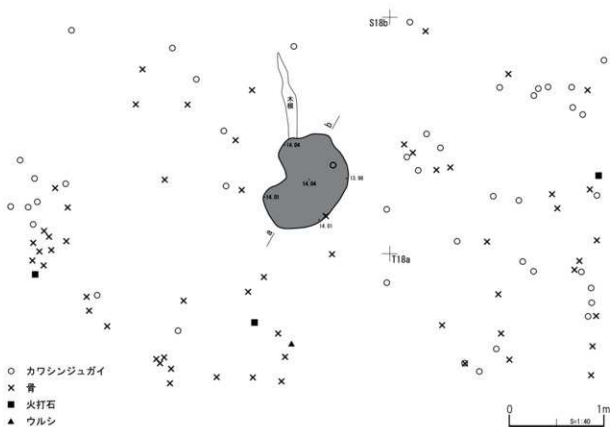


図V-1-60 ⅢF-209・210平面図

## ⅢF-211 ~ 213

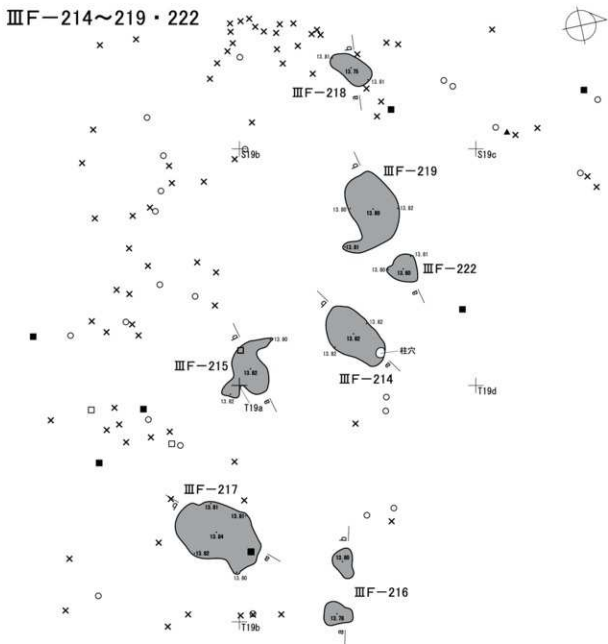


## ⅢF-221



図V-1-61 ⅢF-211~213・221平面図

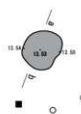
ⅢF-214~219・222



ⅢF-220

- カワシンジュガイ
- x 骨
- 棒状礎
- 火打石
- ▲ ウルシ

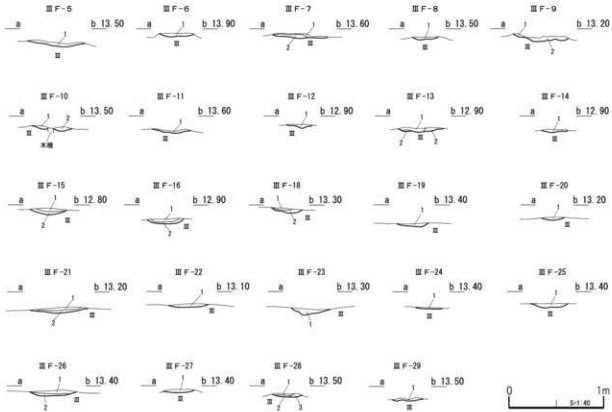
T20c



T21b



図V-1-62 ⅢF-214~220・222平面図



III F-5  
1層: 赤褐色土(SYR4/8) 粘りあり、粘りあり  
※ III層を1回下げた状況で検出  
上面に炭化材・微細骨片を微量含む薄い層がある  
※ 現地

III F-6  
1層: 明赤褐色土(7.SYR5/6)～暗褐色土(7.SYR3/4) 粘りあり、粘りあり、表面に炭化材・微細骨片が微量ある

※ III層で1回下げた状況で検出  
※ 現地

III F-7  
1層: 暗褐色土(7.SYR3/4) 粘りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片多く含む  
2層: 赤褐色土(SYR4/6) 粘りなし、粘りあり  
※ III層を1回下げた状況で検出

III F-8  
1層: 暗褐色土(7.SYR3/4) 粘りあり、粘りあり、表面に炭化材微量あり  
※ III層を1回下げた状況で検出  
※ 現地

III F-9  
1層: 暗褐色土(7.SYR3/4) 粘りあり、粘りあり  
2層: 赤褐色土(SYR4/6) 粘りなし、粘りあり  
表面に微骨と見られる骨片が多くある  
※ III層を1回下げた状況で検出

III F-10  
1層: 暗褐色土(7.SYR2/3) 粘りなし、粘りなし  
2層: 赤褐色土(SYR4/6) 粘りあり、粘りあり  
※ III層を1回下げた状況で検出  
表面に微細骨片を微量含む薄い層がある  
※ 現地

III F-11  
1層: 赤褐色土(SYR4/8) 粘りあり、粘りあり、表面に炭化材微量あり

III F-12  
1層: 褐色土(SYR6/6) 粘りあり、粘りあり、表面に炭化材あり  
※ 現地

III F-13  
1層: 黒色土(SYR1.7/1) 粘りあり、粘りあり  
2層: 明赤褐色土(SYR5/6) 粘りあり、粘りあり  
※ 現地

III F-14  
1層: 明赤褐色土(SYR5/6) 粘りあり、粘りなし  
※ 現地

III F-15  
1層: 黒色土(SYR1.7/1) 粘りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片微量含む  
2層: 褐色土(SYR6/8) 粘りあり、粘りあり  
※ 現地

III F-16  
1層: 黒褐色土(SYR2/1) 粘りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む  
2層: 褐色土(SYR6/6) 粘りあり、粘りなし  
※ 現地

III F-18  
1層: 黒色土(7.SYR1.7/1) 粘りあり、粘りあり、骨を含む  
2層: 暗褐色土(7.SYR3/4) 粘りあり、粘りあり、粘土

III F-19  
1層: 明褐色土(7.SYR5/6) 粘りなし、粘りあり、粘土、やや強く焼けている、炭化材( $\phi \sim 10\text{mm}$ )が少量混じる

III F-20  
1層: 明褐色～黒褐色土(7.SYR5/6～3/1) 粘りなし、粘りあり、粘土、黒炭あり、炭化材( $\phi \sim 5\text{mm}$ )少量混じる

III F-21  
1層: 黒褐色～明褐色土(7.SYR2/1～5/6) 粘りなし、粘りあり、粘土、やや強く焼けている、炭化材・骨片( $\phi \sim 3\text{mm}$ )が混入する

2層: 明褐色土(7.SYR5/6) 粘りあり、粘りなし、粘土、やや強く焼けている、微細な骨片( $\phi \sim 2\text{mm}$ )多量に混じる

III F-22  
1層: 明赤褐色土(SYR5/6) 粘りなし、粘りなし、粘土、黒炭あり、微細な骨片( $\phi \sim 3\text{mm}$ )多量に混じる

III F-23  
1層: 明赤褐色～黒褐色土(SYR5/6～7.SYR2/2) 粘りなし、粘りあり、粘土、黒炭あり、微細な炭化材・骨片( $\phi \sim 2\text{mm}$ )混じる

III F-24  
1層: 明赤褐色土(SYR5/6) 粘りなし、粘りなし  
※ 現地

III F-25  
1層: 明赤褐色土(SYR5/6) 粘りあり、粘りなし  
※ 現地

III F-26  
1層: 黒褐色土(7.SYR2/2) 粘りあり、粘りなし、炭化材( $\phi \sim 5\text{mm}$ )・微細な骨片多量に含む  
炭層

2層: 明赤褐色土(SYR5/6) 粘りあり、粘りあり  
※ 現地

III F-27  
1層: 明赤褐色土(SYR4/6) 粘りあり、粘りなし、表面に微細骨片あり

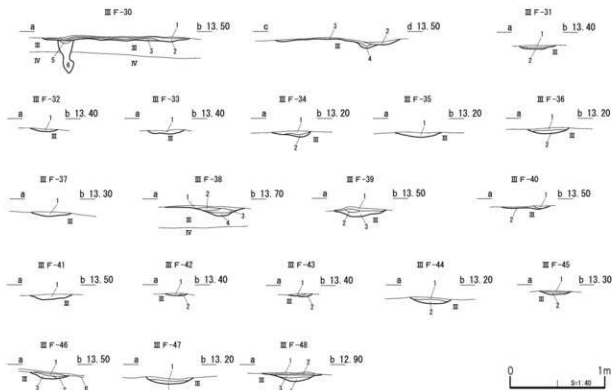
※ 現地

III F-28  
1層: 黒褐色土(7.SYR2/2) 粘りあり、粘りあり、炭化材( $\phi \sim 5\text{mm}$ )少量・微細骨片多く含む

2層: 土に灰・赤褐色土(SYR4/3) 粘りあり、粘りあり  
3層: 明赤褐色土(SYR4/6) 粘りあり、粘りなし  
※ 現地

III F-29  
1層: 明赤褐色土(SYR5/6) 粘りあり、粘りなし  
※ 現地

図 V-1-63 III F-5～29断面図



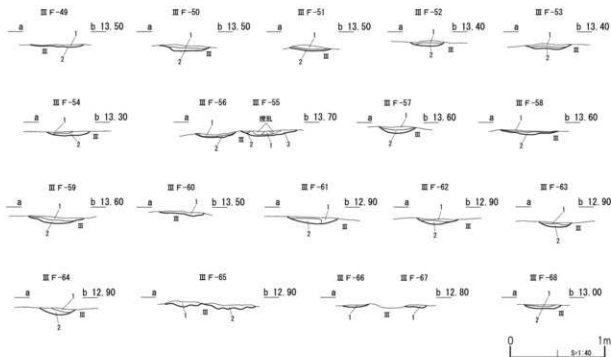
- III F-30**  
 1層: 黒褐色土(7.SY82/2) 粘りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む  
 2層: に近い赤褐色焼土(SY85/4) 粘りあり、粘りあり  
 3層: 灰白色粘土(SY88/2) 炭屑、粘りあり、粘りあり  
 4層: 明赤褐色焼土(SY85/6) 粘りあり、粘りなし  
 5層: 3層+炭化物  
 6層: 黒色土(10YR1.7/1) 粘りなし、粘りあり、  
 III S P-7 覆土  
 ※ 現地
- III F-31**  
 1層: 黒褐色土(7.SY82/2) 粘りなし、粘りあり  
 炭化骨片・炭化材少量含む  
 2層: 明赤褐色焼土(SY85/6) 粘りあり、粘性あり  
 ※ 現地
- III F-32**  
 1層: 明赤褐色焼土(SY85/6) 粘りあり、粘りなし  
 上面に黒褐色土(7.SY82/2)微細骨片・炭化材を含む薄い層がある  
 ※ 現地
- III F-33**  
 1層: 赤褐色焼土(SY84/6) 粘りあり、粘りなし  
 ※ 現地
- III F-34**  
 1層: 黒褐色土(10YR3/1) 粘りなし、粘りあり、  
 腐植土、炭化材・骨片(φ~3mm)多量混じる  
 2層: 明赤褐色土(SY85/6) 粘りなし、粘りなし、  
 焼土、強く焼けている、炭化材(φ~5mm)・  
 白色骨片(φ~2mm)多量混じる
- III F-35**  
 1層: 黒褐色~明褐色土(10YR2/2~7.SY85/6)  
 粘りなし、粘りあり、焼土、黒炭あり  
 炭化材・白色骨片(φ~5mm)多量混じる
- III F-36**  
 1層: 黒褐色土(10YR3/1) 粘りなし、粘りあり、  
 腐植土、炭化材・骨片(φ~3mm)多量混じる  
 2層: 明赤褐色土(SY85/6) 粘りなし、粘りなし、  
 焼土、強く焼けている、炭化材・骨片  
 (φ~3mm)多量混じる

- III F-37**  
 1層: 明褐色~黒褐色土(7.SY5/6~10YR3/2)  
 粘りなし、粘りあり、焼土、黒炭あり、  
 微細な炭化物・骨片(φ~5mm)多量に混じる  
 ※ 現地
- III F-38**  
 1層: 黒褐色土(SY82/1) 粘りあり、粘りあり、  
 炭化材・微細骨片含む  
 2層: 焼灰色粘土(7.SY85/2) 粘りあり、粘りあり、  
 炭屑、炭化材を多く含む、微細骨片含む  
 3層: 明褐色粘土(7.SY82/2) 粘りあり、粘りあり、  
 炭屑、2層と比べて炭化材少ない、  
 微細骨片含む  
 4層: 明褐色土(7.SY85/6) 粘りあり、粘りなし  
 ※ 現地  
 砂の可能性はあるが、柱穴が認めない
- III F-39**  
 1層: 灰褐色粘土(SY84/2) 粘りなし、粘りあり、  
 炭屑、炭化材・微細骨片多量に含む  
 2層: 灰白色粘土(SY86/2) 粘りあり、粘りあり  
 炭屑、微細骨片含む  
 3層: 褐色粘土(SY86/6) 粘りあり、粘りなし  
 ※ 現地
- III F-40**  
 1層: 灰白色粘土(SY88/2) 粘りあり、粘りあり  
 2層: 暗赤褐色焼土(SY85/6) 粘りあり、粘りなし  
 ※ 表面に炭化材・微細骨片あり  
 ※ 現地
- III F-41**  
 1層: 明褐色焼土(SY85/6) 粘りあり、粘りなし  
 ※ 現地
- III F-42**  
 1層: 灰白色粘土(SY88/2) 粘りあり、粘りあり、  
 微細骨片含む  
 2層: 明赤褐色土(SY85/6) 粘りあり、粘りなし  
 ※ 現地
- III F-43**  
 1層: 黒褐色土(7.SY82/2) 炭化材含む  
 2層: 赤褐色土(SY85/6) 粘りあり、粘性なし  
 ※ 現地

- III F-44**  
 1層: 黒褐色土(10YR3/1) 粘りなし、粘りあり、  
 腐植土主体、炭化物・骨片(φ~3mm)多量  
 に混じる  
 2層: 明赤褐色土(SY85/6) 粘りなし、粘りあり、  
 焼土、強く焼けている、炭化物・骨片  
 (φ~3mm)多量に混じる
- III F-45**  
 1層: 黒褐色土(7.SY82/2) 粘りあり、粘りあり  
 微細骨片・炭化材含む  
 2層: 明赤褐色焼土(SY85/6) 粘りあり、粘性あり  
 ※ 現地
- III F-46**  
 1層: 黒褐色土(7.SY82/2) 粘りあり、粘りあり、  
 炭化・微細骨片含む  
 2層: 灰褐色粘土(SY84/2) 粘りあり、粘りあり、  
 炭化材・微細骨片含む  
 3層: 明赤褐色焼土(SY85/6) 粘りあり、粘りあり  
 ※ 調査区東面の観察より、焼土はII期大山沢  
 跡下よりやや前に形成されている  
 ※ 現地
- III F-47**  
 1層: 黒褐色土(7.SY82/1) 粘りなし、粘りあり、  
 腐植土主体、微細な炭化材・骨片(φ~2mm)  
 多量に混じる  
 2層: 明赤褐色土(SY85/6) 粘りなし、粘りあり、  
 焼土、強く焼けている、微細な炭化材・  
 骨片(φ~2mm)多量に混じる
- III F-48**  
 1層: 黒褐色土(7.SY82/2) 炭化材・微細骨片含む  
 2層: に近い赤褐色焼土(SY85/4) 粘りあり、粘りあり  
 3層: 灰白色粘土(SY88/2) 炭屑、粘りあり、粘りあり  
 4層: 褐色粘土(SY86/6) 粘りあり、粘りあり

図V-1-64 III F-30~48断面図





## III F-49

- 1層：黒褐色土(7.5YR2/2) 締りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片・カワシジュガイ含む  
2層：明赤褐色焼土(5YR5/0) ごく薄くある  
※ 燻灰

## III F-50

- 1層：黒褐色土(7.5YR2/2) 締りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む  
2層：明赤褐色焼土(5YR5/0) 締りあり、粘りなし  
※ 現地

## III F-51

- 1層：黒褐色土(7.5YR2/2) 締りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む  
2層：明赤褐色焼土(5YR5/0) ごく薄くある  
※ 現地

## III F-52

- 1層：黒褐色土(10YR3/1) 締りなし、粘りあり、黒層土に灰・炭化材が混入する。大きめの骨片やカワシジュガイが混在する  
2層：明赤褐色土(5YR5/0) 締りなし、粘りあり、焼土、強く焼けている。骨片(φ~3mm)が少量混じる

## III F-53

- 1層：黒褐色土(10YR3/1) 締りなし、粘りあり、黒層土に灰・焼土が混入する。微細な炭化物・骨片(φ~2mm)が多量に混じる  
2層：明赤褐色土(5YR5/0) 締りなし、粘りあり、焼土、やや強く焼けている

## III F-54

- 1層：黒褐色土(10YR2/2) 締りなし、粘りあり、黒層土に灰・焼土が混在する。微細な炭化材・骨片(φ~3mm)が多量に混じる  
2層：明赤褐色土(5YR5/0) 締りなし、粘りなし、焼土、強く焼けている。骨片(φ~3mm)が少量混じる

## III F-55

- 1層：暗褐色土(7.5YR2/3) 締りなし、粘りあり、炭化材(~5%)・微細骨片(~1%)含む  
2層：ふいね粘土(反層、粘りあり、粘りあり)  
3層：赤褐色焼土(5YR4/6) 締りあり、粘りあり  
※ 現地  
表面に炭化材・微細骨片あり

## III F-56

- 1層：暗褐色土(7.5YR2/3) 締りなし、粘りあり、炭化材(~5%)・微細骨片(~1%)含む  
2層：赤褐色焼土(5YR4/6) 締りあり、粘りなし  
※ 現地  
表面に炭化材・微細骨片あり

## III F-57

- 1層：黒褐色土(5YR2/1) 締りあり、粘りあり、炭化材(~1%)・微細骨片(~1%)含む  
2層：明赤褐色土(5YR4/6) 締りあり、粘りなし  
※ 現地  
表面に炭化材・微細骨片あり

## III F-58

- 1層：黒褐色土(5YR2/2) 締りあり、粘りあり、炭化材(~5%)・微細骨片(~1%)含む  
2層：赤褐色焼土(5YR4/6) 締りあり、粘りなし  
※ 現地  
表面に炭化材・微細骨片・カワシジュガイ

## III F-59

- 1層：黒褐色土(5YR2/2) 締りあり、粘りあり、炭化材(~5%)・微細骨片(~1%)含む  
2層：赤褐色焼土(5YR4/6) 締りあり、粘りなし  
※ 現地  
表面に炭化材・微細骨片あり

## III F-60

- 1層：黒褐色土(5YR2/1) 締りあり、粘りあり、明赤褐色土(5YR4/6)ブロック・炭化材含む  
※ 燻灰  
表面に炭化材・微細骨片あり

## III F-61

- 1層：黒褐色土(10YR3/2) 締りなし、粘りあり、黒層土に焼土が混在する 骨片(φ~2mm)が少量混じる  
2層：黄褐色土(10YR5/6) 締りなし、粘りあり、焼土、やや強く焼けている

## III F-62

- 1層：黒褐色土(10YR3/1) 締りなし、粘りあり、黒層土に焼土が混在する 炭化材(φ~10mm)・骨片(φ~2mm)が多量に混入する  
2層：明褐色土(7.5YR5/6) 締りなし、粘りあり、焼土、強く焼けている。骨片(φ~2mm)が少量混じる

## III F-63

- 1層：黒褐色土(10YR3/2) 締りなし、粘りあり、黒層土に焼土が混在する 炭化材(φ~5mm)が少量混じる  
2層：褐色土(10YR4/6) 締りなし、粘りあり、焼土、骨片(φ~3mm)が少量混じる

## III F-64

- 1層：黒褐色土(10YR3/2) 締りなし、粘りあり、黒層土に焼土が混在する 炭化材(φ~3mm)が少量混じる  
2層：褐色土(10YR4/6) 締りなし、粘りあり、焼土、骨片(φ~2mm)が少量混じる

## III F-65

- 1層：褐色焼土(7.5YR4/6) 締りあり、粘りあり  
2層：暗褐色土(7.5YR3/4) 締りあり、粘りあり  
※ 表面に炭化材・微細骨片を微量含む薄層がある  
黒層土を1回下げた所から検出  
2つの焼土であった可能性がある  
※ 現地

## III F-66

- 1層：暗赤褐色土(5YR3/6) 締りあり、粘りあり

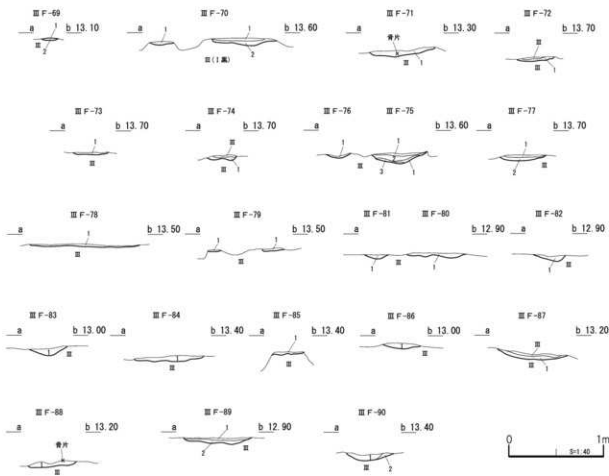
## III F-67

- 1層：暗赤褐色土(5YR2/4) 締りあり、粘りあり  
※ 黒層土1回下げた状況で検出  
※ 現地

## III F-68

- 1層：黒褐色土(7.5YR2/2) 締りあり、粘りあり、炭化材(φ~5%)・微細骨片含む  
2層：明赤褐色土(5YR5/6) 締りあり、粘りなし  
※ 現地

図V-1-65 III F-49~68断面図



**III F-69**  
 1層: 黒色土(3YR1/7)I 粘りあり、粘りあり、炭化材(φ~1%)・微細骨片微量含む  
 2層: 赤褐色土(5YR4/6) 粘りあり、粘りなし 沼 現地

**III F-70**  
 1層: 暗赤褐色土(5YR5/3) 粘りなし、粘りあり、微細骨片1%混じる  
 2層: 褐色土(5YR6/8) 粘りなし、粘りなし

**III F-71**  
 1層: 明褐色土(7.5YR5/7) 粘りなし、粘りあり、微細骨片微量に混じる

**III F-72**  
 1層: 明赤褐色土(5YR5/6) 粘りあり、粘りあり、微細骨片5%混じる

**III F-73**  
 1層: 黒褐色土(10YR3/1)基調に少し褐色土(7.5YR5/4)20%混状に混じる。粘りなし、粘りなし、微細骨片1%混じる

**III F-74**  
 1層: 明赤褐色土(5YR5/6) 粘りあり、粘りあり、微細骨片2%混じる

**III F-75**  
 1層: 浅黄褐色土(7.5YR5/3) 粘りあり、粘りあり  
 2層: 明褐色土(7.5YR5/6) 粘りあり、粘りあり、微細骨片1~3%混じる  
 3層: 褐色土(10Y2/1) 粘りあり、粘りあり

**III F-76**  
 1層: 黒褐色土(10YR3/1)50%+黄褐色土(10YR5/6) 50%が混状に混じる。粘りあり、粘りあり、微細骨片1~3%混じる

**III F-77**  
 1層: 黒褐色土(10YR3/1)I 基調+褐色土(7.5YR6/8)20%混状に混じる。粘りあり、粘りあり  
 2層: 褐色土(7.5YR6/8) 黒褐色土わずかに混じる。粘りあり、粘りあり、微細骨片1~3%混じる

**III F-78**  
 1層: 黒褐色土(10YR3/1)I 基調+褐色土(7.5YR6/8)40%混状に混じる。粘りなし、粘りなし、骨片(φ~2mm)が少量混じる(大小様々不規則)、炭5%混じる

**III F-79**  
 1層: 明褐色土(7.5YR5/3) 粘りなし、粘りなし、黒層に60%混状に混ざる、炭がわずかに混じる

**III F-80**  
 1層: 黄褐色土(10YR5/6) 粘りなし、粘りあり、粘土、やや強く焼けている、炭化材(φ~5mm)・骨片(φ~5mm)・骨片(φ~2mm)が少量混じる

**III F-81**  
 1層: 褐色土(10YR4/4) 粘りなし、粘りあり、粘土、強く焼けている、炭化材・骨片が微量に混じる

**III F-82**  
 1層: 黄褐色土(10YR5/6) 粘りなし、粘りあり、粘土、やや強く焼けている、炭化材(φ~5mm)・骨片(φ~2mm)が少量混じる

**III F-83**  
 1層: 黄褐色土(10YR5/6) 粘りなし、粘りなし、粘土、やや強く焼けている、黒皮あり、炭化材(φ~10mm)・白色骨片(φ~5mm)が少量混じる

**III F-84**  
 1層: 黒褐色土(3YR2/1)基調+褐色土(5YR6/8) 40%混状に混じる。粘りなし、粘りなし、微細骨片わずかに(1%未満)混じる。炭2%混じる

**III F-85**  
 1層: 明赤褐色土(5YR5/3) 粘りなし、粘りなし、炭数値(1%未満)混じる

**III F-86**  
 1層: 黄褐色土(10YR5/6) 粘りなし、粘りあり、粘土、やや強く焼けている、炭化材(φ~3mm)・骨片(φ~2mm)が少量混じる

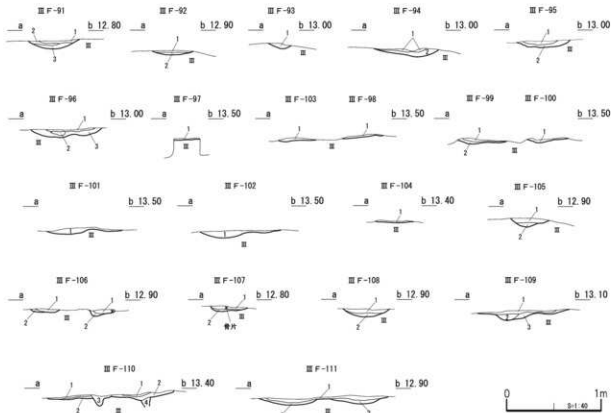
**III F-87**  
 1層: 褐色土(5YR6/8) 粘りなし、粘りなし、微細骨片1~3%混じる

**III F-88**  
 1層: 明赤褐色土(5YR5/6) 粘りあり、粘りあり、微細骨片わずかに(1%未満)混じる

**III F-89**  
 1層: 黒色土(7.5YR1/7)I 粘りなし、粘りあり、骨を含む  
 2層: 暗褐色土(7.5YR3/2) 粘りなし、粘りあり、粘土

**III F-90**  
 1層: 褐色土(5YR6/8) 粘りなし、粘りなし、微細骨片わずかに(1%未満)混入  
 2層: 浅黄褐色土(7.5YR5/4) 粘りなし、粘りなし、微細骨片20%混入

図V-1-66 III F-69~90断面図



## III F-91

- 1層: 黒褐色土(10YR2/2) 締りなし、粘りあり、汚れた灰、炭化材( $\phi \sim 3\text{mm}$ )・白色骨片( $\phi \sim 2\text{mm}$ )が混む
- 2層: 灰白色土(10YR8/2) 締りなし、粘りあり、灰、1とおなじ炭化材・骨片がびっしりと混入する
- 3層: 黄褐色土(10YR5/3) 締りなし、粘りあり、粘土、強く塊けている、骨片( $\phi \sim 2\text{mm}$ )が微量に混じる

## III F-92

- 1層: 黒褐色土(10YR2/2) 締りなし、粘りあり、面層上に粘土が斑状に分布する、白色骨片( $\phi \sim 2\text{mm}$ )が多量に混じる
- 2層: 褐色土(10YR4/6) 締りなし、粘りなし、弱い粘土、面層上の黒炭あり、骨片( $\phi \sim 2\text{mm}$ )が微量に混じる

## III F-93

- 1層: 褐色土(10YR4/6) 締りなし、粘りなし、粘土、弱く塊けている、黒炭あり、炭化材( $\phi \sim 10\text{mm}$ )を上部に伴う、骨片( $\phi \sim 2\text{mm}$ )が微量に混じる

## III F-94

- 1層: 黒褐色土(10YR2/2) 締りなし、粘りあり、汚れた灰、ねっとりしている、炭化材( $\phi \sim 5\text{mm}$ )・骨片( $\phi \sim 2\text{mm}$ )が多量に混じる
- 2層: 黄褐色土(10YR5/3) 締りなし、粘りあり、粘土、強く塊けている、黒炭あり、骨片( $\phi \sim 2\text{mm}$ )が少量混じる

## III F-95

- 1層: 黒色土(7.5Y1.7/1) 締りあり、粘りあり、炭・骨・灰・7 $\times$ 6を少量含む
- 2層: 暗褐色土(7.5YR3/4) 締りあり、粘りあり、粘土

## III F-96

- 1層: 黒色土(7.5Y1.7/1) 締りあり、粘りあり、炭・骨・灰混む
- 2層: 灰褐色土(7.5YR4/2) 締りあり、粘りあり、白い灰層、粘土のような粘り
- 3層: 褐色土(7.5YR4/3) 締りなし、粘りあり、粘土

## III F-97

- 1層: 褐色土(7.5YR6/3) 締りなし、粘りなし、炭・骨片微量に混じる

## III F-98

- 1層: に近い赤褐色土(5YR5/3) 締りなし、粘りなし

## III F-103

- 1層: 3層黒褐色土(7.5YR3/1)+褐色土(7.5YR6/3) 40%混状に混じる、粘りあり、粘りなし、微細骨片(3%)混じる

## III F-99

- 1層: 3層(7.5YR3/1)+褐色土(7.5YR6/3)30%混状に混じる、粘りなし、粘りなし
- 2層: 褐色土(7.5YR6/3) 締りなし、粘りなし、微細骨片わずかに(1%未満)混入

## III F-100

- 1層: 3層(7.5YR3/1)+褐色土(7.5YR6/3) 50%混状に混じる、粘りなし、粘りなし、微細骨片わずかに(1%未満)混入

## III F-101

- 1層: 褐色土(7.5YR6/3) 締りなし、粘りなし、炭骨片わずかに微量混じる

## III F-102

- 1層: 褐色土(7.5YR6/3) 締りなし、粘りなし、微細骨片わずかに(1%未満)混入

## III F-104

- 1層: 3層黒褐色土(7.5YR3/1)+褐色土(7.5YR6/3)30%混状に混じる、粘りなし、粘りなし、微細骨片わずかに(1%未満)混じる、炭微量に混じる

## III F-105

- 1層: 黒褐色土(10YR2/1) 締りなし、粘りあり、3層土に炭、炭化材( $\phi \sim 5\text{mm}$ )・白色骨片( $\phi \sim 2\text{mm}$ )が多量に混じる
- 2層: 黄褐色土(10YR5/3) 締りなし、粘りなし、粘土、やや強く塊けている、炭化材( $\phi \sim 2\text{mm}$ )が微量に混じる

## III F-106

- 1層: 黒色土(7.5YR2/1) 締りあり、粘りあり、骨を含む
- 2層: 褐色土(7.5YR4/3) 締りあり、粘りあり、粘土

## III F-107

- 1層: 黒色土(7.5YR1.7/1) 締りあり、粘りあり、骨を含む
- 2層: 褐色土(7.5YR4/3) 締りあり、粘りあり、粘土

## III F-108

- 1層: 黒色土(7.5YR1.7/1) 締りあり、粘りあり、骨を含む
- 2層: 暗褐色土(7.5YR4/4) 締りあり、粘りあり、粘土

## III F-109

- 1層: 黒褐色土(10YR2/1) 締りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む
- 2層: 明褐色粘土(5YR5/3) 締りあり、粘りあり、微細骨片含む
- 3層: 黒色粘土(5YR6/3) 締りあり、粘りなし

## III F-110

- 1層: 黒色土(5YR1.7/1) 締りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む
- 2層: 明赤褐色粘土(5YR5/3) 締りあり、粘りなし
- 3層: 1・2層混じる 締りあり、粘りあり、

## III S P-454

- 4層: 黒色土(5YR1.7/1) 締りあり、粘りなし、

## III S P-456

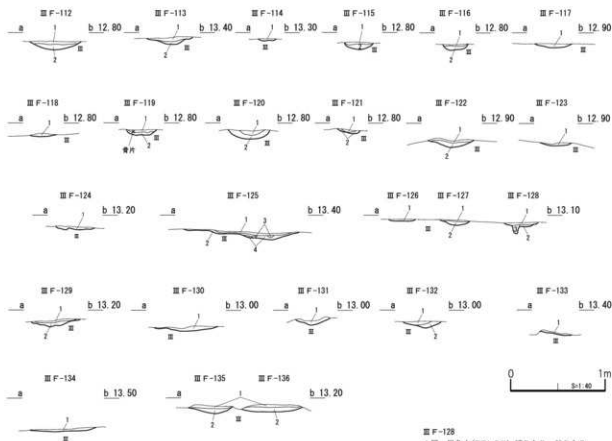
- III S P-456

## ※ 現地

## III F-111

- 1層: 黒色土(7.5YR2/1) 締りあり、粘りあり、骨を含む
- 2層: 暗褐色土(7.5YR3/4) 締りなし、粘りあり、粘土

図V-1-67 III F-91～111断面図



Ⅲ F-112

1層：黒色土(7.SYR2/1) 締りあり、粘りあり、骨層  
2層：褐色土(7.SYR4/3) 締りなし、粘りあり、焼土

Ⅲ F-113

1層：にぶい赤褐色粘土(SYR4/3) 締りあり、粘りあり、炭層  
2層：明赤褐色粘土(SYR5/6) 締りあり、粘りなし

※ 現地

Ⅲ F-114

1層：褐色粘土(SYR6/6) 締りあり、粘りなし  
※ 現地

Ⅲ F-115

1層：黒色土(10YR1.7/1) 締りあり、粘りあり、骨と炭層  
2層：褐色土(7.SYR4/4) 締りあり、粘りあり、焼土

Ⅲ F-116

1層：黒色土(10YR2/1) 締りあり、粘りあり、骨と炭層  
2層：暗褐色土(7.SYR3/4) 締りあり、粘りあり、焼土

Ⅲ F-117

1層：黄褐色土(10YR5/3) 締りなし、粘りあり、焼土、やや強く焼けている、黒炭あり、炭化材(φ=5mm)・骨片(φ=2mm)が少量混じる  
Ⅲ F-118  
1層：にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りなし、粘りあり、焼土、弱く焼けている、黒炭あり、炭化材(φ=3mm)が微量に混じる

Ⅲ F-119

1層：黒色土(10YR2/1) 締りあり、粘りあり、骨と炭層  
2層：暗褐色土(7.SYR3/3) 締りなし、粘りあり、焼土

Ⅲ F-120

1層：黒色土(10YR2/1) 締りあり、粘りあり、骨と炭層  
2層：暗褐色土(7.SYR3/3) 締りなし、粘りあり、焼土

Ⅲ F-121

1層：黒色土(7.SYR2/1) 締りなし、粘りあり、骨を含む  
2層：褐色土(7.SYR4/4) 締りなし、粘りなし、焼土

Ⅲ F-122

1層：黒褐色土(10YR3/2) 締りなし、粘りあり、黒層土に炭化材(φ=10mm)・骨片(φ=2mm)が混じる  
2層：黄褐色土(10YR5/8) 締りなし、粘りあり、焼土、やや強く焼けている、黒炭あり、骨片(φ=2mm)が微量に混じる

Ⅲ F-123

1層：にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締りなし、粘りあり、焼土、弱く焼けている、黒炭あり、炭化材(φ=3mm)・骨片(φ=2mm)が少量混じる  
Ⅲ F-124  
1層：褐色土(SYR6/6) + 褐色土(7.SYR3/4) 40%炭状に混じる、締りあり、粘りあり、微細骨片5%混じる、炭わずかに混じる

Ⅲ F-125

1層：黒色土(SYR1.7/1) 締りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む  
2層：褐色土(SYR6/6) 締りあり、粘りなし  
3層：淡褐色粘土(SYR8/3) 締りあり、粘りあり  
4層：褐色土(SYR6/6) 締りあり、粘りなし

※ 現地 Ⅲ D-3を伴う

Ⅲ F-126

1層：明赤褐色粘土(SYR5/6) 締りあり、粘りあり  
※ 現地

Ⅲ F-127

1層：黒色土(SYR1.7/1) 締りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片微量含む  
2層：明赤褐色粘土(SYR5/6) 締りあり、粘りなし

※ 現地

Ⅲ F-128

1層：黒色土(SYR1.7/1) 締りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片微量含む  
2層：明赤褐色土(SYR5/6) 締りあり、粘りなし

※ 現地

Ⅲ F-129

1層：黒色土(SYR1.7/1) 締りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む  
2層：褐色土(SYR6/6) 締りあり、粘りなし

※ 現地

Ⅲ F-130

1層：褐色土(SYR6/6) 締りあり、粘りなし  
※ 現地

Ⅲ F-131

1層：明赤褐色粘土(SYR5/6) 締りあり、粘りなし  
※ 現地

Ⅲ F-132

1層：黒褐色土(SYR2/2) 締りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む  
2層：明赤褐色土(SYR5/6) 締りあり、粘りなし

※ 現地

Ⅲ F-133

1層：褐色土(7.SYR6/6) 締りなし、粘りなし、炭わずかに混じる  
Ⅲ F-134  
1層：黒褐色土(7.SYR2/2) 締りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む  
2層：暗褐色土(SYR3/4) 締りあり、粘りあり  
※ 現地

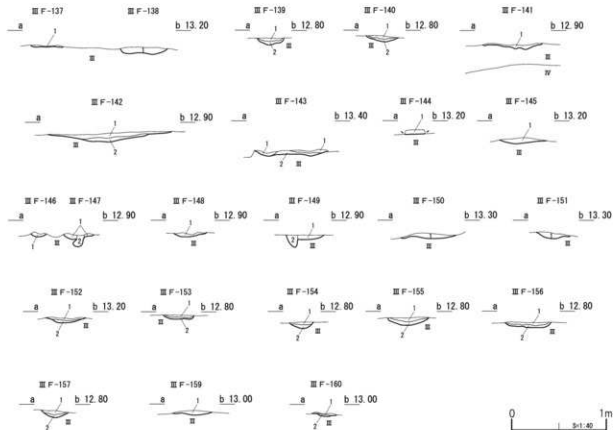
Ⅲ F-135

1層：暗褐色土(7.SYR4/1) 締りなし、粘りなし、微細骨片・炭ともわずかに(1%未満)混じる  
2層：褐色土(7.SYR6/6) 締りなし、粘りなし、微細骨片・炭ともわずかに(1%未満)混じる

Ⅲ F-136

1層：暗褐色土(7.SYR4/1) 締りなし、粘りなし、微細骨片・炭ともわずかに(1%未満)混じる  
2層：褐色土(7.SYR6/6) 締りなし、粘りなし、微細骨片・炭ともわずかに(1%未満)混じる

図V-1-68 Ⅲ F-112~136断面図



III F-137  
1層：黒色土(7.SY86/8) 粘りなし、粘りなし、炭10%混じる

III F-138  
1層：棕色土(7.SY86/8) 粘りなし、微細骨片わずかに(1%未満)混じる

III F-139  
1層：黒色土(7.SY81.7/1) 粘りあり、粘りあり、骨を含む  
2層：暗褐色土(7.SY83/4) 粘りなし、粘りあり、焼土

III F-140  
1層：黒色土(7.SY81.7/1) 粘りあり、粘りあり、骨を含む  
2層：暗褐色土(7.SY83/4) 粘りなし、粘りあり、焼土

III F-141  
1層：棕色焼土(SY86/6) 粘りあり、粘りなし  
※ III F-142の1層を除去したところ独立した焼土を発見した為III F-141とした。  
III F-141の上にIII F-142の1層が乗る。

III F-142  
1層：黒色土(7.SY82/1) 粘りあり、粘りあり、骨を含む  
2層：暗褐色土(7.SY83/4) 粘りなし、粘りあり、焼土

III F-143  
1層：棕色土(7.SY86/8) 粘りなし、粘りなし、微細骨片わずかに(1%)混じる  
2層：淡褐色土(SY88/3) 粘りなし、粘りなし

III F-144  
1層：棕色土(7.SY86/8) 粘りなし、粘りなし、微細骨片わずかに(1%未満)混じる

III F-145  
1層：棕色土(7.SY86/8) 粘りなし、粘りなし、淡褐色灰(SY88/3) 5%混じる、炭7%混じる、微細骨片わずかに(1%未満)混じる

III F-146  
1層：明赤褐色焼土(SY85/6) 粘りあり、粘りなし  
※ 現地

III F-147  
1層：明赤褐色焼土(SY85/6) 粘りあり、粘りなし  
2層：1層が混じって入る。粘りなし、粘りなし  
※ 現地

III F-148  
1層：明赤褐色焼土(SY85/6) 粘りあり、粘りなし  
※ 現地

III F-149  
1層：明赤褐色焼土(SY85/6) 粘りあり、粘りあり  
表面に炭化材・微細骨片あり

2層：黒色土(SY81.7/1) 粘りあり、粘りなし  
※ 現地

III F-150  
1層：棕色土(7.SY86/8) 粘りなし、粘りなし、微細骨片わずかに(1%未満)混じる

III F-151  
1層：黒色土(SY81.7/1)と明赤褐色焼土(SY86/8)がブロック状に混じる。粘りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む

※ 炭素  
III F-152  
1層：黒色土(SY81.7/1) 粘りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む

2層：明赤褐色焼土(SY85/6) 粘りあり、粘りなし  
※ 現地

III F-153  
1層：黒色土(7.SY82/1) 粘りあり、粘りあり、骨  
2層：暗褐色土(7.SY83/4) 粘りなし、粘りあり、焼土

III F-154  
1層：黒色土(7.SY81.7/1) 粘りあり、粘りあり、骨

2層：暗褐色土(7.SY83/4) 粘りなし、粘りあり、焼土

III F-155  
1層：黒色土(7.SY82/1) 粘りあり、粘りあり、骨

2層：暗褐色土(7.SY83/4) 粘りなし、粘りあり、焼土

III F-156  
1層：黒色土(7.SY81.7/1) 粘りあり、粘りあり、骨

2層：暗褐色土(7.SY83/4) 粘りなし、粘りあり、焼土

III F-157  
1層：黒色土(7.SY82/1) 粘りあり、粘りあり、骨

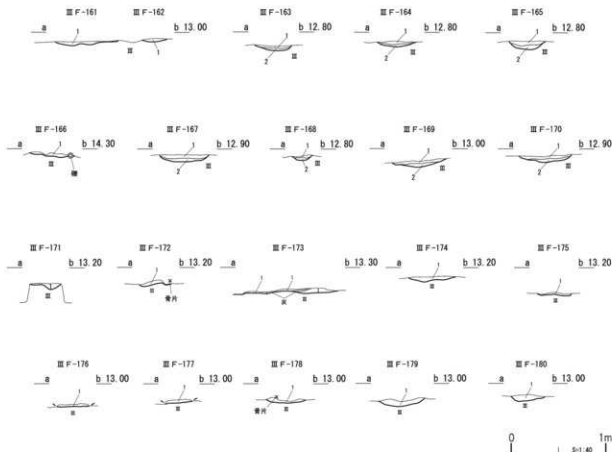
2層：暗褐色土(7.SY83/4) 粘りなし、粘りあり、焼土

III F-159  
1層：明赤褐色焼土(SY85/6) 粘りあり、粘りなし  
表面に炭化材・微細骨片あり

※ 現地  
III F-160  
1層：黒色土(SY81.7/1) 粘りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む

2層：明赤褐色焼土(SY85/6) 粘りあり、粘りなし  
※ 現地

図V-1-69 III F-137~160断面図



III F-161  
1層：赤褐色土(7.SY95/6) 粘りあり、粘りなし。  
表面に炭化材・微細骨片あり

※ 現地

III F-162  
1層：褐色土(7.SY96/8) 粘りあり、粘りなし。  
表面に炭化材・微細骨片あり

※ 現地

III F-163  
1層：黒色土(7.SY92/1) 粘りあり、粘りあり、骨を含む  
2層：暗褐色土(7.SY93/4) 粘りなし、粘りあり、粘土

III F-164  
1層：黒色土(7.SY92/1) 粘りなし、粘りあり、骨を含む  
2層：褐色土(7.SY93/4) 粘りなし、粘りあり、粘土

III F-165  
1層：黒色土(7.SY92/1) 粘りあり、粘りあり、骨を含む  
2層：褐色土(7.SY93/4) 粘りあり、粘りあり、粘土

III F-166  
1層：赤褐色土(7.SY92/4) 粘りあり、粘りあり

※ 土層を1回下げた状況で出土

現地

III F-167  
1層：黒色土(7.SY92/1) 粘りあり、粘りあり、骨を含む  
2層：褐色土(7.SY94/4) 粘りあり、粘りあり、粘土

III F-168  
1層：黒色土(7.SY91.7/1) 粘りあり、粘りあり、骨を含む  
2層：暗褐色土(7.SY93/4) 粘りなし、粘りあり、粘土

III F-169  
1層：黒褐色土(7.SY92/2) 粘りなし、粘りあり、骨を含む  
2層：褐色土(7.SY94/4) 粘りあり、粘りあり、粘土

III F-170  
1層：黒色土(7.SY92/1) 粘りあり、粘りあり、骨を含む  
2層：褐色土(7.SY94/4) 粘りあり、粘りあり、粘土

III F-171  
1層：褐色土(7.SY96/8) 粘りなし、粘りなし、微細骨片1%混じる

III F-172  
1層：明褐色土(7.SY95/8) 粘りなし、粘りなし、微細骨片わずか(1%未満)混じる、炭混じる

III F-173  
1層：黒褐色土(7.SY93/1) 高調+明赤褐色土(SY95/8)30%混状に混じる、粘りなし、粘りなし  
灰層：灰白色(7.SY99/2) 粘りなし、粘りなし

III F-174  
1層：褐色土(10YR4/1) 高調+褐色土(7.SY97/6) 40%混状に混じる、粘りあり、粘りあり、微細骨片3%混じる、炭5%混じる

III F-175  
1層：褐色土(7.SY96/8) 粘りなし、粘りなし、微細骨片10%混じる

III F-176  
1層：黄褐色土(7.SY97/8) 粘りなし、粘りなし、微細骨片わずか(1%未満)混じる

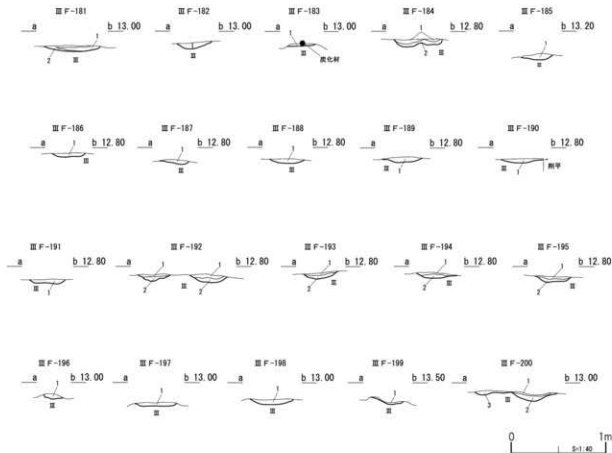
III F-177  
1層：明褐色土(7.SY95/6) 粘りなし、粘りなし、微細骨片わずか(1%未満)混じる、炭3%混じる

III F-178  
1層：褐色土(7.SY96/8) 粘りなし、粘りなし、微細骨片わずか(1%未満)混じる

III F-179  
1層：褐色土(7.SY96/8) 粘りなし、粘りなし、微細骨片1〜3%混じる

III F-180  
1層：褐色土(7.SY96/8) 粘りなし、粘りなし、微細骨片等視認し出す

図V-1-70 III F-161~180断面図



## III F-181

1層：橙色土(7.SY85/8) 粘りなし、粘りなし、  
微細骨片わずかに(1%未満)混じる。  
灰もわずかに含む

2層：炭化物層

## III F-182

1層：橙色土(7.SY85/8) 粘りなし、粘りなし

## III F-183

1層：橙色土(7.SY85/8) 粘りなし、粘りなし、  
微細骨片確認出来ず

## III F-184

1層：黒色土(7.SY31.7/1) 粘りあり、粘りあり、  
骨を含む

2層：褐色土(7.SY34/4) 粘りあり、粘りあり、  
焼土

## III F-185

1層：褐色土(7.SY85/8) 粘りなし、粘りなし、  
微細骨片わずかに(1%未満)混じる

## III F-186

1層：明赤褐色焼土(5YR5/6) 粘りあり、  
粘りなし。表面に炭化材・微細骨片あり

※ 現地

## III F-187

1層：赤褐色焼土(5YR5/6) 粘りあり、粘りなし  
表面に炭化材・微細骨片あり

※ 現地

## III F-188

1層：赤褐色焼土(5YR4/6) 粘りあり、粘りなし  
表面に炭化材・微細骨片あり

※ 現地

## III F-189

1層：明赤褐色焼土(5YR5/8) 粘りあり、粘りなし、  
表面に炭化材・微細骨片あり

※ 現地

## III F-190

1層：明赤褐色焼土(5YR5/6) 粘りあり、粘りなし、  
表面に炭化材・微細骨片あり

※ 現地

## III F-191

1層：明赤褐色焼土(5YR5/6) 粘りあり、粘りなし、  
表面に炭化材・微細骨片あり

※ 百圓坑で知られる

## III F-192

1層：黒色土(7.SY32/1) 粘りなし、粘りあり、  
骨を含む

2層：褐色土(7.SY34/4) 粘りあり、粘りあり、  
焼土

## III F-193

1層：黒色土(7.SY32/1) 粘りなし、粘りあり、  
骨を含む

2層：暗褐色土(7.SY33/4) 粘りあり、粘りあり、  
焼土

## III F-194

1層：黒褐色土(7.SY32/2) 粘りあり、粘りあり、  
骨を含む

2層：暗褐色土(7.SY33/4) 粘りなし、粘りあり、  
焼土

## III F-195

1層：黒色土(7.SY32/1) 粘りあり、粘りあり、  
骨を含む

2層：褐色土(7.SY34/4) 粘りあり、粘りあり、  
焼土

## III F-196

1層：明褐色土(7.SY85/6) 粘りなし、粘りなし

## III F-197

1層：褐色土(7.SY85/8) 粘りなし、粘りなし、  
微細骨片1~3%混じる

## III F-198

1層：褐色土(7.SY85/6) 粘りなし、粘りなし、  
微細骨片1~3%混じる、灰7%混じる

## III F-199

1層：明赤褐色土(5YR5/8) + 淡褐色土(5YR8/3)  
20%混状に混じる、粘りなし、粘りなし

## III F-200

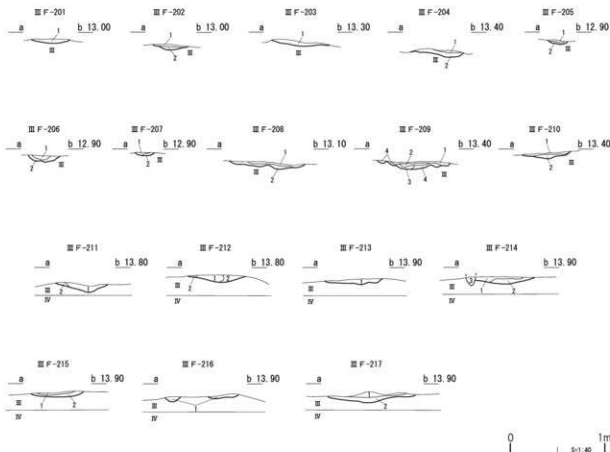
1層：黒褐色土(5YR2/1) 粘りあり、粘りあり、  
炭化材・微細骨片含む

2層：明赤褐色土(5YR5/8) 粘りあり、粘りなし

3層：1・2層が混状にある硬層部分

※ 現地

図V-1-71 III F-181~200断面図



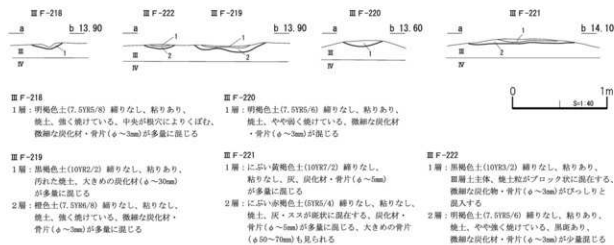
- Ⅲ F-201  
1層：明赤褐色焼土(5YR5/6) 粘りあり、粘りなし、表面に炭化材・微細骨片あり  
※ 現地
- Ⅲ F-202  
1層：黒色土(5YR1, 7/1) 粘りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む  
※ 現地
- Ⅲ F-203  
1層：明褐色土(7.5YR5/8) 粘りなし、粘りなし、炭化材に混じる
- Ⅲ F-204  
1層：Ⅲ層(7.5YR2/1)黒色土主体+橙土(7.5YR5/8) 40%炭状に混じる。粘りあり、粘りあり、微細骨片わずかに(1%未満)混じる  
2層：橙土(7.5YR5/8) 粘りなし、粘りなし、微細骨片わずかに(1%未満)混入
- Ⅲ F-205  
1層：黒色土(7.5YR1, 7/1) 粘りあり、粘りあり、骨を含む  
2層：暗褐色土(7.5YR2/3) 粘りあり、粘りあり、焼土
- Ⅲ F-206  
1層：黒色土(7.5YR2/1) 粘りあり、粘りあり、骨を含む  
2層：暗褐色土(7.5YR2/4) 粘りあり、粘りあり、焼土
- Ⅲ F-207  
1層：黒色土(7.5YR2/1) 粘りあり、粘りあり、骨を含む  
2層：暗褐色土(7.5YR2/3) 粘りあり、粘りあり、焼土

- Ⅲ F-208  
1層：黒褐色土(5YR2/1) 粘りあり、粘りあり、炭化材・微細骨片含む  
2層：明赤褐色焼土(5YR5/6) 粘りあり、粘りなし ※ 現地
- Ⅲ F-209  
1層：灰黄褐色土(10YR4/2) 粘りなし、粘りあり、汚れた灰、炭化材(φ～20mm)、白色骨片(φ～2mm)多量に混入  
2層：灰白色土(10YR7/1) 粘りなし、粘りあり、灰、炭化材(φ～5mm)少量、骨片(φ～2mm)多量に混入  
3層：黒褐色土(10YR2/2) 粘りなし、粘りあり、Ⅲに4層の焼土が炭状に混入 焼土  
4層：明黄色土(7.5YR5/8) 粘りなし、粘りなし、焼土、非常に強く焼けている 焼土
- Ⅲ F-210  
1層：黒褐色土(7.5YR2/2) 粘りあり、粘りあり、骨を含む  
2層：褐色土(7.5YR4/4) 粘りあり、粘りあり、焼土
- Ⅲ F-211  
1層：明褐色土(7.5YR5/8) 粘りあり、粘りなし、焼土、やや強く焼けている、微細な骨片(φ～3mm)が混在する  
2層：暗褐色土(10YR2/3) 粘りあり、粘りあり、Ⅲ層土が強く焼けている、炭化材が少量混じる
- Ⅲ F-212  
1層：橙土(7.5YR6/8) 粘りなし、粘りあり、焼土、やや強く焼けている、微細な骨片(φ～3mm)が混在する  
2層：黒褐色土(10YR3/1) 粘りなし、粘りあり、Ⅲ層土に焼土が炭状に入る、炭化材・骨片(φ～3mm)が多量に混じる

- Ⅲ F-213  
1層：明褐色土(7.5YR5/8) 粘りなし、粘りなし、焼土、強く焼けている、炭化材・骨片(φ～3mm)が多量に混じる
- Ⅲ F-214  
1層：黒褐色土(10YR3/2) 粘りなし、粘りあり、Ⅲ層土主体、焼土粒・微細な炭化材・骨片(φ～2mm)が多量に混じる  
2層：明褐色土(7.5YR5/8) 粘りなし、粘りなし、焼土、やや強く焼けている 黒炭あり、微細な炭化材・骨片(φ～3mm)が多量に混じる  
3層：1と2の混合、柱は抜き取り痕か
- Ⅲ F-215  
1層：黒褐色土(10YR3/2) 粘りなし、粘りあり、Ⅲ層土主体、焼土がブロック状に混在する、微細な炭化材・骨片(φ～2mm)がびっしり混入する  
2層：明褐色土(7.5YR5/8) 粘りあり、粘りなし、焼土、強く焼けている 黒炭あり、炭化材(φ～5mm)が少量混じる
- Ⅲ F-216  
1層：明褐色土(7.5YR5/8) 粘りなし、粘りなし、焼土、やや強く焼けている、黒炭あり、炭化材・骨片が少量混じる、もやもやとしている、腐葉の可能性がる
- Ⅲ F-217  
1層：灰白色土(10YR7/1) 粘りなし、粘りあり、灰、微細な炭化材・骨片(φ～5mm)が多量に混じる、おとりしている  
2層：明赤褐色土(5YR5/8) 粘りあり、粘りなし、焼土、強く焼けている 黒炭あり、炭化材・骨片(φ～5mm)が多量に混じる

図V-1-72 Ⅲ F-201～217断面図





図V-1-73 III F-218~222断面図

状に並ぶが、住居跡の柱穴の配列と重複する。住居の建て替えや増築などにより炉を移転したか、あるいは複数の炉を持つ、より大型の住居跡が存在した可能性があるが、対応する柱穴は確認されなかった。弧状の焼土列は、杭穴が密集する付近に多い。前述の杭列とは必ずしも並行などの規則的な位置関係ではないが、非常に近接する。また、住居跡の焼土と比較して規模が小さく層厚が薄いものが多く、長期間煮炊きなどに使用した可能性は低い。これらのことから、やはり幣場の一部として儀礼などに使用されたと推測される。

時期は、検出層位がIII層上位(III層上面より0.01~0.03m下)であること、V群c類・VI群a類・VII群土器よりも上位で形成されている(出土分布の中心域は重なっていない)ことから、1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。焼土同士では見られないが、住居跡や杭穴・道跡などの遺構と重複する例があることから、複数次にわたって形成された可能性がある。ただし、杭穴群と同様に住居跡や道跡に近接して分布し、焼土の形成面がほぼ同一であることから、この集落が継続していた期間内で、数十年以上の時間幅はないと推測される。(芝田)

#### (4) 灰集中

##### ⅢA-1~5 (図V-1-74・75/表V-1-4/図版31)

灰集中(ⅢA)を5か所検出した。ⅢA-1~3は沢状地形の北東向き斜面(C地区)、ⅢA-4・5は南西向き斜面(B地区)にそれぞれ近接して分布する。いずれもⅢ層上位で検出された。下部に焼土を伴っておらず、灰のみが廃棄されている。個々の灰集中の規模・形状・特徴などは一覧表にまとめて記した(表V-1-4)。

ⅢA-1~3はすぐ近くに木根と考えられる攪乱があり、ⅢA-1・3は一部が壊されている。周辺に住居跡や杭穴、焼土などは検出されなかった。ⅢA-2・3の灰をサンプリングし、フローテーション法による水洗選別を行ったところ、シカ骨、魚骨、カワシンジュガイ殻皮、マイマイ、雑穀、炭化材などの微細遺物・動物遺存体が得られた(表V-1-9、VI章第5・6節)。

ⅢA-4・5は周辺より杭穴群(ⅢSP-327~352・548・549)、焼土(ⅢF-209)、カワシンジュガイ集中(ⅢK-12)が検出された。特にⅢF-209は上部に灰層を伴っており、関連する可能性がある。いずれもⅢ層土に灰が疎らに混合するもので、層厚は0.01m以下であった。

検出層位や周辺の遺構・遺物などから、1739年以前の近世アイヌ文化期の、いわゆる「灰送り場」と考えられる。(芝田)

#### (5) 骨集中

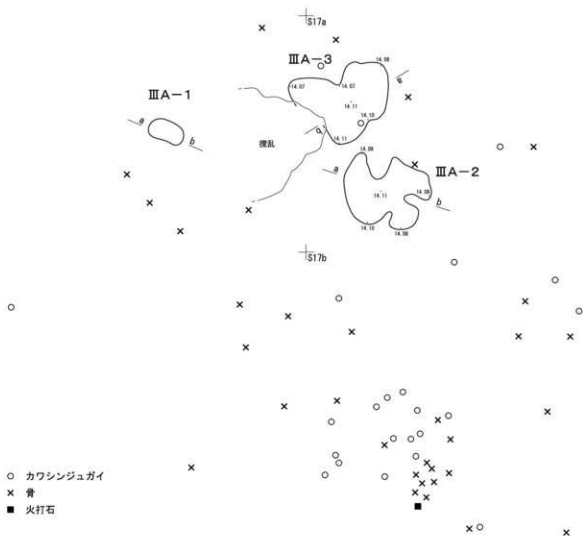
##### ⅢB-1~5 (図V-1-76~78/表V-1-5/図版31)

動物骨の集中域(ⅢB)を5か所検出した。北西-南東方向の沢状地形内の住居跡・杭穴・焼土の周辺からは動物骨が多く出土している。その中でも特に密集している部分を骨集中とした。いずれも焼土や灰集中と同じⅢ層上位で検出された。動物骨はすべてエゾシカの遺体である。個々の骨集中の規模・形状・特徴、骨の同定結果などは一覧表にまとめて記した(表V-1-5・10)。

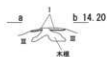
ⅢB-1は2.90×1.40mの比較的広い範囲に骨片がまとまるもので、ⅢF-39~41と重複する。焼土の灰層とほぼ同じ高さであることから、時期差はないと考えられる。骨片の残存状況は良好ではなく、部位は特定されなかった。ⅢB-2は0.74×0.24mとやや小規模な骨集中。微細な骨片が大半であるが、上腕骨が確認された。ⅢB-3はⅢF-125と重複しており、道跡の直下より検出された。0.32×0.22mとごく狭い範囲で、ⅢF-125と同一の遺構(ⅢF-125の一部)とすべきかもしれない。肩甲骨・上腕骨・橈骨が関節状態で確認された。ⅢB-4は1.28×1.17mの範囲にエゾシカの下顎骨や脛骨がまとめて出土したもの。周辺の包含層からも下顎骨を含む骨片が多量に出土している。これは杭穴や焼土が列状に密集する区域(H-130~33区)とほぼ重なっており、いわゆる「送り場」としての機能をもった空間であった可能性がある。ⅢB-5は2筋の道跡に挟まれ、ⅢF-93・94・105・106・117やⅢK-17と隣接する。骨片の残存状況は良好ではなく、部位は特定されなかった。周辺の包含層からは骨片よりもカワシンジュガイの殻皮が多く出土している。

検出層位や周辺の遺構・遺物などから、1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。(芝田)

## ⅢA-1~3



ⅢA-1



ⅢA-1

1層：黒褐色土(10YR3/2) 締りなし、粘りなし、焼けて灰褐色になる  
白けた色 所々炭化物あり

ⅢA-2



ⅢA-2

1層：にぶい褐色土(7.5YR5/4) 締りなし、粘りなし、灰・スス、  
炭屑、微細な炭化材・骨片(φ~3mm)多量に混じる

ⅢA-3

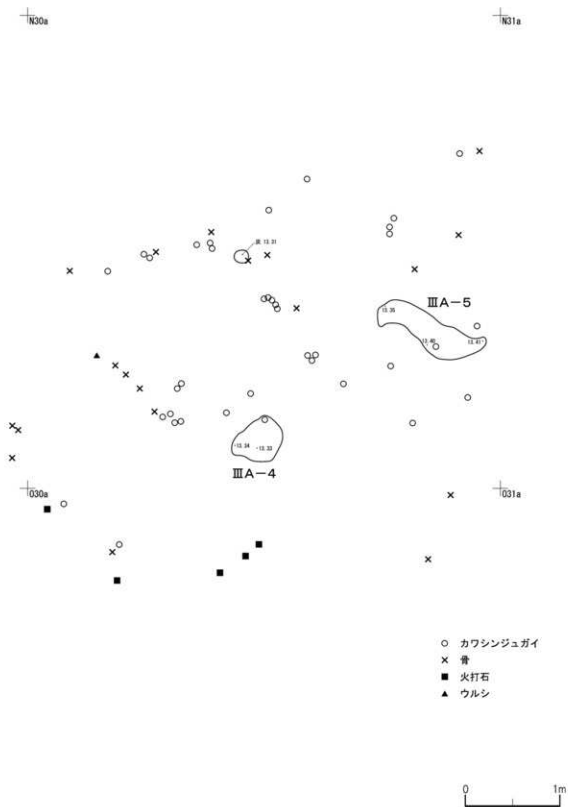
1層：明褐色～黒灰色土(7.5YR7/1~5/1) 締りなし、粘りあり、灰・スス、  
炭屑、微細な炭化材・骨片(φ~3mm)多量に混じる

ⅢA-3



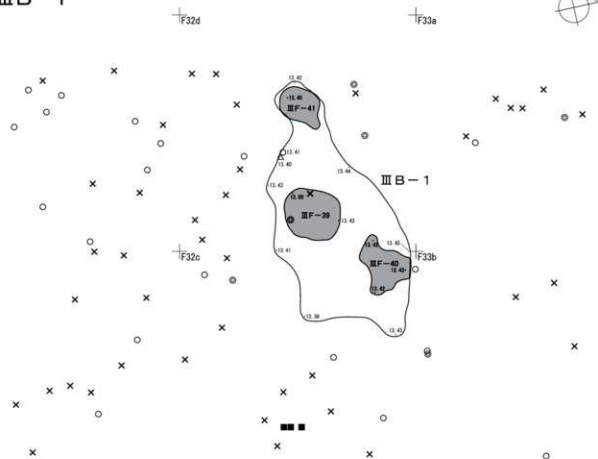
図V-1-74 ⅢA-1~3

ⅢA-4・5

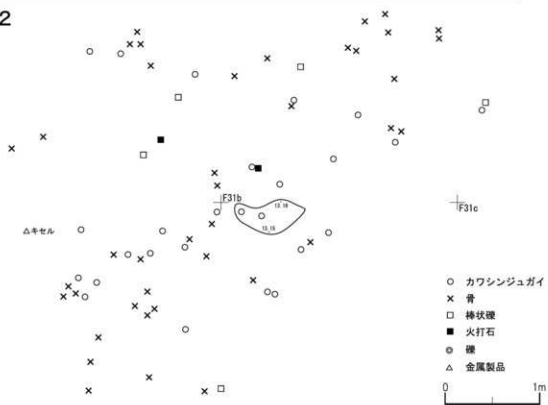


図V-1-75 ⅢA-4・5

## ⅢB-1



## ⅢB-2

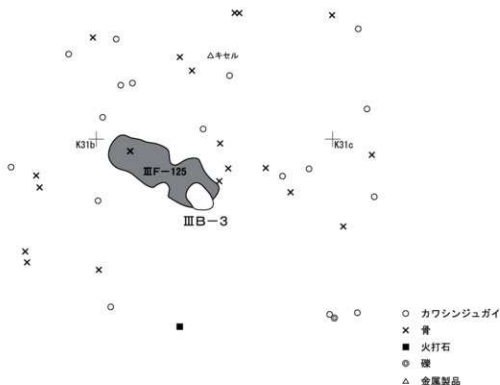


- カワシメジュガイ
- × 骨
- 棒状礫
- 火打石
- ◎ 鏃
- △ 金属製品

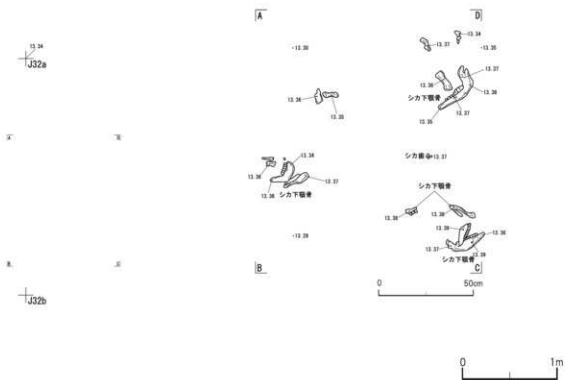
0 1m

図V-1-76 ⅢB-1・2

ⅢB-3

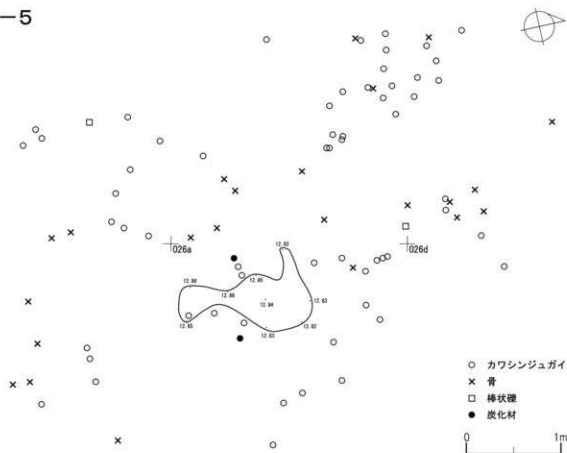


ⅢB-4



図V-1-77 ⅢB-3・4

## ⅢB-5



図V-1-78 ⅢB-5

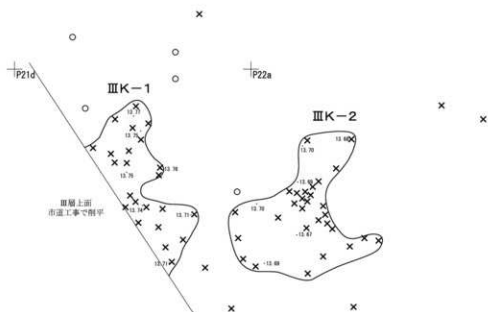
## (6) 貝集中

## ⅢK-1~33 (図V-1-79~91/表V-1-6/図版31~34)

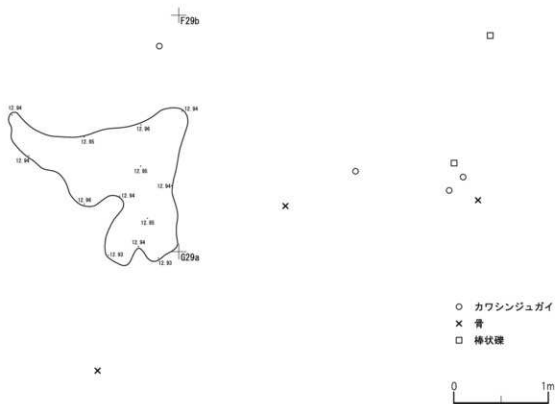
カワシジュガイ殻皮の集中域(ⅢK)を33か所検出した。北西-南東方向の沢状地形内の住居跡・杭穴・焼土の周辺からはカワシジュガイ殻皮が多く出土している。その中でも特に密集している部分を貝集中とした。包含層より疎らに出土しているカワシジュガイ殻皮も、本来はこのような貝集中から自然作用により拡散した可能性が高い。いずれも焼土や灰集中と同じⅢ層上位で検出された。個々の貝集中の規模・形状・特徴などは一覧表にまとめて記した(表V-1-6)。

分布は大まかに3つの群に分けられる。道跡の周辺で形成されたもの(ⅢK-1・2・4・5~9・14・17・20・22~28・31)、杭穴の密集域の周辺で形成されたもの(ⅢK-6・10・12・18・19・21・29・32)、住居跡の周辺で形成されたもの(ⅢK-11・13・15・16・30)である。ⅢK-3・33は他の遺構とやや離れている。これらのうちで複数の貝集中による配列や群集などは見られない。また、他の遺構や包含層を挟んだ新旧関係も確認されなかった。一方、ⅢK-8・14・22・24~28・31は道

ⅢK-1・2



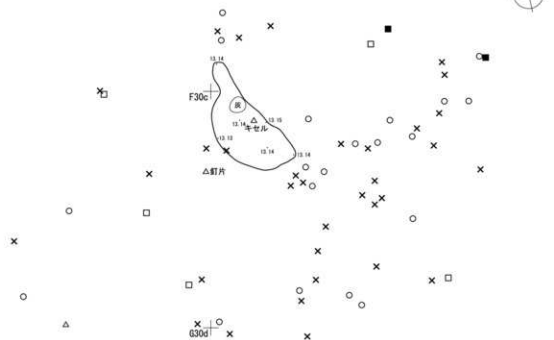
ⅢK-3



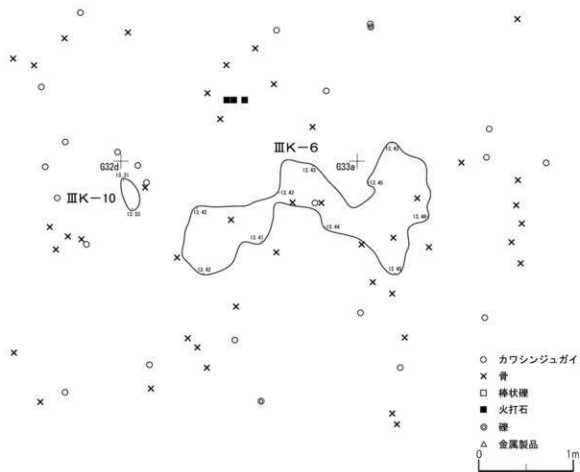
図V-1-79 ⅢK-1~3



## ⅢK-4

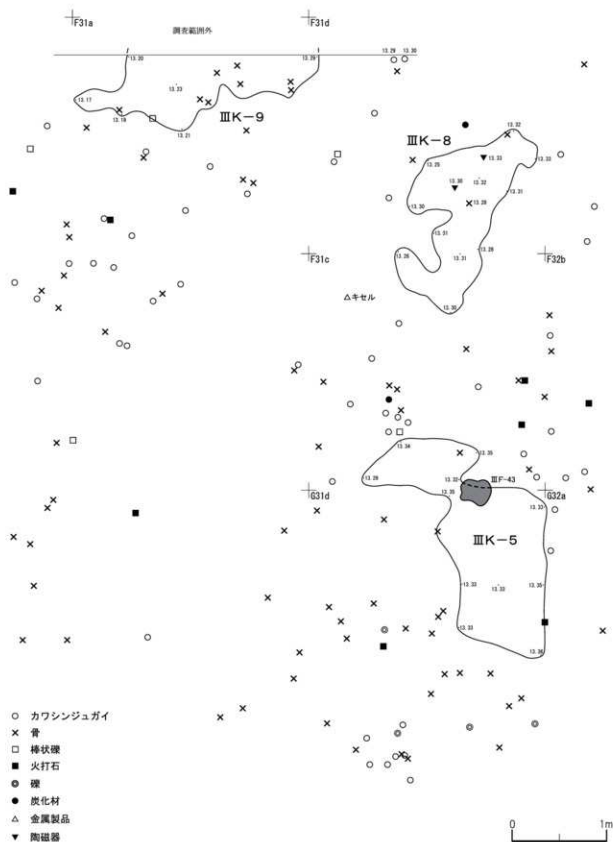


## ⅢK-6・10



図V-1-80 ⅢK-4・6・10

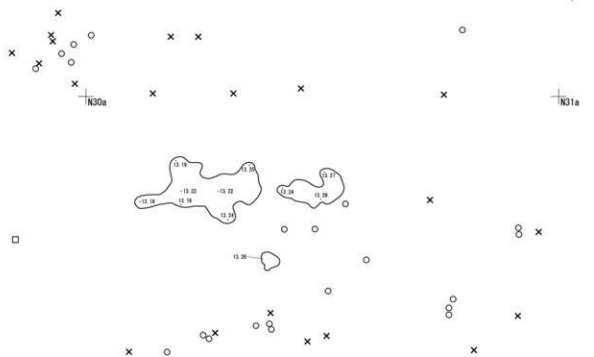
ⅢK-5・8・9



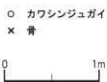
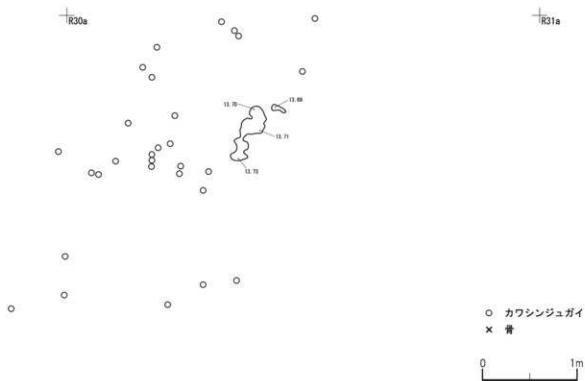
図V-1-81 ⅢK-5・8・9



ⅢK-12

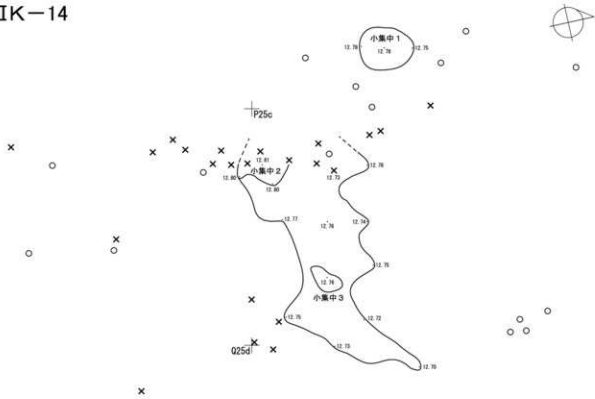


ⅢK-13

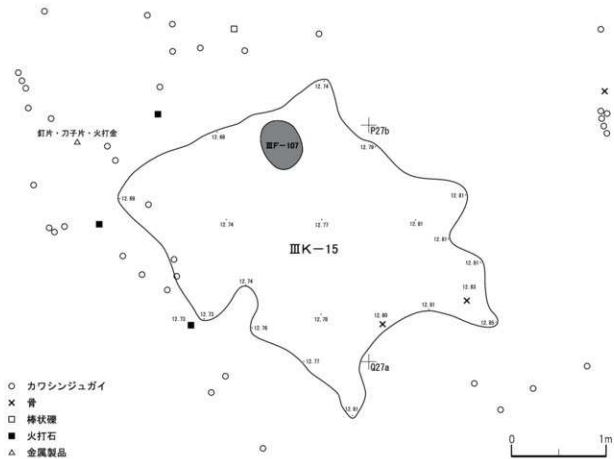


図V-1-83 ⅢK-12・13

## ⅢK-14

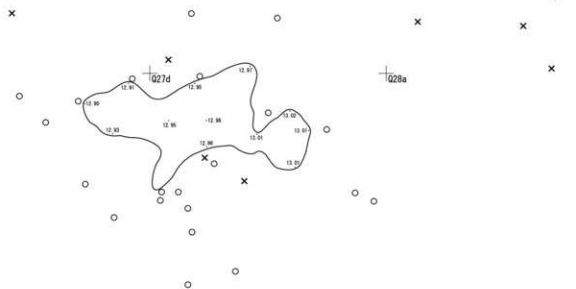


## ⅢK-15

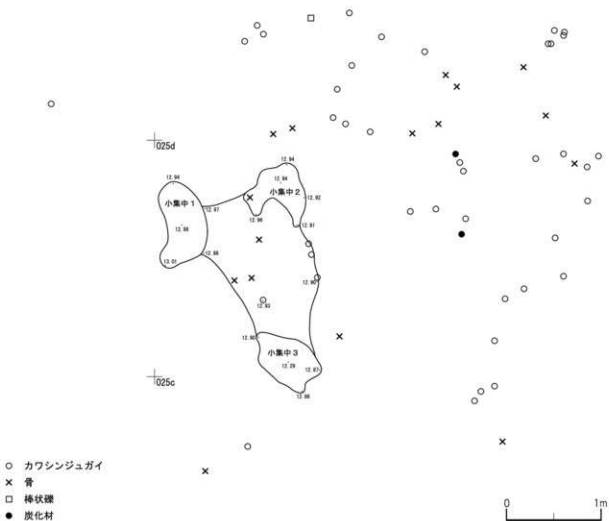


図V-1-84 ⅢK-14・15

ⅢK-16



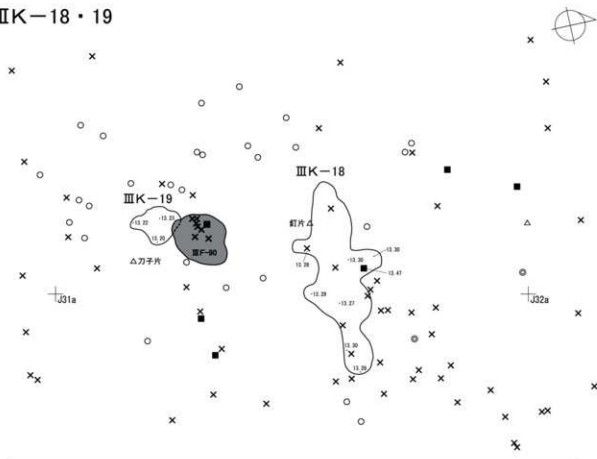
ⅢK-17



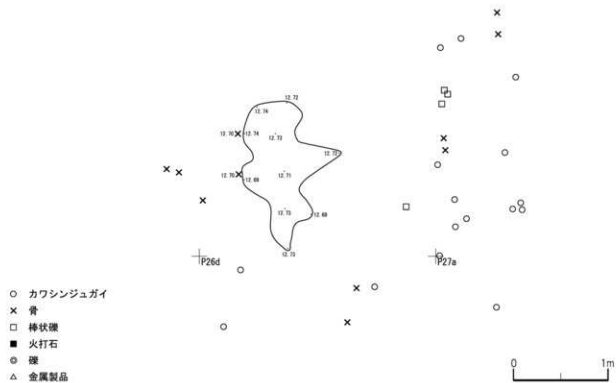
- カワシシユガイ
- × 骨
- 棒状礎
- 炭化材

図V-1-85 ⅢK-16・17

## ⅢK-18・19



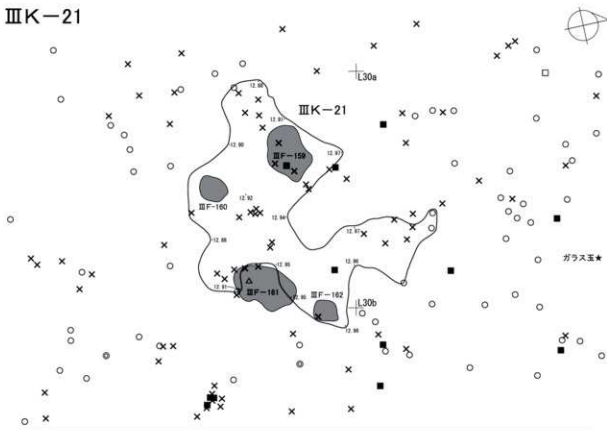
## ⅢK-20



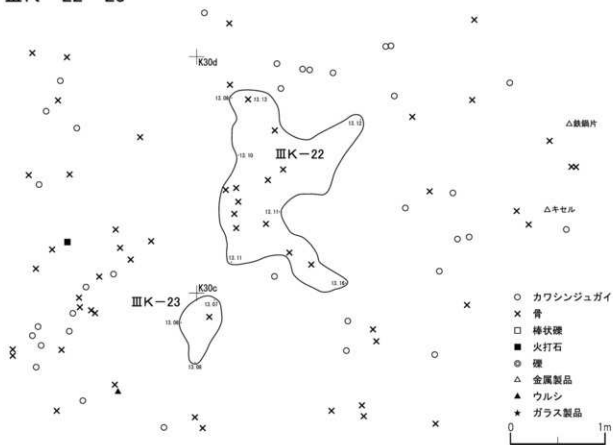
- カワシシジュガイ
- × 骨
- 棒状礫
- 火打石
- ◎ 礫
- △ 金属製品

図V-1-86 ⅢK-18~20

### ⅢK-21



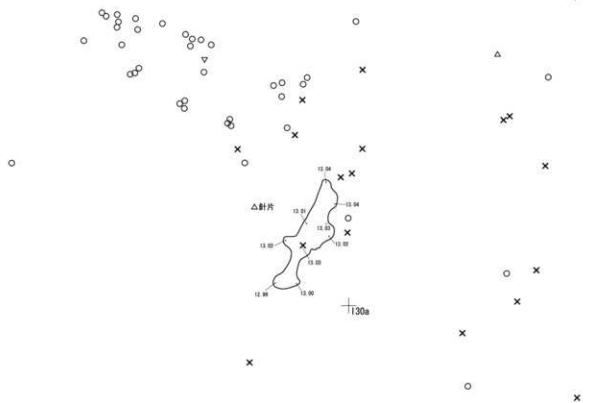
### ⅢK-22・23



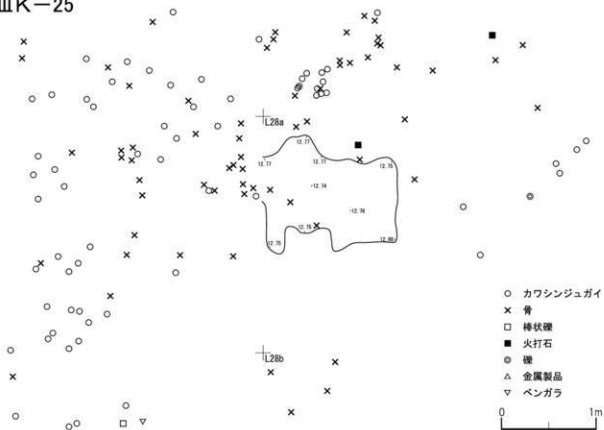
図V-1-87 ⅢK-21~23



## ⅢK-24

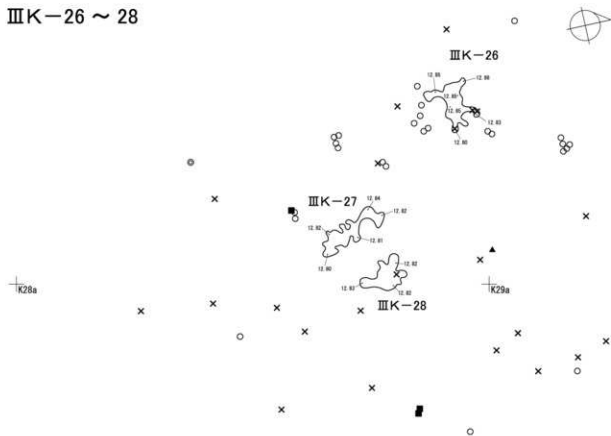


## ⅢK-25

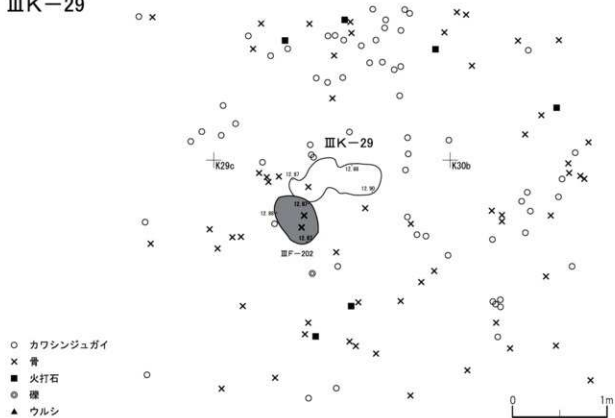


図V-1-88 ⅢK-24・25

ⅢK-26 ~ 28



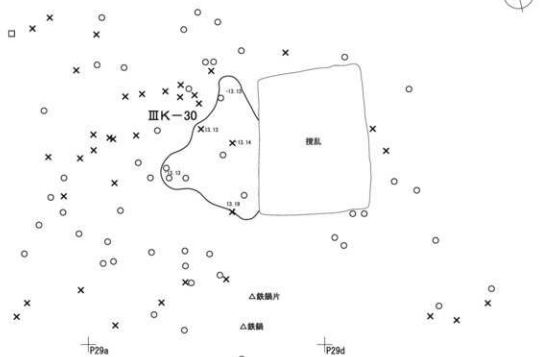
ⅢK-29



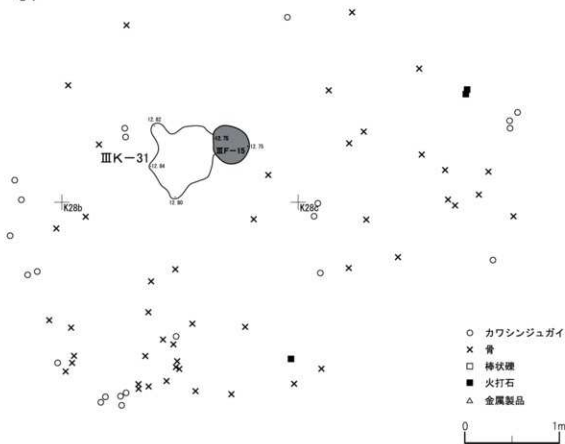
- カワシシユガイ
- × 骨
- 火打石
- ◎ 礎
- ▲ ウルシ

図V-1-89 ⅢK-26~29

## ⅢK-30



## ⅢK-31



図V-1-90 ⅢK-30・31



跡、ⅢK-6・8・18・21・22・25は杭穴、ⅢK-5・15・21・32は焼土、ⅢK-15は住居跡ⅢH-13と重複する。道跡との重複は、いくつかの時期にわたって経路が変化したためと考えられる。また、古い道跡のくぼみに殻皮が人為的あるいは自然作用によって集積された可能性もある。ⅢK-15はⅢH-13よりも沢状地形のより上位に立地することから、住居の廃絶後に貝殻の一部が流入したのであろう。杭穴は検出面（Ⅳ層上面）が異なり、明瞭な時期差を確認できなかった。焼土や骨集中は形成面がほぼ同じで、非常に近接して検出されることから、同時期と考えられる。

個体数は規模によって差があり、また殻皮の微細破片がかなり含まれるため、具体的な数量は不明である。形状を確認できるものから、10～30個体ほどのものが多いようである。いずれも全体的には一面に敷かれたような状況で層は成さない。まれに部分的に重なる範囲があり、小集中とした（ⅢK-14・17）。カワシジュガイの残存状況は良好ではなく、殻皮のみのものが大半である。ⅢK-8・9・33はやや密度が高いことに起因するのか、殻本体が残存する。穂摘具（ビバ）と確定できるような状態のものは出土しなかったが、素材として集積されていた可能性はある。

検出層位や周辺の遺構・遺物などから、1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。（芝田）

## （7）道跡

### ⅢR-1（図V-1-92～95／図版35）

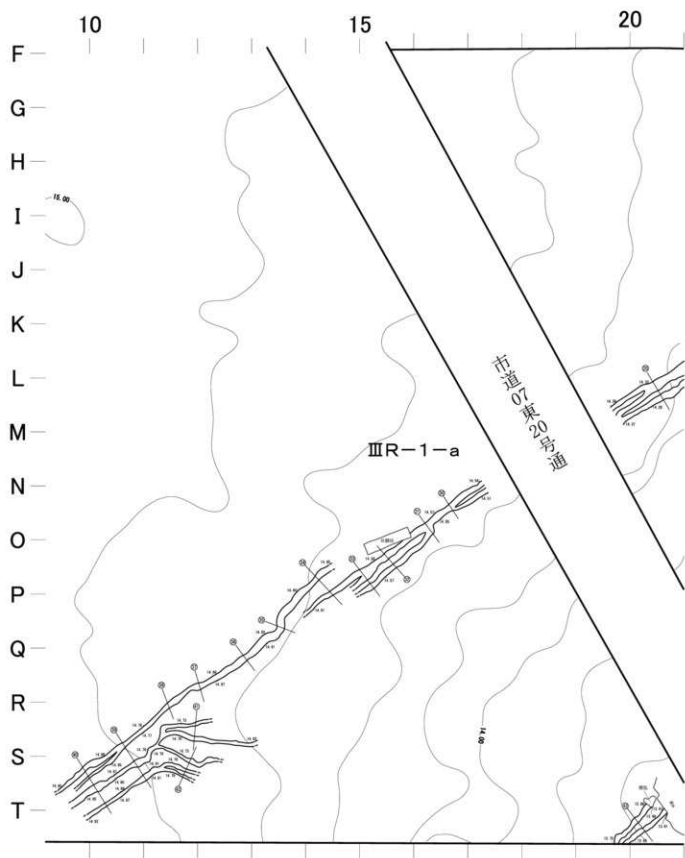
**確認・調査** 2007年度はB地区のF・G30・31区、N～P23・24区、K・L19～21区、C地区のN・O15～17区、T19・20区のⅡ層除去後に清掃したところ、Ⅲ層上面に北西-南東方向に延びる筋状の凹みを検出した。トレンチを入れて断面を観察したところ、幅0.30～0.60m・深さ0.01～0.04mの凹みとその直下が堅く締まっていることを確認した。2008年度は前年の調査を踏まえてⅢ層上面での精査を行い、前年から続く道跡のほかにも数条の道跡を確認した。

道跡は大まかに3つの群があると考えられる。切り合いから推測される古い順に、a群：南南東-北北西方向に延びて沢地形の底から北北東へ延びる道跡、b群：西北西-南東方向に延びる道跡、c群：北西-南東方向に延びる道跡である。b群は2007年度調査では西側を確認することができなかった。b・c群は沢地形の底面を通り、梅川へ向かう。

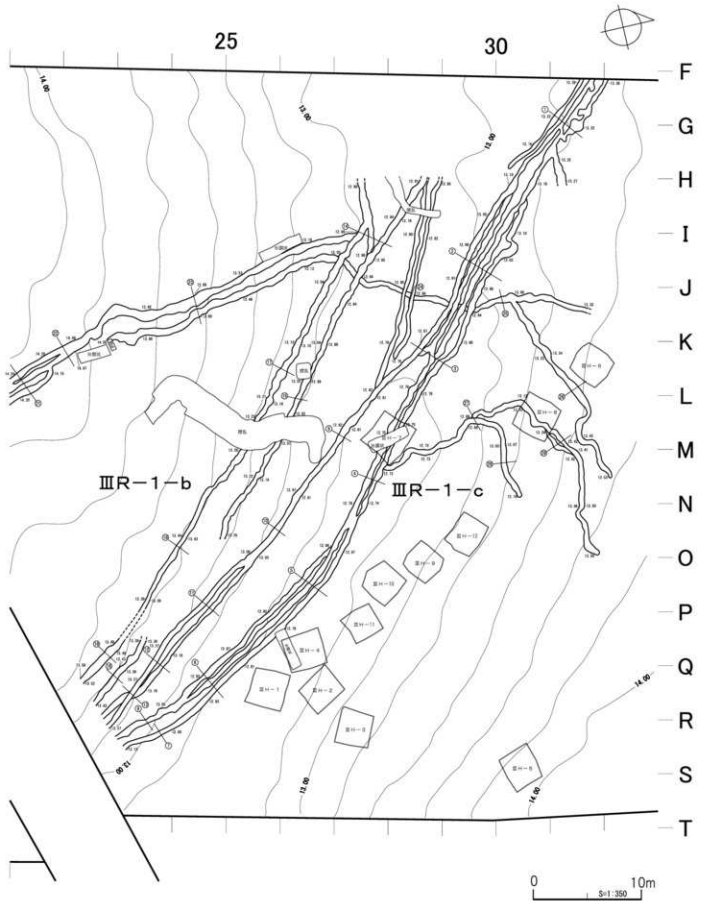
**遺物出土状況** 道跡上面から出土したものを出土遺物とした。火打石片や棒状礫が出土している。道跡周辺からはシカ骨片やカワシジュガイ殻皮などが出土している。特に道跡b・c群の周辺からは多く出土している。

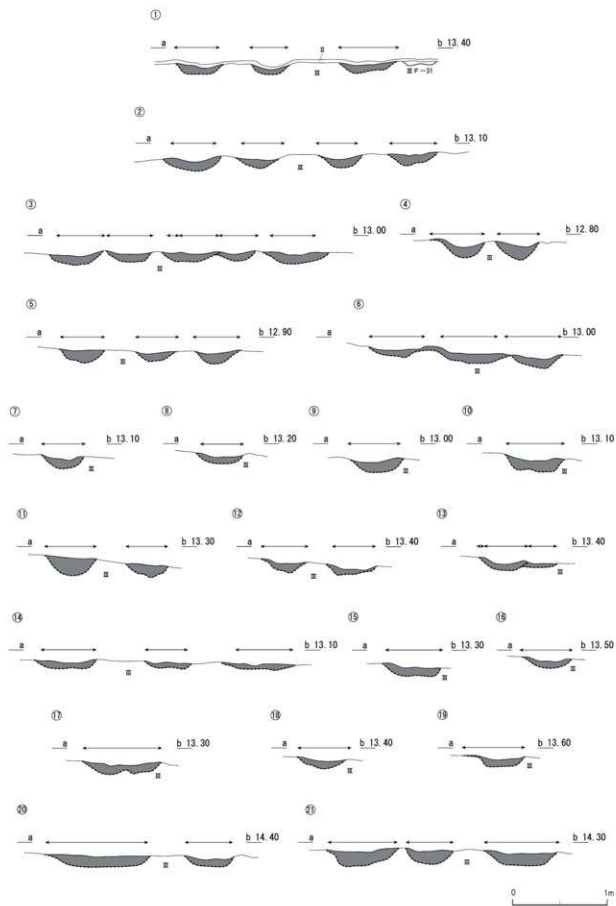
**時期** 検出層位や周辺の住居跡の推定時期から1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。

（酒井）



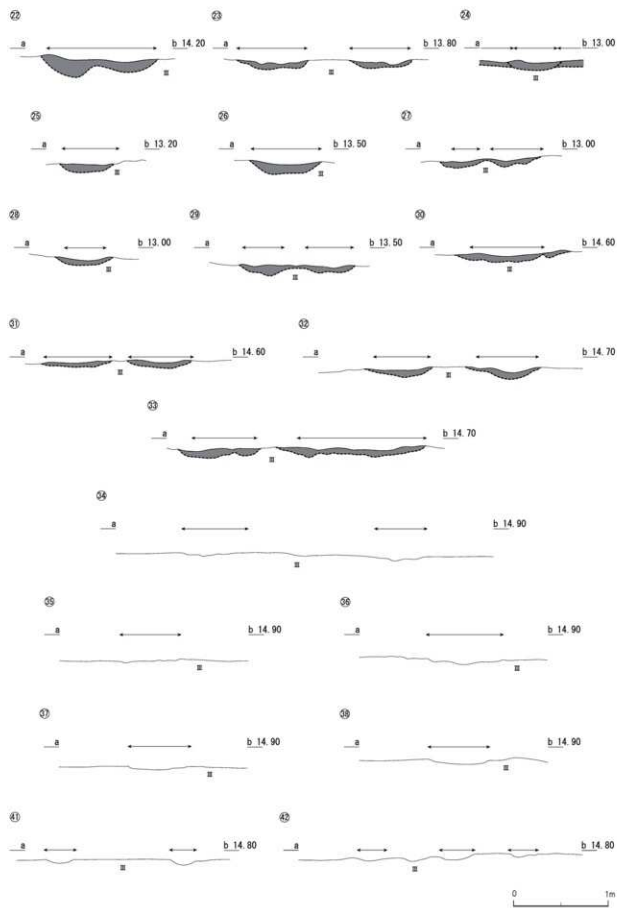
図V-1-92 III R-1平面図



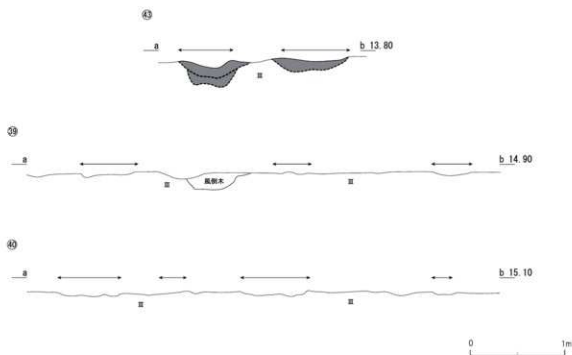


図V-1-93 ⅢR-1断面図(1)





図V-1-94 III R-1断面図(2)



図V-1-95 III R-1断面図(3)

### (8) 礫集中

ⅢS-1 (図V-1-96/表V-1-7/図版35)

**確認・調査** B地区のH19区を調査中にⅢ層中位で泥岩の礫片が出土した。同一母岩とみられたことから周辺を精査したところ21点を検出した。付近は遺物出土のまばらな地点であったことから、周辺を精査したところⅦ群土器や鉄製品を確認した。

**遺物** 1はⅢS-1から出土した礫片のうち16点が接合したもの。図中の○数字は遺物番号を表す。剥離順番は原石から④、⑧、⑦の順に割りとり、⑦から①⑨、⑥から②③⑤⑨、⑧から⑨を剥離している。各破片に使用したような痕跡はなく、ほぼすべての破片が接合して礫が復元される。

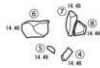
**時期** 近隣の同一層位からⅦ群土器(図V-2-18-53)が出土していることから、擦文文化期と考えられる。(酒井)

ⅢS-1

119b



ⅢS-1

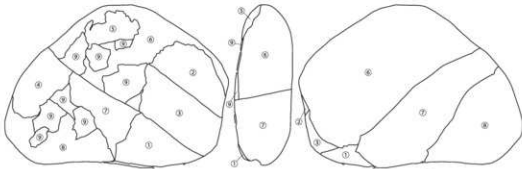
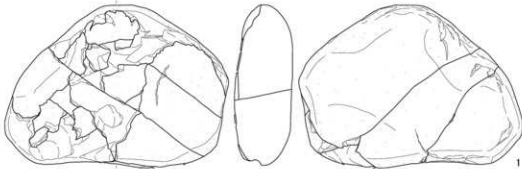


○ 14.42  
鍛造鉄製品



119a

0 1 2-1.45 1m



0 10cm

図V-1-96 ⅢS-1

(9) 剥片集中

ⅢFC-1 (図V-1-97/表V-1-8)

**確認・調査** B地区のN31区を調査中にⅢ層中位で黒曜石のフレイク・チップが0.91×0.43mほどの範囲にまとまっているのを検出した。径0.01m以下の微細なチップが主体であったことから、この範囲の土壌を採取し、水洗選別により遺物を抽出した。下部からは掘り込みなどは確認されなかった。

**遺物** 黒曜石のフレイク・チップ2387点が出土した。製品あるいは未成品は含まれていなかった。N31区のⅢFC-1周辺の包含層からも、黒曜石のフレイク・チップが1008点出土しており、同時期の石器製作作業で生じた可能性がある。

**時期** 近隣のアイヌ文化期の道跡・焼土・貝集中などの遺構よりも下位で形成されている。また、同一層位からVI群a類土器が出土していることから、統縄文時代前葉と考えられる。(芝田)

ⅢFC-1



013.4



図V-1-97 ⅢFC-1

表V-1-1 住居規模一覧

遺構番号	調査区	規模(m)				傾き(度)	平面形	先端形状	備考	図番号	図取番号
		上層		下層							
		長軸	短軸	長軸	短軸	深さ					
Ⅷ-1-1	ⅧP-1	Q25・26	3.42	3.29	—	—	—	—	—	—	—
	ⅧP-1	Q25d	0.72	0.58	—	—	0.13	—	階段形	—	瓦葺きの、大行石割出上
	ⅧP-1	Q25d	0.07	0.06	0.03	0.02	0.06	0	方形	—	瓦葺
	ⅧP-2	Q25a・d	0.09	0.06	0.01	0.02	0.06	0	階段形	—	瓦葺
	ⅧP-3	Q25c	0.07	0.05	0.02	0.04	0	0	階段形	—	瓦葺
	ⅧP-4	Q25b	0.11	0.09	0.03	0.02	0.11	8	階段形	—	瓦葺のみ
	ⅧP-5	Q25c	0.07	0.06	0.03	0.03	0.17	10	方形	—	瓦葺
	ⅧP-6	Q25c、Q28b	0.09	0.06	0.02	0.02	0.11	0	円形	—	瓦葺
	ⅧP-7	Q25b	0.08	0.08	0.02	0.02	0.05	0	方形	—	瓦葺のみ
	ⅧP-8	Q28a・b	0.09	0.06	0.03	0.02	0.06	0	方角形	—	瓦葺のみ
	ⅧP-9	Q26a	0.10	0.08	0.04	0.02	0.10	1	階段形	—	瓦葺
	ⅧP-10	Q26a	0.10	0.07	0.02	0.02	0.10	10	階段形	—	瓦葺
ⅧP-11	Q26a	0.07	0.06	0.03	0.02	0.04	0	円形	—	瓦葺のみ	
ⅧP-12	Q25d	0.10	0.09	0.03	0.03	0.25	14	階段形	—	瓦葺	
Ⅷ-1-2	ⅧP-1	Q26d	0.71	0.59	—	—	0.12	—	階段形	—	瓦葺なし
	ⅧP-1	Q28a	0.11	0.11	0.04	0.03	0.24	0	円形	—	瓦葺
	ⅧP-2	Q26d	0.14	0.10	0.04	0.04	0.27	8	階段形	—	瓦葺
	ⅧP-3	Q26c	0.10	0.09	0.04	0.03	0.17	7	円形	—	瓦葺
	ⅧP-4	Q27a	0.09	0.09	0.04	0.04	0.06	13	円形	—	瓦葺のみ
	ⅧP-5	Q27a	0.08	0.08	0.03	0.03	0.12	5	円形	—	瓦葺
	ⅧP-6	Q26c	0.09	0.06	0.04	0.02	0.24	8	円形	—	瓦葺
	ⅧP-7	Q26c	0.06	0.06	0.02	0.02	0.08	0	円形	—	瓦葺
	ⅧP-8	Q26c	0.07	0.05	0.03	0.02	0.11	0	円形	—	瓦葺
	ⅧP-9	Q26c	0.08	0.07	0.03	0.02	0.13	8	円形	—	瓦葺
	ⅧP-10	Q26c	0.06	0.06	0.02	0.02	0.09	10	円形	—	瓦葺
	ⅧP-11	Q26c	0.08	0.07	0.02	0.02	0.13	0	円形	—	瓦葺
Ⅷ-1-3	ⅧP-12	Q28b	0.18	0.08	0.02	0.02	0.05	0	階段形	—	瓦葺のみ
	ⅧP-13	Q28b	0.06	0.06	0.02	0.02	0.14	25	階段形	—	瓦葺、折曲
	ⅧP-14	Q26c	0.10	0.09	0.04	0.03	0.17	0	円形	—	瓦葺
	ⅧP-1	Q・R27	3.96	3.12	—	—	—	—	方角	—	瓦葺木にはる椀瓦
	ⅧP-1	R27a	0.64	0.43	—	—	0.11	—	階段形	—	瓦葺のみ
	ⅧP-1	Q27b	0.12	0.10	0.04	0.04	0.12	10	階段形	—	瓦葺
	ⅧP-2	Q27b	0.12	0.09	0.02	0.02	0.12	10	階段形	—	瓦葺
	ⅧP-3	Q27b	0.13	0.10	0.04	0.04	0.18	10	方角	—	瓦葺
	ⅧP-4	Q27c	0.11	0.08	0.02	0.02	0.18	0	方角	—	瓦葺
	ⅧP-5	R27c	0.12	0.12	0.04	0.04	0.28	10	円形	—	折曲
	ⅧP-6	R27c	0.14	0.09	0.03	0.03	0.24	13	階段形	—	瓦葺
	ⅧP-7	R26d、R27a	0.14	0.14	0.04	0.04	0.12	8	円形	—	瓦葺
ⅧP-8	R27a	0.11	0.10	0.04	0.04	0.07	0	円形	—	瓦葺のみ	
Ⅷ-1-4	ⅧP-1	R・S30	3.39	2.90	—	—	—	—	方角	—	瓦葺
	ⅧP-1	R30b	0.80	0.60	—	—	0.12	—	不整階段形	—	瓦葺のみ
	ⅧP-1	R30d	0.10	0.10	0.03	0.03	0.26	15	円形	—	瓦葺
	ⅧP-2	R30c	0.09	0.08	0.03	0.02	0.08	10	円形	—	瓦葺
	ⅧP-3	S30d	0.09	0.09	0.03	0.02	0.19	8	円形	—	瓦葺
	ⅧP-4	R30b	0.12	0.07	0.03	0.03	0.10	0	階段形	—	瓦葺
	ⅧP-5	R30b	0.19	0.09	0.04	0.02	0.08	0	階段形	—	瓦葺
	ⅧP-6	R30b	0.21	0.10	0.04	0.03	0.19	5	階段形	—	段の
	ⅧP-7	S30a	0.11	0.11	0.03	0.03	0.23	1	円形	—	瓦葺
ⅧP-8	S30a	0.10	0.06	0.03	0.03	0.11	10	階段形	—	瓦葺	
ⅧP-9	S30d	0.10	0.06	0.02	0.02	0.05	0	階段形	—	瓦葺のみ	
Ⅷ-1-5	ⅧP-1	K31・28	3.14	2.96	—	—	—	—	方角	—	瓦葺
	ⅧP-1	K31d	0.87	0.87	—	—	0.08	—	不整階段	—	瓦葺のみ
	ⅧP-1	K31d	0.09	0.09	0.03	0.03	0.22	10	円形	—	瓦葺
	ⅧP-2	K31d	0.11	0.11	0.04	0.04	0.27	20	円形	—	瓦葺
	ⅧP-3	K32a	0.10	0.09	0.06	0.04	0.23	15	円形	—	瓦葺
	ⅧP-4	K32a	0.11	0.11	0.03	0.03	0.18	15	円形	—	瓦葺
	ⅧP-5	K32b	0.09	0.08	0.03	0.03	0.11	15	円形	—	瓦葺
	ⅧP-6	K32b	0.15	0.12	0.12	0.10	0.17	10	円形	—	角版
	ⅧP-7	K31c	0.09	0.09	0.04	0.04	0.14	5	円形	—	瓦葺
	ⅧP-8	K31c	0.11	0.09	0.04	0.03	0.24	3	円形	—	瓦葺
	ⅧP-9	K31c	0.12	0.11	0.05	0.04	0.26	17	円形	—	瓦葺のみ
	ⅧP-10	K31c	0.10	0.09	0.06	0.04	0.25	18	円形	—	瓦葺
ⅧP-11	K31a・b	0.15	0.11	0.05	0.04	0.22	8	階段形	—	瓦葺	
ⅧP-12	K31a	0.09	0.07	0.05	0.05	0.08	30	階段形	—	瓦葺のみ	
ⅧP-13	K31a・d	0.14	0.12	0.06	0.06	0.23	20	階段形	—	瓦葺	
ⅧP-14	K31d	0.09	0.08	0.04	0.04	0.09	13	円形	—	瓦葺のみ	
ⅧP-15	K31d	0.19	0.16	0.05	0.04	0.17	20	階段形	—	瓦葺、折曲	
ⅧP-16	K32a	0.08	0.08	0.04	0.04	0.22	10	円形	—	瓦葺	
ⅧP-17	K32b	0.08	0.08	0.04	0.04	0.12	10	円形	—	瓦葺	
ⅧP-18	K31c	0.09	0.08	0.02	0.02	0.11	5	円形	—	瓦葺	
ⅧP-19	K31c	0.06	0.06	0.03	0.03	0.10	10	円形	—	瓦葺	
ⅧP-20	K31c	0.09	0.08	0.04	0.03	0.15	5	円形	—	瓦葺	
Ⅷ-1-6	ⅧP-1	L・M27・28	4.24	3.50	—	—	—	—	方角	—	瓦葺
	ⅧP-1	L27d	0.11	0.10	0.03	0.03	0.19	0	円形	—	瓦葺
	ⅧP-2	L28a・b	0.10	0.09	0.03	0.03	0.12	5	円形	—	瓦葺
	ⅧP-3	L28b	0.09	0.09	0.04	0.04	0.12	21	円形	—	瓦葺
	ⅧP-4	L28c	0.10	0.09	0.03	0.03	0.21	0	円形	—	瓦葺
	ⅧP-5	L28b	0.08	0.08	0.04	0.04	0.22	5	円形	—	瓦葺
	ⅧP-6	L28b	0.09	0.08	0.02	0.02	0.15	0	円形	—	瓦葺
	ⅧP-7	L28b	0.07	0.07	0.03	0.02	0.16	15	円形	—	瓦葺
	ⅧP-8	M28a	0.11	0.11	0.03	0.03	0.17	0	円形	—	瓦葺
	ⅧP-9	M28a	0.08	0.05	0.03	0.03	0.11	15	階段形	—	瓦葺
	ⅧP-10	M27d	0.09	0.07	0.03	0.03	0.19	15	階段形	—	瓦葺
	ⅧP-11	L27b	0.19	0.18	0.04	0.03	0.11	0	円形	—	瓦葺
ⅧP-12	L27c	0.16	0.13	0.06	0.06	0.25	5	階段形	—	瓦葺	
ⅧP-13	L27c	0.12	0.12	0.05	0.05	0.12	0	円形	—	瓦葺	
ⅧP-14	L27d	0.16	0.12	0.06	0.06	0.20	5	階段形	—	瓦葺	

梅川4 遺跡(3)

遺構番号	調査区	規模(m)					傾斜(度)	平面形	先端形状	備考	図番号	図取番号
		上層		下層								
		長軸	短軸	長軸	短軸	深さ						
ⅢH-7	HP-15	L27c	0.08	0.08	0.03	0.03	0.16	0	円形	完全	屋内	
	HP-16	L28b	0.08	0.07	0.02	0.02	0.08	0	円形	完全	屋内、先端のみ	
	HP-17	L28b	0.12	0.12	0.05	0.05	0.13	0	円形	瓦葺	屋内	
	HP-18	L27c	0.09	0.06	0.02	0.02	0.08	1	円形	完全	屋内	
	HP-19	L27c	0.10	0.07	0.03	0.04	0.11	0	楕円形	瓦葺	屋内、先端のみ	図V-1-7
	HP-20	M27d	0.06	0.07	0.03	0.03	0.09	15	円形	完全	屋内	図23
	HP-21	M27d	0.10	0.10	0.06	0.06	0.09	0	円形	角状	屋内	
	HP-22	L27c	0.09	0.09	0.03	0.03	0.13	1	円形	完全	屋内	
	HP-23	L27b+c	0.11	0.10	0.04	0.03	0.11	8	円形	完全	屋内	
		K30b, L30a+31	3.84	3.30	—	—	—	—	方形	—	遺跡跡下	
ⅢH-8	HP-1	L30d	0.04	0.46	—	—	0.09	—	不整形円形	—	瓦葺跡なし	
	HP-1	K30c	0.11	0.10	0.04	0.04	0.15	12	円形	完全	—	
	HP-2	L30d	0.12	0.09	0.05	0.04	0.21	7	楕円形	完全	屋内	
	HP-3	L30d	0.12	0.10	0.04	0.04	0.20	0	楕円形	完全	屋内	
	HP-4	L31a	0.07	0.07	0.02	0.02	0.08	0	円形	完全	先端のみ	
	HP-5	L31a	0.11	0.08	0.03	0.03	0.17	0	楕円形	完全	—	
	HP-6	L31b	0.06	0.06	0.02	0.02	0.08	0	円形	完全	先端のみ	
	HP-7	L31b	0.06	0.06	0.03	0.03	0.12	10	円形	完全	—	
	HP-8	L30c	0.09	0.09	0.03	0.03	0.26	1	円形	完全	—	
	HP-9	L30c	0.09	0.09	0.03	0.03	0.20	3	円形	完全	—	
HP-10	L30c	0.11	0.10	0.05	0.04	0.10	20	円形	完全	—		
HP-11	L30b+c	0.11	0.09	0.05	0.04	0.26	6	楕円形	完全	—		
HP-12	L30b	0.10	0.09	0.04	0.04	0.20	12	円形	完全	—		
HP-13	L30a	0.07	0.07	0.03	0.03	0.14	0	円形	完全	—		
HP-14	L30a	0.06	0.06	0.03	0.03	0.08	15	円形	瓦葺	先端のみ		
HP-15	L30a+d	0.09	0.08	0.04	0.04	0.12	1	円形	瓦葺	—	図V-1-8	
HP-16	L30d	0.09	0.08	0.04	0.04	0.09	10	円形	完全	屋内	図24	
HP-17	L30a	0.10	0.08	0.04	0.03	0.10	0	円形	完全	—		
HP-18	L30a+d	0.07	0.06	0.03	0.02	0.07	20	円形	完全	屋内、先端のみ		
HP-19	L30a	0.12	0.11	0.05	0.04	0.21	15	円形	完全	—		
HP-20	L30c	0.10	0.07	0.03	0.02	0.15	38	楕円形	完全	屋内		
HP-21	L30c	0.08	0.07	0.03	0.03	0.11	16	円形	瓦葺	屋内		
HP-22	L30c	0.08	0.08	0.02	0.02	0.11	0	円形	完全	屋内		
HP-23	L30c	0.06	0.05	0.02	0.02	0.11	0	円形	完全	屋内		
HP-24	L30d	0.10	0.08	0.04	0.03	0.11	5	楕円形	完全	屋内		
HP-25	L31a	0.12	0.10	0.05	0.05	0.10	0	楕円形	瓦葺	先端のみ		
HP-26	L30c	0.12	0.09	0.05	0.04	0.14	2	楕円形	瓦葺	—		
HP-27	L30a	0.08	0.07	0.02	0.02	0.10	0	円形	完全	—		
HP-28	L30a	0.07	0.07	0.04	0.04	0.15	20	円形	完全	—		
HP-29	L30a	0.06	0.06	0.03	0.03	0.16	0	円形	完全	—		
HP-30	L30a	0.10	0.08	0.03	0.03	0.09	0	楕円形	完全	—		
HP-31	L30a	0.08	0.05	0.04	0.04	0.09	0	円形	瓦葺	—		
	N28b, O28a+30	2.89	2.51	—	—	—	—	方形	—	—		
ⅢH-9	HP-1	O28d	0.77	0.531	—	—	0.11	—	不整形円形	—	瓦葺跡あり	
	HP-1	N28c	0.08	0.07	0.04	0.04	0.08	15	円形	完全	先端のみ	
	HP-2	N28c	0.03	0.05	0.02	0.02	0.07	10	円形	完全	先端のみ	
	HP-3	O28a	0.08	0.08	0.02	0.02	0.22	0	円形	完全	—	
	HP-4	O28d+d+O28a	0.06	0.06	0.02	0.02	0.05	8	円形	完全	先端のみ	
	HP-5	O28d	0.09	0.08	0.03	0.03	0.06	22	円形	完全	先端のみ	
	HP-6	O28d	0.06	0.05	0.02	0.02	0.05	0	円形	完全	先端のみ	
	HP-7	O28a+d	0.07	0.07	0.02	0.02	0.19	2	円形	完全	—	
	HP-8	O28a	0.06	0.06	0.02	0.02	0.08	0	円形	瓦葺	先端のみ	
	HP-9	O28a	0.07	0.07	0.03	0.02	0.09	0	円形	完全	先端のみ	図V-1-9
HP-10	O28a	0.07	0.07	0.03	0.03	0.08	15	円形	完全	先端のみ		
HP-11	N28b	0.11	0.10	0.04	0.04	0.08	10	円形	完全	先端のみ		
HP-12	N28b	0.09	0.08	0.03	0.03	0.09	8	円形	完全	先端のみ		
HP-13	N28b	0.04	0.04	0.02	0.02	0.06	19	円形	完全	—		
HP-14	N28b	0.06	0.06	0.03	0.03	0.03	0	円形	瓦葺	—		
HP-15	O28a	0.08	0.07	0.03	0.02	0.12	0	円形	完全	—		
HP-16	O28a	0.08	0.08	0.02	0.02	0.07	25	円形	完全	—		
HP-17	O28a	0.08	0.08	0.02	0.02	0.09	0	円形	完全	—		
HP-18	N28b	0.11	0.09	0.06	0.05	0.06	0	楕円形	瓦葺	—		
	O+P27+38	3.19	2.87	—	—	—	—	方形	—	—		
ⅢH-10	HP-1	O27c+d	0.26	0.240	—	—	0.09	—	不整形円形	—	瓦葺跡あり	
	HP-1	O27d	0.12	0.12	0.05	0.05	0.13	6	円形	瓦葺	—	
	HP-2	O28a	0.07	0.07	0.03	0.03	0.12	19	円形	完全	—	
	HP-3	O28a	0.09	0.09	0.04	0.04	0.13	16	円形	完全	—	
	HP-4	O28b	0.12	0.12	0.06	0.06	0.16	25	円形	完全	—	
	HP-5	O27c	0.10	0.10	0.04	0.04	0.09	15	円形	完全	先端のみ	
	HP-6	O27c	0.09	0.09	0.03	0.03	0.11	0	円形	瓦葺	—	
	HP-7	O27c	0.08	0.07	0.03	0.03	0.18	16	円形	完全	—	
	HP-8	O27d	0.13	0.11	0.04	0.04	0.09	14	楕円形	瓦葺	先端のみ	
	HP-9	O27d	0.08	0.08	0.03	0.03	0.21	8	円形	完全	—	
HP-10	O27d	0.11	0.11	0.05	0.04	0.28	0	円形	完全	—		
HP-11	O28b	0.09	0.08	0.04	0.04	0.05	11	円形	瓦葺	—		
HP-12	O28b	0.05	0.05	0.02	0.02	0.07	6	円形	完全	—		
HP-13	O28b	0.10	0.10	0.04	0.04	0.12	15	円形	完全	—		
HP-14	O28b	0.09	0.08	0.04	0.04	0.10	8	円形	完全	—		
HP-15	O28b	0.08	0.07	0.03	0.03	0.13	0	円形	完全	—		
HP-16	O27c	0.08	0.08	0.03	0.03	0.12	29	円形	完全	—		
HP-17	O27c	0.10	0.08	0.04	0.04	0.06	0	楕円形	完全	—		
HP-18	P27d	0.09	0.06	0.03	0.02	0.06	0	楕円形	瓦葺	—		

遺構番号	調査区	規模(m)				傾き(度)	平面形	先端形状	備考	図番号	図取番号	
		上端		下端								深さ
		長軸	短軸	長軸	短軸							
■H-11												
	O・P型	3.14	2.60	—	—	—	方形	—	—	—		
H F-1	P27 a・d	0.49	0.54	—	—	0.08	楕円形	—	—	瓦葺あ		
H P-1	O27 c	0.30	0.39	—	—	—	円形	—	—	—		
H P-2	P27 d	0.10	0.10	0.03	0.03	0.10	7	円形	—	—		
H P-3	P27 a	0.07	0.06	0.02	0.02	0.09	0	円形	—	—		
H P-4	P27 c	0.06	0.06	0.02	0.02	0.07	15	円形	—	—		
H P-5	P27 b	0.06	0.06	0.02	0.02	0.06	10	円形	—	—		
H P-6	P27 a	0.07	0.07	0.03	0.03	0.14	28	円形	—	—		
H P-7	P27 a	0.08	0.08	0.03	0.03	0.12	2	円形	—	—		
H P-8	O27 b	0.08	0.07	0.03	0.02	0.11	29	円形	—	—		
H P-9	P27 d	0.11	0.08	0.04	0.04	0.08	0	楕円形	—	—		
H P-10	P27 d	0.08	0.06	0.03	0.02	0.10	5	楕円形	—	—		
H P-11	P27 a	0.07	0.06	0.02	0.02	0.10	10	円形	—	—		
H P-12	O27 c	0.07	0.07	0.02	0.02	0.06	0	円形	—	—		
H P-13	O27 b	0.07	0.07	0.02	0.02	0.30	5	円形	—	—		
■H-12												
	N29	3.38	2.74	—	—	—	方形	—	—	—		
H F-1	N29 b	0.90	0.73	—	—	0.06	—	不整形	—	瓦葺なし		
H A-1	N29 a	0.65	0.29	—	—	—	—	不整形	—	—		
H P-1	N29 a	0.08	0.07	0.02	0.02	0.10	5	円形	—	—		
H P-2	N29 a	0.09	0.08	0.03	0.03	0.06	32	円形	—	—		
H P-3	N29 d	0.14	0.13	0.05	0.05	0.22	1	楕円形	—	—		
H P-4	N29 d	0.08	0.07	0.02	0.02	0.13	0	円形	—	—		
H P-5	N29 a	0.05	0.08	0.02	0.02	0.06	0	円形	—	—		
H P-6	N29 a	0.18	0.08	0.02	0.02	0.07	10	円形	—	—		
H P-7	N29 d	0.10	0.09	0.03	0.02	0.13	13	円形	—	—		
H P-8	N29 c	0.07	0.06	0.03	0.02	0.03	0	円形	—	—		
H P-9	N29 c	0.06	0.05	0.02	0.02	0.07	10	円形	—	—		
H P-10	N29 c	0.13	0.13	0.05	0.05	0.12	0	円形	—	—		
H P-11	N29 c, G29 d	0.06	0.06	0.03	0.03	0.09	10	円形	—	—		
H P-12	N29 b	0.08	0.07	0.04	0.04	0.07	15	円形	—	—		
H P-13	N29 b	0.08	0.07	0.06	0.05	0.08	20	円形	—	—		
H P-14	N29 b	0.06	0.06	0.02	0.02	0.05	19	円形	—	—		
H P-15	N29 b	0.07	0.06	0.03	0.02	0.04	29	円形	—	—		
H P-16	N29 b	0.06	0.05	0.02	0.02	0.06	5	円形	—	—		
H P-17	N29 b	0.09	0.07	0.03	0.03	0.04	30	楕円形	—	—		
H P-18	N29 b	0.08	0.07	0.03	0.02	0.10	0	円形	—	—		
H P-19	N29 a	0.11	0.09	0.03	0.03	0.11	0	楕円形	—	—		
H P-20	N29 a	0.09	0.08	0.02	0.02	0.06	0	円形	—	—		
H P-21	N29 a	0.09	0.07	0.04	0.04	0.03	15	円形	—	—		
H P-22	N29 a	0.05	0.05	0.02	0.02	0.08	3	円形	—	—		
■H-13												
	P36	3.42	3.25	—	—	—	方形	—	—	—		
H F-1	P36 b・c	0.53	0.53	—	—	0.09	—	楕円形	—	瓦葺あ		
H P-1	P36 c	0.11	0.08	0.03	0.03	0.02	0	楕円形	—	瓦葺		
H P-2	Q36 d	0.08	0.08	0.03	0.02	0.08	10	円形	—	—		
H P-3	P36 c	0.06	0.05	0.02	0.02	0.21	0	円形	—	—		
H P-4	Q36 a	0.08	0.06	0.03	0.02	0.07	12	円形	—	—		
H P-5	P36 c	0.07	0.08	0.03	0.02	0.05	0	方形	—	—		
H P-6	P36 d	0.05	0.05	0.02	0.02	0.06	10	円形	—	—		
H P-7	P36 a	0.05	0.05	0.02	0.02	0.06	0	方形	—	—		
H P-8	P36 a	0.07	0.06	0.03	0.02	0.06	0	方形	—	—		
H P-9	P36 c	0.06	0.06	0.02	0.02	0.09	0	円形	—	—		

表V-1-2 杭穴規模一覧

遺構番号	調査区	杭出端の深さ	規模(m)	傾き(度)	平面形	先端形状	層土	時期	特徴	図番号	
											深さ
■S P-1	N33 a	Ⅷ層	0.09	0.12	3	円形	瓦葺	1	アイヌ文化層	図V-1-21, 23	
■S P-2	P33 b	Ⅷ層	0.07	0.16	8	円形	瓦葺	10	アイヌ文化層		
■S P-3	P33 b	Ⅷ層	0.08	0.14	10	円形	瓦葺	3	アイヌ文化層		
■S P-4	P33 b	Ⅷ層	0.09	0.16	0	円形	瓦葺	2	アイヌ文化層		
■S P-5	P33 b	Ⅷ層	0.14	0.11	0	円形	瓦葺	1	アイヌ文化層		
■S P-6	H33 d, G33 a	Ⅷ層	0.10	0.14	11	楕円形	瓦葺	2	アイヌ文化層		
■S P-7	H33 d	Ⅷ層	0.18	0.34	10	円形	瓦葺	2	アイヌ文化層		■F-130と重複、断面
■S P-8	P33 d	Ⅷ層	0.07	0.08	14	円形	瓦葺	1	アイヌ文化層		先端のみ
■S P-9	P33 c	Ⅷ層	0.08	0.12	8	円形	瓦葺	5	アイヌ文化層		—
■S P-10	P33 d	Ⅷ層	0.08	0.18	10	円形	瓦葺	7	アイヌ文化層		—
■S P-11	F33 a	Ⅷ層	0.06	0.10	0	円形	瓦葺	7	アイヌ文化層		—
■S P-12	P33 b	Ⅷ層	0.02	0.10	8	円形	瓦葺	5	アイヌ文化層		—
■S P-13	P33 b	Ⅷ層	0.08	0.20	0	円形	瓦葺	1	アイヌ文化層		—
■S P-14	F33 b	Ⅷ層	0.08	0.10	0	楕円形	瓦葺	7	アイヌ文化層		—
■S P-15	P33 b	Ⅷ層	0.07	0.14	0	楕円形	瓦葺	7	アイヌ文化層		—
■S P-16	F33 b	Ⅷ層	0.10	0.20	20	円形	瓦葺	5	アイヌ文化層		—
■S P-17	F33 b	Ⅷ層	0.09	0.10	30	円形	瓦葺	7	アイヌ文化層		—
■S P-18	F33 a	Ⅷ層	0.07	0.08	0	円形	瓦葺	4	アイヌ文化層		—
■S P-19	G33 a	Ⅷ層	0.08	0.14	17	円形	瓦葺	7	アイヌ文化層		—
■S P-20	G33 a	Ⅷ層	0.08	0.11	16	円形	瓦葺	7	アイヌ文化層		—
■S P-21	G33 a	Ⅷ層	0.09	0.14	0	円形	瓦葺	4	アイヌ文化層		—
■S P-22	G33 a	Ⅷ層	0.07	0.14	0	円形	瓦葺	4	アイヌ文化層		—
■S P-23	G33 a	Ⅷ層	0.09	0.08	0	楕円形	瓦葺	4	アイヌ文化層		—
■S P-24	G33 a	Ⅷ層	0.05	0.08	0	円形	瓦葺	5	アイヌ文化層		—
■S P-25	G33 b	Ⅷ層	0.07	0.12	20	円形	瓦葺	5	アイヌ文化層		—
■S P-26	G33 b	Ⅷ層	0.11	0.13	3	円形	瓦葺	7	アイヌ文化層		—
■S P-27	G33 b	Ⅷ層	0.07	0.13	0	円形	瓦葺	4	アイヌ文化層		—
■S P-28	G33 b	Ⅷ層	0.06	0.08	0	円形	瓦葺	4	アイヌ文化層		—
■S P-29	G33 b	Ⅷ層	0.11	0.20	20	円形	瓦葺	5	アイヌ文化層		—
■S P-30	G33 b	Ⅷ層	0.10	0.17	15	楕円形	瓦葺	7	アイヌ文化層		—
■S P-31	G33 b	Ⅷ層	0.08	0.14	11	円形	瓦葺	1	アイヌ文化層		—
■S P-32	G33 b	Ⅷ層	0.12	0.28	0	円形	瓦葺	1	アイヌ文化層		V層まで到達
■S P-33	G33 b	Ⅷ層	0.10	0.20	14	円形	瓦葺	5	アイヌ文化層		V層まで到達

梅川4遺跡(3)

遺構番号	調査区	検出層位	規模(m)		傾き(度)	平面形	基礎形状	層土	時期	特徴	図番号
			縦	横							
遺構P-34	G33b	IV層	0.08	0.12	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-35	G33b	IV層	0.08	0.17	10	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-36	G33b	IV層	0.06	0.11	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-37	G33d	IV層	0.08	0.13	7	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-38	G33c + d	IV層	0.08	0.11	17	円形	基礎	丸瓦	5	アイヌ文化期	
遺構P-39	G33a	IV層	0.08	0.11	0	円形	基礎	丸瓦	5	アイヌ文化期	
遺構P-40	G33a	IV層	0.10	0.12	0	円形	基礎	丸瓦	5	アイヌ文化期	
遺構P-41	G33d + G33a	IV層	0.07	0.12	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	遺構P-37・127と重複
遺構P-42	G33d	IV層	0.07	0.16	0	円形	基礎	丸瓦	5	アイヌ文化期	
遺構P-43	G33b	IV層	0.12	0.12	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-44	H33a	IV層	0.00	0.10	0	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-45	F32d	IV層	0.00	0.19	0	円形	基礎	丸瓦	5	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-46	F32d	IV層	0.11	0.08	20	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-47	F32d	IV層	0.07	0.14	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-48	F32d	IV層	0.00	0.20	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-49	F32d	IV層	0.11	0.35	12	楕円形	基礎	丸瓦	5	アイヌ文化期	V層まで到達
遺構P-50	F32d	IV層	0.08	0.30	5	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-51	F32d	IV層	0.07	0.21	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-52	F32d	IV層	0.11	0.14	5	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-53	F32b	IV層	0.05	0.09	8	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-54	F32b	IV層	0.00	0.10	23	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-55	F32c	IV層	0.08	0.24	8	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-56	F32c	IV層	0.08	0.06	0	円形	基礎	丸瓦	1	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-57	G32a	IV層	0.08	0.07	0	円形	基礎	丸瓦	1	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-58	G32a	IV層	0.08	0.08	10	円形	基礎	丸瓦	1	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-59	G32a	IV層	0.10	0.16	5	円形	基礎	丸瓦	1	アイヌ文化期	
遺構P-60	G32a	IV層	0.08	0.12	0	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-61	G32d	IV層	0.09	0.11	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-62	G32d	IV層	0.10	0.22	6	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-63	G32d	IV層	0.00	0.25	0	円形	基礎	丸瓦	5	アイヌ文化期	層K-6と重複
遺構P-64	G32d	IV層	0.10	0.20	0	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	層K-6と重複
遺構P-65	G32d	IV層	0.08	0.12	10	楕円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-66	G32d	IV層	0.10	0.13	0	楕円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-67	G32d	IV層	0.08	0.16	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-68	G32d	IV層	0.08	0.08	15	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-69	G32d	IV層	0.08	0.10	10	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	遺構P-130と重複、先端のみ
遺構P-70	G32d	IV層	0.10	0.15	5	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-71	G32a	IV層	0.07	0.08	15	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-72	G32a	IV層	0.08	0.12	8	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-73	G32a	IV層	0.10	0.13	0	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-74	G32a	IV層	0.07	0.07	0	円形	基礎	丸瓦	2	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-75	G32a	IV層	0.10	0.11	0	楕円形	基礎	丸瓦	2	アイヌ文化期	遺構P-71と重複
遺構P-76	G32a	IV層	0.07	0.15	12	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-77	G32a	IV層	0.08	0.10	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-78	G32a	IV層	0.00	0.07	26	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-79	G32a	IV層	0.10	0.18	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-80	G32a	IV層	0.00	0.11	15	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-81	G32a + b	IV層	0.08	0.09	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-82	G32b	IV層	0.07	0.08	0	楕円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-83	G32b	IV層	0.06	0.06	18	楕円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-84	G32b	IV層	0.10	0.10	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-85	G32b	IV層	0.08	0.10	25	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-86	G32b	IV層	0.07	0.08	10	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-87	G32b	IV層	0.07	0.08	20	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-88	G32b	IV層	0.06	0.10	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-89	G32b	IV層	0.10	0.18	10	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-90	G32b	IV層	0.08	0.09	15	楕円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-91	G32c	III層	0.10	0.15	20	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-92	G32c	IV層	0.07	0.15	10	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-93	G32b	IV層	0.08	0.20	10	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-94	G32c	IV層	0.08	0.07	12	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-95	G32c	IV層	0.00	0.21	10	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	段あり
遺構P-96	G32c	IV層	0.08	0.18	0	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-97	G32c	IV層	0.06	0.11	0	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-98	G32c	IV層	0.06	0.13	8	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-99	G32c	IV層	0.06	0.07	0	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-100	G32c	IV層	0.08	0.14	10	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-101	G32c	IV層	0.08	0.10	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-102	G32c	IV層	0.10	0.16	0	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-103	G32c	IV層	0.07	0.11	0	円形	基礎	丸瓦	5	アイヌ文化期	
遺構P-104	G32c	IV層	0.10	0.21	5	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	
遺構P-105	G32c	IV層	0.08	0.20	10	楕円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	段あり
遺構P-106	G32c	IV層	0.09	0.06	0	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	遺構P-102と重複、先端のみ
遺構P-107	G32c	IV層	0.08	0.09	0	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-108	G32c	IV層	0.12	0.21	12	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	段あり
遺構P-109	G32c	IV層	0.06	0.21	10	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-110	G32c	IV層	0.05	0.07	0	円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-111	G32c	IV層	0.05	0.07	12	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-112	G32c	IV層	0.07	0.05	0	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-113	H32d	IV層	0.11	0.25	5	楕円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-114	H32d	IV層	0.08	0.11	0	楕円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-115	H32d	IV層	0.06	0.09	0	楕円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-116	H32d	IV層	0.06	0.07	0	楕円形	基礎	丸瓦	4	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-117	H32a	IV層	0.00	0.07	10	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-118	F31d	IV層	0.10	0.15	13	円形	基礎	丸瓦	1	アイヌ文化期	層K-8と重複、遺跡前下
遺構P-119	F31c + F32b	IV層	0.06	0.09	0	円形	基礎	丸瓦	1	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-120	F31c	IV層	0.06	0.08	0	円形	基礎	丸瓦	1	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-121	G31b	IV層	0.00	0.12	30	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-122	G31c	IV層	0.06	0.10	30	円形	基礎	丸瓦	1	アイヌ文化期	
遺構P-123	G31c	IV層	0.07	0.08	25	円形	基礎	丸瓦	5	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-124	G31c	IV層	0.06	0.08	0	楕円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-125	H32d	IV層	0.05	0.06	0	楕円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	先端のみ
遺構P-126	F32b	IV層	0.08	0.13	8	円形	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	
遺構P-127	G31d	IV層	0.040	0.15	12	不明	基礎	丸瓦	7	アイヌ文化期	遺構P-40と重複

図V-1-15, 23

図V-1-15, 34

図V-1-15, 34

図V-1-15, 23



遺構番号	調査区	検出層位	規模(m)	幅員	平面形	基礎形状	層土	時期	特徴	図番号
遺S P-129	G31c	Ⅱ層	0.72	0.72	7	隅付	丸底	7	アイヌ文化期	
遺S P-130	G32c	Ⅱ層	0.77	0.53	30	隅付	丸底	5	アイヌ文化期	遺V-1-10, 14
遺S P-130	G32d	Ⅱ層	0.04	0.99	26	隅付	丸底	4	アイヌ文化期	遺P-168上層
遺S P-131	G33b	Ⅱ層	0.10	0.31	0	隅付	丸底	5	アイヌ文化期	
遺S P-132	P27b	Ⅱ層	0.11	0.23	0	隅付	丸底	10, 1	アイヌ文化期	
遺S P-133	P27b	Ⅱ層	0.10	0.77	3	三角	丸底	3	アイヌ文化期	
遺S P-134	Q23a	Ⅱ層	0.08	0.28	5	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	V層まで到達
遺S P-135	Q23a	Ⅱ層	0.09	0.21	3	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-136	Q23b	Ⅱ層	0.08	0.28	0	隅付	丸底	6	アイヌ文化期	
遺S P-137	Q23b	Ⅱ層	0.08	0.18	3	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-138	P27b	Ⅱ層	0.10	0.34	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-139	P27c, P27b	Ⅱ層	0.10	0.99	0	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	遺K-15上層
遺S P-140	P26c	Ⅱ層	0.11	0.10	3	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	遺K-15上層
遺S P-141	Q23b, 足跡a	Ⅱ層	0.06	0.10	0	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	
遺S P-142	K28a・d	Ⅱ層	0.08	0.10	10	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	
遺S P-143	R28d	Ⅱ層	0.07	0.09	5	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	
遺S P-144	R28b	Ⅱ層	0.06	0.30	0	隅付	丸底	11, 12	アイヌ文化期	V層まで到達 表層部の浮遊性あり
遺S P-145	O25c	Ⅱ層	0.06	0.06	3	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-146	O25c	Ⅱ層	0.07	0.12	0	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	
遺S P-147	O25c	Ⅱ層	0.06	0.10	0	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	
遺S P-148	O25c	Ⅱ層	0.08	0.07	0	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-149	O25c	Ⅱ層	0.10	0.18	0	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	
遺S P-150	O25a	Ⅱ層	0.06	0.06	0	方形	丸底	3	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-151	O25b	Ⅱ層	0.08	0.07	0	方形	丸底	3	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-152	O25b	Ⅱ層	0.06	0.05	0	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	遺跡跡下, 先端のみ
遺S P-153	O25b	Ⅱ層	0.05	0.05	0	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	遺跡跡下, 先端のみ
遺S P-154	O25b	Ⅱ層	0.06	0.05	0	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	遺跡跡下, 先端のみ
遺S P-155	O25b	Ⅱ層	0.06	0.06	0	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	遺跡跡下, 先端のみ
遺S P-156	P26a	Ⅱ層	0.08	0.06	10	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-157	R29c	Ⅱ層	0.09	0.11	10	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	
遺S P-158	R29c	Ⅱ層	0.06	0.10	0	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	
遺S P-159	R29c	Ⅱ層	0.08	0.09	0	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	
遺S P-160	R29c	Ⅱ層	0.08	0.09	4	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	
遺S P-161	R29c	Ⅱ層	0.08	0.14	2	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	
遺S P-162	K29c	Ⅱ層	0.10	0.08	0	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-163	S29d	Ⅱ層	0.12	0.14	0	隅付	丸底	3	アイヌ文化期	段状
遺S P-164	H29b	Ⅱ層	0.06	0.07	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-165	H29c	Ⅱ層	0.09	0.29	10	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-166	H30b	Ⅱ層	0.06	0.04	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	遺P-171上層, 先端のみ
遺S P-167	H30b	Ⅱ層	0.06	0.06	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-168	H30c	Ⅱ層	0.09	0.17	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-169	H30c	Ⅱ層	0.10	0.07	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-170	H31a	Ⅱ層	0.06	0.06	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-171	H31a	Ⅱ層	0.10	0.10	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-172	H31b	Ⅱ層	0.07	0.12	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-173	H31a	Ⅱ層	0.06	0.07	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-174	H31b	Ⅱ層	0.02	0.06	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-175	H31b	Ⅱ層	0.02	0.09	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-176	H31a	Ⅱ層	0.02	0.05	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-177	H31d	Ⅱ層	0.04	0.04	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-178	H31c	Ⅱ層	0.10	0.12	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	遺P-171上層
遺S P-179	H31c	Ⅱ層	0.12	0.26	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-180	H31c	Ⅱ層	0.06	0.10	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	遺P-171上層
遺S P-181	H31c	Ⅱ層	0.08	0.06	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-182	H32b	Ⅱ層	0.12	0.14	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-183	H31c	Ⅱ層	0.06	0.07	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-184	H32b	Ⅱ層	0.10	0.18	0	隅付	丸底	7	アイヌ文化期	
遺S P-186	H32a	Ⅱ層	0.05	0.04	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-186	H32a	Ⅱ層	0.06	0.04	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-187	H32a	Ⅱ層	0.06	0.19	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	遺S P-188上層
遺S P-188	H32a	Ⅱ層	0.08	0.04	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	遺S P-188上層, 先端のみ
遺S P-189	H32a	Ⅱ層	0.06	0.20	2	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-190	H32a	Ⅱ層	0.07	0.16	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-191	H32d	Ⅱ層	0.14	0.12	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-192	H32d	Ⅱ層	0.12	0.12	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-193	H32c	Ⅱ層	0.02	0.05	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-194	H32c	Ⅱ層	0.04	0.11	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-196	H32c	Ⅱ層	0.06	0.23	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-198	H32b	Ⅱ層	0.02	0.04	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-197	H32b	Ⅱ層	0.11	0.29	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-198	H31c	Ⅱ層	0.14	0.23	30	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	遺P-171上層
遺S P-199	H31d	Ⅱ層	0.03	0.06	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-200	H31d	Ⅱ層	0.07	0.04	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-201	H31d	Ⅱ層	0.06	0.12	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-202	H32d	Ⅱ層	0.06	0.13	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-203	H32d	Ⅱ層	0.08	0.15	0	隅付	丸底	7	アイヌ文化期	
遺S P-204	H32d	Ⅱ層	0.06	0.13	2	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-205	H32d	Ⅱ層	0.06	0.13	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-206	H31c	Ⅱ層	0.07	0.19	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-207	H32c	Ⅱ層	0.06	0.10	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-208	H31c	Ⅱ層	0.05	0.07	0	隅付	丸底	7	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-209	H32c	Ⅱ層	0.08	0.10	0	隅付	丸底	7	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-210	H32c	Ⅱ層	0.09	0.12	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-211	H32b, H32a	Ⅱ層	0.07	0.10	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-212	I32c	Ⅱ層	0.05	0.23	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-213	I32c	Ⅱ層	0.04	0.04	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-214	I32c	Ⅱ層	0.05	0.10	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	
遺S P-215	I32c	Ⅱ層	0.04	0.06	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-216	I32c	Ⅱ層	0.04	0.05	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-217	I32b	Ⅱ層	0.06	0.19	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-218	I32c	Ⅱ層	0.04	0.09	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-219	I32d	Ⅱ層	0.09	0.19	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端が等長
遺S P-220	I32d	Ⅱ層	0.09	0.09	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	先端のみ
遺S P-221	I32d	Ⅱ層	0.06	0.18	0	隅付	丸底	10	アイヌ文化期	

梅川4 遺跡(3)

遺構番号	調査区	検出層位	規模(m)		柱石径	平面形	基礎形状	層土	時期	特徴	図番号
			縦	横							
遺構 P-201	131d	IV層	0.10	0	円形	瓦葺	瓦葺	10	アイヌ文化期	遺構 P-416a 遺構	
遺構 P-203	132d	IV層	0.06	0.15	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-204	132d	IV層	0.07	0.13	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-205	132d	IV層	0.06	0.09	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-206	132d	IV層	0.03	0.03	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-207	132d	IV層	0.06	0.11	0	円形	瓦葺	9	アイヌ文化期		
遺構 P-208	132d	IV層	0.05	0.09	0	円形	瓦葺	9	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-209	132d	IV層	0.04	0.07	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-210	132d	IV層	0.05	0.04	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-211	132d	IV層	0.06	0.11	0	円形	瓦葺	9	アイヌ文化期		
遺構 P-232	131a	IV層	0.07	0.30	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		図V-1-10, 16
遺構 P-233	131a	IV層	0.10	0.20	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-234	131a	IV層	0.10	0.11	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-235	132a	IV層	0.04	0.09	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-236	132b	IV層	0.11	0.27	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-237	132b	IV層	0.04	0.09	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-238	132b	IV層	0.06	0.13	3	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-239	132b	IV層	0.07	0.06	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-240	132b	IV層	0.09	0.25	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端が等差	
遺構 P-241	132b	IV層	0.07	0.12	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-242	132b	IV層	0.08	0.15	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-243	131c	IV層	0.04	0.09	25	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-244	131c	IV層	0.06	0.13	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-245	131c	IV層	0.08	0.18	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-246	131c	IV層	0.07	0.09	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	図V-1-14, 16
遺構 P-247	131c	IV層	0.10	0.12	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-248	131c	IV層	0.07	0.03	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-249	131c	IV層	0.05	0.07	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-250	131c	IV層	0.05	0.04	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-251	131c	IV層	0.06	0.09	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-252	131b	IV層	0.05	0.06	0	楕円形	瓦葺	70	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-253	131b	IV層	0.04	0.04	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-254	131b	IV層	0.07	0.18	30	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-255	131b	IV層	0.05	0.12	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-256	131b	IV層	0.07	0.15	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-257	131a	IV層	0.09	0.16	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		図V-1-14, 17
遺構 P-258	131b	IV層	0.05	0.08	0	円形	瓦葺	9	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-259	131a	IV層	0.07	0.09	2	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-260	131a	IV層	0.04	0.05	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-261	131a	IV層	0.07	0.11	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-262	131b	IV層	0.04	0.10	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-263	131b	IV層	0.07	0.10	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-264	131a	IV層	0.08	0.04	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-265	132a	IV層	0.07	0.08	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-266	132a	IV層	0.08	0.13	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-267	132a	IV層	0.07	0.19	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		図V-1-15, 17
遺構 P-268	131a	IV層	0.07	0.13	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-269	131d	IV層	0.10	0.10	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-270	131d	IV層	0.06	0.14	2	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-271	131d	IV層	0.07	0.08	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-272	131d	IV層	0.06	0.12	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-273	131d	IV層	0.09	0.14	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-274	131d	IV層	0.10	0.15	18	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-275	131d	IV層	0.06	0.07	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-276	131d	IV層	0.08	0.12	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-277	131d	IV層	0.09	0.13	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-278	131d	IV層	0.05	0.10	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-279	131d	IV層	0.06	0.10	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-280	131c	IV層	0.11	0.25	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-281	131c	IV層	0.04	0.06	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-282	131d	IV層	0.09	0.18	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端(埋没遺構?)	
遺構 P-283	131d	IV層	0.07	0.09	0	円形	瓦葺	9	アイヌ文化期		
遺構 P-284	131d	IV層	0.04	0.05	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-285	131d	IV層	0.04	0.06	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-286	131d	IV層	0.04	0.05	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-287	131d	IV層	0.09	0.18	18	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	図V-1-14, 17
遺構 P-288	131d	IV層	0.07	0.16	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-289	131d	IV層	0.05	0.08	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-290	131c	IV層	0.05	0.09	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-291	131c	IV層	0.07	0.11	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-292	131b	IV層	0.05	0.08	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-293	131a	IV層	0.07	0.08	2	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-294	131a	IV層	0.07	0.14	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-295	H31b, 131a	IV層	0.07	0.11	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-296	H31b, 131a	IV層	0.05	0.10	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-297	131a, c, d	IV層	0.04	0.05	0	円形	瓦葺	9	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-298	131a	IV層	0.05	0.05	0	円形	瓦葺	9	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-299	131a	IV層	0.05	0.05	0	円形	瓦葺	9	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-300	131a	IV層	0.06	0.06	0	円形	瓦葺	9	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-301	130c	IV層	0.04	0.07	25	円形	瓦葺	9	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-302	130a	IV層	0.08	0.11	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	遺跡跡下	
遺構 P-303	130a	IV層	0.05	0.09	0	楕円形	瓦葺	9	アイヌ文化期	遺跡跡下	
遺構 P-304	130a	IV層	0.09	0.11	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-305	132b	IV層	0.07	0.09	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-306	131d	IV層	0.04	0.04	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-307	132b	IV層	0.07	0.14	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-308	131c	IV層	0.07	0.15	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-309	131c	IV層	0.05	0.05	0	円形	瓦葺	9	アイヌ文化期	先端のみ	図V-1-17, 17
遺構 P-310	131a	IV層	0.07	0.04	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	遺跡跡下	
遺構 P-311	131a	IV層	0.09	0.12	0	楕円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	遺跡跡下	
遺構 P-312	131b	IV層	0.06	0.08	0	円形	瓦葺	9	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-313	130c	IV層	0.07	0.07	0	楕円形	瓦葺	9	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構 P-314	130c	IV層	0.08	0.14	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期		
遺構 P-315	131a	IV層	0.06	0.09	0	円形	瓦葺	10	アイヌ文化期	先端のみ	図V-1-17, 18

遺構番号	調査区	検出層位	規模(m)		傾き(度)	平面形	基礎形状	層土	時期	特徴	図番号
			縦	横							
遺構P-304a	J11a	IV層	0.14	0.18	0	円形	基礎	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-307	J30c	IV層	0.05	0.12	0	円形	なし	10	アイヌ文化期	遺跡のみ	図V-1-17, 28
遺構P-314	J30c	IV層	0.04	0.10	0	楕円形	基礎	10	アイヌ文化期	遺跡のみ	
遺構P-319	J30b	IV層	0.07	0.08	0	楕円形	基礎	9	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-320	L29a	IV層	0.05	0.08	0	円形	基礎	10	アイヌ文化期	先端のみ	図V-1-15, 28
遺構P-321	L30a	IV層	0.13	0.17	0	円形	なし	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-322	L30c	IV層	0.06	0.07	0	円形	なし	9	アイヌ文化期	先端のみ	図V-1-14, 28
遺構P-323	L30c	IV層	0.07	0.07	2	円形	なし	9	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-324	L29b	IV層	0.05	0.06	0	楕円形	なし	9	アイヌ文化期	先端のみ	図V-1-15, 28
遺構P-325	J29a	IV層	0.06	0.12	0	円形	基礎	10	アイヌ文化期	遺跡のみ、先端のみ	
遺構P-326	J29b	IV層	0.09	0.14	0	円形	なし	9	アイヌ文化期	遺跡のみ	図V-1-16, 28
遺構P-327	N29c	IV層	0.06	0.10	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-328	N29c	IV層	0.06	0.06	0	円形	基礎	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-329	N29c	IV層	0.06	0.11	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-330	N29d	IV層	0.05	0.09	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-331	N30a	IV層	0.06	0.15	0	円形	基礎	10	アイヌ文化期		
遺構P-332	N30b	IV層	0.07	0.12	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-333	N30b	IV層	0.07	0.16	2	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-334	N30b	IV層	0.04	0.09	0	楕円形	なし	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-335	N30b	IV層	0.04	0.03	0	円形	なし	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-336	N30a	IV層	0.04	0.07	0	円形	なし	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-337	N30a	IV層	0.06	0.09	0	楕円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-338	N30a	IV層	0.06	0.14	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-339	N30a	IV層	0.04	0.13	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-340	N30a	IV層	0.06	0.13	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-341	N30b	IV層	0.14	0.15	0	円形	基礎	7	アイヌ文化期		
遺構P-342	N30b	IV層	0.10	0.13	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		図V-1-19, 28
遺構P-343	N30b	IV層	0.09	0.12	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-344	N30b	IV層	0.10	0.11	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-345	N30b	IV層	0.06	0.07	0	円形	基礎	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-346	N30c	IV層	0.05	0.09	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-347	N30a	IV層	0.04	0.02	0	円形	基礎	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-348	N30a・d	IV層	0.06	0.06	0	円形	基礎	10	アイヌ文化期	層K-12と重なり、先端のみ	
遺構P-349	N30d	IV層	0.06	0.05	0	円形	基礎	10	アイヌ文化期		
遺構P-350	N30a	IV層	0.01	0.06	0	楕円形	なし	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-351	N30a	IV層	0.10	0.12	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-352	N30d	IV層	0.04	0.13	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-353	N30c	IV層	0.04	0.24	15	円形	なし	10	アイヌ文化期	木組?	
遺構P-354	M30b	IV層	0.07	0.11	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-355	O29a	IV層	0.08	0.16	0	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-356	O29d	IV層	0.09	0.11	3	円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-357	O29c	IV層	0.14	0.24	0	楕円形	なし	7	アイヌ文化期		
遺構P-358	K29b	IV層	0.06	0.10	5	楕円形	基礎	1	アイヌ文化期	層F-11と重なり、遺跡のみ	
遺構P-359	K29c	IV層	0.08	0.09	0	円形	なし	6	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-360	K29c	IV層	0.08	0.08	10	円形	基礎	1	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-361	K29c	IV層	0.10	0.13	5	円形	なし	1	アイヌ文化期		
遺構P-362	K29a	IV層	0.10	0.22	18	楕円形	なし	6	アイヌ文化期	前面	
遺構P-363	K29b	IV層	0.08	0.09	15	楕円形	なし	1	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-364	K29c	IV層	0.09	0.13	6	円形	なし	6	アイヌ文化期		図V-1-16, 28
遺構P-365	K29c	IV層	0.06	0.07	15	楕円形	なし	6	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-366	K29c	IV層	0.08	0.12	10	円形	なし	6	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-367	K29c	IV層	0.08	0.06	10	円形	なし	6	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-368	K29c	IV層	0.10	0.14	0	円形	なし	6	アイヌ文化期	層F-10と重なっている	
遺構P-369	K29c	IV層	0.06	0.07	0	楕円形	なし	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-370	K29d	IV層	0.07	0.11	28	楕円形	なし	1	アイヌ文化期		
遺構P-371	H29c	IV層	0.06	0.08	0	方形	基礎	10	アイヌ文化期	先端のみ	図V-1-14, 28
遺構P-372	K29a	IV層	0.07	0.12	5	楕円形	なし	6	アイヌ文化期		
遺構P-373	K29a	IV層	0.10	0.12	30	楕円形	なし	1	アイヌ文化期		図V-1-17, 28
遺構P-374	K29b	IV層	0.08	0.09	0	楕円形	なし	6	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-375	K29c・d	IV層	0.05	0.08	10	楕円形	なし	6	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-376	K29d	IV層	0.13	0.22	1	円形	なし	6	アイヌ文化期	層K-12と重なり	
遺構P-377	K29d	IV層	0.13	0.12	4	楕円形	なし	6	アイヌ文化期	層K-12と重なり	図V-1-17, 29
遺構P-378	K29d	IV層	0.08	0.14	30	円形	なし	6	アイヌ文化期		
遺構P-379	L29a	IV層	0.08	0.07	20	楕円形	なし	1	アイヌ文化期	層K-12と重なり、先端のみ	
遺構P-380	L29a	IV層	0.11	0.15	0	円形	なし	6	アイヌ文化期		
遺構P-381	L29a	IV層	0.10	0.04	0	円形	なし	6	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-382	L29d	IV層	0.08	0.08	8	円形	なし	1	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-383	L29d	IV層	0.12	0.19	8	楕円形	なし	6	アイヌ文化期		
遺構P-384	L29d	IV層	0.08	0.18	0	楕円形	なし	10	アイヌ文化期		
遺構P-385	L29c	IV層	0.08	0.15	6	楕円形	なし	6	アイヌ文化期	層F-10と重なり	
遺構P-386	L29a	IV層	0.06	0.09	0	楕円形	基礎	6	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-387	L29b	IV層	0.11	0.12	10	楕円形	基礎	6	アイヌ文化期		
遺構P-388	L29a・b	IV層	0.10	0.09	5	円形	なし	6	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-389	L29b	IV層	0.10	0.08	6	円形	なし	6	アイヌ文化期	遺跡のみ、先端のみ	
遺構P-390	L29b	IV層	0.07	0.10	20	円形	なし	6	アイヌ文化期		
遺構P-391	L29b	IV層	0.05	0.10	12	楕円形	なし	1	アイヌ文化期		
遺構P-392	L29b	IV層	0.06	0.07	0	楕円形	なし	1	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-393	L29b	IV層	0.06	0.08	5	楕円形	なし	6	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-394	L29b	IV層	0.10	0.12	15	楕円形	なし	6	アイヌ文化期	遺跡のみ	
遺構P-395	L29b	IV層	0.10	0.12	15	楕円形	なし	6	アイヌ文化期	遺跡のみ	図V-1-16, 29
遺構P-396	L29b	IV層	0.05	0.13	20	楕円形	なし	6	アイヌ文化期		
遺構P-397	L29a	IV層	0.08	0.16	10	円形	なし	1	アイヌ文化期	層F-10と重なり	
遺構P-398	L29c	IV層	0.08	0.18	20	楕円形	なし	6	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-399	L29c	IV層	0.09	0.22	8	楕円形	なし	6	アイヌ文化期		
遺構P-400	L29c	IV層	0.07	0.08	10	楕円形	なし	1	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-401	L29c	IV層	0.05	0.14	15	楕円形	なし	1	アイヌ文化期		
遺構P-402	L29c	IV層	0.08	0.17	20	楕円形	なし	1	アイヌ文化期	先端のみ	
遺構P-403	L29c	IV層	0.09	0.10	5	円形	なし	6	アイヌ文化期	層F-10と重なり	
遺構P-404	L29c	IV層	0.06	0.10	0	楕円形	なし	1	アイヌ文化期		
遺構P-405	L29b	IV層	0.11	0.15	15	楕円形	基礎	6	アイヌ文化期	前面	
遺構P-406	L29c	IV層	0.12	0.20	20	円形	基礎	10	アイヌ文化期	前面	
遺構P-407	L29c	IV層	0.08	0.11	0	円形	なし	6	アイヌ文化期		
遺構P-408	L29c	IV層	0.08	0.30	0	円形	なし	10	アイヌ文化期	層K-12と重なり、遺跡のみ	
遺構P-409	L29c	IV層	0.12	0.14	12	円形	なし	10	アイヌ文化期	遺跡のみ	

梅川4 遺跡(3)

遺構番号	調査区	検出層位	規模(m)	傾き(度)	平面形状	土質	時期	特徴	図番号	
		検	深さ							
遺S P-410	L39-d	IV層	0.10	0	楕円形	赤土	10	アイヌ文化期	遺瓦一以上集積	
遺S P-411	L39-d	IV層	0.06	0.09	10	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	遺瓦一以上集積、先達のみ
遺S P-412	L39-d	IV層	0.04	0.06	0	楕円形	赤土	1	アイヌ文化期	遺瓦一以上集積、先達のみ
遺S P-413	L39-d	IV層	0.10	0.15	0	楕円形	赤土	1	アイヌ文化期	遺瓦一以上集積、遺跡跡下
遺S P-414	L39-d	IV層	0.11	0.12	0	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	遺瓦一以上集積、遺跡跡下
遺S P-415	L39-d	IV層	0.10	0.12	7	楕円形	赤土	10	アイヌ文化期	遺瓦一以上集積
遺S P-416	L32-d	IV層	0.08	0.11	0	楕円形	赤土	10	アイヌ文化期	遺S P-202との重複
遺S P-417	K31-c	III層	0.07	0.12	5	円形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-418	L39-d	IV層	0.11	0.14	7	楕円形	赤土	10	アイヌ文化期	遺瓦一以上集積
遺S P-419	L39-d	IV層	0	0	0	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	遺瓦一以上集積
遺S P-420	L39-d	IV層	0.08	0.11	0	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-421	L39-d	IV層	0.06	0.10	0	楕円形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-422	L39-d	III層	0.08	0.11	20	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-423	L39-d	IV層	0.10	0.10	0	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-424	L39-d	IV層	0.09	0.13	0	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-425	L39-d	III層	0.09	0.10	28	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-426	L39-d	IV層	0.08	0.08	20	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-427	L30b	IV層	0.06	0.13	10	円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-428	L30b	IV層	0.06	0.07	0	楕円形	赤土	1	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-429	L30b	IV層	0.08	0.17	12	楕円形	赤土	10	アイヌ文化期	遺跡跡下
遺S P-430	L30b	IV層	0.09	0.16	5	円形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-431	L30b	III層	0.07	0.09	0	円形	赤土	6	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-432	L30b	III層	0.08	0.11	15	円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-433	L30b	IV層	0.06	0.10	25	楕円形	赤土	1	アイヌ文化期	
遺S P-434	L30b	IV層	0.08	0.08	0	楕円形	赤土	1	アイヌ文化期	遺跡跡下
遺S P-435	L30b	IV層	0.13	0.19	20	円形	赤土	6	アイヌ文化期	前田
遺S P-436	L30b	IV層	0.08	0.15	0	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-437	L30b	III層	0.11	0.16	0	円形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-438	L30b	IV層	0.08	0.13	15	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-439	L30-d	IV層	0.08	0.13	7	円形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-440	L30-d	IV層	0.08	0.09	15	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-441	L31-d	IV層	0.07	0.16	1	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-442	L31-d	IV層	0.06	0.07	0	円形	赤土	6	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-443	L31-c	IV層	0.10	0.12	20	楕円形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-444	L31-c	IV層	0.05	0.10	8	円形	赤土	6	アイヌ文化期	遺跡跡下
遺S P-445	L31-d	IV層	0.06	0.09	0	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-446	L32-d	IV層	0.05	0.11	0	円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-447	L32-c	IV層	0.08	0.22	5	円形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-448	L32b	IV層	0.08	0.15	5	円形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-449	M1-d	IV層	0.08	0.27	0	円形	赤土	6	アイヌ文化期	V層との関連
遺S P-450	M3-d	IV層	0.10	0.22	10	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-451	M3-c	IV層	0.07	0.08	0	円形	赤土	6	アイヌ文化期	遺跡跡下、先達のみ
遺S P-452	M3b	III層	0.10	0.16	6	円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-453	M3b	IV層	0.07	0.11	10	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	遺跡跡下、10号集積
遺S P-454	L30b	III層	0.10	0.17	0	円形	赤土	6	アイヌ文化期	遺瓦一以上集積、炭化植物(炭)の塊や炭化木材など
遺S P-455	M3a	III層	0.13	0.15	5	円形	赤土	6	アイヌ文化期	遺瓦一以上集積
遺S P-456	M3a	III層	0.07	0.20	0	円形	赤土	6	アイヌ文化期	遺跡跡下、10号集積
遺S P-457	M3b	III層	0.10	0.18	0	円形	赤土	6	アイヌ文化期	遺跡跡下、炭化植物片含む
遺S P-458	M3-d	IV層	0.07	0.10	30	円形	赤土	1	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-459	M3-d	IV層	0.07	0.08	5	円形	赤土	1	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-460	M3-d	IV層	0.10	0.16	32	円形	赤土	1	アイヌ文化期	
遺S P-461	M3-d	IV層	0.07	0.12	20	円形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-462	M3-d	IV層	0.07	0.10	0	円形	赤土	6	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-463	M3-d	IV層	0.05	0.08	0	円形	赤土	1	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-464	M3-d	IV層	0.11	0.10	0	円形	赤土	6	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-465	M3-c	IV層	0.09	0.09	0	円形	赤土	6	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-466	M3-a	IV層	0.11	0.20	10	円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-467	M3b	IV層	0.11	0.16	13	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-468	M3b	IV層	0.10	0.12	5	円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-469	M3-c	IV層	0.07	0.12	5	円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-470	M3b	IV層	0.07	0.08	8	円形	赤土	6	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-471	M3b	IV層	0.08	0.07	30	円形	赤土	6	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-472	L39b	IV層	0.06	0.08	0	円形	赤土	6	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-473	M3-d	IV層	0.09	0.26	0	楕円形	赤土	10	アイヌ文化期	遺跡跡下、段あり
遺S P-474	M3-d	IV層	0.12	0.10	0	方形	赤土	10	アイヌ文化期	遺瓦一以上集積
遺S P-475	M3-a + d	IV層	0.15	0.15	0	円形	赤土	10	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-476	M3a	IV層	0.07	0.06	10	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	遺瓦一以上集積、遺跡跡下
遺S P-477	M3a	IV層	0.09	0.17	15	円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-478	M3-d	IV層	0.10	0.12	0	円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-479	M3-c	IV層	0.08	0.09	25	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-480	M3-c	IV層	0.10	0.10	13	方形	赤土	10	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-481	M3-c	IV層	0.12	0.15	10	楕円形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-482	M3-a	IV層	0.09	0.14	5	円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-483	M3-a	IV層	0.10	0.10	1	方形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-484	M3-c	IV層	0.12	0.14	0	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-485	M3-d	III層	0.08	0.20	5	三角形	赤土	6	アイヌ文化期	遺跡跡下
遺S P-486	M3-d	III層	0.09	0.12	10	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	遺跡跡下
遺S P-487	M3-d	IV層	0.10	0.13	7	円形	赤土	6	アイヌ文化期	遺跡跡下
遺S P-488	M3-d	III層	0.10	0.16	1	楕円形	赤土	1	アイヌ文化期	遺跡跡下
遺S P-489	M3-d	IV層	0.10	0.16	12	楕円形	赤土	10	アイヌ文化期	遺跡跡下
遺S P-490	M3-c	III層	0.08	0.16	20	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-491	M3-c	III層	0.09	0.27	0	楕円形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-492	N39-a	IV層	0.15	0.15	5	円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-493	N39-d	IV層	0.09	0.23	1	円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-494	N39-d	IV層	0.10	0.28	0	方形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-495	N39-d	IV層	0.16	0.25	0	楕円形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-496	N37-a	IV層	0.06	0.17	8	楕円形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-497	N37-a	IV層	0.06	0.10	0	円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-498	N37-d	IV層	0.09	0.17	15	円形	赤土	6	アイヌ文化期	
遺S P-499	N37-d	IV層	0.10	0.25	5	楕円形	赤土	10	アイヌ文化期	
遺S P-500	N37-d	IV層	0.08	0.18	10	円形	赤土	6	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-501	N37-a	IV層	0.08	0.11	10	楕円形	赤土	6	アイヌ文化期	遺跡跡下
遺S P-502	N37-a	IV層	0.07	0.08	10	楕円形	赤土	1	アイヌ文化期	先達のみ
遺S P-503	N38-a	IV層	0.07	0.09	10	楕円形	赤土	1	アイヌ文化期	先達のみ

遺構番号	調査区	検出層位	規模(m)		傾き(度)	平面形	基礎形状	覆土	時期	特徴	図番号
			縦	横							
遺S P-504	I31a	IV層	0.11	0.19	0	円形	土心	10	アイヌ文化期		
遺S P-505	O28b	IV層	0.07	0.64	1	楕円形	土心	6	アイヌ文化期	先端のみ	図V-1-18, 31
遺S P-506	O28c	IV層	0.08	0.14	5	円形	土心	10	アイヌ文化期		
遺S P-507	O28c	IV層	0.07	0.15	0	円形	土心	6	アイヌ文化期		
遺S P-508	O28c	IV層	0.05	0.11	8	楕円形	土心	6	アイヌ文化期		
遺S P-509	O28c	IV層	0.08	0.09	15	楕円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	図V-1-19, 31
遺S P-510	O28c	IV層	0.07	0.07	15	楕円形	土心	1	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-511	O27a	IV層	0.11	0.25	10	楕円形	土心	6	アイヌ文化期		
遺S P-512	O27b	IV層	0.11	0.28	10	円形	土心	6	アイヌ文化期		
遺S P-513	P27b	IV層	0.07	0.15	0	楕円形	土心	6	アイヌ文化期	土層+15と重複	
遺S P-514	O28c	遺層	0.10	0.31	5	円形	土心	10	アイヌ文化期		図V-1-18, 31
遺S P-515	I31c	IV層	0.06	0.04	0	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-516	I31b	IV層	0.05	0.09	0	円形	土心	10	アイヌ文化期		
遺S P-517	I31b	IV層	0.04	0.05	0	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-518	I31a	IV層	0.05	0.08	0	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-519	I30a	IV層	0.08	0.15	0	円形	土心	10	アイヌ文化期		
遺S P-520	H31b	IV層	0.08	0.15	0	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	図V-1-15, 31
遺S P-521	H31a	IV層	0.06	0.07	10	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-522	H31a	IV層	0.03	0.02	0	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-523	H31a	IV層	0.05	0.09	0	楕円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-524	H31a	IV層	0.05	0.10	0	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-525	H31b	IV層	0.05	0.09	0	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-526	H31b	IV層	0.05	0.08	0	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-527	H31a	IV層	0.07	0.00	0	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-528	H31a	IV層	0.07	0.04	0	円形	土心	9	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-529	H31a	IV層	0.02	0.17	0	円形	土心	10	アイヌ文化期	木屑層	
遺S P-530	H31d	IV層	0.05	0.11	0	円形	土心	10	アイヌ文化期		
遺S P-531	H31d	IV層	0.05	0.09	0	円形	土心	10	アイヌ文化期		図V-1-19, 31
遺S P-532	H31d	IV層	0.05	0.04	0	楕円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-533	H31c	IV層	0.11	0.25	0	円形	土心	10	アイヌ文化期		
遺S P-534	H31b	IV層	0.08	0.06	0	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-535	I31b	IV層	0.07	0.07	0	楕円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-536	I31b	IV層	0.04	0.08	0	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	図V-1-17, 31
遺S P-537	I30b	IV層	0.06	0.06	0	楕円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-538	I30c	IV層	0.04	0.07	0	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	
遺S P-539	I31a	IV層	0.06	0.17	10	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	図V-1-15, 31
遺S P-540	K29c	IV層	0.13	0.15	8	楕円形	土心	4	アイヌ文化期	層K-29と重複、段の	
遺S P-541	K29c	IV層	0.05	0.08	10	円形	土心	6	アイヌ文化期	層K-29と重複、先端のみ	図V-1-16, 31
遺S P-542	I31a	IV層	0.07	0.12	0	円形	土心	10	アイヌ文化期		図V-1-18, 31
遺S P-543	H31c, I31d	IV層	0.09	0.15	0	円形	土心	10	アイヌ文化期		図V-1-18, 31
遺S P-544	L29c	IV層	0.08	0.14	0	円形	土心	6	アイヌ文化期		図V-1-16, 31
遺S P-545	L29c, M29d	IV層	0.07	0.10	5	円形	土心	6	アイヌ文化期	層P-109と重複	図V-1-15, 31
遺S P-547	H31a	IV層	0.08	0.21	0	円形	土心	10	アイヌ文化期		図V-1-15, 31
遺S P-548	N30b	IV層	0.07	0.07	0	円形	土心	10	アイヌ文化期	先端のみ	図V-1-19, 31
遺S P-549	N30b	IV層	0.08	0.12	0	円形	土心	10	アイヌ文化期		
遺S P-550	S18c	IV層	0.10	0.30	0	楕円形	土心	8	アイヌ文化期	ウツリツギヤイ出土	
遺S P-551	S18c	IV層	0.12	0.38	0	円形	土心	8	アイヌ文化期		
遺S P-552	S19b	IV層	0.11	0.15	0	円形	土心	8	アイヌ文化期		
遺S P-553	S19b	IV層	0.08	0.16	20	円形	土心	8	アイヌ文化期		
遺S P-554	S19b	IV層	0.07	0.14	5	円形	土心	8	アイヌ文化期		
遺S P-555	S19a	IV層	0.10	0.22	10	円形	土心	8	アイヌ文化期		図V-1-20, 31
遺S P-556	T19a	IV層	0.06	0.12	5	円形	土心	8	アイヌ文化期		
遺S P-557	T19a	IV層	0.07	0.12	5	楕円形	土心	8	アイヌ文化期		
遺S P-558	T19a	IV層	0.07	0.15	18	楕円形	土心	8	アイヌ文化期		
遺S P-559	T19a	IV層	0.11	0.19	15	楕円形	土心	8	アイヌ文化期		
遺S P-560	R20b	遺層	0.10	0.24	8	円形	土心	8	アイヌ文化期	市道跡に埋められる	

## 覆土の土層

- 1: 黒褐色土10YR1.7/1 締りあり、粘りなし、Tc-cを多数40%以上含む  
 2: 黒褐色土10YR1.7/1 締りなし、粘りなし、Tc-cを多数40%以上含む  
 3: 黒褐色土10YR1.7/1 締りなし、粘りあり、Tc-cを多数50%以上含む  
 4: 黒褐色土10YR1.7/1 締りあり、粘りなし、Tc-cを多数20%以上含む  
 5: 黒褐色土10YR1.7/1 締りなし、粘りなし、Tc-cを多数20%以上含む  
 6: 黒褐色土10YR1.7/1 締りあり、粘りなし、Tc-cを少数20%含む  
 7: 黒褐色土10YR1.7/1 締りなし、粘りなし、Tc-cを多数10%以上含む  
 8: 褐色土10YR2.7/1-2/1 締りなし、粘りあり、層位13層、Tc-cを多数30%以上含む  
 9: 黒褐色土10YR2.7/1 締りあり、粘りなし、Tc-cを多数30-50%含む  
 10: 黒褐色土10YR1.7/1 締りなし、粘りなし、Tc-cを多数10%以上含む  
 11: 褐色土10YR4/6 締りなし、粘りなし、Tc-c13層、腐植土が塊状に凝る  
 12: 暗褐色土10YR3/6 締りなし、粘りなし、Tc-cを多数10%含む

表V-1-3 焼土規模一覧

焼土番号	調査区	規模(m)			形状	形成	時期	特徴	図番号	図説番号
		長軸	短軸	厚さ						
焼F-5	O23a・d	0.61	0.54	0.04	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-6	N23b	0.40	0.35	0.04	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-7	N23b	0.59	0.41	0.05	楕円形	現地	ア文化層			図説26
焼F-8	O23d、O24a	0.28	0.26	0.03	不整円形	現地	ア文化層	遊路直下	図V-1-32、63	
焼F-9	O24d	0.61	0.48	0.05	不整円形	現地	ア文化層			図説26
焼F-10	O23c	0.49	0.35	0.04	不整円形	現地	ア文化層	木組による焼丸		
焼F-11	O23b	0.49	0.42	0.02	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-12	K27d	0.20	0.22	0.04	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-13	K27c	0.58	0.49	0.04	不整円形	現地	ア文化層			図説26
焼F-14	K27c	0.28	0.23	0.04	不整円形	現地	ア文化層	遊路直下		
焼F-15	K28a	0.43	0.38	0.07	楕円形	現地	ア文化層	遊路直下、並K-31と隣接		
焼F-16	K28b	0.44	0.30	0.05	楕円形	現地	ア文化層		図V-1-33、63	
焼F-17	K28b	0.18	0.16	—	円形	—	ア文化層	並S P-35&土遺物		
焼F-18	M25b	0.34	0.32	0.05	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-19	N24d	0.44	0.32	0.04	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-20	F30b	0.32	0.26	0.03	楕円形	現地	ア文化層		図V-1-34、63	
焼F-21	F29d、F30a	0.60	0.53	0.07	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-22	G29c	0.52	0.40	0.03	不整円形	現地	ア文化層		図V-1-35、63	
焼F-23	F30c	0.51	0.42	0.06	不整円形	現地	ア文化層		図V-1-34、63	
焼F-24	G31a・d	0.32	0.25	0.02	不整円形	現地	ア文化層			図V-1-36、63
焼F-25	G31c	0.54	0.44	0.04	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-26	F32a	0.66	0.51	0.06	不整円形	現地	ア文化層	灰層あり		
焼F-27	F32a	0.29	0.26	0.03	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-28	F32c	0.52	0.35	0.04	楕円形	現地	ア文化層		図V-1-37、63	
焼F-29	F32c、G32d	0.64	0.56	0.03	楕円形	現地	ア文化層	並S P-42土遺物		
焼F-30	G32a、G32b、H22d、H32a	2.00	1.00	0.07	不整円形	現地	ア文化層	並S P-7土遺物、灰層あり	図V-1-38、64	図説26
焼F-31	G31a・d	0.36	0.29	0.04	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-32	G31d	0.52	0.31	0.02	不整円形	現地	ア文化層			図V-1-36、64
焼F-33	G31c、H31d	0.49	0.30	0.04	不整円形	現地	ア文化層			図V-1-38、64
焼F-34	G30a	0.49	0.39	0.07	楕円形	現地	ア文化層			
焼F-35	G30a	0.49	0.47	0.05	不整円形	現地	ア文化層		図V-1-35、64	
焼F-36	G30c・d	0.44	0.38	0.06	不整円形	現地	ア文化層	遊路直下		
焼F-37	F30c	0.43	0.42	0.04	不整円形	現地	ア文化層		図V-1-34、64	
焼F-38	F32c・d、F34a・b	0.77	0.44	0.10	不整円形	現地	ア文化層	灰層あり	図V-1-35、64	
焼F-39	F32d	0.64	0.57	0.11	楕円形	現地	ア文化層	並B-1土遺物、灰層あり		図説26
焼F-40	F32c・d	0.62	0.45	0.03	不整円形	現地	ア文化層	並B-1土遺物、灰層あり	図V-1-37、64	
焼F-41	F32d	0.54	0.38	0.06	不整円形	現地	ア文化層	並B-1土遺物		
焼F-42	G31c、G32b	0.40	0.25	0.02	不整円形	現地	ア文化層	灰層あり	図V-1-38、64	
焼F-43	F31c、G31d	0.34	0.30	0.03	不整円形	現地	ア文化層	並K-5土遺物	図V-1-36、64	
焼F-44	G30b	0.72	0.44	0.08	不整円形	現地	ア文化層	遊路直下	図V-1-35、64	
焼F-45	G31a	0.49	0.38	0.04	不整円形	現地	ア文化層		図V-1-36、64	
焼F-46	H24d	0.52	0.49	0.06	不整円形	現地	ア文化層	灰層あり	図V-1-38、64	
焼F-47	G30a・c	0.55	0.42	0.07	不整円形	現地	ア文化層	遊路直下	図V-1-35、64	
焼F-48	G32c・d	0.71	0.64	0.10	不整円形	現地	ア文化層	並S P-106・129土遺物、灰層あり	図V-1-39、64	
焼F-49	G32a・b・c・d	0.62	0.55	0.15	不整円形	露棄	ア文化層			
焼F-50	G32a	0.64	0.50	0.07	不整円形	現地	ア文化層		図V-1-39、65	
焼F-51	G32a	0.79	0.47	0.06	不整円形	現地	ア文化層	並S P-75土遺物		
焼F-52	F31c・F32b	0.61	0.56	0.06	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-53	F31c	0.47	0.39	0.08	楕円形	現地	ア文化層		図V-1-36、65	
焼F-54	F31a	0.46	0.36	0.05	不整円形	現地	ア文化層		図V-1-34、65	
焼F-55	P22b	0.64	0.49	0.05	不整円形	現地	ア文化層	灰層あり		
焼F-56	P22b	0.54	0.49	0.04	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-57	P22b	0.44	0.42	0.08	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-58	P22c	0.71	0.53	0.04	不整円形	現地	ア文化層	遊路直下		
焼F-59	P22c	0.57	0.42	0.07	不整円形	現地	ア文化層	遊路直下		
焼F-60	P22c	0.50	0.33	0.04	不整円形	露棄	ア文化層		図V-1-40、65	
焼F-61	Q24d	0.54	0.42	0.08	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-62	Q24c・d	0.46	0.34	0.06	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-63	Q24d、Q25a	0.43	0.32	0.05	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-64	P25b、Q25a	0.29	0.32	0.08	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-65	P25a	0.85	0.36	0.06	不整円形	現地	ア文化層			図説27
焼F-66	P25d	0.51	0.28	0.02	不整円形	現地	ア文化層	遊路直下		
焼F-67	P25d	0.32	0.24	0.03	不整円形	現地	ア文化層	遊路直下	図V-1-41、65	
焼F-68	Q25c	0.49	0.40	0.04	不整円形	現地	ア文化層	遊路直下		
焼F-69	Q25c	0.18	0.18	0.03	不整円形	現地	ア文化層		図V-1-41、65	
焼F-70	L32a・d	0.82	0.68	0.08	不整円形	現地	ア文化層	2a面		
焼F-71	N29d、N30a	0.71	0.50	0.07	不整円形	現地	ア文化層		図V-1-42、66	図説27
焼F-72	I32c	0.44	0.35	0.04	隅丸方形	現地	ア文化層			
焼F-73	I32d	0.51	0.31	0.02	隅丸方形	現地	ア文化層			
焼F-74	I32d	0.53	0.31	0.05	楕円形	現地	ア文化層			
焼F-75	I31c、I32b	0.26	0.45	0.12	隅丸方形	現地	ア文化層	灰層あり	図V-1-43、66	
焼F-76	I32b	0.43	0.30	0.04	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-77	I32d	0.54	0.30	0.05	不整円形	現地	ア文化層			
焼F-78	H32b、I32a	1.47	0.80	0.02	不整円形	露棄	ア文化層			

遺構番号	調査区	規模(m)			形状	形成	時期	特徴	図番号	図様番号
		長軸	短軸	厚さ						
遺F-79	H31c, I31d, I32a	0.96	0.52	0.03	不整円形	焼酎?	アウ文化期		図V-1-43, 66	
遺F-80	P25d	0.64	0.35	0.04	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡直下		
遺F-81	P25d, P26a	0.32	0.22	0.05	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡直下		
遺F-82	P26a	0.48	0.37	0.06	楕円形	現地	アウ文化期	遺跡直下, 自掘試掘坑	図V-1-44, 66	
遺F-83	O25c	0.40	0.35	0.10	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-84	I31b	0.71	0.45	0.06	不整円形	焼酎?	アウ文化期			
遺F-85	J31a・d	0.36	0.36	0.02	不整円形	現地	アウ文化期		図V-1-45, 66	
遺F-86	P27d	0.43	0.29	0.06	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-87	N29a	0.77	0.50	0.05	不整円形	現地	アウ文化期		図V-1-46, 66	
遺F-88	N29a	0.55	0.37	0.06	不整円形	現地	アウ文化期		図V-1-47, 66	図様27
遺F-89	M29b	0.73	0.51	0.07	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-90	I31b	0.68	0.50	0.07	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡K-19&2隣接	図V-1-45, 66	
遺F-91	P26c・d	0.54	0.41	0.09	楕円形	現地	アウ文化期	遺跡K-15&16重複	図V-1-47, 67	
遺F-92	P36a	0.44	0.37	0.05	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡直下		
遺F-93	O25d	0.27	0.16	0.06	不整円形	現地	アウ文化期		図V-1-44, 67	
遺F-94	O25d, O26a	0.67	0.40	0.09	不整円形	現地	アウ文化期	瓦礫あり		
遺F-95	N28c・d	0.64	0.62	0.08	隅丸方形	現地	アウ文化期		図V-1-47, 67	
遺F-96	N28c	0.86	0.80	0.10	不整円形	現地	アウ文化期	瓦礫あり		図様27
遺F-97	H31d	0.34	0.24	0.02	円形	現地	アウ文化期			
遺F-98	H31c	0.56	0.28	0.02	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-99	H31b	0.63	0.51	0.05	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-100	H31b・c	0.72	0.38	0.02	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-101	H31c	0.98	0.50	0.05	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡S P-178・198&重複	図V-1-48, 67	
遺F-102	H31c	1.09	0.64	0.08	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-103	H31c, I31d	0.45	0.38	0.04	円形	焼酎?	アウ文化期			
遺F-104	I31d	0.44	0.24	0.02	楕円形	焼酎?	アウ文化期			
遺F-105	O26a	0.51	0.41	0.10	楕円形	現地	アウ文化期			図様28
遺F-106	N28b・c	0.80	0.50	0.07	楕円形	現地	アウ文化期	2か所		
遺F-107	N28c	0.40	0.32	0.06	不整円形	現地	アウ文化期		図V-1-48, 67	
遺F-108	N28d	0.54	0.36	0.09	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-109	L29c, M29d	1.00	0.64	0.10	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡S P-546&重複, 瓦礫あり		図様28
遺F-110	L29b, M29a	1.37	0.52	0.06	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡S P-454~466&重複	図V-1-50, 67	
遺F-111	O27c	1.35	0.64	0.09	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡H-10&19重複, 2か所	図V-1-46, 67	
遺F-112	N27d	0.56	0.43	0.10	楕円形	現地	アウ文化期		図V-1-51, 68	
遺F-113	L31d	0.50	0.46	0.08	隅丸方形	現地	アウ文化期	遺跡直下, 瓦礫あり		図様28
遺F-114	L31b	0.22	0.19	0.02	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡直下	図V-1-52, 68	
遺F-115	N27d	0.38	0.32	0.08	楕円形	現地	アウ文化期			
遺F-116	N27d	0.36	0.32	0.06	不整円形	現地	アウ文化期		図V-1-51, 68	
遺F-117	O26a	0.38	0.28	0.04	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-118	O26b・c	0.30	0.25	0.03	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡直下	図V-1-44, 68	
遺F-119	N27a・b	0.40	0.37	0.06	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-120	N27a・b	0.45	0.24	0.10	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡直下		
遺F-121	N26d, N27a	0.26	0.20	0.05	楕円形	現地	アウ文化期		図V-1-51, 68	
遺F-122	O26d, O27a	0.47	0.38	0.12	楕円形	現地	アウ文化期	遺跡直下		
遺F-123	O26d	0.31	0.25	0.03	楕円形	現地	アウ文化期	遺跡直下		
遺F-124	I30c	0.30	0.30	0.04	不整円形	焼酎?	アウ文化期			
遺F-125	K31a・b	1.24	0.51	0.06	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡直下, 遺跡B-3上重複, 瓦礫あり	図V-1-53, 68	図様28
遺F-126	L29a	0.68	0.51	0.02	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡H-8&隣接		
遺F-127	L30a	0.42	0.38	0.05	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡H-8&隣接		
遺F-128	L30a	0.45	0.37	0.12	楕円形	現地	アウ文化期	遺跡H-8&隣接		
遺F-129	K30b, L30a	0.58	0.53	0.06	不整円形	現地	アウ文化期		図V-1-50, 68	
遺F-130	L29a・d	0.70	0.56	0.05	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡S P-397&重複		図様29
遺F-131	L29c	0.41	0.28	0.04	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-132	L29c	0.53	0.42	0.08	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡S P-403&重複		図様29
遺F-133	I31a・b	0.32	0.15	0.02	不整円形	焼酎?	アウ文化期		図V-1-48, 68	
遺F-134	I30d, I31a	0.75	0.40	0.03	不整円形	焼酎?	アウ文化期			
遺F-135	H30c・d	0.55	0.50	0.08	不整円形	現地	アウ文化期	瓦礫あり	図V-1-54, 68	
遺F-136	H30c・d	0.74	0.49	0.07	不整円形	現地	アウ文化期	瓦礫あり		
遺F-137	H30a・b	0.40	0.35	0.02	隅丸方形	現地	アウ文化期			
遺F-138	H30a	0.49	0.44	0.06	不整円形	現地	アウ文化期		図V-1-54, 69	
遺F-139	O26d, O27a	0.67	0.38	0.08	楕円形	現地	アウ文化期	遺跡直下	図V-1-51, 69	
遺F-140	O27d	0.40	0.37	0.06	円形	現地	アウ文化期			
遺F-141	O27b	0.65	0.46	0.04	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡H-11&重複	図V-1-46, 69	
遺F-142	O27b	1.40	0.86	0.11	不整円形	現地	アウ文化期	遺跡H-11&重複		
遺F-143	I30c・d	0.81	0.80	0.05	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-144	I30c	0.54	0.20	0.05	楕円形	現地	アウ文化期		図V-1-54, 69	
遺F-145	I30b	0.70	0.50	0.05	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-146	L29a	0.27	0.20	0.04	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-147	L29a	0.36	0.33	0.12	不整円形	現地	アウ文化期			
遺F-148	L29a	0.36	0.29	0.04	不整円形	現地	アウ文化期		図V-1-55, 69	
遺F-149	L29d, L29a	0.41	0.38	0.13	円形	現地	アウ文化期			
遺F-150	I30d	0.75	0.62	0.05	不整円形	現地	アウ文化期		図V-1-48, 69	
遺F-151	K30c	1.04	0.41	0.06	不整円形	焼酎?	アウ文化期	遺跡H-8&隣接	図V-1-55, 69	
遺F-152	K30c	0.62	0.44	0.05	楕円形	現地	アウ文化期	遺跡H-8&隣接		図様29
遺F-153	M27a	0.54	0.22	0.06	楕円形	現地	アウ文化期		図V-1-56, 69	

梅川4 遺跡(3)

墳土番号	調査区	規模(m)			形状	形成	時期	特徴	図番号	図版番号
		長軸	短軸	厚さ						
墓F-154	M17d	0.46	0.36	0.08	楕円形	現地	アサ文化期	遊路直下		
墓F-155	M17b	0.46	0.40	0.08	不整形形	現地	アサ文化期			
墓F-156	M17b・c、N17a	2.29	0.65	0.07	不整形形	現地	アサ文化期	遊路直下	図V-1-56、60	
墓F-157	M17c	0.44	0.32	0.08	楕円形	現地	アサ文化期			
墓F-158	L29a	0.18	0.16	—	不整形形	—	アサ文化期			
墓F-159	L29d	0.61	0.42	0.04	不整形形	現地	アサ文化期	墓K-21と重複	図V-1-50、60	図版29
墓F-160	L29d	0.31	0.26	0.05	楕円形	現地	アサ文化期	墓K-21と重複		
墓F-161	L29c・d	0.68	0.42	0.04	不整形形	現地	アサ文化期	遊路直下、墓K-21と隣接	図V-1-50、70	図版29
墓F-162	L29c・d	0.29	0.24	0.04	不整形形	現地	アサ文化期	遊路直下、墓K-21と重複		
墓F-163	M28a	0.25	0.20	0.05	楕円形	現地	アサ文化期	遊路直下、墓S P-47Bと重複		
墓F-164	M28a・d	0.59	0.45	0.07	不整形形	現地	アサ文化期		図V-1-56、70	
墓F-165	M28d	0.63	0.40	0.09	楕円形	現地	アサ文化期			
墓F-166	E30b	0.45	0.23	0.04	不整形形	現地	アサ文化期		図V-1-57、70	
墓F-167	O27d・O28a	0.55	0.55	0.08	不整形形	現地	アサ文化期	墓H-10と重複	図V-1-46、70	
墓F-168	N26c、N27b	0.30	0.22	0.06	不整形形	現地	アサ文化期		図V-1-51、70	
墓F-169	O28a・d	0.90	0.56	0.09	楕円形	現地	アサ文化期	墓H-9・10と隣接	図V-1-46、70	
墓F-170	N28b、O28a	0.56	0.55	0.08	円形	現地	アサ文化期	墓H-9と重複	図V-1-54、70	図版29
墓F-171	I30a	0.32	0.15	0.05	不整形形	現地	アサ文化期			
墓F-172	J30c・d	0.42	0.31	0.04	不整形形	現地	アサ文化期			
墓F-173	J30c	0.89	0.62	0.03	不整形形	現地	アサ文化期	遊路直下、瓦礫あり	図V-1-53、70	
墓F-174	J30b	0.52	0.37	0.04	楕円形	現地	アサ文化期			
墓F-175	J30b	0.49	0.33	0.02	不整形形	現地	アサ文化期			
墓F-176	J29b、K29a	0.42	0.27	0.02	楕円形	現地	アサ文化期		図V-1-57、70	
墓F-177	J29b	0.29	0.21	0.03	楕円形	現地	アサ文化期			
墓F-178	L29b	0.45	0.37	0.05	楕円形	現地	アサ文化期	遊路直下		
墓F-179	L29b	0.71	0.50	0.06	楕円形	現地	アサ文化期		図V-1-58、70	
墓F-180	I29a・b	0.51	0.23	0.06	不整形形	現地	アサ文化期			
墓F-181	I28d、I29a	0.65	0.45	0.05	楕円形	現地	アサ文化期			
墓F-182	I29a	0.40	0.23	0.06	不整形形	現地	アサ文化期		図V-1-58、71	
墓F-183	H28c、I28d	0.31	0.31	0.03	円形	現地	アサ文化期		図版30	
墓F-184	N26c、N27b	0.57	0.49	0.08	不整形形	現地	アサ文化期	遊路直下	図V-1-51、71	
墓F-185	I29c	0.50	0.30	0.05	不整形形	現地	アサ文化期		図V-1-54、71	
墓F-186	L28d、L29a	0.41	0.37	0.04	不整形形	現地	アサ文化期			
墓F-187	L28a・d	0.40	0.35	0.04	不整形形	現地	アサ文化期			
墓F-188	L28c・d	0.38	0.28	0.05	不整形形	現地	アサ文化期		図V-1-55、71	
墓F-189	L28c	0.65	0.43	0.06	不整形形	現地	アサ文化期		図版30	
墓F-190	L28c	0.39	0.36	0.04	不整形形	現地	アサ文化期	墓S P-385と隣接		
墓F-191	L28b	0.14	0.42	0.05	不整形形	現地	アサ文化期	非調査区間に埋められる		
墓F-192	L27d	0.95	0.52	0.09	楕円形	現地	アサ文化期	20号		
墓F-193	L27a・d	0.60	0.39	0.08	不整形形	現地	アサ文化期	遊路直下		
墓F-194	L27b・c・d	0.66	0.44	0.06	楕円形	現地	アサ文化期		図V-1-58、71	
墓F-195	L27d	0.52	0.37	0.06	楕円形	現地	アサ文化期	墓H-7と重複		
墓F-196	I28b	0.26	0.15	0.05	不整形形	現地	アサ文化期			
墓F-197	J28c	0.46	0.25	0.04	楕円形	現地	アサ文化期		図V-1-57、71	
墓F-198	J28d	0.43	0.42	0.04	不整形形	現地	アサ文化期			
墓F-199	H31c、I31d	0.43	0.23	0.02	不整形形	現地	アサ文化期		図V-1-43、71	
墓F-200	K29d	1.00	0.52	0.07	不整形形	現地	アサ文化期		図V-1-58、71	図版30
墓F-201	K29c	0.44	0.32	0.04	不整形形	現地	アサ文化期		図V-1-58、72	
墓F-202	K29c	0.57	0.40	0.06	楕円形	現地	アサ文化期	墓K-203と隣接		
墓F-203	H30c、H31b	0.63	0.36	0.04	楕円形	現地	アサ文化期		図V-1-48、72	
墓F-204	H31b	0.57	0.40	0.07	不整形形	現地	アサ文化期	墓K-202と重複		
墓F-205	M30d	0.30	0.29	0.05	不整形形	現地	アサ文化期			
墓F-206	M30c	0.42	0.32	0.08	楕円形	現地	アサ文化期		図V-1-58、72	
墓F-207	M30c	0.29	0.24	0.04	楕円形	現地	アサ文化期			
墓F-208	K30a	0.82	0.53	0.06	不整形形	現地	アサ文化期			
墓F-209	O28a、O30a	0.84	0.68	0.09	不整形形	現地	アサ文化期	鏡目を受ける、瓦礫あり	図V-1-60、72	図版30
墓F-210	M31a	0.58	0.45	0.07	楕円形	現地	アサ文化期			
墓F-211	S20a	0.47	0.42	0.11	不整形形	現地	アサ文化期	市道により削平される		図版30
墓F-212	S19d、S20a	0.59	0.42	0.08	不整形形	現地	アサ文化期		図V-1-61、72	
墓F-213	S19d	0.66	0.46	0.05	不整形形	現地	アサ文化期			
墓F-214	S19b	0.77	0.45	0.08	不整形形	現地	アサ文化期	柱穴あり		
墓F-215	H30b、H30c、T18d、T18e	0.29	0.52	0.06	不整形形	現地	アサ文化期		図V-1-63、72	
墓F-216	T19a・b	0.84	0.32	0.05	不整形形	他委	アサ文化期	20号		
墓F-217	T18d、T19a	0.65	0.61	0.12	不整形形	現地	アサ文化期	瓦礫あり		
墓F-218	S19a	0.47	0.27	0.05	不整形形	現地	アサ文化期			
墓F-219	S19b	0.88	0.62	0.10	不整形形	現地	アサ文化期		図V-1-61、72	図版30
墓F-220	T20c	0.43	0.39	0.07	不整形形	現地	アサ文化期			
墓F-221	S17c	1.10	0.81	0.05	不整形形	現地	アサ文化期	瓦礫あり	図V-1-61、72	
墓F-222	S19b	0.52	0.38	0.04	不整形形	現地	アサ文化期		図V-1-62、72	



表V-1-4 灰集中規模一覧

遺構番号	調査区	規模(m)			形状	時期	特徴	図番号	図版番号
		長軸	短軸	厚さ					
遺A-1	S16d	0.38	0.22	0.02	楕円形	アイヌ文化期	木箱による埋込	図V-1-74	図版01
遺A-2	S17a	0.94	0.48	0.06	不定形	アイヌ文化期			
遺A-3	S16c、S17a	0.80	0.50	0.04	不定形	アイヌ文化期	埋込を受ける		
遺A-4	N30b・e	0.58	0.44	-	不定形	アイヌ文化期		図V-1-75	
遺A-5	N30c	1.30	0.34	-	不定形	アイヌ文化期			

表V-1-5 骨集中規模一覧

遺構番号	調査区	規模(m)			形状	時期	特徴	図番号	図版番号
		長軸	短軸	厚さ					
遺B-1	F32c・d	2.90	1.40	不定形	アイヌ文化期	遺F-30～31と重複	図V-1-76	図版01	
遺B-2	F31a・b	0.74	0.24	不定形	アイヌ文化期				
遺B-3	K31b	0.32	0.22	不定形	アイヌ文化期	遺F-125と重複	図V-1-77	図版01	
遺B-4	J31d・J32a	1.38	1.17	不定形	アイヌ文化期	シカ下物骨			
遺B-5	O36a	1.42	0.67	不定形	アイヌ文化期		図V-1-78		

表V-1-6 貝集中規模一覧

遺構番号	調査区	規模(m)			形状	時期	特徴	図番号	図版番号
		長軸	短軸	厚さ					
遺K-1	P21d	0.64	0.22	不定形	アイヌ文化期	市道工事で削平される	図V-1-79		
遺K-2	P21d、P22a	1.64	1.02	不定形	アイヌ文化期				
遺K-3	F28c、F29b、G28d	2.34	1.14	不定形	アイヌ文化期				
遺K-4	F30e・d	1.32	0.54	不定形	アイヌ文化期	既述の	図V-1-80	図版01	
遺K-5	F31c、G31d	2.72	0.22	不定形	アイヌ文化期	遺F-43と重複			
遺K-6	F33b、G32d、G30a	2.58	0.10	不定形	アイヌ文化期		図V-1-80	図版02	
遺K-7	G31b、H31a・d	1.29	0.44	不定形	アイヌ文化期				
遺K-8	F33c・d	2.08	0.40	不定形	アイヌ文化期	殻残存	図V-1-81	図版03	
遺K-9	F31a・d	0.24	0.32	不定形	アイヌ文化期	筒倉範囲外と重複 殻残存			
遺K-10	G32d	0.36	0.16	楕円形	アイヌ文化期		図V-1-80	図版03	
遺K-11	Q29b、R29a	1.38	0.40	不定形	アイヌ文化期				
遺K-12	N30a	2.30	1.14	不定形	アイヌ文化期	35cm	図V-1-83	図版03	
遺K-13	R30a	0.74	0.38	不定形	アイヌ文化期	25cm			
遺K-14	P25b・c・d	0.62	0.50	不定形	アイヌ文化期	35cm? 平成19年度調査範囲と重複	図V-1-84	図版03	
遺K-15	P26b・d、P27b、Q26d	4.22	2.00	不定形	アイヌ文化期	遺F-107と重複			
遺K-16	P27c、Q27a・d	2.42	0.24	不定形	アイヌ文化期		図V-1-85	図版03	
遺K-17	Q25d	2.18	0.54	不定形	アイヌ文化期	35cm?			
遺K-18	I31b・c、J31d	2.68	0.20	不定形	アイヌ文化期		図V-1-86		
遺K-19	I31b	0.54	0.40	不定形	アイヌ文化期	遺F-90と重複			
遺K-20	Q26c	1.58	0.42	不定形	アイヌ文化期		図V-1-87	図版04	
遺K-21	L29c・d、L30a	2.82	0.38	不定形	アイヌ文化期	遺F-159～162と重複			
遺K-22	K30d	2.34	0.30	不定形	アイヌ文化期		図V-1-88	図版04	
遺K-23	K30b・c	0.74	0.18	不定形	アイヌ文化期				
遺K-24	H29c	1.26	0.10	不定形	アイヌ文化期		図V-1-89	図版04	
遺K-25	L28a	1.44	0.76	不定形	アイヌ文化期				
遺K-26	J28c	0.64	0.06	不定形	アイヌ文化期		図V-1-89		
遺K-27	J28c	0.78	0.04	不定形	アイヌ文化期				
遺K-28	J28c、K28d	0.50	0.10	不定形	アイヌ文化期		図V-1-90		
遺K-29	K29c	0.96	0.28	不定形	アイヌ文化期	遺F-200と重複			
遺K-30	P29a・b	1.54	1.04	不定形	アイヌ文化期	埋込に40削平	図V-1-91		
遺K-31	K28a	0.76	0.56	不定形	アイヌ文化期	遺F-15と重複			
遺K-32	H31b	1.34	0.34	不定形	アイヌ文化期	遺F-309と重複	図V-1-91		
遺K-33	S18a・b	1.24	1.22	不定形	アイヌ文化期	25cm 殻残存			

表V-1-7 礎集中規模一覧

遺構番号	調査区	規模(m)		形状	時期	特徴	図番号	図版番号
		長軸	短軸					
遺S-1	H18c	1.10	0.70	不定形	縄文文化期	同一母岩(凝灰)	図V-1-96	

表V-1-8 剥片集中規模一覧

遺構番号	調査区	規模(m)		形状	時期	特徴	図番号	図版番号
		長軸	短軸					
遺F C-1	N31b・c	0.91	0.43	不定形	縄縄文時代	燧石	図V-1-97	

表V-1-9 遺構土壌プロテーション成果一覧

遺構名	始末層号	始末土層 深さ(m)	底位標準層		種子	骨 遺棄物	土器 遺棄物	土器 破片	石器類 遺棄物	灰層石 その他	その他遺棄物・ 遺跡/層	備考
			2層	3層								
遺構1-1+中F	20-13	4.61	20.1	3.7	1.0	0.0	0.5	5.1	5.1	5.1	5.1	目 0.0g
遺構1-1+中F	20-14	4.61	20.1	3.7	1.0	0.0	0.5	5.1	5.1	5.1	5.1	目 0.0g
遺構1-1+中F	20-15	6.96	24.9	7.8	0.6	0.0	14.9	2.1	2.1	2.1	2.1	目 0.0g 遺 0.0g
遺構1-1+中F	20-16	7.30	27.0	8.8	0.1	0.0	1.8	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-2+中F	20-17	2.00	3.0	1.5	0.0	0.0	5.1	5.1	5.1	5.1	5.1	目 0.0g
遺構1-3+中F	20-18	4.00	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	目 0.0g
遺構1-4+中F	20-19	4.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-5+中F	20-20	3.50	3.0	3.7	0.3	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	目 0.0g
遺構1-5+中F	20-21	3.50	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	目 0.0g
遺構1-5+中F	20-22	4.20	4.9	4.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	目 0.0g
遺構1-6+中F	20-10	0.94	-	0.0	-	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-6+中F	20-106	2.15	0.4	0.5	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-6+中F	20-107	0.65	0.6	0.3	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-6+中F	20-108	1.90	2.4	0.8	0.7	0.0	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-6+中F	20-109	15.56	22.6	15.0	1.8	0.0	22.6	2.1	2.1	2.1	2.1	マヤイ 0.0g
遺構1-6+中F	20-269	1.62	0.0	0.1	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	目 0.0g
遺構1-6+中F	20-270	2.00	3.3	1.1	0.0	0.0	2.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-6+中F	20-271	2.00	0.7	4.7	0.1	0.1	2.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-9+中F	20-171	2.20	17.0	4.6	1.5	0.0	17.2	2.1	2.1	2.1	2.1	目 0.0g
遺構1-9+中F	20-172	1.00	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-9+中F	20-173	6.00	13.0	0.4	1.2	0.0	42.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-10+中F	20-132	4.10	1.0	0.7	0.3	0.0	3.8	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-10+中F	20-140	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	目 0.0g
遺構1-10+中F	20-227	0.58	-	0.0	0.0	0.0	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-11+中F	20-240	2.50	0.7	2.5	0.3	0.2	5.7	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g 遺 1.0g/0.1g
遺構1-11+中F	20-272	0.4	0.7	0.4	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-12+中A	20-271	1.82	0.8	1.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-12+中F	20-11	4.20	3.0	0.9	0.4	0.0	20.3	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-12+中F	20-12	0.23	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-12+中F	20-263	0.80	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-13+中F	20-254	0.31	2.5	1.7	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-13+中F	20-254	0.31	2.5	1.7	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-13+中F	20-255	3.80	6.7	1.4	0.0	0.0	1.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-13+中F	20-259	3.0	2.0	0.0	-	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-13+中F	20-260	0.01	-	0.0	-	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-13+中F	20-261	0.10	0.0	1.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-13+中F	20-262	0.10	0.0	1.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-13+中F	20-263	2.80	5.6	3.5	1.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-13+中F	19-621	1.88	3.3	1.5	0.3	0.0	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-6	19-79	0.24	2.2	0.4	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-7	19-75	1.80	1.0	1.4	0.3	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-7	19-77	1.57	2.8	1.5	0.0	0.0	1.9	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-8	19-72	0.20	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-8	19-73	0.11	0.3	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-9	19-75	4.54	0.5	3.8	0.3	0.0	0.8	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-9	19-76	1.00	2.0	0.0	0.1	0.7	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-9	19-77	2.15	0.4	0.3	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-9	19-78	3.51	0.7	2.8	0.2	0.4	19.9	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-10	19-63	0.09	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-10	19-64	0.98	1.2	0.1	0.3	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-11	19-65	0.50	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	目 0.0g
遺構1-11	19-66	0.45	0.6	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-12	20-203	0.10	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-12	20-204	0.20	0.6	0.5	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-14	20-201	1.20	3.6	0.6	0.9	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-15	20-243	0.10	2.5	1.5	3.6	0.0	0.9	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-16	20-223	4.20	2.3	2.3	0.4	0.0	3.4	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-16	20-244	1.40	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-17	20-242	0.50	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-18	20-243	0.42	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-18	20-244	1.40	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-19	20-100	2.00	1.8	1.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-19	19-87	0.60	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-19	19-88	1.20	0.0	1.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-19	19-89	4.10	4.8	1.5	2.8	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-20	19-90	4.00	0.4	2.4	0.3	1.8	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-24	19-86	0.21	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-25	19-85	2.00	1.1	0.7	0.3	0.0	1.7	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-26	19-90	4.00	2.2	0.7	0.4	1.4	23.4	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-28	19-94	1.65	0.0	0.8	0.1	0.0	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-28	19-95	0.20	0.0	1.8	0.3	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-30	19-96	4.00	2.0	5.8	2.4	0.4	48.8	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-30	19-97	4.50	27.3	4.3	2.6	0.0	18.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g 遺 0.1g
遺構1-30	19-98	0.20	17.8	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-30	19-99	3.20	0.1	0.8	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-30	19-100	2.90	17.4	1.8	0.7	0.0	18.3	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-30	19-101	0.90	2.8	1.1	0.3	0.0	8.3	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-30	19-102	3.10	15.1	2.6	0.7	0.0	38.8	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-30	19-103	3.47	1.4	2.6	0.5	0.0	5.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-30	19-104	2.60	23.9	0.3	1.5	0.0	28.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-30	19-105	0.20	0.5	0.4	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-31	19-106	2.30	0.8	1.9	0.2	0.0	14.2	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-32	19-107	1.00	0.8	0.4	0.1	0.0	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-32	19-108	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-34	19-109	3.80	0.0	0.6	0.3	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-35	19-110	0.80	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-36	19-111	1.45	2.6	0.7	0.4	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-37	19-112	1.10	1.8	1.3	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-38	19-105	-	18.5	3.7	3.5	0.0	37.4	0.1	0.1	0.1	0.1	目 1.00g
遺構1-38	19-106	2.50	1.3	1.8	1.0	0.0	40.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 1.00g
遺構1-38	19-107	0.20	0.5	1.5	0.7	0.0	7.4	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-38	19-108	3.50	13.0	4.5	1.5	0.0	51.7	0.1	0.1	0.1	0.1	マヤイ+ワラント 0.0g
遺構1-39	19-112	1.40	38.2	1.7	0.7	0.0	19.8	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-39	19-114	0.10	0.2	0.1	0.0	0.0	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-39	19-115	1.40	1.6	0.6	0.2	0.1	15.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 1.10g
遺構1-39	19-116	2.15	0.1	0.9	0.4	0.0	21.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-40	19-117	5.52	24.1	10.0	0.3	0.0	12.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-40	19-118	0.20	0.5	0.4	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-40	19-119	0.20	0.0	0.5	0.0	0.0	3.0	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g
遺構1-40	19-120	1.80	2.4	1.8	0.1	0.0	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1	目 0.0g



梅川4道跡(3)

道標名	測距番号	道標位置座標				橋子	土跡 距離m	土跡 種類	土跡 状態	土跡 高さm	土跡 幅m	土跡 形状	土跡 位置	土跡 高さm	土跡 幅m	土跡 形状	土跡 位置	土跡 高さm	土跡 幅m	土跡 形状	その他 備考	備考
		緯度 座標	経度 座標	標高 m	傾斜 %																	
道#106	25-221	3.00	4.1	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#107	25-222	2.00	4.1	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#108	25-223	0.80	4.7	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#109	25-224	4.00	3.6	3.2	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#110	25-225	1.10	3.9	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#111	25-226	3.10	3.8	11.2	41.1	2.1	0.1	10.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#112	25-227	0.60	3.9	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#113	25-228	0.90	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#114	25-229	5.80	10.0	1.8	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#115	25-230	2.40	3.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#116	25-231	1.50	4.9	1.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#117	25-232	3.10	4.1	0.9	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#118	25-233	2.40	2.0	2.0	0.7	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#119	25-234	0.90	3.9	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#120	25-235	4.90	3.8	1.5	0.9	0.0	0.0	17.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#121	25-236	2.04	16.6	7.4	1.3	0.1	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#122	25-237	0.60	4.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#123	25-238	1.80	3.7	1.6	0.4	0.0	0.0	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#124	25-239	2.10	3.7	0.5	0.2	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#125	25-240	3.80	3.9	2.0	1.8	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#126	25-241	1.20	3.7	0.9	0.1	0.0	0.0	10.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#127	25-242	1.40	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#128	25-243	1.80	3.1	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#129	25-244	0.90	0.8	0.2	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#130	25-245	0.90	3.8	1.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#131	25-246	0.20	3.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#132	25-247	1.40	1.4	0.6	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#133	25-248	3.10	3.0	2.2	0.6	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#134	25-249	0.10	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#135	25-250	0.30	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#136	25-251	0.30	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#137	25-252	0.54	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#138	25-253	0.40	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#139	25-254	0.40	4.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#140	25-255	1.50	1.0	0.8	0.1	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#141	25-256	8.10	4.4	1.9	2.1	0.0	0.0	77.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#142	25-257	2.10	3.9	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#143	25-258	2.80	2.1	0.5	0.4	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#144	25-259	2.77	0.15	2.60	0.1	1.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#145	25-260	3.40	3.5	2.1	0.7	1.0	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#146	25-261	3.60	3.8	0.2	1.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#147	25-262	3.00	4.1	1.6	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#148	25-263	2.10	2.9	1.0	0.6	0.2	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#149	25-264	2.10	3.1	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#150	25-265	1.10	3.4	0.6	0.6	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#151	25-266	1.30	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#152	25-267	1.20	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#153	25-268	1.40	0.1	0.8	0.3	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#154	25-269	0.20	0.2	1.9	0.2	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#155	25-270	0.80	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#156	25-271	1.20	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#157	25-272	1.10	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#158	25-273	1.20	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#159	25-274	1.80	0.3	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#160	25-275	1.80	0.3	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#161	25-276	1.20	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#162	25-277	1.80	0.3	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#163	25-278	1.20	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#164	25-279	1.80	0.3	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#165	25-280	1.60	3.4	2.1	0.2	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#166	25-281	1.30	0.7	0.4	0.3	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
道#167	25-282	1.80	0.9	0.3	0.2</																	



表V-1-10 遺構出土動物遺存体一覧

骨番号	遺構	層位	遺物番号	枝番号	枝番号	分類	部位	個体数	点数	備考
1	ⅡH-12・HF-1	地上	1			シカ	尻脚骨	1	10	
2	ⅡSP-456	Ⅱ	1			シカ	骨片		1	
3					A	シカ	中腕子骨片 r	1	1	
4					B	シカ	腕腕子骨片 r	1	1	
5					C	シカ	踵骨 r	1	1	
6	ⅡF-96	地上	2		D	シカ	シカ	1	2	ヤケ 基
7					A	シカ	尺腕子骨片 r	1	1	
8			3		B	シカ	腕・5手指骨 r	1	1	
9	ⅡF-197	地上	1			シカ	脚骨 r 遠位	1	1	
10	ⅡF-110	地上	2		A	ヤケ類	骨片	1	1	
11					B	シカ	骨片		2	3点ヤケ 白
12					A	シカ	脚骨 r 遠位	1	1	
13					B	シカ	脚骨 l 遠位	1	1	
14					C	シカ	脚骨 l	1	1	
15	ⅡF-111	地上	1		D	シカ	骨片		2	
16					A	シカ	脚骨 r	1	1	
17			2		B	シカ	脚骨 l 遠位	1	1	
18					A	シカ	脚骨 l 遠位	1	2	
19	ⅡF-124	Ⅱ	2		B	シカ	尻脚骨	1	2	一尾ヤケ
20					C	シカ	骨片		12	ヤケ 白 尻 基～点
21					A	シカ	脚骨 l 遠位	1	2	
22	ⅡF-134	地上	1		B	シカ	骨片		2	ヤケ 白
23					C	シカ	骨片		23	ヤケ 尻～白
24	ⅡF-143	Ⅱ	1			シカ	骨片		4	ヤケ 尻～白
25	ⅡF-150	地上	1			シカ	脚骨 r	1	1	
26	ⅡF-157	地上	1			シカ	骨片	1	1	
27	ⅡF-169	地上	1			シカ	骨片	5	ヤケ 基～白	
28					A	シカ	踵骨 r	1	1	
29	ⅡF-170	地上	1		B	シカ	骨片		3	
30					C	シカ	骨片		3	ヤケ 白
31	ⅡF-172	Ⅱ	2			シカ	骨片		2	
32					A	シカ	末脚骨	1	1	ヤケ 尻～白
33		地上	1		B	シカ	骨片		10	ヤケ 白
34					C	シカ	骨片		1	ヤケ 基
35	ⅡF-173				A	シカ	末脚骨	1	1	
36		Ⅱ	2		B	シカ	骨片		3	ヤケ 白
37					C	シカ	骨片	1	1	ヤケ 基
38	ⅡF-221	地上	3			シカ	上腕骨 l 遠位	1	5	
39			2			シカ	骨片		4	
40	ⅡB-1	Ⅱ	6			シカ	骨片		2	
41	ⅡB-2	Ⅱ	1		A	シカ	上腕骨 l 遠位	1	1	
42					B	シカ	骨片		18	
43					a		蹄甲骨 l	1	2	
44					b		上腕骨 l 腕片		1	関節状態
45	ⅡB-3	Ⅱ	1		c	シカ	脚骨 l 遠位	1	1	
46					B		脚骨 l 遠位	1	1	
47			1		A	シカ	下腕骨 l P2～M3	1	1	関節状態
48					B	シカ	骨片 (不明)		1	
49			2			シカ	下腕骨 r l P2～M3	1	1	
50	ⅡB-4	Ⅱ	4			シカ	下腕骨 r P2～M3	1	1	
51						シカ	骨片		2	
52					A	シカ	下腕骨 r ?	1	1	
53			5		B	シカ	脚骨 r 遠位	1	1	
54					C	シカ	脚骨 l 遠位	1	1	
55					D	シカ	骨片		1	
56	ⅡK-9	Ⅱ	1		A	シカ	脚骨 r	1	1	
57					B	シカ	骨片		1	
58	ⅡK-18	Ⅱ	2		A	シカ	脚骨 l	1	1	
59					B	シカ	骨片		13	ヤケ 白 基～点
60	ⅡK-24	Ⅱ	5			シカ	脚骨 r	1	1	

## 2 遺物

### (1) 土器

#### (1)-1 V群c類 (図V-2-1~3/表V-2-1/図版133・134)

##### a 浅鉢

##### ・顕著な突起や内面に文様が見られるもの: 1~3・6

1は長軸口径37.6cm(推定)、短軸口径32.9cm、器高14.3cmを測る。上面観は楕円形。口縁部には前・後突起が残存する。口縁端面はやや外傾し、主飾部は縦位縄側面圧痕、副飾部はナデのまま。前突起は山形で、頂部に指頭圧痕→内面に横位縄側面圧痕→円形刺突+下向弧状沈線。後突起は低い台形で、頂部中央に指頭圧痕→内面に横位縄側面圧痕→両端に縦位短沈線。主飾部の内面は横位縄側面圧痕→断続露歯状沈線。外面は横位回転R L斜走縄文。底部は丸底。内面は横ナデ調整。胎土はやや粗く、中粒砂(石英・長石が多い)・軽石が混和する。接合面は露呈していない。口縁部に2孔1対の補修孔が1か所確認される。内面に炭化物が付着する。

2は全体の約1/3と推測され、残存器高16.0cmを測る。上面観は不明。口縁部には後突起の一部が残存する。後突起は台形と考えられ、端部に小突起を有する。頂部は横位・縦位縄側面圧痕→縦位棒側面圧痕。口縁端面は内傾し、副飾部はナデのまま→内縁に縦位棒側面圧痕。外面は横位回転R L斜走縄文。底部は丸底。内面は横ナデ調整。胎土はやや粗く、中粒砂(石英が多い)・軽石が混和する。接合面は露呈していない。内外面に炭化物が付着する。

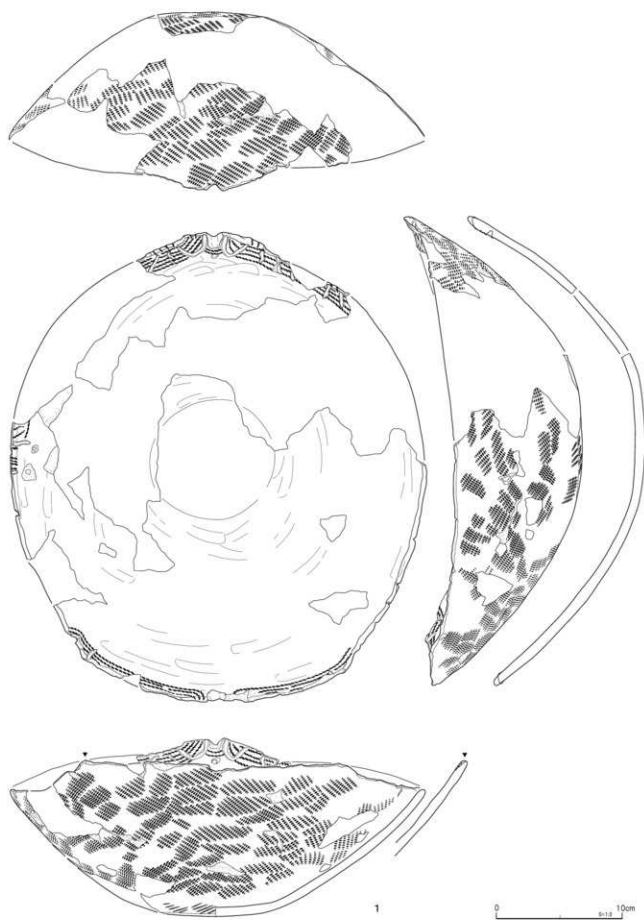
3・6は破片資料。3は口縁→胴部。突起は見られず、口縁端面に無文部分があることから、副飾部の一部と推測される。口縁端面はやや内傾し、副飾部はナデのまま→横位縄側面圧痕→縦位棒側面圧痕。外面は横位回転L R斜走縄文→口唇直下ナデ消し。内面は横ナデ調整。胎土はやや粗く、中粒砂(石英が多い)・軽石が混和する。棒側面圧痕の内部に赤彩の痕跡が残る。6はV層出土の資料であるが、分類(V群c類)と器形(浅鉢)が同じであるため、ここに掲載した。口縁→底部。口縁部に台形突起を有するが、破損している。口縁端面はやや内傾し、縦位縄側面圧痕。内面は口唇直下に横位凹線→突起頂部から下向弧状に垂下する縄側面圧痕3条→凹線・縄線の周縁に半截竹管状施工具による刺突列→突起頂部に横位沈線1条。外面は横位回転R L斜走縄文。底部は丸底。内面は横ナデ調整。胎土は緻密で、細粒砂(長石が多い)・軽石少量が混和する。凹線・縄線の内部に赤彩の痕跡が残る。内面に炭化物が付着する。

##### ・顕著な突起や文様が見られないもの: 5

5は全体の約1/3が復元されたもので、残存器高12.9cmを測る。上面観は不明。口縁部は緩い波状を呈しており、突起は見られない。胴部に屈曲しており、内面にも段が見られる。口縁端面は内傾→R L回転縄文。外面は横位回転R L斜走縄文。底部は丸底。内面は横ナデ調整。胎土は粗く、土器片多量・粗粒砂・軽石が混和する。胴部に内傾の接合面が露呈する。内外面に炭化物が付着する。

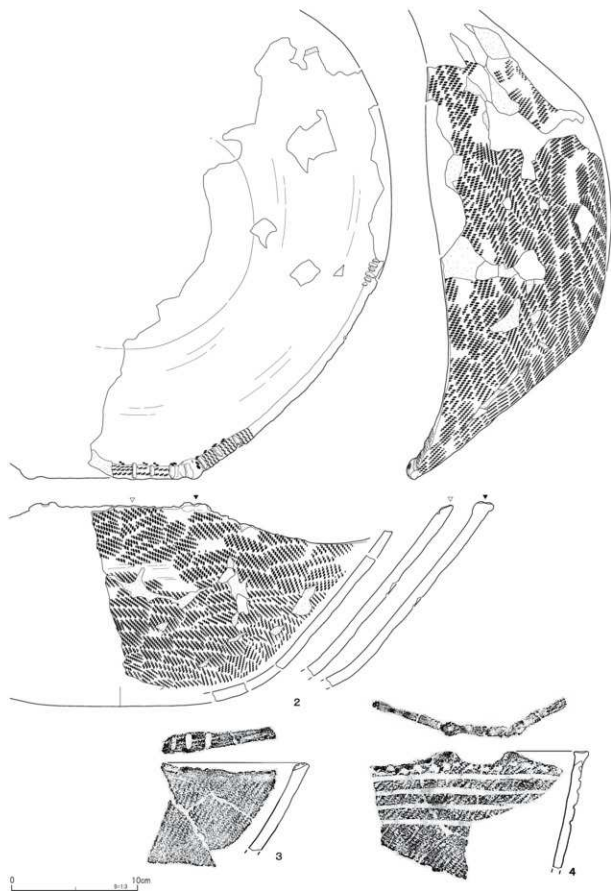
##### ・内面と外面に文様が見られるもの: 7

7は長軸口径19.5cm(推定)、短軸口径18.2cm、底径10.6cm、器高10.8cmを測る。上面観は十字形で、本来円形のもの4隅を凹ませている。口縁部は長軸端に山形突起3か所が設けられていたと推測される(1か所欠失)。口縁端面は内傾→L R回転縄文→棒側面圧痕。外面は斜位回転L R斜走縄文→口縁部に横位沈線3条→副文様として沈線間に半截竹管状施工具による刺突列→中央の山形突起下に2孔1対の円形刺突孔→底部に横位沈線2条→沈線間と底縁に半截竹管状施工具による刺突列。中央の山形突起の内面に縦位貼付帯→棒側面圧痕。底部は凸底→L R回転縄文。内面は横ナデ調整されるが、指頭痕が残る。胎土は緻密で、細粒砂・軽石が混和する。胴部に内傾と両傾の接合面が各1段露呈する。口縁→胴部の内面に炭化物が付着する。

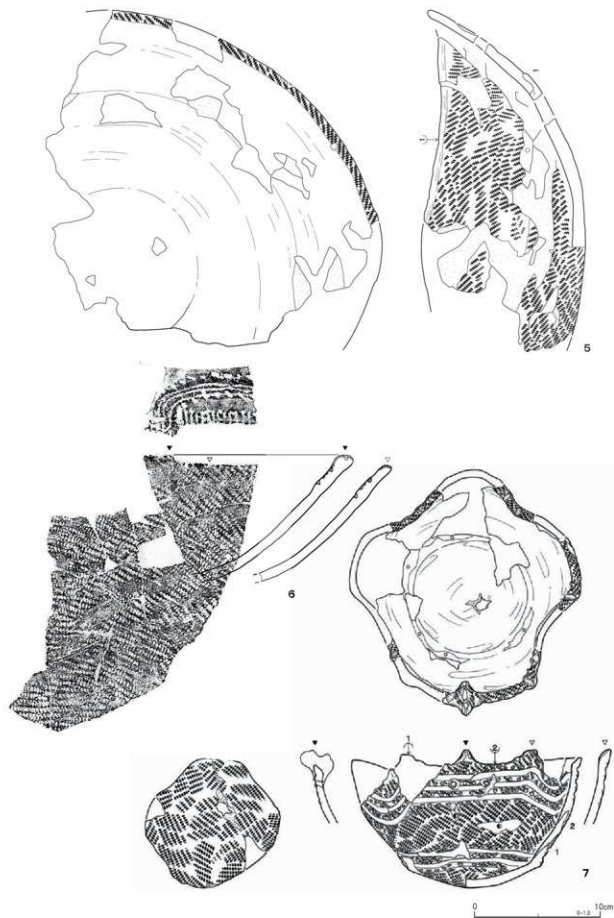


図V-2-1 V群c類土器(1)





図V-2-2 V群c類土器(2)



図V-2-3 V群c類土器(3)

## b 深鉢

・横位沈線文に刺突列が加わるもの：4

4は破片資料。口縁部に双峰山形突起→頂部に指頭圧痕。口縁端面は内傾→ナデのまま。外面は横位回転LR斜走縄文(磨滅により不鮮明)→口唇直下に半截竹管状施工具による刺突列→口縁部に横位沈線4条。内面は横ナデ調整されるが、一部に指頭痕が残る。胎土は緻密で、土器片中量・細粒砂・軽石・繊維が混和する。(芝田)

(1)~2 VI群・VII群・IX群(図V-2-4~32/表V-2-4~9/図版37~152)

分類は『美沢川流域の遺跡群I』(北海道教育委員会 1977年)と鈴木 信「遺失部における縄文土器の編年」『ユクボシC15遺跡(6)』(北海道埋蔵文化財センター 2003年)に準拠する。掲載土器は、復元個体がVI群a b類・VII群b・IX群、拓本破片がVI群a~d類に該当する。観察項目は「江別市 対雁2遺跡(8)」(北埋調報231集、2006年)に倣い、必要に応じて新たな字句も使用する。

## a 表V-2-4・7の属性記述について

**胎土** 胎土は肉眼観察によると、ほとんどが石英・長石・角閃石を含む粘土を母材として、土器・繊維(器壁に管状の中空として観察した痕跡をいう)を混和するものがあった。土器片は1辺3~6mm四方の砕かれたもので、加えられた量によって3種に分類した。少量：3mm四方の細かい土器片を少量(表面・破断面の観察において、表面でまれに破断面で主に確認できる)を含む、中量：5~6mm四方の土器片を少量(表面・破断面の観察において、破断面で主に確認できる)を含む、多量：5~6mm四方の土器片を多量(表面・破断面の観察において、表面で容易に確認できる)を含む。密度は砂・軽石の量によって3種に分類した。密：細粒以下を含む、やや粗：中粒以上を含む、粗：中粒以上を多く含む。

**成形** 成形は全て粘土組輪積みである。上下の粘土組接合面は外傾・内傾・両傾・中立があり、先端・末端が観察できなかったものの中に不明瞭としたものがある。なお横方向の接合は見当たらない。接合面には加工がある例となし例があり、加工がある例には指・爪の圧痕がある。表V-1の疑口縁に関する枠内数は土器図接合面の数字に対応し、表の記載内容が土器図同数字において認められたことを示す。

**形態の歪み** 形態の歪みについては以下の観察・記述を行った。「中軸に対しての対称」「口縁と底面の非平行」「器面平坦」の観察方法は口縁を90度の4方向が水平になるように据えて、回転させて目視・手触・手計測した。「非正円」は口縁部平縁箇所の上を視を手計測した数値。

「軸対称」：「◎」：著しい非対称、「○」：非対称、「×」：対称。「口縁と底面の非平行」：「○」：非平行、「×」：平行。「器面平坦」：「部位名」：平坦面のある部位、「×」：平坦面なし。「非正円」：「◎」：最大/最小径比1.1以上・非正円、「○」：最大/最小径比が1.1未満~1.05以上・非正円、「×」：最大/最小径比が1.05未満・ほぼ正円。なお、「-」：観察・計測不能

**外面被熱による変色** 表面劣化が著しい赤橙色、表面劣化があまりみられない黄白色、まれに黄白色の一部に赤橙。変色範囲はおおよその目安として、深鉢・鉢は垂直方向に3等分して口縁部・胴部・底部に区分し、浅鉢は口縁部・体部・底部に区分し、壺は口縁部・肩部とそれ以下を2等分して胴部・底部に区分した。加えてそれぞれは底面も区分した。

**底部暗色帯** 底部表面の被熱変色の下位を閉繞する幅数十mmの暗色帯がみられることがある。

**炭化物の付着** 付着部位はおおよその目安として、深鉢・鉢・舟形鉢は垂直方向に3等分して口縁部・胴部・底部に区分し、浅鉢は口縁部・体部・底部に区分し、壺は口縁部・肩部とそれ以下を2等分して胴部・底部に区分した。加えてそれぞれは底面・内底面も区分した。また、内底面の付着形態は、内底面の全面に付着する「円形」と内底面の中央には付着しない「環状」に分けた。

**補修孔** 孔の位置はおおよその目安として、深鉢・鉢・舟形鉢は垂直方向に3等分して口縁部・胴部・底部に区分し、浅鉢は口縁部・体部・底部に区分し、壺・注口は口縁部・肩部とそれ以下を2等分して胴部・底部に区分した。加えてそれぞれは底面も区分している。孔自体の詳細に関しては後述表V-2-10に記す。

#### b 表V-2-5・6の属性記述について

**器種** 倒円錐台形の器形は、深鉢(口径/器高<1.25)、鉢(1.25≤口径/器高≤1.50)、浅鉢(1.50<口径/器高)と呼称する。倒円錐台形以外の器形には壺・甕がある。図V-3-13(以下では「**図〇-〇-〇**」を略す)は上面観・底面観が楕円形の浅鉢・鉢は13・37、壺は38・50、甕は52、これら以外は深鉢・深鉢?で、深鉢には口縁部下部が少し窄まる個体(14・29・46)がある。

**形態** それぞれの器種における細部形態についての観察である。口唇部加飾の有無、口唇断面形(加飾のない口唇部における最頻出の形態を記入した)、底面形(底部の凸平底の○は外底面の突出が弱いことを示す)についての記述である。「器壁の傾き」は、倒円錐台形の器形については口縁部～頸部について壺・注口については口頸部の形態について記述し、丸印右側の「上・下」は同一個体内における形態を表し、上は口縁部・下は頸部を指す。

**調整・文様** 「口唇部・突起」施文のうち、口唇部・突起の「棒状痕」の★は絡縄体側面瓦痕、「棒状痕」[板木口刺突]の丸印右側2文字は、1文字目が口縁端面に対する押圧刺突の角度で、「前」は端面に対して前傾(外壁側になる)し、「水」は端面に対して水平に施される。2文字目が中心軸に対する押圧刺突の方向で、「直」は軸方向、「左」は軸方向から向って左側に振れる、「右」は軸方向から向って右側に振れる、である。口縁部の「下地」は施文以前の状態を示す。「ナデのまま」とは施文の前段としてのナデが残る、「縄文」は施文の前段に縄文が残る、「◎」は下地撚糸である。口縁部の★は絡縄体端部瓦痕、「口縁部」「胴部・底部」の丸印右側数字は調整・施文の順番を示し、「?」は順番が不明を表す。「直描き主文様」の「変形工字沈線Ⅱ」は2段に展開する交互三角形沈線・並列三角形沈線である。「胴部の縄文」における、「●」は器表広範に使用される原体、「○」は器表一部に使用される原体、である。胴部・底部の「▲・△」は1段縄文で、「▲」は器表広範に使用される原体、「△」は器表一部に使用される原体、である。多条縄文が否かについては備考に記載した。

**内面調整** 「器面凹凸」は成形時の指押さえが明瞭なナデ、「器面凹凸ありやや平滑」は成形時の指押さえの凹凸が多少残るナデ、「器面平滑」は成形時の指押さえが残らない平滑なナデ、である。

#### c VI群復元個体について

以下VI群 a b 類復元個体(52例)について述べる。

**胎土** 密度は「密」6例・「やや粗」35例・「粗」11例、「やや粗」が全個体の67%。H37丘珠期(6例)では「密」1例・「やや粗」5例、「やや粗」が多い。H371期(30例)では「密」5例・「やや粗」22例・「粗」3例、「やや粗」が多い。H37栄町期以降(16例)では「やや粗」8例・「粗」8例、「粗」が増える。土器片混和は「少量」5例・10%、H137期(4例)、H37栄町期以降(1例)である。

**成形** 上下の粘土紐接合面が観察できた個体(32例)は全個体の62%、そのうち外傾(18例)；観察個体の56%、両傾(3例)；観察個体の9%、外傾+両傾(2例)；観察個体の6%、外傾が極めて多い。52は外傾と内傾が混じり、接合面の逆転が見られる。

**形態の重み** 「軸対称」が観察できた個体(49例)は全個体の94%、そのうち「◎」10例・「○」26例・「×」13例、「○」が多い。H37丘珠期(5例)では「◎」1例・「○」3例・「×」1例、「○」が多い。H371期(28例)では「◎」7例・「○」15例・「×」6例、「○」が多い。H37栄町期以降(16例)は「◎」2例・「○」8例・「×」6例、「○」は多いものの「◎」が減り「×」が増える。「口縁と底面の非平行」が観察できた個体(25例)は全個体の48%、そのうち「○」21例・「×」4例、「○」が多い。H37丘珠期(3例)では「○」3例。H371期(14例)では「○」14例・「×」

2例、「○」が極めて多い。H37栄町期以降は「○」4例・「×」2例である。「器面平坦」が観察できた個体(45例)は全個体の87%で、そのうち「あり」10例・「なし」35例で「なし」が極めて多い。H37丘珠期(4例)で「なし」4例で、H317期(26例)では「あり」6例・「なし」20例で「なし」が極めて多く、H37栄町期以降(15例)では「あり」4例・「なし」11例で「なし」が多い。「非正円」が観察できた個体(29例)は全個体の56%で、そのうち「◎」1例・「○」8例・「×」20例で「×」が多い。H37丘珠期(2例)では「○」1例・「×」1例で、H317期(13例)では「◎」1例・「○」5例・「×」7例で「◎」「○」と「×」がほぼ同量あり、H37栄町期以降(14例)では「○」2例・「×」12例で「×」が極めて多い。

**外面被熱による変色** 外面の変色が観察できた個体(19例)は全個体の37%で、そのうち「黄白色化」1例・「赤橙色化」18例で、H37丘珠期では6例中0例・H317期では30例中14例・H37栄町期以降では16例中4例に「赤橙色化」が見られる。

**底部暗色帯** 暗色化の有無が観察できた個体(18例)は全個体の35%で、そのうち暗色帯がみられた個体(5例)は14%と少ない。暗色帯は平均27mmの幅がありいづれも外底縁から上方側に変色する。暗色帯については際立った変移はない。

**炭化物の付着** 外面に炭化物付着が観察できた個体(29例)は全個体の56%で、そのうち口縁部に付着する個体(24例)が83%と多い。内面に炭化物付着が観察できた個体(37例)は全個体の71%で、そのうち口縁部に付着部位する個体(23例)が62%と外面に比べてやや少ない。炭化物付着については際立った変移はない。内底面に炭化物は見られない。

**補修孔** 補修孔が観察できた個体(6例)は全個体の12%で、横方向のみの結合が5例、2か所以上の結合が3例ある。52は横・縦方向結合と多数箇所結合が見られる。

**形態** 口唇部(口唇部残存個体44例)は平縁26例・単峰12例・台形単峰3例・双峰3例・小波状1例で平縁・単峰が極めて多く、H37栄町期以降に双峰・小波状がある。口唇部断面形(口唇部残存個体44例)は端面水平23例・丸い10例が極めて多く、H317期に端面内傾がある。口頸部器壁の傾き(器壁残存個体45例)は直上20例・外傾13例が極めて多く、H317期以降には内傾があり、口縁部と頸部において器壁の傾きが異なるものがある。

**底部断面形**(底部残存個体32例)は凸平底18例・平底6例・凹底8例で凸平底が極めて多く、H317期以降に凹底がある。凸平底18例のうち外底面の突出が弱い個体(7・14・34)がある。凸平底の成形は半球または丸底皿の外底縁を揃えて角付け・肥厚させる、であるので、変形が加わった可能性もある。また、凹底の一部には外底面周縁側が環状にくぼむ(外底面は平底に近い形・内底面中央がやや肥厚)個体(35・40・49)がある。これらは凸平底をさらに内底面側に押し込んで変形させた可能性を示す(そのため外底面は弱い凸・内底面中央がやや肥厚)。くわえて、平底例には口縁と底面が非平行の個体(2・8)があり、これらは凸平底と同様の底部成形が行われたあと、上記凹底よりも強い変形が加わった可能性がある。

**調整・文様** 1~11は胴部に斜位縦走縄文が施されるもので、1~4・6~11はRL、5はLRである。1~3は口縁部に沈線文、4・6・7は口縁部に縄線文、5は外屈する口縁部の内外面と頸部に縄端王痕文が施される。10は外底縁を揃えて角付け・肥厚させる。12・13は胴部・体部に横位斜走縄文が施されるもの。12はLR、13はRLである。

14~19は胴部に撚糸文が施されるもの、14は口縁部に沈線文、15~18は口縁部に縄線文、が施される。14~16は胴部底部の撚糸→口縁部施文の順で、17・18は口縁部施文→胴部底部の撚糸の順である。15は内面に外傾接合面の逆形がある、図示「(●)」。17は底部に斜位回転が見られる。19は横位回転である。

20は自縄自巻LRによる撚糸文風縄文が施されるものであり、胴部・斜位回転と口縁部・略横位回転で、H37栄町期以降の帯縄文施文順序と同じく胴部・縦走→口縁部・横走である。

21～34は胸部に斜位横走縄文が施されるもので、21・23・25・29・30・31・33の下部縄文の一部にはLR原体を土器の天地に対して45°右上・左下に置き回転につれて指捺位置を移動させている部分がある。これはRL縦走帯縄文と同じ原体の置き方・押捺方法であるが反対捻りであるため条方向が90°異なり短条となる。22・24・26・27・28・32・34はLR原体を土器の天地に対して45°右上・左下に置きそのまま右下に回転させている(指捺位置を移動さない)。21・22は口縁部に縄線文が施される。28は外折する口縁部に無文帯が設けられる。35・36は沈線文が施されるもの。37～39は無文。

40は胸部にRL縦位斜走縄文とRL斜位縦走縄文を帯縄文風に施し、突瘤を施したのちにその穴を埋める。41～50は口縁～底部にRL帯縄文が施されるもので、41～43は口縁部に本数の少ない横位帯縄文、44・45は口頸部に本数が多く間隔が開かない横位帯縄文、46～49は口頸部に間隔が開く横位帯縄文。43は工字沈線文、46・50は縄線文が施される。51は口縁～胸部に横位帯縄文と斜沈線文が交互に施される。52は口縁～胸部に斜位縦走縄文、頸部に横位結節沈線、その結節沈線を上下につく短沈線、胸部縄文押捺のち光沢が出るナデが施され節が潰れる。

内面調整 内面はナデ幅が明瞭に観察できる場合があり、硬質原体によるナデも観察できる。「器面凹凸」41例・「器面凹凸ありやや平滑」8例・「器面平滑」3例で、「器面凹凸」が極めて多い。H37丘珠期(6例)では「器面凹凸」5例・「器面凹凸ありやや平滑」1例、「器面凹凸」が極めて多い。H317期(30例)では「器面凹凸」28例・「器面凹凸ありやや平滑」2例、「器面凹凸」が極めて多い。H37栄町期以降(16例)では「器面凹凸」8例・「器面凹凸ありやや平滑」5例・「平滑」3例で「器面凹凸ありやや平滑」「平滑」が増える。

#### d VII・IX群復元個体について

53は下地横位沈線の刻文深鉢である。胎土はVI群に比べても密である。内傾する接合面は丁寧なナデでVI群に比べて狭い。形態は「中軸対称」が著しく歪んでいる以外に歪みが少ない。補修孔は横方向結合が2ヶ所あり、その断面が「すり鉢状・筒状」である。口縁は平縁に貼付け隆帯、施文はへう状工具による。

54は肥前系染付碗、胎土は磁質・灰色がかかる。軸調は透明・気泡を多く含む、呉須は発色が良好ではなく灰緑色がかかる。軸の気泡により絵付けが滲んで見える。文様は雁と芦のくずれにも見える。

#### e 拓本破片について

破片資料については記述する属性が欠如しているものも多いので復元個体の観察表とは項目が一部異なる。そのため属性ごとの傾向については言及せず、「調整・文様」について記述する。掲載番号の後ろに付されたアルファベットは同一個体であることを示す(接合作業を経て同一破片と認められたもの)。

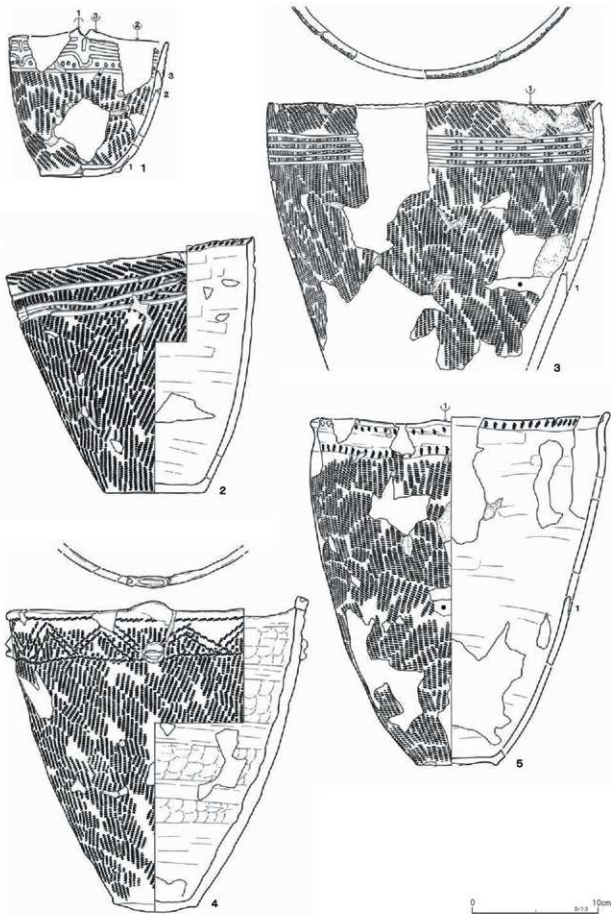
1～44は斜位縦走縄文、1～7・9～17・19～23はRL斜位縦走縄文、8・18・24・29・31・36はLR斜位縦走縄文。37・42はRL斜位縦走縄文が大部分で底部付近にLRが施され、25・26はRL斜位縦走縄文が大部分で口縁部付近にRL横位斜走縄文が施され、45・46はRL横位斜走縄文が施される。7は器表がナデにより節が潰れている。7・9は条が捩れて湾曲している。

47～53は撚糸文。54は自縄自巻LRを縦位帯縄文風に押捺している。55・56は胸部縄文不明破片。57は端面がニシン椎骨側面圧痕、口頸部がニシン椎骨側面横位回転文、その境に一部LR横位斜走縄文、胸部にはLR斜位横走縄文。58は口頸部がLR斜位横走縄文、胸部にはLR縦位斜走縄文。

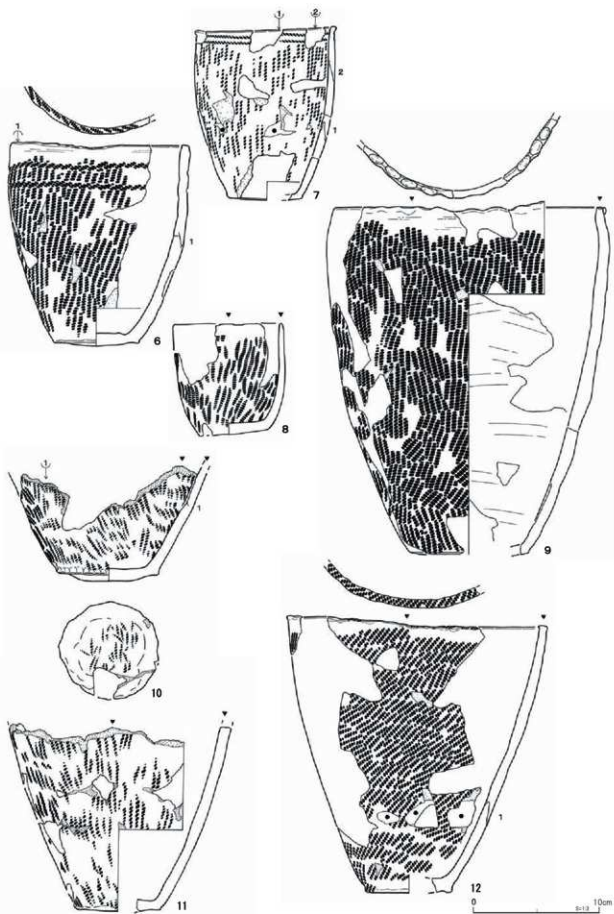
59・62・64・66・68・70・71はLR斜位横走縄文、60・61・63・65・67・69はLR斜位横走にLR短条帯縄文がまじる、72は口縁部RL斜位横走縄文、その下にRL斜位縦走縄文。

73～79はRL斜位帯縄文。80はRL斜位縦走縄文。81は口頸部にRL斜位横走縄文、胸部にRL横位斜走縄文(長い原体であるため条が捩れて湾曲している)を帯縄文風に施す。82・83はRL斜位縦走帯縄文のあと微隆起線が施される。

(鈴木)

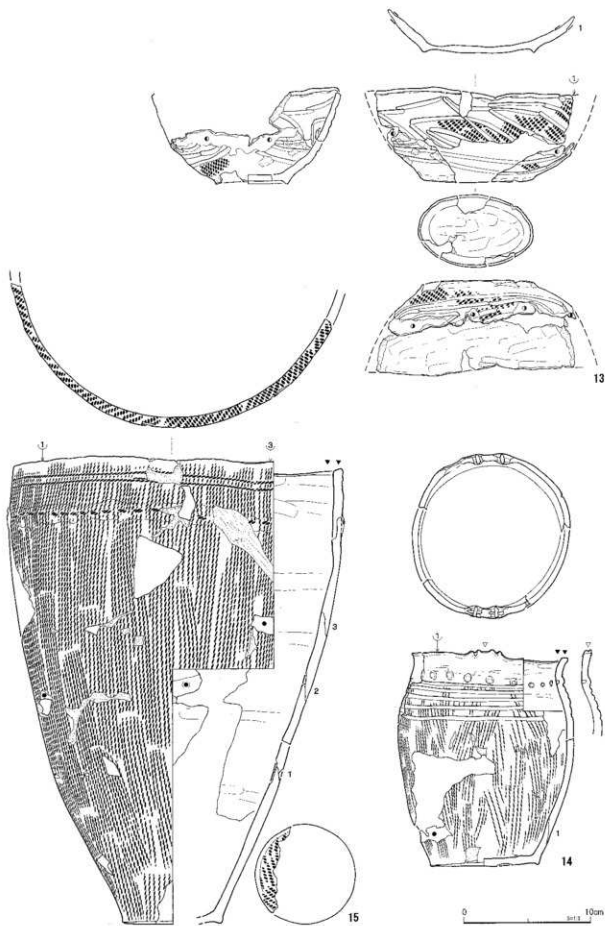


図V-2-4 VI群復元土器(1)



図V-2-5 VI群復元土器(2)

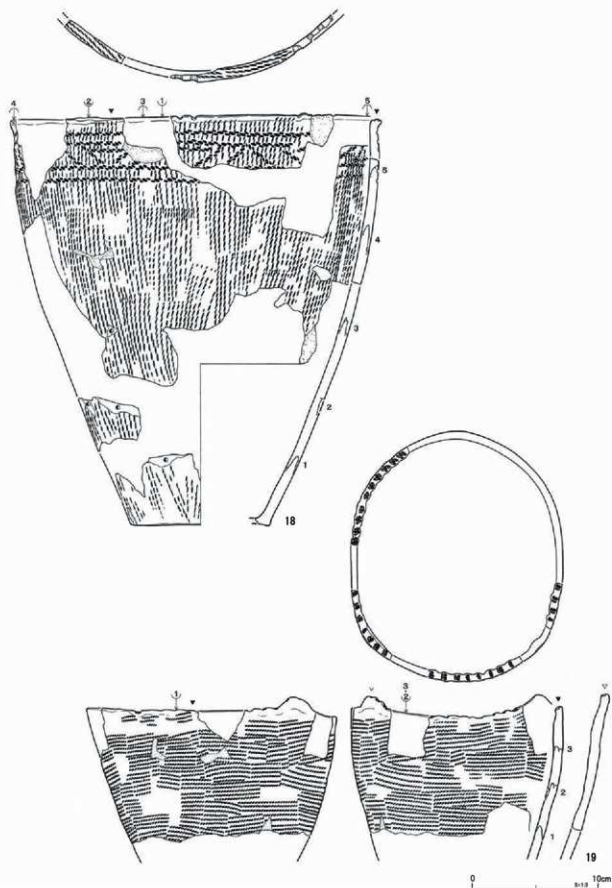




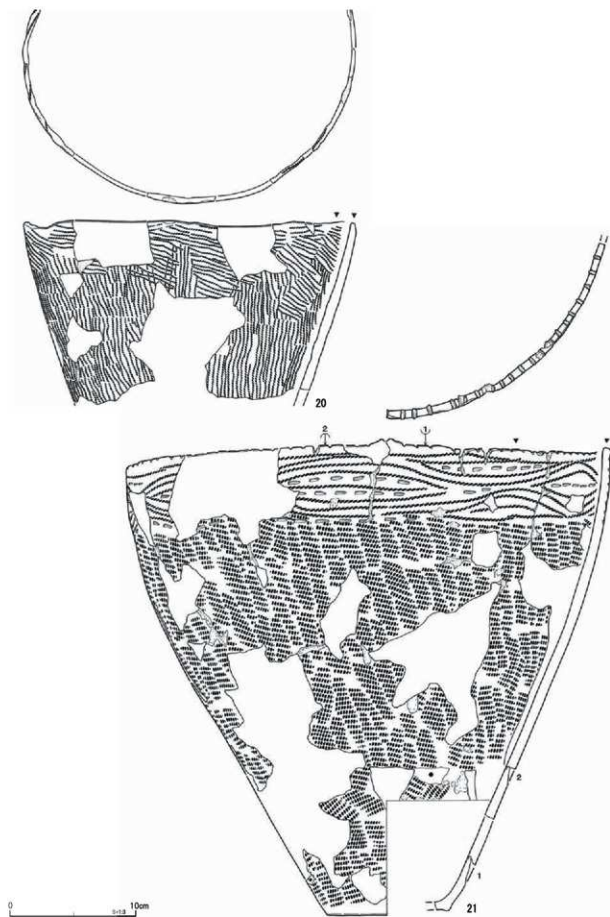
図V-2-6 VI群復元土器(3)



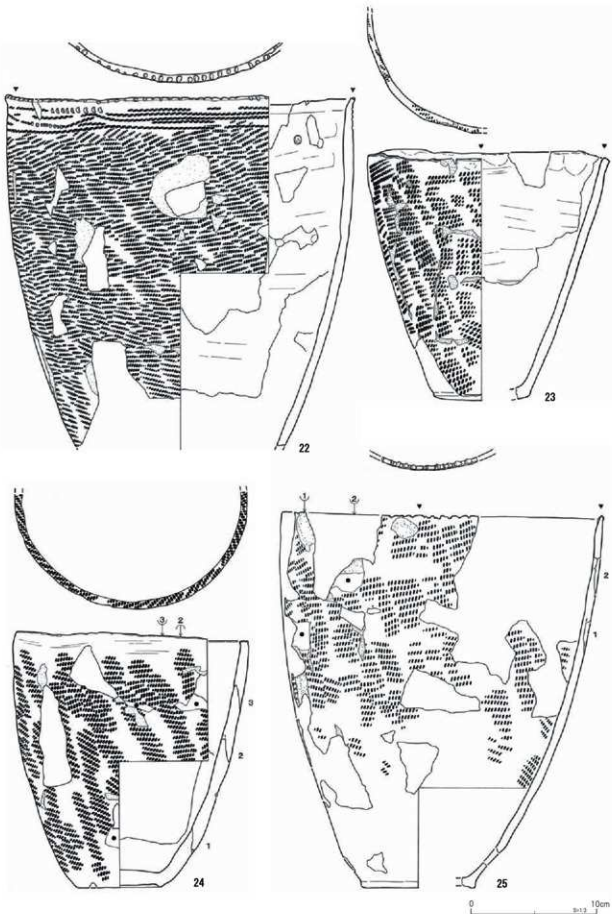
図V-2-7 VI群復元土器(4)



図V-2-8 VI群復元土器(5)



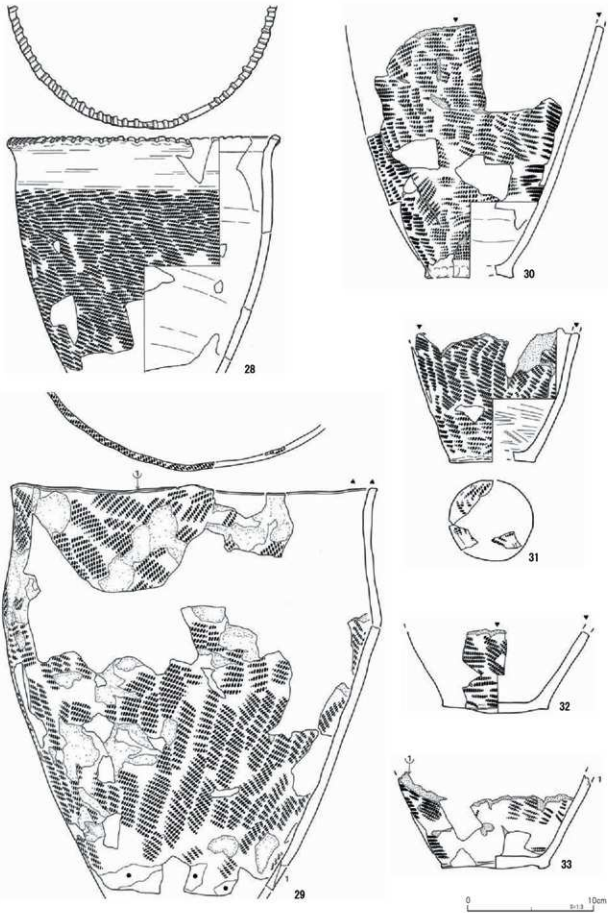
図V-2-9 VI群復元土器(6)



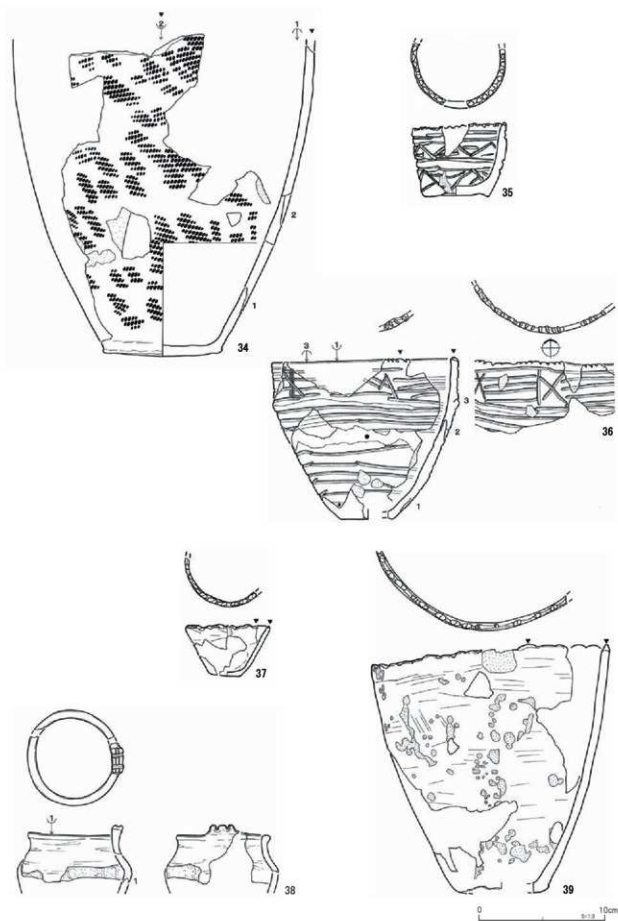
図V-2-10 VI群復元土器(7)



図V-2-11 VI群復元土器(8)

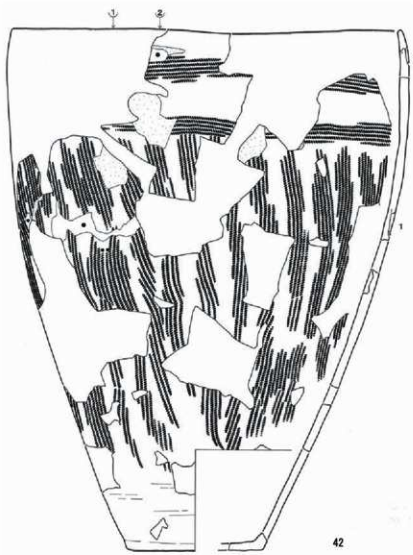
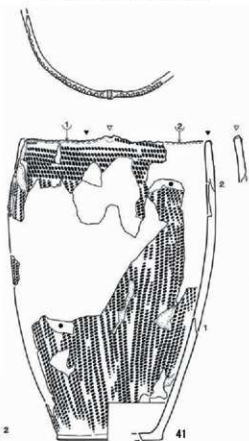
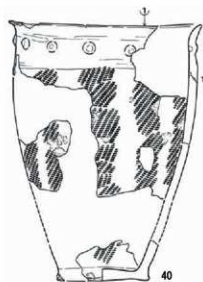


図V-2-12 VI群復元土器(9)



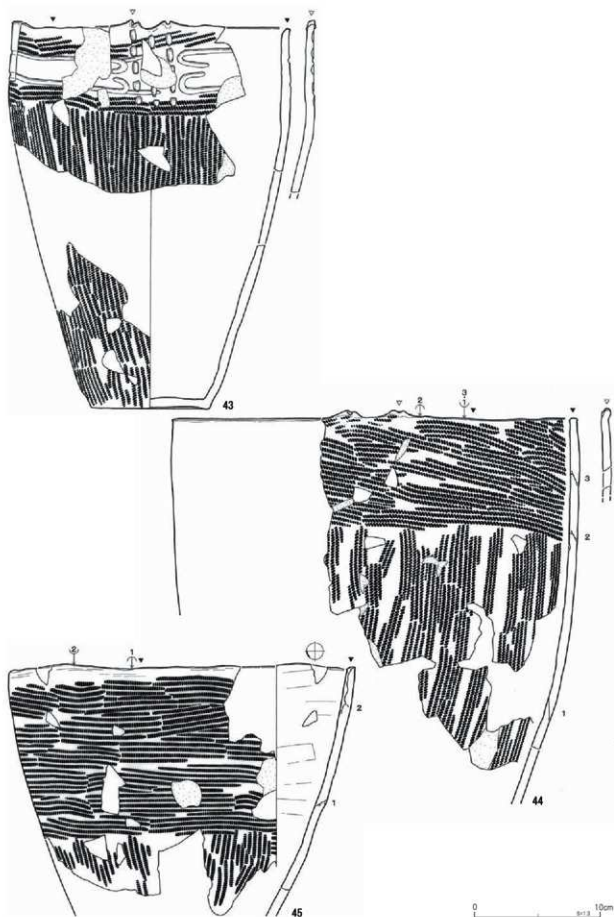
図V-2-13 VI群復元土器(10)



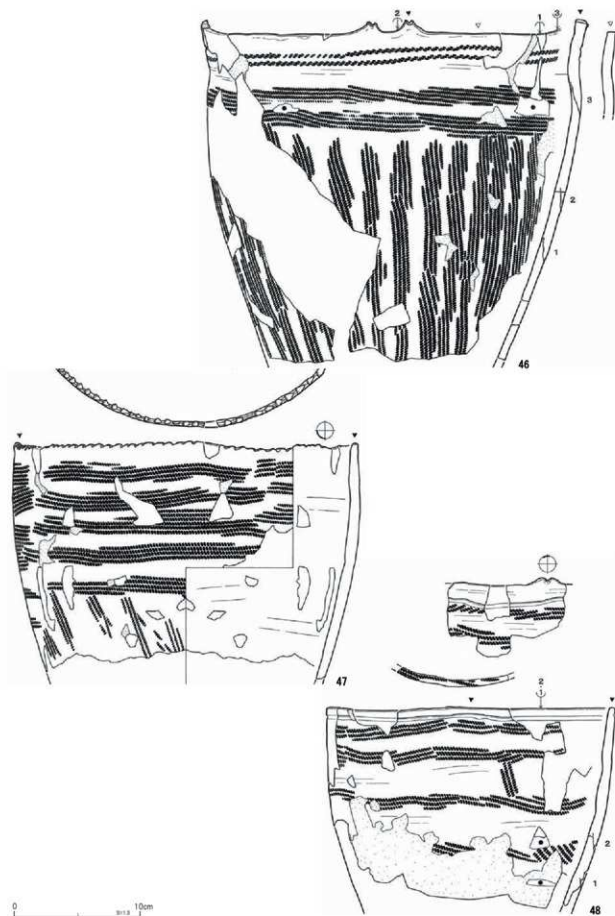


0 10cm  
1:10

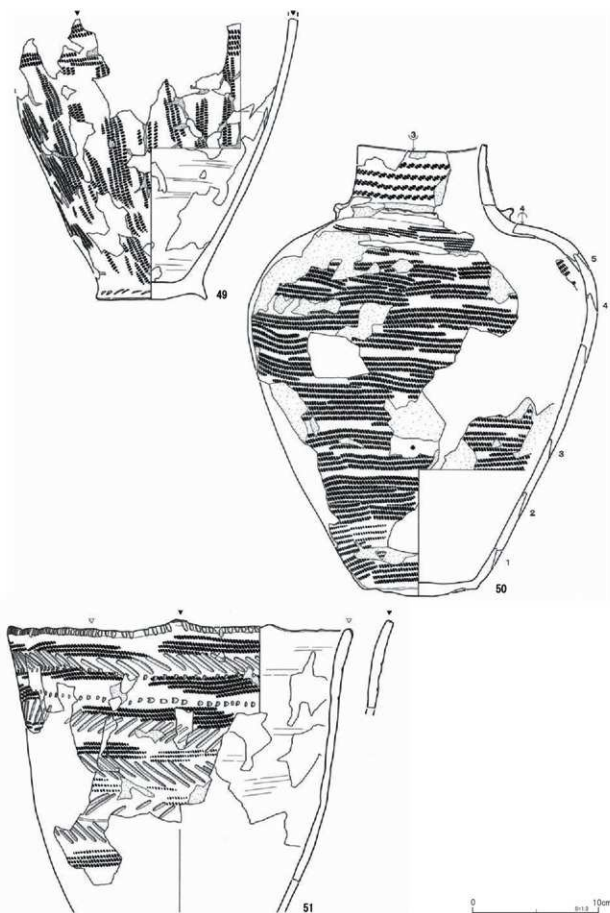
図V-2-14 VI群復元土器(11)



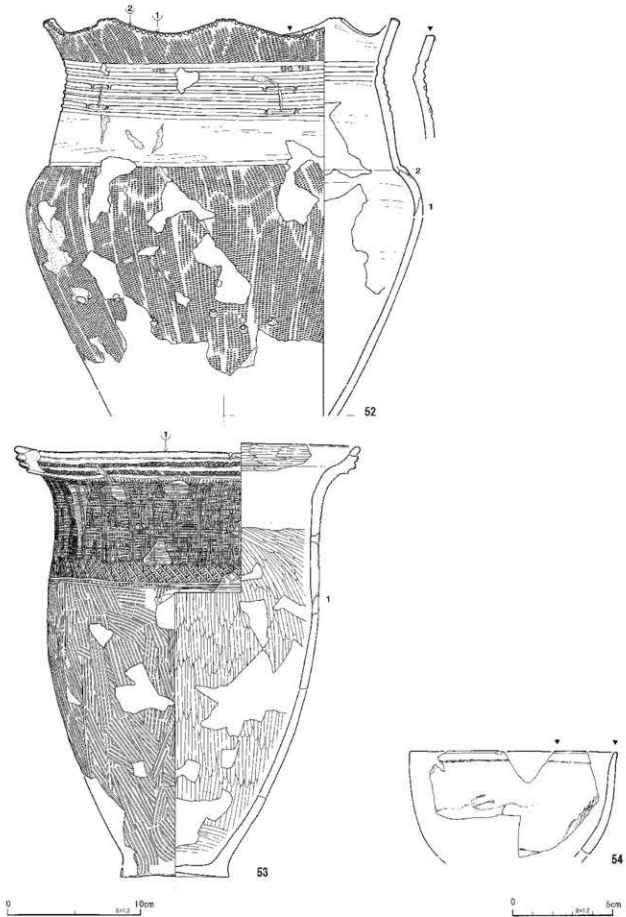
図V-2-15 VI群復元土器(12)



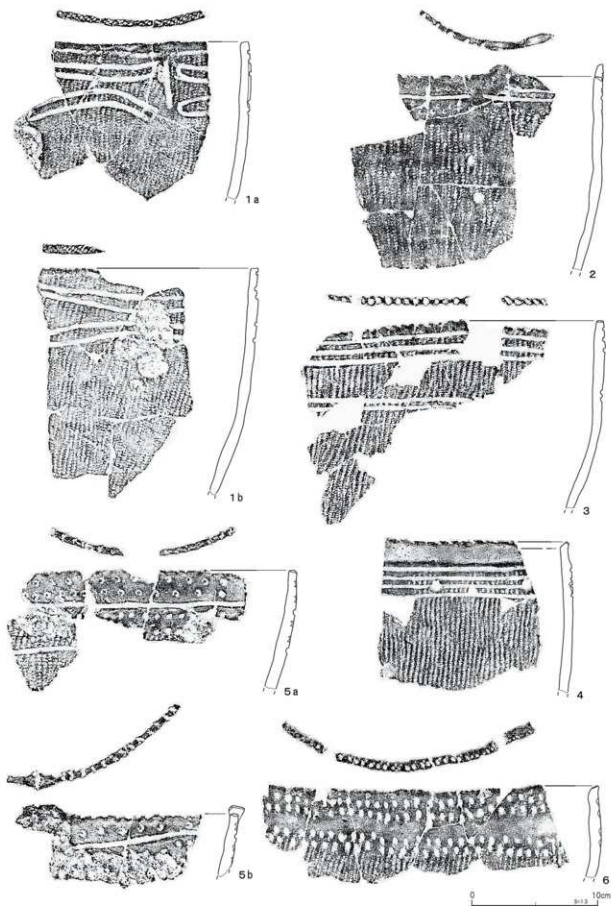
図V-2-16 VI群復元土器(13)



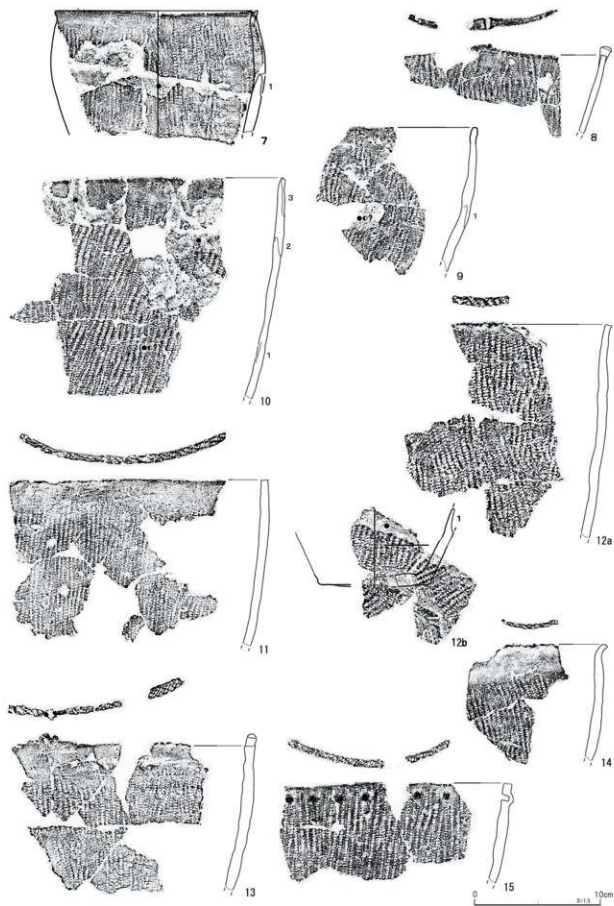
図V-2-17 VI群復元土器(14)



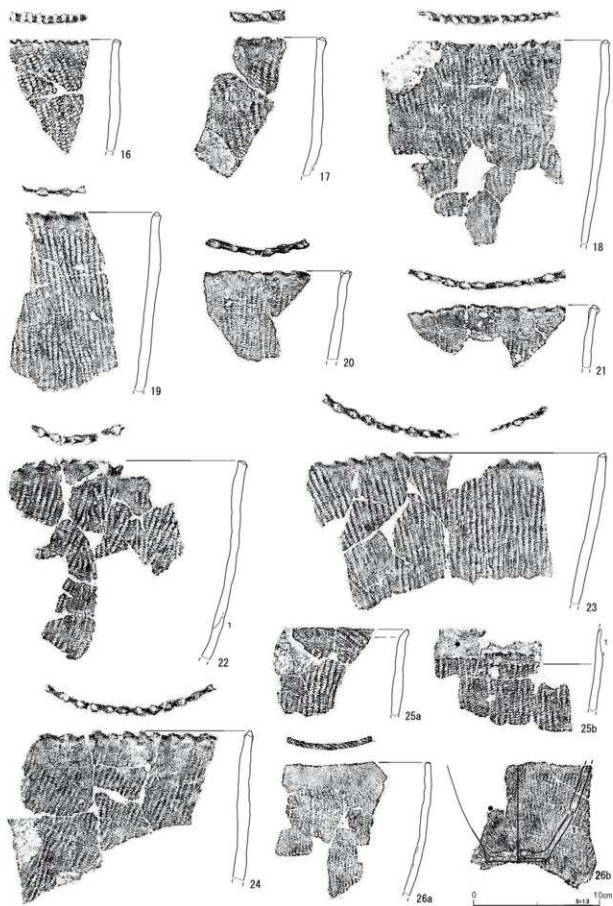
図V-2-18 VI・VII・IX群復元土器



図V-2-19 VI群拓本土器(1)

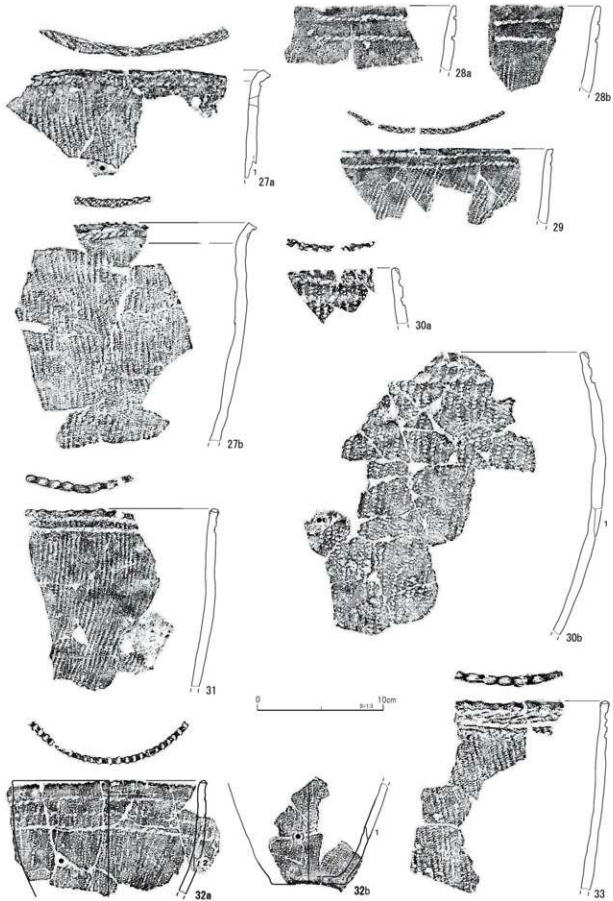


図V-2-20 VI群拓本土器(2)

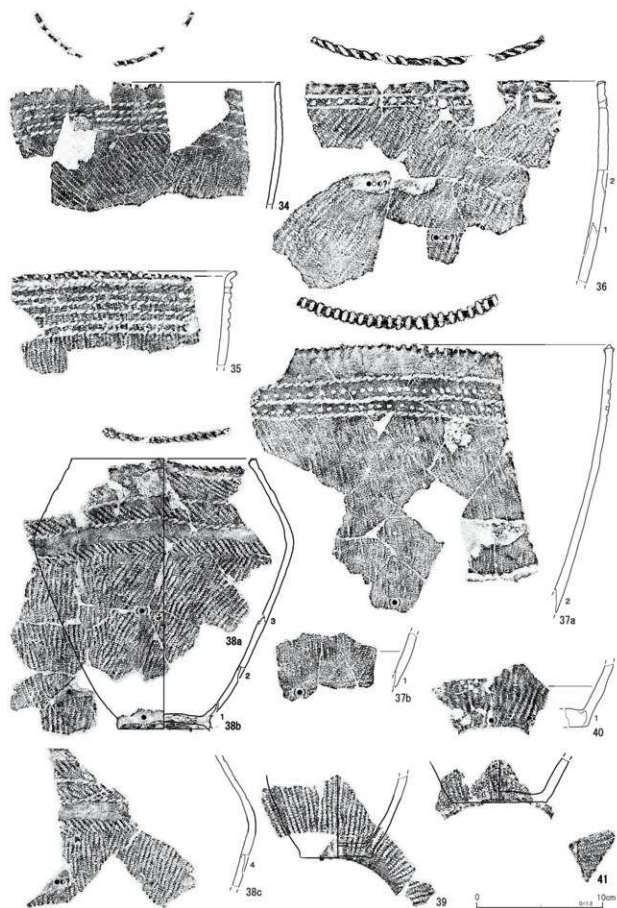


図V-2-21 VI群拓本土器(3)

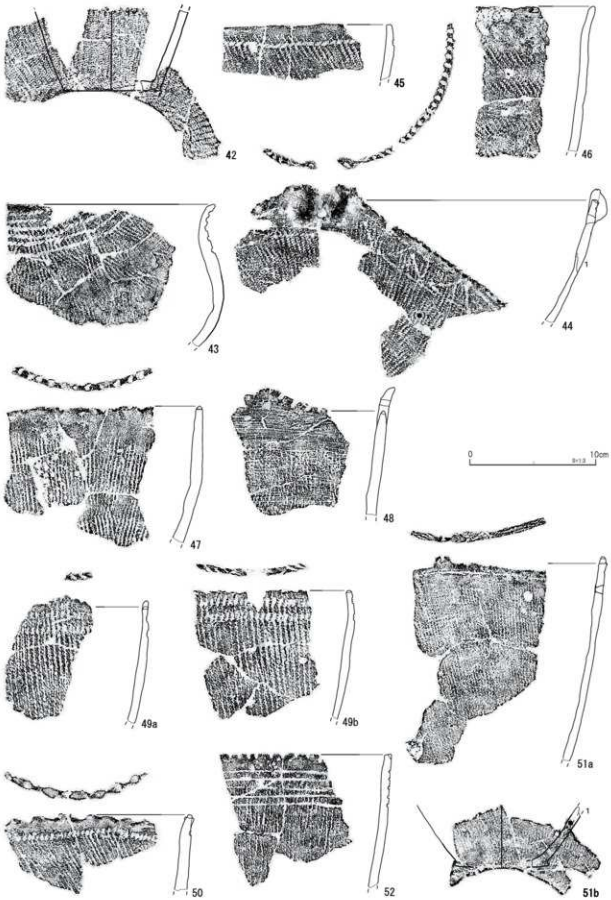




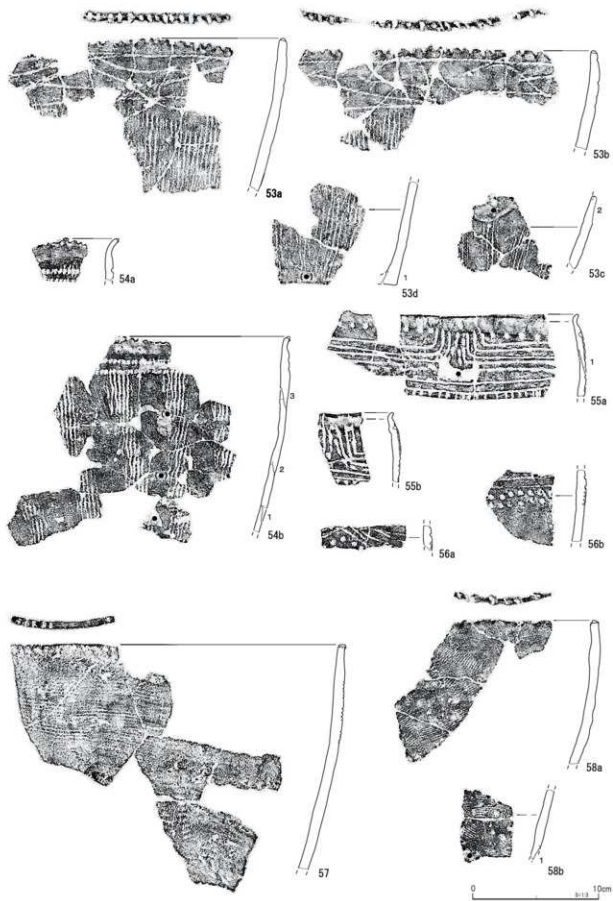
図V-2-22 VI群拓本土器(4)



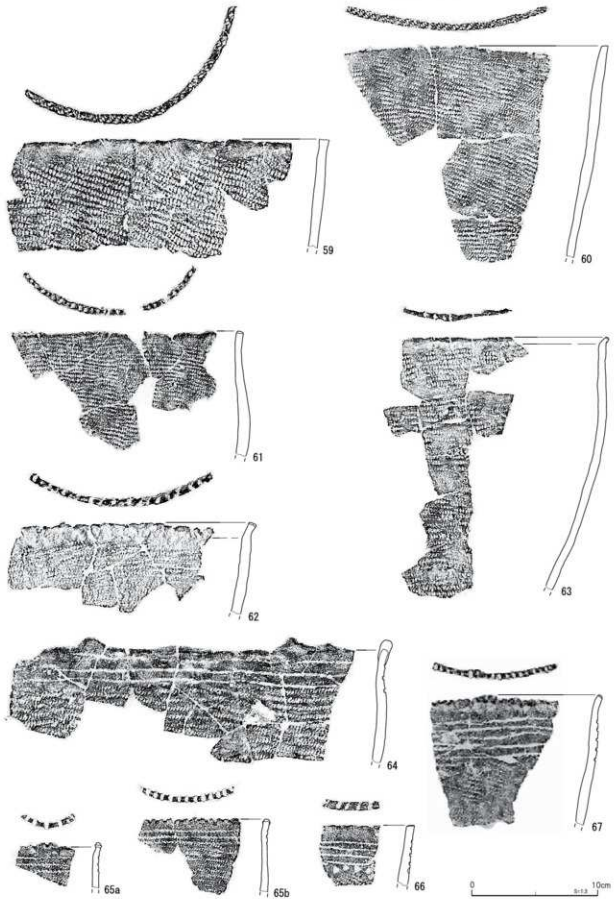
図V-2-23 VI群拓本土器(5)



図V-2-24 VI群拓本土器(6)



図V-2-25 VI群拓本土器(7)



図V-2-26 VI群拓本土器(8)

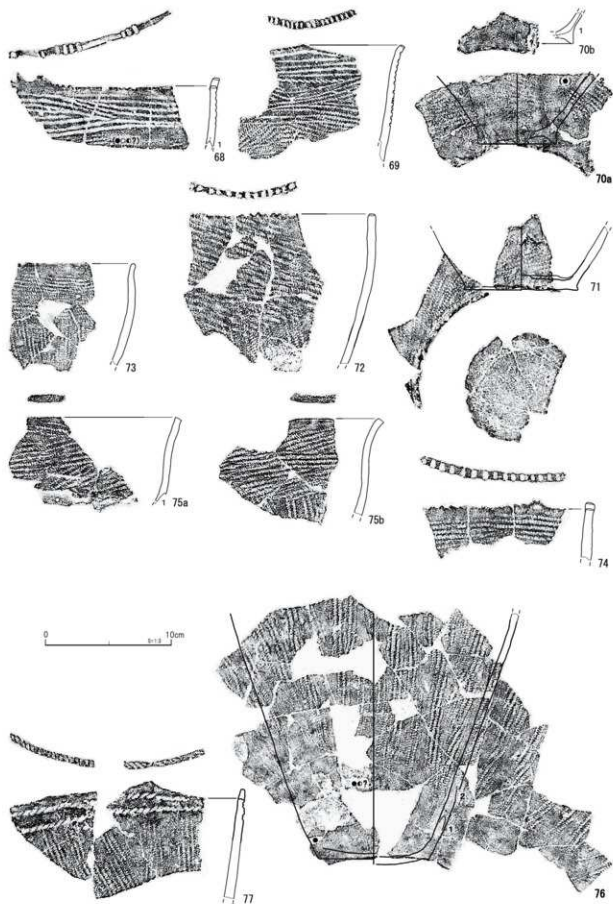
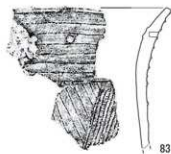
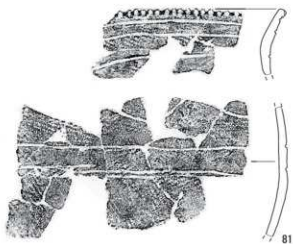
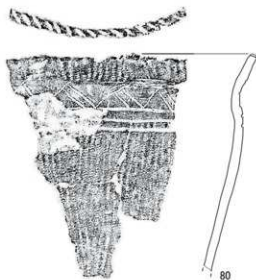


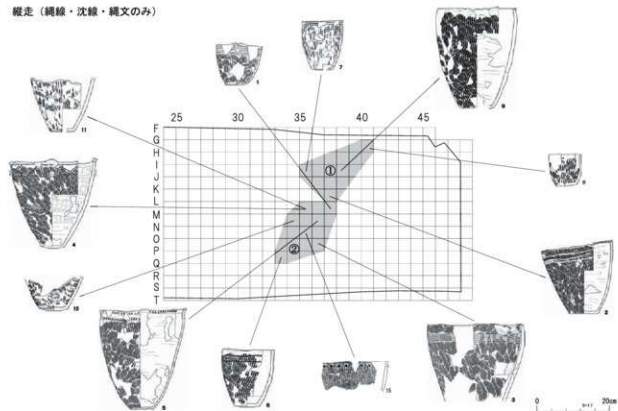
图 V-2-27 VI群拓本土器(9)



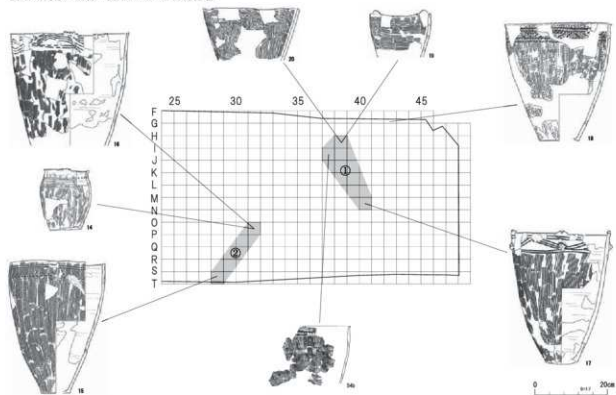
0 10cm  
5/13

図V-2-28 VI群拓本土器(10)

經走(縄線・沈線・縄文のみ)



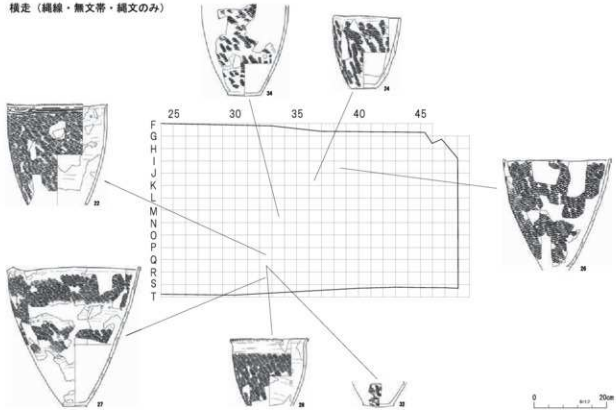
惣糸(縄線・沈線・惣糸のみ)と白縄自巻



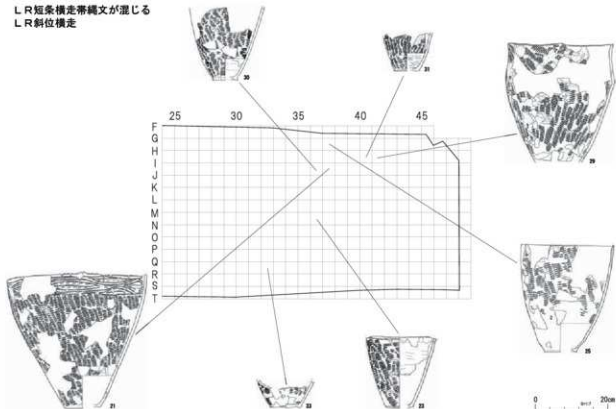
図V-2-29 VI群復元土器出土位置(1)



横走（縦線・無文帯・縄文のみ）

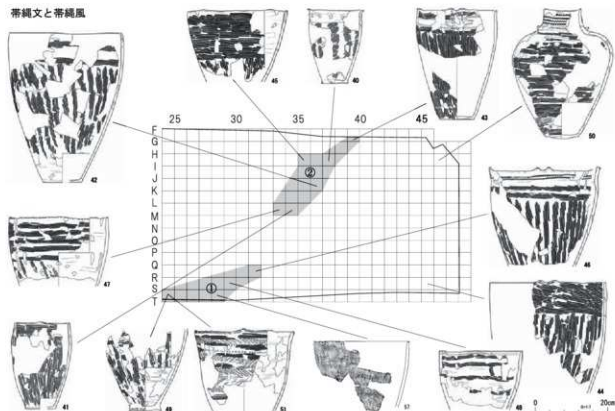


LR短条横走帯縄文が混じる  
LR斜位横走



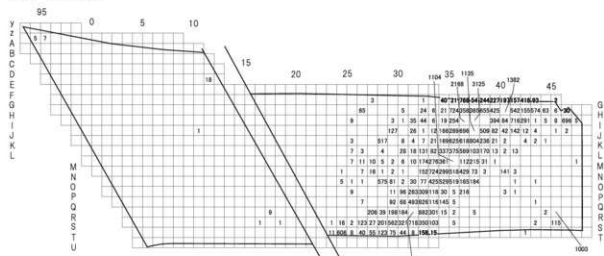
図V-2-30 VI群復元土器出土位置(2)

帯縄文と帯縄風

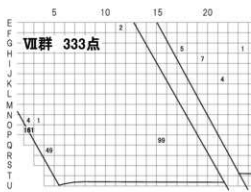


図V-2-31 VI群復元土器出土位置(3)

VI群 41,345点



Ⅶ群 333点



図V-2-32 VI・Ⅶ・Ⅷ群分布



表V-2-4 復元土器観察(3)

掲載番号	復元番号	胎土		覆口縁										歪み					
		用途	土器片	混和材		上下方向の接合面					接合面の加工					断面観			
				その他	外	内	両	中	不明	管	棒	指押	爪	縄	糸	口縁加工	口縁・底縁	器底	
<b>深鉢・鉢</b>															※ 赤褐色化範囲の数は底部下端から高さ方向の距離(mm) * 胎色帯の位置は底部下端から胎色帯下端までの高さ方向の距離(mm)				
復V-2-4-1	13	蓋			3					1+2				1+2			◎	○	×
復V-2-4-2	8	蓋															◎	○	×
復V-2-4-3	29	中や皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂						1+5類か							○	—	×
復V-2-4-4	11	中や皿	中粒	中粒軽石・砂													○	○	×
復V-2-4-5	12	中や皿	少量	中粒軽石・砂	3								1				○	○	割部
復V-2-5-6	19	中や皿	中粒	中粒軽石・砂	3								1				○	○	×
復V-2-5-7	3	蓋						1+2									◎	○	×
復V-2-5-8	90	中や皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂													○	—	—
復V-2-5-9	27	蓋															×	○	口縁
復V-2-5-10	91	中や皿	中粒	中粒軽石・砂						1+5類か							○	—	—
復V-2-5-11	80	皿	少量	中粒～粗粒軽石・砂													○	○	×
復V-2-5-12	70	中や皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂	3												○	○	×
復V-2-6-14	15	中や皿	粗粒	粗粒軽石	1												○	○	×
復V-2-6-15	20	中や皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂	1～3								1+3				○	○	割部
復V-2-7-16	16	中や皿	中粒	中粒軽石・砂,赤色粒	2					1+3,3は外類か							×	—	口縁・割部
復V-2-7-17	1	中や皿	少量	中粒～粗粒軽石・繊維状	1+2												○	×	×
復V-2-8-18	47	中や皿	粗粒	粗粒砂			1+3+4	2+5						1			×	×	×
復V-2-8-19	81	蓋			1+3		2										○	—	×
復V-2-9-20	25	皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂													○	—	口縁
復V-2-9-21	22	中や皿	中粒	中粒軽石・砂	1+2												◎	○	口縁
復V-2-10-22	17	中や皿	中粒	中粒軽石・砂													×	—	×
復V-2-10-23	14	皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂													○	—	口縁
復V-2-10-24	9	中や皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂	1+3								1+3				◎	○	×
復V-2-10-25	23	中や皿	中粒	中粒軽石・砂						1+2							◎	○	×
復V-2-11-26	80	中や皿	少量	中粒軽石・砂	1+2				3								○	—	×
復V-2-11-27	46	中や皿	中粒	中粒砂			1+7										◎	○	×
復V-2-12-28	32	蓋															×	—	×
復V-2-12-29	4	中や皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂	1												○	—	×
復V-2-12-30	88	皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂													○	—	—
復V-2-12-31	87	中や皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂													○	—	—
復V-2-12-32	89	中や皿	中粒	中粒軽石・砂													×	—	—
復V-2-12-33	92	中や皿	中粒	中粒軽石・砂						1+5類か							—	—	—
復V-2-13-34	82	中や皿	中粒	中粒軽石・砂	1+2								1				—	—	×
復V-2-13-35	2	中や皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂													◎	○	×
復V-2-13-36	55	中や皿	中粒	中粒軽石・砂	2					1+3,3は内類か							○	—	×
復V-2-13-37	18	中や皿	中粒	中粒軽石・砂													×	○	×
復V-2-13-39	83	中や皿	中粒	中粒軽石・砂													◎	○	×
復V-2-14-40	48	皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂						1+5類か							○	○	×
復V-2-14-41	30	皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂	1					2+5類か							○	○	×
復V-2-14-42	28	中や皿	中粒	中粒軽石・砂						1+2,3は外類か							○	×	×
復V-2-15-43	95	中や皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂													×	×	×
復V-2-15-44	21	皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂	1+3					2+5類か			1+3				×	—	口縁
復V-2-15-45	24	中や皿	中粒	中粒軽石・砂						1+2+5類か							○	—	×
復V-2-16-46	31	皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂	1+3					2+5類か							○	—	×
復V-2-16-47	10	中や皿	中粒	中粒軽石・砂													×	—	口縁
復V-2-16-48	45	皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂						1+2+5類か							×	—	口縁
復V-2-17-49	84	中や皿	中粒	中粒軽石・砂													○	—	—
復V-2-17-51	79	中や皿	中粒	中粒軽石・砂													×	—	×
<b>浅鉢</b>															※ 赤褐色化範囲の数は底部下端から高さ方向の距離(mm) * 胎色帯の位置は底部下端から胎色帯下端までの高さ方向の距離(mm)				
復V-2-6-13	94	中や皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂					1								—	—	×
<b>浅皿</b>															※ 赤褐色化範囲の数は底部下端から高さ方向の距離(mm) * 胎色帯の位置は底部下端から胎色帯下端までの高さ方向の距離(mm)				
復V-2-13-38	75	中や皿	中粒	中粒軽石・砂					1								◎	—	×
復V-2-17-50	5	皿	少量	粗粒軽石・砂	1～4		5	1					1+5				○	○	×
復V-2-18-52	7	皿	中粒	中粒～粗粒軽石・砂			1			2+5類か							×	—	×
<b>皿・浅鉢</b>																			
復V-2-18-53	85	蓋	細粒	細粒軽石・砂			1										◎	×	×

上面積	外面焼熱				灰化物の付着			補修孔		備考
	黄色		底面焼色部		口縁～底面		内底面	部位	個数	
表	裏	表	裏	位	厚	外				内
面	面	面	面	置	積	面	面			
—						口縁一部	口縁一部			
○							製部～底面一部			
×				—	—	口縁一部	口縁・製部一部	—		
○							製一部			
×		製部まで全面：100				口縁一部	口縁・製部			
×		口縁までほぼ全面				口縁一部				
—						口縁一部	口縁・製部一部	—	口縁	1孔、1×所
—							製部～底面一部			
○							底面一部			
—						製部・底面一部	口縁・製部			
—		製部まで全面：80					口縁・製部	—	口縁	1孔、1×所
○							口縁・製部			
—		製部まで全面：207	0	28		口縁一部	口縁一部			
○		製部まで全面：？	—	—		口縁・製部一部	製一部			
—		製部まで全面：94				口縁一部	口縁・底面一部			
—		製部まで全面：74	0	22		製部一部	口縁・製部	—	口縁	3孔(2孔1対、2×所)
○							口縁一部			
×		製部・底面の全面	0	25			底面一部		口縁	2孔(2孔1対、1×所)
—		製部まで一部：？	—	—		口縁一部	製部一部	—	口縁・製部	4孔(2孔1対、2×所)
—						口縁一部	口縁・製部			
○							口縁一部			二次焼熱破片が殆ど
—		製部まで全面：161	0	34		口縁・製部一部	口縁・製部一部			
—		底面まで全面：？	—	—		口縁一部	口縁・製部一部			
×										
×							製一部			
—		製部まで全面：？	—	—		口縁一部	製部一部・底面			
—							製部～底面一部			
—										
—										
—										
—										
—										
—		底面まで全面：？				製一部	製一部			
×						口縁一部	口縁～底面			
×		口縁まで一部								
×										
—		底面まで全面：42				口縁一部	口縁～底面	—		
×						口縁一部	口縁～底面			
×						口縁一部	口縁・製部一部	—		器壁内部と器表同色
×			0	25		口縁一部	口縁～底面一部	—		器壁内部と器表同色
—		製部まで全面：？	—	—		口縁・製部	口縁・製部			
×		製部まで全面：？	—	—		口縁	口縁・製部			
×		製部まで一部：？	—	—		口縁一部	製一部			
×			—	—		口縁一部	製一部			器壁内部と器表同色
×			—	—						
×		製部まで全面：？	—	—		口縁・製部一部	口縁・製部			
×							底面一部			
—										
—						体部一部・底面				
○										
×										
×				—	—	口縁	口縁・製部	—	製部	7孔(2孔3対、4×所)
										補修孔対10°傾斜方向
×						製部上平一部	口縁一部		製部	4孔(2孔2対、2×所)











表V-2-7 拓本土器観察(2)

編年 層	拓本 番号	胎土		裂口縁							縁部加工		縁部孔		備考
		表面	断面	上下方向の接合部					接合部の 形状	縁部加工		部位	個数		
				内縁	外縁	中央	式 形態	式 形態		削 削	爪 爪			溝 溝	
<b>深鉢・鉢</b>															
ⅡV-2-19-1	40ab	粗	中粒～粗粒砂石・砂												
ⅡV-2-19-2	100	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-19-3	15	粗	粗粒砂石・砂・礫												胎土粒・破片
ⅡV-2-19-4	25	粗	粗粒砂												
ⅡV-2-19-5	60ab	粗	粗粒～粗粒砂石・砂												
ⅡV-2-19-6	91	粗	粗粒～粗粒砂石・砂												
ⅡV-2-20-7	124	粗	粗粒～粗粒砂石・砂	1							1				胎土粒・破片
ⅡV-2-20-8	126a	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-20-9	42	粗	粗粒砂石・砂・礫												
ⅡV-2-20-10	120	粗	粗粒砂石・砂・礫	2+3											1片・両の可塑性
ⅡV-2-20-11	181	中～粗	中粒砂石												1片・両の可塑性
ⅡV-2-20-12	127ab	粗	粗粒～粗粒砂石・砂	1							1				
ⅡV-2-20-13	20	粗	粗粒～粗粒砂石・砂												
ⅡV-2-20-14	35	粗	粗粒～粗粒砂石・砂												
ⅡV-2-20-15	105	粗	粗粒～粗粒砂石・砂												
ⅡV-2-21-16	85	粗	粗粒～粗粒砂石・砂												
ⅡV-2-21-17	74	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-21-18	86	粗	中粒砂石・砂・礫												
ⅡV-2-21-19	77	粗	中粒～粗粒砂石・砂												
ⅡV-2-21-20	31	粗	中粒砂石・砂・礫												
ⅡV-2-21-21	33	粗	中粒砂石												
ⅡV-2-21-22	130	粗	少量 中粒砂石・砂	1							1				
ⅡV-2-21-23	129	粗	中粒砂石・砂・礫												
ⅡV-2-21-24	62	粗	粗粒～粗粒砂石・砂・礫												
ⅡV-2-21-25	125ab	粗	中粒砂石・砂・礫	1							1				
ⅡV-2-21-26	130ab	粗	中粒～粗粒砂石・砂	1											
ⅡV-2-22-27	101ab	中～粗	中粒砂石	1							1	1個	1片,1+0	1個並み直線1,1+0	
ⅡV-2-22-28	166b	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-22-29	30	粗	中粒～粗粒砂石												
ⅡV-2-22-30	30ab	粗	中粒～粗粒砂石												1片・両の可塑性
ⅡV-2-22-31	87	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-22-32	135ab	中～粗	中粒砂石	1+2							1+2				
ⅡV-2-22-33	21	粗	粗粒～粗粒砂石・砂・礫												
ⅡV-2-23-34	53	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-23-35	89	中～粗	中粒砂石												1個並み 1片,1+0
ⅡV-2-23-36	137	粗	中粒砂石・砂												1個並み 1片,1+0
ⅡV-2-23-37	131a	粗	粗粒～粗粒砂石	1+2							1				
ⅡV-2-23-38	138a+b	粗	中粒砂石・砂・礫	1+2+3							1+3				4片・両の可塑性
ⅡV-2-23-39	68	粗	粗粒砂石・砂・礫												
ⅡV-2-23-40	63	中～粗	中粒砂石	1											
ⅡV-2-23-41	141	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-24-42	119	粗	粗粒～粗粒砂石												
ⅡV-2-24-43	54	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-24-46	114	粗	粗粒砂石・砂・礫												
ⅡV-2-24-47	98	粗	粗粒砂石												
ⅡV-2-24-48	25	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-24-49	29ab	粗	中粒～粗粒砂石・砂・礫												製造者共通1,1+0
ⅡV-2-24-50	24	粗	粗粒～粗粒砂石・砂												
ⅡV-2-24-51	106ab	粗	中粒～粗粒砂石	1							1				1個並み 1片,1+0
ⅡV-2-24-52	121	粗	粗粒～粗粒砂石												
ⅡV-2-25-53	127a+2	粗	中粒～粗粒砂石・砂	1											
ⅡV-2-25-54	108ab	粗	粗粒砂石・砂・礫	1+3											
ⅡV-2-25-55	49ab	中～粗	中粒砂石	1											
ⅡV-2-25-56	25a	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-25-57	116	粗	中粒～粗粒砂石												
ⅡV-2-25-58	125ab	粗	中粒～粗粒砂石・砂	1							1				
ⅡV-2-26-59	95	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-26-60	141	粗	粗粒～粗粒砂石												
ⅡV-2-26-61	106	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-26-62	103	粗	粗粒砂石												
ⅡV-2-26-63	41	粗	粗粒～粗粒砂石・砂												
ⅡV-2-26-64	28	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-26-65	52ab	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-26-66	18	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-26-67	111	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-27-68	35	中～粗	中粒砂石												1片・両の可塑性
ⅡV-2-27-69	4	粗	粗粒～粗粒砂石												
ⅡV-2-27-70	12ab	中～粗	中粒砂石・砂	2							1				胎土粒・破片
ⅡV-2-27-71	118	粗	中粒～粗粒砂石												
ⅡV-2-27-72	140	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-27-73	43	粗	粗粒砂石												
ⅡV-2-27-74	30	粗	中粒～粗粒砂石												
ⅡV-2-27-75	106ab	粗	中粒砂石								1				胎土粒・破片
ⅡV-2-27-76	126b	粗	中粒～粗粒砂石・砂	1											2片・両の可塑性
ⅡV-2-27-77	31	粗	粗粒砂石・砂・礫												
ⅡV-2-28-78	117	粗	中粒砂石・砂・礫												胎土粒・破片
ⅡV-2-28-79	79	粗	中粒～粗粒砂石・砂・礫												
ⅡV-2-28-80	107	中～粗	中粒砂石												
ⅡV-2-29-81	25ab	中～粗	粗粒～粗粒砂石												胎土粒・破片
ⅡV-2-29-82	108ab	粗	粗粒砂石												
ⅡV-2-29-83	121	粗	粗粒砂石・砂・礫												
<b>浅鉢</b>															
ⅡV-2-24-84	120	中～粗	中粒砂石	1											
<b>甗</b>															
ⅡV-2-24-85	112	粗	粗粒砂石・砂・礫												

表V-2-8 VI群復元掲載土器一覧

掲載番号	調査区・遺物番号×枚数	層位	部位	分類	図版番号	備考
図V-2-4-1	L37・1×7, M35・1×8, M36・1×3 計18	Ⅲ	口縁～底部	VI	図版135	
図V-2-4-2	K37・2×50, K37・3×1, K38・2×28 計79	Ⅲ	口縁～底部	VI		
図V-2-4-3	L37・1×11, M34・3×4, M36・1×5, M37・2×20, M35・1×8, O36・1×18 計66	Ⅲ	口縁～胴部	VI		
図V-2-4-4	L35・1×3, L35・2×38, L35・3×2 計63	Ⅲ	口縁～底部	VI		
図V-2-4-5	L39・1×27, L34・2×2, M27・2×2, M33・3×15, M35・1×1, M36・1×6 計44	Ⅲ	口縁～底部	VI		
図V-2-5-6	O39・2×11, P33・2×10, P33・3×6 計27	Ⅲ	口縁～底部	VI		
図V-2-5-7	I35・1×1, I35・3×1, I35・6×1, I35・6×4, I35・7×1, J35・2×1, J35・3×1, J36・1×3, J36・5×3, J36・6×2, J37・1×7 計25	Ⅲ	口縁～底部	VI	図版136	
図V-2-5-8	G40・1×12 計12	Ⅲ	胴下～底部	VI		
図V-2-5-9	I28・2×1, I38・3×36, J28・2×16, J38・2×18 計71	Ⅲ	口縁～胴下部	VI		
図V-2-5-10	M34・1×2, M34・2×6 計8	Ⅲ	胴上～底部	VI		
図V-2-5-11	L35・2×18, M35・1×13 計32	Ⅲ	胴中～底部	VI		
図V-2-5-12	H31・1×1, H32・1×2, I31・1×2, I31・2×1, I33・1×2, L35・1×4, L35・2×18 計30	Ⅲ	口縁～底部	VI	図版137	
図V-2-6-13	F41・1×6, G41・1×1 計7	Ⅲ	口縁～底部	VI		
図V-2-6-14	O30・2×15, O30・3×1, O31・1×8, O31・2×10, O32・1×1, P30・2×1 計36	Ⅲ	口縁～底部	VI		
図V-2-6-15	G37・1×1, G43・2×1, G44・1×2, R28・1×2, R28・2×61, R28・3×7, R28・4×1, S28・2×28, S28・4×1 計104	Ⅲ	口縁～底部	VI		
図V-2-7-16	O30・2×4, O31・1×4, O31・2×18, O31・3×78, P30・2×14, P31・2×13, P31・3×1, Q31・3×3 計135	Ⅲ	口縁～胴部	VI		
	P31・4×1	黒例本				
図V-2-7-17	P39・1×2, G38・1×3, G39・1×4, G40・1×4, H32・1×1, H35・4×2, H36・1×1, H36・3×3, H36・7×1, H38・1×1, H38・2×2, H40・1×1, H41・1×1, I35・1×2, I38・2×6, I37・1×1, I33・1×4, J34・2×6, K39・2×2, M40・1×23, M40・2×14 計84	Ⅲ	口縁～底部	VI	図版138	
図V-2-8-18	F41・1×4, F42・1×2, F42・2×1, F42・3×36, G41・1×3, G42・1×10 計56	Ⅲ	口縁～底部	VI		
図V-2-8-19	P39・2×1, G35・1×2, G38・1×1, H37・2×2, H38・1×4, H38・2×7, H38・6×1, K41・2×1 計19	Ⅲ	口縁～胴上部	VI		
図V-2-9-20	G38・1×12, H38・1×5, H38・2×1, H38・3×11, H39・2×5, I37・1×1 計35	Ⅲ	口縁～胴上部	VI		
図V-2-9-21	F37・1×4, F38・2×2, G38・1×20, H36・1×1, H36・7×2, H37・2×1, H37・5×1, H37・6×1, H38・1×1, H38・2×1, H38・3×5, H39・2×3, I36・2×2, I37・1×92, I38・3×1, I40・1×9, I47・1×1, J37・2×8 計155	Ⅲ	口縁～底部	VI	図版139	
図V-2-10-22	P32・3×55, Q32・1×1, Q32・2×7, Q33・1×1, Q33・2×8, R33・1×29 計101	Ⅲ	口縁～胴上部	VI		
図V-2-10-23	M35・1×3, M36・1×25 計28	Ⅲ	口縁～底部	VI		
図V-2-10-24	I36・2×3, I37・1×2, J35・3×3, J36・5×1, J36・6×16, J37・2×15, K36・4×1, J36・2×1, J37・1×2 計44	Ⅲ	口縁～底部	VI		
図V-2-10-25	F38・2×1, G35・1×9, G37・1×93, G38・1×1 計104	Ⅲ	口縁～底部	VI	図版140	
図V-2-11-26	I38・1×1, I38・3×32, J38・2×3, K37・2×2, L37・1×1, L38・1×1, M32・1×1, M34・3×7, M35・1×4 計52	Ⅲ	口縁～底部	VI		
図V-2-11-27	P32・12×1, Q31・1×1, Q32・2×20, Q33・5×2, R31・1×2, R32・1×13, R32・2×76, R33・1×4, S32・1×3, S32・2×54, S33・1×5, S33・3×1, 穂土・1×1 計183	Ⅲ	口縁～底部	VI		
図V-2-12-28	P32・1×2, P32・2×5, P32・3×3, P33・2×1, Q32・2×34, Q32・3×1, Q33・2×3, Q33・4×8 計57	Ⅲ	口縁～胴中部	VI	図版141	
図V-2-12-29	F40・1×1, G40・1×1, G41・1×27, H40・1×1, H41・1×3, H41・2×1, H41・5×50 計124	Ⅲ	口縁～胴下半部	VI		
図V-2-12-30	I36・2×2 計2	Ⅲ	胴下～底部	VI		
図V-2-12-31	H39・2×2, H40・1×28 計30	Ⅲ	胴下～底部	VI		
図V-2-12-32	P31・1×1, P32・1×1, Q31・2×1, Q32・2×5 計8	Ⅲ	底部	VI		
図V-2-12-33	P32・2×2, Q32・2×13 計15	Ⅲ	胴下～底部	VI	図版142	
図V-2-13-34	M32・1×2, M32・2×2, M33・3×14, M33・4×25 計43	Ⅲ	胴下～底部	VI		

表V-2-8 VI群復元掲載土器一覽

掲載番号	調査区・遺物番号×点数	層位	部位	分類	図版番号	備考
ⅨV-2-13-35	G40-1×2	Ⅲ	口縁～底部	VI	図版142	
ⅨV-2-13-36	G38-1×24	Ⅲ	口縁～底部	VI		
ⅨV-2-13-37	S32-1×9	Ⅲ	口縁～底部	VI		
ⅨV-2-13-38	H35-1×8	Ⅲ	口縁～肩部	VI		
ⅨV-2-13-39	F40-1×8, G39-1×1, G40-1×14, G40-1×9	計25 Ⅲ	口縁～底部	VI	図版143	
ⅨV-2-14-40	H37-1×1, H37-2×25, H37-4×2, H37-5×4, H37-6×2, I37-1×1	計35 Ⅲ	口縁～底部	VI		
ⅨV-2-14-41	I34-1×16, I34-2×77	計93 Ⅲ	口縁～底部	VI		
ⅨV-2-14-42	J36-1×1, J36-3×3, J36-4×186, J37-2×1, J38-4×1, K36-4×56, K37-2×1	計249 Ⅲ	口縁～底部	VI	図版144	
ⅨV-2-15-43	F37-1×8, F38-2×6, F41-1×21	計35 Ⅲ	口縁～底部	VI		
ⅨV-2-15-44	R45-1×16, R45-2×58, R45-3×1	計75 Ⅲ	口縁～胴部	VI		
ⅨV-2-15-45	H34-1×3, H34-2×19, I36-2×15	計102 Ⅲ	口縁～胴部	VI		
ⅨV-2-16-46	K30-3×2, K32-1×31, K32-2×12, L32-1×3, L32-2×20, L32-3×8, Q30-1×4, Q31-1×30, Q31-2×1, R30-1×6, R30-3×5, R31-1×1, R31-4×22	計145 Ⅲ	口縁～胴部	VI	図版145	
ⅨV-2-16-47	L33-1×85	Ⅲ	口縁～胴部	VI		
ⅨV-2-16-48	M34-2×1, Q30-1×4, Q31-1×5, R29-3×2, R29-4×18	計50 Ⅲ	口縁～胴部	VI		
ⅨV-2-17-49	S24-2×100	Ⅲ	胴～底部	VI		
ⅨV-2-17-50	H45-1×3, H46-2×113	計116 Ⅲ	口縁～底部	VI		
ⅨV-2-17-51	S24-1×6, S24-2×118, S25-1×2	計126 Ⅲ	口縁～胴上部	VI		
ⅨV-2-18-52	J34-2×9, K34-1×104, K34-2×6, L38-1×4	計123 Ⅲ	口縁～胴部	VI		
ⅨV-2-18-53	N2-1×3, N3-1×1, O2-1×116, O2-3×1, Q4-1×42	計163 Ⅲ	口縁～底部	Ⅷ	図版146	
ⅨV-2-18-54	O2-1×3, P3-1×6	計9 Ⅲ	覆土			
ⅨV-2-18-54	F31-2×2, G30-2×1, H30-1×1, Q30-2×3, Q30-4×8	計14 Ⅲ	口縁～胴部	Ⅸ		
		計57 Ⅲ				

表V-2-9 VI群掲載拓本土器一覽

掲載番号	調査区・遺物番号×点数	層位	部位	分類	図版番号	備考
ⅨV-2-19-1	a H37-5×9, H37-6×6	計15 Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-19-2	b H37-5×7	Ⅲ	口縁～胴上部			同一個体
ⅨV-2-19-3	M35-1×10	Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-19-3	K35-1×10, K35-2×2	計12 Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-19-4	F42-3×1, G41-1×3	計4 Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-19-5	a L37-1×6	Ⅲ	口縁部			同一個体
ⅨV-2-19-5	b L37-1×4	Ⅲ	口縁部			
ⅨV-2-19-6	G40-3×8	Ⅲ	口縁～胴上部		図版147	
ⅨV-2-20-7	Q30-1×3	Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-20-8	G40-1×8	Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-20-9	H36-7×4	Ⅲ	口縁部			
ⅨV-2-20-10	R29-3×2, R29-5×17	計19 Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-20-11	N34-2×10	Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-20-12	a Q32-1×4, Q32-2×4	計8 Ⅲ	口縁～胴部			同一個体
ⅨV-2-20-12	b Q32-1×1, Q32-2×2	計3 Ⅲ	底部			
ⅨV-2-20-13	L35-2×1, L36-1×7, M35-2×1	計9 Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-20-14	H39-2×3	Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-20-15	N35-1×5	Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-21-16	P31-1×3	Ⅲ	口縁部			
ⅨV-2-21-17	P32-1×2	Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-21-18	F42-1×1, F42-3×12	計13 Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-21-19	R30-3×3	Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-21-20	H38-3×3	Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-21-21	H38-3×5	Ⅲ	口縁部			
ⅨV-2-21-22	K38-3×14	Ⅲ	口縁部			
ⅨV-2-21-23	S30-2×7	Ⅲ	口縁～胴上部		図版148	
ⅨV-2-21-24	I35-3×6	Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-21-24	G36-1×4	Ⅲ	口縁部			
ⅨV-2-21-25	a G35-1×2, G37-1×3	計5 Ⅲ	胴部			同一個体
ⅨV-2-21-26	a G29-1×12	Ⅲ	口縁～胴部			同一個体
ⅨV-2-21-26	b G28-2×4, G29-1×2	計6 Ⅲ	胴部～底部			同一個体
ⅨV-2-22-27	a N35-1×4	Ⅲ	口縁～胴上部			同一個体
ⅨV-2-22-27	b M36-1×8	Ⅲ	口縁～胴上部			同一個体
ⅨV-2-22-28	a I37-1×2	Ⅲ	口縁部			同一個体
ⅨV-2-22-28	b I37-2×1	Ⅲ	口縁部			同一個体
ⅨV-2-22-29	M35-1×7	Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-22-30	a G43-4×4	Ⅲ	口縁～胴上部		図版149	同一個体
ⅨV-2-22-30	b G43-4×27	Ⅲ	口縁～胴上部			
ⅨV-2-22-31	L33-1×8, M34-2×1	計9 Ⅲ	口縁～胴中部			

掲載番号	調査区・遺物番号×点数	層位	部位	図版番号	備考	
図V-2-22-32	a P32・1×11	■	口縁部	図版149	同一個体	
	b P32・1×5	■	底部			
図V-2-22-33	H38・1×1, H38・2×1, H38・6×3	#15	■			口縁～胴上部
図V-2-22-34	J35・3×1, J36・3×9, J37・1×2	#12	■			口縁～胴上部
図V-2-23-35	G39・1×5	■	■			口縁～胴上部
図V-2-23-36	L35・1×1, L35・2×4, L36・1×3	#11	■			口縁部
	P32・1×3, R29・6×3, R31・1×1,	#16	■			口縁～胴上部
図V-2-23-37	a R31・4×1		■			■
	b Q31・1×3	■	■			胴下部
図V-2-23-38	a Q32・1×1, Q32・2×17	#18	■			口縁～胴下部
	b Q32・2×4	■	■			底部
	c Q32・2×4	■	■			口縁～胴上部
図V-2-23-39	N34・1×3, N34・2×2	#15	■			底部
図V-2-23-40	L35・2×1, N35・1×1	#12	■			底部
図V-2-23-41	H37・2×2, H37・5×2	#14	■			胴下部～底部
図V-2-24-42	R32・1×7, R32・2×1	#18	■			胴上部～底部
図V-2-24-43	Q32・2×9	■	■			口縁～胴中部
図V-2-24-44	H6・2×1, H7・1×5, H8・3×1	#7	■			口縁部
図V-2-24-45	J37・1×1, K36・4×2	#13	■			口縁部
図V-2-24-46	Q33・2×2	■	■			口縁～胴上部
図V-2-24-47	J36・5×1, J37・1×2, J37・2×2, L33・1×1	#16	■			口縁～胴上部
図V-2-24-48	K33・2×5	■	■			口縁～胴上部
図V-2-24-49	a P31・1×1, P31・2×2	#13	■			口縁～胴上部
	b P31・1×2, P31・2×1, P31・3×2	#15	■			口縁～胴上部
図V-2-24-50	G39・1×3	■	■	口縁部		
図V-2-24-51	a Q32・2×4	■	■	口縁～胴上部		
	b Q32・2×6, Q32・3×1	#7	■	底部		
図V-2-24-52	G36・1×2, H36・3×3	#15	■	口縁～胴上部		
図V-2-25-53	a H37・6×9	#12	■	口縁～胴上部		
	b G40・1×10, H37・2×2		■	口縁部		
	c H37・2×3		■	■		
	d H37・2×2		■	胴下～底部		
図V-2-25-54	a M34・1×1	■	■	口縁部		
	b H74・1×16	■	■	口縁～胴上部		
図V-2-25-55	a H37・6×1, H7・1×3, N33・1×2	#16	■	口縁部		
	b N33・1×2	■	■	口縁部		
図V-2-25-	a G40・3×2	■	■	口縁部		
	b G40・3×2	■	■	口縁部		
図V-2-25-57	R28・3×2, S28・3×4	#16	■	口縁～胴上部		
図V-2-25-58	a G39・1×3, H38・1×1, H38・2×1	#15	■	口縁部		
	b H39・2×2	■	■	底部		
図V-2-26-59	J35・3×11, J38・4×1	#12	■	口縁～胴上部		
図V-2-26-60	J37・1×1, J37・2×3	#14	■	口縁～胴上部		
図V-2-26-61	N34・2×8	■	■	口縁～胴中部		
図V-2-26-62	N33・1×3, N34・2×5	#18	■	口縁～胴上部		
図V-2-26-63	H36・1×12	■	■	口縁～胴上部		
図V-2-26-64	H36・6×3, H37・2×2, H37・4×4, H37・5×7	#16	■	口縁部		
	a J34・3×1		■	口縁部		
図V-2-26-65	b H33・1×1, H35・6×1	#12	■	口縁部		
	■	■	口縁部			
図V-2-26-66	F35・1×1	■	■	口縁部		
図V-2-26-67	G29・1×4	■	■	口縁～胴上部		
図V-2-27-68	M33・3×5	■	■	口縁部		
図V-2-27-69	H6・2×3	■	■	口縁部		
図V-2-27-70	a K36・4×4, K36・5×1	#15	■	底部		
	b L36・1×1	■	■	底部		
図V-2-27-71	R31・4×6	■	■	胴下～底部		
図V-2-27-72	S29・3×10	■	■	口縁～胴上部		
図V-2-27-73	H36・1×6	■	■	口縁～胴上部		
図V-2-27-74	H36・3×3	■	■	口縁部		
図V-2-27-75	a G33・2×2, G33・3×2	#14	■	口縁部		
	b G32・2×3	■	■	口縁部		
図V-2-27-76	F39・2×1, G39・1×3, G39・2×1, G40・1×25, G40・3×23	#53	■	胴部～底部		
図V-2-27-77	J37・2×3	■	■	口縁～胴上部		
図V-2-28-78	R31・4×4	■	■	口縁～胴上部		
図V-2-28-79	P31・1×2, P31・2×4	#16	■	口縁～胴上部		
図V-2-28-80	N36・1×2, N36・2×4	#16	■	口縁～胴上部		
図V-2-28-81	G36・1×21	■	■	口縁～胴中部		
図V-2-28-82	O31・1×5	■	■	口縁～胴下部		
図V-2-28-83	Z36・2×2	■	■	口縁～底部		

f-1 表V-2-10の属性記述について(図V-2-23、表V-2-10-11)

この表は孔の状態・計測値に関して記述した。孔№に付されているa-b、c-dは立体復元・破片資料を正置・正対した場合の天地左右であり、対であることを表す。a(向かって左側孔)-b(向かって右側孔)、c(口縁側孔)-d(底部側孔)。

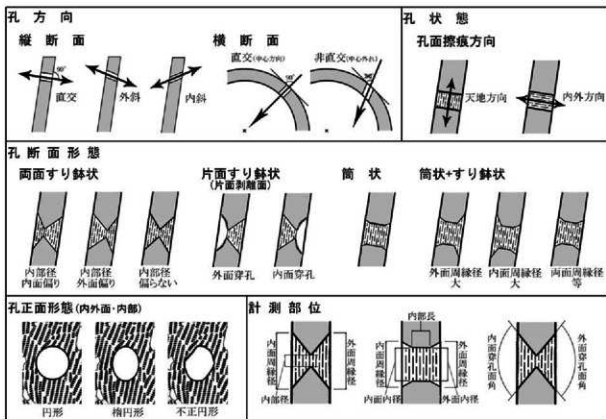
「孔方向」は土器に対する穿孔軸の方向を記し、縦断面については「直交：内面-外面に対して直交気味」「外斜：外面に向かって下る」「内斜：内面に向かって下る」、横断面については「(器表接線に対して)直角=器体中心に向かう」「(器表接線に対して)非直角=器体中心からそれる」。

「孔状態」は穿孔による加工痕を記し、孔口には「穿摩・剥離」がみられ、孔内部には擦痕・条痕「断面見通しにおいて天地方向：器体中心軸に直交する軸を持つ回転」「断面見通しにおいて内外方向：器体中心軸に向かう水平方向」がみられる。

「断面形態」は縦断面に関して、「両すり鉢状：内外面における穿孔面が漏斗状になる」「片すり鉢状：片穿孔面が漏斗状で片面が剥離」「筒状：孔口に漏斗状の穿孔面が殆どない」「すり鉢状+筒状：筒状の孔口部が漏斗状で内部が筒状。「正面形態」は内外面側から見た孔口縁の形であり、目視で「円：円形、楕：楕円形、不：不正円」に分けた。

「計測値」は孔径・内部長・器厚・穿孔面角について計る。「孔径」は内外面・内部において「周縁径：孔口上端(すり鉢状の口)を計測」「内径：筒状・筒状+すり鉢状における孔口下端(すり鉢状の底)を計測」「内部径：両すり鉢状・片すり鉢状における孔口下端(すり鉢状の底)を計測」であり、「↑」：口縁-底部方向の計測値、「↔」：向かって左右側方向の計測値、「平均：↓方向の計測値と↔方向の計測値との平均値」である。「内部長」は「筒状」「すり鉢状+筒状」における、すり鉢状の部分を除いた孔の長さである。

「器厚」は孔口付近の計測値である。「穿孔面角」はすり鉢状の傾斜面がなす角度で、「両すり鉢状」「片すり鉢状」「すり鉢状+筒状」においてで計測可能で、「筒状」は穿孔面が小さく計測不能で、穿孔面が剥離面



図V-2-33 穿孔分類要素

の場合は計測不能である。

#### f-2 VI群 ab類の補修孔について

**孔方向** 縦断面については「外斜」(2例)に比べて「直交」(22例)が92%と極めて多く、横断面については全て「直交」(24例)である。

**孔状態** 外面は「穿削」(24例)が全てで、内面は「穿摩」(9例)・「剥離」(13例)ある。孔内部における孔面擦痕は全て「天地方向」(24例)の条痕である。

**断面形態** 「両すり鉢状」(9例)は全て内部径が著しく内面側に寄る、「片すり鉢状」(13例)は全て外面が「穿削」である、「筒状」は1例ある。

**正面形態** 表面の外面側は円形(15例)・楕円形(6例)で円形が多く、表面の内面側は円形(5例)・楕円形(8例)・不正円形(5例)で、内部は円形(1例)・楕円形(14例)・不正円形(3例)では楕円形多い。

**計測値・孔径** 外面側周縁径の平均値は最大10.7mm・最小4.0mm(これは外れ値でもある)であり、外れ値を除く平均は8.2mmである。内面側周縁径の平均値は最大9.0mm・最小5.2mmであり平均は6.6mmである。

**計測値・内部径** 最大5.9mm・最小3.1mmであり平均は4.3mmである。

**計測値・器厚** 最大9.0mm(これは外れ値でもある)・最小5.0mmであり、外れ値を除く平均は6.5mmである。

**計測値・穿孔角度** 外面側は最大75°(これは外れ値でもある)・最小29°であり、外れ値を除く平均は39°である。内面側は最大47°・最小26°であり平均は36°である。

VI群 a b類の特徴をまとめる。穿孔は器面に対して直交かつ器体中心軸に向かって施される。外面側には「穿削」が内面側には「剥離」も多くみられ、孔内部には器体中心軸に直交する軸を持つ回転条痕がみられる。穿孔の断面形態は内面側が剥離する「片すり鉢状」と内部径が著しく内面側に寄る「両すり鉢状」である。

表V-2-11は石錐の機能部に関する観察である。基部形態・柳葉形は先端角度やや大きく、棒状は小さく、摘み状は変異が大きい、平均は35°であった。VI a類の穿孔角平均値は外面側39°・内面側36°なので、35°は内面側の数値に近い。類例は少ないが石錐をもって土器穿孔が行われていた可能性の一端を示す。

#### f-3 VII群 b類の補修孔について

VII群 b類についてはVI群 a b類との比較においてその特徴をまとめる。穿孔はVI群 a b類と同様に、器面に対して直交かつ器体中心軸に向かって施される。外面側・内面側ともに「穿摩」がみられ、VI群 a b類に多く見られた内面「剥離」はみられない。孔内部には器体中心軸に直交する軸を持つ回転条痕がみられVI群 a b類と同様である。穿孔の断面形態は「すり鉢状+筒状」であり、「外面周縁径大」・「両面周縁径等」がみられる。

VII群 b類は、VI群 a b類に多く見られた内面「剥離」はみられず、穿孔の断面形態は「すり鉢状+筒状」であり、穿孔角平均値もVI群 a b類より小さい。これらより、VII群 b類はVI群 a b類と異なる穿孔具が用いられていたと考えられ、当該期においては定形的石錐は存在しない、穿孔角平均値の違いもそれを支持する。

(鈴木)





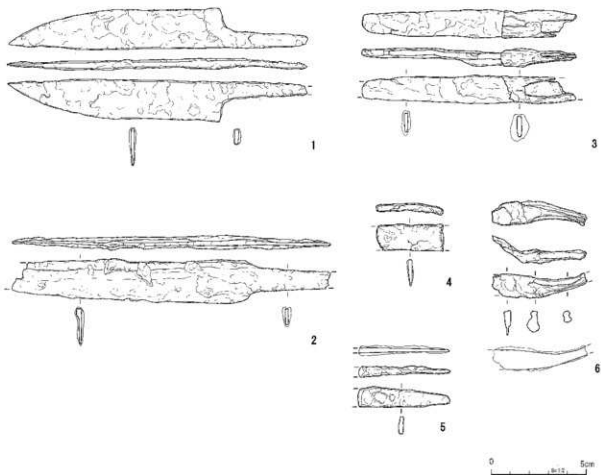
## (2) 金属製品・ガラス製品

記述・分類は鈴木信2012年「V-3-(1)(2)鉄製品・非鉄製品」『松前町 福山下町遺跡』に従う。

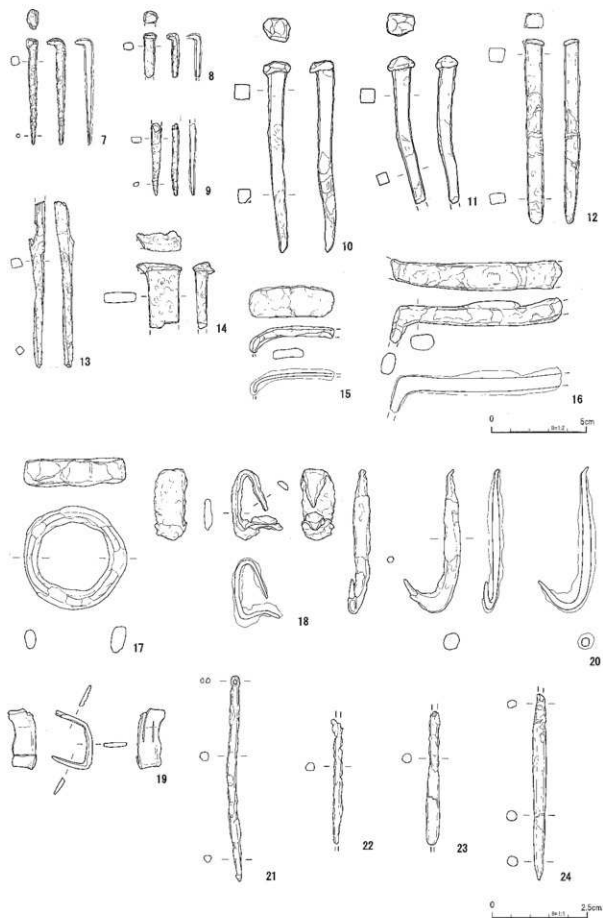
1～6は刀子。1はⅠ類・棟元形b、茎尻が欠失する、反りがない平棟・平造、棟区はなく刃区がある。刃長11.3cm・元幅1.9cm・棟幅0.2cm。2はⅠ類・棟元形a<sup>+</sup>、茎尻・切先が欠失する、反りがない平棟・平造、棟区・刃区があり、棟は敲打によって潰れていることが断面に現れている。刃長11.5cm以上・元幅1.9cm以上・棟幅0.3cm。3はⅢ類にやや似る、棟区・刃区がない。茎尻・切先が欠失し茎には柄木(素木)が遺存している、反りがない平棟・平造。刃長7.7cm以上・元幅1.3cm・棟幅0.4cm。4は茎・刃部のほとんどが欠失する曲がった刃部片、平棟・平造。5は切先と刃部のほとんどが欠失し、茎尻も欠失する、茎片。6は刃部のほとんどが欠失し、茎尻も欠失する、茎片。茎尻側の棟側・刃側が敲打によって潰れており、さらに棟側に曲げられている。転用過程の未成品と考えられる。

7～13は鉄釘。7は折釘・頭部形状c<sup>-</sup>、基部断面と脚部断面はともに四角形、完形。8は平折釘・頭部形状d、基部断面は長方形、脚部欠失。9は分類不明、基部断面・長方形、基部断面・四角形、頭部欠失。10は折釘・頭部形状c<sup>-</sup>、基部断面と脚部断面はともに四角形、完形。11は折釘・頭部形状c<sup>-</sup>、基部断面と脚部断面はともに四角形、脚部先端欠失。12は平釘、基部断面・四角形、基部断面・長方形、完形。13は分類不明、基部断面と脚部断面はともに四角形、基部に対して脚部がねじれている、頭部欠失。

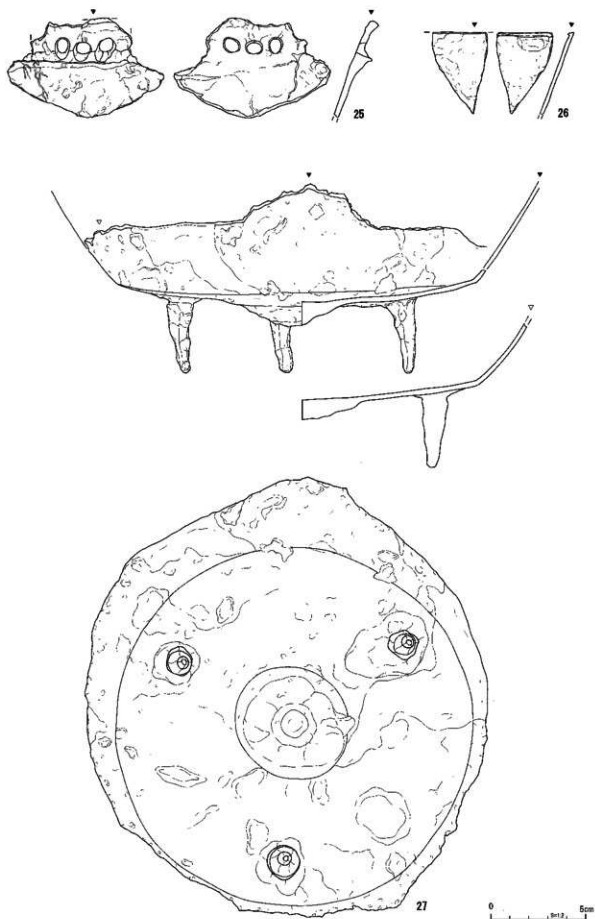
14は楔、基部断面・長方形、脚部のほとんど欠失。15・16は鏝。15は板鏝か、基部と脚部の断面・横長形、基部・脚部の曲がりは「丸」。16は角鏝、基部と脚部の断面・縦長形、基部・脚部の曲がりは「角あり」。17～19は責金。17は工具柄の口金。18は刀子など小型の工具口金か、合わせ部分が捲れている。19も刀子など小



図V-2-34 金属製品(1)



図V-2-35 金属製品(2)



図V-2-36 金属製品(3)

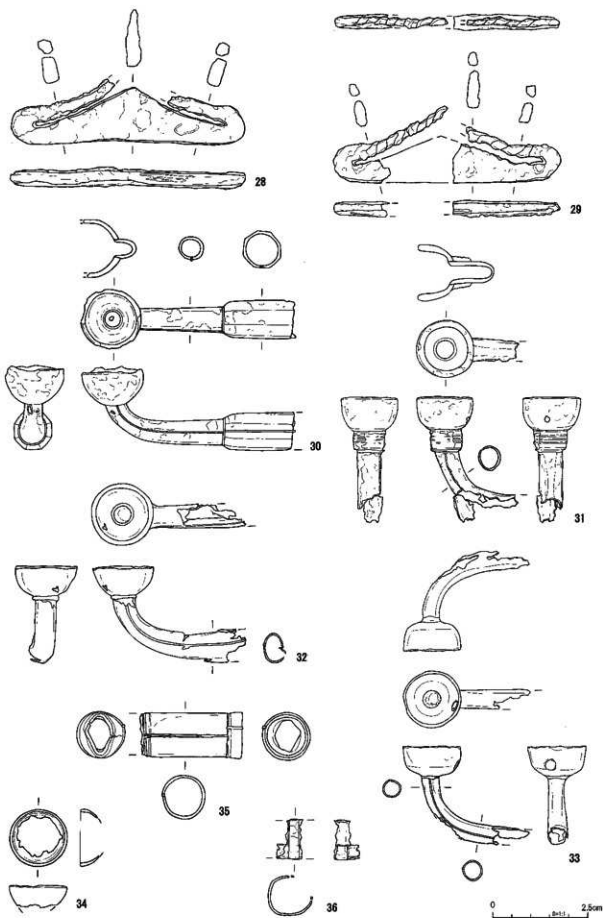


図 V-2-37 金属製品(4)

型の工具口金か、合わせ部分が欠失している。20は釣針、「ちもと」は作出されているが「かえし」が設けられていない。

21～24は針。21は糸通し孔が残っている。22・23は元・先の両方が欠失している。24は他の針に比べてやや太い、元が欠失している。

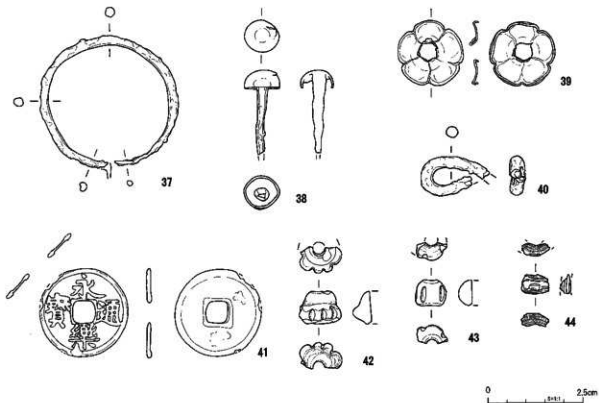
25～27は鉄鍋。25は吊耳部、隅丸方形の正面形状で上縁が肥厚する、吊孔は3か所ある。26は口縁部、口唇断面は内側に肥厚する、段状の受け部が鋳出されていない。27は底部～胴部下半、胴部と底部の境には稜が認められる、外底面には丸湯口残り円錐形の三脚が付く。

28・29は火打金、高島幸男1985年「火打金とは」『火の道具』柏書房によれば、両端の突出部分が腕のように伸びて、それが握られる「わじり鎌」に分類される。両方とも長さ6 cm前後と小型である。28は両腕が握じれない型、使用による損耗により刃部中央が曲刃となる、腕の先端が欠失している。29は両腕が握じれる型、腕の先端が欠失している。

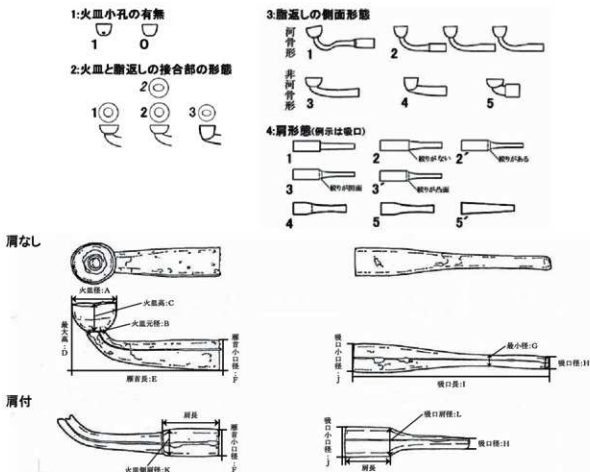
30～36は煙管で、30～33は雁首、35は雁首の肩、一枚板を巻いて挿付け。30は、補強帯はなく、外表断面八角形の肩は凸面絞りがあり、首部と肩は別材、古泉編年Ⅲ段階(17世紀後半)。31は、火皿に小孔、補強帯があり、古泉編年Ⅲ段階(17世紀後半)。32は、補強帯なし、古泉編年Ⅲ段階(17世紀後半)。33は、火皿に小孔、補強帯なし、古泉編年Ⅳ段階(18世紀前半)。34は火皿。35は首部と肩は別材、古泉編年Ⅰ～Ⅲ段階(16世紀末～17世紀後半)。36は吸口の肩で断面が変形している。

37は耳飾、表面は鍍金により剥落。38・39は組み合わさる太鼓鉾と五弁花の座金、鍍銀?。40は銅線様の形態、被熱している。41は永楽通宝、「寶」に若干磨滅がみられる、1408年初鑄。

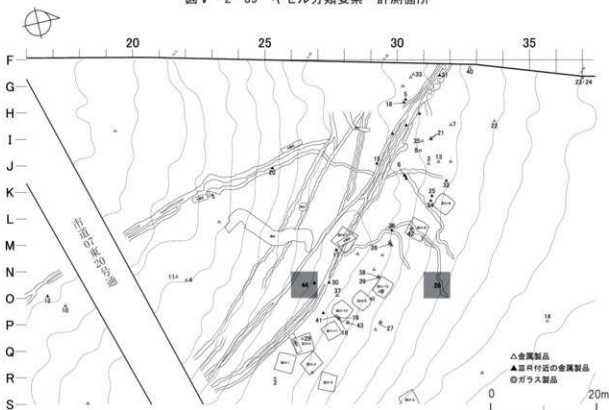
42～44はガラス小玉。42は上半が「丸玉」下半が「蜜柑玉」型の形態、表面僅かに風化、青緑色、巻き付け法による製作。43は「蜜柑玉」型、表面僅かに風化、淡緑色巻き付け法による製作か。44は内外面剥落により形態不明、淡青色、巻き付け法による製作。(鈴木)



図V-2-38 金属製品(5)・ガラス製品(1)



図V-2-39 キセル分類要素・計測箇所



図V-2-40 金属製品等出土位置

表 V-2-12 金属製品掲載一覧

遺物番号	遺物名	分類	調査区又は遺構名	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	材質	図帳番号	備考
1	刀片	刀片	調査区 028	15.90	2.10	0.60	—	鉄製品	153	
2	刀片	R26	(16.90)	2.80	0.70	—	—	鉄製品	153	
3	刀片	R31	(11.40)	1.50	1.00	—	—	鉄製品	153	
4	刀片	N22	(4.90)	1.50	(0.60)	(4.20)	—	鉄製品	153	
5	刀片	G30	(1.10)	(1.10)	(0.60)	(2.80)	—	鉄製品	153	
6	刀片	J30	(5.00)	(1.20)	0.80	—	—	鉄製品	153	
7	刀片	R32	(5.60)	0.80	0.90	—	—	鉄製品	153	
8	刀片	R30	(3.80)	0.60	0.40	—	—	鉄製品	153	
9	刀片	R30	(3.80)	0.60	0.40	—	—	鉄製品	153	
10	釘	017	(10.05)	1.85	1.30	(16.00)	—	鉄製品	153	
11	釘	N21	(9.70)	(1.00)	(0.50)	(9.10)	—	鉄製品	153	
12	釘	N16	(7.75)	(1.55)	(1.20)	(17.90)	—	鉄製品	153	
13	釘片	調査区 R18	(8.70)	(0.80)	0.80	—	—	鉄製品	153	
14	釘片	調査区 S5	(3.50)	(1.40)	1.10	(17.20)	—	鉄製品	153	
15	かすり釘片	調査区 S2	(4.50)	1.70	0.50	—	—	鉄製品	153	
16	かすり釘片	調査区 S2	(5.10)	1.80	0.50	(2.00)	—	鉄製品	153	
17	かすり釘片	調査区 S2	(3.80)	1.30	0.50	—	—	鉄製品	153	
18	釘片	調査区 F-111	1.55	0.70	1.10	1.00	—	鉄製品	153	
19	釘片	調査区 F-111	(1.80)	1.20	0.30	—	—	鉄製品	153	
20	釘片	調査区 J25	3.80	1.50	0.50	1.20	—	鉄製品	153	
21	釘片	調査区 H31	5.40	0.50	0.50	—	—	鉄製品	153	
22	釘片	調査区 F-48	(3.20)	0.20	0.20	—	—	鉄製品	153	
23	釘片	F36	(3.60)	0.40	0.40	—	—	鉄製品	153	
24	釘片	F36	(4.40)	0.40	0.40	—	—	鉄製品	153	
25	釘片	N31	最大径(5.2)	—	—	—	—	鉄製品	154	釘片部
26	釘片	N31	最大径(5.2)	—	—	—	—	鉄製品	154	釘片部
27	釘片	調査区 S29	最大径(20.0)	最大径(10.00)	最大径(8.9)	—	—	鉄製品	154	釘片部
28	水打金	N31	6.20	(1.70)	0.60	—	—	鉄製品	153	「ねじの鎌」型
29	水打金	P26	(6.00)	(2.00)	0.40	—	—	鉄製品	153	「ねじの鎌」型
30	針	N27	3.50	3.70	0.30	2.90	—	鋼合金製品	153	
31	針	N29	(2.20)	0.80	0.90	1.36	—	鋼合金製品	153	
32	針	N29	(2.20)	0.80	0.90	1.36	—	鋼合金製品	153	
33	針	N29	1.70	1.70	0.10	0.46	—	鋼合金製品	153	30と組み合わせる
34	不明金属製品	F35	(1.80)	0.30	0.30	1.34	—	鋼合金製品	153	脚座部
40	不明金属製品	調査区 F-111	2.30	2.0	0.10	0.36	—	鋼合金製品	153	
41	不明金属製品	調査区 F-111	2.30	2.0	0.10	0.36	—	鋼合金製品	153	
42	不明金属製品	調査区 F-111	0.70	0.80	0.50	0.45	—	鋼合金製品	153	口径2
43	不明金属製品	調査区 F-111	0.70	0.80	0.50	0.45	—	鋼合金製品	153	口径2
44	不明金属製品	調査区 F-111	0.50	0.70	0.35	0.14	—	鋼合金製品	153	口径2

※ 調査区1の遺物1は調査区10の遺物1と同一のものである。

**(3) 石器等**

石器等は剥片石器351点、礫石器267点、剥片4,127点、礫・礫片424点、石製品8点、総計5,177点が出土した。分布はB地区を北西-南東方向に走る沢状地形の北東側に多い。使用される石材は、剥片石器・剥片の4,478点中4,040点と黒曜石が圧倒的に多く、ほかに頁岩343点、チャート19点等がみられる。頁岩は石錐、石槍・ナイフ類、つまみ付ナイフで使用比率が高くなっている。礫石器・礫では凝灰岩・砂岩・安山岩・泥岩などがみられる。これらの時期は縄文晩期末～統縄文に属する。

**石鏃 (図V-2-41-1～36/表V-2-13/図版155)**

134点が出土している。三角形凹基のものが70点、平基が31点、有茎17点、基部不明16点である。石材は黒曜石が121点で最も多く、頁岩6点・粘板岩6点・メノウ1点である。

1～11は三角形平基のもの。1・2は幅：長さの比率が1：2以上で幅が狭く、側縁が外湾して下半がほぼ平行になる。3～11は幅：長さの比率が1：1.5以下で幅が広く、正三角形に近い。側縁は7・9が若干内湾し、4～6が外湾、3・8・10・11は直線である。8～11は粘板岩製のもの。いわゆる粗製石鏃といわれるもので、周縁のみ粗く打ち欠いて整形している。道央石狩低地帯の後北期を中心に出土している。

12～28は三角形凹基のもの。挟りが浅いものが多く、12・15・23・27のような挟りの深いものは少ない。基部は中心線付近に頂部の来る円弧状のものが多く、17・24は台形状になる。13は幅：長さの比率が1：1.2で正三角形に近い。その他は1：1.5以上で二等辺三角形である。19は側縁が内湾し、その他は外湾する。

29～36は有茎鏃。基部は32を除き先端部が尖る。32は基部が方形である。33・35は返し不明瞭。35は頁岩製、36は白色のメノウ製である。

**石錐 (図V-2-41-37～39/表V-2-13/図版155)**

5点が出土している。石材は頁岩3点と黒曜石2点である。37は扁平な棒状のもの。両面調整で石鏃の再生品の可能性がある。38は剥片の一部に機能部を作出したもの。39は石鏃の先端破損品を利用したもの。先端破損部は再調整によって刃部を作出し、へら状にしている。基部先端を石錐の機能部として使用しており、磨滅痕と光沢が見られる。37・39は頁岩製、38は黒曜石製である。

**石槍・ナイフ類 (図V-2-41-40～45、42-46・47/表V-2-13/図版155)**

31点が出土している。形状の判明するものは、太い柄部のある石槍型の靴型石器が8点と多く、その他のほとんどは破片である。石材は黒曜石19点・頁岩10点・その他2点である。

40は三角形平基の石槍。両面調整で形状的には石鏃と同じであるが、厚さがあるため石槍とした。幅：長さの比率が1：1.5以下で幅が広く、正三角形に近い。側縁は外湾する。

41～47は石槍型の靴型石器。太い柄部があり、両面調整のもの。41・43・45は刃部が左右対称であるが、その他は非対称である。44・45は刃部の調整方向を左右で変えている。基部先端に直線状の刃部が作出されており、スクレイパーとしての使用も考えられる。44の基部先端には光沢が見られる。41がチャート製、43・45が黒曜石製、42・44・46・47は頁岩製である。

**つまみ付ナイフ (図V-2-42-48～50/表V-2-13/図版155)**

11点が出土している。石材は黒曜石4点・頁岩7点である。48～50は片面調整のもの。剥片の上部左右側縁に挟りを入れてつまみ部とし、周縁に刃部を作出している。頁岩製である。

**スクレイパー (図V-2-42-51～63/表V-2-13/図版155)**

67点が出土している。剥片の周縁に刃部を設けているものが15点、下端部がV字状の刃部を設けているもの9点、直線状もしくは弧状の刃部を設けているもの8点、内湾する刃部を設けているもの



3点、破片32点である。石材は黒曜石40点、頁岩21点、チャート3点、その他3点である。

51～56は小さめの剥片の周縁に刃部を設けているもの。51は両面調整、52～55は片面調整。56は左右で調整方向を変えて両側縁に刃部を作出している。57～59は片面調整で、下端部がV字状の刃部を設けているもの。

60～63は縦長剥片の側縁に直線状もしくは弧状の刃部を設けているもの。片面調整。60・61は両側縁に内湾する刃部を設けている。62は裏面右側縁に平坦な剥離面を残し、左側縁に外湾する刃部を設けている。57は頁岩製、58はチャート製、62は安山岩製、その他は黒曜石製である。

#### 石斧・石のみ (図V-2-43-64～66/表V-2-13/図版155)

石斧が26点、石のみが1点出土している。形状がわかるものでは短冊形6点、乳棒形3点である。石のみは破片である。石材は緑色泥岩・泥岩14点、片岩7点、安山岩2点、その他4点である。

64は短冊形で片刃の直刃。周囲を打ち欠いて整形したのち、全面を研磨している。65は乳棒形で両刃の曲刃。上半を折損している。全面を敲打・研磨によって整形している。66は縦長の泥岩剥片を用いたもので片刃の曲刃。全面を研磨によって整形している。64・66は緑色泥岩製、65は安山岩製である。

#### たたき石 (図V-2-43-67～70/表V-2-13/図版156)

30点が出土している。扁平な棒状礫の腹背部・両端部・側縁に敲打痕がある。石材は砂岩15点、安山岩9点、その他6点である。

67は扁平な棒状礫の腹背部に敲打痕のあるもの。68は扁平な棒状礫の背部と上端部に敲打痕のあるもの。69は扁平な棒状礫の腹背部と上端部・右側縁上部に敲打痕のあるもの。70は扁平な棒状礫の腹背部と両端部・左側縁上部に敲打痕のあるもの。67・70は砂岩製、68・69は安山岩製である。

#### 台石 (図V-2-43-71/表V-2-13/図版156)

7点が出土している。扁平礫の平坦面に敲打痕があるものが6点、破片1点である。石材は安山岩3点、砂岩2点、片麻岩1点、花崗岩1点である。

71は扁平礫の平坦面に敲打痕のあるもの。片麻岩製である。

#### 砥石 (図V-2-43-72/表V-2-13/図版156)

14点が出土している。破片だが広く弓状に湾曲する擦り面のあるもの12点、矢柄研磨器2点である。石材は砂岩5点、軽石5点、泥岩2点である。矢柄研磨器はスコリア製である。

72は中央部に広く弓状に湾曲する擦り面があるもの。裏面の状況から敲打によって調整したのちに使用したとみられる。泥岩製である。

#### 剥片

4,127点が出土している。石材は黒曜石3,777点、頁岩271点、メノウ22点、チャート13点、その他44点である。

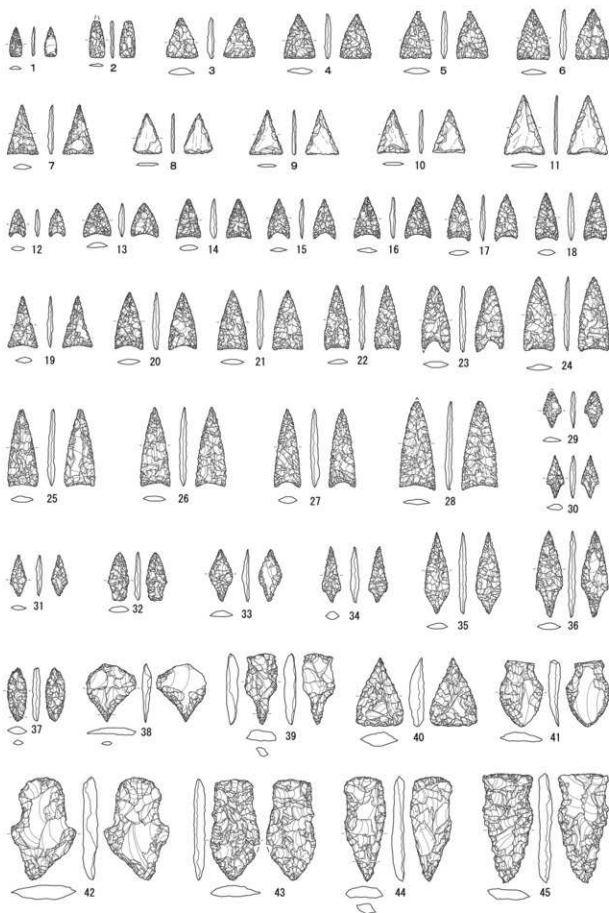
#### 礫・礫片

424点が出土している。石材は凝灰岩118点、泥岩79点、砂岩75点、安山岩41点、軽石31点、その他80点である。頁岩やメノウの原石も含む。

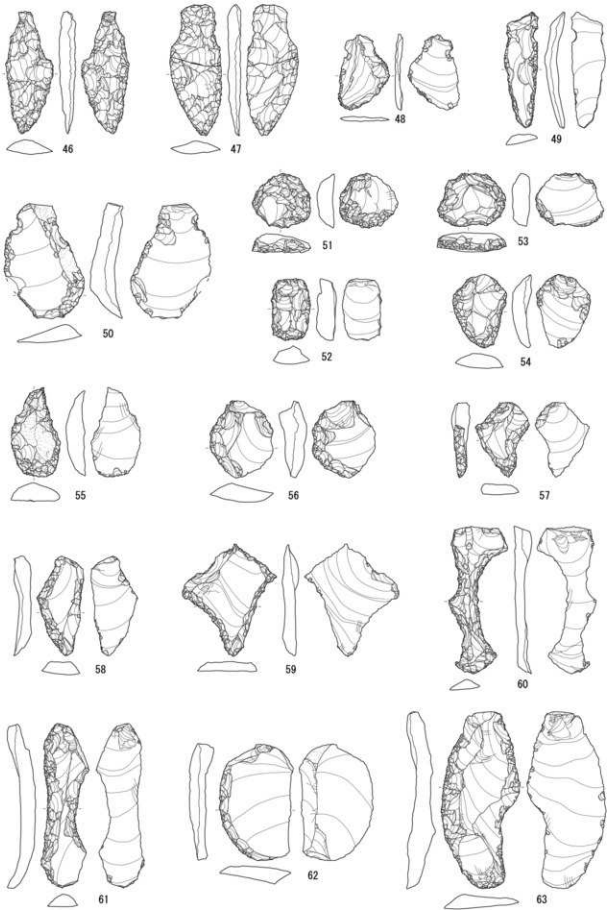
#### 石製品 (図V-2-47-73～80/表V-2-14/図版156)

8点が出土している。異形石器4点・玉類3点・有孔石製品1点である。

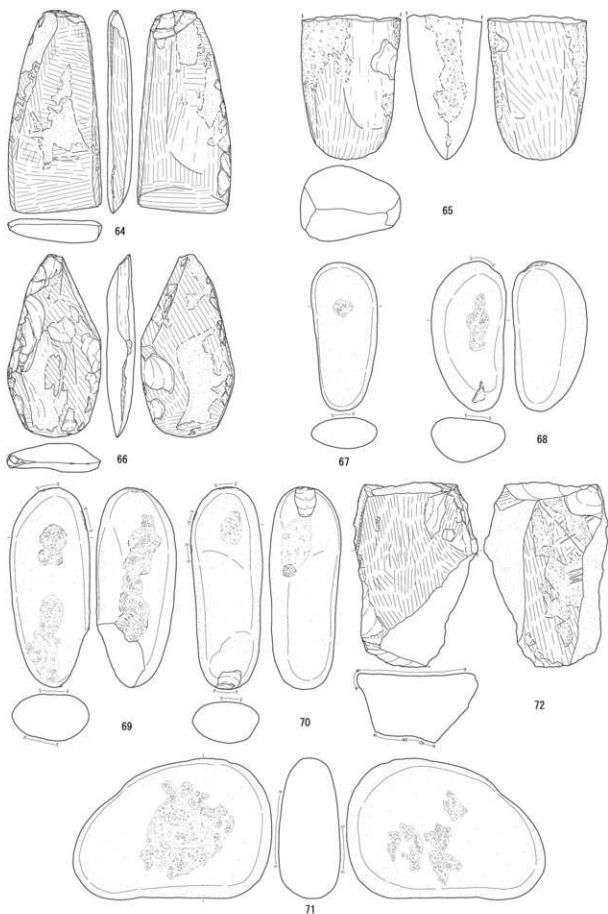
73～76は黒曜石製の異形石器。73は先端部が折損しているが、左右対称のX字状と考えられる。74は両端部を欠損しているが、三日月形の石製品である。75・76は魚類やコクジラ・シャチを模した可能性がある。被熱している。77・78は橄欖岩製の平玉。77は周縁を加工して円形にしたのち、研磨



図V-2-41 包含層の石製遺物(1)



図V-2-42 包含層の石製遺物(2)

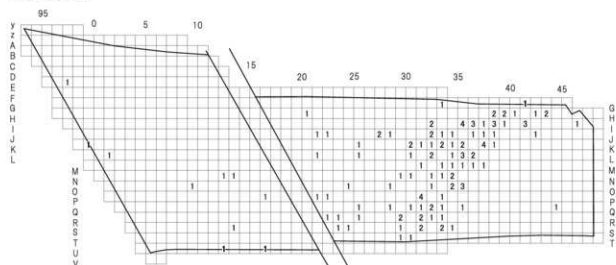


図V-2-43 包含層の石製遺物(3)

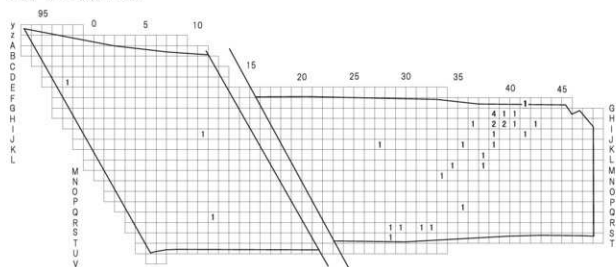
表V-2-13 石製遺物掲載一覧

図番号	調査区	遺物 No.	層位	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	材質	図版 番号	備考
図V-2-41-1	M32	1	■	石鏝	1.55	0.65	0.20	0.16	黒曜石		三角形平基
図V-2-41-2	I32	5	■	石鏝	(1.95)	0.80	0.20	10.57	黒曜石		三角形平基
図V-2-41-3	I22	1	■	石鏝	2.15	1.65	0.35	0.86	黒曜石		三角形平基
図V-2-41-4	N35	1	■	石鏝	2.35	1.65	0.30	1.08	黒曜石		三角形平基
図V-2-41-5	H37	1	■	石鏝	2.50	1.70	0.30	1.17	黒曜石		三角形平基
図V-2-41-6	J37	2	■	石鏝	2.65	1.70	0.40	1.27	黒曜石		三角形平基
図V-2-41-7	N28	1	■	石鏝	2.60	1.65	0.30	0.87	黒曜石		三角形平基
図V-2-41-8	I21	1	■	石鏝	2.10	1.50	0.20	0.58	粘板岩		三角形平基
図V-2-41-9	I32	2	■	石鏝	2.65	1.75	0.20	0.69	粘板岩		三角形平基
図V-2-41-10	J99	1	■	石鏝	2.30	1.70	0.20	0.70	粘板岩		三角形平基
図V-2-41-11	K1	1	■	石鏝	3.10	2.10	0.20	1.09	粘板岩		三角形平基
図V-2-41-12	P31	4	■	石鏝	1.45	0.85	0.25	0.22	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-13	H38	3	■	石鏝	1.80	1.45	0.30	0.60	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-14	G43	1	■	石鏝	2.10	1.30	0.35	0.70	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-15	J33	1	■	石鏝	2.10	1.15	0.30	0.40	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-16	O31	6	■	石鏝	2.20	1.40	0.30	0.64	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-17	I37	1	■	石鏝	2.45	1.20	0.30	0.60	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-18	H35	8	■	石鏝	2.50	1.30	0.35	0.76	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-19	M12	1	■	石鏝	2.70	1.60	0.30	0.72	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-20	S29	1	■	石鏝	3.00	1.50	0.30	1.17	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-21	O33	4	■	石鏝	3.15	1.60	0.35	1.31	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-22	H36	2	■	石鏝	3.40	1.55	0.30	1.19	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-23	N9	1	■	石鏝	3.50	1.50	0.35	1.52	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-24	L31	4	■	石鏝	3.90	1.60	0.30	1.84	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-25	K21	1	■	石鏝	4.05	1.60	0.40	2.18	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-26	R33	1	■	石鏝	4.15	1.60	0.40	1.95	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-27	P28	2	■	石鏝	4.15	1.40	0.40	2.08	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-28	R20	5	■	石鏝	(4.65)	1.90	0.40	(2.69)	黒曜石		三角形凹基
図V-2-41-29	O16	1	■	石鏝	(1.90)	0.95	0.25	(0.32)	黒曜石		有茶
図V-2-41-30	I27	2	■	石鏝	2.25	0.90	0.30	0.46	黒曜石		有茶
図V-2-41-31	J30	5	■	石鏝	2.15	0.85	0.35	0.39	黒曜石		有茶
図V-2-41-32	K36	2	■	石鏝	2.55	1.10	0.30	0.84	黒曜石		有茶
図V-2-41-33	N32	1	■	石鏝	2.75	1.20	0.40	0.77	黒曜石	図版155	有茶
図V-2-41-34	I33	2	■	石鏝	2.85	1.00	0.50	0.90	黒曜石		有茶
図V-2-41-35	Q29	2	■	石鏝	4.30	1.30	0.40	1.71	頁岩		有茶
図V-2-41-36	I27	3	■	石鏝	4.55	1.40	0.40	1.94	メソク		有茶
図V-2-41-37	G38	6	■	石鏝	2.80	1.80	0.40	1.37	頁岩		
図V-2-41-38	H35	4	■	石鏝	3.10	2.60	0.50	2.75	頁岩		
図V-2-41-39	K33	1	■	石鏝	3.75	1.75	0.70	4.28	頁岩		
図V-2-41-40	L37	2	■	石鏝	3.60	2.50	0.80	5.28	黒曜石		
図V-2-41-41	H36	11	■	ナイフ	3.50	2.30	0.60	4.66	チャート		鈍形石器
図V-2-41-42	R28	1	■	ナイフ	5.40	3.45	0.85	14.38	頁岩		鈍形石器
図V-2-41-43	R31	6	■	ナイフ	5.30	2.60	0.60	8.63	黒曜石		鈍形石器
図V-2-41-44	S28	2	■	ナイフ	5.50	2.30	0.70	8.27	頁岩		鈍形石器
図V-2-41-45	J27	3	■	ナイフ	5.75	2.70	0.70	10.10	黒曜石		鈍形石器
図V-2-42-46	H42	4	■	ナイフ	6.45	2.50	0.90	12.03	頁岩		鈍形石器
図V-2-42-47	J38	3	■	ナイフ	6.90	2.75	0.70	12.98	頁岩		鈍形石器
図V-2-42-48	J35	6	■	つまみ付きナイフ	6.10	1.75	0.50	6.92	頁岩		
図V-2-42-49	P31	1	■	つまみ付きナイフ	4.00	2.70	0.40	3.21	頁岩		
図V-2-42-50	P16	1	■	つまみ付きナイフ	6.60	4.25	1.70	22.99	頁岩		
図V-2-42-51	G40	5	■	スクリュー	2.90	3.10	1.00	8.59	黒曜石		
図V-2-42-52	J34	3	■	スクリュー	2.85	3.65	1.05	12.21	黒曜石		
図V-2-42-53	J43	2	■	スクリュー	3.25	2.10	1.05	7.53	黒曜石		
図V-2-42-54	M34	3	■	スクリュー	3.90	2.85	1.00	7.96	黒曜石		
図V-2-42-55	K7	1	■	スクリュー	4.75	2.60	1.00	10.90	黒曜石		
図V-2-42-56	G33	4	■	スクリュー	4.05	3.35	1.45	13.79	黒曜石		
図V-2-42-57	O31	3	■	スクリュー	3.95	2.85	0.95	7.50	頁岩		
図V-2-42-58	O29	6	■	スクリュー	5.25	2.45	0.95	11.00	チャート		
図V-2-42-59	Q11	7	■	スクリュー	5.90	5.00	0.90	13.44	黒曜石		
図V-2-42-60	G30	2	■	スクリュー	7.80	3.10	0.95	11.77	黒曜石		
図V-2-42-61	K37	4	■	スクリュー	8.70	2.50	1.50	17.89	黒曜石		
図V-2-42-62	G33	7	■	スクリュー	6.15	3.90	1.30	25.19	安山岩		
図V-2-42-63	P45	1	■	スクリュー	9.35	4.20	1.50	31.51	黒曜石		
図V-2-43-64	O36	2	■	石斧	10.70	4.95	1.30	113.14	緑色泥岩		
図V-2-43-65	H0	1	■	石斧片	(7.65)	(5.30)	(4.00)	(241.77)	安山岩		
図V-2-43-66	J37	20	■	石斧	9.70	4.95	1.50	89.66	緑色泥岩		
図V-2-43-67	S27	2	■	たたき石	11.85	5.30	2.45	224.80	砂岩		
図V-2-43-68	I37	8	■	たたき石	12.00	6.00	3.65	367.12	砂岩		
図V-2-43-69	P33	12	■	たたき石	16.00	6.40	4.10	(606.50)	安山岩		
図V-2-43-70	P35	3	■	たたき石	16.20	5.80	3.50	413.43	泥岩		
図V-2-43-71	O25	2	■	たき石	11.30	15.90	5.00	1456.50	片麻岩	図版156	
図V-2-43-72	J26	1	■	砥石	(14.80)	10.00	5.60	(1040.00)	泥岩		

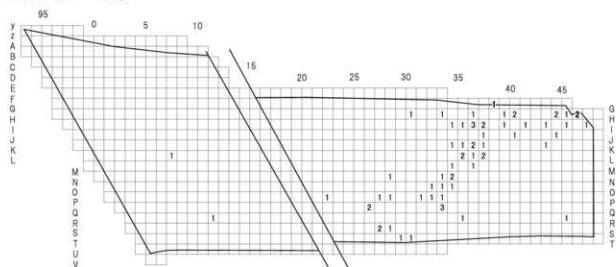
石鏃 134点



石槍・ナイフ類 31点

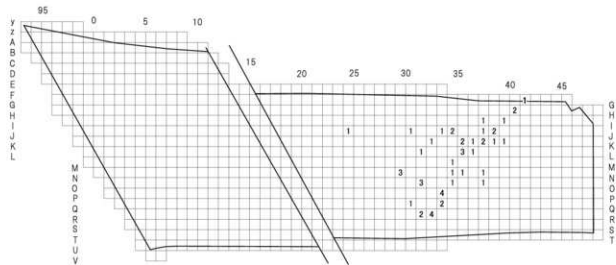


スクレイパー 67点

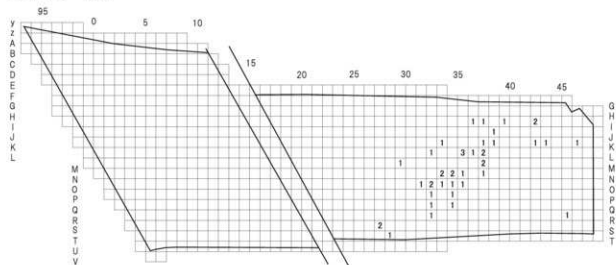


図V-2-44 石製遺物分布(1)

## Rフレイク 51点



## Uフレイク 43点



## 剥片 4,127点

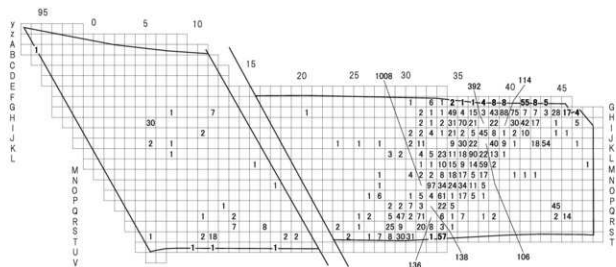


図 V-2-45 石製遺物分布(2)





によって整形している。孔は上部表側からあけられており、穿孔痕が残る。78は隅丸長方形で全面を研磨によって整形している。孔はほぼ中央に両面からあけられている。孔内も丁寧に研磨されており、極わずかに穿孔痕が確認できる。79は橄欖岩製の垂飾。右半を欠損している。全面を研磨によって丁寧に調整し、三日月形にしている。中央に貫通孔があり、左側縁に袂り状の凹みを設けている。左右対称と考えられることから、右側縁にも同様の凹みが設けられていたと推測される。貫通孔の左下方には糸ずれ痕が確認できる。80は軽石製の有孔石製品。左半部を欠損している。上部に両面からあけられた貫通孔1か所、下部に裏面からあけられた未貫通孔1か所がある。2か所とも穿孔痕はわずかに確認できる。穿孔の方向は表側が広い八字をしている。(酒井)

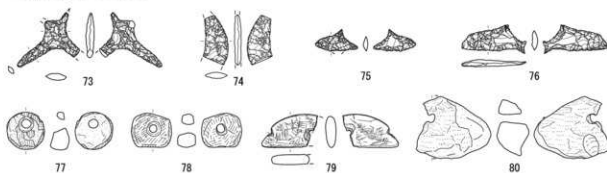
#### (4) その他

土鈴・土玉 (図V-2-48-1~4/図版156)

土鈴2点・土玉2点が出土している。これらは形状から見て土鈴1点・土玉1点の対で機能していたと考えられる。

1・2は土鈴の体部。1は接合により全体の形状が復元された。鈕を含む高さ5.0cm、体部長径4.0cm・短径3.3cm・器厚約0.2cmである。2は鈕を含む上部の約1/3が残存している。焼成は土師質で体部形は球形、一体成形で作られている。上方に鈕があり下方に鈴口(切り口)がある。紋様は正面と裏面に十八弁菊花文が型押しされている。器壁には整形時に付いた指紋が確認できる。鈕は、扁平な山形を積み出して作られ、体部からの長さは1.5cm程である。おもて面からの刺突により鈕孔(貫通孔)が開けられている。鈴口は体部側面の土上1/3程のところから一文字に開けられ、下端部で約0.8cmの幅がある。丸は内蔵されていなかった。

3・4は土玉。焼成は土師質である。土鈴の内部にあった丸と考えられる。3は直径約1.2cm・重さ2.0g、4は直径約1.2cm・重さ1.8gの球形である。土色から3が1に内蔵され、4が2に内蔵されていたと推定される。土鈴の時期は、出土層位や周辺の遺構・遺物から推測して、1739年以前の近世アイヌ文化期と考えられる。



図V-2-47 石製品

表V-2-14 掲載石製品一覧

図番号	調査区	遺物No.	層位	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	材質	図版番号	備考
図V-2-47-73	I 37	2	■	黄彩石器	(2.90)	(3.30)	0.45	(1.83)	黒曜石	図版156	
図V-2-47-74	F 32	11	■	黄彩石器	(2.65)	(1.30)	0.35	(1.23)	黒曜石		
図V-2-47-75	K 35	18	■	黄彩石器	1.15	2.25	0.25	0.42	黒曜石		
図V-2-47-76	M 30	2	■	黄彩石器	1.55	3.40	0.35	1.36	黒曜石		
図V-2-47-77	I 34	5	■	平玉	2.00	2.00	1.00	4.50	橄欖岩		
図V-2-47-78	F 41	7	■	平玉	1.80	2.15	0.95	6.18	橄欖岩		
図V-2-47-79	H 41	3	■	垂飾	1.75	(2.95)	0.55	(3.88)	橄欖岩		
図V-2-47-80	Q 26	6	■	有孔石製品	(3.25)	(3.95)	(1.70)	(8.58)	軽石		

※1組図版2・4の3・4は整形保存処理の過程で所在不明となっている。



## (5) 動物遺存体

## a はじめに

遺構から174点(うち、焼骨79点)、包含層から707点(うち、焼骨23点)が得られている。A地区と異なり、ほとんどが焼けていない点に特徴がある。

同定の方法としては、調査員が同定し、種ごと、部位ごとにまとめる方法で行った。また、対比現生骨格標本は、福井所有のエゾシカ、イヌを使用した。

## b 出土骨の特徴

焼けていない骨は、茶褐色を呈し、土圧でつぶれていた。関節状態で出土しているものがあった。焼けた骨のうち、遺構出土品は灰色～白色のほかに、茶色～黒色のものも含まれた。一方、包含層出土品は全て白色化していた。

## c 魚類

魚骨は、極端に少ない。「棄てる」場所を明確に意識した結果とみられる。

サケ科：焼土ⅢF-110から椎骨が1点出土している。

## d 哺乳類

イヌ：L31区Ⅲ層から頭蓋骨1個体分出土している。

ニホンジカ：今回同定した骨はほとんどがシカであった。遺構では、骨片を除き、脛骨が最も多く、距骨、下顎骨が次いだ。基節骨や末節骨といった指骨、距骨・踵骨などの足根骨、手根骨といった利用価値の少ない部位とともに、上腕骨、脛骨、橈骨、下顎骨、肩甲骨が出土している。ただし、角や頭蓋骨、尺骨、中手・中足骨などは出土していない。遺構内では、1つか2つの部位が同定される程度で、例外的にⅢB-3で3つの部位、ⅢF-96で5つの部位が同定された。前者は、肩甲骨～橈骨が連結状態、後者は手根骨が関節した状態であった。

包含層では、骨片を除き、距骨、踵骨が最も多く、脛骨、上腕骨、肩甲骨、橈骨が次いだ。指骨や手根骨は少ない。尺骨、角、上顎骨、中足骨がわずかながら含まれる点が、遺構の出土状況と異なる。包含層では、指骨である基節骨と中節骨や、距骨、踵骨、脛骨が連結した状態で出土している例があった。

クジラ類：骨角器の素材に使用されている。

## e おわりに

同定を行った結果、ほとんどすべてがニホンジカで、1個体分のイヌと、サケ科の椎骨1点、クジラ骨製骨角器が混入していることが分かった。そして、シカの出土状態に連結したまま廃棄されたものがあった。また、サケ類、コイ科などの魚類が極端に少なかったのも、今回の特徴とも言えるが、他の遺跡で焼けた骨を分析した結果も見てみると、シカとサケ類の出土が相関しない、場合によっては排他的な関係のように見える場合がある。今回の例も、その好例であろう。

(福井)

## 脊椎動物門 Vertebrata

硬骨魚綱 Class Osteichthyes

サケ目 Order Salmoniformes

サケ科 Family Salmonidae

哺乳綱 Class Mammalia

ネコ目(食肉目) Order Carnivora

イヌ科 Family Canidae

イヌ *Canis familiaris*

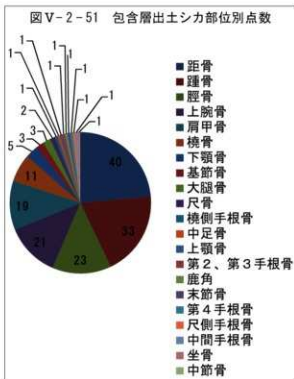
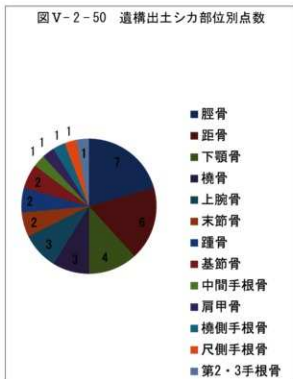
ウシ目(偶蹄目) Order Artiodactyla

シカ科 Family Cervus

ニホンジカ *Cervus nippon*

クジラ類

Cetacera fam.



表V-2-15 遺構別出土動物遺存体点数 (同定されたもの)

	シカ											シカ 集計	ヤケ類 種数	ヤケ類 集計	総計		
	下顎骨	肩甲骨	上腕骨	腕骨	第2・3 手根骨	中間手 根骨	桡側手 根骨	尺側手 根骨	経骨	踵骨	距骨					基節骨	末節骨
遺B-2			1											1			1
遺B-3					3									4			4
遺B-4	4		1						2					6			6
遺F-107									1					1			1
遺F-110															1	1	1
遺F-111				1				2		2				5			5
遺F-124								1			1			2			2
遺F-134								1						1			1
遺F-150										1				1			1
遺F-170									1					1			1
遺F-172												2	2	4			4
遺F-211														1			1
遺F-26			1											5			5
遺H-10・HF-1					1	1	1	1	1				3	1			1
遺K-18											1			1			1
遺K-24											1			1			1
遺K-29											1			1			1
総計	4	1	3	3	1	1	1	1	1	1	2	6	2	34	1	1	35

表V-2-16 包含層出土シカ点数分布

	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	総計
F															2	19	2		23
G																	9	2	11
H									1					3	14	6	7	7	38
I												15	4	4	4	1	13	8	45
J										5		6	4			4	4	9	33
K										5	1	32	8	8	3	4			61
L											30	1	24	5	8	1			69
M											8	32	10	69	25	2			146
N												18		2	19	6			45
O													3	44	21				68
P							44				1		5	46	3				99
Q	1						1				2		2						6
R								2			3								8
S		8	31		3														42
T		8			1														9
総計	1	16	31	7			45	2		17	27	110	130	151	63	44	41	18	703

表V-2-17 包含層出土シカ部位一覧

左右	部分	鹿角	上顎骨	下顎骨	距骨	肩甲骨	上腕骨	腕骨	尺骨	第2、第3手根骨	第4手根骨	中間手根骨	橈骨	尺骨	大趾骨	趾骨	踵骨	中足骨	跖骨	中趾骨	末趾骨	坐骨	骨片	シカ集計
L	遠位						0	4								20	1							22
	近位								1							1	3							4
	中間			1	15	7	2	2				1				1	14					1		44
L?	遠位							1																1
	近位						12	1	1								9	1						24
	近位?							1								1								2
R	近位?							1																1
	中間			4	23	11	1		1	1	1		1	1	1	1	17							63
R?	中間							1																1
R/L		1	1	1	1	1																		9
総計		1	1	5	40	19	21	11	2	1	1	1	1	1	3	25	33	1	3	0	1	1		170

表V-2-18 包含層出土シカ部位別出土位置一覧

グループ	数字 ナン	アムフ ベント ラレン	シカ																				集計
			鹿角	上顎骨	下顎骨	距骨	肩甲骨	上腕骨	腕骨	尺骨	第2、第3手根骨	第4手根骨	中間手根骨	橈骨	尺骨	大趾骨	趾骨	踵骨	中足骨	跖骨	中趾骨	末趾骨	
17	S				1	1	1											1	1				5
	T				3													1					4
18	S				2		1									1	1	2					8
	R				1													1	1				3
19	S				1													1					2
	P							1															1
25	H																	1					1
	J																	1					1
	P						1																1
	K								1														1
26	L																	1					1
	M						1	1															2
	N				1	1																	2
	J								1														1
27	K				2	1	1											1	1		3		9
	L				3		2																8
	M				1	1	1																5
	O						1																1
	P						1	1															3
	I							3															3
28	J								1														2
	K																						1
	L						1																1
	M																		1				1
	O				2	1	1												1	2			7
	P				2	2	2												3	2			11
29	K				1														1				2
	L						1	2	1	1	1	1	1	1								1	10
	M				2	1	1												1				5
	N				2															2			5
	O			1		1	1												3	1			7
	P																			1			1
30	F						1																2
	H				1											1	1	2					5
	I				1	1																	2
	J				2																		2
	K						1												1				2
	L				1	1				1													3
31	M				1	1		1											1	1			4
	F				3				1														4
	H				1														1				2
	K				1	1																	2
	L				1	1													1	1			4
	M							1															1
32	P							1															1
	H				1	1	1									1	1	1					6
	I					1												3	1			5	
	J		1		1																		2
33	G																		1				1
	H				2	1																	3
	I							2											1				3
	J								1														1
総計		1	1	5	40	19	21	11	2	1	1	1	1	1	3	25	33	1	3	0	1	1	170

表V-2-19 動物骨大型破片一覧

調査区	層位	取上番号	骨番号	分類	部位	個体数	点数	備考
F-30	Ⅲ	15	1	シカ	肩甲骨上	1	1	
F-30	Ⅲ	17	2	シカ	肩甲骨上	1	2	
F-31	Ⅲ	1	3	シカ	骨片	1	1	
F-31	Ⅲ	2	4	シカ	骨片	1	1	
F-31	Ⅲ	3	5	シカ	骨片	1	2	
F-31	Ⅲ	4	6	シカ	骨片(横骨見 破片?)	1	2	
F-31	Ⅲ	7	7	シカ	肩甲骨 破片	1	2	
F-31	Ⅲ	9	8A	シカ	肩甲骨上	1	1	
F-31	Ⅲ	9	9B	シカ	骨片	1	4	
F-31	Ⅲ	19	10	シカ	肩甲骨	1	1	
F-31	Ⅲ	20	11	シカ	骨片	1	1	
F-31	Ⅲ	21	12	シカ	肩甲骨	1	1	
F-32	Ⅲ	1	13	シカ	上腕骨上	1	1	
F-32	Ⅲ	4	14	シカ	骨片	1	1	
G-32	Ⅲ	5	15	シカ	骨片	1	5	
G-32	Ⅲ	8	16	シカ	骨片	1	2	
G-32	Ⅲ	15	17	シカ	骨片	1	1	肩甲骨側面,小骨未定
G-32	Ⅲ	17	18	シカ	骨片	1	1	
G-33	Ⅲ	10	19	シカ	肩甲骨上	1	2	
H-35	Ⅲ	2	20	シカ	肩甲骨上	1	1	
H-39	Ⅲ	1	21	シカ	骨片	1	1	
H-39	Ⅲ	1	22A	シカ	肩甲骨上	1	1	
H-39	Ⅲ	1	23B	シカ	肩甲骨上	1	1	
H-39	Ⅲ	1	24C	シカ	骨片	1	2	
H-39	Ⅲ	1	25D	シカ	不明	1	1	
H-39	Ⅲ	2	26A	シカ	肩甲骨	1	2	
H-39	Ⅲ	2	27B	シカ	肩甲骨上	1	2	
H-39	Ⅲ	3	28	シカ	大腕骨上	1	2	破片
H-31	Ⅲ	2	29A	シカ	肩甲骨上	1	1	
H-31	Ⅲ	2	30B	シカ	肩甲骨	1	1	
H-31	Ⅲ	2	31C	シカ	骨片	1	4	
H-32	Ⅲ	1	32A	シカ	肩甲骨	1	1	
H-32	Ⅲ	1	33B	シカ	骨片	1	1	
H-32	Ⅲ	1	34C	シカ	上腕骨上	1	1	
H-32	Ⅲ	2	35A	シカ	大腕骨上	1	1	
H-32	Ⅲ	2	36B	シカ	大腕骨上	1	1	
H-32	Ⅲ	3	37	シカ	肩甲骨 破片	1	3	
H-32	Ⅲ	4	38	シカ	肩甲骨上	1	1	
H-33	Ⅲ	2	39	シカ	骨片	1	1	
H-33	Ⅲ	3	40	シカ	下腕骨上 P3~M3	1	1	
H-33	Ⅲ	4	41	シカ	下腕骨上 P4~M3	1	1	
H-33	Ⅲ	6	42A	シカ	肩甲骨上	1	2	
H-33	Ⅲ	6	43B	シカ	骨片	1	1	
I-28	Ⅲ	2	44A	シカ	上腕骨上	1	1	
I-28	Ⅲ	2	45B	シカ	骨片	1	5	
I-28	Ⅲ	5	46	シカ	骨片	1	2	
I-28	Ⅲ	4	47	シカ	上腕骨上	1	1	
I-28	Ⅲ	5	48A	シカ	上腕骨上	1	1	
I-28	Ⅲ	5	49B	シカ	骨片	1	5	
I-29	Ⅲ	1	50A	シカ	骨片	1	2	
I-29	Ⅲ	1	51B	シカ	不明(肩甲骨 破片?)	1	1	
I-30	Ⅲ	1	52A	シカ	肩甲骨上	1	1	
I-30	Ⅲ	2	53B	シカ	骨片	1	2	
I-30	Ⅲ	3	54	シカ	肩甲骨上	1	1	
I-31	Ⅲ	2	55	シカ	骨片	1	1	
I-32	Ⅲ	2	56A	シカ	肩甲骨	2	2	
I-32	Ⅲ	2	57B	シカ	肩甲骨	1	1	
I-32	Ⅲ	2	58C	シカ	肩甲骨上	1	1	
I-32	Ⅲ	3	59A	シカ	骨片	1	5	
I-32	Ⅲ	3	60B	シカ	不明	1	1	
I-32	Ⅲ	6	61	シカ	中央骨	1	2	
I-32	Ⅲ	7	62A	シカ	肩甲骨上	1	1	
I-32	Ⅲ	1	63B	シカ	骨片	1	4	
I-33	Ⅲ	3	64A	シカ	上腕骨上	1	1	
I-33	Ⅲ	3	65B	シカ	上腕骨上	1	1	
I-33	Ⅲ	4	66	シカ	骨片	1	2	
I-33	Ⅲ	5	67	シカ	骨片	1	1	
J-25	Ⅲ	1	68A	シカ	肩甲骨上	1	1	
J-25	Ⅲ	1	69B	シカ	骨片	1	4	
J-27	Ⅲ	1	70A	シカ	肩甲骨 破片	1	1	
J-27	Ⅲ	1	71B	シカ	骨片	1	5	
J-28	Ⅲ	2	72A	シカ	肩甲骨上	1	1	
J-28	Ⅲ	2	73B	シカ	肩甲骨上	1	1	破片
J-28	Ⅲ	2	74C	シカ	骨片	1	1	
J-30	Ⅲ	2	75A	シカ	肩甲骨	1	1	
J-30	Ⅲ	2	76B	シカ	肩甲骨上	1	1	
J-30	Ⅲ	2	77C	シカ	骨片	1	2	
J-31	Ⅲ	2	78	シカ	骨片	1	1	
J-32	Ⅲ	1	79	シカ	骨片	1	2	
J-32	Ⅲ	2	80A	シカ	腕骨	1	1	
J-32	Ⅲ	2	81B	シカ	骨片	1	2	
J-32	Ⅲ	4	82	シカ	下腕骨上 P3~M3	1	1	
J-33	Ⅲ	3	83	シカ	肩甲骨上	1	1	
K-25	Ⅲ	1	84	シカ	骨片	1	5	
K-26	Ⅲ	1	85	シカ	肩甲骨上	1	1	破片
K-27	Ⅲ	1	86A	シカ	肩甲骨 腕突起	1	1	
K-27	Ⅲ	1	87B	シカ	上腕骨上	1	1	破片
K-27	Ⅲ	1	88C	シカ	肩甲骨	1	2	
K-27	Ⅲ	1	89D	シカ	肩甲骨上	1	2	
K-27	Ⅲ	1	90E	シカ	肩甲骨上	1	1	
K-27	Ⅲ	1	91F	シカ	基礎骨	1	1	
K-27	Ⅲ	1	92G	シカ	中央骨	1	1	
K-27	Ⅲ	1	93H	シカ	不明	1	1	
K-27	Ⅲ	1	94I	シカ	骨片	1	15	
K-27	Ⅲ	3	95A	シカ	肩甲骨上	1	1	肩甲骨側面

調査区	層位	取上番号	骨番号	分類	部位	個体数	点数	備考
K17	Ⅲ	2	905	シカ	踵骨R			
K17	Ⅲ	2	905	シカ	前中骨			
K17	Ⅲ	3	905	シカ	基礎骨	1	2	
K17	Ⅲ	3	905	シカ	中趾骨		1	
K17	Ⅲ	4	90A	シカ	基礎骨	1	1	
K17	Ⅲ	4	90B	シカ	中趾骨		1	
K18	Ⅲ	1	99	シカ	骨片		1	
K18	Ⅲ	2	99	シカ	骨片		1	
K18	Ⅲ	3	99	シカ	骨片		1	
K18	Ⅲ	4	99	シカ	骨片		1	
K18	Ⅲ	5	99	シカ	横骨L字 変位	1	1	
K18	Ⅲ	6	99	シカ	本趾		1	
K19	Ⅲ	1	99	シカ	骨片		1	
K19	Ⅲ	2	99	シカ	骨片		1	
K19	Ⅲ	3	99	シカ	骨片		1	
K19	Ⅲ	4	99	シカ	踵骨R	1	1	
K19	Ⅲ	5	99	シカ	骨片		1	
K19	Ⅲ	6	99	シカ	骨片		1	
K30	Ⅲ	1	99	シカ	臼歯骨L 破片		1	
K30	Ⅲ	2	99	シカ	臼歯骨L 破片	1	1	
K31	Ⅲ	1	99	シカ	臼歯骨L 破片	1	1	
K31	Ⅲ	2	99	シカ	骨片		1	
K31	Ⅲ	3	99	シカ	踵骨R	1	2	
L16	Ⅲ	1	99	シカ	踵骨L		1	
L16	Ⅲ	1	99	シカ	骨片		1	
L17	Ⅲ	1	99A	シカ	上腕骨R 変位	2	2	
L17	Ⅲ	1	99B	シカ	踵骨R	2	2	
L17	Ⅲ	1	99C	シカ	前中骨	2	2	
L17	Ⅲ	1	99D	シカ	踵骨L	1	1	
L17	Ⅲ	1	99E	シカ	前中骨L	1	1	
L17	Ⅲ	1	99F	シカ	骨片		2	
L18	Ⅲ	2	99	シカ	臼歯骨L	1	1	
L19	Ⅲ	1	99	シカ	上腕骨L 破片		1	
L19	Ⅲ	2	99	シカ	骨片		1	
L19	Ⅲ	3	99	シカ	本趾骨	1	2	フタ
L19	Ⅲ	4	99	シカ	骨片		1	
L19	Ⅲ	6	99	シカ	横骨L 変位	1	1	
L19	Ⅲ	7	99	シカ	骨片		1	
L19	Ⅲ	8	99A	シカ	踵骨R 変位 骨髄ハズレ	1	2	
L19	Ⅲ	8	99B	シカ	腕骨L 破片R	1	1	
L19	Ⅲ	8	99C	シカ	尺骨R 変位 骨髄	1	1	
L19	Ⅲ	8	99D	シカ	尺骨手根骨R	1	1	
L19	Ⅲ	8	99E	シカ	第2,3手根骨R	1	1	
L19	Ⅲ	8	99F	シカ	第1,2手根骨R	1	1	
L19	Ⅲ	8	99G	シカ	中趾手根骨L	1	1	
L19	Ⅲ	8	99H	シカ	本趾		1	
L19	Ⅲ	1	99	シカ	骨片		1	
L19	Ⅲ	2	99	シカ	骨片		1	
L30	Ⅲ	2	99	シカ	下腕骨R M1,M2	1	1	
L30	Ⅲ	3	99	シカ	横骨L 変位	1	2	
L30	Ⅲ	4	99	シカ	前中骨L	1	1	
L31	Ⅲ	1	99	イヌ	下腕骨R・L, 後骨	1	1	
L31	Ⅲ	2	99	シカ	臼歯骨L	1	1	
L31	Ⅲ	3	99	シカ	骨片		1	
L31	Ⅲ	4	99	シカ	骨片		1	
L31	Ⅲ	10	99A	シカ	踵骨R 変位	1	1	
L31	Ⅲ	10	99B	シカ	踵骨R	1	1	
L31	Ⅲ	10	99C	シカ	前中骨	1	1	
L31	Ⅲ	10	99D	シカ	骨片		1	
L32	Ⅲ	2	99	シカ	骨片		1	
M16	Ⅲ	1	99A	シカ	臼歯骨R	1	1	
M16	Ⅲ	1	99B	シカ	上腕骨R 変位	1	1	
M16	Ⅲ	1	99C	シカ	骨片		1	
M17	Ⅲ	1	99A	シカ	臼歯骨R	1	1	
M17	Ⅲ	1	99B	シカ	踵骨R	1	2	
M17	Ⅲ	1	99C	シカ	前中骨	1	1	
M17	Ⅲ	1	99D	シカ	上腕骨L 変位	1	1	
M17	Ⅲ	1	99E	シカ	踵骨L	1	1	
M17	Ⅲ	1	99F	シカ	骨片		4	
M17	Ⅲ	2	99	シカ	骨片		1	
M18	Ⅲ	1	99A	シカ	臼歯骨L 変位	1	1	ヤナ・白
M18	Ⅲ	1	99B	シカ	骨片		1	
M19	Ⅲ	1	99A	シカ	臼歯骨R	1	1	
M19	Ⅲ	1	99B	シカ	横骨R 変位字	1	1	
M19	Ⅲ	1	99C	シカ	踵骨R 変位	1	1	
M19	Ⅲ	1	99D	シカ	前中骨	1	2	
M19	Ⅲ	1	99E	シカ	前中骨L	1	1	
M19	Ⅲ	1	99F	シカ	骨片		1	
M19	Ⅲ	1	99G	シカ	骨片		2	
M19	Ⅲ	1	99	シカ	骨片		1	
M19	Ⅲ	1	99	シカ	骨片		1	
M19	Ⅲ	2	99A	シカ	下腕骨R P4~M3	1	1	
M19	Ⅲ	2	99B	シカ	尺骨R 変位	1	1	
M19	Ⅲ	2	99C	シカ	前中骨	1	1	
M19	Ⅲ	2	99D	シカ	上腕骨L 変位	1	1	
M19	Ⅲ	2	99E	シカ	骨片		1	
M11	Ⅲ	1	99	シカ	上腕骨R 変位	1	1	足入と同一種類含むか、1点ヤナ・白
N16	Ⅲ	1	99A	シカ	臼歯骨R	1	1	
N16	Ⅲ	1	99B	シカ	前中骨L	1	1	
N16	Ⅲ	1	99C	シカ	骨片		1	
N16	Ⅲ	2	99	シカ	骨片		1	
N19	Ⅲ	1	99A	シカ	前中骨	1	1	
N19	Ⅲ	1	99B	シカ	前中骨L 変位	1	1	
N19	Ⅲ	1	99C	シカ	踵骨L	1	1	
N19	Ⅲ	1	99D	シカ	前中骨L	1	1	
N19	Ⅲ	1	99E	シカ	骨片		1	
N19	Ⅲ	3	99	シカ	踵骨R 破片	1	1	1点ヤナ・白

梅川4 遺跡(3)

調査区	層位	取上番号	骨番号	分類	部位	個体数	点数	備考
N30	Ⅲ	1	99	シカ	骨片(鹿骨上, 鹿骨下)		6	
O27	Ⅲ	1	99A	シカ	鹿骨上	1	2	
O27	Ⅲ	1	99B	シカ	鹿骨上	1	2	
O28	Ⅲ	1	99A	シカ	上腕骨尺 遠位	1	1	
O28	Ⅲ	1	99B	シカ	踵骨尺	2	1	
O28	Ⅲ	1	99C	シカ	臼歯骨上	1	1	
O28	Ⅲ	1	99D	シカ	脛骨上 遠位	1	1	
O28	Ⅲ	1	99E	シカ	脛骨上	2	2	
O28	Ⅲ	1	99F	シカ	骨片(鹿骨下)	1	1	
O28	Ⅲ	1	99G	シカ	骨片	1	33	
O28	Ⅲ	2	99	シカ	踵骨尺	1	1	
O29	Ⅲ	1	99A	シカ	上腕骨尺 遠位	1	1	
O29	Ⅲ	1	99B	シカ	脛骨尺 遠位	1	1	
O29	Ⅲ	1	99C	シカ	骨片	1	1	
O29	Ⅲ	2	99A	シカ	上腕骨尺 F豆粒状化石3,M3上腕骨上 P3・4,M1~3	1	1	
O29	Ⅲ	2	99B	シカ	脛骨尺 遠位	1	1	
O29	Ⅲ	2	99C	シカ	踵骨尺	1	2	
O29	Ⅲ	2	99D	シカ	骨片(鹿骨下)	1	1	
O29	Ⅲ	2	99E	シカ	脛骨上 遠位	1	1	
O29	Ⅲ	2	99F	シカ	鹿骨上	1	1	
P22	Ⅲ	1	99	シカ	骨片 遠位	1	4	
P25	Ⅲ	1	99	シカ	臼歯骨尺	1	1	
P25	Ⅲ	4	99	シカ	臼歯骨尺	1	2	ナマノ
P27	Ⅲ	1	99	シカ	臼歯骨尺	1	2	
P27	Ⅲ	2	99A	シカ	踵骨尺	1	1	
P27	Ⅲ	3	99B	シカ	脛骨尺	1	1	
P27	Ⅲ	4	99	シカ	脛骨上 破片	1	1	解体積石
P28	Ⅲ	3	99	シカ	上腕骨上 遠位	1	1	
P28	Ⅲ	5	99	シカ	骨片	1	1	
P28	Ⅲ	6	99	シカ	脛骨上 遠位	1	9	
P28	Ⅲ	7	99	シカ	臼歯骨尺	1	25	
P28	Ⅲ	9	99A	シカ	臼歯骨尺	1	1	
P28	Ⅲ	9	99B	シカ	脛骨尺	1	1	
P28	Ⅲ	9	99C	シカ	踵骨尺	1	1	
P28	Ⅲ	10	99A	シカ	上腕骨尺	1	1	
P28	Ⅲ	10	99B	シカ	脛骨尺 遠位	1	1	
P28	Ⅲ	10	99C	シカ	骨片	1	7	
P28	Ⅲ	11	99	シカ	脛骨尺 遠位	1	1	
P28	Ⅲ	12	99	シカ	骨片	1	1	
P28	Ⅲ	13	99	シカ	骨片	1	2	
P28	Ⅲ	14	99	シカ	骨片	1	2	
P28	Ⅲ	15	99	シカ	骨片	1	4	
P28	Ⅲ	16	99	シカ	骨片	1	1	
P28	Ⅲ	17	99	シカ	骨片	1	1	
P28	Ⅲ	20	99	シカ	骨片	1	3	
P28	Ⅲ	21	99	シカ	骨片	1	1	
P28	Ⅲ	23	99	シカ	鹿骨上	1	1	
P28	Ⅲ	24	99	シカ	骨片	1	1	
P28	Ⅲ	25	99	シカ	骨片	1	2	
P28	Ⅲ	26	99	シカ	脛骨尺 破片	1	1	
P29	Ⅲ	3	99	シカ	脛骨上 遠位	1	1	
P30	Ⅲ	5	99	シカ	骨片	1	2	
Q16	Ⅲ	2	99	シカ	骨片	1	1	
Q25	Ⅲ	2	99	シカ	骨片	1	1	
Q25	Ⅲ	2	99	シカ	骨片	1	1	
Q25	Ⅲ	5	99	シカ	骨片	1	1	
Q27	Ⅲ	1	99	シカ	骨片	1	2	
R19	Ⅲ	3	99A	シカ	脛骨尺 遠位	1	1	
R19	Ⅲ	3	99B	シカ	踵骨尺	1	1	
R19	Ⅲ	3	99C	シカ	脛骨尺	1	1	
R25	Ⅲ	1	99	シカ	骨片	1	2	
R25	Ⅲ	7	99	シカ	骨片	1	1	
S17	Ⅲ	5	99	シカ	上腕骨上 破片	1	1	
S17	Ⅲ	9	99	シカ	臼歯骨尺	1	3	
S17	Ⅲ	13	99	シカ	踵骨尺 遠位	1	1	
S17	Ⅲ	18	99	シカ	脛骨上	1	1	
S17	Ⅲ	21	99	シカ	脛骨尺 遠位	1	1	
S17	Ⅲ	28	99	シカ	骨片	1	1	
S18	Ⅲ	3	99	シカ	脛骨上	1	10	
S18	Ⅲ	4	99	シカ	骨片	1	1	
S18	Ⅲ	7	99	シカ	脛骨尺	1	1	
S18	Ⅲ	8	99	シカ	脛骨上 遠位	1	1	
S18	Ⅲ	14	99	シカ	骨片	1	1	
S18	Ⅲ	25	99	シカ	脛骨尺	1	1	
S18	Ⅲ	26	99	シカ	上腕骨尺 遠位	1	1	
S18	Ⅲ	29	99	シカ	脛骨上 破片	1	1	
S18	Ⅲ	33	99	シカ	上腕骨尺 破片	1	2	
S18	Ⅲ	34	99	シカ	骨片	1	2	
S18	Ⅲ	63	99	シカ	踵骨尺	1	4	
S19	Ⅲ	11	99	シカ	鹿骨上	1	1	
S19	Ⅲ	17	99	シカ	骨片	1	1	
S19	Ⅲ	22	99	シカ	骨片	1	1	
T17	Ⅲ	3	99	シカ	脛骨尺	1	1	
T17	Ⅲ	3	99	シカ	脛骨上 下不明	1	1	
T17	Ⅲ	8	99	シカ	脛骨尺	1	2	
T17	Ⅲ	10	99	シカ	脛骨上 遠位	1	1	
T17	Ⅲ	30	99	シカ	骨片	1	2	
T19	Ⅲ	5	99	シカ	骨片	1	1	



## VI 自然科学的分析

### 1 梅川4遺跡における放射性炭素年代(AMS測定)

(株) 加速器分析研究所

#### (1) 遺跡の位置

梅川4遺跡は、北海道千歳市祝梅2047番地55ほか(北緯42°49'35"、東経141°41'40")に所在する。

#### (2) 測定の意義

梅川4遺跡平成18年度調査区(北理調報253)は、土坑・土坑墓の年代幅と年代、梅川4遺跡C地区(北理調報269)は、遺構の構築時期および土器型式の年代を明らかにする。

#### (3) 測定対象試料

測定対象試料は、梅川4遺跡平成18年度調査区の土坑・土坑墓から出土した木炭32点(U4A-1~7・9・11~21・23・25~28・31~37・39;IAAA-72133~72164)、梅川4遺跡C地区のVP-5覆土8層から出土した炭化物5点(No.21~25;IAAA-72185~72189)である。

#### (4) 化学処理工程

- 1) メス・ピンセットを使い、根・土等の表面的な不純物を取り除く。
- 2) AAA (Acid Alkali Acid) 処理。酸処理、アルカリ処理、酸処理により内面的な不純物を取り除く。最初の酸処理では1Nの塩酸(80℃)を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。アルカリ処理では0.001~1Nの水酸化ナトリウム水溶液(80℃)を用いて数時間処理する。その後、超純水で中性になるまで希釈する。最後の酸処理では1Nの塩酸(80℃)を用いて数時間処理した後、超純水で中性になるまで希釈し、90℃で乾燥する。希釈の際には、遠心分離機を使用する。
- 3) 試料を酸化銅1gと共に石英管に詰めて、真空下で封じ切り、500℃で30分、850℃で120分加熱する。
- 4) 液体窒素とエタノール・ドライアイスの温度差を利用し、真空ラインで二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を精製する。
- 5) 精製した二酸化炭素から鉄を触媒として炭素のみを抽出(水素で還元)し、グラファイトを作製する。
- 6) グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、加速器に装着し測定する。

#### (5) 測定方法

測定機器は、(株) 加速器分析研究所の<sup>14</sup>C-AMS専用装置を使用する。測定では、米国立標準局(NIST)から提供されたシュウ酸(HOx II)を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。また、加速器により<sup>13</sup>C/<sup>12</sup>Cの測定も同時に行う。

## (6) 算出方法

年代値の算出には、Libbyの半減期(5568年)を使用する。 $^{14}\text{C}$ 年代(Libby Age: yrBP)は、過去の大气中 $^{14}\text{C}$ 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年(0 yrBP)として遡る年代である。この値は、 $\delta^{13}\text{C}$ によって補正された値である。 $^{14}\text{C}$ 年代と誤差は、1桁目を四捨五入して10年単位で表示される。また、 $^{14}\text{C}$ 年代の誤差( $\pm 1\sigma$ )は、試料の $^{14}\text{C}$ 年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

同位体比は、いずれも基準値からのずれを千分偏差(‰; パーミル)で表される。 $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ 濃度を測定し、基準試料からのずれを計算する。測定には質量分析計あるいは加速器を用いる。加速器により $^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$ を測定した場合には表中に(加速器)と注記する。また、 $\Delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素が $\delta^{13}\text{C} = -25.0$ (‰)であるときの $^{14}\text{C}$ 濃度に換算した上で計算した値である。pMC(percent Modern Carbon)は、 $^{14}\text{C}$ 濃度の現代炭素に対する割合を示す。

年代が既知の試料の $^{14}\text{C}$ 濃度を元に描かれた校正曲線と照らし合わせ、過去の $^{14}\text{C}$ 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値を暦年校正年代という。暦年校正年代の計算では、IntCal04データベース(Reimer et al 2004)を用い、OxCalv3.10校正プログラム(Bronk Ransley1995 Bronk Ransley 2001 Bronk Ransley, van der Plicht and Weninger2001)を使用した。暦年校正年代は、 $^{14}\text{C}$ 年代に対応する校正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差( $1\sigma = 68.2\%$ )あるいは2標準偏差( $2\sigma = 95.4\%$ )で表示される。暦年校正プログラムに入力される値は、下一桁を四捨五入していない $^{14}\text{C}$ 年代値である。

## (7) 測定結果

平成18年度調査区 $^{14}\text{C}$ 年代は、H-1覆土から出土した木炭が $2570 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-1: IAAA-72133)である。P-4では、覆土下の木炭が $2580 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-2: IAAA-72134)、覆土中の木炭が $2540 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-3: IAAA-72135)である。P-25の木炭は $2480 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-4: IAAA-72136)である。P-29では、覆土下の木炭が $3090 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-5: IAAA-72137)、覆土上の木炭が $2560 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-6: IAAA-72138)である。P-31の木炭は $2520 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-7: IAAA-72139)、P-35の木炭が $2500 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-9: IAAA-72140)、P-56の木炭が $2470 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-11: IAAA-72141)である。P-64の木炭は $2590 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-12: IAAA-72142)、P-72の木炭が $2590 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-13: IAAA-72143)、P-75の木炭が $2530 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-14: IAAA-72144)である。P-97の木炭は $2600 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-15: IAAA-72145)、P-98の木炭が $2530 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-16: IAAA-72146)、P-99の木炭が $2530 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-17: IAAA-72147)である。P-105では、底面出土の木炭が $4170 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-18: IAAA-72148)、覆土上の木炭が $2460 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-19: IAAA-72149)である。P-111の木炭は $2500 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-20: IAAA-72150)、P-113の木炭が $2490 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-21: IAAA-72151)、P-133の木炭が $2580 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-23: IAAA-72152)である。P-134の木炭は $2540 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-25: IAAA-72153)、P-136の木炭が $2510 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-26: IAAA-72154)、P-139の木炭が $2540 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-27: IAAA-72155)である。P-145の木炭は $2620 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-28: IAAA-72156)、P-148の木炭が $2510 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-31: IAAA-72157)、P-152の木炭が $2500 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-32: IAAA-72158)である。P-154の木炭は $2550 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-33: IAAA-72159)、P-155の木炭が $2600 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-34: IAAA-72160)、P-158の木炭が $2550 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-35: IAAA-72161)である。P-164の木炭は $2550 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-36: IAAA-72162)、P-170の木炭が $2540 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-37: IAAA-72163)、P-220の木炭が $3940 \pm 30\text{yrBP}$ (U4A-39: IAAA-72164)である。

暦年校正年代 ( $1\sigma$ ) は、U4A-19が750~410BC、U4A-3・4・6・7・9・11・14・16・17・20・21・25~27・31~33・35~37が800~510BC、U4A-1・2・12・13・15・23・28・34が810~765BC、U4A-5が1410~1315BC、U4A-39が2490~2340BC、U4A-18が2880~2690BCに含まれる。縄文時代晩期後葉を主体とする。試料の炭素含有率は十分であり、化学処理および測定内容にも問題が無いことから、妥当な年代と考えられる。

C地区VP-5覆土8層から出土した炭化物5点の $^{14}\text{C}$ 年代は4120 $\pm$ 30yrBP (No.21: IAAA-72185)、4130 $\pm$ 30yrBP (No.22: IAAA-72186)、4030 $\pm$ 40yrBP (No.23: IAAA-72187)、4080 $\pm$ 30yrBP (No.24: IAAA-72188)、4020 $\pm$ 30yrBP (No.25: IAAA-72189) である。

暦年校正年代 ( $1\sigma = 68.2\%$ ) は、No.21が2860~2810BC(20.7%)・2750~2720BC(10.8%)・2700~2620BC(36.6%)、No.22が2860~2830BC(13.5%)・2820~2800BC(5.3%)・2760~2620BC(49.4%)、No.23が2580~2485BC、No.24が2840~2810BC(9.1%)・2670~2560BC(53.1%)・2520~2500BC(6.0%)、No.25が2580~2545BC(23.4%)・2540~2485BC(44.8%)である。試料の炭素含有率は60~70%と十分であり、化学処理および測定内容にも問題が無いことから、妥当な年代と考えられる。

#### 参考文献

- Stuiver M. and Polash H.A. 1977 Discussion: Reporting of  $^{14}\text{C}$  data, *Radiocarbon* 19, 355-363
- Bronk Ramsey C. 1995 Radiocarbon calibration and analysis of stratigraphy: the OxCal Program, *Radiocarbon* 37(2), 425-430
- Bronk Ramsey C. 2001 Development of the Radiocarbon Program OxCal, *Radiocarbon* 43(2A), 355-363
- Bronk Ramsey C., van der Plicht J. and Weninger B. 2001 Wiggle Matching' radiocarbon dates, *Radiocarbon* 43(2A), 381-389
- Reimer, P.J. et al. 2004 IntCal04 terrestrial radiocarbon age calibration, 0-26cal kyr BP, *Radiocarbon* 46, 1029-1058

表1 測定試料の $^{14}\text{C}$ 年代および炭素の同位体比

IAA Code No.	試料	BP年代および炭素の同位体比
IAAA-72133 #2039-1	試料採取場所: 北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4遺跡(H18) H-1 覆土 試料形態: 木炭 試料名(番号): U4A-1	Libby Age (yrBP) : 2,570 $\pm$ 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰), (加速器) = -28.36 $\pm$ 0.59 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -274.2 $\pm$ 2.3 pMC (%) = 72.58 $\pm$ 0.23
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -279.2 $\pm$ 2.1 pMC (%) = 72.08 $\pm$ 0.21 Age (yrBP) : 2,630 $\pm$ 20
IAAA-72134 #2039-2	試料採取場所: 北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4遺跡(H18) P-4 覆土下 試料形態: 木炭 試料名(番号): U4A-2	Libby Age (yrBP) : 2,580 $\pm$ 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰), (加速器) = -24.18 $\pm$ 0.64 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -274.8 $\pm$ 2.4 pMC (%) = 72.52 $\pm$ 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -273.6 $\pm$ 2.2 pMC (%) = 72.64 $\pm$ 0.22 Age (yrBP) : 2,570 $\pm$ 20

IAA Code No.	試料	BP年代および炭素の同位体比
IAAA-72135 #2039-3	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡 (H18) P-4 覆土中 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-3	Libby Age (yrBP) : 2,540 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -28.89 ± 0.56 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -271.4 ± 2.3 pMC (%) = 72.86 ± 0.23
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -277.2 ± 2.1 pMC (%) = 72.28 ± 0.21 Age (yrBP) : 2,610 ± 20
IAAA-72136 #2039-4	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡 (H18) P-25 覆土上 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-4	Libby Age (yrBP) : 2,480 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -25.88 ± 0.43 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -265.6 ± 2.3 pMC (%) = 73.44 ± 0.23
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -266.9 ± 2.2 pMC (%) = 73.31 ± 0.22 Age (yrBP) : 2,490 ± 20
IAAA-72137 #2039-5	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡 (H18) P-29 覆土下 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-5	Libby Age (yrBP) : 3,090 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -25.89 ± 0.35 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -319.0 ± 2.2 pMC (%) = 68.10 ± 0.22
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -320.2 ± 2.1 pMC (%) = 67.98 ± 0.21 Age (yrBP) : 3,100 ± 30
IAAA-72138 #2039-6	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡 (H18) P-29 覆土上 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-6	Libby Age (yrBP) : 2,560 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -24.51 ± 0.50 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -272.5 ± 2.4 pMC (%) = 72.75 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -271.8 ± 2.3 pMC (%) = 72.82 ± 0.23 Age (yrBP) : 2,550 ± 30
IAAA-72139 #2039-7	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡 (H18) P-31 覆土 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-7	Libby Age (yrBP) : 2,520 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -23.25 ± 0.62 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -269.3 ± 2.3 pMC (%) = 73.07 ± 0.23
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -266.7 ± 2.1 pMC (%) = 73.33 ± 0.21 Age (yrBP) : 2,490 ± 20

IAA Code No.	試料	BP年代および炭素の同位体比
IAAA-72140 #2039-8	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4遺跡(H18) P-35 覆土 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-9	Libby Age (yrBP) : 2,500 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -25.98 ± 0.37 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -267.8 ± 2.4 pMC (%) = 73.22 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -269.3 ± 2.3 pMC (%) = 73.07 ± 0.23 Age (yrBP) : 2,520 ± 30
IAAA-72141 #2039-9	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4遺跡(H18) P-56 覆土 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-11	Libby Age (yrBP) : 2,470 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -28.78 ± 0.76 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -264.4 ± 2.5 pMC (%) = 73.56 ± 0.25
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -270.1 ± 2.2 pMC (%) = 72.99 ± 0.22 Age (yrBP) : 2,530 ± 20
IAAA-72142 #2039-10	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4遺跡(H18) P-64 覆土 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-12	Libby Age (yrBP) : 2,590 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = 25.95 ± 0.41 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = 276.1 ± 2.4 pMC (%) = 72.39 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -277.5 ± 2.3 pMC (%) = 72.25 ± 0.23 Age (yrBP) : 2,610 ± 30
IAAA-72143 #2039-11	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4遺跡(H18) P-72 覆土 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-13	Libby Age (yrBP) : 2,590 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = 26.80 ± 0.70 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -275.4 ± 2.4 pMC (%) = 72.46 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -278.1 ± 2.2 pMC (%) = 72.19 ± 0.22 Age (yrBP) : 2,620 ± 20
IAAA-72144 #2039-12	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4遺跡(H18) P-75 覆土 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-14	Libby Age (yrBP) : 2,530 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = 24.49 ± 0.52 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = 270.4 ± 2.4 pMC (%) = 72.96 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -269.6 ± 2.2 pMC (%) = 73.04 ± 0.22 Age (yrBP) : 2,520 ± 30

IAA Code No.	試料	BP年代および炭素の同位体比
IAAA-72145 #2039-13	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 遺跡 (H18) P-97 覆土 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-15	Libby Age (yrBP) : 2,600 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -24.20 ± 0.37 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -276.2 ± 2.3 pMC (%) = 72.38 ± 0.23
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -275.1 ± 2.3 pMC (%) = 72.49 ± 0.23 Age (yrBP) : 2,580 ± 30
IAAA-72146 #2039-14	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 遺跡 (H18) P-98 覆土 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-16	Libby Age (yrBP) : 2,530 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -25.05 ± 0.76 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -270.6 ± 2.4 pMC (%) = 72.94 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -270.7 ± 2.1 pMC (%) = 72.93 ± 0.21 Age (yrBP) : 2,540 ± 20
IAAA-72147 #2039-15	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 遺跡 (H18) P-99 覆土 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-17	Libby Age (yrBP) : 2,530 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = 23.98 ± 0.37 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -270.3 ± 2.4 pMC (%) = 72.97 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = 268.8 ± 2.4 pMC (%) = 73.12 ± 0.24 Age (yrBP) : 2,510 ± 30
IAAA-72148 #2039-16	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 遺跡 (H18) P-105 底面 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-18	Libby Age (yrBP) : 4,170 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -26.98 ± 0.57 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -405.3 ± 2.0 pMC (%) = 59.47 ± 0.20
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -407.7 ± 1.9 pMC (%) = 59.23 ± 0.19 Age (yrBP) : 4,210 ± 30
IAAA-72149 #2039-17	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 遺跡 (H18) P-105 覆土上 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-19	Libby Age (yrBP) : 2,460 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -26.72 ± 0.69 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -263.4 ± 2.4 pMC (%) = 73.66 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -266.0 ± 2.1 pMC (%) = 73.40 ± 0.21 Age (yrBP) : 2,480 ± 20

IAA Code No.	試料	BP年代および炭素の同位体比
IAAA-72150 #2039-18	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4遺跡(H18) P-111 覆土 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-20	Libby Age (yrBP) : 2,500 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -24.12 ± 0.55 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -267.7 ± 2.4 pMC (%) = 73.23 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -266.4 ± 2.3 pMC (%) = 73.36 ± 0.23 Age (yrBP) : 2,490 ± 30
IAAA-72151 #2039-19	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4遺跡(H18) P-113 覆土下 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-21	Libby Age (yrBP) : 2,490 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -27.63 ± 0.68 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -266.2 ± 2.4 pMC (%) = 73.38 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -270.1 ± 2.2 pMC (%) = 72.99 ± 0.22 Age (yrBP) : 2,530 ± 20
IAAA-72152 #2039-20	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4遺跡(H18) P-133 底面 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-23	Libby Age (yrBP) : 2,580 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -27.68 ± 0.37 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -274.6 ± 2.3 pMC (%) = 72.54 ± 0.23
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -278.6 ± 2.3 pMC (%) = 72.14 ± 0.23 Age (yrBP) : 2,620 ± 30
IAAA-72153 #2039-21	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4遺跡(H18) P-134 覆土中 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-25	Libby Age (yrBP) : 2,540 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -23.84 ± 0.48 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -271.4 ± 2.3 pMC (%) = 72.86 ± 0.23
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -269.6 ± 2.2 pMC (%) = 73.04 ± 0.22 Age (yrBP) : 2,520 ± 20
IAAA-72154 #2039-22	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4遺跡(H18) P-136 覆土上 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-26	Libby Age (yrBP) : 2,510 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -27.60 ± 0.41 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -268.0 ± 2.4 pMC (%) = 73.20 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -271.9 ± 2.3 pMC (%) = 72.81 ± 0.23 Age (yrBP) : 2,550 ± 30

IAA Code No.	試料	BP年代および炭素の同位体比
IAAA-72155 #2039-23	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡 (H18) P-139 覆土 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-27	Libby Age (yrBP) : 2,540 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -25.74 ± 0.60 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -271.3 ± 2.3 pMC (%) = 72.87 ± 0.23
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -272.4 ± 2.1 pMC (%) = 72.76 ± 0.21 Age (yrBP) : 2,550 ± 20
IAAA-72156 #2039-24	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡 (H18) P-145 覆土下 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-28	Libby Age (yrBP) : 2,620 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -23.92 ± 0.34 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -278.1 ± 2.3 pMC (%) = 72.19 ± 0.23
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -276.5 ± 2.3 pMC (%) = 72.35 ± 0.23 Age (yrBP) : 2,600 ± 30
IAAA-72157 #2039-25	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡 (H18) P-148 覆土上 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-31	Libby Age (yrBP) : 2,510 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -26.23 ± 0.72 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -268.5 ± 2.4 pMC (%) = 73.15 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -270.3 ± 2.2 pMC (%) = 72.97 ± 0.22 Age (yrBP) : 2,530 ± 20
IAAA-72158 #2039-26	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡 (H18) P-152 覆土下 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-32	Libby Age (yrBP) : 2,500 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -29.57 ± 0.67 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -267.4 ± 2.4 pMC (%) = 73.26 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -274.2 ± 2.2 pMC (%) = 72.58 ± 0.22 Age (yrBP) : 2,570 ± 20
IAAA-72159 #2039-27	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡 (H18) P-154 覆土下 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-33	Libby Age (yrBP) : 2,550 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -24.77 ± 0.72 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -271.6 ± 2.4 pMC (%) = 72.84 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -271.2 ± 2.1 pMC (%) = 72.88 ± 0.21 Age (yrBP) : 2,540 ± 20



IAA Code No.	試料	BP年代および炭素の同位体比
IAAA-72160 #2039-28	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 A道跡 (H18) P-155 覆土 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-34	Libby Age (yrBP) : 2,600 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -24.79 ± 0.38 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -276.6 ± 2.4 pMC (%) = 72.34 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -276.3 ± 2.3 pMC (%) = 72.37 ± 0.23 Age (yrBP) : 2,600 ± 30
IAAA-72161 #2039-29	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡 (H18) P-158 覆土下 試料形態：3木炭 試料名(番号)：U4A-35	Libby Age (yrBP) : 2,550 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -26.44 ± 0.41 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -272.4 ± 2.4 pMC (%) = 72.76 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -274.5 ± 2.3 pMC (%) = 72.55 ± 0.23 Age (yrBP) : 2,580 ± 30
IAAA-72162 #2039-30	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡 (H18) P-164 覆土中 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-36	Libby Age (yrBP) : 2,550 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -23.59 ± 0.36 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -271.6 ± 2.4 pMC (%) = 72.84 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -269.5 ± 2.3 pMC (%) = 73.05 ± 0.23 Age (yrBP) : 2,520 ± 30
IAAA-72163 #2039-31	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡 (H18) P-170 覆土 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-37	Libby Age (yrBP) : 2,540 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -21.69 ± 0.86 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -271.4 ± 2.4 pMC (%) = 72.86 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -266.4 ± 2.1 pMC (%) = 73.36 ± 0.21 Age (yrBP) : 2,490 ± 20
IAAA-72164 #2039-32	試料採取場所：北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡 (H18) P-220 覆土下 試料形態：木炭 試料名(番号)：U4A-39	Libby Age (yrBP) : 3,940 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -24.42 ± 0.35 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -387.7 ± 1.9 pMC (%) = 61.23 ± 0.19
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -387.0 ± 1.9 pMC (%) = 61.30 ± 0.19 Age (yrBP) : 3,930 ± 30

IAA Code No.	試料	BP年代および炭素の同位体比
IAAA-72185 #2041-1	試料採取場所: 北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡C地区 VP-5 覆土8層 試料形態: 炭化物 試料名(番号): No. 21	Libby Age (yrBP) : 4,120 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -27.57 ± 0.45 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -401.2 ± 2.4 pMC (%) = 59.88 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -404.3 ± 2.4 pMC (%) = 59.57 ± 0.24 Age (yrBP) : 4,160 ± 30
IAAA-72186 #2041-2	試料採取場所: 北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡C地区 VP-5 覆土8層 試料形態: 炭化物 試料名(番号): No. 22	Libby Age (yrBP) : 4,130 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -24.24 ± 0.28 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -402.1 ± 2.3 pMC (%) = 59.79 ± 0.23
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -401.2 ± 2.3 pMC (%) = 59.88 ± 0.23 Age (yrBP) : 4,120 ± 30
IAAA-72187 #2041-3	試料採取場所: 北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡C地区 VP-5 覆土8層 試料形態: 炭化物 試料名(番号): No. 23	Libby Age (yrBP) : 4,030 ± 40 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -34.10 ± 0.37 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -394.4 ± 2.6 pMC (%) = 60.56 ± 0.26
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -405.6 ± 2.5 pMC (%) = 59.44 ± 0.25 Age (yrBP) : 4,180 ± 30
IAAA-72188 #2041-4	試料採取場所: 北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡C地区 VP-5 覆土8層 試料形態: 炭化物 試料名(番号): No. 24	Libby Age (yrBP) : 4,080 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -28.01 ± 0.51 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -397.9 ± 2.4 pMC (%) = 60.21 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -401.6 ± 2.3 pMC (%) = 59.84 ± 0.23 Age (yrBP) : 4,130 ± 30
IAAA-72189 #2041-5	試料採取場所: 北海道千歳市祝梅2047-55ほか 梅川4 道跡C地区 VP-5 覆土8層 試料形態: 炭化物 試料名(番号): No. 25	Libby Age (yrBP) : 4,020 ± 30 $\delta^{13}\text{C}$ (‰)、(加速器) = -28.04 ± 0.34 $\Delta^{14}\text{C}$ (‰) = -394.1 ± 2.4 pMC (%) = 60.59 ± 0.24
	(参考) $\delta^{13}\text{C}$ の補正無し	$\delta^{14}\text{C}$ (‰) = -397.9 ± 2.4 pMC (%) = 60.21 ± 0.24 Age (yrBP) : 4,070 ± 30

表2 放射性炭素年代測定および暦年代較正の結果

試料番号	試料	出土地点	層位	Code No.	前処理	暦年較正用 (yrBP・丸め 込みなし)	暦年較正 1 $\sigma$ (yrca1BP)	暦年較正 2 $\sigma$ (yrca1BP)
U4A-1	木炭	H-1	覆土	IAAA-72133	AAA	2574 $\pm$ 25	800-765BC(68.2%)	810-750BC(83.8%) 690-660BC( 9.4%) 620-590BC( 2.2%)
U4A-2	木炭	P-4	覆土下	IAAA-72134	AAA	2581 $\pm$ 26	800-770BC(68.2%)	810-750BC(87.2%) 690-660BC( 7.2%) 610-590BC( 1.0%)
U4A-3	木炭	P-4	覆土中	IAAA-72135	AAA	2543 $\pm$ 25	800-750BC(42.8%) 690-660BC(17.1%) 640-590BC( 8.4%)	800-740BC(46.1%) 690-660BC(19.2%) 650-550BC(30.1%)
U4A-4	木炭	P-25	覆土上	IAAA-72136	AAA	2479 $\pm$ 24	760-720BC(13.0%) 700-680BC( 3.5%) 670-610BC(25.1%) 600-540BC(26.6%)	770-500BC(93.7%) 440-410BC( 1.7%)
U4A-5	木炭	P-29	覆土下	IAAA-72137	AAA	3085 $\pm$ 25	1410-1365BC(39.1%) 1350-1315BC(29.1%)	1430-1290BC(95.4%)
U4A-6	木炭	P-29	覆土上	IAAA-72138	AAA	2555 $\pm$ 26	800-750BC(54.7%) 690-660BC(13.5%)	800-740BC(60.1%) 690-660BC(16.8%) 650-550BC(18.6%)
U4A-7	木炭	P-31	覆土	IAAA-72139	AAA	2520 $\pm$ 25	780-740BC(17.3%) 690-660BC(14.9%) 650-590BC(30.4%) 580-560BC( 5.5%)	790-730BC(26.4%) 700-540BC(69.0%)
U4A-9	木炭	P-35	覆土	IAAA-72140	AAA	2504 $\pm$ 25	770-740BC( 9.8%) 690-660BC( 9.1%) 650-550BC(49.3%)	780-530BC(95.4%)
U4A-11	木炭	P-56	覆土	IAAA-72141	AAA	2466 $\pm$ 27	760-680BC(26.4%) 670-610BC(13.7%) 600-510BC(28.1%)	760-680BC(29.0%) 670-480BC(57.2%) 470-410BC( 9.2%)
U4A-12	木炭	P-64	覆土	IAAA-72142	AAA	2594 $\pm$ 26	805-775BC(68.2%)	820-760BC(92.9%) 680-670BC( 2.5%)
U4A-13	木炭	P-72	覆土	IAAA-72143	AAA	2588 $\pm$ 26	800-775BC(68.2%)	810-750BC(91.0%) 690-670BC(4.4%)
U4A-14	木炭	P-75	覆土	IAAA-72144	AAA	2532 $\pm$ 26	790-750BC(29.3%) 690-660BC(16.5%) 640-590BC(22.4%)	800-730BC(34.4%) 690-660BC(18.8%) 650-540BC(42.2%)
U4A-15	木炭	P-97	覆土	IAAA-72145	AAA	2597 $\pm$ 25	805-780BC(68.2%)	820-760BC(95.4%)

試料番号	試料	出土地点	層位	Code No.	前処理	暦年較正用 (yrBP・丸め 込みなし)	暦年較正 1 $\sigma$ (yrca1BP)	暦年較正 2 $\sigma$ (yrca1BP)
U4A-16	木炭	P-98	覆土	IAAA-72146	AAA	2534 $\pm$ 26	790-750BC(31.8%) 690-660BC(16.8%) 640-590BC(19.6%)	800-730BC(36.1%) 690-660BC(18.9%) 650-540BC(40.4%)
U4A-17	木炭	P-99	覆土	IAAA-72147	AAA	2531 $\pm$ 26	790-740BC(28.2%) 690-660BC(16.2%) 640-590BC(23.9%)	800-730BC(33.7%) 690-660BC(18.7%) 650-540BC(43.0%)
U4A-18	木炭	P-105	底面	IAAA-72148	AAA	4174 $\pm$ 27	2880-2850BC(12.4%) 2820-2740BC(40.2%) 2730-2690BC(15.6%)	2890-2830BC(20.4%) 2820-2660BC(75.0%)
U4A-19	木炭	P-105	覆土上	IAAA-72149	AAA	2455 $\pm$ 25	750-680BC(26.7%) 670-640BC( 8.6%) 590-570BC( 2.5%) 560-490BC(20.5%) 470-450BC( 3.0%) 440-410BC( 6.9%)	760-680BC(27.7%) 670-610BC(13.9%) 600-410BC(53.8%)
U4A-20	木炭	P-111	覆土	IAAA-72150	AAA	2503 $\pm$ 26	770-740BC( 9.4%) 690-660BC( 8.7%) 650-550BC(50.1%)	780-520BC(95.4%)
U4A-21	木炭	P-113	覆土下	IAAA-72151	AAA	2486 $\pm$ 26	760-730BC(11.8%) 700-680BC( 3.1%) 670-540BC(53.3%)	780-500BC(95.4%)
U4A-23	木炭	P-133	底面	IAAA-72152	AAA	2578 $\pm$ 25	800-770BC(68.2%)	810-750BC(87.6%) 690-660BC( 7.8%)
U4A-25	木炭	P-134	覆土中	IAAA-72153	AAA	2543 $\pm$ 25	800-750BC(42.8%) 690-660BC(17.1%) 640-590BC( 8.4%)	800-740BC(46.1%) 690-660BC(19.2%) 650-550BC(30.1%)
U4A-26	木炭	P-136	覆土上	IAAA-72154	AAA	2505 $\pm$ 26	770-740BC(10.1%) 690-660BC( 9.9%) 650-550BC(48.1%)	790-530BC(95.4%)
U4A-27	木炭	P-139	覆土	IAAA-72155	AAA	2542 $\pm$ 25	800-750BC(41.3%) 690-660BC(17.1%) 640-590BC( 9.8%)	800-740BC(44.9%) 690-660BC(19.3%) 650-550BC(31.2%)
U4A-28	木炭	P-145	覆土下	IAAA-72156	AAA	2617 $\pm$ 25	810-790BC(68.2%)	825-770BC(95.4%)
U4A-31	木炭	P-148	覆土上	IAAA-72157	AAA	2511 $\pm$ 26	770-740BC(12.0%) 690-660BC(12.9%) 650-550BC(43.3%)	790-710BC(23.7%) 700-530BC(71.7%)

試料番号	試料	出土地点	層位	Code No.	前処理	暦年較正用 (yrBP・丸め 込みなし)	暦年較正 $1\sigma$ (yrca1BP)	暦年較正 $2\sigma$ (yrca1BP)
U4A-32	木炭	P-152	覆土下	IAAA-72158	AAA	2499±26	770-740BC( 9.8%) 690-660BC( 7.1%) 650-540BC(51.2%)	780-520BC(95.4%)
U4A-33	木炭	P-154	覆土下	IAAA-72159	AAA	2545±26	800-750BC(43.6%) 690-660BC(16.5%) 640-590BC( 8.1%)	800-740BC(47.4%) 690-660BC(18.7%) 650-550BC(29.4%)
U4A-34	木炭	P-155	覆土	IAAA-72160	AAA	2601±26	805-780BC(68.2%)	820-760BC(95.4%)
U4A-35	木炭	P-158	覆土下	IAAA-72161	AAA	2554±26	800-750BC(53.7%) 690-660BC(14.5%)	800-740BC(58.9%) 690-660BC(17.0%) 650-550BC(19.4%)
U4A-36	木炭	P-164	覆土中	IAAA-72162	AAA	2546±26	800-750BC(44.4%) 690-660BC(16.3%) 620-590BC( 7.4%)	800-740BC(48.5%) 690-660BC(18.5%) 650-550BC(28.3%)
U4A-37	木炭	P-170	覆土	IAAA-72163	AAA	2543±26	800-750BC(41.1%) 690-660BC(16.5%) 640-590BC(10.7%)	800-740BC(45.0%) 690-660BC(18.9%) 650-550BC(31.5%)
U4A-39	木炭	P-220	覆土下	IAAA-72164	AAA	3940±25	2490-2430BC(39.1%) 2420-2400BC(11.2%) 2380-2340BC(17.9%)	2570-2530BC( 6.9%) 2500-2340BC(88.5%)
No.21	炭化物	VP-5	覆土8	IAAA-72185	AAA	4119±32	2860-2810BC(20.7%) 2750-2720BC(10.8%) 2700-2620BC(36.6%)	2870-2800BC(24.8%) 2780-2570BC(70.6%)
No.22	炭化物	VP-5	覆土8	IAAA-72186	AAA	4132±31	2860-2830BC(13.5%) 2820-2800BC( 5.3%) 2760-2620BC(49.4%)	2880-2580BC(95.4%)
No.23	炭化物	VP-5	覆土8	IAAA-72187	AAA	4028±34	2580-2485BC(68.2%)	2830-2820BC( 1.4%) 2630-2460BC(94.0%)
No.24	炭化物	VP-5	覆土8	IAAA-72188	AAA	4075±32	2840-2810BC( 9.1%) 2670-2560BC(53.1%) 2520-2500BC( 6.0%)	2880-2810BC(14.6%) 2750-2720BC( 3.7%) 2700-2560BC(64.8%) 2540-2490BC(12.3%)
No.25	炭化物	VP-5	覆土8	IAAA-72189	AAA	4024±32	2580-2545BC(23.4%) 2540-2485BC(44.8%)	2630-2470BC(95.4%)

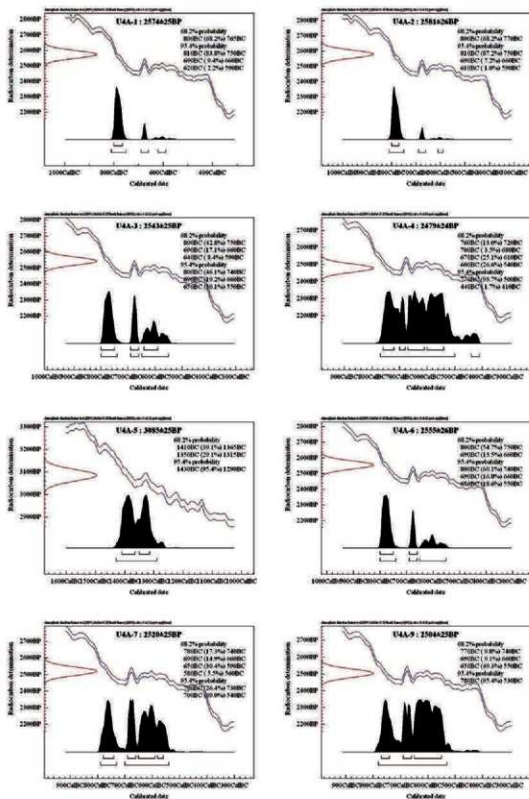


図1 暦年較正年代グラフ(1)

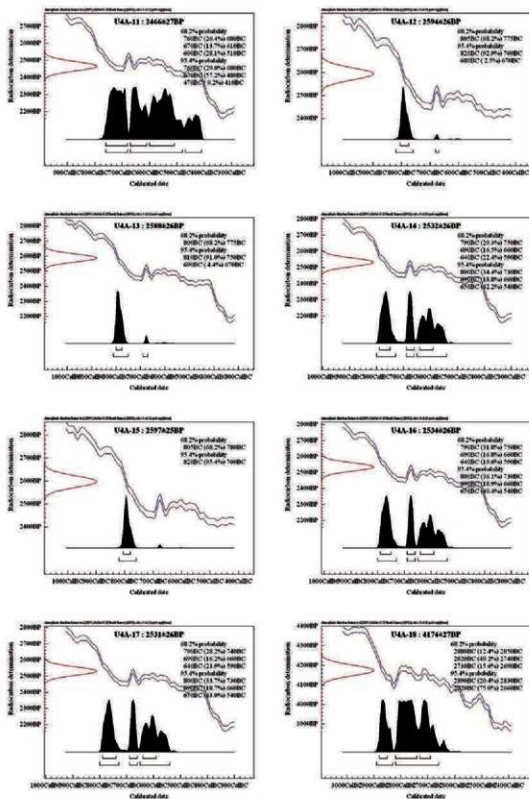


図2 暦年較正年代グラフ(2)





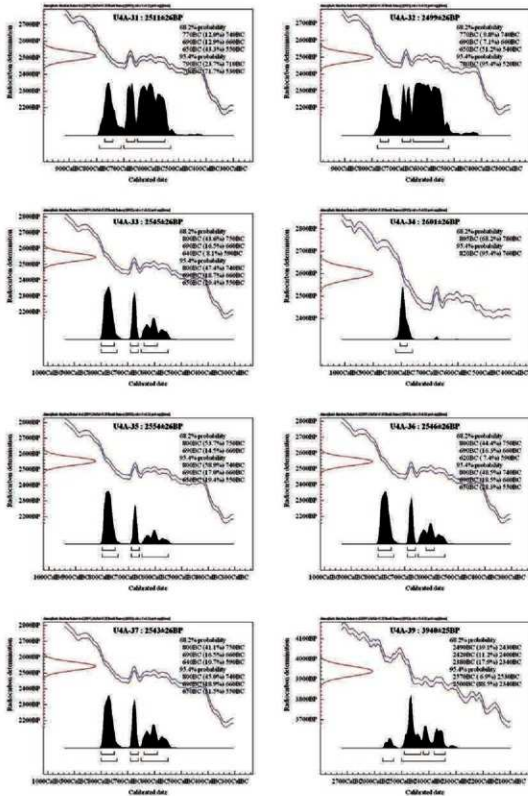


図4 暦年較正年代グラフ(4)

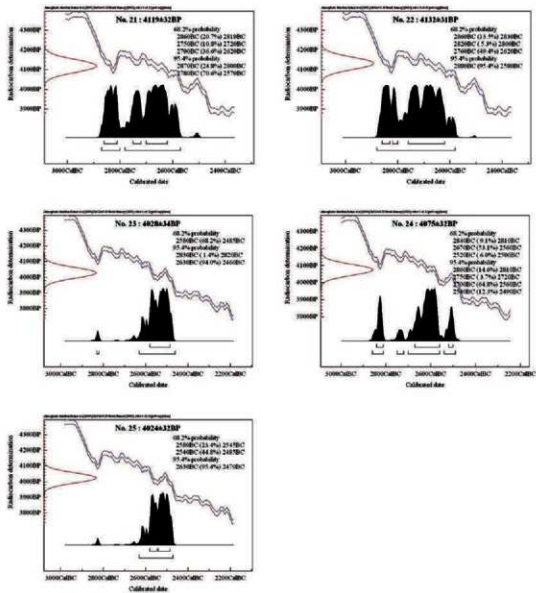


図5 暦年較正年代グラフ(5)

## 2 黒曜石原産地同定（梅川4遺跡）

（第四紀）地質研究所

### （1）実験条件

分析はエネルギー分散型蛍光X線分析装置（日本電子製J SX-3200）で行った。

この分析装置は標準試料を必要としないファンダメンタルパラメータ法（FP法）による自動定量計算システムが採用されており、6 C～92 Uまでの元素分析ができ、ハイパワーX線源（最大30kV、4 mA）の採用で微量試料～最大290mmφ×80mmHまでの大型試料の測定が可能である。小形試料では16試料自動交換機構により連続して分析できる。分析はバルクFP法でおこなった。FP法とは試料を構成する全元素の種類と濃度、X線源のスペクトル分布、装置の光学系、各元素の質量吸収係数など装置定数や物性値を用いて、試料から発生する各元素の理論強度を計算する方法である。

実験条件はバルクFP法（スタンダードドレス方式）、分析雰囲気=真空、X線管ターゲット素材=Rh、加速電圧=30kV、管電流=自動制御、分析時間=200秒（有効分析時間）である。

分析対象元素はSi, Ti, Al, Fe, Mn, Mg, Ca, Na, K, P, Rb, Sr, Y, Zrの14元素、分析値は黒曜石の含水量=0と仮定し、酸化物の重量%を100%にノーマライズし、表示した。

地質学的には分析値の重量%は小数点以下2桁で表示することになっているが、微量元素のRb, Sr, Y, Zrは重量%では小数点以下3～4桁の微量となり、小数点以下2桁では0と表示される。ここでは分析装置のソフトにより計算された小数点以下4桁を用いて化学分析結果を表示した。

主要元素と微量元素の酸化物濃度（重量%）でSiO<sub>2</sub>-Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>, Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>-TiO<sub>2</sub>, K<sub>2</sub>O-CaOの各相関図、Rb-Srは積分強度の相関図の4組の組み合わせで図を作成した。

### （2）分析結果

梅川4遺跡出土黒曜石遺物の分析結果は第1表化学分析表に示すとおりである。分析結果に基づいてSiO<sub>2</sub>-Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>, Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>-TiO<sub>2</sub>, K<sub>2</sub>O-CaO, Rb-Srの各図を作製した。分析数が多いので出土地点でわけて図に記載し、産地同定を行った。同定結果に基づいて第2表原産地対比表を作成した。表は出土地点ごとで分けて検討し、産地分類を行った。

- 1) 剥片集中1の遺物は216点分析した。分析結果によると216点のうち201点が赤石山Ⅲであり、弱被熱のために産地が同定できないものが10点、TiO<sub>2</sub>（酸化チタン）の含有量が高い異質なものが5点である。
- 2) 剥片集中2は21点分析し、20点が赤石山Ⅲであり、1点が赤井川？弱被熱である。
- 3) 剥片石器集中1は5点すべてが赤石山Ⅲである。
- 4) 住居跡（ⅢH）、土坑（ⅢP）および包含層の出土遺物は48点分析した。分析結果では剥片集中1、剥片集中2、剥片石器集中1と傾向が異なり、原産地は多種にわたる。全体で最も多く検出されたのは赤石山Ⅱタイプで48点中18点である。赤石山Ⅱタイプはナシハダ状の十勝石沢タイプであるが、ここではナシハダ状ではなく比較的透明感のある材質で、原石は採取していないがこのようなタイプがあるのかもしれない。次いで、赤石山Ⅲが12点、赤井川産は3点、赤井川産で弱被熱しているものが4点、豊浦が2点、所山産（石鑑）と生田原が1点である。被熱して原産地が特定できないものがあり、そのうち強被熱したものが5点（石鑑は3点）、弱被熱したものは3点（石鑑は1点）である。













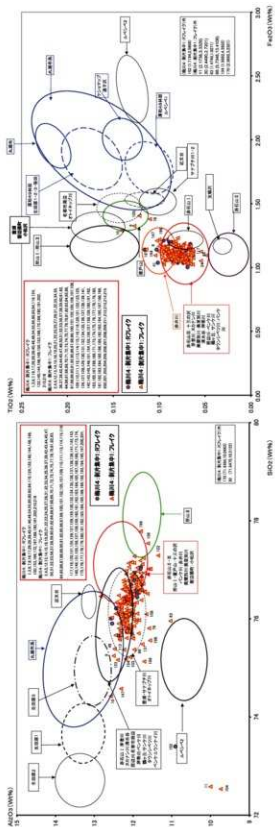
試料名	遺構・ プラン	遺物番号	層位	分類	原産地	備考	試料名	遺構・ プラン	遺物番号	層位	分類	原産地	備考	
U-180	30号集中1	166	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-226	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		
U-182	30号集中1	167	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-227	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		
U-183	30号集中1	170	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-228	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		
U-184	30号集中1	171	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-229	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		
U-185	30号集中1	172	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-230	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		
U-186	30号集中1	173	Ⅲ	長フレイト	赤石山		U-231	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		
U-187	30号集中1	174	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-232	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		
U-188	30号集中1	175	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-233	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山	2点複合状態	
U-189	30号集中1	176	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-234	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		
U-170	30号集中1	177	Ⅲ	フレイト	T100・前段熱		U-235	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		
U-171	30号集中1	128	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-236	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		
U-172	30号集中1	179	Ⅲ	長フレイト	赤石山		U-237	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山?		
U-173	30号集中1	180	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-238	30号石山集中1	1	Ⅲ	ナイフ状石函	赤石山		
U-174	30号集中1	181	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-239	30号石山集中1	2	Ⅲ	スズレイバー	赤石山		
U-175	30号集中1	182	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-240	30号石山集中1	3	Ⅲ	スズレイバー	赤石山		
U-176	30号集中1	183	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-241	30号石山集中1	4	Ⅲ	スズレイバー	赤石山		
U-177	30号集中1	184	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-242	30号石山集中1	5	Ⅲ	長フレイト	赤石山		
U-178	30号集中1	185	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-243	30号P-55	20	Ⅲ	瓦	赤石山		
U-179	30号集中1	186	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-244	30号P-55	21	Ⅲ	瓦	赤石山		
U-180	30号集中1	187	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-245	30号P-55	22	Ⅲ	瓦	赤石山		
U-181	30号集中1	188	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-246	30号P-55	23	Ⅲ	瓦	赤石山		
U-182	30号集中1	189	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-247	30号P-55	24	Ⅲ	瓦	赤石山		
U-183	30号集中1	190	Ⅲ	フレイト	赤石山	20号と複合	U-248	30号P-55	25	Ⅲ	瓦	赤石山		
U-184	30号集中1	192	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-249	30号P-55	26	Ⅲ	瓦	赤石山		
U-185	30号集中1	193	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-250	30号P-55	27	Ⅲ	瓦	赤石山		
U-186	30号集中1	194	Ⅲ	フレイト	赤石山	168号と複合	U-251	30号P-55	28	Ⅲ	瓦	赤石山		
U-187	30号集中1	195	Ⅲ	長フレイト	赤石山		U-252	30号P-55	29	Ⅲ	瓦	赤石山	前段熱	
U-188	30号集中1	196	Ⅲ	長フレイト	赤石山		U-253	30号P-55	30	Ⅲ	瓦	赤石山		
U-189	30号集中1	197	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-254	30号P-55	31	Ⅲ	瓦	赤石山		
U-190	30号集中1	198	Ⅲ	長フレイト	赤石山		U-255	30号P-55	32	Ⅲ	瓦	赤石山	34号複合	
U-191	30号集中1	199	Ⅲ	長フレイト	赤石山	204・203と複合	U-256	30号P-55	33	Ⅲ	瓦	赤石山	40号複合状態	
U-192	30号集中1	200	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-257	30号P-55	35	Ⅲ	瓦	赤石山		
U-193	30号集中1	201	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-258	30号P-55	36	Ⅲ	瓦	赤石山	39号複合	
U-194	30号集中1	202	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-259	30号P-55	37	Ⅲ	瓦	赤石山		
U-195	30号集中1	203	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-260	30号P-55	38	Ⅲ	瓦	赤石山	前段熱	
U-196	30号集中1	207	Ⅲ	フレイト	前段熱		U-261	30号P-111	8	Ⅲ	土1	フレイト	赤石山	8号9号複合
U-197	30号集中1	208	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-262	30号P-168	15	Ⅲ	土1	フレイト	赤石山	5号と25号が複合
U-198	30号集中1	209	Ⅲ	フレイト	前段熱		U-263	P85	24	Ⅲ	スズレイバー	前段熱	106号複合	
U-199	30号集中1	210	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-264	30号P-142	20	Ⅲ	土2	柳枝石函	赤井川	
U-200	30号集中1	210 f a	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-265	30号P-206	6	Ⅲ	土1	柳枝石函	赤石山	
U-201	30号集中1	210 f b	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-266	P87	24	Ⅲ	複瓦	柳枝石函	赤井川	
U-202	30号集中1	214	Ⅲ	長フレイト	赤石山	105号・211号と複合	U-267	P79	147	Ⅲ	柳枝石函	赤井川・前段熱		
U-203	30号集中1	215	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-268	S80	25	Ⅲ	柳枝石函	赤井川・前段熱		
U-204	30号集中1	216	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-269	30号P-313	24	Ⅲ	土1	原石	生田原	
U-205	30号集中1	217	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-270	30号P-4	143	Ⅲ	赤土	石函	前段熱	
U-206	30号集中1	218	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-271	30号P-97	9	Ⅲ	土1	石函	赤井川・前段熱	
U-207	30号集中1	219	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-272	30号P-130	3	Ⅲ	土2	石函	赤井川	
U-208	30号集中1	220	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-273	30号P-488	12	Ⅲ	土1	石函	赤石山	
U-209	30号集中1	221	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-274	M84	31	Ⅲ	石函	赤井川・前段熱		
U-210	30号集中1	223	Ⅲ	長フレイト	赤石山		U-275	N87	26	Ⅲ	石函	前段熱		
U-211	30号集中1	224	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-276	O96	62	Ⅲ	石函	赤山		
U-212	30号集中1	225	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-277	O87	138	Ⅲ	石函	前段熱		
U-213	30号集中1	226	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-278	P77	46	Ⅲ	石函	赤石山		
U-214	30号集中1	227	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-279	Q80	21	Ⅲ	石函	前段熱		
U-215	30号集中1	229	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-280	R78	284	Ⅲ	石函	赤石山		
U-216	30号集中1	230	Ⅲ	長フレイト	赤石山		U-281	30号P-4	80	Ⅲ	土1	スズレイバー	赤石山	
U-217	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山	3点複合状態	U-282	30号P-4	140	Ⅲ	赤土	スズレイバー	赤石山	
U-218	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-283	30号P-464	19	Ⅲ	土1	スズレイバー	赤石山	
U-219	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-284	30号P-423	6	Ⅲ	土1	スズレイバー	赤石山	
U-220	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-285	L79	14	Ⅲ	フレイト	赤石山		
U-221	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-286	P86	47	Ⅲ	フレイト	赤石山		
U-222	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-287	P86	85	Ⅲ	フレイト	赤石山		
U-223	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山	2点複合状態	U-288	R80	98	Ⅲ	フレイト	赤石山		
U-224	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-289	R80	197	Ⅲ	フレイト	赤井川		
U-225	30号集中2	1	Ⅲ	フレイト	赤石山		U-290	R81	36	Ⅲ	フレイト	赤井川		





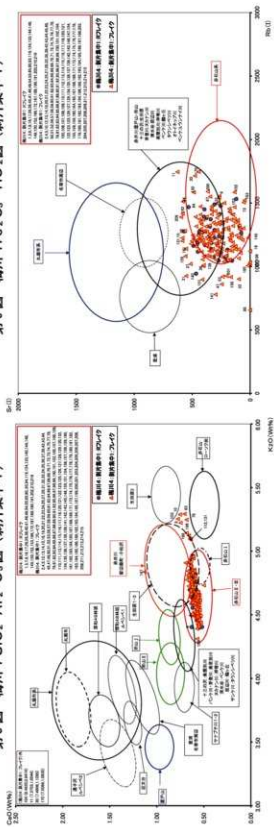






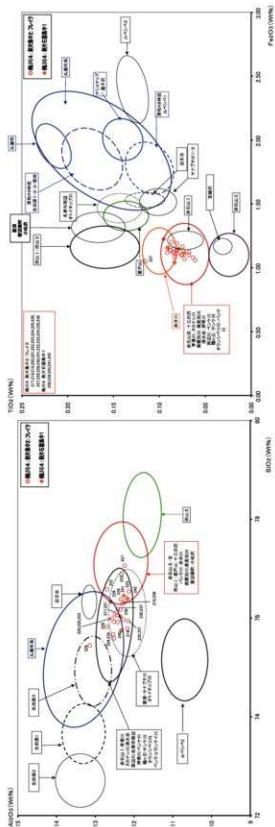
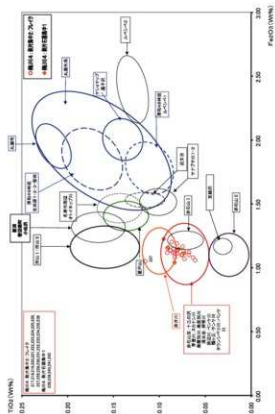
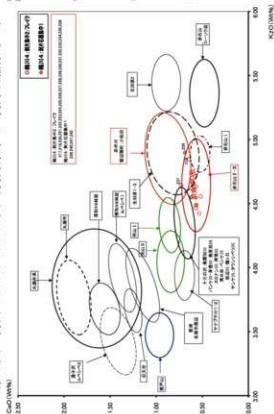
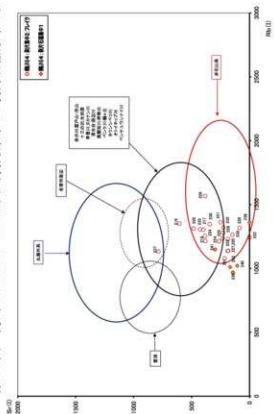
第5図 梅川4  $\text{SiO}_2\text{-Al}_2\text{-O}_3$  図 (剥片集中1)

第6図 梅川4  $\text{Fe}_2\text{O}_3\text{-TiO}_2$  図 (剥片集中1)

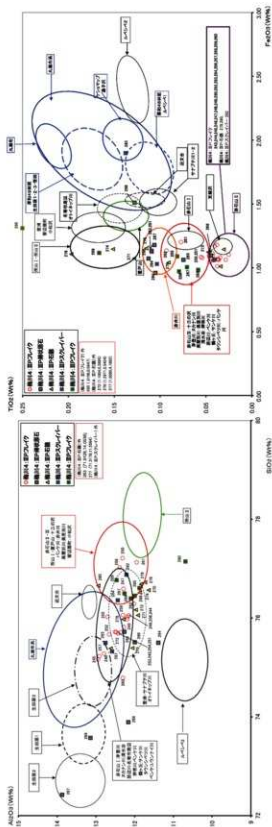


第7図 梅川4  $\text{K}_2\text{O-CaO}$  図 (剥片集中1)

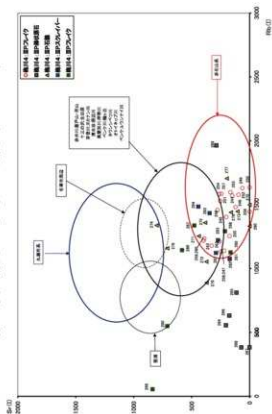
第8図 梅川4  $\text{Rb-Sr}$  図 (剥片集中1)

第9图 梅川4  $SiO_2-Al_2O_3$  图 (剥片集中2·剥片石器集中1)第10图 梅川4  $Fe_2O_3-TiO_2$  图 (剥片集中2·剥片石器集中1)第10图 梅川4  $Fe_2O_3-TiO_2$  图 (剥片集中2·剥片石器集中1)第11图 梅川4  $K_2O-CaO$  图 (剥片集中2·剥片石器集中1)第11图 梅川4  $K_2O-CaO$  图 (剥片集中2·剥片石器集中1)

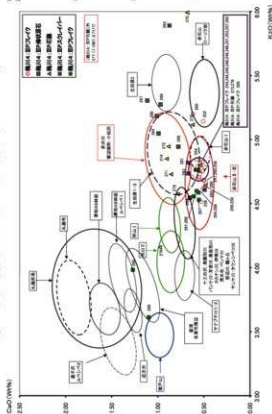
第12图 梅川4 Rb-Sr 图 (剥片集中2·剥片石器集中1)



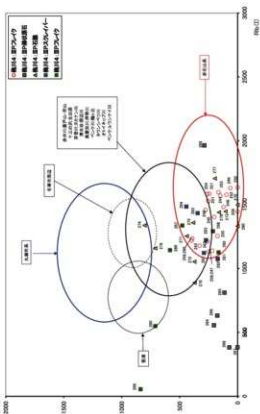
第13図 梅川4  $SiO_2-Al_2O_3$  図 (ⅢP・ⅢH)



第14図 梅川4  $Fe_2O_3-TiO_2$  図 (ⅢP・ⅢH)



第15図 梅川4  $K_2O-CaO$  図 (ⅢP・ⅢH)



第16図 梅川4  $Rb-Sr$  図 (ⅢP・ⅢH)



## 3 石器及び玉類の岩石学的分析

アースサイエンス株式会社

表1-1 石製品及び玉の肉眼鑑定結果

分類	遺構・調査区名	標名	遺物番号	分類	岩石名	備考	
1	石製品	遺P-206	環土	42	平玉	緑泥石質。自然スピネル認められず。	
2	石製品	遺H-4	環土	34	巻物	蛇紋岩	帯緑帯緑灰色。バネナイト（輝石の假象）や自然および造形のスピネルを含む。巻物は輝石かんらん石。
3	石製品	遺P-170	環土	10	石剣	砂質ホロンフェルス	砂質ホロンフェルスを基としたもので、多量の石英を含有する。高放射の斑点があり、重晶石が混入していると考えられる。
4	石製品	Q86	III	117	巻物	蛇紋岩	帯緑帯緑色。不均質で輝石かんらん石質であると認められる。スピネルは認められず。
5	石製品	Q86	III	178	平玉	緑泥石質	緑泥石質。自然スピネル含む。蛇紋岩質。
6	石製品	Q87	III	307	有孔石製品	流紋輝石岩	灰色で粗粒の流紋輝石質流紋輝石岩。火山砕片、石英を含む。黒色のガラスをレズン状に含む。
7	石製品	P177	III	90	巻物	ジュスパバー	帯緑帯緑色。細粒。多数のこのような薄板からなる面状物となり、厚さを示すの構造。輝石質（？）輝石の混入が著しいもの。
8	石製品	P179	III	74	巻物	ジュスパバー	緑色。細粒。多数。緑色に付化した細粒の輝石岩。
9	石製品	Q78	III	149	巻物	緑泥石質	緑泥石質。細粒。多数。スピネルを含む。蛇紋岩質。
10	石製品	Q78	III	204	巻物	蛇紋岩	暗緑色で、褐色の風化産物が生成。自然スピネル含む。蛇紋石多量。
11	石製品	Q78	III	312	巻物	緑泥石質	暗緑色。自然スピネル含む。蛇紋岩質。
12	石製品	Q89	III	11	巻物	蛇紋岩	帯緑帯緑灰色。細粒。多数。
13	石製品	R72	掘込	69	巻物	タルク岩	帯緑帯緑灰色。細粒。多数。
14	研磨石材	R73	III	20	玉の原石	緑泥石質	帯緑帯緑灰色。灰白色にタルク化した輝石を含む。自然および造形のスピネルを含む。蛇紋岩質。
15	石製品	R77	III	80	巻物	緑泥石質	帯緑帯緑色。細粒。多数。自然スピネル微小量。蛇紋岩質。
16	石製品	R78	III	115	巻物	緑泥石質	帯緑帯緑色。細粒。多数。自然スピネル含む。蛇紋岩質。
17	石製品	R84	III	94	平玉	蛇紋石-タルク岩	暗緑色で白い斑点が散り不均質。自然スピネル含む。タルクも生成が蛇紋岩質。
18	石製品	S72	III	67	巻物	タルク岩	帯緑帯緑灰色。多数作用を受けている。スピネルは認められない。
19	石製品	S77	III	75	内蔵調状石製品	輝石	灰白色で多孔質。流紋岩質。
20	石製品	S81	III	102	丸玉	タルク岩	緑泥石質。細粒。多数。

た。中の試料が動かないようにフタをして、金属ホルダーに入れ試料室にセットし測定を行った。定量分析はフィリップス社製のソフトIQ+を用いファンダメンタルパラメータ法（FP法）によって行った。なお、本装置では、Na-Uの元素が定量可能であり、C、N、Oといった軽元素は検出できない。

本試料の測定で用いたFP法は、標準試料を用いた検量線法とは異なり、分析線の強度が試料の組成と基礎的定数（ファンダメンタルパラメータ）の関数として記述できるという考え方を基礎とした理論

表2-1 各元素の測定結果

Analytical element	K <sub>α</sub>		Crystal	Detector	kV	mA	Angle (7.5°)	Counting time (s)
	K <sub>α</sub>	L <sub>α</sub>						
1	Mo-Pb		LFP 200	Scint.	40	50	9.5-21	115
2	Zn-Mn	Ni-Au	LFP 220	Scint.	40	30	27.5-63	340
3	V-Cu	Pb-W	LFP 220	Duplex	30	40	41-126	400
4	K-V	Sn-Cu	LFP 200	Flow	31	125	78-146	175
5	P-Cl	Zn-Ba	Ge 111	Flow	31	125	91-146	22
6	Si-Sr	Mo-Sr	FE 002	Flow	31	125	100-115	5
7	Al-Si	Fe-Sr	FE 002	Flow	31	125	130-147.54	5.08
8	Na-Mg	Zn-Sr	PK1	Flow	31	125	20-30.05	2.08

## (1) 肉眼鑑定

梅川4遺跡A地区出土の石製品および玉類の鑑定結果を表1-1に示す。

## (2) 全岩化学分析

## (2)-1 分析装置・分析条件

分析にはフィリップス社製蛍光X線(XRF)分析装置MagiXを使用した。各元素の測定条件を表2-1に示す。X線管球はエンドウィンドウ型のRh管球を用いた。測定環境はヘリウム環境中で測定している。測定時間は一試料につき約23分である。

試料及び定量操作：試料は未処理のものをそのまま測定試料とした。試料測定用プラスチック製カップに、一重のポリプロピレンフィルムを装着し、試料を入れた。

論計算法である。この方法は、出所不明の未知試料の分析や、試料の形状・重量に関係なく前処理なしで定量できるメリットがある。

Scint；シンチレーション検出器、Duplex；ガスフロー検出器とXeシールド型のタンデム型検出器、Flow；ガスフロー検出器

## (2)-2 分析結果

分析結果を表2-2に示す。

表2-2(1) 梅川4遺跡出A地区土の石製品および玉の全岩化学組成

No.	1	2	4	5	6	8	9	10
遺物番号	42	34	137	178	207	71	149	234
SiO <sub>2</sub>	32.96		47.22	37.64		96.40	38.74	84.21
TiO <sub>2</sub>	0.28			0.97		0.08	0.04	0.13
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	23.58		6.15	20.03		2.10	19.04	5.54
Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	16.90		7.94	10.61		1.21	6.98	6.50
MnO	0.59		0.10	0.19			0.13	0.08
MgO	24.85		37.50	29.13		0.19	33.55	30.59
CaO	0.39		0.15	0.26		0.14	0.25	0.43
Na <sub>2</sub> O								
K <sub>2</sub> O	0.11	☆		0.03	☆	0.26	0.02	1.21
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>			0.23	0.73		0.31	0.44	0.54
SO <sub>3</sub>	0.30		0.26	0.25		0.15	0.12	0.23
Cl				0.07		0.11	0.05	
Cr				0.32			0.20	0.31
Co				0.03				
Ni	0.15		0.45	0.62		0.02	0.43	0.21
Zn				0.02			0.02	0.03
As								
Rb								
Sr								
Y						0.02		
Zr								
Ba								
Pb								
合計	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0
Si	5.587		7.743	6.292		13.585	6.378	8.765
Fe	2.144		0.979	1.335		0.129	0.865	0.791
Fe/(Fe+Mg)	0.25		0.10	0.16		0.76	0.10	0.10
推定岩石	緑泥石岩		蛇紋岩	緑泥石岩		ジャスパー	緑泥石岩	蛇紋岩

表2-2(2) 梅川4遺跡A地区出土の石製品および玉の全岩化学組成

No.	11	12	13	15	16	17	18	19	20
遺物番号	312	11	69	80	135	94	67	75	152
SiO <sub>2</sub>	37.42	48.85	60.09		39.28	59.38	62.05	71.13	60.28
TiO <sub>2</sub>		0.11			0.04			0.43	0.09
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	18.27	5.23	2.74		18.24	4.11	1.71	16.86	5.47
Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	11.13	7.44	7.63		7.60	7.73	6.68	4.72	7.56
MnO	0.17	0.06	0.09		0.24		0.09	0.08	0.08
MgO	31.09	37.32	24.29		33.61	27.43	23.84	0.71	21.88
CaO	0.73	0.24	4.91		0.11	0.13	5.34	2.72	0.28
Na <sub>2</sub> O								0.55	
K <sub>2</sub> O	0.05	0.04		☆	0.04	0.28		1.54	2.81
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	0.44	0.26			0.23	0.41	0.14	0.66	0.66
SO <sub>3</sub>	0.22	0.23	0.13		0.11	0.20	0.04	0.16	0.19
Cl	0.11	0.04						0.09	0.09
Cr	0.12	0.08			0.19	0.08		0.25	
Co									
Ni	0.23	0.04	0.12		0.29	0.26	0.10		0.32
Zn		0.05			0.02				0.02
As								0.00	
Rb								0.02	
Sr								0.06	
Y								0.01	
Zr								0.02	
Ba								0.35	
Pb		0.00						0.00	
合計	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
Si	6.262	7.970	9.599		6.457	2.358	9.867	10.849	9.685
Fe	1.402	0.914	0.917		0.940	0.291	0.799	0.541	0.915
Fe/(Fe+Mg)	0.15	0.09	0.14		0.10	0.12	0.12	0.77	0.15
推定岩石	緑泥石岩	蛇紋岩	タルク岩	緑泥石岩	緑泥石岩	蛇紋石-タルク岩	タルク岩	蛇紋岩-頁岩	タルク岩

☆：試料が大きいため分析できず。

## (3) 鉱物分析の方法とその結果

構成鉱物の化学分析は、走査型電子顕微鏡とそれに付設のエネルギ分散型X線分析装置(EDS)によった。装置は北海道教育大学札幌校の電子顕微鏡(JEOL JSM-T330A)に付設したOxford社製Link ISIS300である。加速電圧は15kV、補正はZAF補正によった。試料は前処理として、炭素蒸着を行った。これは非導電性試料に炭素を真空蒸着することによって電子線放射による試料面の帯電を防ぐ効果がある。この炭素膜は測定後アセトンやアルコールにて容易に取り除くことができる。電子線は最小領域2~3ミクロンまで絞ら込むことができ、試料中鉱物の微小領域の化学分析が可能である。電子線放射によって発生する元素特有の波長を示す固有X線を検出することによって元素の定性・定量分析を行うが、正確な定量分析を行うためには、試料表面を平滑にする必要がある。今回の分析試料は穿孔されたリングの形状をもっているが、測定にあたっては、出来るだけ平滑な部分を選んで非破壊分析を行った。合計重量が100%近くにならない場合が多いが、分析結果から推定される予想鉱物の理想化学式との対応は概ね良い。EDSによる鉱物の分析結果を表3-1~17に示す。

表3-1 鉱物の分析値【ⅢP-296, 42】

	1	2	3	4	5
SiO <sub>2</sub>	34.60	35.16	33.19	33.79	34.09
TiO <sub>2</sub>	0.12	0.00	2.30	0.33	0.26
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	25.17	21.22	26.16	33.27	25.27
FeO	10.97	12.22	15.25	11.29	13.21
MnO	0.38	0.41	0.73	0.44	0.18
MgO	27.46	29.46	20.63	13.23	25.28
CaO	0.25	0.23	0.63	1.89	0.14
Na <sub>2</sub> O	0.14	0.19	0.15	0.95	0.00
K <sub>2</sub> O	0.75	0.69	0.75	4.54	0.42
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.06	0.22	0.10	0.00	0.03
NiO	0.11	0.29	0.11	0.48	0.33
原子比	O=	28	28	28	28
Si	5.860	6.015	5.746	5.817	5.81
Ti	0.003	0.000	0.300	0.043	0.03
Al	5.024	4.278	5.339	6.749	5.07
Fe	1.554	1.749	2.308	1.625	1.88
Mn	0.054	0.059	0.108	0.074	0.03
Mg	6.300	7.512	5.324	3.386	6.67
Ca	0.045	0.041	0.116	0.349	0.03
Na	0.045	0.063	0.051	0.318	0.00
K	0.163	0.150	0.166	0.966	0.09
Cr	0.007	0.030	0.013	0.000	0.00
Ni	0.014	0.040	0.015	0.087	0.05
Total	19.712	19.937	19.386	19.423	19.665
鉱物名	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石

表3-3 鉱物の分析値【O86, 137】

	1	2	3	4	5
SiO <sub>2</sub>	45.46	47.78	48.00	49.02	49.31
TiO <sub>2</sub>	0.59	0.05	0.15	0.04	0.00
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	6.19	5.95	8.85	6.27	5.20
FeO	7.90	3.63	3.04	3.73	3.70
MnO	0.02	0.06	0.07	0.00	0.00
MgO	38.08	40.45	38.50	38.19	39.82
CaO	0.00	0.02	0.16	0.15	0.04
Na <sub>2</sub> O	0.73	0.54	0.51	0.51	0.14
K <sub>2</sub> O	0.32	0.17	0.52	0.29	0.05
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	2.68	1.04	0.42	1.27	1.76
NiO	0.04	0.33	0.00	0.56	0.29
原子比	O=	14	14	14	14
Si	3.826	3.896	3.876	3.900	4.00
Ti	0.037	0.003	0.009	0.002	0.00
Al	0.610	0.572	0.843	0.601	0.50
Fe	0.553	0.247	0.205	0.254	0.25
Mn	0.001	0.004	0.005	0.000	0.00
Mg	4.501	4.917	4.634	4.633	4.81
Ca	0.000	0.002	0.014	0.010	0.00
Na	0.118	0.085	0.080	0.080	0.02
K	0.034	0.018	0.054	0.030	0.00
Cr	0.178	0.067	0.027	0.082	0.11
Ni	0.003	0.021	0.000	0.037	0.02
Total	9.841	9.832	9.747	9.722	9.713
鉱物名	蛇紋石	蛇紋石	蛇紋石	蛇紋石	蛇紋石

表3-2 鉱物の分析値【ⅢH-4, 34】

	1	2	3	4	5	6
SiO <sub>2</sub>	1.63	0.79	1.71	50.96	50.88	50.86
TiO <sub>2</sub>	0.10	0.14	0.09	0.02	0.08	0.08
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	6.70	6.95	4.88	2.32	3.29	2.91
FeO	23.82	23.33	22.18	1.90	2.37	2.18
MnO	0.75	0.64	1.06	0.02	0.15	0.03
MgO	6.79	6.49	5.07	44.13	41.67	43.20
CaO	0.13	0.04	0.00	0.04	0.14	0.04
Na <sub>2</sub> O	0.13	0.00	0.23	0.49	0.80	0.47
K <sub>2</sub> O	0.00	0.09	0.09	0.18	0.57	0.40
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	59.76	60.64	64.60	0.06	0.15	0.00
NiO	0.20	0.98	0.09	0.00	0.00	0.00
原子比	O=	4	4	4	14	14
Si	0.056	0.027	0.059	4.097	4.11	4.093
Ti	0.003	0.004	0.002	0.001	0.000	0.005
Al	0.269	0.281	0.198	0.220	0.31	0.276
Fe	0.680	0.675	0.639	0.128	0.16	0.147
Mn	0.022	0.019	0.031	0.002	0.01	0.002
Mg	0.346	0.332	0.260	5.288	5.02	5.182
Ca	0.005	0.002	0.000	0.004	0.01	0.003
Na	0.009	0.040	0.015	0.076	0.12	0.074
K	0.000	0.004	0.004	0.018	0.06	0.041
Cr	1.612	1.644	1.759	0.004	0.01	0.000
Ni	0.005	0.009	0.002	0.000	0.00	0.000
Total	3.005	3.029	2.970	9.857	9.817	9.822
鉱物名	スズベール	スズベール	スズベール	スズベール	蛇紋石	蛇紋石

表3-4 鉱物の分析値【O86, 178】

	1	2	3	4	5	6
SiO <sub>2</sub>	1.54	0.70	3.13	36.30	34.06	38.38
TiO <sub>2</sub>	0.06	0.12	1.33	0.52	0.41	0.00
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	11.80	9.50	15.29	19.18	26.49	17.71
FeO	25.53	24.54	24.09	12.49	10.90	8.09
MnO	1.58	0.45	0.59	0.06	0.69	0.17
MgO	4.30	5.92	7.57	27.38	21.12	33.22
CaO	0.06	0.04	0.20	0.27	0.06	0.06
Na <sub>2</sub> O	0.76	0.13	0.84	0.37	1.07	0.81
K <sub>2</sub> O	0.23	0.24	0.83	1.77	3.34	0.74
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	53.76	58.16	46.33	4.00	0.25	0.45
NiO	0.39	0.20	0.00	0.86	0.73	0.49
原子比	O=	4	4	4	28	28
Si	0.052	0.024	0.101	6.258	5.89	6.445
Ti	0.001	0.003	0.032	0.068	0.05	0.000
Al	0.471	0.381	0.583	3.906	5.40	3.504
Fe	0.723	0.698	0.651	1.806	1.58	1.137
Mn	0.045	0.013	0.016	0.009	0.10	0.025
Mg	0.217	0.300	0.365	7.396	5.45	8.315
Ca	0.002	0.002	0.007	0.060	0.18	0.010
Na	0.050	0.008	0.053	0.123	0.36	0.263
K	0.010	0.011	0.034	0.300	0.74	0.159
Cr	1.439	1.565	1.184	0.055	0.03	0.060
Ni	0.011	0.005	0.000	0.119	0.10	0.066
Total	3.021	3.010	3.027	19.970	19.883	19.984
鉱物名	スズベール	スズベール	スズベール	緑泥石	緑泥石	緑泥石

表3-5 鉱物の分析値 [O87, 207]

	1	2	3	4	5
SiO <sub>2</sub>	75.58	75.85	74.42	75.79	73.86
TiO <sub>2</sub>	0.33	0.25	0.32	0.38	0.43
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	13.40	13.81	15.56	13.55	12.45
FeO	1.12	1.44	1.33	1.38	1.26
MnO	0.06	0.00	0.15	0.15	0.20
MgO	0.05	0.00	0.02	0.00	2.00
CaO	0.55	0.76	0.74	0.68	0.92
Na <sub>2</sub> O	2.55	1.78	2.97	2.86	1.75
K <sub>2</sub> O	5.52	5.49	4.52	4.90	7.39
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.00	0.00	0.04	0.12	0.00
NiO	0.00	0.00	0.04	0.04	0.00
原子比	O = 1	1	1	1	1
Si	0.413	0.414	0.403	0.411	0.41
Ti	0.001	0.001	0.001	0.002	0.00
Al	0.085	0.098	0.099	0.087	0.08
Fe	0.005	0.006	0.006	0.007	0.01
Mn	0.000	0.000	0.001	0.001	0.00
Mg	0.000	0.000	0.000	0.000	0.02
Ca	0.003	0.004	0.004	0.004	0.01
Na	0.027	0.019	0.031	0.030	0.02
K	0.038	0.038	0.031	0.034	0.05
Cr	0.001	0.000	0.000	0.001	0.00
Ni	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
Total	0.575	0.570	0.577	0.576	0.587
鉱物名	ガラス	ガラス	ガラス	ガラス	ガラス

表3-7 鉱物の分析値 [Q78, 149]

	1	2	3	4	5	6
SiO <sub>2</sub>	38.64	38.69	35.20	38.93	38.44	39.27
TiO <sub>2</sub>	0.12	0.02	2.21	0.00	0.15	0.07
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	19.69	19.39	25.64	19.23	18.93	17.82
FeO	5.38	5.45	5.61	5.00	5.14	4.53
MnO	0.26	0.24	0.00	0.26	0.27	0.29
MgO	33.00	33.84	26.57	34.45	35.09	36.80
CaO	0.16	0.32	0.53	0.33	0.00	0.14
Na <sub>2</sub> O	0.68	0.80	1.79	0.63	0.85	0.34
K <sub>2</sub> O	1.03	0.63	2.01	0.42	0.49	0.35
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.18	0.00	0.00	0.21	0.00	0.10
NiO	0.85	0.64	0.52	0.58	0.69	0.75
原子比	O = 4	28	28	28	28	28
Si	6.419	6.414	5.890	6.429	6.37	6.465
Ti	0.015	0.002	0.278	0.000	0.02	0.009
Al	3.855	3.788	5.066	3.742	3.69	3.458
Fe	0.748	0.756	0.785	0.690	0.71	0.623
Mn	0.056	0.054	0.000	0.057	0.04	0.041
Mg	8.170	8.260	6.626	8.480	8.56	9.028
Ca	0.029	0.057	0.095	0.058	0.00	0.025
Na	0.219	0.256	0.580	0.302	0.27	0.107
K	0.218	0.133	0.428	0.089	0.10	0.074
Cr	0.023	0.000	0.000	0.028	0.00	0.013
Ni	0.114	0.086	0.070	0.077	0.09	0.059
Total	19.845	19.885	19.808	19.831	19.856	19.882
鉱物名	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石

表3-9 鉱物の分析値 [Q78, 312]

	1	2	3	4	5	6
SiO <sub>2</sub>	0.86	1.72	0.59	37.55	40.32	37.90
TiO <sub>2</sub>	0.17	0.33	0.42	0.82	0.34	0.19
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	26.76	22.64	18.71	28.78	16.04	17.09
FeO	18.82	19.91	22.79	14.62	11.79	12.30
MnO	0.11	0.64	0.14	0.19	0.14	0.26
MgO	9.87	8.55	6.05	15.47	29.68	28.64
CaO	0.05	0.08	0.05	1.19	0.35	1.42
Na <sub>2</sub> O	0.02	0.00	0.00	0.02	0.31	0.51
K <sub>2</sub> O	0.27	0.12	0.22	0.55	0.11	0.62
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	42.84	46.04	50.92	32.3	48.8	48.3
NiO	0.24	0.12	0.22	0.49	0.44	0.20
原子比	O = 4	28	28	28	28	28
Si	0.026	0.053	0.019	6.369	6.83	6.511
Ti	0.004	0.008	0.010	0.105	0.04	0.024
Al	0.963	0.829	0.712	5.753	3.20	3.457
Fe	0.480	0.517	0.616	2.074	1.67	1.766
Mn	0.003	0.017	0.004	0.627	0.32	0.358
Mg	0.449	0.396	0.291	3.910	7.49	7.338
Ca	0.001	0.003	0.002	0.216	0.06	0.262
Na	0.001	0.000	0.000	0.007	0.10	0.170
K	0.011	0.005	0.009	0.119	0.02	0.137
Cr	1.034	1.131	1.300	0.943	0.96	1.113
Ni	0.006	0.003	0.006	0.096	0.06	0.027
Total	2.978	2.961	2.969	19.891	19.960	19.853
鉱物名	スズキ石	スズキ石	スズキ石	緑泥石	緑泥石	緑泥石

表3-6 鉱物の分析値 [ⅢP-79, 74]

	1	2	3	4	5
SiO <sub>2</sub>	98.01	86.74	95.36	97.38	96.72
TiO <sub>2</sub>	0.00	4.24	0.29	0.02	0.10
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	1.27	3.79	1.38	0.78	1.32
FeO	0.26	2.17	1.35	0.67	0.33
MnO	0.00	0.07	0.00	0.12	0.09
MgO	0.00	0.00	0.11	0.11	0.00
CaO	0.06	0.39	0.08	0.00	0.09
Na <sub>2</sub> O	0.20	0.98	0.30	0.40	0.59
K <sub>2</sub> O	0.48	1.94	1.25	0.73	0.83
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.00	0.05	0.04	0.00	0.00
NiO	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
原子比	O = 2	2	2	2	2
Si	0.984	0.908	0.972	0.984	0.98
Ti	0.000	0.033	0.002	0.000	0.00
Al	0.015	0.047	0.017	0.009	0.02
Fe	0.003	0.019	0.012	0.006	0.00
Mn	0.000	0.001	0.000	0.001	0.00
Mg	0.000	0.000	0.002	0.002	0.00
Ca	0.001	0.004	0.001	0.000	0.00
Na	0.004	0.020	0.006	0.008	0.01
K	0.006	0.025	0.016	0.009	0.01
Cr	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
Ni	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
Total	1.013	1.057	1.028	1.019	1.023
鉱物名	石英	石英	石英	石英	石英

※：石英の他にトナクリン、緑泥石などが混入する可能性。

表3-8 鉱物の分析値 [Q78, 234]

	1	2	3	4	5	6
SiO <sub>2</sub>	52.01	56.83	54.42	57.50	57.49	44.47
TiO <sub>2</sub>	0.97	0.30	1.89	0.15	0.10	0.92
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	14.38	5.40	10.12	3.64	3.65	25.25
FeO	4.56	4.68	5.98	2.47	2.63	7.97
MnO	0.22	0.08	0.24	0.16	0.07	0.68
MgO	21.94	28.88	21.78	31.15	32.21	14.81
CaO	0.67	0.48	0.85	0.83	0.21	1.39
Na <sub>2</sub> O	0.63	0.61	0.67	0.53	1.06	0.80
K <sub>2</sub> O	4.89	3.39	4.14	2.80	2.47	3.48
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.02	0.00	0.00	0.00	0.11	0.04
NiO	0.00	0.41	0.24	0.25	0.09	0.11
原子比	O = 28	28	28	28	28	28
Si	8.463	4.536	8.873	4.621	4.60	7.370
Ti	0.118	0.018	0.232	0.009	0.01	0.113
Al	2.758	0.918	1.944	0.345	0.34	4.932
Fe	0.620	0.318	0.816	0.166	0.18	1.105
Mn	0.030	0.006	0.047	0.011	0.01	0.095
Mg	5.321	3.497	2.94	3.731	3.84	3.658
Ca	0.117	0.042	0.148	0.071	0.02	0.247
Na	0.198	0.096	0.213	0.146	0.16	0.257
K	1.015	0.352	0.861	0.287	0.25	0.735
Cr	0.002	0.000	0.000	0.005	0.01	0.006
Ni	0.000	0.029	0.032	0.019	0.00	0.025
Total	18.644	18.411	18.600	18.419	18.423	18.543
鉱物名	緑泥石	蛇紋石	緑泥石	蛇紋石	蛇紋石	緑泥石

表3-10 鉱物の分析値 [Q89, 111]

	1	2	3	4	5
SiO <sub>2</sub>	49.78	45.79	45.54	45.21	47.67
TiO <sub>2</sub>	0.05	0.46	0.37	0.31	0.15
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	3.60	6.44	7.21	7.56	4.62
FeO	7.12	11.03	13.99	9.92	8.70
MnO	0.62	0.47	0.28	0.60	0.22
MgO	38.83	34.73	30.70	34.71	37.63
CaO	0.08	0.31	0.46	0.45	0.12
Na <sub>2</sub> O	0.33	0.34	0.72	0.60	0.36
K <sub>2</sub> O	0.11	0.32	0.64	1.04	0.17
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.00	0.08	0.18	0.35	0.22
NiO	0.07	0.03	0.00	0.05	0.14
原子比	O = 14	14	14	14	14
Si	4.090	3.861	3.891	3.802	3.97
Ti	0.003	0.029	0.024	0.019	0.01
Al	0.349	0.640	0.726	0.749	0.45
Fe	0.490	0.778	1.000	0.698	0.61
Mn	0.052	0.034	0.019	0.040	0.02
Mg	4.756	4.365	3.909	4.351	4.67
Ca	0.007	0.028	0.042	0.041	0.01
Na	0.052	0.055	0.119	0.097	0.06
K	0.012	0.034	0.070	0.111	0.02
Cr	0.000	0.006	0.012	0.023	0.01
Ni	0.003	0.002	0.000	0.003	0.01
Total	9.765	9.832	9.811	9.886	9.828
鉱物名	蛇紋石	蛇紋石	蛇紋石	蛇紋石	蛇紋石

表 3-11 鉱物の分析値 [R72, 69]

	1	2	3	4	5	6
SiO <sub>2</sub>						
TiO <sub>2</sub>	63.99	62.99	61.46	60.93	52.49	62.67
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.00	0.13	0.19	0.13	13.99	0.27
FeO	2.07	3.36	3.46	12.43	3.82	3.70
MnO	5.67	6.50	4.94	6.46	5.59	8.28
MgO	0.02	0.22	0.08	0.00	0.14	0.05
CaO	26.06	24.13	25.49	16.99	20.65	22.17
Na <sub>2</sub> O	1.92	1.87	3.46	1.26	2.57	1.95
K <sub>2</sub> O	0.29	0.33	0.49	0.41	0.35	0.39
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.00	0.14	0.24	1.22	0.16	0.22
NiO	0.13	0.00	0.00	0.11	0.13	0.00
原子比	0.60	0.41	0.28	0.06	0.11	0.29
O <sup>+</sup>	22	22	22	22	22	22
Si	7.921	7.854	7.679	7.564	6.72	7.872
Ti	0.000	0.012	0.018	0.012	1.35	0.025
Al	0.302	0.494	0.509	1.817	0.58	0.548
Fe	0.587	0.678	0.516	0.669	0.60	0.870
Mn	0.002	0.023	0.008	0.000	0.01	0.005
Ca	4.807	4.484	4.748	3.140	3.94	4.151
Na	0.255	0.249	0.463	0.168	0.35	0.263
K	0.069	0.080	0.120	0.099	0.09	0.094
Cr	0.000	0.022	0.029	0.153	0.03	0.036
Ni	0.012	0.000	0.000	0.010	0.01	0.000
Total	0.000	0.041	0.028	0.006	0.01	0.030
鉱物名	13.956	13.937	14.128	13.667	13.691	13.694

表 3-13 鉱物の分析値 [R78, 135]

	1	2	3	4	5	6
SiO <sub>2</sub>	0.90	0.76	1.43	38.90	37.99	37.72
TiO <sub>2</sub>	0.07	0.09	0.14	0.08	0.02	3.31
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	19.84	18.57	17.75	19.18	19.41	17.25
FeO	17.22	17.39	17.62	5.11	5.24	4.63
MnO	0.43	0.46	0.38	0.16	0.42	0.29
MgO	12.09	11.46	9.94	35.72	34.05	32.96
CaO	0.06	0.05	0.06	0.06	0.22	1.48
Na <sub>2</sub> O	0.00	0.00	0.15	0.04	0.82	0.41
K <sub>2</sub> O	0.03	0.27	0.35	0.29	0.98	0.95
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	49.58	50.88	51.77	0.24	0.45	0.74
NiO	0.20	0.25	0.41	0.22	0.41	0.27
原子比	O <sup>+</sup>	4	4	28	28	28
Si	0.028	0.024	0.045	6.398	6.32	6.292
Ti	0.002	0.002	0.003	0.010	0.00	0.416
Al	0.726	0.688	0.662	3.719	3.81	3.392
Fe	0.447	0.457	0.466	0.704	0.73	0.646
Mn	0.011	0.012	0.010	0.022	0.06	0.040
Mg	0.560	0.537	0.469	8.758	8.44	8.195
Ca	0.002	0.002	0.002	0.010	0.04	0.264
Na	0.000	0.000	0.009	0.013	0.26	0.132
K	0.001	0.011	0.014	0.060	0.21	0.203
Cr	1.218	1.264	1.294	0.031	0.06	0.097
Ni	0.005	0.006	0.010	0.029	0.05	0.037
Total	2.999	3.003	2.986	19.754	19.962	19.715
鉱物名	スピネル	スピネル	スピネル	緑泥石	緑泥石	緑泥石

表 3-15 鉱物の分析値 [S72, 67]

	1	2	3	4	5
SiO <sub>2</sub>	61.91	62.46	64.29	59.15	58.24
TiO <sub>2</sub>	0.08	0.01	0.00	0.00	0.19
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	2.10	3.11	1.91	3.19	3.84
FeO	6.15	7.52	6.77	7.54	6.58
MnO	0.24	0.06	0.01	0.00	0.21
MgO	22.05	24.20	23.89	18.78	18.80
CaO	6.97	0.89	2.65	10.77	10.62
Na <sub>2</sub> O	0.16	0.70	0.25	0.22	0.40
K <sub>2</sub> O	0.52	0.62	0.16	0.79	1.09
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07
NiO	0.12	0.49	0.36	0.00	0.00
原子比	O <sup>+</sup>	22	22	22	22
Si	7.832	7.841	8.005	7.633	7.54
Ti	0.007	0.001	0.000	0.000	0.02
Al	0.313	0.460	0.281	0.485	0.59
Fe	0.650	0.789	0.704	0.813	0.71
Mn	0.025	0.006	0.001	0.000	0.02
Mg	4.157	4.528	4.433	3.613	3.63
Ca	0.945	0.120	0.353	1.488	1.47
Na	0.040	0.170	0.059	0.056	0.10
K	0.083	0.099	0.025	0.130	0.18
Cr	0.000	0.000	0.000	0.000	0.01
Ni	0.012	0.050	0.036	0.00	0.00
Total	14.065	14.082	13.897	14.217	14.279
鉱物名	タルク	タルク	タルク	タルク	タルク

表 3-12 鉱物の分析値 [R77, 80]

	1	2	3	4	5
SiO <sub>2</sub>	39.06	38.73	37.42	39.13	39.30
TiO <sub>2</sub>	0.63	0.00	0.28	0.00	0.11
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	19.03	18.16	18.46	17.72	18.43
FeO	7.42	6.80	10.04	6.25	6.27
MnO	0.06	0.00	0.33	0.34	0.00
MgO	33.16	34.89	30.25	35.45	34.75
CaO	0.13	0.01	0.47	0.03	0.11
Na <sub>2</sub> O	0.09	0.74	0.62	0.47	0.51
K <sub>2</sub> O	0.08	0.22	1.46	0.03	0.51
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.04	0.24	0.00	0.10	0.00
NiO	0.32	0.35	0.80	0.49	0.17
原子比	O <sup>+</sup>	28	28	28	28
Si	6.473	6.426	6.374	6.484	6.49
Ti	0.079	0.000	0.035	0.000	0.01
Al	3.717	3.550	3.707	3.461	3.59
Fe	1.029	0.957	1.433	0.866	0.87
Mn	0.008	0.000	0.048	0.047	0.00
Mg	8.191	8.627	7.683	8.756	8.56
Ca	0.022	0.002	0.086	0.006	0.02
Na	0.028	0.238	0.206	0.152	0.16
K	0.016	0.047	0.317	0.007	0.11
Cr	0.005	0.032	0.000	0.014	0.00
Ni	0.042	0.047	0.110	0.085	0.02
Total	19.610	19.926	19.998	19.858	19.835
鉱物名	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石	緑泥石

表 3-14 鉱物の分析値 [R84, 94]

	1	2	3	4	5	6
SiO <sub>2</sub>	0.84	2.38	1.84	63.23	59.86	64.09
TiO <sub>2</sub>	0.51	0.56	0.41	0.33	3.19	0.02
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	10.58	9.28	18.00	2.72	4.53	2.40
FeO	32.61	48.56	40.35	5.26	3.95	5.02
MnO	0.09	0.27	0.87	0.90	0.07	0.00
MgO	7.38	6.48	6.59	26.85	25.80	27.66
CaO	0.56	1.07	0.91	0.15	1.13	0.31
Na <sub>2</sub> O	0.00	0.00	0.00	0.31	0.87	0.34
K <sub>2</sub> O	0.04	0.32	0.28	0.42	0.59	0.21
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	47.25	31.17	34.05	0.24	0.00	0.03
NiO	0.16	0.17	0.10	0.53	0.06	0.12
原子比	O <sup>+</sup>	4	4	22	22	22
Si	0.029	0.084	0.056	7.832	7.45	7.885
Ti	0.013	0.015	0.011	0.030	0.30	0.002
Al	0.429	0.396	0.608	0.396	0.66	0.348
Fe	0.938	1.465	1.160	0.545	0.41	0.516
Mn	0.003	0.008	0.025	0.000	0.01	0.000
Mg	0.578	0.549	0.538	4.957	4.79	5.073
Ca	0.021	0.041	0.034	0.020	0.15	0.041
Na	0.000	0.000	0.000	0.075	0.21	0.081
K	0.002	0.015	0.012	0.067	0.09	0.033
Cr	1.285	0.890	0.926	0.023	0.00	0.003
Ni	0.005	0.005	0.003	0.053	0.01	0.011
Total	3.102	3.206	3.172	13.988	14.074	13.994
鉱物名	スピネル	スピネル	スピネル	タルク	タルク	タルク

※：産物のケムシと見出しにはFeが少し、Crが少くない。  
 ※：ケムシケムシと見出しにはFeが少し、Crが少くない。

表3-16 鉱物の分析値 [S77, 75]

	1	2	3	4	5
SiO <sub>2</sub>	70.96	66.70	60.54	62.72	65.54
TiO <sub>2</sub>	0.21	0.67	0.57	0.54	0.48
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	21.53	23.05	29.17	25.53	25.53
FeO	2.62	4.65	5.59	5.72	5.00
MnO	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00
MgO	0.32	0.00	0.82	0.24	1.11
CaO	2.61	3.83	1.52	3.50	1.17
Na <sub>2</sub> O	0.39	0.00	0.67	0.03	0.00
K <sub>2</sub> O	1.47	2.09	1.24	2.13	1.22
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
NiO	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05
原子比	O=	1	1	1	1
Si	0.379	0.362	0.332	0.345	0.35
Ti	0.001	0.003	0.002	0.002	0.00
Al	0.136	0.147	0.188	0.166	0.16
Fe	0.012	0.021	0.026	0.026	0.02
Mn	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
Mg	0.003	0.000	0.007	0.002	0.01
Ca	0.015	0.022	0.009	0.021	0.01
Na	0.004	0.000	0.007	0.000	0.00
K	0.010	0.014	0.009	0.015	0.01
Cr	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
Ni	0.000	0.000	0.000	0.000	0.00
Total	0.559	0.569	0.580	0.577	0.566
鉱物名	ガラス	ガラス	ガラス	ガラス	ガラス

表3-17 鉱物の分析値 [S81, 152]

	1	2	3	4	5	6
SiO <sub>2</sub>	1.92	1.88	5.76	59.83	61.92	54.97
TiO <sub>2</sub>	0.12	0.18	1.57	0.14	0.09	0.07
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	9.70	23.57	6.67	5.83	4.15	6.92
FeO	48.81	19.89	54.18	2.70	4.83	9.26
MnO	0.40	0.56	0.85	0.00	0.03	0.00
MgO	6.33	11.33	4.95	24.78	25.27	22.94
CaO	1.79	0.11	1.04	0.09	0.19	0.31
Na <sub>2</sub> O	0.20	0.00	0.51	0.77	0.36	0.77
K <sub>2</sub> O	0.51	0.09	1.67	5.51	2.96	4.81
Cr <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	29.83	42.65	22.72	0.13	0.00	0.11
NiO	0.38	0.00	0.09	0.28	0.13	0.00
原子比	O=	4	4	4	22	22
Si	0.070	0.058	0.212	7.560	7.75	7.177
Ti	0.003	0.004	0.043	0.013	0.01	0.007
Al	0.416	0.852	0.289	0.868	0.61	1.065
Fe	1.486	0.510	1.666	0.285	0.52	1.011
Mn	0.012	0.015	0.026	0.000	0.000	0.000
Mg	0.343	0.518	0.271	4.667	4.72	4.464
Ca	0.070	0.004	0.041	0.012	0.03	0.043
Na	0.014	0.000	0.037	0.189	0.09	0.196
K	0.024	0.003	0.078	0.888	0.47	0.802
Cr	0.859	1.034	0.561	0.013	0.00	0.012
Ni	0.011	0.000	0.003	0.029	0.01	0.000
Total	3.308	2.997	5.327	14.524	14.210	14.776
鉱物名	スピネル*	スピネル*	スピネル*	タルク	タルク	タルク

\*：変質したスピネル，おそらくフェリットプロモイト。

#### (4) 考察

肉眼鑑定，全岩化学分析，鉱物化学分析を総合して石製品および玉の岩石名を判定した。その結果は表1-1に示した。ここで示す岩石名は当初の肉眼鑑定を化学分析の結果を参考にして正しく修正した岩石名である。とくに蛇紋岩とそれから変質してできた緑泥石岩については，肉眼鑑定のみでの判定はやや困難であった。

##### (4)-1 各岩石種とその由来

###### 1) 蛇紋岩とそれに由来する岩石

分析の結果は垂飾と玉の18資料のうち，緑泥石岩が8資料，やはり蛇紋岩由来のタルク岩が4資料，蛇紋岩が3資料の計15試料である。すなわち蛇紋岩と蛇紋岩に由来する岩石が分析した試料の83%を占める。この蛇紋岩由来岩の中で緑泥石岩とタルク岩が80%を占める。

これらの蛇紋岩由来岩のほとんどはクロムを多量に含むスピネル(クロムスピネル)を含んでいることから，さらにさかのぼればかんらん岩，とくに輝石を含まないダンかんらん岩が主体であったと考えられる。すなわち，分析した資料はかんらん岩→蛇紋岩化→緑泥石岩化またはタルク岩化というプロセスを経て形成されたものである。

北海道には神居古潭帯などに蛇紋岩が広く分布している。しかし，緑泥石岩化が岩体に広く及んでいる場所は今のところ発見されていない。

神居古潭帯では蛇紋岩にとまうロジン岩の反応帯として幅数10cm以下の規模で帯緑暗灰色の緑泥石帯が出現する(Katoh and Niida, 1983)。しかし，これは垂飾や玉に使用される緑泥石岩とは見かけが異なり，かつ極めて局所的にしか分布しないので，これらの原産地とは考えにくい。

このような大規模にAl(緑泥石は蛇紋石と異なりAlを多量に含む)が付加されるような蛇紋岩体は，地質時代に熱水変質作用を受けている古生代などの古い岩体，例えば日本では糸魚川地域を含む飛騨外縁帯(青梅-蓮華帯)やシベリアなどの大陸地域(岡村ほか，2003)が上げられる。新潟県糸魚川地域の蛇紋岩体には大規模に緑泥石岩化した部分が報告されており(大村ほか，1983)，今後これらとの比較検討が必要である。

## 2) ジャスパー

ジャスパーは20資料のうち2資料であった。帯緑灰色～緑色の細粒ち密な珪化岩で、原岩は凝灰岩と考えられる。テクトニックな変形作用を受けている形跡がないので、新第三紀の火成活動地域で、アルカリ性～中性熱水による珪化作用を受けて変質した凝灰岩であろう。

このような緑色のジャスパーは佐渡などにその産出が知られているが、北海道西南部西側や北見地域などいわゆるグリーンタフ地域の各地に産出する可能性があるため、産地の特定は現状では困難である。

## 3) 砂質ホルンフェルス

石種の資料は砂岩が花崗岩などの貫入岩体の接触変成作用を受けて、石英、黒雲母、紅柱石、堇青石などを生じて硬質になったものである。このようなホルンフェルスは北海道内では例えば日高変成帯、松前の白神岬など各地の花崗岩質岩体の周辺に分布する。したがって、今後の調査により産地の特定が期待される。

## 4) 溶結凝灰岩

溶結凝灰岩1資料(有孔石製品)認められた。溶結凝灰岩は、北海道内では例えば支笏火砕流堆積物や十勝火砕流堆積物などとして多数分布する。今回はガラスの化学組成が分析できたので、今後各地の溶結凝灰岩のガラスの化学組成を分析し、比較することにより、起源を明らかにしていくことができるであろう。

## 5) 軽石

内面渦状石製品として軽石が1資料見い出された。これについてもガラスを測定したので、今後の比較検討が進むであろう。

## (4)-2 他の縄文遺跡との比較

道内その他の玉類(小型装飾品)について化学分析値を伴う報告から、その種類と点数を表4-1および図4-1にまとめた。各岩石種の比率は点数の少ないものについては統計的な意味があまりないこと、同じ縄文時代でも時期が中期から晩期にわたることなどに注意する必要がある。それらを前提として以下のような傾向が認められる。

## 1) 蛇紋岩由来岩

石狩低地帯(キウス5, オルイカ2, 梅川4遺跡A地区, 西島松2, 西島松5)および道東(初田牛, 常呂川河口)のすべて遺跡の玉類に蛇紋岩およびそれに由来する岩石が卓越する。かつ、いずれも蛇紋岩そのものよりも緑泥石岩(およびタルク岩)に交代された岩石が非常に多い。一方、渡島半島の縄文遺跡の玉類には、今のところ蛇紋岩由来岩の記載が認められない。しかし、三内丸山遺跡には認められる。

## 2) ロジン岩および軟玉

蛇紋岩に伴って生成するロジン岩が渡島半島の蛇内遺跡に出土する。また、軟玉(トレモラ閃石～アクチノ閃石)はロジン岩の一部(あるいは緑色片岩の仲間)である可能性もある岩石であるが、渡島半島の蛇内、大船C遺跡や青森県の三内丸山遺跡に出土する。

## 3) ひすい

新潟県糸魚川地域に由来する可能性の高いひすいが、旭川の末広7, 石狩低地帯の西島松2, 西島松5および渡島半島の春日2や大釜谷3の各遺跡に出土する。なお、ひすいについては函館市戸井町の遺跡など、他にも知られているが、ここでは省略する。

4) 緑色凝灰岩

緑色凝灰岩製の玉類は西島松5遺跡の他、渡島半島森町の鷺ノ木4遺跡や三内丸山遺跡で見ついている。

5) 片岩

緑色片岩や黒色片岩製の玉類は道内の縄文遺跡には認められないが、三内丸山遺跡にかなり多く出土する。

6) 軟玉(トレモラ閃石岩～アクチノ閃石岩)

軟玉製の玉類は道内では渡島半島の大船C遺跡に出土するが、三内丸山遺跡には多数出土する。

7) ジャスパー～珪化岩

ジャスパーや珪化岩(～珪R-84, 94)化凝灰質岩)製の玉類は石狩低地帯の各遺跡(キウス5, 梅川4遺跡A地区, 西島松2, 西島松5)に少量出土する。道東では常呂川河口遺跡に認められる。渡島半島の遺跡にこれらの玉類としての記載は認められないが、三内丸山遺跡には認められている。

8) こはく

こはくは今回参照した報告書からは西島松5遺跡のみである。実際は渡島半島の遺跡等各地から報告されている。

9) 遺跡近傍に産地のある石材

常呂川河口遺跡の珪化岩は比較的近傍の紋別-上土幌地溝帯の新第三紀火山活動地帯に、同遺跡の緑色岩(玄武岩～はんれい岩)は近傍の白亜紀の常呂帯仁頃層群にその由来を求めることができる。また、梅川4遺跡A地区の軽石や溶結凝灰岩は近傍に分布する支笏火山噴出物に由来する可能性が高い。

引用文献

- 合地信生(1991):旭川市末広7遺跡出土のヒスイ玉についてのX線スペクトル解析。北海道旭川市埋蔵文化財発掘調査報告第13輯「末広7遺跡」, 135-142。
- 加藤晃一・渡辺暉夫・小笠原正明(2004):縄文遺跡から出土した石製品の非破壊分析。鮎内遺跡, 198-202。木古内町教育委員会。
- Katoh, T. and Niida, K. (1983): Rodingites from the Kamuikotan tectonic belt. Hokkaido. Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV, 20, 151-169.
- 川崎 保(2001):三内丸山遺跡出土の石製装身具の流通・交易経路の解明。特別記録三内丸山遺跡年報, 4, 58-63。
- 並木正男・林 政彦(1998):有孔垂玉の分析報告書。大船C遺跡-平成8年度発掘調査報告書, 369-370。南茅渚町教育委員会。
- 小笠原正明・加藤晃一(2003):大釜谷3遺跡から出土した石製品の同定。大釜谷3遺跡, 木古内町教育委員会, 135-136。
- 三浦裕行・加藤孝幸(2006):ガラスの分析。茅渚郡森町埋蔵文化財調査報告書一覽ノ木4遺跡(分冊)自然科学等による諸分析, 1-2。森町教育委員会。
- 岡村 聡・加藤孝幸・寺崎康史(2003):今金町美利河1遺跡から出土した玉類の石質と起源。「北海道考古学会」, 第39輯, 77-82。
- 岡村 聡・菅原いよ・加藤孝幸・加藤欣也・立田 理(印刷中):根室市初田牛および常呂川河口遺跡から出土する玉類の石質と起源。北海道教育大学紀要。
- 大村一夫・山地英喜・岩根 修・吉田弘弘・山戸武史(1983):新潟県越前川地域の蛇紋岩-岩盤評価の前に、応用地質, 24, 9-24。
- 薬科哲男(2004):春日2遺跡出土ヒスイ製玉の産地分析。「春日2遺跡」, 79-88。八雲町教育委員会。





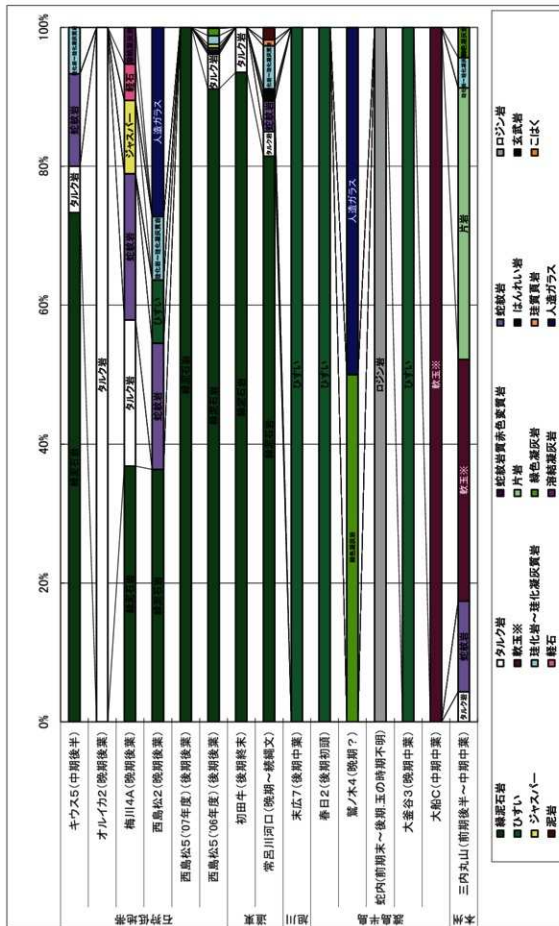


図 4-1 道内その他の縄文道跡の玉類の種類

## 4 梅川4遺跡の灰像分析

パリオ・サーヴェイ株式会社

## (1) 目的

縄文時代晩期後葉とされる土坑より採取された試料より、当時の燃料材に関する情報を得る。

## (2) 分析試料

試料は、縄文時代晩期後葉とされる土坑より採取された5点(試料番号43~47)である。試料番号43はⅢP-362の覆土1層、試料番号44はⅢP-367の覆土1層、試料番号45はⅢP-369の覆土1層、試料番号46はⅢP-415の覆土1層、試料番号47はⅢP-490の覆土1層から採取されている。

## (3) 分析方法

各試料について過酸化水素水・塩酸処理、沈定法、重液分離法(ポリタングステン酸ナトリウム、比重2.5)の順に物理・化学処理を行い、植物珪酸体を分離・濃集する。これをカバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリウラックスで封入してプレパラートを作製し、400倍の光学顕微鏡下で全面を走査する。今回は、分類群の判別に有効である特徴的な形態を有するイネ科葉部(葉身と葉鞘)の葉部短細胞に由来した植物珪酸体(以下、短細胞珪酸体と呼ぶ)および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体(以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ)を特に注目して観察し、近藤(2010)の分類に基づいて同定・計数する。

分析の際は珪化組織片の産状に注目した。植物体の葉や茎に存在する植物珪酸体は、珪化細胞列などの組織構造を呈している。植物体が土壌中に取り込まれた後は、ほとんどが土壌化や攪乱などの影響によって分離し単体となる。しかし、植物が燃えた後の灰には組織構造が珪化組織片などの形で残されている場合が多い(例えば、パリオ・サーヴェイ株式会社, 1993)。そのため、珪化組織片の産状により当時の燃料材などの種類が明らかになると考えられる。

## (4) 結果

結果を表6に示す。いずれの試料からも、珪化組織片が全く検出されない。単体の植物珪酸体もわずかに認められ、クマザサ属を含むタケ亜科、ヨシ属、イチゴツナギ亜科などが見られる。

## (5) 考察

5基の土坑の覆土からは珪化組織片が全く認められず、縄文時代晩期後葉の燃料材(特にイネ科草本類)を特定することは困難である。各土坑で燃焼があったとすれば、珪化組織片が少ない点は燃焼後の灰を外へ持ち出したことに起因すると思われる。なお、単体で検出されたクマザ

表1 灰像分析結果

種類	ⅢP-362	ⅢP-367	ⅢP-369	ⅢP-415	ⅢP-490
	43	44	45	46	47
イネ科葉部短細胞珪酸体					
クマザサ属	—	—	—	—	1
タケ亜科	1	1	—	—	2
ヨシ属	—	—	—	2	—
ウシクサ族ススキ属	—	2	—	—	—
イチゴツナギ亜科	2	—	—	1	—
不明	3	1	1	3	8
イネ科葉身機動細胞珪酸体					
クマザサ属	—	1	—	4	4
タケ亜科	2	2	—	2	3
ヨシ属	3	1	3	4	6
不明	3	4	—	3	11
合計					
イネ科葉部短細胞珪酸体	6	4	1	6	17
イネ科葉身機動細胞珪酸体	8	8	3	13	24
検出個数	14	12	4	19	41

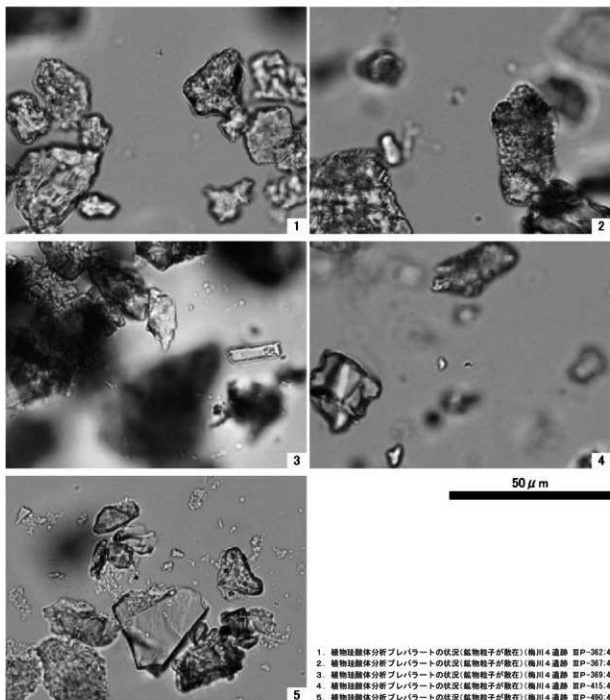
サ属を含むタケ亜科、ヨシ属、イチゴツナギ亜科などイネ科植物は、古くから燃料材などの生活資材に利用される場合があり、本遺跡で利用された可能性は否定できない。今後さらに、当該期の炉裡積物を調査することが望まれる。

#### 引用文献

近藤 隼三, 2010, プラント・オパール図譜, 北海道大学出版会, 387p.

パリノ・サーヴェイ株式会社, 1993, 自然科学分析からみた人々の生活(1), 慶應義塾藤沢校地埋蔵文化財調査室編「湘南藤沢キャンパス内遺跡 第1巻 総論」, 慶應義塾, 347-370.

図版1 灰像



## 5 千歳市梅川4遺跡出土の種実同定

バリノ・サーヴェイ株式会社

### (1) はじめに

本分析調査では、千歳市 梅川4遺跡の発掘調査で出土した種実遺体の同定を実施し、当時の植生や植物利用に関する資料を得る。

### (2) 試料

試料は、各遺構の1次選別済種実遺体145点(試料番号1~145)1,378粒である。試料は、乾燥した状態で容器に入っており、年度別、堅果、栽培種・興味別の別に分けられている。北海道埋蔵文化財センター作成による試料一覧に従った試料確認の結果、試料札の内容が異なる試料が2点(番号13:遺構名ⅢF-222、番号65:遺構名ⅢF-96)、一覧表に掲載されていない試料が3点(UP39-H1;Ⅲ層中の自然のくぼみ、処理番号19-49、ⅢF-59;処理番号20-5、ⅢF-13;処理番号20-252)、存在しない試料が13点(番号2、6、12、15、17、20、32、34、88、96、103、110、139)確認された。各試料の詳細は、結果とともに表1に示す。

### (3) 分析方法

試料を双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な種実遺体を抽出する。種実遺体の同定は、現生標本および石川(1994)、椿坂(1993)、中山ほか(2000)、小畑(2008)等を参考に実施し、個数を数えて結果を一覧表で示す。実体顕微鏡下による区別が困難な複数種間は、ハイフォンで結んで表示する。

分析後は、種実遺体を分類群別に容器に入れて返却する。

### (4) 結果

被子植物44分類群1,827個の種実遺体が同定された(表1)。747個は同定ができず、不明としている。不明とした中で、可能性がある種類(クサギ、イネ、ササ属、イネ科、マメ科、ヒシ属、双子葉類、菌核)については、括弧内に記している。種実以外では、芽や炭化材、炭化した鱗茎、不明植物、菌類の菌核、昆虫類、巻貝類、骨片、岩片、土粒などが、計144個確認された。以上の種実、不明、種実以外の合計は、2,718個である。

種実遺体群のうち、栽培種は、スモモの核の破片が193個、イネの胚乳が235個(うち5個類着)、キビ?の類・胚乳が1個と、栽培種の可能性があるヒエ近似種の類・胚乳が20個、アズキ類14個、ダイズ類1個を含むマメ科の種子が15個の、計464個が確認された。これらは全て炭化している。

栽培種とその可能性を除いた分類群は、木本16分類群(オニグルミ、シラカンバ、エノキ属、サルナシ近似種、マタタビ近似種、ミヤマザクラ、キイチゴ属、キハダ、ウルシ属、カエデ属?、ヤマブドウ近似種、ブドウ属、ブドウ科、ミズキ、タラノキ、ニワトコ属)690個、草本21分類群(スブタ、エノコログサ属、ササ属?、イネ科、アゼスゲ類、ヌカスゲ類、スゲ属(3面型)、ギシギシ属、サナエタデ近似種、ヤナギタデ近似種、アカサ科、クサノオウ、キケマン属(平滑型)、マメ科(ハギ属?、野生種、他野生種)、ヒシ属、アカネ科?、キランソウ属、イガホオズキ属、キク科)673個の、計1,363個が確認された。

これらの種実遺体の多くは炭化しているが、シラカンバ、サルナシ近似種、ミヤマザクラ、ヤマブドウ近似種、ブドウ属(科)、クランキ、ニワトコ属、エノコログサ属、アゼスゲ類、ヌカスゲ類、スゲ属(3面型)、サナエタデ近似種、アカザ科、クサノオウ、キケマン属(平滑型)、マメ科(ハギ属?)、キク科の、計157個には、炭化は認められず、保存状態が良好である。クサノオウには発芽個体も確認された。

遺跡から出土する種実のうち、低湿地以外から出土した炭化していない種実とは、炭化種実と同様に扱うには問題があるとされ(吉崎, 1992など)、遺構の時期の植生や植物利用を反映するものであるかは課題が残る。この点に関しては、試料の履歴を慎重に検討することが望まれる。本分析では、炭化していない種実遺体は結果記載(図版5)にとどめ、解析より除外している。

一方、種実ではないが、炭化した鱗茎が、ⅢF-119(番号76)から10個、ⅢF-130(番号84)から5個の、計15個確認された。炭化した鱗茎には、当時の利用の可能性が示唆されるため、本分析では炭化種実と同様に取り扱っている。

本分析で同定された種実遺体各分類群の写真を図版1～5に示し、形態的特徴等を以下に述べる。

#### 〈木本種実〉

・オニグルミ(*Juglans mandshurica* Maxim. var. *sachalinensis* (Miyabe et Kudo) Kitamura) クルミ科クルミ属  
核(内果皮)は炭化しており黒色。完形ならば、長さ2.5～4cm、径2.0～3.5cmの広卵形で頂部は尖り、1本の明瞭な縦の縫合線がある。内果皮は硬く緻密で、表面には縦方向の浅い維管束の彫紋が走り、ごつごつしている。内部には子葉が入る2つの大きな窪みと隔壁がある。

出土核は、全てが半分未満の破片で、最大片は残存長12.0mm、残存幅9.6mmを測る(ⅢF-15)。縫合線に沿わずに割れた個体(ⅢF-31)も確認されることから、完形の状態で火を受けて炭化したか、人により打撃を加えることによって割られた打撃痕の可能性が考えられる。

・シラカンバ(*Betula platyphylla* Sukatchev var. *japonica* (Miq.) Hara) カバノキ科カバノキ属  
果実は黄灰褐色。長さ2.0mm、幅1.0mmの偏平な狭倒卵形。果実の縁には、淡灰褐色、膜質で果実よりも大型の垂な楕円形の翼が2個つき、翼を入れた大きさは長さ2.7mm、幅4.3mmを測る。果実頂部には2花柱が残る。果皮表面は粗面で、頂部付近に毛が残存する。

・エノキ属(*Celtis*) ニレ科

果実・核は炭化しており黒色。長さ5.2～6.6mm、径4.0～5.4mmの球体。頂部には円形の突起がある。果皮はやや厚く(1～2mm程度)、表面は粗面。果実内部に1個入る核は、長さ4～4.5mm、径3.5～4.0mmの垂な球体。頂部は長さ1mm程度嘴状に尖り、鈍稜が縦に一周する。核は骨質で硬く、表面には網状彫紋がある。

本地域に生育するエノキ属には、日当たりのよい山地の渓谷などに生育する落葉高木のエゾエノキ(*Celtis jessoensis* Koidz.)の1種がある。出土果実はエゾエノキに由来すると考えられるが、現生標本との比較検討が不十分であるため、エノキ属にとどめている。

・サルナシ近似種(*Actinidia* cf. *arguta* (Sieb. et Zucc.) Planch. ex Miq.) マタタビ科マタタビ属  
種子は赤灰褐色、炭化個体は黒色。長さ2.0～2.5mm、幅1～1.4mmの両凸レンズ状楕円体。基部は斜切形でやや突出する。種皮は硬く、表面には円～楕円形の凹点が密布し網目模様をなす。出土種子は表面が摩耗しており、網目模様が不明瞭である。

・マタタビ近似種(*Actinidia* cf. *polygama* (Sieb. et Zucc.) Planch. ex Maxim.) マタタビ科マタタビ属  
種子は炭化しており黒色。長さ1.5～1.7mm、幅0.9～1.2mmの両凸レンズ状楕円体。サルナシよりも小型であることから、マタタビ近似種としている。基部は斜切形でやや突出する。種皮は硬く、表

面には円～楕円形の凹点が密布し網目模様をなす。出土種子は表面が摩耗しており、網目模様が不明瞭である。なお、サルナシとの判別が困難な種子は、両種をハイフォンで結んでいる。

#### ・スモモ (*Prunus salicina* Lindley) バラ科サクラ属

核(内果皮)は炭化しており黒色。完形ならば、長さ1.1～1.5cm、幅0.9～1.2cm、厚さ0.6～0.8cmのレンズ状広楕円体で頂部はやや尖り、基部は切形で丸い臍点がある。1本の明瞭な縦の縫合線が発達し、背面正中線上に細い縦隆条が、腹面正中線には浅い縦溝とその両側に幅の狭い帯状部がある。出土核は全て破片で、最大片の残存長は10.0mm、残存幅は8.9mm、半分厚は3.1mmを測る(ⅢF-14)。内果皮は厚く硬く、表面には浅い凹みが不規則にみられる。内面は平滑で、種子1個が入る楕円状の窪みが見られる。

#### ・ミヤマザクラ (*Prunus maximowiczii* Ruprecht) バラ科サクラ属

核は灰褐色、長さ4.4mm、幅4.2mm、厚さ3.8mm(ⅢF-217)、果実・核は炭化しており黒色、長さ4.2mm、幅3.8mm、厚さ3.4mm(ⅢF-5)のやや扁平で歪な非対称広楕円体。頂部はやや尖り、基部は切形で中央部に湾入した臍がある。1本の明瞭な縦の縫合線が発達し、背面正中線上に細い縦隆条が、腹面正中線には浅い縦溝とその両側に幅の狭い帯状部がある。内果皮は厚く硬く、表面は粗面で葉脈状網目模様がある。ⅢF-5より出土した核の表面には、厚さ1mm程度の果皮の破片が付着している。

ミヤマザクラは、山地の上部から亜高山帯下部にかけて生育し、蛇紋岩地帯や石灰岩地帯にもみられる落葉高木である。

#### ・キイチゴ属 (*Rubus*) バラ科

核(内果皮)は炭化しており黒色、長さ1.7mm、幅1.1mmの扁平な半倒卵体で腹面方向にやや湾曲する。表面には大きな凹みが分布し網目模様をなすが、出土核は表面が摩耗しており網目模様が不明瞭である。

#### ・キハダ (*Phellodendron amurense* Rupr.) ミカン科キハダ属

果実、種子は炭化しており黒色。果実は完形ならば径1cm程度の球体。外果皮は薄く、中果皮は肉質。5室があり、各1個の種子が入る。出土果実は破片で、長さ5.4mm、残存径3.9mm(ⅢF-5)を測り、1室が確認されるが内部の種子を欠損する。種子は、完形ならば長さ4～5mm、幅2.5～3mm、厚さ1～1.5mmのやや扁平な半楕円体。出土種子は全て破片で、最大片は残存長1.5mm、残存幅2.0mmを測る(UP39-H1)。種皮は薄く、表面には浅く微細な縦長の網目模様が配列する。

#### ・ウルシ属 (*Rhus*) ウルシ科

核(内果皮)は炭化しており黒色。完形ならば長さ2～3mm、幅3～4mm、厚さ1～2mmのやや扁平な楕円体で、背腹両面の中央が凹み、臍状となる。腹面中央に長さ0.6～0.8mmの長楕円形の臍がある。出土核の残存径は3.0mm、残存厚は1.9mmを測る(ⅢF-173)。内果皮は厚く(約0.2mm)、表面は粗面で断面は柵状。

#### ・カエデ属 (*Acer*)? カエデ科

果実と考えられる種実遺体は炭化しており黒色、長さ3.2mm、幅2.6mm、残存厚1.4mmの直方体状楕円体。基部は切形で2翼果の合着面は平ら。両面の正中線上に鈍稜がある。果皮表面には葉脈状の隆条模様がある。内面には1個の種子が入る窪みがある。

#### ・ヤマブドウ近似種 (*Vitis* cf. *coignetiae* Pulliat ex Planch.) ブドウ科ブドウ属

種子は灰褐色、炭化個体は黒色。長さ4.0～5.0mm、幅2.9～4.0mm、厚さ2.5～3.0mmの広倒卵体で側面観は半広倒卵形。基部は鋭尖形で、細く嘴状に尖る核嚢がある。背面正中線の頂部から1mm程度に、長さ1.5～2mm、幅1～1.5mm程度の卵形の合点があり、細く浅い溝に囲まれて合点中央は窪む。

腹面正中線は(鈍)稜をなし、細い筋が走る。正中線の左右には、長さ2~2.3mm、幅0.5~0.7mm程度の倒皮針形で深く窪む核窪がある。種皮は硬く、表面は粗面、断面は櫛状。なお、合点の状態が不明瞭な種子をブドウ属、背面が欠損した破片をブドウ科(Vitaceae)としている。

・ミズギ(*Swida controversa* (Hemsl.) Sojak) ミズキ科ミズギ属

核(内果皮)は炭化しており黒色、径3.3mmの偏球体。基部に径1~2mm程度の大きく深い孔がある。内果皮は硬く、表面には一周する幅で深い縦溝1本と、やや深い縦溝数本が走る。内果皮は硬く緻密で、内部には2室を形成する隔壁がある。

・タラノキ(*Aralia elata* (Miq.) Seemann) ウコギ科タラノキ属

核(内果皮)は黄灰褐色、長さ2.2~2.5mm、幅1.5mm程度のやや偏平な半月形。腹面はほぼ直線状で、片端に突起がある。背面には数本の浅い溝が走る。表面は小さな凹凸が多く粗面。

・ニワトコ属(*Sambucus*) スイカズラ科

核(内果皮)は黄~赤灰褐色、炭化個体は黒色。長さ2~2.5mm、径1.3mm程度のやや偏平な広倒卵体。背面は丸みがあり、腹面の正中線上は鈍稜をなす。基部はやや尖り、腹面正中線上に小さな孔がある。内果皮はやや硬く、表面には横皺状模様が発達する。

本地域に生育するニワトコ属には、標高2~500mの開けたところ、特に谷などに生育する落葉低木または高木のエゾニワトコ(*Sambucus racemosa* L. subsp. *sieboldiana* (Miq.) Hara subsp. *kamtschatica* (E. Wolf) Hulten)の1種がある。出土核はエゾニワトコに由来すると考えられるが、現生標本との比較検討が不十分であるため、ニワトコ属にとどめている。

〈草本種実〉

・スプタ(*Blyxa echinosperma* (Clarke) Hook. fil.) トチカガミ科スプタ属

種子は炭化しており黒色、長さ1.8mm、径1.0mmの楕円体。両端から伸びる尾状突起を欠損する。種皮はやや厚く、表面には数本の低い突起群が縦列する。

スプタは本州以南に分布し、現在の本地域には生育していない(佐竹ほか, 1982;角野, 1994)。出土種実には、誤同定の可能性も含まれるため、慎重な検討を要する。

・イネ(*Oryza sativa* L.) イネ科イネ属

本分析で確認された炭化米は、表面模様がほぼ明瞭で、果皮や種皮が残る「玄米」の状態である。また、内穎や外穎(籾)が付着する状態も確認される。炭化米の出土部位の厳密な区別は困難であるため、本分析では、非可食部の内穎・外穎を「穎」、内部の可食部を「胚乳」としている。

穎(果)・胚乳は、炭化しており黒色、長さ3.0~6.1mm、幅1.4~3.2mm、厚さ0.9~2.6mmのやや偏平な長楕円体を呈す。胚乳の基部一端には、胚が脱落した斜切形の凹部がある。表面は、2~3本の縦線が明瞭で、穎が付着した個体も確認された。

胚乳1個を包む穎は、完形ならば、長さは6~7.5mm、幅は3~4mm、厚さは2~3mm程度を測る。基部に径1mm程度の斜切状円柱形の果実序柄(小穂軸)と1対の護穎を有し、その上に外穎(護穎と言う場合もある)と内穎がある。外穎は5脈、内穎は3脈をもち、ともに舟形を呈し、縫合して籾殻を構成する。果皮は薄く、表面には微細な顆粒状突起が縦列する。

・ヒエ近似種(*Echinochloa* cf. *utilis* Ohwi et Yabuno) イネ科ヒエ属

胚乳と胚乳を包む穎(果)は炭化しており黒色。長さ1.5~2.5mm、幅1.4~2.0mm、厚さ0.8~1.4mmの半広卵~偏球体。背面は丸みがあり腹面はやや平ら。胚乳基部正中線上は、背面に長さ1.5~1.8mm、幅0.5~1.0mmの馬蹄形、腹面に径0.5mm程度の半円形の胚の凹みがある。胚乳表面は粗面。表面に付着する穎(果)は薄く、表面は平滑で光沢があり、微細な縦長の網目模様が縦列する。



・キビ(*Panicum miliaceum* L.)? イネ科キビ属

胚乳と胚乳を包む穎果は炭化しており黒色。長さ2.0mm、幅2.0mm、厚さ1.8mm程度のやや扁平な広卵体。丸みがある背面の外穎が、平らな腹面の内穎の両縁を包む。焼き膨れや発泡により、腹面欠損部より確認される内部は中空である。果皮は薄く、表面は平滑で光沢があり、微細な縦長の網目模様が縦列する。

・エノコログサ属(*Setaria*) イネ科

果実は黄灰褐色、長さ2.5mm、径1.5mm程度の半卵体。丸みがある背面の外穎が、平らな腹面の内穎の両縁を包む。果皮表面には横方向に目立つ網目模様が配列する。

・ササ属(*Sasa*)? イネ科

種子は炭化しており黒色。長さ3.0~4.5mm、幅2.0~3.5mm、厚さ1.5~3.0mmの狭卵~楕円体。背面はやや平らで、正中線には栽培種のコムギ(*Triticum aestivum* L.:コムギ属)の胚乳よりも細く浅い縦溝がある。腹面はやや丸みを帯び、基部正中線上に斜切形で径0.5~1.0mmの浅い円形の胚がある。種皮は薄く平滑で、表面には微細な縦長の網目模様が配列する。

・イネ科(Gramineae)

胚乳と胚乳を包む果実(穎果)は炭化しており黒色、長さ2.0~4.5mm、径0.7~1.3mm程度の半狭卵~長楕円体で背面は丸みがあり腹面は扁平。果実内に1個入る胚乳の基部正中線上には径0.5~1.0mmの胚の凹みがある。胚乳表面に残る果皮の表面は平滑で、微細な縦長の網目模様が配列する。

・アゼスゲ類(*Carex* Sect. *Carex*) カヤツリグサ科スゲ属

果実は灰黒褐色、長さ2.0mm、幅1.3mm、厚さ0.6mmのレンズ状広倒卵体。頂部の柱頭部分が伸び、基部は切形。果皮表面には微細な六角形状の網目模様がある。

・ヌカスゲ類(*Carex* Sect. *Mitratae*) カヤツリグサ科スゲ属

果実は淡灰褐色、長さ1.5mm、径0.8mmの三稜状狭倒卵体。頂部の柱頭部分が伸びる。基部付近は3面がやや凹み、基部は切形で花被片が伸びる個体がみられる(ⅢF-85)。果皮表面には微細な網目模様がある。

・スゲ属(*Carex*) カヤツリグサ科

果実は淡~灰褐色、炭化個体は黒色。長さ1.7mm、径1.2mmの三稜状倒卵体で、頂部の柱頭部分が伸び、基部は切形。果皮表面には微細な網目模様がある。

・ギシギシ属(*Rumex*) タデ科

果実と花被は炭化しており黒色。果実は長さ2.5~2.8mm、径1.3~1.5mm程度の三稜状広卵体。三稜は鋭く明瞭で、両端は急に尖る。果皮表面はやや平滑。果実周囲に花被が残る個体がみられる。花被は径4~5mm程度の心円形で粗い網目模様をなし、縁には歯牙がある。中肋は瘤状に膨れる。

・サナエタデ近似種(*Polygonum* cf. *lapathifolium* L.) タデ科タデ属

果実は黒褐色、長さ2.0mm、幅1.6mm、厚さ0.8mm程度の扁平な広卵状二面体。頂部はやや尖り、2花柱が残存する個体がみられる(ⅢF-211)。基部は切形。果皮表面は平滑で光沢がある。

・ヤナギタデ近似種(*Polygonum* cf. *hydropiper* L.) タデ科タデ属

果実は炭化しており黒色、長さ2.6mm、径1.7mm程度の広卵体。頂部はやや尖り、基部は切形。背面正中線上には鈍稜がある。表面には明瞭な網目模様があり、やや粗面。

・アカザ科(Chenopodiaceae)

種子は黒色、径1.0~1.3mmのやや扁平な円形。基部は凹み、中心に向かって食い込む。種皮表面には臍を取り囲むように微細な網目模様が放射状に配列し、光沢がある。

・クサノオウ(*Chelidonium majus* L. var. *asiaticum* (Hara) Ohwi) ケシ科クサノオウ属

種子は灰白～灰褐色、長さ1.3～1.5mm、径0.8mmの楕円体。腹面方向にやや湾曲し、腹面の一端付近に臍がある。種皮は薄く、表面には浅い凹点による微細な網目模様がある。白色の発芽がみられる個体も確認された(ⅢF-110)。

・キケマン属(*Corydalis*) ケシ科

種子は黒褐色、長さ1.2mm、幅1.3mm、厚さ0.7mmの両凸レンズ状腎円体。基部は切形でやや突出し、長径0.3mmの長方形の臍がある。種皮表面は平滑で光沢があり、微細な縦長の網目模様が臍を取り囲むように同心円状に配列する。

・アズキ類(*Vigna* subgen. *Ceratotropis* (Piper) Verdc.) マメ科ササゲ属

種子は炭化しており黒色、長さ3.6～6.9mm、幅2.3～4.7mm、厚さ2.3～5.0mmのやや偏平な楕円体。出土種子は、腹面の子葉合わせ目上にある長楕円形の臍を欠損するが、「厚膜タイプ」の臍に由来する臍下の断面V字の溝が底面まで延びる「アズキ型種子」(小畑, 2008)の特徴がみられる(ⅢF-30、ⅢF-90、ⅢF-167など)。幼根はやや突出し、珠孔を欠損する。子葉の合わせ目沿って割れた面はやや平滑で、胚軸跡の溝が確認される。北大基準(吉崎, 1992)の「アズキグループ(幼根が臍の終わり程から急に立ち上がり、胚珠中央に向けて伸びる)」に該当する初生葉やその痕跡も確認される(ⅢF-30、ⅢF-38)。種皮は薄く、表面はやや平滑～粗面で、断面は櫛状。

・ダイズ類(*Glycine max* (L.) Merr. subsp. *max* (L.) Merr.) マメ科ダイズ属

種子は炭化しており黒色、長さ6.2mm、幅5.0mm、厚さ5.1mmの焼き膨れた楕円体を呈す。腹面の子葉合わせ目上に、長さ1.9mm、幅0.5mmの長楕円形の臍がある。臍は種皮と同一表面で、長軸正中線上に走る臍溝は「露出タイプ」(小畑, 2008)である。臍縁と臍溝の両側がやや突出し、それらに囲まれた部分は少し窪んでいる。珠孔と種瘤が臍に接し、幼根はやや突出し、長さ2.7mm、幅1.4mmを測る。種皮は薄く、表面は稍平滑で断面は櫛状。焼き膨れにより種皮が短軸方向に裂開し、内部が突出している。

・マメ科(Leguminosae)

上述の栽培種の可能性を含む分類群とは異なり、野生種と考えられる複数種を一括している。種子は炭化しており黒色。大きさは、長さ2.1～2.9mm、幅1.4～2.5mm、厚さ1.4～2.6mmと小型である。やや偏平な楕円体で、臍は長さ2.0mm、幅0.4mmと、がほぼ腹面正中線を占める個体(ⅢF-117)や、腎状楕円体で幼根が突出し、臍は長さ0.7mm、幅0.2mmで種皮よりも窪んだ位置にある個体(ⅢF-211、ⅢF-21など)がみられる。種皮表面はやや平滑。

・ハギ属(*Lespedeza*)? マメ科

種子は淡黄～緑灰褐色に茶～紫褐色の斑紋が分布し、光沢がある。炭化個体は黒色。大きさは、長さ2.1～2.3mm、幅1.6～1.9mm、厚さ1.4～1.6mmのやや偏平な腎状楕円体。腹面中央部は湾入し、長径0.5mmの長楕円形の臍があり、縁が隆起する。種皮表面は平滑。

・スマレ属(*Viola*) スミレ科

種子は淡灰褐色、炭化個体は黒色。長さ1.7mm、径1.4mmの広倒卵体。基部は尖り、やや湾曲する。頂部は円形の臍点がある。表面には縦方向に走る1本の縫合線がある。種皮は薄く、表面には縦長の微細な網目模様が配列する。

・ヒシ属(*Trapa*) ヒシ科

果実は炭化しており黒色、完形ならば長さ1～2cm、幅2～3cm、厚さ1cm程度のやや偏平な倒三角状倒卵体。両肩に各1個、長さ1cm程度の鋭い長刺がある。頂部の中央には円柱状の子房突起が突出

し、その中心に短い刺がある。両側の刺からは基部まで延びる翼状隆条がある。果皮は木質で表面はやや平滑。出土果実は全て破片で、最大0.7cm程度。

・アカネ科(Rubiaceae)?

核と考えられる種実遺体は炭化しており黒色。長さ1.5mm、径2.1mmの横長楕円体。腹面中央に径0.5mmの楕円体の孔がある。表面には微細な網目模様がある。

・キランソウ属(*Ajuga*) シソ科

果実は炭化しており黒色、長さ1.5~1.7mm、径0.8~1.0mmの楕円体。腹面基部に長さ1.0~1.2mmの大きな楕円形で小突起が密生する着点痕がある。果皮表面には深い凹みによる網目模様が分布する。

・イガホオズキ属(*Physalisstrum*) ナス科

種子は炭化しており黒色、長さ1.0mm、幅1.3mmの扁平で歪な腎臓形。基部のくびれた部分に臍がある。種皮表面にはやや粗い星型状網目模様が臍から同心円状に発達し、網目の大きさは縁に近くなると狭まる。

・キク科(Compositae)

果実は淡緑灰色、長さ1.6mm、径0.5mmの長楕円体で、腹面方向にやや湾曲する。頂部は切形で円形の臍がある。果皮表面は縦隆条が配列し、微細な網目模様がある。

(鱗茎)

鱗茎は炭化しており黒色、多数の薄い鱗茎葉が中軸から層状に巻いて重なり、球体を呈す。大きさは、長さ7.6mm、径7.7mm(ⅢF-119)と、径8.5mm(ⅢF-130)を測る。頂部はやや尖り、基部は切形で、径1.5mmの円形を呈す根がついた跡が確認された(図版4-b)。両端の中軸を結ぶ1mm強間隔の細い縦隆条が配列し、上下面観は、中軸から隆条が放射状に伸びる(図版4-a,b)。鱗茎葉の表面には、微細な粒状網目模様が縦列する。炭化したユリ科ユリ属(*Lilium*)やウバユリ属(*Cardiocrinum*)などにみられるような、皮針状のはがれやすい肥厚化した肉質の鱗茎葉が瓦状に重なった鱗状鱗茎とは区別され、ネギ属(*Allium*)の単生する鱗茎(地下茎)である可能性が高い。

佐竹ほか編(1982)によると、本地域に自生するネギ属は、ギョウジャニンニク、ヒメニラ、ミヤマラッキョウ、ノビル、アサツキがあり、ノビルは古い時代に渡来した説もある。鱗茎の形状は、ヤマラッキョウとアサツキは狭卵形で、ギョウジャニンニクとミヤマラッキョウは披針形、ヒメニラは卵形、ノビルは球形と記載されている。出土鱗茎はノビルに由来する可能性があるが、現段階では現生標本との比較検討が不十分である。

(5) 考察

各遺構から出土した種実遺体には、炭化した栽培種のスモモ、イネ、キビ?と、栽培種の可能性のあるヒエ近似種、アズキ類やダイズを含むマメ科が確認された。これらは、当時の本遺跡周辺域で利用された植物質食料と示唆され、火を受けたと考えられる。穀類のイネやヒエ近似種、キビ?は、食用前の穎がついた生の状態で火を受けたと推定される。

栽培種とその可能性を除いた炭化種実群は、木本は全て落葉広葉樹で、河川沿いなどの湿潤な場所を好んで生育するオニグルミやエノキ属(おそらくエゾエノキ)、ミズキ、ミヤマザクラ、キハダなどの高木や、高木または低木のウルシ属、カエデ属?、低木のキイチゴ属、タラノキ、ニワトコ属(おそらくエゾニワトコ)、藤本類のサルナシ近似種、マタタビ近似種、ヤマブドウ近似種、ブドウ属(科)などの、河畔や林縁、伐採地などの明るい場所に生育する樹種が確認された。これらの樹種は、現在の本地域にも分布しており、当時の本遺跡周辺に生育していたと考えられる。また、エノキ属やミヤ

マザクラ、キハダの果実が残る炭化状況を考慮すると、結実期である夏～秋に火を受けた可能性がある。

草本類は、ササ属(?)、イネ科、スゲ属、ギシギシ属、ヤナギタデ近似種、マメ科(ハギ属?、野生種)、ヒシ属、アカネ科?、キランソウ属、イガホオズキ属の他に、ネギ属と考えられる鱗茎が確認された。ササ属は、広葉樹林の林床や沢地などに広く群生する。その他は、明るく開けた場所に生育する、いわゆる人里植物に属する分類群である。これらは、当時の調査区周辺域の草地環境や、上述の森林の林縁などに生育していたと考えられる。また、やや富栄養化した水域に生育する浮葉植物(根が水底に固着し、水面に浮く葉(浮葉)を展開する植物)のヒシ属や、スゲ属、ヤナギタデ(近似種)などの湿生植物も確認されることから、やや水深がある水湿地環境の存在が示唆される。

これら自生していたと考えられる分類群のうち、ⅢF-219とⅢF-31から多産した堅果類のオニグルミは、核内部の子葉が生食可能である。また、主にⅢF-30やⅢF-100から出土したヒシ属は、果実内部の種子が食用可能である。オニグルミとヒシ属は、全て炭化した破片の状態ですべて出土していることから、人が食用のために居住域内に持ち込み、内部の可食部を取り出した後の食料残渣の可能性が高い。その他に、サルナシ(近似種)やキイチゴ属、ヤマブドウ近似種を含むブドウ属は、果実が食用可能で、キハダは果実や樹皮が薬用に利用可能である。これらの出土種実の人に直接の利用痕跡は確認されなかったが、当時利用された可能性はあろう。

ところで、ⅢF-119とⅢF-130からは、炭化したネギ属と考えられる鱗茎が確認された。根茎類の遺跡出土事例は稀にみられ(小島・浜口, 1977など)、縄文時代における食用化が想定されてきた。山本(2002)による根茎類の遺跡出土事例の集成より、東京都八王子市宮下遺跡の縄文時代中期前半と、中野区新井小学校裏遺跡の縄文時代後期でノビルが確認されている。ノビルは原野や道ばたにふつうな多年草で、鱗茎はデンプン質に富むため食用され、春の摘み草の一つである。しかし、山梨県ほか数遺跡の出土例の検討より、現状ではノビルの断定は難しく、ユリ科ネギ属としておくのが妥当とされている。

今回、出土した鱗茎は、上述の可食種実とともに当時利用された植物質食料と示唆される。今後の資料蓄積を待ち、分類群の特定と、本遺跡周辺域における植物利用状況の検討が望まれる。

## 引用文献

- 石川茂雄, 1994, 原色日本植物種子写真図鑑, 石川茂雄図鑑刊行委員会, 328p.  
 角野康郎, 1994, 日本水草図鑑, 文一総合出版, 178p.  
 小島弘義・浜口哲一, 1977, 炭化球根・上ノ人遺跡, 季刊 どんもん 13, 田中 箕編, JICC出版局, 90-95.  
 中山至大・井之口希秀・南谷忠志, 2000, 日本植物種子図鑑, 東北大学出版会, 642p.  
 小畑弘己, 2008, マメ科種子同定法, 「極東先史古代の雑穀3」, 日本学術振興会平成16～19年度科学研究費補助金(基盤B-2)課題番号16320110「雑穀資料からみた極東地域における農耕受容と拡散過程の実証的研究」研究成果報告書, 小畑弘己編, 熊本大学埋蔵文化財調査室, 225-252.  
 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・巨理俊次・富成忠夫, 1982, 日本の野生植物 草本I 単子葉類, 平凡社, 305p.  
 椿坂恭代, 1993, アワ・ヒエ・キビの同定, 吉崎昌一先生還暦記念論集「先史学と関連科学」, 261-281.  
 山本直人, 2002, 縄文時代の植物採集活動—野生根茎類食料化の民俗考古学的研究—, 淡水社, 250p.  
 吉崎昌一, 1992, 古代雑穀の検出, 月刊考古学ジャーナル, No.355, 2-14.

表1 種実遺体同定結果一覧

試料情報	測定結果				主な分殊群の計測値 (mm)				備考			
	遺体名	整理番号	重量	種	分類群	部位	状態	個数		長さ	幅	厚さ
1	種P-211	19-1	0.00	1	イネ	胚乳	完全	炭化	1	--	--	--
1	種P-211	19-1	--	--	イネ	胚乳	完全	炭化	2	--	--	--
1	種P-211	19-1	--	--	イネ	胚乳	完全	炭化	1	4.0	2.2	1.7
1	種P-211	19-1	--	--	イネ	胚乳	破片	炭化	2	--	--	--
1	種P-211	19-1	--	--	不明	完全	炭化	3	--	--	--	
1	種P-211	19-1	--	--	不明	破片	炭化	3	--	--	--	
1	種P-211	19-1	--	--	ワケコ	種子	完全	炭化	1	3.2	1.7	1.4
1	種P-211	19-1	--	--	キタノクワ属	果実	完全	炭化	3	--	--	--
1	種P-211	19-1	--	--	ヒツノクワ属	核	完全	炭化	1	--	--	--
1	種P-211	19-1	--	--	ササユシ科近縁種	果実	完全	炭化	2	--	--	--
1	種P-211	19-60	0.00	1	不明(双子葉類?)	果実?	破片	炭化	4	--	--	--
2	種P-212	19-4	0.00	1	キタノクワ属	果実	完全	炭化	1	--	--	--
2	種P-212	19-4	--	--	不明(双子葉類)	破片	炭化	1	--	--	--	
2	種P-212	19-5	0.00	1	(芽)	完全	炭化	1	--	--	--	
2	種P-212	19-6	0.00	1	イネ	胚乳	破片	炭化	1	--	--	--
2	種P-5	19-61	0.00	1	イネ	胚乳	破片	炭化	1	--	--	--
2	種P-5	19-61	--	--	ヒヤマザクラ	果実・核	完全	炭化	1	4.2	3.8	3.4
2	種P-5	19-61	--	--	不明	破片	炭化	2	--	--	--	
2	種P-5	19-61	--	--	(菌核)	破片	炭化	1	--	--	--	
3	種A-2	19-9	0.00	1	不明	破片	炭化	2	--	--	--	
4	種A-3	19-10	0.00	1	イネ	胚乳	破片	炭化	1	--	--	--
4	種A-3	19-10	--	--	不明(双子葉類)	破片	炭化	1	--	--	--	
4	種A-3	19-10	--	--	不明	完全	炭化	2	--	--	--	
4	種A-3	19-10	--	--	不明	破片	炭化	1	--	--	--	
5	種P-215	19-13	0.00	1	オキナゴ	果実	完全	炭化	1	5.4	3.9+	--
5	種P-215	19-13	--	--	不明(双子葉類)	破片	炭化	1	--	--	--	
5	種P-215	19-13	--	--	不明	完全	炭化	2	--	--	--	
5	種P-215	19-13	--	--	(炭化材)	破片	炭化	1	--	--	--	
5	種P-215	19-14	0.00	1	不明	破片	炭化	1	--	--	--	
5	種P-215	19-15	0.00	1	イネ科	果実	完全	炭化	1	--	--	--
5	種P-215	19-15	--	--	不明	完全	炭化	1	--	--	--	
6	種P-217	19-19	0.00	13	スモモ	核	破片	炭化	3	6.3+	9.8+	--
6	種P-217	19-19	--	--	スモモ	核	破片	炭化	10	4.8+	--	--
6	種P-217	19-19	--	--	ヒノキ属	核	破片	炭化	2	--	--	--
6	種P-217	19-19	--	--	不明	破片	炭化	7	--	--	--	
6	種P-217	19-19	--	--	エノキ属	果実	完全	炭化	1	5.2	4.6	--
6	種P-217	19-19	--	--	エノキ属	果実・核	破片	炭化	1	5.7	4.0	--
6	種P-217	19-19	--	--	イネ	胚乳	完全	炭化	1	3.9	2.2	2.1
6	種P-217	19-19	--	--	イネ	胚乳	完全	炭化	5	--	--	--
6	種P-217	19-19	--	--	イネ科	胚乳	完全	炭化	1	--	--	--
6	種P-217	19-19	--	--	マメ科	種子	完全	炭化	3	2.2	1.4	1.3
6	種P-217	19-19	--	--	不明(双子葉類)	破片	炭化	2	--	--	--	
6	種P-217	19-19	--	--	不明	完全	炭化	1	--	--	--	
6	種P-217	19-19	--	--	不明	破片	炭化	4	--	--	--	
6	種P-217	19-22	5.27	101								
6	種P-217	19-24	0.00	1	ヒヤマザクラ	核	完全	炭化	1	4.4	4.2	3.8
6	種P-217	19-25	0.00	1	(菌核?)	破片	炭化	1	--	--	--	
6	種P-7	19-1	0.00	1	イネ科	胚乳	完全	炭化	1	--	--	--
6	種P-7	19-11	--	--	マメ科(ハネ屬?)	種子	完全	炭化	1	--	--	--
7	種P-218	19-26	0.00	1	シロカバ	果実	完全	炭化	2	--	--	--
7	種P-218	19-26	--	--	不明(双子葉類?)	破片	炭化	2	--	--	--	
7	種P-218	19-26	--	--	オニグルミ	核	破片	炭化	3	11.5+	9.2+	--
7	種P-218	19-28	0.00	1	不明(双子葉類?)	破片	炭化	1	--	--	--	
8	種P-219	19-29	0.50	1	(菌核)	破片	炭化	55	--	--	--	
8	種P-219	19-29	--	--	イネ	胚乳	完全	炭化	1	4.0	2.5	1.7
8	種P-219	19-29	--	--	イネ	胚乳	完全	炭化	3	3.9	2.3	1.8
8	種P-219	19-29	--	--	イネ	胚乳	完全	炭化	2	3.8	2.5	1.7
8	種P-219	19-29	--	--	イネ	胚乳	完全	炭化	1	--	--	--
8	種P-219	19-29	--	--	イネ	胚乳	破片	炭化	2	--	--	--
8	種P-219	19-29	--	--	不明(双子葉類)	破片	炭化	19	--	--	--	
8	種P-219	19-29	--	--	不明	完全	炭化	4	--	--	--	
8	種P-219	19-29	--	--	不明	破片	炭化	2	--	--	--	
8	種P-219	19-29	--	--	(菌核)	破片	炭化	2	--	--	--	
8	種P-219	19-29	--	--	ヒキキ	核	破片	炭化	2	--	--	--
8	種P-219	19-29	--	--	不明	完全	炭化	1	5.3	3.5	--	
8	種P-219	19-29	--	--	不明	破片	炭化	1	--	--	--	
8	種P-219	19-29	0.00	1	オニグルミ	核	破片	炭化	198	10.6+	7.9+	--
8	種P-219	19-29	--	--	(炭化材)	破片	炭化	1	--	--	--	
8	種P-219	19-30	0.00	1	イネ	胚乳	完全	炭化	1	4.7	2.3	2.1
8	種P-219	19-30	--	--	キタノクワ属	果実	完全	炭化	1	--	--	--
8	種P-219	19-30	--	--	不明	破片	炭化	1	--	--	--	
8	種P-219	19-30	--	--	不明	破片	炭化	3	--	--	--	
8	種P-219	19-30	--	--	(芽)	完全	炭化	1	--	--	--	
8	種P-219	19-30	--	--	オニグルミ	核	破片	炭化	91	10.9+	8.2+	--
8	種P-219	19-30	--	--	(炭化材)	破片	炭化	2	--	--	--	
8	種P-219	19-30	--	--	(包?)	完全	炭化	1	--	--	--	
8	種P-219	19-31	0.00	8	オニグルミ	核	破片	炭化	3	3.4+	--	--
8	種P-219	19-31	--	--	イネ科	胚乳	完全	炭化	1	--	--	--
8	種P-9	19-76	0.24	34	イネ	胚乳	完全	炭化	1	3.8	2.5+	2.5
8	種P-9	19-76	--	--	不明(双子葉類?)	破片	炭化	1	--	--	--	
8	種P-9	19-76	--	--	不明(双子葉類?)	破片	炭化	2	--	--	--	
8	種P-9	19-77	0.00	1	キタノクワ属	果実	完全	炭化	1	--	--	--
8	種P-9	19-77	--	--	キタノクワ属	果実	破片	炭化	1	--	--	--
8	種P-9	19-77	--	--	不明(双子葉類)	破片	炭化	1	--	--	--	
8	種P-9	19-78	2.38	29	ヒツノクワ属	核	破片	炭化	1	--	--	--
8	種P-9	19-78	--	--	アカハネ科	核	完全	炭化	2	1.5	2.0	--
8	種P-9	19-78	--	--	不明(双子葉類)	破片	炭化	4	--	--	--	
8	種P-9	19-78	--	--	不明	破片	炭化	2	--	--	--	

試料情報		測定結果				主な分類群の計測値(mm)				備考		
遺構名	集積番号	重量	粒	分類群	部位	状態	個数	積算長さ	幅		厚さ	
8	遺F-9	19-78	-	不明(イネ科?)		完形	炭化	1	-	-	-	
8	遺F-9	19-78	-	オオムギ(イネ科)	断面	完形	炭化	1	-	-	-	
8	遺F-9	19-78	-	不明		炭化	炭化	5	-	-	-	
9	遺A-2	19-32	0.30	7	ヒトツノ属	核	完形	1	-	-	-	
9	遺A-2	19-32	-	不明(椎骨?)		完形	炭化	1	-	-	-	
9	遺A-2	19-32	-	不明(椎骨?)		破片	炭化	1	-	-	-	
9	遺A-2	19-32	-	(歯材)		破片	炭化	3	-	-	-	
9	遺A-2	19-32	-	(歯材)		破片	炭化	2	-	-	-	
9	遺A-2	19-32	-	スモモ	核	破片	炭化	9	3.9+	-	-	
9	遺A-2	19-33	0.00	1	(骨)		破片	炭化	1	-	-	
9	遺A-2	19-33	0.00	1	スモモ	核	破片	炭化	2	4.1+	-	
9	遺A-2	19-34	0.00	1	スモモ	核	破片	炭化	8	4.8+	-	
10	遺A-3	19-35	0.00	7	スモモ	核	破片	炭化	9	7.9+	8.4+	
10	遺A-3	19-35	-	(歯材)		破片	炭化	1	-	-	-	
10	遺A-3	19-35	-	(歯材)		破片	炭化	12	-	-	-	
10	遺A-3	19-35	-	(歯材)		破片	炭化	4	-	-	-	
10	遺A-3	19-35	-	不明(双子葉類?)		破片	炭化	2	-	-	-	
10	遺A-3	19-35	-	キンギン属	果実	完形	炭化	2	-	-	-	
10	遺A-3	19-35	-	オオムギ(イネ科)	種子	完形	炭化	1	2.5	1.4	1.6	
10	遺A-3	19-35	-	マツ科(ハネ属?)	種子	完形	炭化	1	2.5	1.9	1.6	
10	遺A-3	19-35	-	クラム	核	完形	炭化	1	-	-	-	
10	遺A-3	19-36	0.00	1	スモモ	核	破片	炭化	5	-	6.7+	
10	遺A-3	19-36	-	(骨片)		破片	炭化	1	-	-	-	
10	遺A-3	19-36	-	オオムギ	断面	完形	炭化	6	-	-	-	
10	遺A-3	19-36	-	不明		完形	炭化	1	-	-	-	
10	遺A-3	19-37	0.30	10	イネ	胚乳	完形	炭化	1	4.4	2.4	2.1
10	遺A-3	19-37	-	スモモ	核	破片	炭化	13	6.5+	8.3+	-	
10	遺A-3	19-37	-	不明(双子葉類?)	果実	完形	炭化	1	-	-	-	
10	遺A-3	19-37	-	不明(双子葉類?)	果実	完形	炭化	2	-	-	-	
10	遺A-3	19-37	-	不明(双子葉類?)		破片	炭化	2	-	-	-	
10	遺A-3	19-37	-	不明(椎骨)		破片	炭化	1	2.6	2.5	1.1+	
10	遺A-3	19-37	-	(骨)		完形	炭化	1	-	-	-	
10	遺A-3	19-37	-	(歯材)		破片	炭化	1	-	-	-	
10	遺A-3	19-38	0.00	1	スモモ	核	破片	炭化	8	4.9+	-	
10	遺A-3	19-38	-	(歯材)		破片	炭化	1	-	-	-	
10	遺A-3	19-38	-	不明(イネ科)	果実	完形	炭化	2	-	-	-	
10	遺A-3	19-38	-	不明(イネ科)	完形	炭化	炭化	2	-	-	-	
10	遺A-3	19-38	-	不明(双子葉類?)		完形	炭化	1	-	-	-	
10	遺A-3	19-38	-	シラカバ	果実	完形	炭化	1	-	-	-	
10	遺A-3	19-38	-	マツ科(ハネ属?)	種子	完形	炭化	1	-	-	-	
11	遺F-220	19-39	0.00	1	不明	果実	完形	炭化	2	-	-	
11	遺F-220	19-39	-	不明(双子葉類?)		完形	炭化	2	-	-	-	
11	遺F-220	19-39	-	不明(双子葉類?)		完形	炭化	1	-	-	-	
11	遺F-220	19-39	-	不明		完形	炭化	1	-	-	-	
11	遺F-220	19-39	-	(歯材)		破片	炭化	1	-	-	-	
11	遺F-220	19-41	0.00	1	イネ	胚乳	完形	炭化	1	4.1	2.4	2.0
11	遺F-221	19-42	0.00	1	イネ	核	破片	炭化	1	-	-	
11	遺F-221	19-42	-	ブドウ科(ブドウ属?)	種子	破片	炭化	1	-	-	-	
11	遺F-221	19-42	-	不明		破片	炭化	1	-	-	-	
11	遺F-221	19-42	-	不明(双子葉類?)		破片	炭化	1	-	-	-	
11	遺F-221	19-42	-	不明(歯材)		破片	炭化	2	-	-	-	
11	遺F-221	19-42	-	(骨)		破片	炭化	2	-	-	-	
11	遺F-221	19-42	-	(歯材)		破片	炭化	21	-	-	-	
11	遺F-221	19-43	0.00	1	不明(歯材?)		破片	炭化	1	-	-	
11	遺F-221	19-44	0.10	3	イネ?	胚乳	完形	炭化	1	2.0	2.0	1.5
11	遺F-221	19-44	-	マツ科(ハネ属?)	種子	完形	炭化	2	-	-	-	
11	遺F-221	19-44	-	不明(歯材?)		完形	炭化	2	-	-	-	
11	遺F-221	19-44	-	不明(歯材?)		破片	炭化	2	-	-	-	
11	遺F-221	19-45	0.00	1	イネ?	胚乳?	炭化	2	-	-	-	
11	遺F-221	19-45	-	不明		完形	炭化	1	-	-	-	
11	遺F-221	19-45	-	ヒメミズナ	果実	完形	炭化	1	1.9	1.8	1.4	
11	遺F-221	19-46	0.00	1								
13	遺F-222	19-48	0.00	1	イネ?	胚乳?	破片	炭化	1	-	-	
13	遺F-222	19-48	-	オオムギ(イネ科)	種子	完形	炭化	1	-	-	-	
13	遺F-222	19-48	-	マツ科(ハネ属?)	種子	完形	炭化	1	2.1	1.6	1.4	
13	遺F-222	19-48	-	オオムギ	核	破片	炭化	11	3.1+	-	-	
16	遺F-66	19-84	0.00	1	スズメ(鳥類?)	果実	完形	炭化	1	-	-	
16	遺F-66	19-84	-	不明		破片	炭化	2	-	-	-	
17	遺F-67	19-83	0.00	1								
18	遺F-51	19-88	2.40	80	オカサシ属	果実	完形	炭化	1	-	-	
19	遺F-23	19-89	0.00	1	不明(椎骨)		完形	炭化	1	1.9	1.3	1.0
19	遺F-23	19-89	-	不明(双子葉類?)		完形	炭化	1	-	-	-	
19	遺F-23	19-89	-	不明		破片	炭化	1	-	-	-	
19	遺F-23	19-89	-	不明		完形	炭化	1	-	-	-	
19	遺F-25	19-92	0.75	25	マツ科	種子	完形	炭化	1	2.5	1.8	1.5
19	遺F-25	19-92	-	不明		破片	炭化	1	-	-	-	
21	遺F-36	19-93	1.35	45	ヒトツノ属	核	破片	炭化	2	-	-	
21	遺F-38	19-94	0.00	1	イネ	胚乳	完形	炭化	2	1.5	1.9	1.3
21	遺F-38	19-94	-	イネ	胚乳	完形	炭化	1	3.0	1.7	1.3	
21	遺F-38	19-94	-	イネ	胚乳	完形	炭化	1	-	-	-	
21	遺F-38	19-94	-	イネ	胚乳	完形	炭化	3	-	-	-	
21	遺F-38	19-94	-	不明(双子葉類?)		破片	炭化	1	-	-	-	
21	遺F-38	19-94	-	不明		破片	炭化	3	-	-	-	
21	遺F-38	19-94	-	(歯材)		破片	炭化	1	-	-	-	
24	遺F-29	19-95	0.00	1	イネ	胚乳	完形	炭化	1	4.5+	2.4	1.3
25	遺F-30	19-96	0.40	13	イネ	胚乳	破片	炭化	1	-	-	

試料情報			測定結果			主な分種類の計測値 (nm)					備考				
濃縮名	処理番号	重量	粒	分種類	部位	状態	個数	長さ	幅	厚さ					
25	層子-30	19-96	--	スモモ	核	破片	酸化	12	10.0+	8.9+	--	2個基盤, 1個頂板, 1個結合層がわずかに, 合計2個体分			
25	層子-30	19-96	--	キナフ	種子	破片	酸化	1	--	--	--	--			
25	層子-30	19-96	--	ブクノ属?	種子	完全	酸化	1	3.4	--	--	塊が影で両面不明瞭, 断面層状			
25	層子-30	19-96	--	イネ科	胚乳	完全	酸化	2	--	--	--	細片, 断面に濃み			
25	層子-30	19-96	--	不明	破片	酸化	1	--	--	--	--	--			
25	層子-30	19-96	--	(植物)	破片	酸化	1	--	--	--	--	--			
25	層子-30	19-97	0.00	1	イネ	胚乳	破片	酸化	1	5.5+	7.1+	--	頂板, 表面凹凸, 内層区周辺		
25	層子-30	19-97	--	スモモ	核	破片	酸化	3	4.0+	--	--	--			
25	層子-30	19-97	--	不明	破片	酸化	2	--	--	--	--	--			
25	層子-30	19-97	--	(炭化材)	破片	酸化	1	--	--	--	--	--			
25	層子-30	19-97	--	不明	完全	酸化	1	--	--	--	--	--			
25	層子-30	19-97	--	不明(ヒシ属?)	破片	酸化	8	--	--	--	--	--			
25	層子-30	19-98	0.00	1	イネ	胚乳	完全	酸化	1	--	--	--	基化欠損		
25	層子-30	19-98	--	イネ	胚乳	破片	酸化	1	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-98	--	不明	破片	酸化	2	--	--	7.0+	--	--	--		
25	層子-30	19-98	--	イネ科	胚乳	完全	酸化	3	--	--	--	--	細片, 断面に濃み		
25	層子-30	19-98	--	イネ科	胚乳	破片	酸化	1	--	--	--	--	細片, 断面に濃み		
25	層子-30	19-98	--	不明	破片	酸化	1	--	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-98	--	不明(ヒシ属?)	葉茎?	破片	酸化	6	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-98	--	ブクノ属	種子	完全	酸化	2	--	--	--	--	高倍		
25	層子-30	19-98	--	不明(双子葉類?)	破片	酸化	1	--	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-98	--	不明	完全	酸化	1	--	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-98	--	不明	破片	酸化	2	--	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-98	--	不明	破片	酸化	2	--	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-98	--	スモモ	核	破片	酸化	4	3.8+	--	--	--	--		
25	層子-30	19-99	0.00	1	スモモ	核	破片	酸化	9	7.1+	8.7+	--	--		
25	層子-30	19-99	--	イネ科	胚乳	完全	酸化	1	--	--	--	--	細片, 断面に濃み		
25	層子-30	19-99	--	不明(ヒシ属?)	葉茎?	破片	酸化	2	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-99	--	不明	破片	酸化	2	--	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-100	0.00	1	イネ	胚乳	完全	酸化	1	4.4	2.7	2.5	--	上層欠損, 下層欠損	
25	層子-30	19-100	--	イネ	胚乳	破片	酸化	2	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-100	--	イネ	胚乳	破片	酸化	3	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-100	--	アズキ類	種子	完全	酸化	2	4.3	2.5	2.5	--	横欠損, 両面V字溝		
25	層子-30	19-100	--	アズキ類	種子	破片	酸化	2	3.6	2.5	2.5	--	横欠損, 両面V字溝		
25	層子-30	19-100	--	アズキ類	種子	破片	酸化	2	5.1	3.2	2.9	--	接合し完全な形, 粉末葉欠損		
25	層子-30	19-100	--	イネ科	胚乳	完全	酸化	1	--	--	--	--	細片, 断面に濃み		
25	層子-30	19-100	--	ヒシ属	葉茎	破片	酸化	10	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-100	--	(炭化材)	破片	酸化	1	--	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-100	--	不明	完全	酸化	1	2.5	--	--	--	--	細片, 表面欠陥あり, 内層組織欠損している		
25	層子-30	19-100	--	不明	破片	酸化	3	--	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-100	--	クマノエウ	種子	完全	酸化	4	--	--	--	--	欠損あり		
25	層子-30	19-102	0.00	1	ヒシ属	破片	酸化	1	4.6	2.1	2.1	--	欠損あり		
25	層子-30	19-102	--	スモモ	核	破片	酸化	1	5.5+	6.3+	--	--	縦板, 縦板に沿ってわずかに割れている		
25	層子-30	19-102	--	スモモ	核	破片	酸化	1	4.4+	5.7+	--	--	--		
25	層子-30	19-102	--	イネ科	胚乳	完全	酸化	2	--	--	--	--	細片, 断面に濃み		
25	層子-30	19-102	--	ギンギン属	葉茎	完全	酸化	1	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-103	--	クマノエウ	種子	完全	酸化	1	--	--	--	--	長径あり		
25	層子-30	19-104	0.00	1	イネ	胚乳	完全	酸化	1	3.4	2.7	1.7	--	--	
25	層子-30	19-104	--	キイチブ属	核	完全	酸化	1	1.7	1.1	--	--	--		
25	層子-30	19-104	--	(豆科)	--	--	--	1	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-105	0.00	1	イネ	胚+胚乳	完全	酸化	1	6.1	3.1	2.4	--	--	
25	層子-30	19-105	--	イネ	胚乳	完全	酸化	3	4.8	3.7	2.6	--	--		
25	層子-30	19-105	--	イネ	胚乳	完全	酸化	2	4.6	2.8	2.2	--	--		
25	層子-30	19-105	--	イネ	胚乳	完全	酸化	3	4.1	2.6	1.9	--	--		
25	層子-30	19-105	--	イネ	胚乳	完全	酸化	4	3.2	2.1	1.3	--	--		
25	層子-30	19-105	--	イネ	胚乳	完全	酸化	5	3.6	2.1	1.5	--	--		
25	層子-30	19-105	--	イネ	胚乳	完全	酸化	3	3.8	2.9	2.5	--	--		
25	層子-30	19-105	--	不明	完全	酸化	1	--	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-105	--	イネ科	胚乳	完全	酸化	2	--	--	--	--	細片, 断面に濃み		
25	層子-30	19-105	--	ヒシ豆科種	胚+胚乳	完全	酸化	1	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-105	--	不明	完全	酸化	1	--	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-105	--	ヤナギタケ豆科種	葉茎	完全	酸化	1	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-105	--	クマノエウ	種子	完全	酸化	6	--	--	--	--	欠損あり		
25	層子-30	19-105	--	クマノエウ	種子	破片	酸化	1	--	--	--	--	欠損あり		
25	層子-30	19-105	--	ヒシ属	葉茎	破片	酸化	2	--	--	--	--	--		
25	層子-30	19-105	--	不明	破片	酸化	2	--	--	--	--	--	--		
26	層子-31	19-106	0.90	30	ブクノ属	種子	破片	酸化	1	--	--	--	表面, 欠損あり		
26	層子-31	19-106	--	ブクノ属	種子	破片	酸化	1	--	--	--	--	欠損あり		
26	層子-31	19-106	--	オネブレイ	核	破片	酸化	20?	14.2+	--	--	--	4個結合層に沿ってわずかに割れている		
26	層子-31	19-106	--	不明	核	破片	酸化	1	6.5+	--	--	--	--		
26	層子-31	19-106	--	(炭化材)	破片	酸化	1	--	--	--	--	--	--		
27	層子-34	19-109	0.00	1	イネ?	胚乳?	破片	酸化	2	--	--	--	--		
28	層子-39	19-113	0.00	1	イネ科	胚乳	破片	酸化	1	--	--	--	--	細片, 断面に濃み, 頂部	
28	層子-39	19-113	--	不明	破片	酸化	1	--	--	--	--	--	--		
28	層子-39	19-113	--	不明	完全	酸化	1	--	--	--	--	--	--		
28	層子-39	19-115	0.00	1	イネ	胚乳	完全	酸化	4	1	5.5	2.4	2.0	--	--
28	層子-39	19-115	--	イネ	胚乳	完全	酸化	2	4.6	3.0	2.1	--	--	--	
28	層子-39	19-115	--	イネ	胚乳	完全	酸化	3	4.5+	2.7	1.7	--	--	--	
28	層子-39	19-115	--	不明	完全	酸化	1	--	--	--	--	--	--		
28	層子-39	19-116	0.00	1	イネ	胚乳	完全	酸化	1	4.6	3.0	2.3	--	--	--
28	層子-39	19-116	--	イネ	胚乳	破片	酸化	1	--	--	--	--	--	--	
28	層子-39	19-116	--	イネ	胚乳	破片	酸化	1	--	--	--	--	--	--	
28	層子-39	19-116	--	イネ科	胚乳	完全	酸化	6	--	--	--	--	--	細片, 断面に濃み	
28	層子-39	19-116	--	イネ科	胚乳	完全	酸化	1	--	--	--	--	--	--	
28	層子-39	19-116	--	ギンギン属	葉茎	完全	酸化	1	--	--	--	--	--	--	
29	層子-40	19-117	0.00	1	ヒシ豆科種?	胚+胚乳	完全	酸化	2	1.8	1.6	1.1	小型	--	--

試料情報		測定結果						主な分層群の計測値(mm)			備考	
遺構名	集積番号	重量	粒	分層群	部位	状態	個数	積層数	長さ	幅		厚さ
29	層子-40 19-117	-	-	イ	杯状	完全	酸化	1	-	4.5	2.7	2.0
29	層子-40 19-118	-	-	イ	杯状	完全	酸化	1	-	4.5	2.8+	2.0
29	層子-40 19-117	-	-	イ	杯状	破片	酸化	4	-	-	-	-
29	層子-40 19-117	-	-	不明(双子葉類)	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
29	層子-40 19-117	-	-	不明	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
29	層子-40 19-118	0.00	1	スズ(鉛包型)	葉莖	完全	酸化	1	-	-	-	状態不良、破片と同一体の可能性
29	層子-40 19-118	-	-	スズ(鉛包型)	葉莖	完全	酸化	1	-	-	-	状態不良、完全非同一体の可能性
29	層子-40 19-118	-	-	アサギ	種子	完全	酸化	1	-	-	-	-
29	層子-40 19-118	-	-	不明	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
29	層子-40 19-119	0.00	1	ヒメ直粒種	類・杯状	完全	酸化	1	-	1.7	1.4	0.8
29	層子-40 19-119	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	背面に刺付着
29	層子-40 19-120	0.00	1	(骨)	完全	酸化	1	-	-	-	-	試料袋のみ
29	層子-40 19-120	-	-	不明	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
30	層子-41 19-121	0.00	1	イ	杯状	完全	酸化	1	-	-	-	側面、後面に溝あり
31	層子-42 19-123	0.00	1	イ	杯状	完全	酸化	1	-	-	-	側面、後面に溝あり
31	層子-42 19-123	-	-	不明(双子葉類?)	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
32	層子-44 19-125	0.00	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	層子-45 19-126	0.00	1	アサギ	種子	完全	酸化	1	-	-	-	突起あり
32	層子-45 19-126	-	-	不明	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
34	層子-47 19-127	0.00	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34	層子-48 19-129	0.00	1	イ	杯状	完全	酸化	3	-	-	-	側面、後面に溝あり
35	層子-48 19-129	0.00	1	イ	杯状	完全	酸化	1	-	3.1	1.4	0.9
35	層子-48 19-129	-	-	イ	杯状	完全	酸化	2	-	-	-	小骨・扁平、未熟個体?
35	層子-48 19-129	-	-	不明	完全	酸化	1	-	-	-	-	側面、後面に溝あり
35	層子-48 19-129	-	-	不明	完全	酸化	3	-	-	-	-	-
35	層子-48 19-130	0.00	1	イ	杯状	完全	酸化	1	-	1.4	1.1	0.7
35	層子-48 19-130	-	-	不明	完全	酸化	4	-	-	-	-	??ではない、杯の径は1.1mm
35	層子-48 19-130	-	-	不明	完全	酸化	1	-	-	-	-	径0.7~0.8mmの球体、炭化?
35	層子-48 19-130	-	-	不明	完全	酸化	1	-	-	-	-	中央、破断面は平滑
35	層子-48 19-131	0.00	1	イ	杯状?	破片	酸化	1	-	-	-	-
35	層子-48 19-132	0.00	1	イ	杯状	完全	酸化	1	-	-	-	次層部?内部に痕跡
35	層子-49 19-133	0.00	1	不明(双子葉類)	完全	酸化	1	-	-	-	-	側面、後面に溝あり
36	層子-49 19-133	-	-	不明	破片	完全	酸化	1	-	-	-	マメ科(野生種?)
36	層子-49 19-134	0.00	1	エネコ	種	破片	酸化	1	-	-	-	表面鏡面・割目模様、皮の厚0.4mm、破断面平滑
36	層子-49 19-134	0.00	1	エネコ	葉莖	完全	酸化	1	-	5.8	4.3	-
36	層子-49 19-135	-	-	不明	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
36	層子-49 19-136	0.00	1	不明(ササギ?)	枝?	破片	酸化	1	-	-	-	背面
27	層子-51 19-140	0.00	1	クマノウ	種子	破片	酸化	1	-	-	-	片状
27	層子-51 19-140	-	-	不明	破片	酸化	1	-	-	-	-	径3.3mm程度の球体、中央で破断面・内面は突起がある
27	層子-51 19-141	0.00	1	イ	杯状	完全	酸化	1	-	-	-	-
27	層子-51 19-141	-	-	イ	杯状	完全	酸化	1	-	-	-	側面、後面に溝あり
27	層子-51 19-141	-	-	イ	杯状	完全	酸化	9	1	4.4	2.3	1.5
27	層子-51 19-141	-	-	イ	杯状	完全	酸化	2	4.5	2.4	1.9	
27	層子-51 19-141	-	-	イ	杯状	完全	酸化	3	4.3	2.3	1.9	
27	層子-51 19-141	-	-	イ	杯状	完全	酸化	4	3.6	2.5	1.6	
27	層子-51 19-141	-	-	イ	杯状	破片	酸化	4	-	-	-	-
27	層子-51 19-141	-	-	イ	杯状	完全	酸化	5	-	-	-	-
27	層子-51 19-141	-	-	イ	杯状	破片	酸化	10	-	-	-	側面、後面に溝あり
27	層子-51 19-142	0.00	1	イ	杯状	完全	酸化	1	1	1.0	3.3	2.1
27	層子-51 19-142	-	-	イ	杯状	完全	酸化	2	4.0	2.1	1.8	
27	層子-51 19-142	-	-	イ	杯状	完全	酸化	3	4.5	2.3	1.8	
27	層子-51 19-142	-	-	イ	杯状	完全	酸化	21	-	-	-	側面、後面に溝あり
27	層子-51 19-142	-	-	マメ科(ダイオウ)	種子	完全	酸化	1	-	6.2	5.0	5.1
27	層子-51 19-142	-	-	不明(双子葉類?)	破片	完全	酸化	1	-	-	-	割:高さ長、長21.9mm、幅0.5mm、切径:長さ2.7mm、幅1.4mm
27	層子-51 19-142	-	-	不明	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
27	層子-51 19-142	-	-	不明	破片	完全	酸化	2	-	-	-	-
27	層子-51 19-142	-	-	不明(歯状?)	破片	完全	酸化	1	-	-	-	破断面に放射状の痕跡
27	層子-51 19-142	-	-	エネコ	種	破片	酸化	2	-	6.4+	-	-
38	層子-52 19-143	0.00	1	イ	杯状	完全	酸化	1	-	4.7	2.7	2.2
38	層子-52 19-143	-	-	イ	杯状	破片	酸化	1	-	-	-	-
38	層子-52 19-143	-	-	イ	杯状	完全	酸化	1	-	-	-	側面、後面に溝あり、後面一部欠損
38	層子-52 19-144	0.00	1	アサギ	種子	破片	酸化	1	-	-	-	背面右側、片状
38	層子-52 19-143	0.00	1	イ	杯状	完全	酸化	1	-	4.7	2.1	1.9
39	層子-38 19-55	-	-	イ	杯状	破片	酸化	1	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明	破片	完全	酸化	2	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	イ	杯状	完全	酸化	1	-	-	-	側面、後面に溝あり、後面
39	層子-38 19-55	-	-	不明	種子	完全	酸化	1	-	-	-	一部欠損
39	層子-38 19-55	-	-	不明(ヒシ種?)	葉莖?	破片	酸化	10	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明	破片	酸化	7	-	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	マメ科(ササギ?)	種子	破片	酸化	1	-	-	-	痕状片
39	層子-38 19-55	-	-	ヤブキタケタケ(茸)	葉莖	完全	酸化	1	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明(双子葉類?)	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明(双子葉類)	完全	酸化	2	-	2.6	2.4	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明(双子葉類)	完全	酸化	2	-	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明	破片	完全	酸化	4	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
39	層子-38 19-55	-	-	不明	破片	完全	酸化	1	-	-	-	直・斜角の面に黄色色の粒模様、幅0.9、長さ1.6、5mm
39	層子-38 19-55	-	-	アサギ	種	完全	酸化	1	-	-	-	片状片
39	層子-38 19-55	-	-	エネコ(ササギ?)	葉莖	完全	酸化	2	-	-	-	片状片
39	層子-38 19-56	0.00	1	不明(ヒシ種?)	葉莖?	破片	酸化	2	-	-	-	-
39	層子-38 19-56	-	-	不明	破片	完全	酸化	2	-	-	-	-
39	層子-38 19-56	-	-	不明	破片	完全	酸化	2	-	-	-	-
39	層子-38 19-56	-	-	不明	破片	完全	酸化	2	-	-	-	-
39	層子-38 19-56	-	-	不明	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
39	層子-38 19-56	-	-	不明	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
39	層子-38 19-57	0.00	1	イ	杯状	完全	酸化	1	-	-	-	湯欠欠損
39	層子-38 19-57	-	-	不明(双子葉類?)	破片	完全	酸化	1	-	-	-	-
39	層子-38 19-58	0.00	1	イ	杯状	完全	酸化	1	-	-	-	側面、後面に溝あり



試料情報		測定結果			主な分類群の計測値 (mm)				備考		
遺構名	集積番号	重量	粒	分類群	部位	状態	個数	長さ		幅	厚さ
39	層下-38	19-58	-	-	不明(双子葉類?)	破片	酸化	2	-	-	-
39	層下-38	19-58	-	-	ヒメミズナ	破片	酸化	1	-	-	-
39	層下-38	19-58	-	-	ヒメミズナ類	破片	酸化	1	-	-	-
39	層下-38	19-58	-	-	アズキ類	種子	破片	酸化	2	-	-
40	層下-55	20-1	0.00	1	イネ	胚乳	酸化	1	-	-	-
40	層下-55	20-1	-	-	ヤマブツのタビ類	種子	完全	1	-	-	-
40	層下-55	20-1	-	-	ヤマブツのタビ類	種子	完全	1	-	-	-
40	層下-55	20-1	-	-	ブツウ科(アズキ属?)	種子	破片	1	-	-	-
41	層下-56	20-2	0.00	1	マメ科(アズキ類?)	種子?	破片	酸化	2	4.9	4.5
41	層下-56	20-2	-	-	マメ科(アズキ類?)	種子?	破片	酸化	2	4.9	4.2
42	層下-61	20-7	0.00	1	キヌワコ属	葉実	完全	酸化	1	-	-
42	層下-61	20-7	0.00	1	不明	破片	酸化	1	-	-	-
42	層下-61	20-7	0.00	1	不明	破片	酸化	1	-	-	-
43	層下-64	20-11	0.00	1	不明	破片	酸化	3	-	-	-
44	層下-11HF-1	20-13	0.00	1	イネ	胚乳	破片	酸化	1	-	-
44	層下-11HF-1	20-14	0.00	1	ササ属?	種子	完全	酸化	2	-	-
44	層下-11HF-1	20-14	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	1	-	-
44	層下-11HF-1	20-14	-	-	ヒメミズナ	根	完全	酸化	1	-	-
44	層下-11HF-1	20-14	-	-	不明	完全	酸化	1	-	-	-
44	層下-11HF-1	20-14	-	-	キヌワコ属	葉実	完全	酸化	1	-	-
44	層下-11HF-1	20-14	-	-	不明	完全	酸化	4	-	-	-
44	層下-11HF-1	20-14	-	-	不明(葉実?)	完全	酸化	4	-	-	-
44	層下-11HF-1	20-15	0.00	1	イネ?	胚乳	完全	酸化	1	-	-
44	層下-11HF-1	20-15	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	1	4.3	2.2
44	層下-11HF-1	20-15	-	-	不明(イネ?)	胚乳?	破片	酸化	2	-	-
44	層下-11HF-1	20-15	-	-	不明	破片	酸化	1	-	-	-
44	層下-11HF-1	20-15	-	-	ヒメミズナ	葉実	破片	酸化	1	-	-
45	層下-11HF-1	20-18	0.00	1	ブツウ属	種子	破片	酸化	1	-	-
46	層下-20	20-21	0.00	1	キヌワコ属	根	完全	酸化	2	-	-
46	層下-20	20-21	-	-	キヌワコ属	根	完全	酸化	2	-	-
47	層下-21	20-22	0.00	1	イネ	胚乳	完全	酸化	1	4.2	1.7
47	層下-21	20-22	-	-	不明	破片	酸化	2	-	-	-
47	層下-21	20-22	-	-	不明(イネ?)	胚乳?	破片	酸化	1	-	-
47	層下-21	20-22	-	-	キヌワコ属	葉実	完全	酸化	1	-	-
47	層下-21	20-22	-	-	キヌワコ属	根	完全	酸化	1	-	-
48	層下-22	20-24	0.00	1	マメ科?	種子	完全	1	-	-	-
49	層下-23	20-25	0.00	1	クマノオウ	種子	完全	2	-	-	-
50	層下-24	20-26	0.00	1	不明	完全	酸化	2	-	-	-
51	層下-25	20-28	0.00	1	ササ属?	種子	完全	酸化	2	-	-
51	層下-25	20-28	-	-	スモモ	根	破片	酸化	2	-	-
51	層下-25	20-28	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	3	1	4.9
51	層下-25	20-28	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	3	1	5.0
51	層下-25	20-28	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	3	1	2.5
51	層下-25	20-28	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	3	1	4.0
51	層下-25	20-28	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	2	4.0	2.0
51	層下-25	20-28	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	1	-	-
51	層下-25	20-28	-	-	不明(イネ?)	胚乳?	破片	酸化	4	-	-
51	層下-25	20-28	-	-	不明	破片	酸化	4	-	-	-
51	層下-25	20-28	-	-	ヒメミズナ	根	破片	酸化	3	-	-
51	層下-25	20-29	0.00	1	イネ?	胚乳?	完全	酸化	1	-	-
51	層下-25	20-29	-	-	不明	完全	酸化	1	-	-	-
51	層下-25	20-29	-	-	不明	完全	酸化	1	-	-	-
51	層下-25	20-30	0.00	1	イネ	胚乳	完全	酸化	1	-	-
51	層下-25	20-30	-	-	イネ科?	胚乳	完全	酸化	1	-	-
51	層下-25	20-30	-	-	不明(イネ?)	胚乳?	破片	酸化	1	-	-
52	層下-27	20-32	0.00	1	ヤチオクダ点粒種?	葉実	完全	酸化	1	-	-
52	層下-27	20-32	-	-	ヤチオクダ点粒種?	葉実	破片	酸化	2	-	-
53	層下-27	20-32	-	-	スモモ	根	破片	酸化	9	10.0+	-
53	層下-29	20-36	0.00	1	イネ科?	胚乳	完全	酸化	1	-	-
54	層下-80	20-37	0.00	1	ヒメミズナ	葉実?	完全	酸化	1	-	-
54	層下-80	20-37	-	-	不明	完全	酸化	4	-	5.4	5.2
54	層下-80	20-37	-	-	不明	破片	酸化	1	-	-	-
54	層下-80	20-37	-	-	不明	破片	酸化	1	-	-	-
54	層下-80	20-37	-	-	エノキ属	根?	破片	酸化	2	3.5+	-
54	層下-80	20-37	-	-	アズキ科	種子	完全	2	-	-	-
54	層下-80	20-38	0.00	1	アズキ科	種子	完全	1	-	-	-
54	層下-80	20-38	-	-	不明	完全	酸化	1	-	-	-
54	層下-81	20-39	0.00	1	不明	完全	酸化	2	-	-	-
55	層下-81	20-39	-	-	不明	破片	酸化	1	-	-	-
56	層下-83	20-43	0.00	1	不明(葉実?)	完全	酸化	1	-	-	-
57	層下-83	20-43	0.00	1	不明	破片	酸化	2	-	-	-
58	層下-11HF-1	20-46	0.30	7	ヒメミズナ	根	破片	酸化	3	-	-
58	層下-11HF-1	20-46	-	-	不明(双子葉類)	破片	酸化	2	-	-	-
58	層下-11HF-1	20-47	0.00	1	ヒメミズナ	葉実	完全	1	-	-	-
58	層下-11HF-1	20-47	-	-	不明(平型型)	種子	完全	1	-	-	-
58	層下-86	20-49	0.00	1	イネ科?	胚乳	完全	酸化	1	-	-
58	層下-86	20-49	-	-	不明	破片	酸化	3	-	-	-
59	層下-12HF-1	20-51	0.00	1	イネ	胚乳	完全	酸化	4	1	4.1
59	層下-12HF-1	20-51	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	2	3.7	2.5
59	層下-12HF-1	20-51	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	3	3.7	2.0
59	層下-12HF-1	20-51	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	4	4.2	2.5+
59	層下-12HF-1	20-51	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	1	-	-
59	層下-12HF-1	20-51	-	-	イネ科?	胚乳	完全	酸化	2	-	-
59	層下-12HF-1	20-51	-	-	ヒメミズナ	葉実	完全	酸化	1	-	-
59	層下-12HF-1	20-52	0.00	1	ヒメミズナ	胚乳	完全	酸化	1	2.0	1.4
59	層下-12HF-1	20-52	-	-	イネ科?	胚乳	完全	酸化	2	-	-
59	層下-12HF-1	20-52	-	-	不明	破片	酸化	1	-	-	-

試料情報	測定結果				主な分選物の計測値(mm)					備考			
	道標名	道標番号	重量	粒	分選部	部位	状態	個数	長さ		幅	厚さ	
60	道P-90	20-53	0.10	3	ヒュネ殻種	縦・体丸	完形	炭化	3	—	2.0	1.8	1.1
60	道P-90	20-53	—	—	イネ科	種子	完形	炭化	1	—	4.5	4.7	6.0
60	道P-90	20-53	—	—	不明(ヤマ藪?)	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
60	道P-90	20-53	—	—	不明	種子	完形	炭化	5	—	—	—	—
60	道P-90	20-53	—	—	イネ	体丸	完形	炭化	6	1	4.6	2.8	2.2
60	道P-90	20-53	—	—	イネ	体丸	完形	炭化	—	2	4.0	1.9	1.2
60	道P-90	20-53	—	—	イネ	体丸	完形	炭化	—	—	—	—	—
60	道P-90	20-53	—	—	イネ	体丸	完形	炭化	6	—	—	—	—
60	道P-90	20-53	—	—	不明	種子	完形	炭化	12	—	—	—	—
60	道P-90	20-53	—	—	ヒュネ殻種	縦・体丸	完形	炭化	1	—	2.5+	2.0	1.2
60	道P-90	20-53	—	—	イネ科	種子	完形	炭化	2	—	—	—	—
60	道P-90	20-53	—	—	ヤマブドウ近縁種	種子	完形	炭化	2	—	4.1+	2.7+	2.3+
60	道P-90	20-53	—	—	ヤマブドウ近縁種	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
60	道P-90	20-53	—	—	ギンキン属	果実	完形	炭化	1	—	—	—	—
60	道P-90	20-53	—	—	アカザ科	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
60	道P-90	20-53	—	—	オオノコ	核	完形	炭化	5	—	8.5+	—	—
60	道P-90	20-53	—	—	不明	種子	完形	炭化	6	—	—	—	—
61	道日-131P	20-54	0.00	1	不明(ヒシ属?)	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
61	道日-131P	20-55	0.00	1	不明	種子	完形	炭化	6	—	—	—	—
61	道P-92	20-56	0.00	1	不明	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
61	道P-94	20-59	0.00	1	不明(植物)	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
64	道P-95	20-60	0.00	1	不明(ヤマ藪?)	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
64	道P-95	20-60	—	—	イネ	体丸	完形	炭化	1	—	4.2	3.0	2.5
64	道P-95	20-60	—	—	ヤマ藪?	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
64	道P-95	20-60	—	—	イネ	体丸	完形	炭化	1	—	—	—	—
64	道P-96	20-62	0.00	1	スモモ?	核	完形	炭化	2	—	—	—	—
65	道P-96	20-62	—	—	不明	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
65	道P-96	20-62	—	—	クマノウ	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	0.00	1	イネ	体丸	完形	炭化	1	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	—	—	イネ	体丸	完形	炭化	1	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	—	—	イネ?	体丸?	完形	炭化	2	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	—	—	不明	種子	完形	炭化	3	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	—	—	ブドウ属	種子	完形	炭化	2	—	4.0	3.3	2.6
65	道P-96	20-63	—	—	ブドウ属	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	—	—	ブドウ科(ブドウ属?)	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	—	—	イネ	縦・体丸	完形	炭化	1	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	—	—	イネ	体丸	完形	炭化	1	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	—	—	イネ	体丸	完形	炭化	1	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	—	—	ヒシ属	果実	完形	炭化	1	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	—	—	不明	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	—	—	不明	種子	完形	炭化	2	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	—	—	クマノウ	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	—	—	不明	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
65	道P-96	20-63	0.00	1	不明(野生物?)	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
67	道P-91	20-76	0.00	1	マツ科(野生種)	種子	完形	炭化	1	—	2.1	1.9	1.9
67	道P-91	20-76	—	—	不明(双子葉類?)	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
67	道P-91	20-76	—	—	不明	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
67	道P-91	20-76	—	—	不明	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
67	道P-91	20-76	—	—	不明	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
67	道P-91	20-76	—	—	不明	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
67	道P-91	20-77	0.00	1	ヒュネ殻種	体丸	完形	炭化	1	—	2.0	1.8	1.1
67	道P-91	20-77	—	—	ササ藪?	種子?	完形	炭化	2	—	—	—	—
67	道P-91	20-77	—	—	不明	完形	炭化	2	—	—	—	—	—
68	道日-81P	20-78	0.00	1	ブドウ属	種子	完形	炭化	2	1	4.6	2.9	2.5
68	道日-81P	20-78	—	—	ブドウ属	種子	完形	炭化	—	2	4.2	3.8	2.5
68	道日-81P	20-78	—	—	イネ	体丸	完形	炭化	2	1	5.2	3.0	2.5
68	道日-81P	20-78	—	—	イネ	体丸	完形	炭化	—	2	4.4	2.2	2.0
68	道日-81P	20-78	—	—	不明	完形	炭化	3	—	—	—	—	—
68	道日-81P	20-78	—	—	不明	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
68	道日-81P	20-79	0.10	3	ブドウ属	種子	完形	炭化	1	—	4.6	3.4	3.0
68	道日-81P	20-79	—	—	ブドウ科(ブドウ属?)	種子	完形	炭化	8	—	—	—	—
68	道日-81P	20-79	—	—	ヤマ藪?	種子?	完形	炭化	1	—	—	—	—
68	道日-81P	20-79	—	—	イネ?	体丸?	完形	炭化	1	—	—	—	—
68	道日-81P	20-79	—	—	不明	完形	炭化	6	—	—	—	—	—
68	道日-81P	20-79	—	—	不明	完形	炭化	5	—	—	—	—	—
68	道日-81P	20-79	—	—	不明	完形	炭化	4	—	—	—	—	—
68	道日-81P	20-79	—	—	不明	完形	炭化	2	—	—	—	—	—
68	道日-81P	20-79	—	—	不明	完形	炭化	2	—	—	—	—	—
69	道P-109	20-80	0.00	1	スモモ?	核	完形	炭化	1	—	5.2+	—	—
69	道P-109	20-80	—	—	不明(双子葉類?)	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
69	道P-109	20-80	—	—	不明(双子葉類?)	完形	炭化	2	—	—	—	—	—
69	道P-109	20-80	—	—	クマノウ	種子	完形	炭化	9	—	—	—	—
69	道P-109	20-80	—	—	不明	完形	炭化	9	—	—	—	—	—
69	道P-109	20-80	—	—	不明	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
69	道P-109	20-80	—	—	不明	完形	炭化	2	—	—	—	—	—
69	道P-109	20-80	—	—	不明	完形	炭化	2	—	—	—	—	—
69	道P-109	20-80	—	—	不明	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
69	道P-109	20-353	0.00	1	ブドウ属	種子	完形	炭化	14	—	—	—	—
69	道P-109	20-355	—	—	不明	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
69	道P-109	20-355	—	—	不明	完形	炭化	2	—	—	—	—	—
70	道P-110	20-81	0.00	1	ヤマ藪?	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
70	道P-110	20-82	0.00	1	イネ科	体丸	完形	炭化	15	—	—	—	—
70	道P-110	20-82	—	—	不明(双子葉類?)	完形	炭化	5	—	—	—	—	—
70	道P-110	20-82	—	—	不明	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
70	道P-110	20-82	—	—	不明	完形	炭化	1	—	—	—	—	—
70	道P-110	20-83	0.00	1	ブドウ科	種子	完形	炭化	1	—	—	—	—
70	道P-110	20-83	—	—	イネ	体丸	完形	炭化	1	—	4.5	2.1	1.6
70	道P-110	20-83	—	—	イネ科	体丸	完形	炭化	7	—	—	—	—

試料情報			測定結果				主な分類群の計測値 (mm)				備考				
遺構名	整理番号	重量	種	分類群	部位	状態	個数	積算	長さ	幅		厚さ			
70	遺P-110	20-83	-	イネ科	胚乳	破片	炭化	5	-	-	-	-			
70	遺P-110	20-84	-	イネ科	胚乳	完全	炭化	1	-	-	-	-			
70	遺P-110	20-84	0.00	1	イネ科	胚乳	完全	炭化	2	-	-	-	籾身、籾面に濃みあり		
70	遺P-110	20-84	-	不明		破片	炭化	1	-	-	-	-			
70	遺P-110	20-84	-	不明		完全	炭化	1	-	-	-	-			
70	遺P-110	20-84	-	不明		破片	炭化	1	-	-	-	-			
70	遺P-110	20-84	-	(備註)		破片	炭化	1	-	-	-	-			
70	遺P-110	20-85	0.00	1	イネ科	胚乳	完全	炭化	5	-	-	-	破断面に放射状の筋線認められ、籾面に濃みあり		
70	遺P-110	20-86	0.00	1	イネ	胚乳	完全	炭化	7	4.1	2.1	2.2	-		
70	遺P-110	20-86	-	イネ	胚乳	破片	炭化	2	-	-	-	-			
70	遺P-110	20-86	-	イネ	胚乳	完全	炭化	2	-	-	-	-			
70	遺P-110	20-86	-	イネ	胚乳	破片	炭化	5	-	-	-	-			
70	遺P-110	20-86	-	イネ科	胚乳	完全	炭化	9	-	-	-	-	籾身、籾面に濃みあり		
70	遺P-110	20-86	-	イネ科	胚乳	完全	炭化	3	-	-	-	-	籾身、籾面に濃みあり		
70	遺P-110	20-86	-	ブナ科	種子	破片	炭化	1	-	-	-	-	-		
70	遺P-110	20-86	-	アズキ科類	種子	破片	炭化	1	-	-	-	-	子葉の合わせ目に沿って割れている		
70	遺P-110	20-86	-	不明		完全	炭化	1	-	-	-	-	-		
70	遺P-110	20-86	-	不明		破片	炭化	5	-	-	-	-	-		
70	遺P-110	20-86	-	不明(双子葉類)		破片	炭化	2	-	-	-	-	マメ科(野生種?)		
70	遺P-110	20-86	-	クマノ木	種子	完全	炭化	2	-	-	-	-	炭褐色、1粒のみ		
70	遺P-110	20-87	0.10	3	イネ科	胚乳	完全	炭化	11	-	-	-	籾身、籾面に濃みあり		
70	遺P-110	20-87	-	不明(双子葉類)		破片	炭化	1	-	-	-	-	マメ科(野生種?)		
70	遺P-110	20-87	-	不明		破片	炭化	2	-	-	-	-	-		
70	遺P-110	20-87	-	(備註)		破片	炭化	2	-	-	-	-	破断面に放射状の筋線認められ、籾面に濃みあり		
70	遺P-110	20-87	-	(骨)		破片	炭化	1	-	-	-	-	-		
71	遺P-111	20-88	0.00	1	ヒユ豆科類	類・胚乳	完全	炭化	1	2.1	1.9	1.2	-		
71	遺P-111	20-88	-	サルナシ豆科類	種子	完全	炭化	1	2.1	1.1	-	-	-		
71	遺P-111	20-88	-	サルナシ豆科類	種子	破片	炭化	1	2.0	1.3	-	-	-		
71	遺P-111	20-88	-	マツタビ豆科類	種子	完全	炭化	1	1.7	1.2	-	-	-		
71	遺P-111	20-88	-	不明		不明	炭化	1	-	-	-	-	-		
71	遺P-111	20-88	-	スモモ	核	破片	炭化	2	7.6+	-	-	-	-		
71	遺P-111	20-88	-	イネ科	胚乳	完全	炭化	2	-	-	-	-	籾身、籾面に濃みあり		
71	遺P-111	20-88	-	ヒユ豆	果実	破片	炭化	10	-	-	-	-	-		
71	遺P-111	20-88	-	不明(双子葉類)		破片	炭化	1	-	-	-	-	マメ科(野生種?)		
71	遺P-111	20-88	-	不明種類		破片	炭化	1	2.1	1.9	-	-	マメ科、扁豆、黒豆科類(不明種)		
71	遺P-111	20-88	-	不明		完全	炭化	1	-	-	-	-	-		
71	遺P-111	20-88	-	不明		破片	炭化	4	-	-	-	-	-		
71	遺P-111	20-89	0.10	3	マツタビ豆科類	種子	完全	炭化	1	1.5	0.9	-	-	炭褐色	
71	遺P-111	20-89	-	クマノ木	種子	完全	炭化	1	-	-	-	-	-	炭褐色	
71	遺P-111	20-89	-	カズノコ	果実	破片	炭化	2	3.2	2.6	1.4+	-	-	平らな表面	
71	遺P-111	20-89	-	(骨)		破片	炭化	2	-	-	-	-	-	-	
71	遺P-111	20-89	-	不明		破片	炭化	4	-	-	-	-	-	-	
71	遺P-111	20-89	-	イネ	胚乳	完全	炭化	1	-	-	-	-	-	-	
71	遺P-111	20-89	-	ササゲ?	種子	完全	炭化	1	-	-	-	-	-	-	
71	遺P-111	20-90	0.00	1	イネ科	胚乳	完全	炭化	1	-	-	-	-	籾身、籾面に濃みあり	
71	遺P-111	20-90	-	不明(双子葉類)		破片	炭化	1	-	-	-	-	-	-	
72	遺P-112	20-92	0.00	1	ニョウコ	核	完全	-	2	-	-	-	-	-	
72	遺P-112	20-92	-	ニョウコ	核	完全	-	2	-	-	-	-	-	-	
72	遺P-112	20-92	-	不明		破片	炭化	1	-	-	-	-	-	-	
72	遺P-112	20-92	0.00	1	ギンキギ科類	果実	完全	炭化	2	-	-	-	-	-	
72	遺P-112	20-93	-	不明		破片	炭化	2	-	-	-	-	-	-	
72	遺P-112	20-93	-	不明		完全	炭化	1	-	-	-	-	-	-	
72	遺P-112	20-94	0.00	1	不明		破片	炭化	1	-	-	-	-	発色	
74	遺P-116	20-96	0.10	3	エノキ属	果実	完全	炭化	1	6.6	6.4	-	-	発色	
74	遺P-116	20-96	-	エノキ属	果実	破片	炭化	1	5.2	4.5+	-	-	-	内径の径:長34.5mm、残存径3.6mm	
75	遺P-117	20-97	0.00	1	マメ科(野生種)	種子	完全	炭化	1	2.4	2.5	2.2	-	粒:残存長1.1(復元2.0)mm、幅0.4mm	
76	遺P-119	20-99	0.20	2	マメ科(野生種)	種子	完全	炭化	1	2.8	2.4	2.6	-	軽欠損	
76	遺P-119	20-99	-	(備註)		完全	炭化	4	7.6	7.1	-	-	-	-	
76	遺P-119	20-99	-	(備註)		破片	炭化	6	-	-	-	-	-	-	
77	遺P-121	20-101	0.00	1	不明(双子葉類?)		破片	炭化	1	-	-	-	-	-	-
78	遺P-122	20-103	0.00	1	不明		完全	炭化	1	-	-	-	-	-	-
79	遺P-123	20-104	0.00	1	アズキ科	種子	完全	炭化	1	-	-	-	-	-	腹面左側
79	遺P-123	20-104	-	不明		完全	炭化	1	-	-	-	-	-	-	-
79	遺P-123	20-104	-	不明		破片	炭化	1	-	-	-	-	-	-	-
80	遺H-6HP	20-108	0.00	1	イネ	胚乳	完全	炭化	1	-	-	-	-	-	-
80	遺H-6HP	20-108	-	不明		胚乳	完全	炭化	1	-	-	-	-	-	籾身、籾面に濃みあり
80	遺H-6HP	20-108	-	不明		破片	炭化	1	-	-	-	-	-	-	計4枚
80	遺H-6HP	20-109	0.00	1	イネ	胚乳	完全	炭化	2	-	-	-	-	-	-
80	遺H-6HP	20-109	-	イネ?		胚乳?	破片	炭化	1	-	-	-	-	-	-
80	遺H-6HP	20-109	-	不明(マメ科?)		破片	炭化	1	-	-	-	-	-	-	-
80	遺H-6HP	20-109	-	スモモ	核	破片	炭化	2	4.0+	-	-	-	-	-	-
80	遺H-6HP	20-109	-	イネ	胚乳	完全	炭化	2	1	4.8	2.9	2.6	-	-	-
80	遺H-6HP	20-109	-	イネ	胚乳	完全	炭化	2	1	4.3	2.2	2.0	-	-	-
80	遺H-6HP	20-109	-	イネ科	胚乳	完全	炭化	2	-	-	-	-	-	-	籾身、籾面に濃みあり
80	遺H-6HP	20-109	-	ギンキギ科類	果実	完全	炭化	1	-	-	-	-	-	-	-
80	遺H-6HP	20-109	-	クマノ木	種子	完全	炭化	1	-	-	-	-	-	-	炭褐色
80	遺H-6HP	20-109	-	他目類	完全	炭化	1	-	-	-	-	-	-	-	-
80	遺H-6HP	20-109	-	不明		完全	炭化	3	-	-	-	-	-	-	-
80	遺H-6HP	20-109	-	不明		完全	炭化	1	-	-	-	-	-	-	-
80	遺H-6HP	20-109	-	不明(双子葉類?)		完全	炭化	1	-	-	-	-	-	-	-
80	遺H-6HP	20-109	-	不明(双子葉類?)		破片	炭化	1	-	-	-	-	-	-	-
80	遺H-6HP	20-109	-	不明		破片	炭化	4	-	-	-	-	-	-	-
80	遺H-6HP	20-109	-	不明		破片	炭化	1	-	-	-	-	-	-	-
81	遺P-125	20-110	0.00	1	イネ科	胚乳	完全	炭化	3	-	-	-	-	-	籾身、籾面に濃みあり
81	遺P-125	20-110	-	不明(双子葉類?)		完全	炭化	2	-	-	-	-	-	-	-
81	遺P-125	20-110	-	不明(双子葉類?)		破片	炭化	2	-	-	-	-	-	-	-
81	遺P-125	20-110	-	不明種類		破片	炭化	1	-	-	-	-	-	-	-
81	遺P-125	20-110	-	アゼキ科類	果実	完全	炭化	1	-	-	-	-	-	-	炭褐色

試料情報	測定結果				主な分選物の計測値(mm)					備考			
	遺構名	集積番号	重量	粒	分類群	粒径	状態	個数	積算長さ		幅	厚さ	
83	83F-125	30-110	-	-	クマノウ	種子	完好	1	-	-	-	灰褐色	
83	83F-125	30-111	0.00	1	アサギ	種子	破片	酸化	3	-	-	-	
83	83F-125	30-111	-	-	不明(双子葉類?)	種子	完好	酸化	3	-	-	-	
83	83F-125	30-111	-	-	不明(双子葉類?)	破片	酸化	3	-	-	-	-	
83	83F-125	30-111	-	-	不明	種子	完好	酸化	1	-	-	-	
83	83F-125	30-112	0.00	1	イネ科	胚乳	完好	酸化	1	-	-	細身、腹面に濃みあり	
83	83F-125	30-112	-	-	アサギ	種子	完好	酸化	1	-	-	背面	
83	83F-125	30-112	-	-	ブドウ科	種子	破片	酸化	1	-	-	-	
83	83F-125	30-112	-	-	不明(双子葉類)	破片	酸化	1	-	-	-	-	
83	83F-125	30-112	-	-	不明	種子	完好	酸化	3	-	-	-	
83	83F-125	30-112	-	-	不明	破片	酸化	5	-	-	-	-	
83	83F-125	30-113	0.00	1	アサギ	種子	破片	酸化	1	-	-	腹面左側	
83	83F-127	30-115	0.00	1	イネ科	胚乳	完好	酸化	1	-	-	細身、腹面に濃みあり	
83	83F-129	30-117	0.00	1	アサギ類	種子	破片	酸化	1	6.6+	4.7	2.6+	平分量
84	84F-130	30-118	0.00	1	イネ科	胚乳	完好	酸化	6	-	-	-	細身、腹面に濃みあり
84	84F-130	30-118	-	-	アサギ	種子	完好	酸化	14	-	-	-	-
84	84F-130	30-118	-	-	アサギ類(3葉型)	葉茎	完好	-	-	-	-	-	淡灰褐色
84	84F-130	30-118	-	-	ニワトコ属	核	完好	-	-	-	-	-	灰白色
84	84F-130	30-118	-	-	アカギ科	種子	完好	-	12	-	-	-	先尖あり
84	84F-130	30-118	-	-	不明	破片	酸化	7	-	-	-	-	-
84	84F-130	30-119	0.00	1	イネ科	胚乳	完好	酸化	7	-	-	-	細身、腹面に濃みあり
84	84F-130	30-119	-	-	ギンギン属	葉茎	完好	酸化	6	-	-	-	-
84	84F-130	30-119	-	-	ギンギン属	葉茎	破片	酸化	1	-	-	-	-
84	84F-130	30-119	-	-	(籾茎)	完形	酸化	1	-	-	-	-	-
84	84F-130	30-119	-	-	(籾茎)	完形	酸化	3	8.5	8.8	-	-	-
84	84F-130	30-119	-	-	(籾茎)	破片	酸化	1	-	-	-	-	-
84	84F-130	30-120	0.00	1	イネ科	胚乳	完好	酸化	7	-	-	-	細身、腹面に濃みあり
84	84F-130	30-121	0.00	1	イネ科	胚乳	完好	酸化	1	-	-	-	細身、腹面に濃みあり
85	85F-131	30-122	0.00	1	不明	完形	酸化	1	-	-	-	-	横にたがれ見えている
85	85F-131	30-123	0.00	1	イネ科	種子	完好	酸化	1	2.9	2.5	2.5	(背)背側、腹尖側
85	85F-131	30-123	-	-	ブドウ科	種子	破片	酸化	1	-	-	-	腹面左側
85	85F-131	30-123	-	-	アカギ科	種子	完好	-	5	-	-	-	先尖あり
85	85F-131	30-123	-	-	不明	破片	酸化	5	-	-	-	-	-
85	85F-131	30-123	-	-	クマノウ	種子	完好	-	1	-	-	-	灰褐色
85	85F-133	30-125	0.00	1	アカギ科	種子	完好	-	1	-	-	-	先尖あり
85	85F-134	30-126	0.00	1	アカギ科	種子	完好	-	1	-	-	-	先尖あり
87	87F-134	30-126	-	-	不明	完形	酸化	1	-	-	-	-	-
88	88F-135	30-127	0.00	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
89	89F-136	30-128	0.00	1	イネ?	胚乳?	破片	酸化	1	-	-	-	-
89	89F-136	30-128	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	試料袋のみ
90	90F-138	30-130	0.00	1	ヒメミズナ	完形	酸化	1	-	1.9	1.9	1.1	腹面に濃みあり
90	90F-138	30-130	-	-	不明	完形	酸化	1	-	-	-	-	-
90	90F-139	30-131	0.00	1	アサギ類	葉茎	完好	酸化	1	-	-	-	-
91	91F-139	30-131	-	-	ササ属?	種子	破片	酸化	1	-	-	-	-
91	91F-139	30-131	-	-	不明	完形	酸化	1	-	-	-	-	-
92	92F-140	30-132	0.00	1	不明(双子葉類)	破片	酸化	1	-	-	-	-	-
92	92F-140	30-132	-	-	不明	完形	酸化	2	-	-	-	-	-
93	93F-140IF-1	30-133	0.00	1	ササ属?	種子	破片	酸化	3	-	-	-	-
93	93F-140IF-1	30-133	-	-	ササ属?	種子	破片	酸化	3	-	-	-	-
93	93F-140IF-1	30-133	-	-	イネ科	胚乳	完好	酸化	1	-	-	-	細身、腹面に濃みあり
93	93F-140IF-1	30-133	-	-	ササ属?	種子	破片	酸化	1	-	-	-	-
93	93F-140IF-1	30-133	-	-	キリシタ属	葉茎	完好	酸化	1	-	-	-	一短欠損
93	93F-140IF-1	30-133	-	-	不明	破片	酸化	2	-	-	-	-	-
93	93F-140IF-1	30-134	0.00	1	ササ属?	種子	完形	酸化	5	-	-	-	-
93	93F-140IF-1	30-134	-	-	イネ	胚乳	完好	酸化	1	4.0	2.6	2.5	横き彫り
93	93F-140IF-1	30-134	-	-	イネ	胚乳	破片	酸化	4	-	-	-	-
93	93F-140IF-1	30-134	-	-	不明	破片	酸化	6	-	-	-	-	-
93	93F-140IF-1	30-134	-	-	スシノミ?	種子	完形	酸化	1	-	-	-	-
93	93F-140IF-1	30-134	-	-	不明	完形	酸化	1	-	-	-	-	発色、キハダではない
93	93F-140IF-1	30-134	-	-	不明	完形	酸化	1	-	-	-	-	-
93	93F-140IF-1	30-134	-	-	(腐性?)	完形	酸化	1	-	-	-	-	縦断面に放射状の線模様
94	94F-142	30-135	0.00	1	ササ属?	種子	完形	酸化	1	-	-	-	-
94	94F-142	30-135	-	-	イネ	胚・胚乳	完形	酸化	1	3.0	2.1	1.4	-
94	94F-142	30-135	-	-	イネ	胚乳	破片	酸化	2	-	-	-	-
94	94F-142	30-135	-	-	イネ	胚乳	破片	酸化	3	-	-	-	-
94	94F-142	30-135	-	-	不明(双子葉類)	完形	酸化	1	-	-	-	-	-
94	94F-142	30-135	-	-	不明	完形	酸化	1	-	-	-	-	-
94	94F-142	30-135	-	-	不明	破片	酸化	2	-	-	-	-	-
94	94F-142	30-135	-	-	ギンギン属	葉茎	完形	酸化	2	-	-	-	-
94	94F-142	30-136	0.00	1	ササ属?	種子	完形	酸化	1	-	-	-	-
94	94F-142	30-136	-	-	イネ	胚乳	完形	酸化	11	-	-	-	同一種の可能性
94	94F-142	30-136	-	-	イネ	胚乳	完形	酸化	2	1	4.3	2.5	2.6
94	94F-142	30-136	-	-	イネ	胚乳	完形	酸化	-	2	3.4+	2.7	1.9
94	94F-142	30-136	-	-	イネ	胚乳	破片	酸化	1	-	-	-	-
94	94F-142	30-136	-	-	マメ科?	種子	破片	酸化	1	-	-	-	-
94	94F-142	30-136	-	-	石類	破片	酸化	1	-	-	-	-	-
94	94F-142	30-136	-	-	スシノミ?	種子?	完形	酸化	1	-	-	-	-
94	94F-142	30-136	-	-	(等)	破片	酸化	1	-	-	-	-	-
94	94F-142	30-136	-	-	不明(双子葉類)	破片	酸化	1	-	-	-	-	-
94	94F-142	30-136	-	-	不明(双子葉類?)	完形	酸化	1	-	-	-	-	-
94	94F-142	30-136	-	-	不明	完形	酸化	1	-	-	-	-	-
96	96F-143	30-138	0.00	1	不明	完形	酸化	1	-	-	-	-	-
96	96F-146	30-142	0.00	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
97	97F-147	30-143	0.00	1	アカギ科	種子	完形	-	1	-	-	-	先尖あり
97	97F-147	30-143	0.00	1	不明	完形	酸化	-	1	-	-	-	縦断に割れた塊形体、中空
99	99F-149	30-145	0.00	1	アカギ科	種子	完形	-	2	-	-	-	先尖あり
99	99F-150	30-146	0.00	1	不明	破片	酸化	1	-	-	-	-	縦断面：放射状の筋が確認
100	99F-152	30-148	0.00	1	ササ属?	種子	完形	酸化	2	-	-	-	-

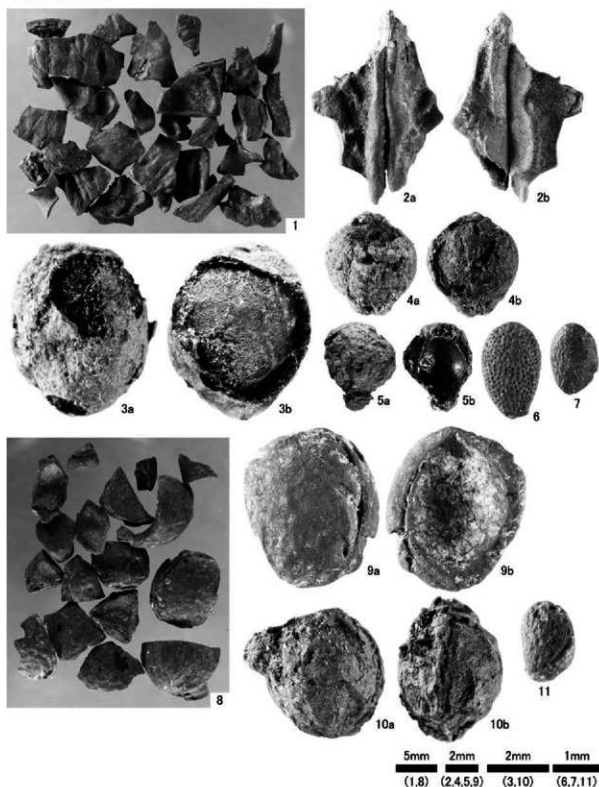
試料情報	測定結果				主な分離線の計測値 (nm)					備考				
	濃縮名	集塵番号	重量	粒	分類群	部位	状態	価数	積算		長さ	幅	厚さ	
300	塵ア-152	20-148	-	-	イネ科	胚乳	完全	酸化	2	-	-	-	繊維, 後面に濃みあり	
300	塵ア-152	20-148	-	-	不明(イネ科)	胚乳	完全	酸化	1	-	4.4*	-	皮層(強い), 断面平滑	
300	塵ア-152	20-148	-	-	不明	胚乳	完全	酸化	2	-	-	-	-	
300	塵ア-152	20-148	-	-	不明(菌類?)	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	繊維面に放射状の筋線	
301	塵ア-153	20-149	0.00	1	イネ?	胚乳?	完全	酸化	1	-	-	-	-	
301	塵ア-153	20-149	-	-	スミシロ?	種子	完全	酸化	1	-	-	-	-	
301	塵ア-153	20-149	-	-	不明(双子葉類?)	胚乳	完全	酸化	2	-	-	-	-	
301	塵ア-153	20-149	-	-	不明(双子葉類?)	胚乳	完全	酸化	3	-	-	-	-	
302	塵ア-154	20-150	0.00	1	不明	完全	酸化	3	-	-	-	-	ムギよりのササギの可能性がある	
302	塵ア-154	20-150	-	-	不明	完全	酸化	2	-	-	-	-	-	
302	塵ア-154	20-150	-	-	不明(ヒシシロ?)	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	ヒメシロの果実(目)に近る
303	塵ア-155	20-151	0.00	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
304	塵ア-156	20-152	0.00	1	ヒメシロ?	胚乳	完全	酸化	1	-	3.5	2.0	1.5	小形(短い)
304	塵ア-156	20-152	-	-	不明(双子葉類)	胚乳	完全	酸化	2	-	-	-	-	-
304	塵ア-156	20-152	-	-	不明	完全	酸化	2	-	-	-	-	-	-
304	塵ア-156	20-152	-	-	不明(双子葉類)	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
305	塵ア-157	20-153	0.30	7	不明(イネ科)	胚乳?	完全	酸化	1	-	-	-	-	基部欠損?
306	塵ア-159	20-156	10.68	266	不明(イネ科)	胚乳?	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
307	塵ア-161	20-158	0.00	1	不明(双子葉類)	胚乳	完全	酸化	2	-	-	-	-	接合し1個体, 状態良好
307	塵ア-162	20-159	0.00	1	ササギ科(結核)	種子	完全	酸化	3	-	-	-	-	-
308	塵ア-162	20-159	-	-	不明	完全	酸化	2	-	-	-	-	-	-
309	塵ア-164	20-163	0.00	1	イネ科	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	繊維, 後面に濃みあり
309	塵ア-164	20-163	-	-	不明	完全	酸化	1	-	-	-	-	-	-
310	塵ア-165	20-164	0.00	1	ササギ?	種子	完全	酸化	1	-	-	-	-	繊維欠損?
310	塵ア-165	20-164	0.00	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
311	塵ア-167	20-167	0.00	1	アズキ類	種子	完全	酸化	1	-	5.4	3.6	3.5	輪文濃, 後面V字溝
311	塵ア-167	20-167	-	-	ササギ?	種子	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
312	塵ア-168	20-168	0.00	1	不明(双子葉類)	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
312	塵ア-168	20-168	-	-	不明	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
312	塵ア-168	20-168	-	-	不明(菌類?)	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
313	塵ア-169	20-170	0.00	1	イネ	胚乳	完全	酸化	1	-	4.3	2.9	1.8	長袍色, 筒門溝, 皮薄い
313	塵ア-169	20-170	-	-	イネ科	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	繊維, 後面に濃みあり
313	塵ア-169	20-170	-	-	不明(双子葉類?)	胚乳	完全	酸化	3	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-171	0.00	1	イネ	胚乳	完全	酸化	1	-	3.9*	2.4	2.1	基部欠損
314	塵ア-9HFP-1	20-171	-	-	イネ科	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-171	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-171	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	5	-	4.8*	6.3*	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-171	-	-	不明	胚乳	完全	酸化	9	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-171	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-171	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-171	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	2	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-171	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	35	-	-	-	-	繊維, 後面に濃みあり
314	塵ア-9HFP-1	20-171	-	-	キタノクマ	葉茎	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-171	-	-	不明	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-171	-	-	不明(ヒシシロ?)	胚乳	完全	酸化	2	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-171	-	-	不明	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-171	-	-	不明	胚乳	完全	酸化	2	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-171	-	-	不明	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-173	0.00	1	イネ	胚乳	完全	酸化	2	-	4.1	2.5	2.0	-
314	塵ア-9HFP-1	20-173	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	-	-	3.4	1.6	1.5	-
314	塵ア-9HFP-1	20-173	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	3	-	6.9*	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-173	-	-	イネ	胚乳	完全	酸化	4	-	5.1*	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-173	-	-	不明	胚乳	完全	酸化	2	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-173	-	-	イネ科	胚乳	完全	酸化	14	-	-	-	-	繊維, 後面に濃みあり
314	塵ア-9HFP-1	20-173	-	-	イネ科	胚乳	完全	酸化	2	-	-	-	-	繊維, 後面に濃みあり
314	塵ア-9HFP-1	20-173	-	-	イネ科	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-173	-	-	イネ科	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
314	塵ア-9HFP-1	20-173	-	-	不明	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
315	塵ア-171	20-174	0.00	1	イネ?	胚乳?	完全	酸化	2	-	-	-	-	-
315	塵ア-171	20-174	-	-	マメ科(アズキ類?)	種子	完全	酸化	2	-	-	-	-	-
315	塵ア-171	20-174	-	-	不明(双子葉類?)	胚乳	完全	酸化	2	-	-	-	-	-
316	塵ア-173	20-176	0.00	1	ササギ?	種子	完全	酸化	4	-	-	-	-	-
316	塵ア-173	20-176	-	-	イネ科	胚乳	完全	酸化	8	-	-	-	-	繊維, 後面に濃みあり
316	塵ア-173	20-176	-	-	ウレシノ属	核	完全	酸化	1	-	3.0*	2.0*	1.9*	内皮厚の厚さ約2mm, 断面環状
316	塵ア-173	20-176	-	-	イネ科	胚乳?	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
316	塵ア-173	20-176	-	-	イネ科	胚乳?	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
316	塵ア-173	20-176	-	-	イネ科	胚乳?	完全	酸化	2	-	-	-	-	-
316	塵ア-173	20-176	-	-	不明	胚乳	完全	酸化	2	-	-	-	-	-
317	塵ア-179	20-184	0.00	1	不明(双子葉類?)	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
318	塵ア-185	20-187	0.00	1	イネ科	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	繊維, 後面に濃みあり
319	塵ア-184	20-189	0.00	1	イネ科	胚乳	完全	酸化	2	-	-	-	-	繊維, 後面に濃みあり
319	塵ア-184	20-189	-	-	シロツメ属	核	完全	酸化	1	-	-	-	-	表皮欠陥, 1/4径, 基部
319	塵ア-184	20-189	-	-	ギンギョウ属?	種子?	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
319	塵ア-184	20-189	-	-	不明(双子葉類?)	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
320	塵ア-185	20-191	0.00	1	イネ?	胚乳?	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
321	塵ア-188	20-194	0.00	1	イネ?	胚乳?	完全	酸化	2	-	-	-	-	-
322	塵ア-188	20-194	0.00	1	アカザ科	種子	完全	酸化	1	-	-	-	-	表皮あり
322	塵ア-188	20-194	-	-	キタノクマ	葉茎	完全	酸化	1	-	-	-	-	分析中に破損
322	塵ア-188	20-194	-	-	不明(双子葉類?)	完全	酸化	1	-	-	-	-	-	-
323	塵ア-189	20-195	0.00	1	不明	完全	酸化	2	-	-	-	-	-	表皮
324	塵ア-190	20-196	0.00	1	イネ	胚乳	完全	酸化	1	-	3.2*	2.5	1.4	皮厚欠陥
324	塵ア-190	20-196	-	-	イネ科	葉茎	完全	酸化	1	-	-	-	-	繊維, 後面に濃みあり
324	塵ア-190	20-196	-	-	アカザ科	種子	完全	酸化	1	-	-	-	-	繊維, 後面に濃みあり
324	塵ア-190	20-196	-	-	不明(双子葉類?)	完全	酸化	1	-	-	-	-	-	-
324	塵ア-190	20-196	-	-	不明(双子葉類?)	完全	酸化	1	-	-	-	-	-	-
325	塵ア-192	20-198	0.00	1	不明(双子葉類?)	胚乳	完全	酸化	1	-	3.1	2.0	0.9*	半分離
326	塵ア-194	20-203	0.00	1	不明(双子葉類?)	胚乳	完全	酸化	1	-	-	-	-	-
327	塵ア-195	20-204	0.00	1	キタノクマ	葉茎	完全	酸化	2	-	-	-	-	1個? 頂部欠陥, 1個? 基部欠陥
328	塵ア-199	20-207	0.00	1	イネ科	胚乳	完全	酸化	17	-	-	-	-	繊維, 後面に濃みあり
329	塵ア-197	20-208	0.00	1	イネ科	葉茎	完全	酸化	1	-	-	-	-	皮厚欠陥
330	塵ア-200	20-211	0.00	1	イネ科	胚乳	完全	酸化	6	-	-	-	-	繊維, 後面に濃みあり
330	塵ア-200	20-211	-	-	イネ科	胚乳	完全	酸化	2	-	-	-	-	繊維, 後面に濃みあり
330	塵ア-200	20-211	-	-	アカザ科	種子	完全	酸化	1	-	-	-	-	表皮あり

試料情報	測定結果				主な分類群の計測値(mm)					備考		
	遺構名	集積番号	重量	粒	分類群	部位	状態	個数	積算長さ		幅	厚さ
130	扉P-200	30-211	-	-	クマノタ	種子	完全	2	-	-	-	灰褐色
130	扉P-200	30-211	-	-	イネ科?	葉茎?	炭化	6	-	-	-	
150	扉P-200	30-211	-	-	不明(双子葉類?)		炭化	3	-	-	-	
160	扉P-200	30-211	-	-	不明(双子葉類?)		炭化	3	-	-	-	
130	扉P-200	30-211	-	-	不明		炭化	4	-	-	-	
131	扉P-201	30-212	0.00	1	アサギ科	種子	完全	28	-	-	-	浅穴あり
131	扉P-201	30-212	0.00	1	アサギ科	種子	完全	1	-	-	-	浅穴あり
131	扉P-201	30-212	0.00	1	キリノコ属	葉茎	炭化	1	-	-	-	浅穴穴底
131	扉P-201	30-212	0.00	1	不明(双子葉類?)		炭化	1	-	-	-	
131	扉P-201	30-212	0.00	1	不明(双子葉類?)		炭化	1	-	-	-	
131	扉P-201	30-214	0.00	1	アサギ科	種子	完全	1	-	-	-	浅穴あり
132	扉P-202	30-214	0.00	1	アサギ科	種子	炭化	1	-	-	-	浅穴あり
132	扉P-202	30-215	0.00	1	イネ	胚乳	炭化	1	4.1	2.3	1.6+	一穂穴底
132	扉P-202	30-215	-	-	不明(双子葉類?)		炭化	1	-	-	-	
132	扉P-202	30-215	-	-	不明		炭化	1	-	-	-	
133	扉P-106	30-220	0.00	1	不明(双子葉類?)		炭化	1	-	-	-	
134	扉P-106	30-224	0.00	1	不明(双子葉類?)		炭化	1	-	-	-	
134	扉P-106	30-224	-	-	不明(双子葉類?)		炭化	1	-	-	-	
134	扉P-106	30-225	0.00	1	ヒヤコ草科?	種+胚乳	炭化	1	-	-	-	コメヤに似るが小型
134	扉P-106	30-225	-	-	イネ科?	胚乳	炭化	1	-	-	-	小型
134	扉P-106	30-225	-	-	(芽)		炭化	1	-	-	-	
134	扉P-106	30-225	-	-	(芽)		炭化	1	-	-	-	
134	扉P-106	30-225	-	-	不明		炭化	1	-	-	-	
134	扉P-204	30-226	0.00	1	不明(マヤシ属?)	種子?	炭化	2	-	-	-	
135	扉P-204	30-226	-	-	イネ科	葉茎	炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-230	0.60	30	スモモ	核	炭化	33	10.0+	8.9+	3.1+	半分厚、5割は欠損体。
136	扉P-209	30-230	-	-	不明植物		炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-230	-	-	イネ	胚乳	炭化	3	3.9	2.4	1.5	
136	扉P-209	30-230	-	-	イネ	胚乳	炭化	2	4.3	2.2	1.8	
136	扉P-209	30-230	-	-	イネ	胚乳	炭化	3	4.1	2.1	1.8	
136	扉P-209	30-230	-	-	イネ	胚乳	炭化	2	-	-	-	
136	扉P-209	30-230	-	-	イネ科	胚乳	炭化	2	-	-	-	
136	扉P-209	30-230	-	-	ギンギン属	葉茎	炭化	27	-	-	-	断面、腹面に溝あり
136	扉P-209	30-230	-	-	ギンギン属	葉茎	炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-230	-	-	ギンギン属?	種子?	炭化	4	-	-	-	
136	扉P-209	30-230	-	-	不明		炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-230	-	-	イネ?	胚乳?	炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-230	-	-	不明(双子葉類?)		炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-230	-	-	不明		炭化	4	-	-	-	
136	扉P-209	30-230	-	-	クマノタ	種子	炭化	1	-	-	-	灰褐色
136	扉P-209	30-230	-	-	イネ科?	胚乳?	炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-230	-	-	不明(双子葉類?)		炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-230	-	-	不明		炭化	3	-	-	-	
136	扉P-209	30-230	-	-	(芽)		炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-230	-	-	(芽)		炭化	4	-	-	-	
136	扉P-209	30-231	0.00	1	イネ科	葉茎	炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-231	-	-	ギンギン属	葉茎	炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-231	-	-	不明		炭化	3	-	-	-	
136	扉P-209	30-231	-	-	不明		炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-231	-	-	オニグルシ?	核	炭化	1	4.5+	-	-	
136	扉P-209	30-232	0.00	1	イネ	胚乳	炭化	1	4.0	2.2	2.1	山形状角円体
136	扉P-209	30-232	-	-	(芽)		炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	0.10	3	イネ?	胚乳?	炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	ヒヤコ草科	種+胚乳	炭化	1	2.3	1.7	1.4	状態やや良好
136	扉P-209	30-270	-	-	イネ	胚乳	炭化	3	3.0	2.5	1.7	
136	扉P-209	30-270	-	-	イネ	胚乳	炭化	2	3.6	2.4	1.5	
136	扉P-209	30-270	-	-	イネ	胚乳	炭化	3	2.9+	2.1	1.5	下部穴底
136	扉P-209	30-270	-	-	イネ	胚乳	炭化	11	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	ササゲ科	種子	炭化	5	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	マツタケ近縁種	種子	炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	サルナシ・マツタケ	種子	炭化	19	-	-	-	状態不良
136	扉P-209	30-270	-	-	サルナシ・マツタケ	種子	炭化	1	-	-	-	状態不良
136	扉P-209	30-270	-	-	ギンギン属	葉茎	炭化	8	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	マツタケ近縁種	種子	炭化	3	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	ギンギン属?	種子?	炭化	2	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	イボホオズキ属	種子	炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	不明		炭化	22	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	イネ科	胚乳	炭化	1	-	-	-	断面、腹面に溝あり
136	扉P-209	30-270	-	-	イネ科	胚乳	炭化	1	-	-	-	断面、腹面に溝あり
136	扉P-209	30-270	-	-	不明		炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	スズナ	種子	炭化	1	-	-	-	異なる可能性も含まれる
136	扉P-209	30-270	-	-	不明植物		炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	イネ?	胚乳?	炭化	3	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	イネ科?	胚乳?	炭化	3	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	不明		炭化	2	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	イネ科	胚乳	炭化	1	-	-	-	断面、腹面に溝あり
136	扉P-209	30-270	-	-	不明		炭化	1	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	不明(ヒシ属?)		炭化	1	-	-	-	ヒメオシロイの葉茎(約)?
136	扉P-209	30-270	-	-	不明(ヒシ属?)		炭化	1	-	-	-	ヒメオシロイの葉茎(約)?
136	扉P-209	30-270	-	-	キリノコ属	葉茎	炭化	2	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	クマノタ	種子	炭化	1	-	-	-	灰褐色
136	扉P-209	30-270	-	-	不明(双子葉類?)		炭化	5	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	不明(双子葉類?)		炭化	8	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	不明		炭化	2	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	不明		炭化	2	-	-	-	
136	扉P-209	30-270	-	-	不明		炭化	2	-	-	-	

試料情報				測定結果				主な分種群の計測値 (nm)				備考		
試料名	集積番号	重量	粒	分種群	部位	状態	個数	積算	長さ	幅	厚さ			
136	層ド-209	20-270	--	不明		破片	酸化	50	--	--	--			
136	層ド-209	20-270	--	スモモ	核	破片	酸化	21	--	4.7+	--			
136	層ド-209	20-270	--	(炭化材)		破片	酸化	1	--	--	--			
137	層ド-16	20-253	0.00	1	オニダレ	核	破片	酸化	3	--	--			
137	層ド-16	20-253	--	スモモ	核	破片	酸化	7	--	7.0+	7.7+	2.4+		
137	層ド-16	20-253	--	キランノ属	葉実	完形	酸化	3	--	--	--			
137	層ド-16	20-253	--	不明(双子葉類)		破片	酸化	1	--	--	--			
138	層ド-206	20-257	0.00	1	不明	破片	酸化	1	--	--	--			
138	層ド-206	20-258	0.00	1	不明(双子葉類)	破片	酸化	4	--	2.4	1.8	0.8+	平分厚,3個は結合して完形1個体。	
139	層ド-207	20-259	0.00	1	不明	完形		1	--	--	--			
139	層ド-207	20-260	0.00	1										
140	層ド-15	20-241	0.00	1	ササ属?	種子	完形	酸化	1	--	--			
140	層ド-15	20-241	--	不明		破片	酸化	1	--	--	--			
140	層ド-15	20-241	--	不明種実		完形	酸化	2	--	--	--	双子葉類		
140	層ド-15	20-241	--	オニダレ	核	破片	酸化	13	--	12.0+	9.6+	--		
141	層ド-17	20-242	0.00	1	不明	破片	酸化	1	--	--	--			
142	層ド-208	20-245	0.00	1	ヒツツノ属	核	破片		1	--	--	表皮褐色		
142	層ド-208	20-245	--	イネ	胚乳	完形	酸化	1	--	4.8	2.7	2.1		
142	層ド-208	20-245	--	イネ	胚乳	破片	酸化	1	--	--	--			
142	層ド-208	20-245	--	イネ科	葉実?	完形	酸化	2	--	--	--	細身		
142	層ド-208	20-245	--	アサギ科	種子	完形		1	--	--	--			
142	層ド-208	20-245	--	不明(双子葉類?)		完形	酸化	2	--	--	--			
142	層ド-208	20-245	--	不明		完形	酸化	1	--	--	--			
143	層H-SHF-1	20-246	0.00	1	ヒメミズアザミ	鞘・胚乳	完形	酸化	1	--	2.0	1.8	腹面欠損	
143	層H-SHF-1	20-246	--	キイチ	種子	破片	酸化	1	--	--	--			
143	層H-SHF-1	20-246	--	ブツノ属	種子	破片	酸化	1	--	2.0	3.7	2.2+	赤沢褐色,背面のみ,合点欠損:径1.2mm	
143	層H-SHF-1	20-246	--	イネ	胚乳	破片	酸化	3	--	--	--			
143	層H-SHF-1	20-246	--	イネ?	胚乳?	破片	酸化	1	--	--	--			
143	層H-SHF-1	20-246	--	イネ科	胚乳	完形	酸化	1	--	--	--	細身,腹面に溝あり		
143	層H-SHF-1	20-246	--	イネ科	胚乳	破片	酸化	1	--	--	--	細身,腹面に溝あり		
143	層H-SHF-1	20-246	--	スズメノ属	種子	完形		1	--	--	--			
143	層H-SHF-1	20-246	--	(芽)		破片		1	--	--	--			
143	層H-SHF-1	20-246	--	不明		完形	酸化	1	--	--	--			
143	層H-SHF-1	20-247	0.00	1	不明	酸化		2	--	--	--			
143	層H-SHF-1	20-248	0.00	1	不明	完形	酸化	1	--	--	--	発点		
143	層H-SHF-1	20-248	--	不明		破片	酸化	2	--	--	--			
143	層H-SHF-1	20-250	0.00	1	(芽)		酸化	2	--	--	--			
144	層SP-108	20-258	0.00	1	(発芽)		破片	酸化	2	--	--			
145	層H-SHF-1	20-271	0.00	1	ヒメミズアザミ	鞘・胚乳	完形	酸化	1	--	2.1	1.7	1.3	腹面に縦付溝,背面欠損
145	層H-SHF-1	20-271	--	ササ属?	種子	完形	酸化	1	--	--	--			
145	層H-SHF-1	20-271	--	イネ科?	葉実	完形	酸化	1	--	--	--			
145	層H-SHF-1	20-271	--	不明(双子葉類)		完形	酸化	3	--	--	--			
145	層H-SHF-1	20-271	--	不明(双子葉類)		破片	酸化	4	--	--	--			
	層ド-69	20-5		不明(双子葉類)		破片	酸化	2	--	--	--			
	層ド-13	20-252		サルナシ・マタヒ	種子	破片	酸化	1	--	--	--	赤褐色		
	層ド-13	20-252		キランノ属	葉実	完形	酸化	2	--	--	--			
	LP209-H1	19-49		オニダレ	核	破片	酸化	10	--	4.0+	--			
	LP209-H1	19-49		キイチ	種子	破片	酸化	3	--	--	--			

注)計測値はデジタル/アナログによる。

図版1 種実(1)

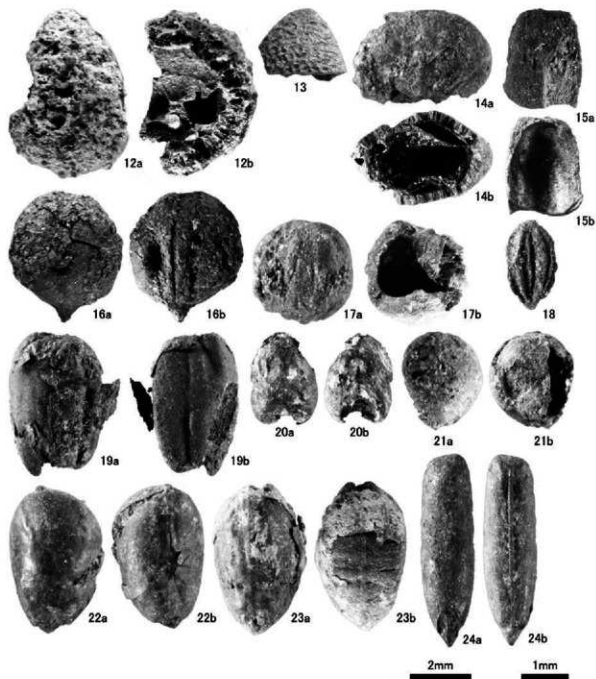


1. オニグルミ 核 (26; ⅢF-31)
3. エノキ属 果実・核 (36; ⅢF-49)
5. エノキ属 果実・核 (74; ⅢF-116)
7. マタタビ近似種 種子 (71; ⅢF-111)
9. スモモ 核 (136; ⅢF-209)
11. キイチゴ属 核 (25; ⅢF-30)

2. オニグルミ核(縫合線に沿わず割れている) (26; ⅢF-31)
4. エノキ属 果実 (74; ⅢF-116)
6. サルナシ近似種 種子 (7; ⅢH-1・HF-1)
8. スモモ 核 (136; ⅢF-209)
10. ミヤマザクラ 果実・核 (2; ⅢH-221)



図版 2 種実(2)



(12,15-17,19,22,23) (13,14,18,20,21,24)

12. キハダ 果実(5; III F-215)

14. ウルシ属 核(116; III F-173)

16. ブドウ属 種子(68; III H-8・HF-1)

18. スプタ 種子(136; III F-209)

20. ヒエ近似種 穎・胚乳(59; III H-12・HF-1)

22. ササ属? 種子?(93; III H-10・HF-1)

24. イネ科 胚乳(37; III F-51)

13. キハダ 種子(U P 39-H1)

15. カエデ属? 果実?(71; III F-111)

17. ミズキ 核(44; III H-1・HF-1)

19. イネ 穎・胚乳(65; III F-96)

21. キビ? 穎・胚乳(12; III H-221)

23. ササ属? 種子?(93; III H-10・HF-1)

図版3 種実(3)



25. キシギシ属 果実(136:Ⅲ-209)

27. アズキ類 種子(25:ⅢF-30)

29. アズキ類 種子(60:ⅢF-90)

31. アズキ類 種子(39:ⅢF-38)

33. アズキ類 種子(25:ⅢF-30)

26. ヤナギタデ近似種 果実(28:ⅢF-39)

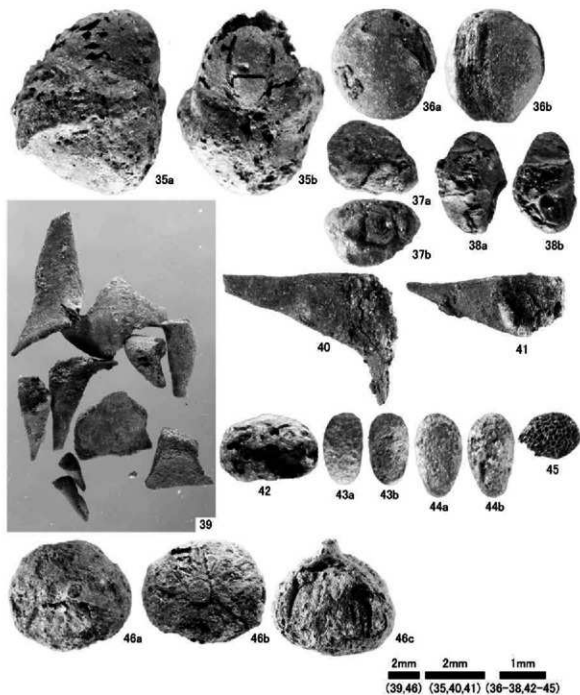
28. アズキ類 種子(25:ⅢF-30)

30. アズキ類 種子(111:ⅢF-167)

32. アズキ類 種子(39:ⅢF-38)

34. アズキ類 種子(25:ⅢF-30)

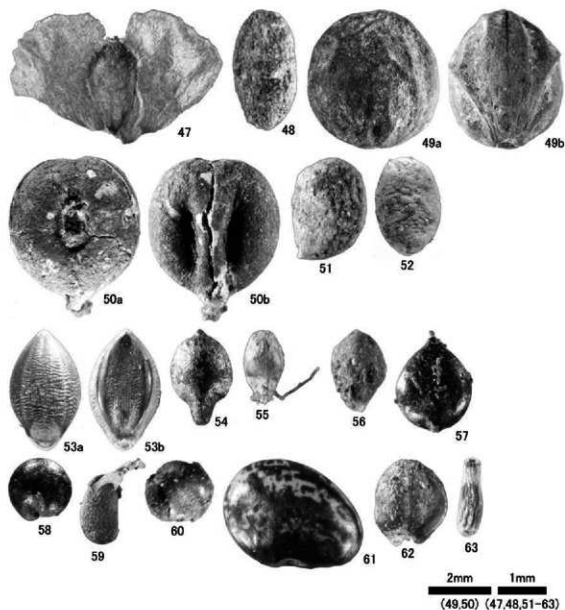
図版4 種実(4)



35. マメ科(ダイズ類)種子(37:ⅢF-51)  
 37. マメ科(ハギ属?)種子(13:ⅢF-222)  
 39. ヒシ属 果実(71:ⅢF-111)  
 41. ヒシ属 果実(71:ⅢF-111)  
 43. キランソウ属 果実(1:ⅢF-211)  
 45. イガホオズキ属 種子(136:ⅢF-209)

36. マメ科(野生種)種子(75:ⅢF-117)  
 38. マメ科(他野生種)種子(6:ⅢF-21)  
 40. ヒシ属 果実(71:ⅢF-111)  
 42. アカネ科?核?(8:ⅢF-9)  
 44. キランソウ属 果実(1:ⅢF-211)  
 46. 鱗茎(a:上面観, b:下面観, c:側面観)(76:ⅢF-119)

図版5 種実(5)



- |  |  |
|--|--|
| <p>47. シラカンバ 果実(10; III F-6)<br/>                 49. ミヤマザクラ 核(6; III F-217)<br/>                 51. タラノキ 核(10; III A-3)<br/>                 53. エノコログサ属 果実(39; III F-38)<br/>                 55. ヌカスゲ類 果実(58; III H-11・HF-1)<br/>                 57. サナエタデ近似種 果実(1; III F-211)<br/>                 59. クサノオウ 種子(発芽)(70; III F-110)<br/>                 61. マメ科(ハギ属?) 種子(39; III F-38)<br/>                 63. キク科 果実(129; III F-197)</p> | <p>48. サルナシ近似種 種子(10; III F-6)<br/>                 50. ヤマブドウ近似種 種子(40; III F-55)<br/>                 52. ニワトコ属 核(46; III F-70)<br/>                 54. アゼスゲ類 果実(81; III F-125)<br/>                 56. スゲ属(3面型) 果実(84; III F-130)<br/>                 58. アカザ科 種子(131; III F-201)<br/>                 60. キケマン属(平滑型) 種子(58; III F-11・HF-1)<br/>                 62. スミレ属 種子(143; III H-5・HF-1)</p> |
|--|--|

## 6 千歳市梅川4遺跡出土の動物遺存体同定

バリノ・サーヴェイ株式会社

## はじめに

梅川4遺跡B・C地区は、梅川左岸と祝梅川源流部右岸の間の台地上に位置し、近世アイヌ文化期の遺構・遺物が多く確認されている。今回、調査区内で検出された焼土について行われたウォーターフローテーションによって得られた骨類について、その種類と量を明らかにし、動物利用に関する情報を得ることとした。

1. 試料 試料はB・C地区の195地点から得られ、1地点から複数点の試料が採取されている場合もある。試料総数は、C地区が14地点45試料(No.19-1~9, 11~15, 19~49)、B地区が189地点324試料(No.19-55~58, 60~65, 71, 72, 75, 76, 78, 83~86, 89~109, 112~146およびNo.20-1~16, 18~24, 26~44, 46~48, 50~67, 59~70, 72~124, 126~128, 130~165, 167, 168, 170~180, 182~187, 189~227, 230~234, 236, 241, 242, 245~251, 254, 256, 261~270)である。これらの大半は、複数点の破片が含まれる。試料の詳細については結果とともに表示する。

2. 分析方法 試料を肉眼および実体顕微鏡を用いて観察し、その形態的特徴から、種と部位の同定を行う。また、一部の試料については、一般工作用接着剤を用いて接合する。

3. 結果 確認される種類は、腹足綱2種類(コウガイ貝科・マイマイ類)、二枚貝綱1種類(タマキガイ科/ザルガイ科?)、硬骨魚綱6種類(コイ?・フナ属・タナゴ亜科・ウグイ亜科・サケ科・ハゼ科?)、鳥綱?、哺乳綱3種類(ネズミ亜科・ハタネズミ亜科・ニホンジカ(エゾシカ))である(表1)、総数203地点369試料におよぶ。なお、ニホンジカは、ニホンジカの亜種のエゾシカに由来するので、以下エゾシカと表記する。同定結果は出現状況を概念的に示すため、検出される種類の重量組成を図2・3に示す。出土骨は、白色を呈し、表面に細かいひび割れが生じるなど、焼骨の特徴を示す例が多い。しかし、中には黒色を呈し炭化している骨片、部分的に焼けている骨片、さらには焼けていない骨片も検出される。なお、部分的に焼けている骨片、炭化している骨片については、焼骨として取り扱っている。以下、種類ごとに概略を示す。

・コウガイ貝科? : コウガイ貝科の可能性のある破片である。No.19-55で1片、No.20-248で1片が検出される。No.20-248で検出される破片は、焼けている可能性がある。

・マイマイ類 : 破片である。No.19-21で1片、No.19-58で1片、No.19-100で1片、No.20-262で1片が検出される。

・タマキガイ科/ザルガイ科? : No.19-102で2片が検出される。やや幅広い放射帯が認められる。

・二枚貝類 : No.19-102で1片、No.20-80で2片、No.20-212で1片が検出される。この内、No.20-80で検出されるものは、比較的殻が厚く頑丈である。焼けている。

・貝類 : 貝類であるが腹足綱/二枚貝綱の区別がつかない破片がNo.19-56、No.19-102、No.19-141、No.20-176で検出される。なお、No.19-56は焼けている。また、No.19-21、No.19-102、No.19-115、No.19-139、No.20-28で貝類の可能性のある微細な破片もみられる。

・コイ? : コイの可能性のある腹椎である。No.19-31で2片みられる。椎体長は約3mm程度である。

・フナ属 : 腹椎がNo.19-21で3点検出される。椎体長は約2~3mmである。

・タナゴ亜科 : 腹椎がみられる。No.19-21で6点、No.20-35で1点、No.20-80で1点が検出される。椎体長は約2~3mmである。

表1 検出動物分類群の一覧

軟体動物門	Phylum Mollusca
腹足綱	Class Gastropoda
有肺亜綱	Subclass Pulmonata
綱階目	Order Stylmatothora
コウガイ貝科?	Family Zonitidae?
コウガイ貝科?	Family Zonitidae?
	マイマイ類 Ord. et. fam. indet.
二枚貝綱	Class Bivalvia
	タマキガイ科/ザルガイ科? Glycymeridae / Cardidae?
脊椎動物門	Phylum Vertebrata
硬骨魚綱	Class Osteichthyes
魚類亜綱	Subclass Actinopterygii
コイ目	Order Cypriniformes
コイ科	Family Cyprinidae
コイ亜科	Subfamily Cyprininae
コイ?	Cyprinus carpio
フナ属	Carassius
タナゴ亜科	Subfamily Acheilognathinae
タナゴ亜科	Acheilognathinae
ウグイ亜科	Subfamily Leuciscinae
ウグイ亜科?	Leuciscinae?
サケ目	Order Salmoniformes
サケ科	Family Salmonidae
サケ科	Salmonidae
スズキ目?	Order Perciformes?
ハゼ亜目?	Suborder Gobioidae?
ハゼ科?	Family Gobiidae?
ハゼ科?	Gobiidae?
鳥綱?	Class Aves?
鳥綱?	Class Aves?
哺乳綱	Class Mammalia
ネズミ目(齧歯目)	Order Rodentia
ネズミ科	Family Muridae
ネズミ亜科	Subfamily Murinae
ハタネズミ亜科	Subfamily Arvicolinae
ハタネズミ亜科	Arvicolinae
ウシ目(偶蹄目)	Order Artiodactyla
シカ科	Family Cervidae
エゾシカ	Cervus nippon yesanensis

- ・**ウグイ亜科?**:ウグイ亜科の可能性のある腹椎がNo.19-21で1点検出される。椎体長約2.5mmである。
  - ・**コイ科**:上記のコイ?、フナ属、タナゴ亜科、ウグイ亜科の区別ができなかったものである。左主髎蓋骨がNo.19-100で1点、咽頭骨がNo.19-21で3点・No.19-23で1点、第1/2椎骨がNo.19-21で1点、腹椎がNo.19-102で1点・No.20-80で1点、尾椎がNo.19-21で2点・No.19-102で1点・No.19-117で1点・No.20-80で1点・No.20-82で1点・No.20-85で1点・No.20-89で1点・No.20-201で1点・No.20-203で3点が検出される。これらの中には、焼けているものも含まれる。なお、椎体長は、約3mmのものが多く、No.19-102で検出されるものは椎体長4.30mmと若干大きめである。その他、コイ科の可能性のある腹椎・椎骨もみられる。
  - ・**サケ科**:前上顎骨・咽頭骨・腹椎・尾椎・椎骨・尾部棒状骨が確認される。前上顎骨はNo.19-42で1点、咽頭骨はNo.19-113で1点、尾部棒状骨はNo.19-117で1点検出される。腹椎・尾椎・椎骨は多くの試料でみられ、腹椎・尾椎にはほぼ完存するものもある。ほぼ完存する腹椎・尾椎は椎体長約7~9mm程度である。
  - ・**サケ科?**:サケ科の可能性のある右角骨がNo.20-203で1点検出される。
  - ・**ハゼ科?**:ハゼ科の可能性のある腹椎がNo.19-44で1点検出される。ハゼ科?は、椎体長は約2mmである。
  - ・**魚類**:歯牙・左舌顎骨・右角骨・尾椎・椎骨・尾部棒状骨・鱗棘等・鱗・部立不明破片などがみられる。歯牙は多くがサケ科に由来するとみられる。尾椎・椎骨は破片のため種類を特定できない、鱗は焼けていない破片でコイ科の可能性もある。
  - ・**鳥類?**:破片のため詳細不明であるが、緻密な薄骨を鳥類/小型鸚鵡?、また極端に薄骨を鳥類?として取り扱っているが、詳細不明である。
  - ・**ネズミ亜科**:左右下顎第1後臼歯がNo.20-112で検出される。
  - ・**ハタネズミ亜科**:No.19-55で右下顎第1後臼歯、No.19-96で左下顎第3後臼歯、No.19-102で右下顎第3後臼歯、No.19-104で左上顎第1~3後臼歯、No.19-105で左下顎第1後臼歯、No.20-109で右上顎第1後臼歯・右下顎第1後臼歯、No.20-114で右上顎第2後臼歯、No.20-270で左下顎第1後臼歯が検出される。
  - ・**ネズミ科**:ネズミ亜科、ハタネズミ亜科の区別ができない。No.19-96・No.19-104で上顎犬歯、No.19-99・19-100で犬歯、No.19-102で中節骨、No.19-114で尾椎、No.19-118で右脛腓骨・左右距骨、No.19-119で左踵骨、No.20-262で椎骨が検出される。また、ネズミ科の可能性のある歯牙片がみられる。
  - ・**エゾシカ**:確認される部立は、左胛骨(No.19-116,19-141)、左腕骨側手根骨(No.19-116,20-62)、右腕骨側手根骨(No.20-136)、左中腕手根骨(No.19-119,20-263)、右腕骨(No.20-226)、距骨(No.19-8)、右第2+3足根骨(No.20-112)、中足骨/中手骨破片(No.20-157,20-173)、第3/4基節骨(No.19-56)、第3/4基節骨?(No.20-173)、第2/5中節骨(No.19-56,19-58,20-39,20-112)、第3/4中節骨(No.19-56,19-58,20-9,20-39,20-80)、第3/4中節骨?(No.19-56)、第3/4基節骨/中節骨(No.19-56,19-58,19-101,19-113,20-113,20-176)、第2/5末節骨(No.19-55,19-56,19-58,19-113,20-80,20-176)、第3/4末節骨(No.19-58,19-105,19-144,20-112,20-113)、第1/4種子骨(No.19-55,19-56,19-58,20-81)、第2/3種子骨(No.19-19,19-55,19-113,19-116,20-39,20-51,20-230,20-270)などがみられる。なお、No.20-226のエゾシカ右脛骨(非腕骨)が遠位端部37.23mmを測る。その他、エゾシカの可能性のある歯牙・寛骨・脛骨?・中手骨/中足骨?・基節骨・基節骨/中節骨・中節骨/末節骨・中節骨?・末節骨?がみられる。
  - ・**獣類**:大型獣類の肩甲骨の可能性のある破片・指骨・四肢骨、獣類の肋骨・肋骨?・四肢骨・部立不明破片がみられる。なお、No.20-94で検出される焼けた獣類四肢骨には、解体に伴うとみられる切痕が確認される。
  - ・**種類不明**:魚類、獣類不明の破片である。なお、No.20-9、20-15では、焼けた骨片であるが、赤色物質が付着する。
4. 考察 今回の分析では、種類不明であるが、二枚貝綱の破片が検出される。平成20年度「おのぼり」調査では、カマシユガイがアイヌ文化期から多量の獣骨とともに出土するとされている(財団法人北海道埋蔵文化財センター, 2009)。たがし、B地区の

ⅢF-30(No.19-102)で検出された二枚貝綱は焼けておらず、比較的頑丈な殻を持ち、真珠層が発達しないなど、淡水性のカワンジュガイなどを含むイシガイ科と判別しにくい異なる形質である。やや幅広い放射筋を持つことから、タマキガイ科/ザルガイ科の可能性もある。タマキガイ科/ザルガイ科などは海産の貝類であり、遠方からの搬入品という点には、貝輪などとして持ち込まれた可能性もある。また、B地区のⅢF-109(No.20-80)で検出される二枚貝綱も、形状などからみてイシガイ科とは異なるが、被殻小破片であるため不詳である。一方、コウガイ科の可能性もある殻、マイマイ類などは、陸産の貝類であることから、遺構が埋積する過程において周辺に棲息していたものが流れ込んだと考えられる。

硬骨魚綱は、基本的にはサケ科が主体となる。その他の種類としては、コイ?、フナ属、タナゴ亜科、ウグイ亜科、ハゼ科?などからみられるが、数種のみと少ない。また、検出される遺構もC地区のⅢF-217, 219, B地区のⅢF-30, 40, 79, 109~111, 193, 194と10地点が主であり、全体の中で見ると5%にすぎない。これらのことから、周辺の河川では、主に遡上したサケ科を捕獲したとみられる。高橋・太子(1998)は、石狩川水系では遡上するサケ科を積極的に利用していると述べている。本遺跡でも同様な結果といえ、内陸部の様相を示す資料といえよう。ところで、サケ科は、完存する椎体長からみると、少なくとも体長30cmを超えるサイズとみられる。これに対し、コイ科の椎体長は、若干大きなサイズもみられるが、基本的には椎体長2~3mm程度と小型サイズに由来するものが多い。食料とするならば骨ごと食されるため骨が出土しないことも考えられ、これらの種は食料資源として利用されていたか定かでない。また未捕獲された小型魚類を廃棄した可能性もある。また、小型サイズの魚が検出されることから、網や罾などを利用した漁法であった可能性もある。

一方、鳥綱は、明らかに鳥類と判断できる破片がほとんど、積極的に利用がなかったとみられる。哺乳綱では、ネズミ亜科、ハタネズミ亜科、エゾシカがみられる。ネズミ亜科、ハタネズミ亜科などのネズミ科は、食料資源として利用されていたのでなく、遺跡付近に棲息していたものから由来するであろう。中には、焼けている歯牙もみられることから、付近で死んだものが焼かれたこともあったと想像される。エゾシカは、狩猟の中で主要種であったとみられる。鹿骨の可能性もある破片や骨節骨では、骨端から末化骨で外れるものが含まれることから、成熟のみでなく、幼獣も捕獲されていたとみられる。なお、B地区のⅢF-113で検出される哺乳綱の四肢骨(No.20-94)には、水平方向に入る切痕がみられ、解剖して利用していたことを示唆するが、採取地で解剖したものを持ち込んでいたか判別しにくい。また、今回出土した骨の中には、赤色物質が付着する焼骨片がみられた。ベンガラなどの赤色物質を焼骨に付着させる事例は各地でみられる。祭祀などに利用されたものかもしれないが、極めて微小な破片であるため詳細不明である。

ところで、今回の結果をみると、白色を呈した焼骨片が圧倒的に多いが、黒色を呈した炭化した骨片、部分的に焼けている骨片も含まれる。白色を呈した焼骨片は、骨となった状態で直接火中に破壊されたことが考えられる。一方、黒色を呈した炭化した骨片、部分的に焼けた骨片は、蒸気焼きの状態では炭化した、あるいは火元からある程度離れた場所であったなどのことが考えられる。また、焼けていない骨片も多くの地点から検出されている。直接火の影響を受けていない骨片で火元から離れた場所であったか、あるいは軟質部が残った状態で埋められた(破壊された)可能性もある。

この他、骨の総検出量をみると遺構によって差がみられる。哺乳綱が検出される地点は当然のごとく重量が重くなるが、重量で見ると0.1g以下と極めて少ない地点も存在する。また、硬骨魚綱を中心とする地点、硬骨魚綱と哺乳綱が混在する地点などがみられ、哺乳綱のほうが大きいので重量組成では当然多く表示されることになり、硬骨魚綱の地よりも多い地点は、哺乳綱も多く検出される傾向にある(例えば、C地区のⅢF-217、B地区のⅢF-217-30)。このような地点間の量比の差は、利用期間などを反映している可能性もある。

## 引用文献

- 高橋 理・太子 夕佳, 1998, 千歳市キウス4遺跡出土動物遺存体, 財団法人北海道埋蔵文化財センター調査報告書第124集, 千歳市キウス4遺跡(2) - 北海道横断自動車道(千歳~夕張)埋蔵文化財発掘調査報告書 -, 財団法人北海道埋蔵文化財センター, 345-356.
- 財団法人北海道埋蔵文化財センター, 2009, 調査年報21 平成21年度, 財団法人北海道埋蔵文化財センター, 74p

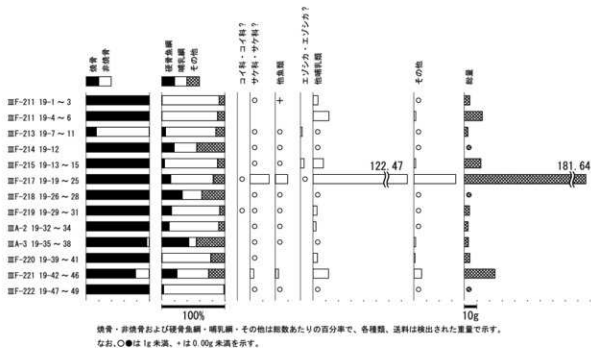


図1. C地区における出土骨の重量組成

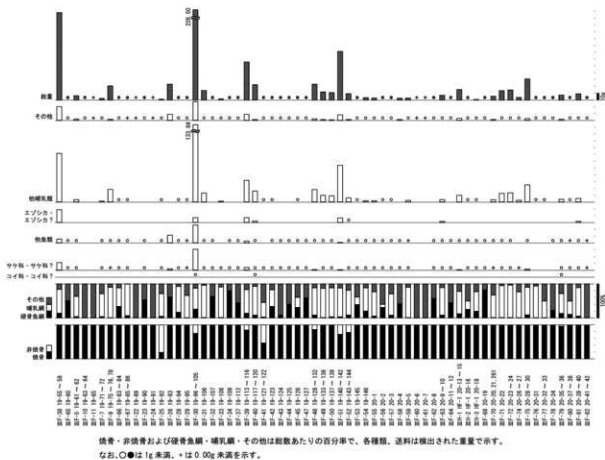


図2. B地区における出土骨の重量組成(1)



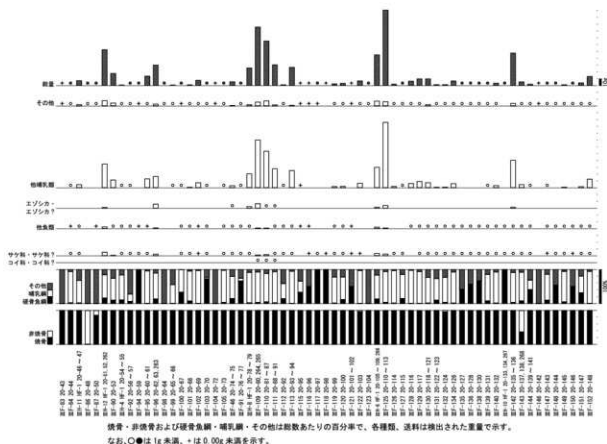


図3. B地区における出土骨の重量組成(2)

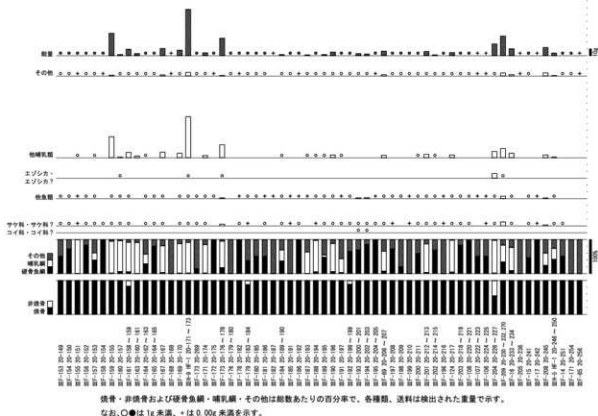


図4. B地区における出土骨の重量組成(3)

図版 出土骨



- 31. 魚類尾節棒状骨(4C) 照F-221;19-43
- 32. 魚類鱗板(4C) 照F-221;19-46
- 33. 鳥類7段骨(4C) 照F-214;19-12
- 34. 鳥類/小型鼠類四肢骨(4B) 照F-30;19-102
- 35. ネズミ歯科左下顎第1後臼歯(4B) 照F-125;20-112
- 36. ネズミ歯科右下顎第1後臼歯(4B) 照F-125;20-112
- 37. ネズミ歯科右上顎第1後臼歯(4B) 照F-30;19-104
- 38. ネズミ歯科左上顎第2後臼歯(4B) 照F-30;19-104
- 39. ネズミ歯科左上顎第3後臼歯(4B) 照F-30;19-104

- 40. ネズミ歯科右上顎第1後臼歯(4B) 照F-61F-120-109
- 41. ネズミ歯科右上顎第2後臼歯(4B) 照F-126;20-114
- 42. ネズミ歯科左下顎第1後臼歯(4B) 照F-30;19-100
- 43. ネズミ歯科左下顎第3後臼歯(4B) 照F-30;19-96
- 44. ネズミ歯科右下顎第1後臼歯(4B) 照F-342;20-100
- 45. ネズミ歯科右下顎第2後臼歯(4B) 照F-30;19-96
- 46. ネズミ科上顎犬歯(4B) 照F-30;19-90
- 47. ネズミ科下顎犬歯(4B) 照F-40;19-110
- 48. ネズミ科臼歯骨(4B) 照F-40;19-110

- 1. コハクガイ科2段(4B) 照F-38;19-55
- 2. マメガイ類殻(4B) 照F-38;19-50
- 3. タマキガイ科/サルガイ科2段(4B) 照F-30;19-102
- 4. 二枚貝類殻(4B) 照F-109;20-80
- 5. コイ科魚鱗(4C) 照F-219;19-31
- 6. フナ科魚鱗(4C) 照F-217;19-21
- 7. タナゴ科魚鱗(4C) 照F-217;19-21
- 8. クダガイ科魚鱗(4C) 照F-217;19-21
- 9. コイ科左上顎歯骨(4B) 照F-30;19-100
- 10. コイ科吻部歯(4C) 照F-217;19-21
- 11. コイ科第12椎骨(4C) 照F-217;19-21
- 12. コイ科尾椎(4B) 照F-30;19-102
- 13. コイ科尾椎(4B) 照F-30;19-102
- 14. コイ科尾椎(4C) 照F-217;19-21
- 15. サケ科前上顎骨(4C) 照F-221;19-42
- 16. サケ科顎頰骨(4B) 照F-30;19-113
- 17. サケ科尾椎(4B) 照F-30;19-104
- 18. サケ科尾椎(4B) 照F-30;19-104
- 19. サケ科尾椎(4B) 照F-30;19-104
- 20. サケ科尾椎(4B) 照F-30;19-104
- 21. サケ科後骨(4B) 照F-30;19-104
- 22. サケ科後骨(4B) 照F-30;19-104
- 23. サケ科尾節棒状骨(4B) 照F-40;19-117
- 24. サケ科右肋骨(4B) 照F-194;20-203
- 25. ハズレ科魚鱗(4C) 照F-221;19-44
- 26. 魚類サケ科中心歯牙(4B) 照F-30;19-104
- 27. 魚類サケ科中心歯牙(4B) 照F-40;19-110
- 28. 魚類鱗板(4C) 照F-221;19-45
- 31. ネズミ科中磨牙(4B) 照F-30;19-102
- 53. ネズミ科中磨牙(4B) 照F-342;20-109
- 54. ネズミ科中磨牙(4B) 照F-221;19-44
- 55. 赤毛動物骨片(4B) 照F-63;20-59
- 56. 赤毛動物骨片(4B) 照F-63;20-59
- 57. 赤毛動物骨片(4B) 照F-11F-120-153



- 58. エゾシカ左前甲骨(4B) 照F-51;19-141
- 59. エゾシカ左前甲骨(4B) 照F-39;19-116
- 60. エゾシカ左脛骨腕手根骨(4B) 照F-39;19-116
- 61. エゾシカ右脛骨腕手根骨(4B) 照F-142;20-136
- 62. エゾシカ左中間手根骨(4B) 照F-40;19-119
- 63. エゾシカ右脛骨(4B) 照F-204;20-220
- 64. エゾシカ脛骨(4C) 照F-213;19-8
- 65. エゾシカ右第2-3趾骨(4B) 照F-125;20-112
- 66. エゾシカ中足骨/中手骨(4B) 照F-164;20-157
- 67. エゾシカ第2-4趾骨(4B) 照F-38;19-96
- 68. エゾシカ第2-4中骨(4B) 照F-38;19-96
- 69. エゾシカ第2-4中骨(4B) 照F-38;19-96
- 70. エゾシカ第2-5趾骨(4B) 照F-30;19-113
- 71. エゾシカ第2-4趾骨(4B) 照F-30;19-105
- 72. エゾシカ第1/4趾骨(4B) 照F-38;19-95
- 73. エゾシカ第2/3趾骨(4B) 照F-38;19-95
- 74. エゾシカ趾骨(4B) 照F-30;19-105
- 75. エゾシカ趾骨(4C) 照F-215;19-15
- 76. 大型鼠類四肢骨(4B) 照F-125;20-112
- 77. 鼠類幼骨(4B) 照F-30;19-104
- 78. 鼠類四肢骨(4B) 照F-125;20-112
- 79. 鼠類四肢骨(4B) 照F-113;20-94

## VII 成果と問題点

## 1 遺構について

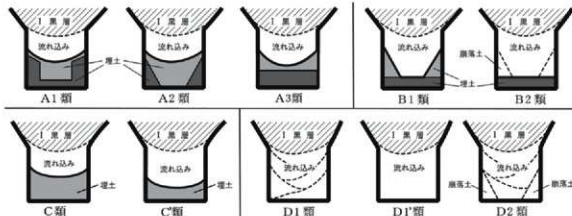
## (1) A地区の土坑・土坑墓について

坑底平面形については、隅丸方形a・b・方形a・b・長楕円形・隅丸長方形・小判形b・長方形は1%以下の特異例であり、不正円形・不正楕円形・小判形aは9%以下の少例であり、楕円形(20%)がやや多く、円形(51%)が半数を占める。角がなく長軸が伸長しない形態が一般的である。また、調査者が墓と認識した例(認定墓と略す)においては不正円形・隅丸方形a・b・小判形bは2%以下の特異例であり、不正楕円形・小判形aは11%以下の少例であり、楕円形(20%)がやや多く、円形(53%)が半数を占める。墓坑の底面形は土坑の一般的な形態から選択されたとしてよい。なお、上層などの外部構造物にかかわるものと考えられる長軸に小孔が2個付帯する例は1例(ⅢP-173:楕円形・A2類)あった。土坑内堆積については、A1・A2・C・D2の各例数は全体に対して7%以下の特異例であり、A3・B1・C'・D1'の各例数は全体に対して10%前後の少例であり、B2(20%)・D1(15%)がやや多い。また、認定墓はA1(3例)・A2(8例)・A3(3例)・B1(14例)・B2(29例)・C(3例)・C'(6例)があり、類型総数の22%を占める。「特異例A1・2」「少例B1」「やや多数B2」に占める認定墓は22%以上、「特異例C」「少例A3・C'」に占める認定墓は22%以下で、「特異例D2」「やや多数D1」に認定墓はない。埋土層が薄い(B1・B2)と埋土層が厚い(A1・A2)は北理調報253(2008年)の結論(所謂

表Ⅶ-1-1 坑底平面形と堆積類型

	A1		A2		A3		B1		B2		C		C'		D1		D1'		D2		Σ1	Σ2	ΣΣ1 * 100 =	
	σ1	σ2	σ1	σ2	σ1	σ2	σ1	σ2	σ1	σ2	σ1	σ2	σ1	σ2	σ1	σ2	σ1	σ2	σ1	σ2				
α1	円形		8		14	1	22	9	40	20	5		14	5	27		15		8		153	35	23	
	不正円形	2		2		3	1	3		6		3		3		3		2			27	1	4	
	隅丸方形a			1		1		1							1						3	1	33	
α2	楕円形	3		4	1	5		8	4	9	6	3		6	1	8		9		5	60	13	22	
	不正楕円形			2	2	6	1	3	1	4	1	4	2	3		3		1			26	7	27	
	隅丸方形b			1		1		1													1	1	100	
α3	小判形a	2		2	2	2		1		2	2	4	1	2		3		6		1	25	7	38	
	方...形b																							
	長楕円形															1		1			3	0	0	
	隅丸長方形																				2	1	50	
小判形b			1		1																			
長方形																								
σ2/σ1*100=		7	3	21	8	30	3	38	14	62	29	19	3	28	6	46		35		14	300	66	22	
σ2/σ1*100=		43		38		10		37		47		16		21										

\* α = 短軸/長軸、α1 ≥ 0.85、0.85 > α2 ≥ 0.5、0.5 > α3 \* σ1: 類型毎合計、σ2: 墓と認定したσ1の内数、Σ1: σ1総数、Σ2: σ2総数



図Ⅶ-1-1 土坑堆積模式

土坑墓の堆積：A1・2、屋根土を置く上層がある墓の堆積：B1・2)を追認した。埋土層の無いD2は前掲書では屋根土を置かず上層がある墓の堆積と推定されたが今回は至らない。晩期後葉における葬法が一次葬のみであった確証はないことを前提に以下が推測される。埋土層無い(D1)は徐々に流れ込んだ堆積物を示すことから、屋根土を置かず上層がある墓、埋土層無い(D1')は一気に流れ込んだ堆積物を示すことから、二次葬により開口したまま残置された墓跡とも考えられる。いっぽう、埋土層が厚い(A3・C)と埋土層が薄い(C')には認定墓があり、所謂土坑墓と屋根土がある上層墓の可能性が残る。

V群c 類期の近隣例として恵庭市西島松2 遺跡(北埋調報265、2010年)がある。坑底平面形と土坑内堆積がわかる認定墓は33基ある。円形・不正円形は12%以下の少例で、楕円形(21%)・不正楕円形(30%)・小判形a(33%)がやや多く、角がなく長軸がある形態が一般的である。長軸に小孔が2個付帯する例は6例18%(不正円1例・不正楕円形1例・楕円1例・小判形a 3例、堆積はB1が5例・B2が1例)あった。堆積型はA・Bのみであり、A2・A3・A1・B2は15%以下の少例であり、B1は21例(63%)で多数を占める。

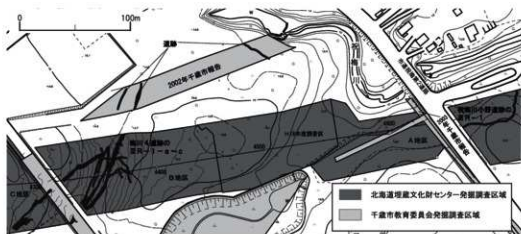
また、全身に弁柄を塗布した遺体層例(ⅢP-60)、頭部に弁柄を塗布した遺体層例(ⅢP-394)があり、弁柄散布例もある。西島松2 遺跡でも認定墓33基のうち、全身塗布例が13例、ほぼ全身塗布例が1例、頭部塗布例3例(他に頭部散布2例、半身散布3例、全身散布1例、全身に塗布・散布1例)がある。これら塗布例は人体輪郭が容易に目視できるので遺体に直接塗布されたものと考えられる。

二つの遺跡では、屋根土がある上層墓が多く造られる、全身・頭部に弁柄を塗布した遺体が取められる、ことが多かったといえる。

## (2) B・C地区の道跡について

Ⅲ-1-(1)で述べたように、当時の祝梅川源頭部(梅川4 遺跡)は「勇払越」日本海側経路のひとつの起点であったと考えられる。千歳市教委が調査した地点においても3 条の道跡が検出されており、「西側2 条」は梅川4 遺跡ⅢR-1-a~cに接続しそうである。また、これらは南東側にある標高15.5mの丘頂を迂回しているので、千歳市教委調査の「東側1 条」も迂回していた道跡の一部と考えられる。その先は祝梅川右岸に沿ってゆくと予想されるのであるが、平成18年度調査区・平成19年度調査区(A 地区)においても道跡は検出されなかった、市道祝梅川第2 道路の拡幅に係る2003年千歳市教委報告においても道跡は検出されていない。「梅川4 遺跡ⅢR-1-a~c」「西側2 条」「東側1 条」の起点はA 地区北側にあると現時点で考えるほかない。また、梅川4 遺跡東隣の祝梅川小野遺跡においても1 条の道跡が検出されており、その西側続きは2003年千歳市教委報告における「建物跡」へ向かっているともみえるが、道跡は検出されていない。合わせて今後の課題と言える。

(鈴木)



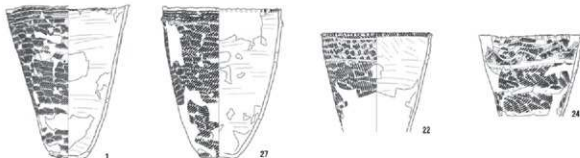
図Ⅶ-1-2 道跡集成

## 2 遺物

## (1) V群c類土器について

梅川4遺跡A地区より出土したV群c類土器のうち、主に土坑より出土した個体は、その出土層位から坑底部→覆土中位→覆土上位と3つの段階に分けられる。坑底部出土の土器は遺構と同じ時期と考えられる。覆土中位出土の土器は本来土坑の上部に置かれていたか、埋め戻し土が埋没した直後に落ち込んだもので、遺構とはほぼ同時期あるいは若干新しい。覆土上位出土の土器は土坑の上部にⅢ層土が堆積する過程で流れ込んだもので、遺構よりも新しい。幣舞式の深鉢については、坑底部および覆土中位では横位沈線または凹線を主文様、刺突列や突瘤列を副文様・区画文様とする個体が主体である。しかし、覆土上位や包含層(Ⅲ層)では、横位沈線以外にも横位縄線、連続山形沈線、波状沈線など多様な文様が見られる(図Ⅶ-2-1)。また、蛇行沈線が施された破片資料の大部分は、覆土上位または包含層より出土している。以上は、いわゆるママチ編年における、Ⅲ群またはⅢ類からⅣ・Ⅴ群またはⅣ類への変化に対応するものと推測される。亀ヶ岡式土器については、鉢や壺に施された工字文から大洞A式に相当すると考えられるが、土器集中1などを除くと遺構外出土のものがほとんどで、幣舞式との明瞭な共伴関係も確認されなかった。道央部における縄文時代晩期後葉の在り土器と亀ヶ岡式土器の並行関係は、今後の類例を待って、再検討する必要がある。(芝田)

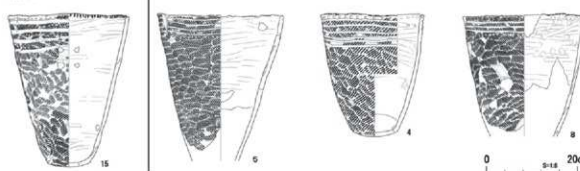
## 覆土上位～包含層(Ⅲ層)



## 覆土中位



## 坑底部



図Ⅶ-2-1 V群c類深鉢の出土層位

## (2) VI群a・b類土器について

## (2)-1 本遺跡の事例

特徴的な「下地文」における胴部原体の撚り・原体の押捺幅(条の長短)・回転方向・条の傾きについて述べる(紙幅の制限により斜位縦走縄文・横位斜走縄文を除く)。

「燃糸文」口縁部文様ニ沈線文・縄線文があり、a：口縁部施文→胴部燃糸(例えば図V-2-7-17)・b：胴部燃糸→口縁部施文(例えば図V-2-6-15)という施文順。条の傾は縦走が多く、横走(図V-2-8-19)もある。

「LR自縄自巻」胴部・縦走→口縁部・横走(図V-2-9-20)、胴部・縦走→口縁部原体押捺(図V-2-25-54)があり、胴部施文→口縁部施文の順である。前者は燃糸施文順aと同じく、後者は帯縄文施文順(H 37栄町期以降)と同じである。条の傾は縦走(前掲図-54)と縦走+横走(前掲図-20)がある。

「LR短条斜位横走縄文・LR短条横走帯縄文」原体上において指位置を移動しないLR施文「短条横走縄文」(例えば図V-2-10-22)、原体上において指位置を移動させるLR施文(例えば図V-2-12-29)がある。後者はRL帯縄文と同じ原体の置き方・押捺方法であるので「LR短条横走帯縄文」と呼ぶ。本遺跡では一つの土器に前者と一部後者が混じって施文される。

「RL帯縄文」口縁部に本数の少ない横位帯縄文(例えば図V-2-14-42)、口頸部に本数が多く間隔が開かない横位帯縄文(例えば図V-2-15-45)、口頸部に間隔が開く横位帯縄文(例えば図V-2-16-46)があり、いずれも長条であり胴部施文→口縁部施文の順である。

「帯縄文風」さまざまな原体の撚り・回転方向を用い、間隔をおいて施文する。これらはいずれも短条であり転写距離が短いので、押捺単位が方形にならざる負えず、方形押捺単位を連結させることにより帯状となり帯縄文に似る。「RL短条縦位斜走縄文にRL短条斜位縦走縄文混じる」(図V-2-14-40)、「RL斜位横走縄文とRL短条横位斜走縄文との組み合わせ」(図V-2-28-81)、「ニシン椎骨側面横位回転文・一部LR短条横位斜走縄文とLR短条横走帯縄文との組み合わせ」(図V-2-25-57)、「LR短条斜位横走縄文とLR短条縦位斜走縄文」(図V-2-25-58)、がある。

## (2)-2 本遺跡における「下地文」の変遷

今回の調査においてこれらはすべて包含層から出土した。時系における関係を確定する良好な資料ではないが、分布の傾向・形態を比較することで、検討してみる。

図V-2-29~31は復元個体・破片資料について、その最多出土数グリッドから引き出し線をついた図である。分布の傾向が大まかに見取れる。「縦走」：G~P-Line×33~40-Line(8×10grid)、丘の西側縁辺に北東-南西方向に長く分布、調査区中央に一つの群として分布。「燃糸」：F~N-Line×37~42-Line(6×9grid)・O~S-Line×28~31-Line(4×5 grid)、谷の東側斜面に北東-南西方向に長く分布、調査区北東「燃糸①」と南西「燃糸②」に二つの群として分布。「横走」：I~R-Line×32~38-Line(7×10 grid)、丘の西側縁辺に北東-南西方向に長く分布、調査区中央に一つの群として分布。「LR短条横走帯縄文」：G~Q-Line×32~41-Line(10×11 grid)、谷の東側斜面に北東-南西方向に長く、一つの群として分布。「帯縄文と帯縄文風」：Q~S-Line×24~45-Line(3×11grid)・F~L-Line×33~46-Line(7×14grid)谷の東側「縦走」より低い標高の斜面に北東-南西方向に長く分布、調査区北東「帯縄文と帯縄文風①」と南西「帯縄文と帯縄文風②」に二つの群として分布。以上より分布は、「縦走」・「横走」が同じ、「燃糸」・「LR短条横走帯縄文」・「帯縄文と帯縄文風」が同じ、「縦走」・「横走」と「燃糸」・「LR短条横走帯縄文」・「帯縄文と帯縄文風」は異なる。

また、「縦走」は北東側に底径大の平底・南西側に底径小の凸平底があり、北東側「縦走①」は南西側「縦走②」よりも新しい形態である。「横走」は「縦走」よりも新しい施文法である。「帯縄文と帯縄文風①」は「帯縄文と帯縄文風②」よりも新しい時期の土器である。

「燃糸①」と「帯縄文と帯縄文風②」は同様な分布・縦横に施文より、分布・施文においてやや親和する。

「LR短条横走帯縄文」と「横走の一部」は同様な分布・横に施文より、分布・施文において親和する。「燃系①」と「LR短条横走帯縄文」は同様な分布・横にも施文するので、分布・施文においてやや親和する。

本遺跡における時系は以下のように想定できる。「縦走②」→「縦走①」→「横走」=「LR短条横走帯縄文」→「燃系①」→「帯縄文と帯縄文風②」→「帯縄文と帯縄文風①」

### (2)-3 燃系文・自縄自巻・横走縄文・短条横走帯縄文・帯縄文・帯縄文風」の関係

道央低地帯の状況は以下である。

札幌市H317遺跡の遺物集中群では縦走縄文が各集中の主体を占めるものの、南群では縦走縄文+沈線文主体に燃系、北群では縦走縄文主体に燃系・横走縄文・帯縄文風、中央3群では縦走縄文+縦線文主体に横走縄文・燃系、中央2群では横走縄文主体に燃系、中央1群では縦走縄文主体となる。各遺物集中群にはいずれも縦走燃系が伴い、横走縄文の有無が認められるので、遺物集中群は「中央1群・南群・北群の一部(沈線文)→中央3群→中央2群→北群(帯縄文風)」という形成過程を示す。

恵庭市ユカンボシE7遺跡Ⅲ層の土器集中では横走縄文が両集中の主体を占める。南側集中では斜位横走が多数、帯縄文風縦斜走が1点、二枚橋系短頭壺(二枚橋古段階)1点、が出土する。北側集中では斜位横走が多数、上半帯縄文風斜位横走縄文+下半斜位縦走縄文を組み合わせる浅鉢が1点、恵山系壺1点(アヨロ1式)が出土している。土器集中の形成はおおよそ「南群→北群」という過程を示す。

苫小牧市タブコブ遺跡大場1号墳では斜位横走縄文深鉢と二枚橋(古段階)系壺・壺(苫小牧市教育委員会1984年『タブコブ』)、苫小牧市静川22遺跡4号土坑墓では斜位横走縄文+縦線文深鉢と二枚橋(古段階)系台付浅鉢(苫小牧市教育委員会2002年『苫小牧東部工業地帯の遺跡群 IX』)、が共存する。

H317遺跡の遺物集中群では縦走縄文が主体でほとんど燃系が伴い、ユカンボシE7遺跡Ⅲ層では横走縄文が主体で燃系が伴わず帯縄文風が伴うので、前者が古層、後者が新相を呈する。そして、ユカンボシE7遺跡Ⅲ層の北側集中はH37栄町期「新」の状況を示す。以上より、主要な下地文は以下のような消長である。RL短条斜位縦走は「H37丘珠期」～「H317期・古」に、LR短条横走縄文は「H317期・新」に、RL長条帯縄文は「H37栄町期・古」に現れ「H37栄町期・新」に盛行する。燃系文は「H37丘珠期・新」には縦走燃系の現れ、「H317期」には横走燃系が加わる。

その他の下地文については以下のような消長であろう。ニシン椎骨側面回転文は大沼忠春(1985)「魚骨文の新例について」『北海道考古学 21輯』によれば統縄文前葉にあることが報せられ、稚内市声間大曲遺跡(稚内市教育委員会1992年『声間大曲遺跡』)から多数出土し、これを含む声間大曲遺跡ⅢB群は「宇津内Ⅱa I」に並行する(熊木俊朗2003年『道東北部の縄文文化』『北海道の古代 2』北海道新聞)、「H37栄町期」並行。この文様が帯縄文風に施文されていることと整合する。自縄自巻は本遺跡において「縦位」「縦位と横位の組み合わせ」があることから「H317期」～「H37栄町期・新」にあると考えられる。

### (2)-4 帯縄文の成立

帯縄文の施文は、原体を押捺方向に対して斜位に置き、かつ原体上における指位置を移動させる。右手を使う場合は短い人差し指・長い中指の配列に従って右上がりに置くのが自然である。また、帯縄文以外の斜位縄文では、原体を押捺方向に正対して置き、かつ指位置を移動させない。右手を

表Ⅶ-2-1 下地文の変遷

	「H37丘珠期」		「H317期」		「H37栄町期」	
	古	新	古	新	古	新
RL斜位	縦走	短条				
燃系	縦走					
	縦走・横走					
自縄自巻						
LR斜位	横走	短条				
LR帯縄文	横走	短条				
帯縄文風	縦走・横走	短条				
RL帯縄文	縦走・横走	長条				

使う場合は左上から右下に押捺するのが自然である。これらのことから、右利きによる斜縄文は、LR短条横走帯縄文・RL長条横走帯縄文・RL長条縦走帯縄文、LR短条横走縄文・RL短条縦走縄文、が容易な施文となる。出土例においては、LR捻りには短条横走縄文とRL捻りには長条縦走帯縄文が多く、LR短条横走帯縄文はLR短条斜位横走縄文に混じて施文される。これらは右利きの場合による容易な斜位押捺を選択した結果によって頻出した。

帯縄文を最初に単節斜縄文と解したのは山内清男(1933年「日本遠古之文化」『ドルメン2-2』岡書院)であり、具体的な記述はなく「特殊の操作」といい、室蘭市本輪西貝塚貝層上部の土器を例示した。その後道内では1960年代中葉まで絡縄体燃糸文と考えられたが、峰山巖(1968年「恵山式」『北海道考古4』)によって単節斜縄文説が再唱された。山内と異なるところは、「指先により押捺点を回転方向に連続移動させる」という点であり具体的な記述がなされ、以降は再び斜位縄文の一種と考えられた。

このような経緯のもと、その発生は以下のように考えられた。峰山巖(1968)は「この手法は亀が罎式の縦縄文の施文にその芽生えがある」と言表し、「長条が数条単位の群をなすこと」については、須藤隆(1970年「青森県二枚橋遺跡出土の土器石器」『考古学雑誌56-2』)によって言及され、林謙作(1988年「北大構内の遺跡6」)は「晩期中葉の東北北半部・北海道に出現した長条縄文からの系統を考えた。

いっぽう、菊池徹夫(1978年「恵山式と江別式」『北奥古代文化10』)「(前略)この手法は、本来やはり『前北式系』に由来するものであろう。大狩部・東歌別の時期からこの施文法の萌芽はみられる(後略)、大沼忠春(1985年「道央地方の土器」『縄文文化の研究6』雄山閣)は「横走縄文が帯状縄文へと変化するであろう(後略)、鈴木信は(2003年「道央部における続縄文土器の編年」『ユカホシC15遺跡(6)』北理調報192集)「(前略)最古例はH37栄町期の「古」にあたる江別太遺跡7文化層であり(後略)」とのべる。

発生時期に晩期中葉・続縄文前葉の2説、発生個所に東北北半部と北海道(道央)の2説がある。本遺跡の状況からは、RL長条斜位縦走縄文→RL長条縦走帯縄文ではなく、LR短条斜位横走縄文→LR短条横走帯縄文→RL長条縦走帯縄文という変化が道央で起こったと考えられる。

#### (2)-5 RL長条斜位縦走縄文の影響

RL長条斜位縦走縄文は恵山式(二枚橋式・アヨロ1~アヨロ2b式)に通用の下地縄文で、道央においてはアヨロ2b式期に拡がり、在地系土器にも採用される。これは縄文晩期後葉に現れて「H317期・古」まで盛行するRL短条斜位縦走縄文とは別の系統の縦走縄文である。

そして、RL横位斜走縄文・それによる「帯縄文風」がある。前述した方形押捺単位の連結による「帯縄文風」とは転写距離が短いことは共通するものの、長い原体を用いるため帯状の長方形押捺単位となるところが異なる。これはアヨロ2b~アヨロ3式頃に並行する道央

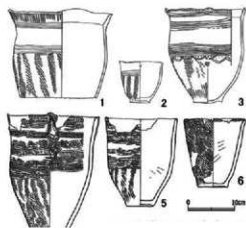


図7-2-2 RL横位斜走縄文が押捺された例

在地系土器に少数みられる。管見では瀬棚町朝川遺跡(瀬棚町教育委員会1983年「瀬棚朝川」、余市町大川遺跡(余市町教育委員会2000・2001・2004年「大川遺跡」、紅葉山33号遺跡(石狩町教育委員会1984年「紅葉山33号遺跡」、札幌市N295遺跡(札幌市教育委員会1987年「N295遺跡」、苫小牧市タブコブ遺跡(苫小牧市教育委員会1984年「タブコブ」、白老町アヨロ遺跡(白老町教育委員会1981年「アヨロ」)にある。RL横位斜走縄文・それによる「帯縄文風」は、長い原体を用いることから、RL長条縦走縄文の影響を受けた可能性がある。

(鈴木)



## 報告書抄録

ふりがな	ちとせし うめかわ4いせき かっこ3							
書名	千歳市 梅川4遺跡(3)							
副書名	一般国道337号新千歳空港関連埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ名	(公財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書(北理調報)							
シリーズ番号	第306集							
編著者名	鈴木 信・菊池慈人・芝田直人・山中文雄・酒井秀治・福井淳一・宗像公司							
編集機関	公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター ( <a href="http://www.domaibun.or.jp">http://www.domaibun.or.jp</a> )							
所在地	〒069-0832 北海道江別市西野幌685-1 Tel. (011) 386-3231							
発行年月日	平成26(西暦2014)年3月7日							
収録遺跡	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査原因
		市町村	遺跡番号					
うめかわ 梅川4遺跡	北海道 千歳市 祝梅 2047-55外	01224	A-03-59	42° 49' 35"	141° 41' 40"	20070507 ~20071031 20080507 ~20081031	22205 m <sup>2</sup>	道路敷設工事に 伴う事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
梅川4遺跡 A地区	遺物 包含地	縄文時代晩期後葉	竪穴住居1軒 土坑・土坑墓437基 焼土4か所 土器集中2か所 埋設土器1か所 剥片石器集中2か所 礫石器集中3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土器</li> <li>・石器</li> <li>・石製品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・晩期後葉の墓地</li> <li>・2個の有機質袋に入っていたと思われる剥片</li> </ul>			
梅川4遺跡 B・C地区		アイヌ文化期	平地式住居12軒 杭穴560基 焼土222か所 灰集中5か所 骨集中5か所 貝集中33か所 礫集中1か所 道跡3群	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属製品</li> <li>・動物遺存体</li> </ul>	アイヌ文化期の集落と道跡			
要約	両地区は千歳市の南東方、祝梅川と梅川にはさまれた丘陵、標高12~15mにある。A地区は縄文時代晩期後葉の土坑・土坑墓群で平成18年度調査と合わせて592基に及び、B・C地区は所謂「勇弘越」の日本海側始点にあたる遺跡である。							

(公財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第306集

千歳市

## 梅川 4 遺跡 (3)

—道央圏連絡道路工事埋蔵文化財発掘調査報告書—  
【第二分冊】

- 発行 平成26年3月7日  
編集 公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター  
〒069-0832 江別市西野幌685番地1  
TEL (011)386-3231 FAX (011)386-3238  
E-mail mail@domaibun.or.jp  
ホームページ <http://www.domaibun.or.jp>  
印刷 北海道チャート株式会社  
〒060-0008 札幌市中央区北8条西18丁目1-7  
フレクスビル3F  
TEL (011)631-9901 FAX (011)631-1123